Gen10 Service Pack for ProLiantコンポーネントリリースノート, v2020.09.0

BIOS (ログインが必要) - システムROM
ドライバー - チップセット
ドライバー - Lights-Outマネジメント
ドライバー - ネットワーク
ドライバー - ストレージ
ドライバー - ストレージコントローラー
ドライバー - ストレージファイバーチャネルおよびファイバーチャネルオーバーイーサーネット
ドライバー - システム
ドライバー - システムマネジメント
ドライバー - ビデオ
ファームウェア - ブレードインフラストラクチャ
ファームウェア - Lights-Outマネジメント
ファームウェア - ネットワーク
ファームウェア - NVDIMM
ファームウェア - PCIe NVMeストレージディスク
ファームウェア - SASストレージディスク
ファームウェア - SATAストレージディスク
ファームウェア - ストレージコントローラー
ファームウェア - ストレージファイバーチャネル
ファームウェア - システム
ソフトウェア - Lights-Outマネジメント
ソフトウェア - マネジメント
ソフトウェア - ストレージコントローラー
ソフトウェア - ストレージファイバーチャネル
ソフトウェア - ストレージファイバーチャネルHBA
ソフトウェア - システムマネジメント

BIOS (ログインが必要) - システムROM

先頭

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE ProLiant DL20 Gen10 (U43)サーバー

バージョン: 2.18_06-24-2020 **(オプション)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u43-2.18_2020_06_24-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-system-u43-2.18_2020_06_24-1.1.x86_64.rpm

重要な注意！

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL20 Gen10 システムROM - U43

リリースバージョン:

2.18_06-24-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.16_05-25-2020

以前のリビジョン:

2.16_05-25-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0543、CVE-2020-0548、CVE-2020-0549 として文書化されているセキュリティ脆弱性に対する緩和策を提供するインテルPentium プロセッサー用インテルマイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリのINTEL-SA-00320およびINTEL-SA-00329に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。このアップデートは、インテルXeonベースのプロセッサーを使用するシステムには影響しません。

レガシーブートモードでUSBデバイスからFreeBSD R12.1を起動すると、システムがレッドスクリーンで応答しなくなったりハングしたりする問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモード用に構成されたシステム、または他のタイプのメディアからブートする場合には影響しませんでした。

システム構成ユーティリティでデュアルポートネットワーキングデバイスのポート1が2つ表示され、ポート1およびポート2として正しく表示されないことがある問題に対処しました。これはデバイスの機能に影響を与えませんでした。

既知の問題点:

なし

事前要件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0543、CVE-2020-0548、およびCVE-2020-0549(CacheOutとも呼ばれる)として文書化されたセキュリティ上の脆弱性の緩和策を提供するインテルマイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリのINTEL-SA-00320およびINTEL-SA-00329に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステム ROMのリビジョンには、CVE-2020-0528およびCVE-2020-0529として文書化されたセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリのINTEL-SA-00322に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

プラットフォーム上でiLO CLIシリアルインターフェイスも有効になっている場合、シリアルポートが正しく機能しない問題に対処しました。これにより、シリアルボーレートが正しく構成されず、ホストからのシリアル出力が破損したり、出力が表示されなくなったりする可能性がありました。

USBマウスが接続されている場合、レガシーブートモードで構成されているとシステムがPOSTで応答しなくなるという非常にまれな問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモードで構成されているシステムには影響しません。

起動順序の変更を保存するためにF10キーまたはF12キーを押すと、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)の[起動オプション]メニューから起動デバイスが消える可能性がある問題に対処しました。

iLOファームウェアのリセットが開始されたのと同時にサーバーがリセット(再起動)されたときに、サーバーがPOST中にレッドスクリーン例外(RSOD)で応答しなくなる問題に対処しました。iLOファームウェアをアップデートすると、iLOファームウェアがリセットされることに注意してください。

システムユーティリティのシステム情報データをFTP(ネットワーク)ロケーションに正常にエクスポートできなかった問題に対処しました。以前は、システムユーティリティはファイルが正常に保存されたと報告していましたが、実際の情報はネットワーク共有に保存されていませんでした。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE ProLiant ML30 Gen10 (U44)サーバー

バージョン: 2.18_06-24-2020 **(オプション)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u44-2.18_2020_06_24-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-system-u44-2.18_2020_06_24-1.1.x86_64.rpm

重要な注意！

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant ML30 Gen10システムROM - U44

リリースバージョン:

2.18_06-24-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.16_05-25-2020

以前のリビジョン:

2.16_05-25-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0543、CVE-2020-0548、CVE-2020-0549 として文書化されているセキュリティ脆弱性に対する緩和策を提供するインテルPentium プロセッサー用インテルマイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリのINTEL-SA-00320およびINTEL-SA-00329に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。このアップデートは、インテルXeonベースのプロセッサーを使用するシステムには影響しません。

レガシーブートモードでUSBデバイスからFreeBSD R12.1を起動すると、システムがレッドスクリーンで応答しなくなったりハングしたりする問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモード用に構成されたシステム、または他のタイプのメディアからブートする場合には影響しませんでした。

システム構成ユーティリティでデュアルポートネットワーキングデバイスのポート1が2つ表示され、ポート1およびポート2として正しく表示されないことがある問題に対処しました。これはデバイスの機能に影響を与えませんでした。

既知の問題点:

なし

事前要件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0543、CVE-2020-0548、およびCVE-2020-0549(CacheOutとも呼ばれる)として文書化されたセキュリティ上の脆弱性の緩和策を提供するインテルマイクロコードの最新リビジョンが含まれています。 これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリのINTEL-SA-00320およびINTEL-SA-00329に文書化されています。 これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステム ROMのリビジョンには、CVE-2020-0528およびCVE-2020-0529として文書化されたセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。 これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリのINTEL-SA-00322に文書化されています。 これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

プラットフォーム上でiLO CLIシリアルインターフェイスも有効になっている場合、シリアルポートが正しく機能しない問題に対処しました。これにより、シリアルボーレートが正しく構成されず、ホストからのシリアル出力が破損したり、出力が表示されなくなったりする可能性がありました。

USBマウスが接続されている場合、レガシーブートモードで構成されているとシステムがPOSTで応答しなくなるという非常にまれな問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモードで構成されているシステムには影響しません。

起動順序の変更を保存するためにF10キーまたはF12キーを押すと、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)の[起動オプション]メニューから起動デバイスが消える可能性がある問題に対処しました。

iLOファームウェアのリセットが開始されたのと同時にサーバーがリセット(再起動)されたときに、サーバーがPOST中にレッドスクリーン例外(RSOD)で応答しなくなる問題に対処しました。 iLOファームウェアをアップデートすると、iLOファームウェアがリセットされることに注意してください。

システムユーティリティのシステム情報データをFTP(ネットワーク)ロケーションに正常にエクスポートできなかった問題に対処しました。以前は、システムユーティリティはファイルが正常に保存されたと報告していましたが、実際の情報はネットワーク共有に保存されていませんでした。

既知の問題点:

なし

拡張

プラットフォームの最新の温度サポートにアップデートされました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにRESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant DL20 Gen10 (U43)サーバー

バージョン: 2.18_06-24-2020 **(オプション)**
ファイル名: cp044713.compsig; cp044713.exe

重要な注意！

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL20 Gen10 システムROM - U43

リリースバージョン:

2.18_06-24-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.16_05-25-2020

以前のリビジョン:

2.16_05-25-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0543、CVE-2020-0548、CVE-2020-0549 として文書化されているセキュリティ脆弱性に対する緩和策を提供するインテルPentium プロセッサー用インテルマイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリのINTEL-SA-00320およびINTEL-SA-00329に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。このアップデートは、インテルXeonベースのプロセッサーを使用するシステムには影響しません。

レガシーブートモードでUSBデバイスからFreeBSD R12.1を起動すると、システムがレッドスクリーンで応答しなくなったりハングしたりする問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモード用に構成されたシステム、または他のタイプのメディアからブートする場合には影響しませんでした。

システム構成ユーティリティでデュアルポートネットワーキングデバイスのポート1が2つ表示され、ポート1およびポート2として正しく表示されないことがある問題に対処しました。これはデバイスの機能に影響を与えませんでした。

既知の問題点:

なし

事前要件

Service Pack for ProLiant(SPP)から入手可能なWindows用のiLO 5 Channel Interface Driver(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0543、CVE-2020-0548、およびCVE-2020-0549(CacheOutとも呼ばれる)として文書化されたセキュリティ上の脆弱性の緩和策を提供するインテルマイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリのINTEL-SA-00320およびINTEL-SA-00329に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステム ROMのリビジョンには、CVE-2020-0528およびCVE-2020-0529として文書化されたセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリのINTEL-SA-00322に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

プラットフォーム上でiLO CLIシリアルインターフェイスも有効になっている場合、シリアルポートが正しく機能しない問題に対処しました。これにより、シリアルボーレートが正しく構成されず、ホストからのシリアル出力が破損したり、出力が表示されなくなったりする可能性がありました。

USBマウスが接続されている場合、レガシーブートモードで構成されているとシステムがPOSTで応答しなくなるという非常にまれな問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモードで構成されているシステムには影響しません。

起動順序の変更を保存するためにF10キーまたはF12キーを押すと、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)の[起動オプション]メニューから起動デバイスが消える可能性がある問題に対処しました。

iLOファームウェアのリセットが開始されたのと同時にサーバーがリセット(再起動)されたときに、サーバーがPOST中にレッドスクリーン例外(RSOD)で応答しなくなる問題に対処しました。iLOファームウェアをアップデートすると、iLOファームウェアがリセットされることに注意してください。

システムユーティリティのシステム情報データをFTP(ネットワーク)ロケーションに正常にエクスポートできなかった問題に対処しました。以前は、システムユーティリティはファイルが正常に保存されたと報告していましたが、実際の情報はネットワーク共有に保存されていませんでした。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant ML30 Gen10 (U44)サーバー

バージョン: 2.18_06-24-2020 **(オプション)**
ファイル名: cp044716.compsig; cp044716.exe

重要な注意！

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant ML30 Gen10システムROM - U44

リリースバージョン:

2.18_06-24-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.16_05-25-2020

以前のリビジョン:

2.16_05-25-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0543、CVE-2020-0548、CVE-2020-0549 として文書化されているセキュリティ脆弱性に対する緩和策を提供するインテルPentium プロセッサー用インテルマイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリのINTEL-SA-00320およびINTEL-SA-00329に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。このアップデートは、インテルXeonベースのプロセッサーを使用するシステムには影響しません。

レガシーブートモードでUSBデバイスからFreeBSD R12.1を起動すると、システムがレッドスクリーンで応答しなくなったりハングしたりする問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモード用に構成されたシステム、または他のタイプのメディアからブートする場合には影響しませんでした。

システム構成ユーティリティでデュアルポートネットワーキングデバイスのポート1が2つ表示され、ポート1およびポート2として正しく表示されないことがある問題に対処しました。これはデバイスの機能に影響を与えませんでした。

既知の問題点:

なし

事前要件

Service Pack for ProLiant(SPP)から入手可能なWindows用のiLO 5 Channel Interface Driver(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0543、CVE-2020-0548、およびCVE-2020-0549(CacheOutとも呼ばれる)として文書化されたセキュリティ上の脆弱性の緩和策を提供するインテルマイクロコードの最新リビジョンが含まれています。 これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリのINTEL-SA-00320およびINTEL-SA-00329に文書化されています。 これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステム ROMのリビジョンには、CVE-2020-0528およびCVE-2020-0529として文書化されたセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。 これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリのINTEL-SA-00322に文書化されています。 これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

プラットフォーム上でiLO CLIシリアルインターフェイスも有効になっている場合、シリアルポートが正しく機能しない問題に対処しました。これにより、シリアルボーレートが正しく構成されず、ホストからのシリアル出力が破損したり、出力が表示されなくなったりする可能性がありました。

USBマウスが接続されている場合、レガシーブートモードで構成されているとシステムがPOSTで応答しなくなるという非常にまれな問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモードで構成されているシステムには影響しません。

起動順序の変更を保存するためにF10キーまたはF12キーを押すと、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)の[起動オプション]メニューから起動デバイスが消える可能性がある問題に対処しました。

iLOファームウェアのリセットが開始されたのと同時にサーバーがリセット(再起動)されたときに、サーバーがPOST中にレッドスクリーン例外(RSOD)で応答しなくなる問題に対処しました。 iLOファームウェアをアップデートすると、iLOファームウェアがリセットされることに注意してください。

システムユーティリティのシステム情報データをFTP(ネットワーク)ロケーションに正常にエクスポートできなかった問題に対処しました。以前は、システムユーティリティはファイルが正常に保存されたと報告していましたが、実際の情報はネットワーク共有に保存されていませんでした。

既知の問題点:

なし

拡張

プラットフォームの最新の温度サポートにアップデートされました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにRESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE Apollo 2000 Gen10/HPE ProLiant XL170r/XL190r Gen10 (U38)サーバー

バージョン: 2.36_07-16-2020 **(オプション)**
ファイル名: U38_2.36_07_16_2020.fwpkg

重要な注意！

重要な注意:

なし

提供名:

HPE Apollo 2000 Gen10/ProLiant XL170r/XL190r Gen10システムROM - U38

リリースバージョン:

2.34_04-08-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.32_03-09-2020

以前のリビジョン:

2.32_03-09-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

プラットフォームの最新の温度サポートにアップデートされました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにRESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

修正された問題点:

プラットフォーム上でiLO CLIシリアルインターフェイスも有効になっている場合、シリアルポートが正しく機能しない問題に対処しました。これにより、シリアルボーレートが正しく構成されず、ホストからのシリアル出力が破損したり、出力が表示されなくなったりする可能性がありました。

UEFIシリアルデバッグ出力がBIOSシリアルコンソールで誤って表示される問題に対処しました。この問題は、サーバーの再起動時に定期的に見られます。この問題はv2.30のシステムROMで発生し、以前のバージョンのシステムROMには影響しませんでした。

USBマウスが接続されている場合、レガシーブートモードで構成されているとシステムがPOSTで応答しなくなるという非常にまれな問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモードで構成されているシステムには影響しません。

起動順序の変更を保存するためにF10キーまたはF12キーを押すと、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)の[起動オプション]メニューから起動デバイスが消える可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

プラットフォーム上でiLO CLIシリアルインターフェイスも有効になっている場合、シリアルポートが正しく機能しない問題に対処しました。これにより、シリアルボーレートが正しく構成されず、ホストからのシリアル出力が破損したり、出力が表示されなくなったりする可能性がありました。

UEFIシリアルデバッグ出力がBIOSシリアルコンソールで誤って表示される問題に対処しました。この問題は、サーバーの再起動時に定期的に見られます。この問題はv2.30のシステムROMで発生し、以前のバージョンのシステムROMには影響しませんでした。

USBマウスが接続されている場合、レガシーブートモードで構成されているとシステムがPOSTで応答しなくなるという非常にまれな問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモードで構成されているシステムには影響しません。

起動順序の変更を保存するためにF10キーまたはF12キーを押すと、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)の[起動オプション]メニューから起動デバイスが消える可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE Apollo 4510 Gen10/HPE ProLiant XL450 Gen10 (U40)サーバー

バージョン: 2.36_07-16-2020 **(オプション)**
ファイル名: U40_2.36_07_16_2020.fwpkg

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

HPE RESTful APIを介して "RIS操作中に内部エラーが発生しました"というメッセージが返されると、サーバーのバックアップと復元機能が正しく動作しない場合があるという問題が解決されました。

2倍のリフレッシュレートで動作するようにメモリを設定しても、実際には1倍のリフレッシュレートでメモリが動作するという問題に対処しました。この問題はv2.00のシステムROMで発生し、以前のバージョンのシステムROMには影響しませんでした。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のNVMe PCIeリソースパディングオプションが、NVMeホットアドイベントをサポートするのに十分なリソースを適切に割り当てられない問題に対処しました。特定の構成では十分な量のリソースが予約されておらず、新しく追加されたドライブの存在を検出するために再起動が必要でした。

起動不可能な(フォーマットされていない)ドライブもシステムに存在する場合に、システムがUSBドライブから起動しないという問題に対処しました。この問題は、レガシーブートモードで設定されたシステムにのみ影響します。

既知の問題点:

なし

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE ProLiant BL460c Gen10 (I41)サーバー

バージョン: 2.36_07-16-2020 **(オプション)**
ファイル名: I41_2.36_07_16_2020.fwpkg

重要な注意！

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant BL460c Gen10システムROM - I41

リリースバージョン:

2.36_07-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.32_03-09-2020

以前のリビジョン:

2.34_04-08-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

レガシーブートモードでUSBデバイスからFreeBSD R12.1を起動すると、システムがレッドスクリーンで応答しなくなったりハングしたりする問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモード用に構成されたシステム、または他のタイプのメディアからブートする場合には影響しませんでした。

システム構成ユーティリティでデュアルポートネットワーキングデバイスのポート1が2つ表示され、ポート1およびポート2として正しく表示されないことがある問題に対処しました。これはデバイスの機能に影響を与えませんでした。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

レガシーブートモードでUSBデバイスからFreeBSD R12.1を起動すると、システムがレッドスクリーンで応答しなくなったりハングしたりする問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモード用に構成されたシステム、または他のタイプのメディアからブートする場合には影響しませんでした。

システム構成ユーティリティでデュアルポートネットワーキングデバイスのポート1が2つ表示され、ポート1およびポート2として正しく表示されないことがある問題に対処しました。これはデバイスの機能に影響を与えませんでした。

既知の問題点:

なし

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE ProLiant DL160 Gen10/DL180 Gen10 (U31) サーバー

バージョン: 2.36_07-16-2020 **(オプション)**
ファイル名: U31_2.36_07_16_2020.fwpkg

重要な注意！

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL160 Gen10/DL180 Gen10システムROM - U31

リリースバージョン:

2.36_07-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.32_03-09-2020

以前のリビジョン:

2.34_04-08-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

レガシーブートモードでUSBデバイスからFreeBSD R12.1を起動すると、システムがレッドスクリーンで応答しなくなったりハングしたりする問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモード用に構成されたシステム、または他のタイプのメディアからブートする場合には影響しませんでした。

システム構成ユーティリティでデュアルポートネットワーキングデバイスのポート1が2つ表示され、ポート1およびポート2として正しく表示されないことがある問題に対処しました。これはデバイスの機能に影響を与えませんでした。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

プラットフォーム上でiLO CLIシリアルインターフェイスも有効になっている場合、シリアルポートが正しく機能しない問題に対処しました。これにより、シリアルボーレートが正しく構成されず、ホストからのシリアル出力が破損したり、出力が表示されなくなったりする可能性がありました。

UEFIシリアルデバッグ出力がBIOSシリアルコンソールで誤って表示される問題に対処しました。この問題は、サーバーの再起動時に定期的に見られます。この問題はv2.30のシステムROMで発生し、以前のバージョンのシステムROMには影響しませんでした。

USBマウスが接続されている場合、レガシーブートモードで構成されているとシステムがPOSTで応答しなくなるという非常にまれな問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモードで構成されているシステムには影響しません。

起動順序の変更を保存するためにF10キーまたはF12キーを押すと、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)の[起動オプション]メニューから起動デバイスが消える可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE ProLiant DL560 Gen10/DL580 Gen10 (U34) サーバー

バージョン: 2.36_07-16-2020 **(オプション)**
ファイル名: U34_2.36_07_16_2020.fwpkg

重要な注意！

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL560 Gen10/DL580 Gen10システムROM - U34

リリースバージョン:

2.36_07-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.32_03-09-2020

以前のリビジョン:

2.34_04-08-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

レガシーブートモードでUSBデバイスからFreeBSD R12.1を起動すると、システムがレッドスクリーンで応答しなくなったりハングしたりする問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモード用に構成されたシステム、または他のタイプのメディアからブートする場合には影響しませんでした。

システム構成ユーティリティでデュアルポートネットワーキングデバイスのポート1が2つ表示され、ポート1およびポート2として正しく表示されないことがある問題に対処しました。これはデバイスの機能に影響を与えませんでした。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

プラットフォーム上でiLO CLIシリアルインターフェイスも有効になっている場合、シリアルポートが正しく機能しない問題に対処しました。これにより、シリアルボーレートが正しく構成されず、ホストからのシリアル出力が破損したり、出力が表示されなくなったりする可能性がありました。

UEFIシリアルデバッグ出力がBIOSシリアルコンソールで誤って表示される問題に対処しました。この問題は、サーバーの再起動時に定期的に見られます。この問題はv2.30のシステムROMで発生し、以前のバージョンのシステムROMには影響しませんでした。

USBマウスが接続されている場合、レガシーブートモードで構成されているとシステムがPOSTで応答しなくなるという非常にまれな問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモードで構成されているシステムには影響しません。

起動順序の変更を保存するためにF10キーまたはF12キーを押すと、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)の[起動オプション]メニューから起動デバイスが消える可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE ProLiant ML110 Gen10 (U33)サーバー

バージョン: 2.36_07-16-2020 **(オプション)**
ファイル名: U33_2.36_07_16_2020.fwpkg

重要な注意！

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant ML110 Gen10システムROM - U33

リリースバージョン:

2.36_07-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.32_03-09-2020

以前のリビジョン:

2.34_04-08-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

レガシーブートモードでUSBデバイスからFreeBSD R12.1を起動すると、システムがレッドスクリーンで応答しなくなったりハングしたりする問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモード用に構成されたシステム、または他のタイプのメディアからブートする場合には影響しませんでした。

システム構成ユーティリティでデュアルポートネットワーキングデバイスのポート1が2つ表示され、ポート1およびポート2として正しく表示されないことがある問題に対処しました。これはデバイスの機能に影響を与えませんでした。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

プラットフォーム上でiLO CLIシリアルインターフェイスも有効になっている場合、シリアルポートが正しく機能しない問題に対処しました。これにより、シリアルボーレートが正しく構成されず、ホストからのシリアル出力が破損したり、出力が表示されなくなったりする可能性がありました。

UEFIシリアルデバッグ出力がBIOSシリアルコンソールで誤って表示される問題に対処しました。この問題は、サーバーの再起動時に定期的に見られます。この問題はv2.30のシステムROMで発生し、以前のバージョンのシステムROMには影響しませんでした。

USBマウスが接続されている場合、レガシーブートモードで構成されているとシステムがPOSTで応答しなくなるという非常にまれな問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモードで構成されているシステムには影響しません。

起動順序の変更を保存するためにF10キーまたはF12キーを押すと、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)の[起動オプション]メニューから起動デバイスが消える可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE ProLiant ML350 Gen10 (U41)サーバー

バージョン: 2.36_07-16-2020 **(オプション)**
ファイル名: U41_2.36_07_16_2020.fwpkg

重要な注意！

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant ML350 Gen10システムROM - U41

リリースバージョン:

2.36_07-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.32_03-09-2020

以前のリビジョン:

2.36_06-23-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

レガシーブートモードでUSBデバイスからFreeBSD R12.1を起動すると、システムがレッドスクリーンで応答しなくなったりハングしたりする問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモード用に構成されたシステム、または他のタイプのメディアからブートする場合には影響しませんでした。

システム構成ユーティリティでデュアルポートネットワーキングデバイスのポート1が2つ表示され、ポート1およびポート2として正しく表示されないことがある問題に対処しました。これはデバイスの機能に影響を与えませんでした。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

プラットフォーム上でiLO CLIシリアルインターフェイスも有効になっている場合、シリアルポートが正しく機能しない問題に対処しました。これにより、シリアルボーレートが正しく構成されず、ホストからのシリアル出力が破損したり、出力が表示されなくなったりする可能性がありました。

UEFIシリアルデバッグ出力がBIOSシリアルコンソールで誤って表示される問題に対処しました。この問題は、サーバーの再起動時に定期的に見られます。この問題はv2.30のシステムROMで発生し、以前のバージョンのシステムROMには影響しませんでした。

USBマウスが接続されている場合、レガシーブートモードで構成されているとシステムがPOSTで応答しなくなるという非常にまれな問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモードで構成されているシステムには影響しません。

起動順序の変更を保存するためにF10キーまたはF12キーを押すと、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)の[起動オプション]メニューから起動デバイスが消える可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE ProLiant XL230k Gen10(U37)サーバー

バージョン: 2.36_07-16-2020 **(オプション)**
ファイル名: U37_2.36_07_16_2020.fwpkg

重要な注意!

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant XL230k Gen10システムROM - U37

リリースバージョン:

2.36_07-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.32_03-09-2020

以前のリビジョン:

2.34_04-08-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題:

レガシーブートモードでUSBデバイスからFreeBSD R12.1を起動すると、システムがレッドスクリーンで応答しなくなったりハングしたりする問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモード用に構成されたシステム、または他のタイプのメディアからブートする場合には影響しませんでした。

システム構成ユーティリティでデュアルポートネットワーキングデバイスのポート1が2つ表示され、ポート1およびポート2として正しく表示されないことがある問題に対処しました。これはデバイスの機能に影響を与えませんでした。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題:

レガシーブートモードでUSBデバイスからFreeBSD R12.1を起動すると、システムがレッドスクリーンで応答しなくなったりハングしたりする問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモード用に構成されたシステム、または他のタイプのメディアからブートする場合には影響しませんでした。

システム構成ユーティリティでデュアルポートネットワーキングデバイスのポート1が2つ表示され、ポート1およびポート2として正しく表示されないことがある問題に対処しました。これはデバイスの機能に影響を与えませんでした。

既知の問題点:

なし

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE Apollo 6500 Gen10/HPE ProLiant XL270d Gen10 (U45) サーバー

バージョン: 2.36_07-16-2020 **(オプション)**
ファイル名: U45_2.36_07_16_2020.fwpkg

重要な注意！

重要な注意:

なし

提供名:

HPE Apollo 6500 Gen10/HPE ProLiant XL270d Gen10 システムROM - U45

リリースバージョン:

2.34_04-08-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.32_03-09-2020

以前のリビジョン:

2.32_03-09-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

プラットフォームの最新の温度サポートにアップデートされました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにRESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

修正された問題点:

プラットフォーム上でiLO CLIシリアルインターフェイスも有効になっている場合、シリアルポートが正しく機能しない問題に対処しました。これにより、シリアルボーレートが正しく構成されず、ホストからのシリアル出力が破損したり、出力が表示されなくなったりする可能性がありました。

UEFIシリアルデバッグ出力がBIOSシリアルコンソールで誤って表示される問題に対処しました。この問題は、サーバーの再起動時に定期的に見られます。この問題はv2.30のシステムROMで発生し、以前のバージョンのシステムROMには影響しませんでした。

USBマウスが接続されている場合、レガシーブートモードで構成されているとシステムがPOSTで応答しなくなるという非常にまれな問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモードで構成されているシステムには影響しません。

起動順序の変更を保存するためにF10キーまたはF12キーを押すと、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)の[起動オプション]メニューから起動デバイスが消える可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

プラットフォーム上でiLO CLIシリアルインターフェイスも有効になっている場合、シリアルポートが正しく機能しない問題に対処しました。これにより、シリアルボーレートが正しく構成されず、ホストからのシリアル出力が破損したり、出力が表示されなくなったりする可能性がありました。

UEFIシリアルデバッグ出力がBIOSシリアルコンソールで誤って表示される問題に対処しました。この問題は、サーバーの再起動時に定期的に見られます。この問題はv2.30のシステムROMで発生し、以前のバージョンのシステムROMには影響しませんでした。

USBマウスが接続されている場合、レガシーブートモードで構成されているとシステムがPOSTで応答しなくなるという非常にまれな問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモードで構成されているシステムには影響しません。

起動順序の変更を保存するためにF10キーまたはF12キーを押すと、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)の[起動オプション]メニューから起動デバイスが消える可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE ProLiant DL20 Gen10(U43)サーバー

バージョン: 2.18_06-24-2020 **(オプション)**
ファイル名: U43_2.18_06_24_2020.fwpkg

重要な注意！

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL20 Gen10 システムROM - U43

リリースバージョン:

2.18_06-24-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.16_05-25-2020

以前のリビジョン:

2.16_05-25-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0543、CVE-2020-0548、CVE-2020-0549 として文書化されているセキュリティ脆弱性に対する緩和策を提供するインテルPentium プロセッサー用インテルマイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリのINTEL-SA-00320およびINTEL-SA-00329に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。このアップデートは、インテルXeonベースのプロセッサーを使用するシステムには影響しません。

レガシーブートモードでUSBデバイスからFreeBSD R12.1を起動すると、システムがレッドスクリーンで応答しなくなったりハングしたりする問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモード用に構成されたシステム、または他のタイプのメディアからブートする場合には影響しませんでした。

システム構成ユーティリティでデュアルポートネットワーキングデバイスのポート1が2つ表示され、ポート1およびポート2として正しく表示されないことがある問題に対処しました。これはデバイスの機能に影響を与えませんでした。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0543、CVE-2020-0548、およびCVE-2020-0549(CacheOutとも呼ばれる)として文書化されたセキュリティ上の脆弱性の緩和策を提供するインテルマイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリのINTEL-SA-00320およびINTEL-SA-00329に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステム ROMのリビジョンには、CVE-2020-0528およびCVE-2020-0529として文書化されたセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリのINTEL-SA-00322に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

プラットフォーム上でiLO CLIシリアルインターフェイスも有効になっている場合、シリアルポートが正しく機能しない問題に対処しました。これにより、シリアルボーレートが正しく構成されず、ホストからのシリアル出力が破損したり、出力が表示されなくなったりする可能性がありました。

USBマウスが接続されている場合、レガシーブートモードで構成されているとシステムがPOSTで応答しなくなるという非常にまれな問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモードで構成されているシステムには影響しません。

起動順序の変更を保存するためにF10キーまたはF12キーを押すと、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)の[起動オプション]メニューから起動デバイスが消える可能性がある問題に対処しました。

iLOファームウェアのリセットが開始されたのと同時にサーバーがリセット(再起動)されたときに、サーバーがPOST中にレッドスクリーン例外(RSOD)で応答しなくなる問題に対処しました。iLOファームウェアをアップデートすると、iLOファームウェアがリセットされることに注意してください。

システムユーティリティのシステム情報データをFTP(ネットワーク)ロケーションに正常にエクスポートできなかった問題に対処しました。以前は、システムユーティリティはファイルが正常に保存されたと報告していましたが、実際の情報はネットワーク共有に保存されていませんでした。

既知の問題点:

なし

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE ProLiant DL325 Gen10(A41)サーバー

バージョン: 2.42_07-17-2020 **(推奨)**
ファイル名: A41_2.42_07_17_2020.fwpkg

重要な注意！

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL325 Gen10システムROM - A41

リリースバージョン:

2.42_07-17-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.42_07-17-2020

以前のリビジョン:

2.40_05-11-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

TRRespass と Targeted Row Refresh の悪用を緩和するために、DRAM Burst Refresh Modeを新しいBIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) オプションに追加しました。TRRespassの脆弱性を緩和するには、このオプションを無効に設定する必要があります。このオプションを無効に設定すると、システムパフォーマンスへの影響が最小限になる場合があります。デフォルト設定は、[有効]です。

C1ステートのMinimum Processor Idle Power Core C-State設定を新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションに追加しました。このオプションを使用すると、C6ステートのパフォーマンスに影響を与えることなく、特定のワークロード中に電力を節約できます。

修正された問題点:

LRDIMMでメモリを集中的に使用するワークロードを実行しているときに修正不可能なメモリエラーが発生する問題に対処しました。

パフォーマンスがわずかに低下する可能性がある問題に対処しました。

インテグレーテッドマネジメントログ(IML)で報告される回復不能なI/Oエラーを引き起こす可能性があるNVMeホットアドまたは削除の問題を解決しました。

UEFIシェルコマンドGetPciRomがPCI拡張デバイスドライバーの情報を表示しない場合がある問題に対処しました。

重大なエラーとシステムのリセットを引き起こす可能性のあるAMD Epyc 1st Genプロセッサーの非常に断続的な問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

LRDIMM、AMD EPYC 7002プロセッサー、およびシステムROMのv2.38(2020年4月15日)リビジョンで構成されたシステムでのメモリ初期化の問題、修正されたメモリしきい値エラーまたは未修正のメモリエラーが発生する可能性が高くなる問題が解決されました。

既知の問題点:

なし

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE ProLiant DL360 Gen10(U32)サーバー

バージョン: 2.36_07-16-2020 **(オプション)**
ファイル名: U32_2.36_07_16_2020.fwpkg

重要な注意！

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL360 Gen10システムROM - U32

リリースバージョン:

2.36_07-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.32_03-09-2020

以前のリビジョン:

2.34_04-08-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

HPE NS204i-pコントローラーを含むようにサーバーのアップデートされた温度サポート。

修正された問題点:

レガシーブートモードでUSBデバイスからFreeBSD R12.1を起動すると、システムがレッドスクリーンで応答しなくなったりハングしたりする問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモード用に構成されたシステム、または他のタイプのメディアからブートする場合には影響しませんでした。

システム構成ユーティリティでデュアルポートネットワーキングデバイスのポート1が2つ表示され、ポート1およびポート2として正しく表示されないことがある問題に対処しました。これはデバイスの機能に影響を与えませんでした。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

プラットフォーム上でiLO CLIシリアルインターフェイスも有効になっている場合、シリアルポートが正しく機能しない問題に対処しました。これにより、シリアルボーレートが正しく構成されず、ホストからのシリアル出力が破損したり、出力が表示されなくなったりする可能性がありました。

UEFIシリアルデバッグ出力がBIOSシリアルコンソールで誤って表示される問題に対処しました。この問題は、サーバーの再起動時に定期的に見られます。この問題はv2.30のシステムROMで発生し、以前のバージョンのシステムROMには影響しませんでした。

USBマウスが接続されている場合、レガシーブートモードで構成されているとシステムがPOSTで応答しなくなるという非常にまれな問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモードで構成されているシステムには影響しません。

起動順序の変更を保存するためにF10キーまたはF12キーを押すと、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)の[起動オプション]メニューから起動デバイスが消える可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

プラットフォームの最新の熱サポートにアップデートされました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにRESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE ProLiant DL380 Gen10(U30)サーバー

バージョン: 2.36_07-16-2020 **(オプション)**
ファイル名: U30_2.36_07_16_2020.fwpkg

重要な注意！

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL380 Gen10システムROM - U30

リリースバージョン:

2.36_07-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.32_03-09-2020

以前のリビジョン:

2.34_04-08-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

HPE NS204i-pコントローラーを含むようにサーバーのアップデートされた温度サポート。

修正された問題点:

レガシーブートモードでUSBデバイスからFreeBSD R12.1を起動すると、システムがレッドスクリーンで応答しなくなったりハングしたりする問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモード用に構成されたシステム、または他のタイプのメディアからブートする場合には影響しませんでした。

システム構成ユーティリティでデュアルポートネットワーキングデバイスのポート1が2つ表示され、ポート1およびポート2として正しく表示されないことがある問題に対処しました。これはデバイスの機能に影響を与えませんでした。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

プラットフォーム上でiLO CLIシリアルインターフェイスも有効になっている場合、シリアルポートが正しく機能しない問題に対処しました。これにより、シリアルボーレートが正しく構成されず、ホストからのシリアル出力が破損したり、出力が表示されなくなったりする可能性がありました。

UEFIシリアルデバッグ出力がBIOSシリアルコンソールで誤って表示される問題に対処しました。この問題は、サーバーの再起動時に定期的に見られます。この問題はv2.30のシステムROMで発生し、以前のバージョンのシステムROMには影響しませんでした。

USBマウスが接続されている場合、レガシーブートモードで構成されているとシステムがPOSTで応答しなくなるという非常にまれな問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモードで構成されているシステムには影響しません。

起動順序の変更を保存するためにF10キーまたはF12キーを押すと、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)の[起動オプション]メニューから起動デバイスが消える可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

プラットフォームの最新の熱サポートにアップデートされました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにRESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE ProLiant DL385 Gen10(A40)サーバー

バージョン: 2.42_07-17-2020 **(推奨)**
ファイル名: A40_2.42_07_17_2020.fwpkg

重要な注意！

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL385 Gen10システムROM - A40

リリースバージョン:

2.42_07-17-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.42_07-17-2020

以前のリビジョン:

2.40_05-11-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

TRRespass と Targeted Row Refresh の悪用を緩和するために、DRAM Burst Refresh Modeを新しいBIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) オプションに追加しました。TRRespassの脆弱性を緩和するには、このオプションを無効に設定する必要があります。このオプションを無効に設定すると、システムパフォーマンスへの影響が最小限になる場合があります。デフォルト設定は、[有効]です。

C1ステートのMinimum Processor Idle Power Core C-State設定を新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションに追加しました。このオプションを使用すると、C6ステートのパフォーマンスに影響を与えることなく、特定のワークロード中に電力を節約できます。

修正された問題点:

LRDIMMでメモリを集中的に使用するワークロードを実行しているときに修正不可能なメモリエラーが発生する問題に対処しました。

パフォーマンスがわずかに低下する可能性がある問題に対処しました。

インテグレーテッドマネジメントログ(IML)で報告される回復不能なI/Oエラーを引き起こす可能性があるNVMeホットアドまたは削除の問題を解決しました。

UEFIシェルコマンドGetPciRomがPCI拡張デバイスドライバーの情報を表示しない場合がある問題に対処しました。

重大なエラーとシステムのリセットを引き起こす可能性のあるAMD Epyc 1st Genプロセッサーの非常に断続的な問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

LRDIMM、AMD EPYC 7002プロセッサー、およびシステムROMのv2.38(2020年4月15日)リビジョンで構成されたシステムでのメモリ初期化の問題、修正されたメモリしきい値エラーまたは未修正のメモリエラーが発生する可能性が高くなる問題が解決されました。

既知の問題点:

なし

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE ProLiant ML30 Gen10(U44)サーバー

バージョン: 2.18_06-24-2020 **(オプション)**
ファイル名: U44_2.18_06_24_2020.fwpkg

重要な注意！

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant ML30 Gen10システムROM - U44

リリースバージョン:

2.18_06-24-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.16_05-25-2020

以前のリビジョン:

2.16_05-25-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0543、CVE-2020-0548、CVE-2020-0549 として文書化されているセキュリティ脆弱性に対する緩和策を提供するインテルPentium プロセッサー用インテルマイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリのINTEL-SA-00320およびINTEL-SA-00329に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。このアップデートは、インテルXeonベースのプロセッサーを使用するシステムには影響しません。

レガシーブートモードでUSBデバイスからFreeBSD R12.1を起動すると、システムがレッドスクリーンで応答しなくなったりハングしたりする問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモード用に構成されたシステム、または他のタイプのメディアからブートする場合には影響しませんでした。

システム構成ユーティリティでデュアルポートネットワーキングデバイスのポート1が2つ表示され、ポート1およびポート2として正しく表示されないことがある問題に対処しました。これはデバイスの機能に影響を与えませんでした。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0543、CVE-2020-0548、およびCVE-2020-0549(CacheOutとも呼ばれる)として文書化されたセキュリティ上の脆弱性の緩和策を提供するインテルマイクロコードの最新リビジョンが含まれています。 これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリのINTEL-SA-00320およびINTEL-SA-00329に文書化されています。 これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステム ROMのリビジョンには、CVE-2020-0528およびCVE-2020-0529として文書化されたセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。 これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリのINTEL-SA-00322に文書化されています。 これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

プラットフォーム上でiLO CLIシリアルインターフェイスも有効になっている場合、シリアルポートが正しく機能しない問題に対処しました。これにより、シリアルボーレートが正しく構成されず、ホストからのシリアル出力が破損したり、出力が表示されなくなったりする可能性がありました。

USBマウスが接続されている場合、レガシーブートモードで構成されているとシステムがPOSTで応答しなくなるという非常にまれな問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモードで構成されているシステムには影響しません。

起動順序の変更を保存するためにF10キーまたはF12キーを押すと、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)の[起動オプション]メニューから起動デバイスが消える可能性がある問題に対処しました。

iLOファームウェアのリセットが開始されたのと同時にサーバーがリセット(再起動)されたときに、サーバーがPOST中にレッドスクリーン例外(RSOD)で応答しなくなる問題に対処しました。 iLOファームウェアをアップデートすると、iLOファームウェアがリセットされることに注意してください。

システムユーティリティのシステム情報データをFTP(ネットワーク)ロケーションに正常にエクスポートできなかった問題に対処しました。以前は、システムユーティリティはファイルが正常に保存されたと報告していましたが、実際の情報はネットワーク共有に保存されていませんでした。

既知の問題点:

なし

拡張

プラットフォームの最新の温度サポートにアップデートされました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにRESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

ROMフラッシュファームウェアパッケージ - MicroServer Gen10 Plus (U48) サーバー

バージョン: 2.18_06-24-2020 **(オプション)**
ファイル名: U48_2.18_06_24_2020.fwpkg

重要な注意！

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant MicroServer Gen10 Plus システムROM - U48

リリースバージョン:

2.18_06-24-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.16_05-25-2020

以前のリビジョン:

2.16_05-25-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0543、CVE-2020-0548、CVE-2020-0549 として文書化されているセキュリティ脆弱性に対する緩和策を提供するインテルPentium プロセッサー用インテルマイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリのINTEL-SA-00320およびINTEL-SA-00329に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。このアップデートは、インテルXeonベースのプロセッサーを使用するシステムには影響しません。

レガシーブートモードでUSBデバイスからFreeBSD R12.1を起動すると、システムがレッドスクリーンで応答しなくなったりハングしたりする問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモード用に構成されたシステム、または他のタイプのメディアからブートする場合には影響しませんでした。

システム構成ユーティリティでデュアルポートネットワーキングデバイスのポート1が2つ表示され、ポート1およびポート2として正しく表示されないことがある問題に対処しました。これはデバイスの機能に影響を与えませんでした。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0543、CVE-2020-0548、およびCVE-2020-0549(CacheOutとも呼ばれる)として文書化されたセキュリティ上の脆弱性の緩和策を提供するインテルマイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリのINTEL-SA-00320およびINTEL-SA-00329に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステム ROMのリビジョンには、CVE-2020-0528およびCVE-2020-0529として文書化されたセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリのINTEL-SA-00322に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

プラットフォーム上でiLO CLIシリアルインターフェイスも有効になっている場合、シリアルポートが正しく機能しない問題に対処しました。これにより、シリアルボーレートが正しく構成されず、ホストからのシリアル出力が破損したり、出力が表示されなくなったりする可能性がありました。

USBマウスが接続されている場合、レガシーブートモードで構成されているとシステムがPOSTで応答しなくなるという非常にまれな問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモードで構成されているシステムには影響しません。

起動順序の変更を保存するためにF10キーまたはF12キーを押すと、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)の[起動オプション]メニューから起動デバイスが消える可能性がある問題に対処しました。

iLOファームウェアのリセットが開始されたのと同時にサーバーがリセット(再起動)されたときに、サーバーがPOST中にレッドスクリーン例外(RSOD)で応答しなくなる問題に対処しました。iLOファームウェアをアップデートすると、iLOファームウェアがリセットされることに注意してください。

システムユーティリティのシステム情報データをFTP(ネットワーク)ロケーションに正常にエクスポートできなかった問題に対処しました。以前は、システムユーティリティはファイルが正常に保存されたと報告していましたが、実際の情報はネットワーク共有に保存されていませんでした。

既知の問題点:

なし

ROMフラッシュユニバーサルファームウェアパッケージ - HPE ProLiant DL325 Gen10 Plus (A43)サーバー

バージョン: 1.30_07-18-2020 **(推奨)**
ファイル名: A43_1.30_07_18_2020.fwpkg

重要な注意！

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL325 Gen10 PlusシステムROM - A43

リリースバージョン:

1.30_07-18-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.30_07-18-2020

以前のリビジョン:

1.26_05-11-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

TRRespass と Targeted Row Refresh の悪用を緩和するために、DRAM Burst Refresh Modeを新しいBIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) オプションに追加しました。TRRespassの脆弱性を緩和するには、このオプションを無効に設定する必要があります。このオプションを無効に設定すると、システムパフォーマンスへの影響が最小限になる場合があります。デフォルト設定は、[有効]です。

C1ステートのMinimum Processor Idle Power Core C-State設定を新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションに追加しました。このオプションを使用すると、C6ステートのパフォーマンスに影響を与えることなく、特定のワークロード中に電力を節約できます。

修正された問題点:

LRDIMMでメモリを集中的に使用するワークロードを実行しているときに修正不可能なメモリエラーが発生する問題に対処しました。

パフォーマンスがわずかに低下する可能性がある問題に対処しました。

インテグレーテッドマネジメントログ(IML)で報告される回復不能なI/Oエラーを引き起こす可能性があるNVMeホットアドまたは削除の問題を解決しました。

UEFIシェルコマンドGetPciRomがPCI拡張デバイスドライバーの情報を表示しない場合がある問題に対処しました。

吸気口の周囲温度が摂氏30度を超えると、サーバーのパフォーマンスが予想よりも遅くなることがある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

LRDIMMでメモリを集中的に使用するワークロードを実行しているときに修正不可能なメモリエラーが発生する問題に対処しました。

パフォーマンスがわずかに低下する可能性がある問題に対処しました。

インテグレーテッドマネジメントログ(IML)で報告される回復不能なI/Oエラーを引き起こす可能性があるNVMeホットアドまたは削除の問題を解決しました。

UEFIシェルコマンドGetPciRomがPCI拡張デバイスドライバーの情報を表示しない場合がある問題に対処しました。

吸気口の周囲温度が摂氏30度を超えると、サーバーのパフォーマンスが予想よりも遅くなることがある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

TRRespass と Targeted Row Refresh の悪用を緩和するために、DRAM Burst Refresh Modeを新しいBIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) オプションに追加しました。TRRespassの脆弱性を緩和するには、このオプションを無効に設定する必要があります。このオプションを無効に設定すると、システムパフォーマンスへの影響が最小限になる場合があります。デフォルト設定は、[有効]です。

C1ステートのMinimum Processor Idle Power Core C-State設定を新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションに追加しました。このオプションを使用すると、C6ステートのパフォーマンスに影響を与えることなく、特定のワークロード中に電力を節約できます。

ROMフラッシュユニバーサルファームウェアパッケージ - HPE ProLiant DL385 Gen10 Plus (A42)サーバー

バージョン: 1.30_07-18-2020 **(推奨)**
ファイル名: A42_1.30_07_18_2020.fwpkg

重要な注意！

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL385 Gen10 PlusシステムROM - A42

リリースバージョン:

1.30_07-18-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.30_07-18-2020

以前のリビジョン:

1.26_05-11-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

TRRespass と Targeted Row Refresh の悪用を緩和するために、DRAM Burst Refresh Modeを新しいBIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) オプションに追加しました。TRRespassの脆弱性を緩和するには、このオプションを無効に設定する必要があります。このオプションを無効に設定すると、システムパフォーマンスへの影響が最小限になる場合があります。デフォルト設定は、[有効]です。

C1ステートのMinimum Processor Idle Power Core C-State設定を新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションに追加しました。このオプションを使用すると、C6ステートのパフォーマンスに影響を与えることなく、特定のワークロード中に電力を節約できます。

修正された問題点:

LRDIMMでメモリを集中的に使用するワークロードを実行しているときに修正不可能なメモリエラーが発生する問題に対処しました。

パフォーマンスがわずかに低下する可能性がある問題に対処しました。

インテグレーテッドマネジメントログ(IML)で報告される回復不能なI/Oエラーを引き起こす可能性があるNVMeホットアドまたは削除の問題を解決しました。

UEFIシェルコマンドGetPciRomがPCI拡張デバイスドライバーの情報を表示しない場合がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

LRDIMMでメモリを集中的に使用するワークロードを実行しているときに修正不可能なメモリエラーが発生する問題に対処しました。

パフォーマンスがわずかに低下する可能性がある問題に対処しました。

インテグレーテッドマネジメントログ(IML)で報告される回復不能なI/Oエラーを引き起こす可能性があるNVMeホットアドまたは削除の問題を解決しました。

UEFIシェルコマンドGetPciRomがPCI拡張デバイスドライバーの情報を表示しない場合がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

TRRespass と Targeted Row Refresh の悪用を緩和するために、DRAM Burst Refresh Modeを新しいBIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) オプションに追加しました。TRRespassの脆弱性を緩和するには、このオプションを無効に設定する必要があります。このオプションを無効に設定すると、システムパフォーマンスへの影響が最小限になる場合があります。デフォルト設定は、[有効]です。

C1ステートのMinimum Processor Idle Power Core C-State設定を新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションに追加しました。このオプションを使用すると、C6ステートのパフォーマンスに影響を与えることなく、特定のワークロード中に電力を節約できます。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE Apollo 2000 Gen10/HPE ProLiant XL170r/XL190r Gen10 (U38) サーバー

バージョン: 2.36_07-16-2020 **(オプション)**
ファイル名: cp044574.compsig; cp044574.exe

重要な注意！

重要な注意:

なし

提供名:

HPE Apollo 2000 Gen10/ProLiant XL170r/XL190r Gen10システムROM - U38

リリースバージョン:

2.34_04-08-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.32_03-09-2020

以前のリビジョン:

2.32_03-09-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

プラットフォームの最新の温度サポートにアップデートされました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにRESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

修正された問題点:

プラットフォーム上でiLO CLIシリアルインターフェイスも有効になっている場合、シリアルポートが正しく機能しない問題に対処しました。これにより、シリアルボーレートが正しく構成されず、ホストからのシリアル出力が破損したり、出力が表示されなくなったりする可能性がありました。

UEFIシリアルデバッグ出力がBIOSシリアルコンソールで誤って表示される問題に対処しました。この問題は、サーバーの再起動時に定期的に見られます。この問題はv2.30のシステムROMで発生し、以前のバージョンのシステムROMには影響しませんでした。

USBマウスが接続されている場合、レガシーブートモードで構成されているとシステムがPOSTで応答しなくなるという非常にまれな問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモードで構成されているシステムには影響しません。

起動順序の変更を保存するためにF10キーまたはF12キーを押すと、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)の[起動オプション]メニューから起動デバイスが消える可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

事前要件

Service Pack for ProLiant(SPP)から入手可能なWindows用のiLO 5 Channel Interface Driver(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

プラットフォーム上でiLO CLIシリアルインターフェイスも有効になっている場合、シリアルポートが正しく機能しない問題に対処しました。これにより、シリアルボーレートが正しく構成されず、ホストからのシリアル出力が破損したり、出力が表示されなくなったりする可能性がありました。

UEFIシリアルデバッグ出力がBIOSシリアルコンソールで誤って表示される問題に対処しました。この問題は、サーバーの再起動時に定期的に見られます。この問題はv2.30のシステムROMで発生し、以前のバージョンのシステムROMには影響しませんでした。

USBマウスが接続されている場合、レガシーブートモードで構成されているとシステムがPOSTで応答しなくなるという非常にまれな問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモードで構成されているシステムには影響しません。

起動順序の変更を保存するためにF10キーまたはF12キーを押すと、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)の[起動オプション]メニューから起動デバイスが消える可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE Apollo 4200 Gen10/HPE ProLiant XL420 Gen10 (U39) サーバー

バージョン: 2.36_07-16-2020 **(オプション)**
ファイル名: cp044674.compsig; cp044674.exe

事前要件

Service Pack for ProLiant(SPP)から入手可能なWindows用のiLO 5 Channel Interface Driver(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

HPE RESTful APIを介して "RIS操作中に内部エラーが発生しました"というメッセージが返されると、サーバーのバックアップと復元機能が正しく動作しない場合があるという問題が解決されました。

2倍のリフレッシュレートで動作するようにメモリを設定しても、実際には1倍のリフレッシュレートでメモリが動作するという問題に対処しました。この問題はv2.00のシステムROMで発生し、以前のバージョンのシステムROMには影響しませんでした。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のNVMe PCIeリソースパディングオプションが、NVMeホットアドイベントをサポートするのに十分なリソースを適切に割り当てられない問題に対処しました。特定の構成では十分な量のリソースが予約されておらず、新しく追加されたドライブの存在を検出するために再起動が必要でした。

起動不可能な(フォーマットされていない)ドライブもシステムに存在する場合に、システムがUSBドライブから起動しないという問題に対処しました。この問題は、レガシーブートモードで設定されたシステムにのみ影響します。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE Apollo 4510 Gen10/HPE ProLiant XL450 Gen10 (U40) サーバー

バージョン: 2.36_07-16-2020 **(オプション)**
ファイル名: cp044676.compsig; cp044676.exe

事前要件

Service Pack for ProLiant(SPP)から入手可能なWindows用のiLO 5 Channel Interface Driver(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

HPE RESTful APIを介して "RIS操作中に内部エラーが発生しました"というメッセージが返されると、サーバーのバックアップと復元機能が正しく動作しない場合があるという問題が解決されました。

2倍のリフレッシュレートで動作するようにメモリを設定しても、実際には1倍のリフレッシュレートでメモリが動作するという問題に対処しました。この問題はv2.00のシステムROMで発生し、以前のバージョンのシステムROMには影響しませんでした。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のNVMe PCIeリソースパディングオプションが、NVMeホットアドイベントをサポートするのに十分なリソースを適切に割り当てられない問題に対処しました。特定の構成では十分な量のリソースが予約されておらず、新しく追加されたドライブの存在を検出するために再起動が必要でした。

起動不可能な(フォーマットされていない)ドライブもシステムに存在する場合に、システムがUSBドライブから起動しないという問題に対処しました。この問題は、レガシーブートモードで設定されたシステムにのみ影響します。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE Apollo 6500 Gen10/HPE ProLiant XL270d Gen10 (U45) サーバー

バージョン: 2.36_07-16-2020 **(オプション)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u45-2.36_2020_07_16-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-system-u45-2.36_2020_07_16-1.1.x86_64.rpm

重要な注意！

重要な注意:

なし

提供名:

HPE Apollo 6500 Gen10/HPE ProLiant XL270d Gen10 システムROM - U45

リリースバージョン:

2.34_04-08-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.32_03-09-2020

以前のリビジョン:

2.32_03-09-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

プラットフォームの最新の温度サポートにアップデートされました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにRESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

修正された問題点:

プラットフォーム上でiLO CLIシリアルインターフェイスも有効になっている場合、シリアルポートが正しく機能しない問題に対処しました。これにより、シリアルボーレートが正しく構成されず、ホストからのシリアル出力が破損したり、出力が表示されなくなったりする可能性がありました。

UEFIシリアルデバッグ出力がBIOSシリアルコンソールで誤って表示される問題に対処しました。この問題は、サーバーの再起動時に定期的に見られます。この問題はv2.30のシステムROMで発生し、以前のバージョンのシステムROM

には影響しませんでした。

USBマウスが接続されている場合、レガシーブートモードで構成されているとシステムがPOSTで応答しなくなるという非常にまれな問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモードで構成されているシステムには影響しません。

起動順序の変更を保存するためにF10キーまたはF12キーを押すと、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)の[起動オプション]メニューから起動デバイスが消える可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

事前要件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

プラットフォーム上でiLO CLIシリアルインターフェイスも有効になっている場合、シリアルポートが正しく機能しない問題に対処しました。これにより、シリアルボーレートが正しく構成されず、ホストからのシリアル出力が破損したり、出力が表示されなくなったりする可能性がありました。

UEFIシリアルデバッグ出力がBIOSシリアルコンソールで誤って表示される問題に対処しました。この問題は、サーバーの再起動時に定期的に見られます。この問題はv2.30のシステムROMで発生し、以前のバージョンのシステムROMには影響しませんでした。

USBマウスが接続されている場合、レガシーブートモードで構成されているとシステムがPOSTで応答しなくなるという非常にまれな問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモードで構成されているシステムには影響しません。

起動順序の変更を保存するためにF10キーまたはF12キーを押すと、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)の[起動オプション]メニューから起動デバイスが消える可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant DL160 Gen10/DL180 Gen10(U31)サーバー

バージョン: 2.36_07-16-2020 **(オプション)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u31-2.36_2020_07_16-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-system-u31-2.36_2020_07_16-1.1.x86_64.rpm

重要な注意！

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL160 Gen10/DL180 Gen10システムROM - U31

リリースバージョン:

2.36_07-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.32_03-09-2020

以前のリビジョン:

2.34_04-08-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

レガシーブートモードでUSBデバイスからFreeBSD R12.1を起動すると、システムがレッドスクリーンで応答しなくなったりハングしたりする問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモード用に構成されたシステム、または他のタイプのメディアからブートする場合には影響しませんでした。

システム構成ユーティリティでデュアルポートネットワーキングデバイスのポート1が2つ表示され、ポート1およびポート2として正しく表示されないことがある問題に対処しました。これはデバイスの機能に影響を与えませんでした。

既知の問題点:

なし

事前要件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

プラットフォーム上でiLO CLIシリアルインターフェイスも有効になっている場合、シリアルポートが正しく機能しない問題に対処しました。これにより、シリアルボーレートが正しく構成されず、ホストからのシリアル出力が破損したり、出力が表示されなくなったりする可能性がありました。

UEFIシリアルデバッグ出力がBIOSシリアルコンソールで誤って表示される問題に対処しました。この問題は、サーバーの再起動時に定期的に見られます。この問題はv2.30のシステムROMで発生し、以前のバージョンのシステムROMには影響しませんでした。

USBマウスが接続されている場合、レガシーブートモードで構成されているとシステムがPOSTで応答しなくなるという非常にまれな問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモードで構成されているシステムには影響しません。

起動順序の変更を保存するためにF10キーまたはF12キーを押すと、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)の[起動オプション]メニューから起動デバイスが消える可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant DL325 Gen10 (A41)サーバー

バージョン: 2.42_07-17-2020 **(推奨)**

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-a41-2.42_2020_07_17-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-system-a41-2.42_2020_07_17-1.1.x86_64.rpm

重要な注意！

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL325 Gen10システムROM - A41

リリースバージョン:

2.42_07-17-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.42_07-17-2020

以前のリビジョン:

2.40_05-11-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

TRRespass と Targeted Row Refresh の悪用を緩和するために、DRAM Burst Refresh Modeを新しいBIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) オプションに追加しました。TRRespassの脆弱性を緩和するには、このオプションを無効に設定する必要があります。このオプションを無効に設定すると、システムパフォーマンスへの影響が最小限になる場合があります。デフォルト設定は、[有効]です。

C1ステートのMinimum Processor Idle Power Core C-State設定を新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションに追加しました。このオプションを使用すると、C6ステートのパフォーマンスに影響を与えることなく、特定のワークロード中に電力を節約できます。

修正された問題点:

LRDIMMでメモリを集中的に使用するワークロードを実行しているときに修正不可能なメモリエラーが発生する問題に対処しました。

パフォーマンスがわずかに低下する可能性がある問題に対処しました。

インテグレーテッドマネジメントログ(IML)で報告される回復不能なI/Oエラーを引き起こす可能性があるNVMeホットアドまたは削除の問題を解決しました。

UEFIシェルコマンドGetPciRomがPCI拡張デバイスドライバーの情報を表示しない場合がある問題に対処しました。

重大なエラーとシステムのリセットを引き起こす可能性のあるAMD Epyc 1st Genプロセッサーの非常に断続的な問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

事前要件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

LRDIMM、AMD EPYC 7002プロセッサー、およびシステムROMのv2.38(2020年4月15日)リビジョンで構成されたシステムでのメモリ初期化の問題、修正されたメモリしきい値エラーまたは未修正のメモリエラーが発生する可能性が高くなる問題が解決されました。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant DL325 Gen10 Plus(A43) サーバー

バージョン: 1.30_07-18-2020 **(推奨)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-a43-1.30_2020_07_18-1.1.x86_64.rpm; RPMS/x86_64/firmware-system-a43-1.30_2020_07_18-1.1.x86_64_part1.compsig; RPMS/x86_64/firmware-system-a43-1.30_2020_07_18-1.1.x86_64_part2.compsig

重要な注意！

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL325 Gen10 PlusシステムROM - A43

リリースバージョン:

1.30_07-18-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.30_07-18-2020

以前のリビジョン:

1.26_05-11-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

TRRespass と Targeted Row Refresh の悪用を緩和するために、DRAM Burst Refresh Modeを新しいBIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) オプションに追加しました。TRRespassの脆弱性を緩和するには、このオプションを無効に設定する必要があります。このオプションを無効に設定すると、システムパフォーマンスへの影響が最小限になる場合があります。デフォルト設定は、[有効]です。

C1ステートのMinimum Processor Idle Power Core C-State設定を新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションに追加しました。このオプションを使用すると、C6ステートのパフォーマンスに影響を与えることなく、特定のワークロード中に電力を節約できます。

修正された問題点:

LRDIMMでメモリを集中的に使用するワークロードを実行しているときに修正不可能なメモリエラーが発生する問題に対処しました。

パフォーマンスがわずかに低下する可能性がある問題に対処しました。

インテグレーテッドマネジメントログ(IML)で報告される回復不能なI/Oエラーを引き起こす可能性があるNVMeホットアドまたは削除の問題を解決しました。

UEFIシェルコマンドGetPciRomがPCI拡張デバイスドライバーの情報を表示しない場合がある問題に対処しました。

吸気口の周囲温度が摂氏30度を超えると、サーバーのパフォーマンスが予想よりも遅くなることがある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

事前要件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

LRDIMMでメモリを集中的に使用するワークロードを実行しているときに修正不可能なメモリエラーが発生する問題に対処しました。

パフォーマンスがわずかに低下する可能性がある問題に対処しました。

インテグレーテッドマネジメントログ(IML)で報告される回復不能なI/Oエラーを引き起こす可能性があるNVMeホットアドまたは削除の問題を解決しました。

UEFIシェルコマンドGetPciRomがPCI拡張デバイスドライバーの情報を表示しない場合がある問題に対処しました。

吸気口の周囲温度が摂氏30度を超えると、サーバーのパフォーマンスが予想よりも遅くなることがある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

TRRespass と Targeted Row Refresh の悪用を緩和するために、DRAM Burst Refresh Modeを新しいBIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) オプションに追加しました。TRRespassの脆弱性を緩和するには、このオプションを無効に設定する必要があります。このオプションを無効に設定すると、システムパフォーマンスへの影響が最小限になる場合があります。デフォルト設定は、[有効]です。

C1ステートのMinimum Processor Idle Power Core C-State設定を新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションに追加しました。このオプションを使用すると、C6ステートのパフォーマンスに影響を与えることなく、特定のワークロード中に電力を節約できます。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant DL380 Gen10(U30)サーバー

バージョン: 2.36_07-16-2020 **(オプション)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u30-2.36_2020_07_16-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-system-u30-2.36_2020_07_16-1.1.x86_64.rpm

重要な注意！

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL380 Gen10システムROM - U30

リリースバージョン:

2.36_07-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.32_03-09-2020

以前のリビジョン:

2.34_04-08-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

HPE NS204i-pコントローラーを含むようにサーバーのアップデートされた温度サポート。

修正された問題点:

レガシーブートモードでUSBデバイスからFreeBSD R12.1を起動すると、システムがレッドスクリーンで応答しなくなったりハングしたりする問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモード用に構成されたシステム、または他のタイプのメディアからブートする場合には影響しませんでした。

システム構成ユーティリティでデュアルポートネットワーキングデバイスのポート1が2つ表示され、ポート1およびポート2として正しく表示されないことがある問題に対処しました。これはデバイスの機能に影響を与えませんでした。

既知の問題点:

なし

事前要件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

プラットフォーム上でiLO CLIシリアルインターフェイスも有効になっている場合、シリアルポートが正しく機能しない問題に対処しました。これにより、シリアルボーレートが正しく構成されず、ホストからのシリアル出力が破損したり、出力が表示されなくなったりする可能性がありました。

UEFIシリアルデバッグ出力がBIOSシリアルコンソールで誤って表示される問題に対処しました。この問題は、サーバーの再起動時に定期的に見られます。この問題はv2.30のシステムROMで発生し、以前のバージョンのシステムROMには影響しませんでした。

USBマウスが接続されている場合、レガシーブートモードで構成されているとシステムがPOSTで応答しなくなるという非常にまれな問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモードで構成されているシステムには影響しません。

起動順序の変更を保存するためにF10キーまたはF12キーを押すと、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)の[起動オプション]メニューから起動デバイスが消える可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

プラットフォームの最新の熱サポートにアップデートされました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにRESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant DL385 Gen10 Plus(A42) サーバー

バージョン: 1.30_07-18-2020 **(オプション)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-a42-1.30_2020_07_18-1.1.x86_64.rpm; RPMS/x86_64/firmware-system-a42-1.30_2020_07_18-1.1.x86_64_part1.compsig; RPMS/x86_64/firmware-system-a42-1.30_2020_07_18-1.1.x86_64_part2.compsig

重要な注意！

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL385 Gen10 PlusシステムROM - A42

リリースバージョン:

1.30_07-18-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.30_07-18-2020

以前のリビジョン:

1.26_05-11-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

TRRespass と Targeted Row Refresh の悪用を緩和するために、DRAM Burst Refresh Modeを新しいBIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) オプションに追加しました。TRRespassの脆弱性を緩和するには、このオプションを無効に設定する必要があります。このオプションを無効に設定すると、システムパフォーマンスへの影響が最小限になる場合があります。デフォルト設定は、[有効]です。

C1ステートのMinimum Processor Idle Power Core C-State設定を新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションに追加しました。このオプションを使用すると、C6ステートのパフォーマンスに影響を与えることなく、特定のワークロード中に電力を節約できます。

修正された問題点:

LRDIMMでメモリを集中的に使用するワークロードを実行しているときに修正不可能なメモリエラーが発生する問題に対処しました。

パフォーマンスがわずかに低下する可能性がある問題に対処しました。

インテグレーテッドマネジメントログ(IML)で報告される回復不能なI/Oエラーを引き起こす可能性があるNVMeホットアドまたは削除の問題を解決しました。

UEFIシェルコマンドGetPciRomがPCI拡張デバイスドライバーの情報を表示しない場合がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

事前要件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

LRDIMMでメモリを集中的に使用するワークロードを実行しているときに修正不可能なメモリエラーが発生する問題に対処しました。

パフォーマンスがわずかに低下する可能性がある問題に対処しました。

インテグレーテッドマネジメントログ(IML)で報告される回復不能なI/Oエラーを引き起こす可能性があるNVMeホットアドまたは削除の問題を解決しました。

UEFIシェルコマンドGetPciRomがPCI拡張デバイスドライバーの情報を表示しない場合がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

TRRespass と Targeted Row Refresh の悪用を緩和するために、DRAM Burst Refresh Modeを新しいBIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) オプションに追加しました。TRRespassの脆弱性を緩和するには、このオプションを無効に設定する必要があります。このオプションを無効に設定すると、システムパフォーマンスへの影響が最小限になる場合があります。デフォルト設定は、[有効]です。

C1ステートのMinimum Processor Idle Power Core C-State設定を新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションに追加しました。このオプションを使用すると、C6ステートのパフォーマンスに影響を与えることなく、特定のワークロード中に電力を節約できます。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant DL560 Gen10/DL580 Gen10(U34)サーバー

バージョン: 2.36_07-16-2020 **(オプション)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u34-2.36_2020_07_16-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-system-u34-2.36_2020_07_16-1.1.x86_64.rpm

重要な注意！

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL560 Gen10/DL580 Gen10システムROM - U34

リリースバージョン:

2.36_07-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.32_03-09-2020

以前のリビジョン:

2.34_04-08-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

レガシーブートモードでUSBデバイスからFreeBSD R12.1を起動すると、システムがレッドスクリーンで応答しなくなったりハングしたりする問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモード用に構成されたシステム、または他のタイプのメディアからブートする場合には影響しませんでした。

システム構成ユーティリティでデュアルポートネットワーキングデバイスのポート1が2つ表示され、ポート1およびポート2として正しく表示されないことがある問題に対処しました。これはデバイスの機能に影響を与えませんでした。

既知の問題点:

なし

事前要件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

プラットフォーム上でiLO CLIシリアルインターフェイスも有効になっている場合、シリアルポートが正しく機能しない問題に対処しました。これにより、シリアルボーレートが正しく構成されず、ホストからのシリアル出力が破損したり、出力が表示されなくなったりする可能性がありました。

UEFIシリアルデバッグ出力がBIOSシリアルコンソールで誤って表示される問題に対処しました。この問題は、サーバーの再起動時に定期的に見られます。この問題はv2.30のシステムROMで発生し、以前のバージョンのシステムROMには影響しませんでした。

USBマウスが接続されている場合、レガシーブートモードで構成されているとシステムがPOSTで応答しなくなるという非常にまれな問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモードで構成されているシステムには影響しません。

起動順序の変更を保存するためにF10キーまたはF12キーを押すと、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)の[起動オプション]メニューから起動デバイスが消える可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant MicroServer Gen10 Plus (U48) サーバー

バージョン: 2.18_06-24-2020 **(オプション)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u48-2.18_2020_06_24-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-system-u48-2.18_2020_06_24-1.1.x86_64.rpm

重要な注意！

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant MicroServer Gen10 Plus システムROM - U48

リリースバージョン:

2.18_06-24-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.16_05-25-2020

以前のリビジョン:

2.16_05-25-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0543、CVE-2020-0548、CVE-2020-0549 として文書化されているセキュリティ脆弱性に対する緩和策を提供するインテルPentium プロセッサー用インテルマイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリのINTEL-SA-00320およびINTEL-SA-00329に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。このアップデートは、インテルXeonベースのプロセッサーを使用するシステムには影響しません。

レガシーブートモードでUSBデバイスからFreeBSD R12.1を起動すると、システムがレッドスクリーンで応答しなくなったりハングしたりする問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモード用に構成されたシステム、または他のタイプのメディアからブートする場合には影響しませんでした。

システム構成ユーティリティでデュアルポートネットワーキングデバイスのポート1が2つ表示され、ポート1およびポート2として正しく表示されないことがある問題に対処しました。これはデバイスの機能に影響を与えませんでした。

既知の問題点:

なし

事前要件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0543、CVE-2020-0548、およびCVE-2020-0549(CacheOutとも呼ばれる)として文書化されたセキュリティ上の脆弱性の緩和策を提供するインテルマイクロコードの最新リビジョン

が含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリのINTEL-SA-00320およびINTEL-SA-00329に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステム ROMのリビジョンには、CVE-2020-0528およびCVE-2020-0529として文書化されたセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリのINTEL-SA-00322に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

プラットフォーム上でiLO CLIシリアルインターフェイスも有効になっている場合、シリアルポートが正しく機能しない問題に対処しました。これにより、シリアルボーレートが正しく構成されず、ホストからのシリアル出力が破損したり、出力が表示されなくなったりする可能性がありました。

USBマウスが接続されている場合、レガシーブートモードで構成されているとシステムがPOSTで応答しなくなるという非常にまれな問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモードで構成されているシステムには影響しません。

起動順序の変更を保存するためにF10キーまたはF12キーを押すと、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)の[起動オプション]メニューから起動デバイスが消える可能性がある問題に対処しました。

iLOファームウェアのリセットが開始されたのと同時にサーバーがリセット(再起動)されたときに、サーバーがPOST中にレッドスクリーン例外(RSOD)で応答しなくなる問題に対処しました。iLOファームウェアをアップデートすると、iLOファームウェアがリセットされることに注意してください。

システムユーティリティのシステム情報データをFTP(ネットワーク)ロケーションに正常にエクスポートできなかった問題に対処しました。以前は、システムユーティリティはファイルが正常に保存されたと報告していましたが、実際の情報はネットワーク共有に保存されていませんでした。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE ProLiant XL230k Gen10 (U37)サーバー

バージョン: 2.36_07-16-2020 **(オプション)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u37-2.36_2020_07_16-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-system-u37-2.36_2020_07_16-1.1.x86_64.rpm

事前要件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE Apollo 6500 Gen10/HPE ProLiant XL270d Gen10 (U45) サーバー

バージョン: 2.36_07-16-2020 **(オプション)**
ファイル名: cp044577.compsig; cp044577.exe

重要な注意！

重要な注意:

なし

提供名:

HPE Apollo 6500 Gen10/HPE ProLiant XL270d Gen10 システムROM - U45

リリースバージョン:

2.34_04-08-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.32_03-09-2020

以前のリビジョン:

2.32_03-09-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

プラットフォームの最新の温度サポートにアップデートされました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにRESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

修正された問題点:

プラットフォーム上でiLO CLIシリアルインターフェイスも有効になっている場合、シリアルポートが正しく機能しない問題に対処しました。これにより、シリアルボーレートが正しく構成されず、ホストからのシリアル出力が破損したり、出力が表示されなくなったりする可能性がありました。

UEFIシリアルデバッグ出力がBIOSシリアルコンソールで誤って表示される問題に対処しました。この問題は、サーバーの再起動時に定期的に見られます。この問題はv2.30のシステムROMで発生し、以前のバージョンのシステムROMには影響しませんでした。

USBマウスが接続されている場合、レガシーブートモードで構成されているとシステムがPOSTで応答しなくなるという非常にまれな問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモードで構成されているシステムには影響しません。

起動順序の変更を保存するためにF10キーまたはF12キーを押すと、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)の[起動オプション]メニューから起動デバイスが消える可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

事前要件

Service Pack for ProLiant(SPP)から入手可能なWindows用のiLO 5 Channel Interface Driver(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

プラットフォーム上でiLO CLIシリアルインターフェイスも有効になっている場合、シリアルポートが正しく機能しない問題に対処しました。これにより、シリアルボーレートが正しく構成されず、ホストからのシリアル出力が破損したり、出力が表示されなくなったりする可能性がありました。

UEFIシリアルデバッグ出力がBIOSシリアルコンソールで誤って表示される問題に対処しました。この問題は、サーバーの再起動時に定期的に見られます。この問題はv2.30のシステムROMで発生し、以前のバージョンのシステムROMには影響しませんでした。

USBマウスが接続されている場合、レガシーブートモードで構成されているとシステムがPOSTで応答しなくなるという非常にまれな問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモードで構成されているシステムには影響しません。

起動順序の変更を保存するためにF10キーまたはF12キーを押すと、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)の[起動オプション]メニューから起動デバイスが消える可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE ProLiant DL160 Gen10/DL180 Gen10 (U31)サーバー

バージョン: 2.36_07-16-2020 **(オプション)**
ファイル名: cp044662.compsig; cp044662.exe

重要な注意！

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL160 Gen10/DL180 Gen10システムROM - U31

リリースバージョン:

2.36_07-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.32_03-09-2020

以前のリビジョン:

2.34_04-08-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

レガシーブートモードでUSBデバイスからFreeBSD R12.1を起動すると、システムがレッドスクリーンで応答しなくなったりハングしたりする問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモード用に構成されたシステム、または他のタイプのメディアからブートする場合には影響しませんでした。

システム構成ユーティリティでデュアルポートネットワーキングデバイスのポート1が2つ表示され、ポート1およびポート2として正しく表示されないことがある問題に対処しました。これはデバイスの機能に影響を与えませんでした。

既知の問題点:

なし

事前要件

Service Pack for ProLiant(SPP)から入手可能なWindows用のiLO 5 Channel Interface Driver(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

プラットフォーム上でiLO CLIシリアルインターフェイスも有効になっている場合、シリアルポートが正しく機能しない問題に対処しました。これにより、シリアルボーレートが正しく構成されず、ホストからのシリアル出力が破損し

たり、出力が表示されなくなったりする可能性がありました。

UEFIシリアルデバッグ出力がBIOSシリアルコンソールで誤って表示される問題に対処しました。この問題は、サーバーの再起動時に定期的に見られます。この問題はv2.30のシステムROMで発生し、以前のバージョンのシステムROMには影響しませんでした。

USBマウスが接続されている場合、レガシーブートモードで構成されているとシステムがPOSTで応答しなくなるという非常にまれな問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモードで構成されているシステムには影響しません。

起動順序の変更を保存するためにF10キーまたはF12キーを押すと、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)の[起動オプション]メニューから起動デバイスが消える可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE ProLiant DL380 Gen10 (U30)サーバー

バージョン: 2.36_07-16-2020 **(オプション)**
ファイル名: cp044661.compsig; cp044661.exe

重要な注意！

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL380 Gen10システムROM - U30

リリースバージョン:

2.36_07-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.32_03-09-2020

以前のリビジョン:

2.34_04-08-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

HPE NS204i-pコントローラーを含むようにサーバーのアップデートされた温度サポート。

修正された問題点:

レガシーブートモードでUSBデバイスからFreeBSD R12.1を起動すると、システムがレッドスクリーンで応答しなくなったりハングしたりする問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモード用に構成されたシステム、または他のタイプのメディアからブートする場合には影響しませんでした。

システム構成ユーティリティでデュアルポートネットワーキングデバイスのポート1が2つ表示され、ポート1およびポート2として正しく表示されないことがある問題に対処しました。これはデバイスの機能に影響を与えませんでした。

既知の問題点:

なし

事前要件

Service Pack for ProLiant(SPP)から入手可能なWindows用のiLO 5 Channel Interface Driver(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

プラットフォーム上でiLO CLIシリアルインターフェイスも有効になっている場合、シリアルポートが正しく機能しない問題に対処しました。これにより、シリアルボーレートが正しく構成されず、ホストからのシリアル出力が破損したり、出力が表示されなくなったりする可能性がありました。

UEFIシリアルデバッグ出力がBIOSシリアルコンソールで誤って表示される問題に対処しました。この問題は、サーバーの再起動時に定期的に見られます。この問題はv2.30のシステムROMで発生し、以前のバージョンのシステムROMには影響しませんでした。

USBマウスが接続されている場合、レガシーブートモードで構成されているとシステムがPOSTで応答しなくなるという非常にまれな問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモードで構成されているシステムには影響しません。

起動順序の変更を保存するためにF10キーまたはF12キーを押すと、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)の[起動オプション]メニューから起動デバイスが消える可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

プラットフォームの最新の熱サポートにアップデートされました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにRESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE ProLiant DL385 Gen10 Plus (A42) サーバー

バージョン: 1.30_07-18-2020 **(推奨)**
ファイル名: cp041357.exe; cp041357_part1.compsig; cp041357_part2.compsig

重要な注意！

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL385 Gen10 PlusシステムROM - A42

リリースバージョン:

1.30_07-18-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.30_07-18-2020

以前のリビジョン:

1.26_05-11-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

TRRespass と Targeted Row Refresh の悪用を緩和するために、DRAM Burst Refresh Modeを新しいBIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) オプションに追加しました。TRRespassの脆弱性を緩和するには、このオプションを無効に設定する必要があります。このオプションを無効に設定すると、システムパフォーマンスへの影響が最小限になる場合があります。デフォルト設定は、[有効]です。

C1ステートのMinimum Processor Idle Power Core C-State設定を新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションに追加しました。このオプションを使用すると、C6ステートのパフォーマンスに影響を与えることなく、特定のワークロード中に電力を節約できます。

修正された問題点:

LRDIMMでメモリを集中的に使用するワークロードを実行しているときに修正不可能なメモリエラーが発生する問題に対処しました。

パフォーマンスがわずかに低下する可能性がある問題に対処しました。

インテグレーテッドマネジメントログ(IML)で報告される回復不能なI/Oエラーを引き起こす可能性があるNVMeホットアドまたは削除の問題を解決しました。

UEFIシェルコマンドGetPciRomがPCI拡張デバイスドライバーの情報を表示しない場合がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

事前要件

Service Pack for ProLiant(SPP)から入手可能なWindows用のiLO 5 Channel Interface Driver(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

LRDIMMでメモリを集中的に使用するワークロードを実行しているときに修正不可能なメモリエラーが発生する問題に対処しました。

パフォーマンスがわずかに低下する可能性がある問題に対処しました。

インテグレーテッドマネジメントログ(IML)で報告される回復不能なI/Oエラーを引き起こす可能性があるNVMeホットアドまたは削除の問題を解決しました。

UEFIシェルコマンドGetPciRomがPCI拡張デバイスドライバーの情報を表示しない場合がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

TRRespass と Targeted Row Refresh の悪用を緩和するために、DRAM Burst Refresh Modeを新しいBIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) オプションに追加しました。TRRespassの脆弱性を緩和するには、このオプションを無効に設定する必要があります。このオプションを無効に設定すると、システムパフォーマンスへの影響が最小限になる場合があります。デフォルト設定は、[有効]です。

C1ステートのMinimum Processor Idle Power Core C-State設定を新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションに追加しました。このオプションを使用すると、C6ステートのパフォーマンスに影響を与えることなく、特定のワークロード中に電力を節約できます。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE ProLiant DL560 Gen10/DL580 Gen10 (U34)サーバー

バージョン: 2.36_07-16-2020 **(オプション)**
ファイル名: cp044683.compsig; cp044683.exe

重要な注意！

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL560 Gen10/DL580 Gen10システムROM - U34

リリースバージョン:

2.36_07-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.32_03-09-2020

以前のリビジョン:

2.34_04-08-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

レガシーブートモードでUSBデバイスからFreeBSD R12.1を起動すると、システムがレッドスクリーンで応答しなくなったりハングしたりする問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモード用に構成されたシステム、または他のタイプのメディアからブートする場合には影響しませんでした。

システム構成ユーティリティでデュアルポートネットワーキングデバイスのポート1が2つ表示され、ポート1およびポート2として正しく表示されないことがある問題に対処しました。これはデバイスの機能に影響を与えませんでした。

既知の問題点:

なし

事前要件

Service Pack for ProLiant(SPP)から入手可能なWindows用のiLO 5 Channel Interface Driver(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

プラットフォーム上でiLO CLIシリアルインターフェイスも有効になっている場合、シリアルポートが正しく機能しない問題に対処しました。これにより、シリアルボーレートが正しく構成されず、ホストからのシリアル出力が破損したり、出力が表示されなくなったりする可能性がありました。

UEFIシリアルデバッグ出力がBIOSシリアルコンソールで誤って表示される問題に対処しました。この問題は、サーバーの再起動時に定期的に見られます。この問題はv2.30のシステムROMで発生し、以前のバージョンのシステムROMには影響しませんでした。

USBマウスが接続されている場合、レガシーブートモードで構成されているとシステムがPOSTで応答しなくなるという非常にまれな問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモードで構成されているシステムには影響しません。

起動順序の変更を保存するためにF10キーまたはF12キーを押すと、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)の[起動オプション]メニューから起動デバイスが消える可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE ProLiant MicroServer Gen10 Plus (U48) サーバー

バージョン: 2.18_06-24-2020 **(オプション)**
ファイル名: cp044719.compsig; cp044719.exe

重要な注意！

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant MicroServer Gen10 Plus システムROM - U48

リリースバージョン:

2.18_06-24-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.16_05-25-2020

以前のリビジョン:

2.16_05-25-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0543、CVE-2020-0548、CVE-2020-0549 として文書化されているセキュリティ脆弱性に対する緩和策を提供するインテルPentium プロセッサー用インテルマイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリのINTEL-SA-00320およびINTEL-SA-00329に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。このアップデートは、インテルXeonベースのプロセッサーを使用するシステムには影響しません。

レガシーブートモードでUSBデバイスからFreeBSD R12.1を起動すると、システムがレッドスクリーンで応答しなくなったりハングしたりする問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモード用に構成されたシステム、または他のタイプのメディアからブートする場合には影響しませんでした。

システム構成ユーティリティでデュアルポートネットワーキングデバイスのポート1が2つ表示され、ポート1およびポート2として正しく表示されないことがある問題に対処しました。これはデバイスの機能に影響を与えませんでした。

既知の問題点:

なし

事前要件

Service Pack for ProLiant(SPP)から入手可能なWindows用のiLO 5 Channel Interface Driver(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

このシステムROMのリビジョンには、CVE-2020-0543、CVE-2020-0548、およびCVE-2020-0549(CacheOutとも呼ばれる)として文書化されたセキュリティ上の脆弱性の緩和策を提供するインテルマイクロコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリのINTEL-SA-00320およびINTEL-SA-00329に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

このシステム ROMのリビジョンには、CVE-2020-0528およびCVE-2020-0529として文書化されたセキュリティ上の脆弱性に対する緩和策を提供するインテルリファレンスコードの最新リビジョンが含まれています。これらのセキュリティ上の脆弱性は、インテルセキュリティアドバイザリのINTEL-SA-00322に文書化されています。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

プラットフォーム上でiLO CLIシリアルインターフェイスも有効になっている場合、シリアルポートが正しく機能しない問題に対処しました。これにより、シリアルボーレートが正しく構成されず、ホストからのシリアル出力が破損したり、出力が表示されなくなったりする可能性がありました。

USBマウスが接続されている場合、レガシーブートモードで構成されているとシステムがPOSTで応答しなくなるという非常にまれな問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモードで構成されているシステムには影響しません。

起動順序の変更を保存するためにF10キーまたはF12キーを押すと、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)の[起動オプション]メニューから起動デバイスが消える可能性がある問題に対処しました。

iLOファームウェアのリセットが開始されたのと同時にサーバーがリセット(再起動)されたときに、サーバーがPOST中にレッドスクリーン例外(RSOD)で応答しなくなる問題に対処しました。iLOファームウェアをアップデートすると、iLOファームウェアがリセットされることに注意してください。

システムユーティリティのシステム情報データをFTP(ネットワーク)ロケーションに正常にエクスポートできなかった問題に対処しました。以前は、システムユーティリティはファイルが正常に保存されたと報告していましたが、実際の情報はネットワーク共有に保存されていませんでした。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE ProLiant XL230k Gen10 (U37)サーバー

バージョン: 2.36_07-16-2020 **(オプション)**
ファイル名: cp044284.compsig; cp044284.exe

事前要件

Service Pack for ProLiant(SPP)から入手可能なWindows用のiLO 5 Channel Interface Driver(CHIF)。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE Apollo 2000 Gen10/HPE ProLiant XL170r/XL190r Gen10 (U38) サーバー

バージョン: 2.36_07-16-2020 **(オプション)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u38-2.36_2020_07_16-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-system-u38-2.36_2020_07_16-1.1.x86_64.rpm

重要な注意！

重要な注意:

なし

提供名:

HPE Apollo 2000 Gen10/ProLiant XL170r/XL190r Gen10システムROM - U38

リリースバージョン:

2.34_04-08-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.32_03-09-2020

以前のリビジョン:

2.32_03-09-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

プラットフォームの最新の温度サポートにアップデートされました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにRESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

修正された問題点:

プラットフォーム上でiLO CLIシリアルインターフェイスも有効になっている場合、シリアルポートが正しく機能しない問題に対処しました。これにより、シリアルボーレートが正しく構成されず、ホストからのシリアル出力が破損したり、出力が表示されなくなったりする可能性がありました。

UEFIシリアルデバッグ出力がBIOSシリアルコンソールで誤って表示される問題に対処しました。この問題は、サーバーの再起動時に定期的に見られます。この問題はv2.30のシステムROMで発生し、以前のバージョンのシステムROMには影響しませんでした。

USBマウスが接続されている場合、レガシーブートモードで構成されているとシステムがPOSTで応答しなくなるという非常にまれな問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモードで構成されているシステムには影響しません。

起動順序の変更を保存するためにF10キーまたはF12キーを押すと、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)の[起動オプション]メニューから起動デバイスが消える可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

事前要件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

プラットフォーム上でiLO CLIシリアルインターフェイスも有効になっている場合、シリアルポートが正しく機能しない問題に対処しました。これにより、シリアルボーレートが正しく構成されず、ホストからのシリアル出力が破損したり、出力が表示されなくなったりする可能性がありました。

UEFIシリアルデバッグ出力がBIOSシリアルコンソールで誤って表示される問題に対処しました。この問題は、サーバーの再起動時に定期的に見られます。この問題はv2.30のシステムROMで発生し、以前のバージョンのシステムROMには影響しませんでした。

USBマウスが接続されている場合、レガシーブートモードで構成されているとシステムがPOSTで応答しなくなるという非常にまれな問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモードで構成されているシステムには影響しません。

起動順序の変更を保存するためにF10キーまたはF12キーを押すと、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)の[起動オプション]メニューから起動デバイスが消える可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE Apollo 4200 Gen10/HPE ProLiant XL420 Gen10 (U39) サーバー

バージョン: 2.36_07-16-2020 **(オプション)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u39-2.36_2020_07_16-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-system-u39-2.36_2020_07_16-1.1.x86_64.rpm

事前要件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

HPE RESTful APIを介して "RIS操作中に内部エラーが発生しました"というメッセージが返されると、サーバーのバックアップと復元機能が正しく動作しない場合があるという問題が解決されました。

2倍のリフレッシュレートで動作するようにメモリを設定しても、実際には1倍のリフレッシュレートでメモリが動作するという問題に対処しました。この問題はv2.00のシステムROMで発生し、以前のバージョンのシステムROMには影響しませんでした。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のNVMe PCIeリソースパディングオプションが、NVMeホットアドイベントをサポートするのに十分なリソースを適切に割り当てられない問題に対処しました。特定の構成では十分な量のリソースが予約されておらず、新しく追加されたドライブの存在を検出するために再起動が必要でした。

起動不可能な(フォーマットされていない)ドライブもシステムに存在する場合に、システムがUSBドライブから起動しないという問題に対処しました。この問題は、レガシーブートモードで設定されたシステムにのみ影響します。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE Apollo 4510 Gen10/HPE ProLiant XL450 Gen10 (U40) サーバー

バージョン: 2.36_07-16-2020 **(オプション)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u40-2.36_2020_07_16-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-system-u40-2.36_2020_07_16-1.1.x86_64.rpm

事前要件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

HPE RESTful APIを介して "RIS操作中に内部エラーが発生しました"というメッセージが返されると、サーバーのバックアップと復元機能が正しく動作しない場合があるという問題が解決されました。

2倍のリフレッシュレートで動作するようにメモリを設定しても、実際には1倍のリフレッシュレートでメモリが動作するという問題に対処しました。この問題はv2.00のシステムROMで発生し、以前のバージョンのシステムROMには影響しませんでした。この問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)のNVMe PCIeリソースパディングオプションが、NVMeホットアドイベントをサポートするのに十分なリソースを適切に割り当てられない問題に対処しました。特定の構成では十分な量のリソースが予約されておらず、新しく追加されたドライブの存在を検出するために再起動が必要でした。

起動不可能な(フォーマットされていない)ドライブもシステムに存在する場合に、システムがUSBドライブから起動しないという問題に対処しました。この問題は、レガシーブートモードで設定されたシステムにのみ影響します。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE ProLiant BL460c Gen10 (I41)サーバー

バージョン: 2.36_07-16-2020 **(オプション)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-i41-2.36_2020_07_16-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-system-i41-2.36_2020_07_16-1.1.x86_64.rpm

重要な注意！

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant BL460c Gen10システムROM - I41

リリースバージョン:

2.36_07-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.32_03-09-2020

以前のリビジョン:

2.34_04-08-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

レガシーブートモードでUSBデバイスからFreeBSD R12.1を起動すると、システムがレッドスクリーンで応答しなくなったりハングしたりする問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモード用に構成されたシステム、または他のタイプのメディアからブートする場合には影響しませんでした。

システム構成ユーティリティでデュアルポートネットワーキングデバイスのポート1が2つ表示され、ポート1およびポート2として正しく表示されないことがある問題に対処しました。これはデバイスの機能に影響を与えませんでした。

既知の問題点:

なし

事前要件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

レガシーブートモードでUSBデバイスからFreeBSD R12.1を起動すると、システムがレッドスクリーンで応答しなくなったりハングしたりする問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモード用に構成されたシステム、または他のタイプのメディアからブートする場合には影響しませんでした。

システム構成ユーティリティでデュアルポートネットワーキングデバイスのポート1が2つ表示され、ポート1およびポート2として正しく表示されないことがある問題に対処しました。これはデバイスの機能に影響を与えませんでした。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE ProLiant DL360 Gen10 (U32)サーバー

バージョン: 2.36_07-16-2020 **(オプション)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u32-2.36_2020_07_16-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-system-u32-2.36_2020_07_16-1.1.x86_64.rpm

重要な注意！

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL360 Gen10システムROM - U32

リリースバージョン:

2.36_07-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.32_03-09-2020

以前のリビジョン:

2.34_04-08-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

HPE NS204i-pコントローラーを含むようにサーバーのアップデートされた温度サポート。

修正された問題点:

レガシーブートモードでUSBデバイスからFreeBSD R12.1を起動すると、システムがレッドスクリーンで応答しなくなったりハングしたりする問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモード用に構成されたシステム、または他のタイプのメディアからブートする場合には影響しませんでした。

システム構成ユーティリティでデュアルポートネットワーキングデバイスのポート1が2つ表示され、ポート1およびポート2として正しく表示されないことがある問題に対処しました。これはデバイスの機能に影響を与えませんでした。

既知の問題点:

なし

事前要件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

プラットフォーム上でiLO CLIシリアルインターフェイスも有効になっている場合、シリアルポートが正しく機能しない問題に対処しました。これにより、シリアルボーレートが正しく構成されず、ホストからのシリアル出力が破損したり、出力が表示されなくなったりする可能性がありました。

UEFIシリアルデバッグ出力がBIOSシリアルコンソールで誤って表示される問題に対処しました。この問題は、サーバーの再起動時に定期的に見られます。この問題はv2.30のシステムROMで発生し、以前のバージョンのシステムROMには影響しませんでした。

USBマウスが接続されている場合、レガシーブートモードで構成されているとシステムがPOSTで応答しなくなるという非常にまれな問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモードで構成されているシステムには影響しません。

起動順序の変更を保存するためにF10キーまたはF12キーを押すと、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)の[起動オプション]メニューから起動デバイスが消える可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

プラットフォームの最新の熱サポートにアップデートされました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにRESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE ProLiant DL385 Gen10 (A40) サーバー

バージョン: 2.42_07-17-2020 **(推奨)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-a40-2.42_2020_07_17-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-system-a40-2.42_2020_07_17-1.1.x86_64.rpm

重要な注意！

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL385 Gen10システムROM - A40

リリースバージョン:

2.42_07-17-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.42_07-17-2020

以前のリビジョン:

2.40_05-11-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

TRRespass と Targeted Row Refresh の悪用を緩和するために、DRAM Burst Refresh Modeを新しいBIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) オプションに追加しました。TRRespassの脆弱性を緩和するには、このオプションを無効に設定する必要があります。このオプションを無効に設定すると、システムパフォーマンスへの影響が最小限になる場合があります。デフォルト設定は、[有効]です。

C1ステートのMinimum Processor Idle Power Core C-State設定を新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションに追加しました。このオプションを使用すると、C6ステートのパフォーマンスに影響を与えることなく、特定のワークロード中に電力を節約できます。

修正された問題点:

LRDIMMでメモリを集中的に使用するワークロードを実行しているときに修正不可能なメモリエラーが発生する問題に対処しました。

パフォーマンスがわずかに低下する可能性がある問題に対処しました。

インテグレーテッドマネジメントログ(IML)で報告される回復不能なI/Oエラーを引き起こす可能性があるNVMeホットアドまたは削除の問題を解決しました。

UEFIシェルコマンドGetPciRomがPCI拡張デバイスドライバーの情報を表示しない場合がある問題に対処しました。

重大なエラーとシステムのリセットを引き起こす可能性のあるAMD Epyc 1st Genプロセッサーの非常に断続的な問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

事前要件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

LRDIMM、AMD EPYC 7002プロセッサー、およびシステムROMのv2.38(2020年4月15日)リビジョンで構成されたシステムでのメモリ初期化の問題、修正されたメモリしきい値エラーまたは未修正のメモリエラーが発生する可能性が高くなる問題が解決されました。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE ProLiant ML110 Gen10 (U33)サーバー

バージョン: 2.36_07-16-2020 **(オプション)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u33-2.36_2020_07_16-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-system-u33-2.36_2020_07_16-1.1.x86_64.rpm

重要な注意！

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant ML110 Gen10システムROM - U33

リリースバージョン:

2.36_07-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.32_03-09-2020

以前のリビジョン:

2.34_04-08-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

レガシーブートモードでUSBデバイスからFreeBSD R12.1を起動すると、システムがレッドスクリーンで応答しなくなったりハングしたりする問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモード用に構成されたシステム、または他

のタイプのメディアからブートする場合には影響しませんでした。

システム構成ユーティリティでデュアルポートネットワーキングデバイスのポート1が2つ表示され、ポート1およびポート2として正しく表示されないことがある問題に対処しました。これはデバイスの機能に影響を与えませんでした。

既知の問題点:

なし

事前要件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

プラットフォーム上でiLO CLIシリアルインターフェイスも有効になっている場合、シリアルポートが正しく機能しない問題に対処しました。これにより、シリアルボーレートが正しく構成されず、ホストからのシリアル出力が破損したり、出力が表示されなくなったりする可能性がありました。

UEFIシリアルデバッグ出力がBIOSシリアルコンソールで誤って表示される問題に対処しました。この問題は、サーバーの再起動時に定期的に見られます。この問題はv2.30のシステムROMで発生し、以前のバージョンのシステムROMには影響しませんでした。

USBマウスが接続されている場合、レガシーブートモードで構成されているとシステムがPOSTで応答しなくなるという非常にまれな問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモードで構成されているシステムには影響しません。

起動順序の変更を保存するためにF10キーまたはF12キーを押すと、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)の[起動オプション]メニューから起動デバイスが消える可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux - HPE ProLiant ML350 Gen10 (U41) サーバー

バージョン: 2.36_07-16-2020 **(オプション)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-system-u41-2.36_2020_07_16-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-system-u41-2.36_2020_07_16-1.1.x86_64.rpm

重要な注意！

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant ML350 Gen10システムROM - U41

リリースバージョン:

2.36_07-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.32_03-09-2020

以前のリビジョン:

2.36_06-23-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

レガシーブートモードでUSBデバイスからFreeBSD R12.1を起動すると、システムがレッドスクリーンで応答しなくなったりハングしたりする問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモード用に構成されたシステム、または他のタイプのメディアからブートする場合には影響しませんでした。

システム構成ユーティリティでデュアルポートネットワーキングデバイスのポート1が2つ表示され、ポート1およびポート2として正しく表示されないことがある問題に対処しました。これはデバイスの機能に影響を与えませんでした。

既知の問題点:

なし

事前要件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

プラットフォーム上でiLO CLIシリアルインターフェイスも有効になっている場合、シリアルポートが正しく機能しない問題に対処しました。これにより、シリアルボーレートが正しく構成されず、ホストからのシリアル出力が破損したり、出力が表示されなくなったりする可能性がありました。

UEFIシリアルデバッグ出力がBIOSシリアルコンソールで誤って表示される問題に対処しました。この問題は、サーバーの再起動時に定期的に見られます。この問題はv2.30のシステムROMで発生し、以前のバージョンのシステムROMには影響しませんでした。

USBマウスが接続されている場合、レガシーブートモードで構成されているとシステムがPOSTで応答しなくなるという非常にまれな問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモードで構成されているシステムには影響しません。

起動順序の変更を保存するためにF10キーまたはF12キーを押すと、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)の[起動オプション]メニューから起動デバイスが消える可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant BL460c Gen10 (I41)サーバー

バージョン: 2.36_07-16-2020 **(オプション)**

ファイル名: cp044580.compsig; cp044580.exe

重要な注意！

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant BL460c Gen10システムROM - I41

リリースバージョン:

2.36_07-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.32_03-09-2020

以前のリビジョン:

2.34_04-08-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

レガシーブートモードでUSBデバイスからFreeBSD R12.1を起動すると、システムがレッドスクリーンで応答しなくなったりハングしたりする問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモード用に構成されたシステム、または他のタイプのメディアからブートする場合には影響しませんでした。

システム構成ユーティリティでデュアルポートネットワーキングデバイスのポート1が2つ表示され、ポート1およびポート2として正しく表示されないことがある問題に対処しました。これはデバイスの機能に影響を与えませんでした。

既知の問題点:

なし

事前要件

Service Pack for ProLiant(SPP)から入手可能なWindows用のiLO 5 Channel Interface Driver(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

レガシーブートモードでUSBデバイスからFreeBSD R12.1を起動すると、システムがレッドスクリーンで応答しなくなったりハングしたりする問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモード用に構成されたシステム、または他のタイプのメディアからブートする場合には影響しませんでした。

システム構成ユーティリティでデュアルポートネットワーキングデバイスのポート1が2つ表示され、ポート1およびポート2として正しく表示されないことがある問題に対処しました。これはデバイスの機能に影響を与えませんでした。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant DL325 Gen10 (A41) サーバー

バージョン: 2.42_07-17-2020 **(推奨)**
ファイル名: cp044639.compsig; cp044639.exe

重要な注意！

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL325 Gen10システムROM - A41

リリースバージョン:

2.42_07-17-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.42_07-17-2020

以前のリビジョン:

2.40_05-11-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

TRRespass と Targeted Row Refresh の悪用を緩和するために、DRAM Burst Refresh Modeを新しいBIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) オプションに追加しました。TRRespassの脆弱性を緩和するには、このオプションを無効に設定する必要があります。このオプションを無効に設定すると、システムパフォーマンスへの影響が最小限になる場合があります。デフォルト設定は、[有効]です。

C1ステートのMinimum Processor Idle Power Core C-State設定を新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションに追加しました。このオプションを使用すると、C6ステートのパフォーマンスに影響を与えることなく、特定のワークロード中に電力を節約できます。

修正された問題点:

LRDIMMでメモリを集中的に使用するワークロードを実行しているときに修正不可能なメモリエラーが発生する問題に対処しました。

パフォーマンスがわずかに低下する可能性がある問題に対処しました。

インテグレーテッドマネジメントログ(IML)で報告される回復不能なI/Oエラーを引き起こす可能性があるNVMeホットアドまたは削除の問題を解決しました。

UEFIシェルコマンドGetPciRomがPCI拡張デバイスドライバーの情報を表示しない場合がある問題に対処しました。

重大なエラーとシステムのリセットを引き起こす可能性のあるAMD Epyc 1st Genプロセッサーの非常に断続的な問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

事前要件

Service Pack for ProLiant(SPP)から入手可能なWindows用のiLO 5 Channel Interface Driver(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

LRDIMM、AMD EPYC 7002プロセッサー、およびシステムROMのv2.38(2020年4月15日)リビジョンで構成されたシステムでのメモリ初期化の問題、修正されたメモリしきい値エラーまたは未修正のメモリエラーが発生する可能性が高くなる問題が解決されました。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant DL325 Gen10 Plus (A41) サーバー

バージョン: 1.30_07-18-2020 **(推奨)**
ファイル名: cp041360.exe; cp041360_part1.compsig; cp041360_part2.compsig

重要な注意！

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL325 Gen10 PlusシステムROM - A43

リリースバージョン:

1.30_07-18-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

1.30_07-18-2020

以前のリビジョン:

1.26_05-11-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

TRRespass と Targeted Row Refresh の悪用を緩和するために、DRAM Burst Refresh Modeを新しいBIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) オプションに追加しました。TRRespassの脆弱性を緩和するには、このオプションを無効に設定する必要があります。このオプションを無効に設定すると、システムパフォーマンスへの影響が最小限になる場合があります。デフォルト設定は、[有効]です。

C1ステートのMinimum Processor Idle Power Core C-State設定を新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションに追加しました。このオプションを使用すると、C6ステートのパフォーマンスに影響を与えることなく、特定のワークロード中に電力を節約できます。

修正された問題点:

LRDIMMでメモリを集中的に使用するワークロードを実行しているときに修正不可能なメモリエラーが発生する問題に対処しました。

パフォーマンスがわずかに低下する可能性がある問題に対処しました。

インテグレーテッドマネジメントログ(IML)で報告される回復不能なI/Oエラーを引き起こす可能性があるNVMeホットアドまたは削除の問題を解決しました。

UEFIシェルコマンドGetPciRomがPCI拡張デバイスドライバーの情報を表示しない場合がある問題に対処しました。

吸気口の周囲温度が摂氏30度を超えると、サーバーのパフォーマンスが予想よりも遅くなることがある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

事前要件

Service Pack for ProLiant(SPP)から入手可能なWindows用のiLO 5 Channel Interface Driver(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

LRDIMMでメモリを集中的に使用するワークロードを実行しているときに修正不可能なメモリエラーが発生する問題に対処しました。

パフォーマンスがわずかに低下する可能性がある問題に対処しました。

インテグレーテッドマネジメントログ(IML)で報告される回復不能なI/Oエラーを引き起こす可能性があるNVMeホットアドまたは削除の問題を解決しました。

UEFIシェルコマンドGetPciRomがPCI拡張デバイスドライバーの情報を表示しない場合がある問題に対処しました。

吸気口の周囲温度が摂氏30度を超えると、サーバーのパフォーマンスが予想よりも遅くなることがある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

TRRespass と Targeted Row Refresh の悪用を緩和するために、DRAM Burst Refresh Modeを新しいBIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) オプションに追加しました。TRRespassの脆弱性を緩和するには、このオプションを無効に設定する必要があります。このオプションを無効に設定すると、システムパフォーマンスへの影響が最小限になる場合があります。デフォルト設定は、[有効]です。

C1ステートのMinimum Processor Idle Power Core C-State設定を新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションに追加しました。このオプションを使用すると、C6ステートのパフォーマンスに影響を与えることなく、特定のワークロード中に電力を節約できます。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant DL360 Gen10 (U32)サーバー

バージョン: 2.36_07-16-2020 **(オプション)**
ファイル名: cp044667.compsig; cp044667.exe

重要な注意！

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL360 Gen10システムROM - U32

リリースバージョン:

2.36_07-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.32_03-09-2020

以前のリビジョン:

2.34_04-08-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

HPE NS204i-pコントローラーを含むようにサーバーのアップデートされた温度サポート。

修正された問題点:

レガシーブートモードでUSBデバイスからFreeBSD R12.1を起動すると、システムがレッドスクリーンで応答しなくなったりハングしたりする問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモード用に構成されたシステム、または他のタイプのメディアからブートする場合には影響しませんでした。

システム構成ユーティリティでデュアルポートネットワーキングデバイスのポート1が2つ表示され、ポート1およびポート2として正しく表示されないことがある問題に対処しました。これはデバイスの機能に影響を与えませんでした。

既知の問題点:

なし

事前要件

Service Pack for ProLiant(SPP)から入手可能なWindows用のiLO 5 Channel Interface Driver(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

プラットフォーム上でiLO CLIシリアルインターフェイスも有効になっている場合、シリアルポートが正しく機能しない問題に対処しました。これにより、シリアルボーレートが正しく構成されず、ホストからのシリアル出力が破損したり、出力が表示されなくなったりする可能性がありました。

UEFIシリアルデバッグ出力がBIOSシリアルコンソールで誤って表示される問題に対処しました。この問題は、サーバーの再起動時に定期的に見られます。この問題はv2.30のシステムROMで発生し、以前のバージョンのシステムROMには影響しませんでした。

USBマウスが接続されている場合、レガシーブートモードで構成されているとシステムがPOSTで応答しなくなるという非常にまれな問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモードで構成されているシステムには影響しません。

起動順序の変更を保存するためにF10キーまたはF12キーを押すと、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)の[起動オプション]メニューから起動デバイスが消える可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

拡張

プラットフォームの最新の熱サポートにアップデートされました。

最新のBIOS/プラットフォーム構成オプションと一致するようにRESTful API HPE BIOS属性レジストリリソースをアップデートしました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant DL385 Gen10 (A40) サーバー

バージョン: 2.42_07-17-2020 **(推奨)**
ファイル名: cp044653.compsig; cp044653.exe

重要な注意！

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant DL385 Gen10システムROM - A40

リリースバージョン:

2.42_07-17-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.42_07-17-2020

以前のリビジョン:

2.40_05-11-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

TRRespass と Targeted Row Refresh の悪用を緩和するために、DRAM Burst Refresh Modeを新しいBIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) オプションに追加しました。TRRespassの脆弱性を緩和するには、このオプションを無効に設定する必要があります。このオプションを無効に設定すると、システムパフォーマンスへの影響が最小限になる場合があります。デフォルト設定は、[有効]です。

C1ステートのMinimum Processor Idle Power Core C-State設定を新しいBIOS/プラットフォーム構成(RBSU)オプションに追加しました。このオプションを使用すると、C6ステートのパフォーマンスに影響を与えることなく、特定のワークロード中に電力を節約できます。

修正された問題点:

LRDIMMでメモリを集中的に使用するワークロードを実行しているときに修正不可能なメモリエラーが発生する問題に対処しました。

パフォーマンスがわずかに低下する可能性がある問題に対処しました。

インテグレーテッドマネジメントログ(IML)で報告される回復不能なI/Oエラーを引き起こす可能性があるNVMeホットアドまたは削除の問題を解決しました。

UEFIシェルコマンドGetPciRomがPCI拡張デバイスドライバーの情報を表示しない場合がある問題に対処しました。

重大なエラーとシステムのリセットを引き起こす可能性のあるAMD Epyc 1st Genプロセッサーの非常に断続的な問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

事前要件

Service Pack for ProLiant(SPP)から入手可能なWindows用のiLO 5 Channel Interface Driver(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

LRDIMM、AMD EPYC 7002プロセッサー、およびシステムROMのv2.38(2020年4月15日)リビジョンで構成されたシステムでのメモリ初期化の問題、修正されたメモリしきい値エラーまたは未修正のメモリエラーが発生する可能性が高くなる問題が解決されました。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant ML110 Gen10 (U33)サーバー

バージョン: 2.36_07-16-2020 **(オプション)**
ファイル名: cp044689.compsig; cp044689.exe

重要な注意！

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant ML110 Gen10システムROM - U33

リリースバージョン:

2.36_07-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.32_03-09-2020

以前のリビジョン:

2.34_04-08-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

レガシーブートモードでUSBデバイスからFreeBSD R12.1を起動すると、システムがレッドスクリーンで応答しなくなったりハングしたりする問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモード用に構成されたシステム、または他のタイプのメディアからブートする場合には影響しませんでした。

システム構成ユーティリティでデュアルポートネットワーキングデバイスのポート1が2つ表示され、ポート1およびポート2として正しく表示されないことがある問題に対処しました。これはデバイスの機能に影響を与えませんでした。

既知の問題点:

なし

事前要件

Service Pack for ProLiant(SPP)から入手可能なWindows用のiLO 5 Channel Interface Driver(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

プラットフォーム上でiLO CLIシリアルインターフェイスも有効になっている場合、シリアルポートが正しく機能しない問題に対処しました。これにより、シリアルボーレートが正しく構成されず、ホストからのシリアル出力が破損したり、出力が表示されなくなったりする可能性がありました。

UEFIシリアルデバッグ出力がBIOSシリアルコンソールで誤って表示される問題に対処しました。この問題は、サーバーの再起動時に定期的に見られます。この問題はv2.30のシステムROMで発生し、以前のバージョンのシステムROMには影響しませんでした。

USBマウスが接続されている場合、レガシーブートモードで構成されているとシステムがPOSTで応答しなくなるという非常にまれな問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモードで構成されているシステムには影響しません。

起動順序の変更を保存するためにF10キーまたはF12キーを押すと、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)の[起動オプション]メニューから起動デバイスが消える可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - HPE ProLiant ML350 Gen10 (U41) サーバー

バージョン: 2.36_07-16-2020 **(オプション)**
ファイル名: cp044686.compsig; cp044686.exe

重要な注意！

重要な注意:

なし

提供名:

HPE ProLiant ML350 Gen10システムROM - U41

リリースバージョン:

2.36_07-16-2020

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

2.32_03-09-2020

以前のリビジョン:

2.36_06-23-2020

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

レガシーブートモードでUSBデバイスからFreeBSD R12.1を起動すると、システムがレッドスクリーンで応答しなくなったりハングしたりする問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモード用に構成されたシステム、または他のタイプのメディアからブートする場合には影響しませんでした。

システム構成ユーティリティでデュアルポートネットワーキングデバイスのポート1が2つ表示され、ポート1およびポート2として正しく表示されないことがある問題に対処しました。これはデバイスの機能に影響を与えませんでした。

既知の問題点:

なし

事前要件

Service Pack for ProLiant(SPP)から入手可能なWindows用のiLO 5 Channel Interface Driver(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

プラットフォーム上でiLO CLIシリアルインターフェイスも有効になっている場合、シリアルポートが正しく機能しない問題に対処しました。これにより、シリアルボーレートが正しく構成されず、ホストからのシリアル出力が破損したり、出力が表示されなくなったりする可能性がありました。

UEFIシリアルデバッグ出力がBIOSシリアルコンソールで誤って表示される問題に対処しました。この問題は、サーバーの再起動時に定期的に見られます。この問題はv2.30のシステムROMで発生し、以前のバージョンのシステムROMには影響しませんでした。

USBマウスが接続されている場合、レガシーブートモードで構成されているとシステムがPOSTで応答しなくなるという非常にまれな問題に対処しました。この問題は、UEFIブートモードで構成されているシステムには影響しません。

起動順序の変更を保存するためにF10キーまたはF12キーを押すと、BIOS/プラットフォーム構成(RBSU)の[起動オプション]メニューから起動デバイスが消える可能性がある問題に対処しました。

既知の問題点:

なし

ドライバー - チップセット

先頭

Windows用AMD EPYCプロセッサーの識別子

バージョン: 3.0.0.0 (B) **(オプション)**

ファイル名: cp040146.compsig; cp040146.exe

拡張

HPE ProLiant Gen10 Plusサーバーのサポートを追加します。

Windows用Intel Xeon E-2xxxプロセッサーの識別子

バージョン: 10.1.18015.8142 **(オプション)**
ファイル名: cp039323.compsig; cp039323.exe

拡張

HPE ProLiant MicroServer Gen10 Plusサーバーのサポートを追加します。

Windows用Intel Xeonスケーラブルプロセッサー(第1および第2世代)識別子

バージョン: 10.1.18015.8142 **(オプション)**
ファイル名: cp040561.compsig; cp040561.exe

拡張

Intelデバイス203A、203D、2078、および207Aのサポートを追加します。

ドライバー - Lights-Outマネジメント

先頭

ESXi 7.0用のHPE iLOネイティブドライバー

バージョン: 10.6.0 **(推奨)**
ファイル名: ilo-driver_700.10.6.0.10-1OEM.700.1.0.15843807_16345029.zip

拡張

VMware ESXi 7.0およびESXi 7.0 U1のサポート

ドライバー - ネットワーク

先頭

Windows Server 2012 R2用HPE Intel ixsドライバー

バージョン: 3.14.214.0 **(オプション)**
ファイル名: cp042030.compsig; cp042030.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.3.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品には、Windowsシステムアップデートでサポートされる改善が含まれています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562Tアダプター

Broadcom NetXtreme-Eドライバーfor Windows Server 2016

バージョン: 216.0.143.3 **(オプション)**
ファイル名: cp043516.compsig; cp043516.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*Broadcom NetXtreme-E Online Firmware Upgrade Utility for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.3.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 BCM57414 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10 Gb 2ポートBaseT BCM57416アダプター
- HPE Ethernet 10 Gb 2ポートBaseT BCM57416 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10 Gb 2ポートSFP+ BCM57412アダプター
- HPE Ethernet 10 Gb 2ポートSFP+ BCM57412 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 BCM57414アダプター

Broadcom NetXtreme-Eドライバーfor Windows Server 2019

バージョン: 216.0.143.3 **(オプション)**
ファイル名: cp043517.compsig; cp043517.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*Broadcom NetXtreme-E Online Firmware Upgrade Utility for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.3.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 BCM57414 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10 Gb 2ポートBaseT BCM57416アダプター
- HPE Ethernet 10 Gb 2ポートBaseT BCM57416 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10 Gb 2ポートSFP+ BCM57412アダプター
- HPE Ethernet 10 Gb 2ポートSFP+ BCM57412 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 BCM57414アダプター

HP Mellanox RoCE(RDMA over Converged Ethernet)ドライバーfor Red Hat Enterprise Linux 7 Update 8 (x86_64)

バージョン: 4.9 **(推奨)**
ファイル名: kmod-mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.0.1.7.1.gd3d963b.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.0.1.7.1.gd3d963b.rhel7u8.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.0.1.7.1.gd3d963b.rhel7u8.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.0.1.7.1.gd3d963b.rhel7u8.x86_64.rpm

修正

以下の問題点がバージョン4.9で修正されました。

- EEH(拡張エラー処理)を挿入すると、次のような余分なカーネル出力が発生する可能性がある問題:"EEH: Might be infinite loop in mlx5_core driver"が修正されました。
- デフォルト以外のカーネルを備えたRPMベースのOSで、(-add-kernel-supportを使用して)インストーラーを再作成した後にレポジトリを使用すると、ドライバーが正しくインストールされませんでした。
- perftestパッケージのタイプミスで、ヘルプメッセージにGb/sとMB/sの間の変換結果が誤って表示されました(2^20ではなく20^2)。
- LAGスレーブの1つがダウンすると、LAGの非アクティブ化に失敗し、最終的に帯域幅が低下しました。
- mlx5ドライバーでは、/sys/kernel/debug/にある開いているすべてのethポートのサブディレクトリを維持します。デフォルトのネットワーク名前空間の場合、サブディレクトリ名は"eth8"のようなインターフェイスの名前です。デフォルト以外のネットワーク名前空間に移動されたネットワークインターフェイスの新しい規則では、インターフェイス名の後に"@"とポートのPCI IDが続きます。例:"eth8@0000:af:00.3"。
- 以前は、esp6_offloadモジュールが正常にロードされない場合に"openibd"スクリプトのロードに失敗していました。
- mpi-selectorsパッケージのperl-Getopt-Longシステムパッケージへの依存関係を追加しました。RPMベースのOSの最小インストールでは、mpi-selectrosをインストールすると、必須のシステムパッケージperl-Getopt-Longもインストールされます。
- 特定のまれなシナリオで、Rxページが補充されないために、同じページフラグメントが誤って2つの異なるRx記述子に割り当てられるようになりました。
- SLES15 SP1のerrataカーネルでドライバーのロードに関する問題がありました。
- TCツールを使用してヘアピンフローを追加できないヘアピン機能の問題が修正されました。
- EEHの場合、WQ(作業キュー)のフラッシュが適切に処理されませんでした。
- RMPP madを集中的に使用するアプリケーションを終了すると、まれにカーネルがクラッシュするシナリオ。
- ユーザー空間コマンドの実行と並行してAER/スロットリセットが行われると、カーネルがクラッシュする可能性のあるシナリオ。
- SwitchDevモードのPFのsysfsで欠落していたECN(Explicit Congestion Notification)構成を追加しました。
- コマンドに対するファームウェアの応答時間が非常に長くなると、タイムアウト時に一部のコマンドが失敗しました。その後、ドライバーが誤ったエントリーでタイムアウトの完了をトリガーし、ヌルポインター呼び出しトレースが発生した可能性があります。
- 次のNetDev操作を使用する古いXDP_REDIRECTインフラストラクチャを備えたカーネルのドライバーサポートを追加しました:.ndo_xdp_flushおよび.ndo_xdp_xmit。
- Open MPI RPMオプション--excludedocsを使用したときにドキュメントに関連しないファイルが削除されました。
- 以前のMLNX_OFEDバージョンの起動プロセスを維持するために、udevトリガーによる一部のモジュールの自動ロードを無効にしました。
- rdma_resolve_addr()関数でRDMA接続ID(cm_id)の参照カウント(refcount)がインクリメントされなかったために、cm_idのUse-After-Freeアクセスが発生しました。cm_idのrefcountをインクリメントするように修正が適用されました
- 2つのポートを同時にSwitchDevモードに移行したときにカーネルパニックが発生する競合状態。
- SwitchDevモードでのsysfsハードウェアカウンターへのアクセスを許可しました
- 実行対象のコアを決定するために、RXページのリサイクルフローで関数smp_processor_id()が呼び出されます。これは、NAPIコンテキストで実行するためのものです。しかし、バックポート中のバグにより、RXページのリサイクルがRQクローズフローで不要なときにも誤って呼び出されました。
- 再起動後にポートリンク状態が(管理状態の関与なしに)"アップ"に自動的に変更されました。
- SLES 11 OSで動作しているときにConnectX-3アダプターカードがフリーズしました。
- ポートスペースが小さいときに、RDMA CM(リモートダイレクトメモリアクセス通信マネージャー)接続が失敗しました。
- VxLANインターフェイスを介したOVS(Open VSwitch)オフロードおよび非オフロードによるトラフィックのミラーリングがサポートされるようになりました。注記:カーネル4.9の場合、必ず専用のOVSバージョンを使用してください。
- ボンディングデバイスがアクティブ/アクティブモードのときにVF LAGを使用した場合、fwresetを実行すると、両方のPFでトラフィックが等しくなくなり、PFが回線速度に到達しません。
- SwitchDevモードでVF(仮想機能)netdevice上にボンディングが作成された場合、VF netdeviceはリプレゼンテーションネットデバイスとして扱われます。これにより、mlx5_coreドライバーがボンディングデバイスに関連するnetdeviceイベントを受信した場合にクラッシュしました。
- VF LAGモードでの不適切なアフィニティの発生に続いて、スイッチのポートがアップ/ダウンした後にトラフィックが送信されていた問題。
- CentOS 7.2 OSでのVLAN(仮想ローカルエリアネットワーク)ヘッダーの書き換えのサポートを追加しました。

拡張

バージョン4.9では次の変更点と新機能が追加されました:

- **ConnectX-5以上のアダプターの場合**

以下の機能のサポートを追加しました。

- デバッグ機能を改善するために、devlinkツールを使用して構成スペースをダンプするオプション。
- 従来のTXディスクリプター(WQE、ワークキューエレメント)は送信用の単一のパケットを記述します。XDP送信フローでのマルチパケットTX WQEというHW機能のドライバーサポートを追加しました。これにより、HWで、複数のパケットを記述する新しい改善されたWQEレイアウトの使用が可能になります。実際、この機能によってPCI帯域幅とトランザクションが節約され、送信パケットの速度が向上します。
- GENEVEのカプセル化/非カプセル化ルールのオフロード。
- XDP送信フロー用に単一のパケットではなく複数のパケットを記述する新しい改善されたWQEレイアウトを使用するマルチパケットTxというハードウェア機能のドライバーサポート。これにより、PCI帯域幅とトランザクションが節約され、送信パケットの速度が向上します。
- ソフトウェアステアリングメカニズムを使用したCT(接続追跡)ルールのアップデート。
- ソフトウェアステアリングメカニズムを使用したリモートミラーリングルールのアップデート。

- **ConnectX-4以上のアダプターの場合**

以下の機能のサポートを追加しました。

- 物理ポートのバッファー不足のためにドロップされた受信パケットの数をカウントする、優先順位ごとのrx_prio[p]_discards破棄カウンターを公開しました。
- MPLSタグ付きトラフィックのTSOおよびCSUMオフロード機能をレポートし、カーネルスタックでこれらのオフロードを使用できるようにします。
- mlx5eの最大結合チャネルで、ドライバーの最大結合チャネル値を64から128に増やしました(ただし、OOB値は64を超えないので注意してください)。128が上限です。ファームウェアによって構成されたコアとMSIXの数に応じて、ホストでの最大値がこれよりも下がる可能性があります。
- 次のRoCEアクセラレーターカウンターを追加しました。
  - roce_adp_retrans - RoCEトラフィックのアダプティブ再送信の数をカウントします。
  - roce_adp_retrans_to - RoCEトラフィックがアダプティブ再送信のためにタイムアウトに達した回数をカウントします。
  - roce_slow_restart - RoCEスローリスタートが使用された回数をカウントします。
  - roce_slow_restart_cnps - RoCEスローリスタートによってCNPパケットが生成された回数をカウントします。roce_slow_restart_trans - RoCEスローリスタートによって状態がスローリスタートに変更された回数をカウントします。
- ユーザーは、実験的なVerbsを使用してリラックスオーダリングアクセスフラグでメモリ領域を登録します。これにより、アーキテクチャやシナリオに応じてパフォーマンスが向上する可能性があります。

- **すべてのHCAの場合**

以下の機能のサポートを追加しました。

- ibdev2netdevツールの出力が変更されたため、ボンディングデバイスがスレーブインターフェイスではなくボンディングを指すようになりました。
- Cookieエラーやタイムアウトなど、RXキューで発生するエラーの監視およびエラーからの回復。
- ドアベルの使用量を必要最低限に減らすことにより、GSO(Generic Segmentation Offload)ワークロードのパフォーマンスを改善しました。
- TX CQE(完了キューエントリー)の圧縮。CQEをまとめて圧縮することにより、送信PCIe帯域幅を節約します。デフォルトでは無効になっています。ethtoolのプライベートフラグで構成可能です。
- devlinkによるファームウェアバージョンのクエリ―:devlinkツールを使用して、実行中および保存されているファームウェアバージョンをクエリするオプションを追加しました。
- devlinkによるファームウェアフラッシュのアップデート:devlinkツールを使用してフラッシュ内のファームウェアイメージをアップデートするオプションを追加しました。使用法:devlink dev flash file .mfa2 このアップデートの実行方法の詳細は、MFTユーザーマニュアルの「Updating Firmware Using ethtool/devlink and .mfa2 File」セクションを参照してください。
- Rx/Txレポーターに関するエラーによってトリガーされるWQE(ワークキューエレメント)のダンプ。また、(エラーによってトリガーされない)一部のダンプは、ユーザーがdevlink healthレポーターを使用して取得できます。
- TSO、CSUM、およびRSSのGENEVEでトンネル化されたハードウェアオフロード。
- MPLSタグ付きトラフィック用のTCPセグメンテーションとチェックサムオフロードのサポート。

HPE Blade Emulex 10/20 GbE iSCSIドライバーfor Windows Server 2012 R2

バージョン: 12.0.1171.0 **(オプション)**
ファイル名: cp039930.compsig; cp039930.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Firmware Flash for Emulex* コンバージドネットワークアダプター - *Windows (x64)*、バージョン2019.03.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Blade Emulex 10/20 GbE iSCSIドライバーfor Windows Server 2016

バージョン: 12.0.1171.0 **(オプション)**
ファイル名: cp039931.compsig; cp039931.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Firmware Flash for Emulex* コンバージドネットワークアダプター - *Windows (x64)*、バージョン2019.03.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Blade Emulex 10/20 GbE iSCSIドライバーfor Windows Server 2019

バージョン: 12.0.1171.0 **(オプション)**
ファイル名: cp039932.compsig; cp039932.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Firmware Flash for Emulex* コンバージドネットワークアダプター - *Windows (x64)*、バージョン2019.03.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HP FlexFabric 20Gb 2ポート 650Mアダプター

HPE Blade Emulex 10/20GbE iSCSIドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7

バージョン: 12.0.1259.0-1 **(オプション)**
ファイル名: kmod-be2iscsi_bl-12.0.1259.0-1.rhel7u6.x86_64.compsig; kmod-be2iscsi_bl-12.0.1259.0-1.rhel7u6.x86_64.rpm; kmod-be2iscsi_bl-12.0.1259.0-1.rhel7u7.x86_64.compsig; kmod-be2iscsi_bl-12.0.1259.0-1.rhel7u7.x86_64.rpm

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Emulex*コンバージドネットワークアダプター用*HPE*ファームウェアフラッシュ - *Linux(x64)*、バージョン2019.12.01で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

これらのドライバーは、SUMがサポートするシステムにインストールするためにそれらを正しく識別することができるビルド設定で再コンパイルされました。

拡張

これらのドライバーは、最新のファームウェアとの互換性を維持するためにアップデートされています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Blade Emulex 10/20GbE iSCSIドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12

バージョン: 12.0.1259.0-1 **(オプション)**
ファイル名: be2iscsi_bl-kmp-default-12.0.1259.0_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.compsig; be2iscsi_bl-kmp-default-12.0.1259.0_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.rpm; be2iscsi_bl-kmp-default-12.0.1259.0_k4.4.103_6.38-1.sles12sp3MU5.x86_64.compsig; be2iscsi_bl-kmp-default-12.0.1259.0_k4.4.103_6.38-1.sles12sp3MU5.x86_64.rpm

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Emulex*コンバージドネットワークアダプター用*HPE*ファームウェアフラッシュ - *Linux(x64)*、バージョン2019.12.01で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

これらのドライバーは、SUMがサポートするシステムにインストールするためにそれらを正しく識別することができるビルド設定で再コンパイルされました。

拡張

これらのドライバーは、最新のファームウェアとの互換性を維持するためにアップデートされています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Blade Emulex 10/20GbE iSCSIドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 12.0.1259.0-1 **(オプション)**
ファイル名: be2iscsi_bl-kmp-default-12.0.1259.0_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.compsig; be2iscsi_bl-kmp-default-12.0.1259.0_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.rpm; be2iscsi_bl-kmp-default-12.0.1259.0_k4.12.14_23-1.sles15sp0.x86_64.compsig; be2iscsi_bl-kmp-default-12.0.1259.0_k4.12.14_23-1.sles15sp0.x86_64.rpm

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Emulex*コンバージドネットワークアダプター用*HPE*ファームウェアフラッシュ - *Linux(x64)*、バージョン2019.12.01で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

これらのドライバーは、SUMがサポートするシステムにインストールするためにそれらを正しく識別することができるビルド設定で再コンパイルされました。

拡張

これらのドライバーは、最新のファームウェアとの互換性を維持するためにアップデートされています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Blade Emulex 10/20GbE iSCSIドライバーfor VMware vSphere 6.5

バージョン: 2019.12.20 **(オプション)**
ファイル名: cp039936.compsig; cp039936.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*Emulex*コンバージドネットワークアダプター用*HPE*ファームウェアフラッシュ - *VMware vSphere 6.5*、バージョン2019.03.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Blade Emulex 10/20GbE iSCSIドライバーfor VMware vSphere 6.7

バージョン: 2019.12.20 **(オプション)**
ファイル名: cp039935.compsig; cp039935.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*Emulex*コンバージドネットワークアダプター用*HPE*ファームウェアフラッシュ - *VMware vSphere 6.7*、バージョン2019.03.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Blade Emulex 10/20GbEドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12

バージョン: 12.0.1261.0-1 **(オプション)**
ファイル名: be2net_bl-kmp-default-12.0.1261.0_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.compsig; be2net_bl-kmp-default-12.0.1261.0_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.rpm; be2net_bl-kmp-default-12.0.1261.0_k4.4.103_6.38-1.sles12sp3MU5.x86_64.compsig; be2net_bl-kmp-default-12.0.1261.0_k4.4.103_6.38-1.sles12sp3MU5.x86_64.rpm

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Emulex*コンバージドネットワークアダプター用*HPE*ファームウェアフラッシュ - *Linux(x64)*、バージョン2019.12.01で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

これらのドライバーは、SUMがサポートするシステムにインストールするためにそれらを正しく識別することができるビルド設定で再コンパイルされました。

拡張

これらのドライバーは、最新のファームウェアとの互換性を維持するためにアップデートされています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Blade Emulex 10/20GbEドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 12.0.1261.0-1 **(オプション)**
ファイル名: be2net_bl-kmp-default-12.0.1261.0_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.compsig; be2net_bl-kmp-default-12.0.1261.0_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.rpm; be2net_bl-kmp-default-12.0.1261.0_k4.12.14_23-1.sles15sp0.x86_64.compsig; be2net_bl-kmp-default-12.0.1261.0_k4.12.14_23-1.sles15sp0.x86_64.rpm

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Emulex*コンバージドネットワークアダプター用*HPE*ファームウェアフラッシュ - *Linux(x64)*、バージョン2019.12.01で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

これらのドライバーは、SUMがサポートするシステムにインストールするためにそれらを正しく識別することができるビルド設定で再コンパイルされました。

拡張

これらのドライバーは、最新のファームウェアとの互換性を維持するためにアップデートされています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Blade Emulex 10/20GbEドライバーfor Red Hat Enterprise Linux 7

バージョン: 12.0.1261.0-1 **(オプション)**
ファイル名: kmod-be2net_bl-12.0.1261.0-1.rhel7u6.x86_64.compsig; kmod-be2net_bl-12.0.1261.0-1.rhel7u6.x86_64.rpm; kmod-be2net_bl-12.0.1261.0-1.rhel7u7.x86_64.compsig; kmod-be2net_bl-12.0.1261.0-1.rhel7u7.x86_64.rpm

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Emulex*コンバージドネットワークアダプター用*HPE*ファームウェアフラッシュ - *Linux(x64)*、バージョン2019.12.01で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

これらのドライバーは、SUMがサポートするシステムにインストールするためにそれらを正しく識別することができるビルド設定で再コンパイルされました。

拡張

これらのドライバーは、最新のファームウェアとの互換性を維持するためにアップデートされています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Blade Emulex 10/20GbEドライバーfor VMware vSphere 6.5

バージョン: 2020.03.09 **(オプション)**
ファイル名: cp042919.compsig; cp042919.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Firmware Flash for Emulex Converged Network Adapters for VMware vSphere 6.5*、バージョン2019.12.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、ネットワークの接続性に影響するvmnicフラッピングの問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Blade Emulex 10/20GbEドライバーfor VMware vSphere 6.7

バージョン: 2020.03.09 **(オプション)**
ファイル名: cp042920.compsig; cp042920.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Emulex*コンバージドネットワークアダプター用*HPE*ファームウェアフラッシュ - *VMware vSphere 6.7*、バージョン2019.12.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、ネットワークの接続性に影響するvmnicフラッピングの問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Blade Emulex 10/20GbEドライバーfor Windows Server 2012 R2

バージョン: 12.0.1195.0 **(オプション)**
ファイル名: cp039927.compsig; cp039927.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Firmware Flash for Emulex* コンバージドネットワークアダプター - *Windows (x64)*、バージョン2019.03.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Blade Emulex 10/20GbEドライバーfor Windows Server 2016

バージョン: 12.0.1195.0 **(オプション)**

ファイル名: cp039928.compsig; cp039928.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Firmware Flash for Emulex* コンバージドネットワークアダプター - *Windows (x64)*、バージョン2019.03.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Blade Emulex 10/20GbEドライバーfor Windows Server 2019

バージョン: 12.0.1195.0 **(オプション)**
ファイル名: cp039929.compsig; cp039929.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Firmware Flash for Emulex* コンバージドネットワークアダプター - *Windows (x64)*、バージョン2019.03.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター

HPE Blade Intel ixgbenドライバーfor VMware vSphere 6.5

バージョン: 2019.12.20 **(オプション)**
ファイル名: cp039952.compsig; cp039952.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade Intel Online Firmware Upgrade Utility for VMware*、バージョン1.0.7以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、PCIeリンクがダウンした場合に再帰が正しく終了するように、再帰終了条件を修正します。

この製品は、SFP+モジュールがない場合にixgbenドライバーのCPUオーバーヘッドが高くなる問題に対処します。

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560Mアダプター

HPE Blade Intel ixgbenドライバーfor VMware vSphere 6.7

バージョン: 2019.12.20 **(オプション)**
ファイル名: cp039953.compsig; cp039953.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade Intel Online Firmware Upgrade Utility for VMware*、バージョン1.0.7以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、PCIeリンクがダウンした場合に再帰が正しく終了するように、再帰終了条件を修正します。

この製品は、SFP+モジュールがない場合にixgbenドライバーのCPUオーバーヘッドが高くなる問題に対処します。

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560Mアダプター

HPE Blade Intel ixgbevfドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7

バージョン: 4.6.2-1 (B) **(オプション)**
ファイル名: kmod-hp-ixgbevf_bl-4.6.2-1.rhel7u6.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbevf_bl-4.6.2-1.rhel7u6.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbevf_bl-4.6.2-1.rhel7u7.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbevf_bl-4.6.2-1.rhel7u7.x86_64.rpm

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ*for Linux*、バージョン1.0.14以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

これらのドライバーは、SUMがサポートするシステムにインストールするためにそれらを正しく識別することができるビルド設定で再コンパイルされました。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560Mアダプター

HPE Blade Intel ixgbevfドライバー for Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン: 4.6.2-1 (B) **(オプション)**
ファイル名: kmod-hp-ixgbevf_bl-4.6.2-1.rhel8u0.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbevf_bl-4.6.2-1.rhel8u0.x86_64.rpm

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ*for Linux*、バージョン1.0.14以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

これらのドライバーは、SUMがサポートするシステムにインストールするためにそれらを正しく識別することができるビルド設定で再コンパイルされました。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560Mアダプター

HPE Blade Intel ixgbevfドライバーfor SUSE Linux Enterprise Server 12

バージョン: 4.6.2-1 (B) **(オプション)**
ファイル名: hp-ixgbevf_bl-kmp-default-4.6.2_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.compsig; hp-ixgbevf_bl-kmp-default-4.6.2_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.rpm; hp-ixgbevf_bl-kmp-default-4.6.2_k4.4.73_5-1.sles12sp3.x86_64.compsig; hp-ixgbevf_bl-kmp-default-4.6.2_k4.4.73_5-1.sles12sp3.x86_64.rpm

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ*for Linux*、バージョン1.0.14以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

これらのドライバーは、SUMがサポートするシステムにインストールするためにそれらを正しく識別することができるビルド設定で再コンパイルされました。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560Mアダプター

HPE Blade Intel ixgbevfドライバーfor SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 4.6.2-1 (B) **(オプション)**
ファイル名: hp-ixgbevf_bl-kmp-default-4.6.2_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.compsig; hp-ixgbevf_bl-kmp-default-4.6.2_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.rpm; hp-ixgbevf_bl-kmp-default-4.6.2_k4.12.14_23-1.sles15sp0.x86_64.compsig; hp-ixgbevf_bl-kmp-default-4.6.2_k4.12.14_23-1.sles15sp0.x86_64.rpm

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ*for Linux*、バージョン1.0.14以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

これらのドライバーは、SUMがサポートするシステムにインストールするためにそれらを正しく識別することができるビルド設定で再コンパイルされました。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560Mアダプター

HPE Blade Intel ixgbeドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7

バージョン: 5.6.4-1 (B) **(オプション)**
ファイル名: kmod-hp-ixgbe_bl-5.6.4-1.rhel7u6.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbe_bl-5.6.4-1.rhel7u6.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbe_bl-5.6.4-1.rhel7u7.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbe_bl-5.6.4-1.rhel7u7.x86_64.rpm

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ*for Linux*、バージョン1.0.14以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

これらのドライバーは、SUMがサポートするシステムにインストールするためにそれらを正しく識別することができるビルド設定で再コンパイルされました。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560M アダプター

HPE Blade Intel ixgbeドライバー for Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン: 5.6.4-1 (B) **(オプション)**
ファイル名: kmod-hp-ixgbe_bl-5.6.4-1.rhel8u0.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbe_bl-5.6.4-1.rhel8u0.x86_64.rpm

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ*for Linux*、バージョン1.0.14以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

これらのドライバーは、SUMがサポートするシステムにインストールするためにそれらを正しく識別することができるビルド設定で再コンパイルされました。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560Mアダプター

HPE Blade Intel ixgbeドライバーfor SUSE Linux Enterprise Server 12

バージョン: 5.6.4-1 (B) **(オプション)**

ファイル名: hp-ixgbe_bl-kmp-default-5.6.4_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.compsig; hp-ixgbe_bl-kmp-default-5.6.4_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.rpm; hp-ixgbe_bl-kmp-default-5.6.4_k4.4.73_5-1.sles12sp3.x86_64.compsig; hp-ixgbe_bl-kmp-default-5.6.4_k4.4.73_5-1.sles12sp3.x86_64.rpm

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ*for Linux*、バージョン1.0.14以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

これらのドライバーは、SUMがサポートするシステムにインストールするためにそれらを正しく識別することができるビルド設定で再コンパイルされました。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560Mアダプター

HPE Blade Intel ixgbeドライバーfor SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 5.6.4-1 (B) **(オプション)**

ファイル名: hp-ixgbe_bl-kmp-default-5.6.4_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.compsig; hp-ixgbe_bl-kmp-default-5.6.4_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.rpm; hp-ixgbe_bl-kmp-default-5.6.4_k4.12.14_23-1.sles15sp0.x86_64.compsig; hp-ixgbe_bl-kmp-default-5.6.4_k4.12.14_23-1.sles15sp0.x86_64.rpm

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade Intel*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ*for Linux*、バージョン1.0.14以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

これらのドライバーは、SUMがサポートするシステムにインストールするためにそれらを正しく識別することができるビルド設定で再コンパイルされました。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560Mアダプター

HPE Blade Intel ixnドライバー for Windows Server 2012 R2

バージョン: 3.14.132.0 **(オプション)**

ファイル名: cp039939.compsig; cp039939.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade Intel*オンラインファームウェアアップデートユーティリティ*for Windows Server x64 Edition*、バージョン1.0.0.5以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

このソフトウェアは、以下のHPE Intel ネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560Mアダプター

HPE Blade Intel ixnドライバー for Windows Server 2016

バージョン: 4.1.131.0 **(オプション)**
ファイル名: cp039940.compsig; cp039940.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade Intel*オンラインファームウェアアップデートユーティリティ *for Windows Server x64 Edition*、バージョン1.0.0.5以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

このソフトウェアは、以下のHPE Intel ネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560Mアダプター

HPE Blade Intel ixnドライバー for Windows Server 2019

バージョン: 4.1.143.0 **(オプション)**
ファイル名: cp039941.compsig; cp039941.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade Intel*オンラインファームウェアアップデートユーティリティ *for Windows Server x64 Edition*、バージョン1.0.0.5以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

このソフトウェアは、以下のHPE Intel ネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560Mアダプター

HPE Blade Intel vxnドライバー for Windows Server 2012 R2

バージョン: 1.0.16.1 **(オプション)**
ファイル名: cp039943.compsig; cp039943.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade Intel*オンラインファームウェアアップデートユーティリティ *for Windows Server x64 Edition*、バージョン1.0.0.5以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

このソフトウェアは、以下のHPE Intel ネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560Mアダプター

HPE Blade Intel vxnドライバー for Windows Server 2016

バージョン: 2.0.210.0 **(オプション)**
ファイル名: cp039944.compsig; cp039944.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade Intel*オンラインファームウェアアップデートユーティリティ *for Windows Server x64 Edition*、バージョン1.0.0.5以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

このソフトウェアは、以下のHPE Intel ネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560Mアダプター

HPE Blade Intel vxnドライバー for Windows Server 2019

バージョン: 2.1.138.0 **(オプション)**
ファイル名: cp039945.compsig; cp039945.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade Intel*オンラインファームウェアアップデートユーティリティ *for Windows Server x64 Edition*、バージョン1.0.0.5以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

事前要件

このドライバーではホストドライバーバージョン4.1.143.0以降が必要です。

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

このソフトウェアは、以下のHPE Intel ネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560Mアダプター

HPE Blade QLogic iSCSI Offload IO Daemon for SUSE Linux Enterprise Server 12 SP4

バージョン: 2.11.5.13-3 (B) **(オプション)**
ファイル名: iscsiuio_bl-2.11.5.13-3.sles12sp4.x86_64.compsig; iscsiuio_bl-2.11.5.13-3.sles12sp4.x86_64.rpm

修正

この製品は、SUMがサポートするシステムにインストールするためにそれらを正しく識別することができるビルド設定で再コンパイルされました。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534Mアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630Mアダプター

HPE Blade QLogic iSCSI Offload IO Daemon for SUSE Linux Enterprise Server 15 SP0

バージョン: 2.11.5.13-3 (B) **(オプション)**
ファイル名: iscsiuio_bl-2.11.5.13-3.sles15sp0.x86_64.compsig; iscsiuio_bl-2.11.5.13-3.sles15sp0.x86_64.rpm

修正

この製品は、SUMがサポートするシステムにインストールするためにそれらを正しく識別することができるビルド設定で再コンパイルされました。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534Mアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630Mアダプター

HPE Blade QLogic NX2 10/20 GbE マルチファンクションドライバーfor Windows Server x64 Editions

バージョン: 7.13.171.0 (D) **(オプション)**
ファイル名: cp045325.compsig; cp045325.exe

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade QLogic NX2*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ*for Windows Server x64 Editions*、バージョン1.0.0.8以降で提供されるファームウェアが推奨されます。

拡張

この製品は、非公式にWindows 10をサポートするようになりました。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534Mアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630FLBアダプター

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630Mアダプター

HPE Blade QLogic NX2 10/20 GbEマルチファンクションドライバー for VMware vSphere 6.5

バージョン: 2019.12.20 **(オプション)**
ファイル名: cp039954.compsig; cp039954.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCP0xxxxx.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade QLogic NX2 Online Firmware Upgrade Utility for VMware*、バージョン1.0.8以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、NポートID仮想化(NPIV)VMの電源オフ中に見られるVMkernelの重大なエラー(PSOD)に対処します。

この製品は、FCoEで見られるPSODに対処しています。

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534Mアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630Mアダプター

HPE Blade QLogic NX2 10/20 GbEマルチファンクションドライバー for VMware vSphere 6.7

バージョン: 2019.12.20 **(オプション)**
ファイル名: cp039955.compsig; cp039955.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCP0xxxxx.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade QLogic NX2 Online Firmware Upgrade Utility for VMware*、バージョン1.0.8以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、NポートID仮想化(NPIV)VMの電源オフ中に見られるVMkernelの重大なエラー(PSOD)に対処します。

この製品は、FCoEで見られるPSODに対処しています。

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534Mアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630Mアダプター

HPE Blade QLogic NX2 10/20 GbEマルチファンクションドライバーfor Red Hat Enterprise Linux 7

バージョン: 7.14.63.1-1 (B) **(オプション)**
ファイル名: kmod-netxtreme2_bl-7.14.63.1-1.rhel7u6.x86_64.compsig; kmod-netxtreme2_bl-7.14.63.1-1.rhel7u6.x86_64.rpm; kmod-netxtreme2_bl-7.14.63.1-1.rhel7u7.x86_64.compsig; kmod-netxtreme2_bl-7.14.63.1-1.rhel7u7.x86_64.rpm

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade QLogic NX2*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ*for Linux*、バージョン1.0.9以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

これらのドライバーは、SANまたはローカルHDからの起動時にiSCSIターゲットの検出が完了しない問題を修正します。

これらのドライバーは、サポートするシステムにインストールするためにSUMがドライバーを正しく識別することができるビルド設定で再コンパイルされています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534Mアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630Mアダプター

HPE Blade QLogic NX2 10/20 GbEマルチファンクションドライバーfor Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン: 7.14.63.1-1 (B) **(オプション)**
ファイル名: kmod-netxtreme2_bl-7.14.63.1-1.rhel8u0.x86_64.compsig; kmod-netxtreme2_bl-7.14.63.1-1.rhel8u0.x86_64.rpm

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade QLogic NX2*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ*for Linux*、バージョン1.0.9以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

これらのドライバーは、SANまたはローカルHDからの起動時にiSCSIターゲットの検出が完了しない問題を修正します。

これらのドライバーは、サポートするシステムにインストールするためにSUMがドライバーを正しく識別することができるビルド設定で再コンパイルされています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534Mアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630Mアダプター

HPE Blade QLogic NX2 10/20 GbEマルチファンクションドライバーfor SUSE Linux Enterprise Server 12

バージョン: 7.14.63.1-1 (B) **(オプション)**
ファイル名: netxtreme2_bl-kmp-default-7.14.63.1_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.compsig; netxtreme2_bl-kmp-default-7.14.63.1_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.rpm; netxtreme2_bl-kmp-default-7.14.63.1_k4.4.73_5-1.sles12sp3.x86_64.compsig; netxtreme2_bl-kmp-default-7.14.63.1_k4.4.73_5-1.sles12sp3.x86_64.rpm

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade QLogic NX2*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ*for Linux*、バージョン1.0.9以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

これらのドライバーは、SANまたはローカルHDからの起動時にiSCSIターゲットの検出が完了しない問題を修正します。

これらのドライバーは、サポートするシステムにインストールするためにSUMがドライバーを正しく識別することができるビルド設定で再コンパイルされています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534Mアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630Mアダプター

HPE Blade QLogic NX2 10/20 GbEマルチファンクションドライバーfor SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 7.14.63.1-1 (B) **(オプション)**
ファイル名: netxtreme2_bl-kmp-default-7.14.63.1_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.compsig; netxtreme2_bl-kmp-default-7.14.63.1_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.rpm; netxtreme2_bl-kmp-default-7.14.63.1_k4.12.14_23-1.sles15sp0.x86_64.compsig; netxtreme2_bl-kmp-default-7.14.63.1_k4.12.14_23-1.sles15sp0.x86_64.rpm

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Blade QLogic NX2*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ*for Linux*、バージョン1.0.9以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

これらのドライバーは、SANまたはローカルHDからの起動時にiSCSIターゲットの検出が完了しない問題を修正します。

これらのドライバーは、サポートするシステムにインストールするためにSUMがドライバーを正しく識別することができるビルド設定で再コンパイルされています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534Mアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630Mアダプター

HPE Blade QLogic NX2 iSCSI Offload IO Daemon for Red Hat Enterprise Linux 7 Update 7

バージョン: 2.11.5.13-3 (B) **(オプション)**
ファイル名: iscsiuio_bl-2.11.5.13-3.rhel7u7.x86_64.compsig; iscsiuio_bl-2.11.5.13-3.rhel7u7.x86_64.rpm

修正

この製品は、SUMがサポートするシステムにインストールするためにそれらを正しく識別することができるビルド設定で再コンパイルされました。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534Mアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630Mアダプター

HPE Blade QLogic NX2 iSCSI Offload IO Daemon for Red Hat Enterprise Linux 8 Update 0

バージョン: 2.11.5.13-3 (B) **(オプション)**
ファイル名: iscsiuio_bl-2.11.5.13-3.rhel8u0.x86_64.compsig; iscsiuio_bl-2.11.5.13-3.rhel8u0.x86_64.rpm

修正

この製品は、SUMがサポートするシステムにインストールするためにそれらを正しく識別することができるビルド設定で再コンパイルされました。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534Mアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630Mアダプター

HPE Blade QLogic NX2 iSCSI Offload IO Daemon for SUSE Linux Enterprise Server 15 SP1

バージョン: 2.11.5.13-3 (B) **(オプション)**
ファイル名: iscsiuio_bl-2.11.5.13-3.sles15sp1.x86_64.compsig; iscsiuio_bl-2.11.5.13-3.sles15sp1.x86_64.rpm

修正

この製品は、SUMがサポートするシステムにインストールするためにそれらを正しく識別することができるビルド設定で再コンパイルされました。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534Mアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630Mアダプター

HPE Broadcom NetXtreme-E RoCEライブラリ for Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン: 216.0.88.3 **(オプション)**
ファイル名: libbnxt_re-216.0.88.3-rhel8u0.x86_64.compsig; libbnxt_re-216.0.88.3-rhel8u0.x86_64.rpm; README

事前要件

この製品をインストールする前に、*HPE Broadcom NetXtreme-E Drivers for Red Hat Enterprise Linux 8*、バージョン1.10.0-216.0.169.4以降をインストールする必要があります。

RoCEライブラリをインストールする前に、ターゲットシステムにlibibverbおよびrdma-coreパッケージをインストールしておく必要があります。まだインストールしていない場合は、オペレーティングシステムのインストールメディアからパッケージを取得できます。

修正

- この製品は、システムの再起動後にRoCEボンドが自動的に作成されない問題を修正します
- この製品は、ホットプラグ操作の実行後にエラー/パフォーマンスが劣化する可能性がある問題を修正します

拡張

- この製品は、リンクアグリゲーションが有効になっている場合、VFでのRoCEドライバーのロードを無効にするようになりました
- この製品は、rdma-core v22をサポートするようになりました

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター

HPE Broadcom NetXtreme-E ドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 1.10.1-216.0.169.4 **(オプション)**
ファイル名: bnxt_en-kmp-default-1.10.1_k4.12.14_120-216.0.169.4.sles12sp5.x86_64.compsig; bnxt_en-kmp-default-1.10.1_k4.12.14_120-216.0.169.4.sles12sp5.x86_64.rpm; bnxt_en-kmp-default-1.10.1_k4.12.14_94.41-216.0.169.4.sles12sp4.x86_64.compsig; bnxt_en-kmp-default-1.10.1_k4.12.14_94.41-216.0.169.4.sles12sp4.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Broadcom NetXtreme-E Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン1.9.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、アクティブなスレーブとしてVFを使用したフェイルオーバー後に、ボンド(vfおよびvirtio)インターフェイスでオフロードが発生しない問題を修正します
- この製品は、kdumpカーネルでドライバーのロードが失敗する問題を修正します。
- この製品は、RoCEドライバーが入出力メモリ管理ユニット(IOMMU)の警告を引き起こす問題を修正します
- この製品は、最大転送ユニット(MTU)が変更されたときのRoCEリンクアグリゲーション(RoCE LAG)の問題を修正します。
- この製品は、ハイバネーションからの再開後にリンクアップに失敗する問題を修正します
- この製品は、仮想機能RoCEドライバーによって仮想マシンが再起動される問題を修正します

拡張

- この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 12 Service Pack 5をサポートしています。
- この製品は、ファームウェアの戻り値から最大転送ユニット(MTU)のデフォルト値を設定するようになりました。
- この製品は、優先順位ベースのフロー制御(PFC)構成済みVLAN IDが0の場合、RDMA通信マネージャー(CM)を使用したユーザー確立接続をサポートしなくなりました

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631SFP28アダプター

HPE Broadcom NetXtreme-E ドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 1.10.1-216.0.169.4 **(オプション)**

ファイル名: bnxt_en-kmp-default-1.10.1_k4.12.14_195-216.0.169.4.sles15sp1.x86_64.compsig; bnxt_en-kmp-default-1.10.1_k4.12.14_195-216.0.169.4.sles15sp1.x86_64.rpm; bnxt_en-kmp-default-1.10.1_k4.12.14_23-216.0.169.4.sles15sp0.x86_64.compsig; bnxt_en-kmp-default-1.10.1_k4.12.14_23-216.0.169.4.sles15sp0.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Broadcom NetXtreme-E Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン1.9.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、アクティブなスレーブとしてVFを使用したフェイルオーバー後に、ボンド(vfおよびvirtio)インターフェイスでオフロードが発生しない問題を修正します
- この製品は、kdumpカーネルでドライバーのロードが失敗する問題を修正します。
- この製品は、RoCEドライバーが入出力メモリ管理ユニット(IOMMU)の警告を引き起こす問題を修正します
- この製品は、最大転送ユニット(MTU)が変更されたときのRoCEリンクアグリゲーション(RoCE LAG)の問題を修正します。
- この製品は、ハイバネーションからの再開後にリンクアップに失敗する問題を修正します
- この製品は、仮想機能RoCEドライバーによって仮想マシンが再起動される問題を修正します。
- この製品は、SUSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 1プラットフォームでSPP展開が実行されているときに、HPSUMがSUSE Linux Enterprise Server 15のドライバーを選択する問題を修正します。

拡張

- この製品は、優先順位ベースのフロー制御(PFC)構成済みVLAN IDが0の場合、RDMA通信マネージャー(CM)を使用したユーザー確立接続をサポートしなくなりました
- この製品は、ファームウェアの戻り値から最大転送ユニット(MTU)のデフォルト値を設定するようになりました

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター

HPE Broadcom NetXtreme-E ドライバー for VMware vSphere 6.5

バージョン: 2020.09.14 **(オプション)**
ファイル名: cp043310.compsig; cp043310.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Broadcom NetXtreme-E Online Firmware Upgrade Utility for VMware*、バージョン5.11.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、ESXiホスト上のRDMAイーサーネットコントローラーエラーの説明に関する問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター

HPE Broadcom NetXtreme-E ドライバー for VMware vSphere 6.7

バージョン: 2020.09.14 **(オプション)**
ファイル名: cp043311.compsig; cp043311.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Broadcom NetXtreme-E Online Firmware Upgrade Utility for VMware*、バージョン5.11.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、ESXiホスト上のRDMAイーサーネットコントローラーエラーの説明に関する問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター

HPE Broadcom NetXtreme-E ドライバー for Windows Server 2016

バージョン: 216.0.143.3 **(オプション)**
ファイル名: cp043303.compsig; cp043303.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Broadcom NetXtreme-E Online Firmware Upgrade Utility for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.3.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、アダプターの両方のインターフェイスで同時に実行すると、ライブファームウェアアップグレードが失敗する問題を修正します。
- この製品は、ネットワーク接続を構成するタイムアウトの問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター

HPE Broadcom NetXtreme-E ドライバー for Windows Server 2019

バージョン: 216.0.143.3 **(オプション)**
ファイル名: cp043304.compsig; cp043304.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Broadcom NetXtreme-E Online Firmware Upgrade Utility for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.3.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、アダプターの両方のインターフェイスで同時に実行すると、ライブファームウェアアップグレードが失敗する問題を修正します。
- この製品は、ネットワーク接続を構成するタイムアウトの問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター

HPE Broadcom NetXtreme-Eドライバーfor Red Hat Enterprise Linux 7

バージョン: 1.10.1-216.0.169.4 **(オプション)**

ファイル名: kmod-bnxt_en-1.10.1-216.0.169.4.rhel7u7.x86_64.compsig; kmod-bnxt_en-1.10.1-216.0.169.4.rhel7u7.x86_64.rpm; kmod-bnxt_en-1.10.1-216.0.169.4.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-bnxt_en-1.10.1-216.0.169.4.rhel7u8.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Broadcom NetXtreme-E Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン1.9.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、アクティブなスレーブとしてVFを使用したフェイルオーバー後に、ボンド(vfおよびvirtio)インターフェイスでオフロードが発生しない問題を修正します
- この製品は、kdumpカーネルでドライバーのロードが失敗する問題を修正します。
- この製品は、RoCEドライバーが入出力メモリ管理ユニット(IOMMU)の警告を引き起こす問題を修正します
- この製品は、最大転送ユニット(MTU)が変更されたときのRoCEリンクアグリゲーション(RoCE LAG)の問題を修正します。
- この製品は、ハイバネーションからの再開後にリンクアップに失敗する問題を修正します
- この製品は、仮想機能RoCEドライバーによって仮想マシンが再起動される問題を修正します

拡張

- この製品は現在、Red Hat Enterprise Linux 7 Update 8をサポートしています
- この製品は、ファームウェアの戻り値から最大転送ユニット(MTU)のデフォルト値を設定するようになりました
- この製品は、優先順位ベースのフロー制御(PFC)構成済みVLAN IDが0の場合、RDMA通信マネージャー(CM)を使用したユーザー確立接続をサポートしなくなりました

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター

HPE Broadcom NetXtreme-Eドライバーfor Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン: 1.10.1-216.0.169.4 **(オプション)**

ファイル名: kmod-bnxt_en-1.10.1-216.0.169.4.rhel8u0.x86_64.compsig; kmod-bnxt_en-1.10.1-216.0.169.4.rhel8u0.x86_64.rpm; kmod-bnxt_en-1.10.1-216.0.169.4.rhel8u1.x86_64.compsig; kmod-bnxt_en-1.10.1-216.0.169.4.rhel8u1.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Broadcom NetXtreme-E Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン1.9.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、アクティブなスレーブとしてVFを使用したフェイルオーバー後に、ボンド(vfおよびvirtio)インターフェイスでオフロードが発生しない問題を修正します
- この製品は、kdumpカーネルでドライバーのロードが失敗する問題を修正します。

- この製品は、RoCEドライバーが入出力メモリ管理ユニット(IOMMU)の警告を引き起こす問題を修正します
- この製品は、最大転送ユニット(MTU)が変更されたときのRoCEリンクアグリゲーション(RoCE LAG)の問題を修正します。
- この製品は、ハイバネーションからの再開後にリンクアップに失敗する問題を修正します
- この製品は、仮想機能RoCEドライバーによって仮想マシンが再起動される問題を修正します
- この製品は、OSの起動後に、errataカーネルがこのコンポーネントの代わりにインボックスドライバーをロードする問題を修正します

拡張

- この製品は、Red Hat Enterprise Linux 8 Update 1をサポートしています
- この製品は、ファームウェアの戻り値から最大転送ユニット(MTU)のデフォルト値を設定するようになりました
- この製品は、優先順位ベースのフロー制御(PFC)構成済みVLAN IDが0の場合、RDMA通信マネージャー(CM)を使用したユーザー確立接続をサポートしなくなりました

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター

HPE Broadcom NetXtreme-Eドライバーfor VMware vSphere 7.0

バージョン: 2020.09.14 **(オプション)**
ファイル名: cp043308.compsig; cp043308.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Broadcom NetXtreme-E Online Firmware Upgrade Utility for VMware*、バージョン5.11.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター

HPE Broadcom NetXtreme-Eドライバーfor Windows Server 2012 R2

バージョン: 214.0.247.1 **(オプション)**
ファイル名: cp041785.compsig; cp041785.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Broadcom NetXtreme-E Online Firmware Upgrade Utility for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.0.5以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、WindowsハイパーバイザーとWindows VMが使用されているときに.max SRIOV VFがロードされない問題を修正します。
この製品は、VFドライバーが一部のデバイスにインストールされない問題を修正します。
この製品は、より多くのPF-Vportを割り当てるときにFWがハングする問題を修正します
この製品は、HWが突然削除された場合にbonoコマンドがすぐに失敗する問題を修正します
この製品は、SR-IOVが使用されている場合、SFモードで使用可能なVPORTが少ないという問題を修正します。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートしています

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター

HPE Broadcom NX1 1Gbドライバーfor Windows Server x64 Edition

バージョン: 214.0.0.4 **(オプション)**
ファイル名: cp043306.compsig; cp043306.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Broadcom NX1 Online Firmware Upgrade Utility for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.3.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、特定のビデオドライバーと一緒に実行すると、有効/無効のサイクル中にシステムがクラッシュしていた問題を修正します。
- この製品は、ネットワークアダプターから統計情報を取得するコマンド(Get-NetAdapterStatistics)がWS2019で機能しない問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 2ポート 330iアダプター(22BD)
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 331iアダプター(22BE)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 331FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 331Tアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 332iアダプター(22E8)
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 332Tアダプター

HPE Broadcom tg3 Ethernetドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64

バージョン: 3.138b-1 **(オプション)**

ファイル名: kmod-tg3-3.138b-1.rhel7u7.x86_64.compsig; kmod-tg3-3.138b-1.rhel7u7.x86_64.rpm; kmod-tg3-3.138b-1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-tg3-3.138b-1.rhel7u8.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE NX1 Broadcom Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン2.25.1以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、Red Hat Enterprise Linux 7 Update 8をサポートします。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート330iアダプター(22BD)
- HP Ethernet 1Gb 4ポート331iアダプター(22BE)
- HP Ethernet 1Gb 4-port 331FLRアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート331Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート332iアダプター(22E8)
- HP Ethernet 1Gb 2ポート332Tアダプター

HPE Broadcom tg3 Ethernetドライバー for Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン: 3.138b-1 **(オプション)**

ファイル名: kmod-tg3-3.138b-1.rhel8u0.x86_64.compsig; kmod-tg3-3.138b-1.rhel8u0.x86_64.rpm; kmod-tg3-3.138b-1.rhel8u1.x86_64.compsig; kmod-tg3-3.138b-1.rhel8u1.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE NX1 Broadcom Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン2.25.1以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、OSの起動後に、erratacカーネルがこのコンポーネントの代わりにインボックスドライバーをロードする問題を修正します

拡張

この製品は、Red Hat Enterprise Linux 8 Update 1をサポートします。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート330iアダプター(22BD)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331iアダプター(22BE)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート332iアダプター(22E8)
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート332Tアダプター

HPE Broadcom tg3 Ethernetドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 3.138b-2 **(オプション)**
ファイル名: README; tg3-kmp-default-3.138b_k4.12.14_120-2.sles12sp5.x86_64.compsig; tg3-kmp-default-3.138b_k4.12.14_120-2.sles12sp5.x86_64.rpm; tg3-kmp-default-3.138b_k4.12.14_94.41-2.sles12sp4.x86_64.compsig; tg3-kmp-default-3.138b_k4.12.14_94.41-2.sles12sp4.x86_64.rpm

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE NX1 Broadcom Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン2.25.1以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 12 SP5をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート330iアダプター(22BD)
- HP Ethernet 1Gb 4ポート331iアダプター(22BE)
- HP Ethernet 1Gb 4-port 331FLRアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート331Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート332iアダプター(22E8)
- HP Ethernet 1Gb 2ポート332Tアダプター

HPE Broadcom tg3 Ethernetドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 3.138a-2 **(オプション)**
ファイル名: README; tg3-kmp-default-3.138a_k4.12.14_195-2.sles15sp1.x86_64.compsig; tg3-kmp-default-3.138a_k4.12.14_195-2.sles15sp1.x86_64.rpm; tg3-kmp-default-3.138a_k4.12.14_23-2.sles15sp0.x86_64.compsig; tg3-kmp-default-3.138a_k4.12.14_23-2.sles15sp0.x86_64.rpm

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE NX1 Broadcom Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン2.25.1以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、SLES15sp1 OSのHPSUM展開によってSLES15ドライバーが選択される問題を修正します。
この製品は、RPMメタデータのベンダーおよびパッケージャータグをエクスポートするようになりました
この製品は、HPSUMの展開によってSLES15コンポーネントが常に選択されるという問題に対処します

拡張

現在、この製品は、sles15 sp1をサポートしています

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 330iアダプター(22BD)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331iアダプター(22BE)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 332iアダプター(22E8)
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート332Tアダプター

HPE Emulex 10/20 GbE iSCSIドライバー for Windows Server 2012 R2

バージョン: 12.0.1171.0 (C) **(オプション)**
ファイル名: cp044560.compsig; cp044560.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*Emulex*コンバージドネットワークアダプター用*HPE*ファームウェアフラッシュ - *Windows(x64)*、バージョン2019.03.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20 GbE iSCSIドライバー for Windows Server 2016

バージョン: 12.0.1171.0 (C) **(オプション)**
ファイル名: cp044561.compsig; cp044561.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*Emulex*コンバージドネットワークアダプター用*HPE*ファームウェアフラッシュ - *Windows(x64)*、バージョン2019.03.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20 GbE iSCSIドライバー for Windows Server 2019

バージョン: 12.0.1171.0 (C) **(オプション)**
ファイル名: cp044562.compsig; cp044562.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*Emulex*コンバージドネットワークアダプター用*HPE*ファームウェアフラッシュ - *Windows(x64)*、バージョン2019.03.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20 GbEドライバー for VMware vSphere 6.5

バージョン: 2020.09.14 **(オプション)**
ファイル名: cp044545.compsig; cp044545.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*Emulex*コンバージドネットワークアダプター用*HPE*ファームウェアフラッシュ - *VMware vSphere 6.5*、バージョン2019.03.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20 GbEドライバー for VMware vSphere 6.7

バージョン: 2020.09.14 **(オプション)**
ファイル名: cp044546.compsig; cp044546.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*Emulex*コンバージドネットワークアダプター用*HPE*ファームウェアフラッシュ - *VMware vSphere 6.7*、バージョン2019.03.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20 GbEドライバー for Windows Server 2012 R2

バージョン: 12.0.1195.0 (C) **(オプション)**
ファイル名: cp044540.compsig; cp044540.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*Emulex*コンバージドネットワークアダプター用*HPE*ファームウェアフラッシュ - *Windows(x64)*、バージョン2019.03.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20 GbEドライバーfor Windows Server 2016

バージョン: 12.0.1195.0 (C) **(オプション)**
ファイル名: cp044541.compsig; cp044541.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*Emulex*コンバージドネットワークアダプター用*HPE*ファームウェアフラッシュ - *Windows(x64)*、バージョン2019.03.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20 GbEドライバーfor Windows Server 2019

バージョン: 12.0.1195.0 (C) **(オプション)**
ファイル名: cp044542.compsig; cp044542.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*Emulex*コンバージドネットワークアダプター用*HPE*ファームウェアフラッシュ - *Windows(x64)*、バージョン2019.03.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20GbE iSCSI ドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 12.0.1259.0-1 (B) **(オプション)**
ファイル名: be2iscsi-kmp-default-12.0.1259.0_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.compsig; be2iscsi-kmp-default-12.0.1259.0_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Emulex*コンバージドネットワークアダプター用*HPE*ファームウェアフラッシュ - *Linux(x64)*、バージョン2019.12.01で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20GbE iSCSI ドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 12.0.1259.0-1 (B) **(オプション)**

ファイル名: be2iscsi-kmp-default-12.0.1259.0_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.compsig; be2iscsi-kmp-default-12.0.1259.0_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.rpm; be2iscsi-kmp-default-12.0.1259.0_k4.12.14_23-1.sles15sp0.x86_64.compsig; be2iscsi-kmp-default-12.0.1259.0_k4.12.14_23-1.sles15sp0.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Emulex*コンバージドネットワークアダプター用*HPE*ファームウェアフラッシュ - *Linux(x64)*、バージョン2019.12.01で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20GbE iSCSIドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64

バージョン: 12.0.1259.0-1 (B) **(オプション)**

ファイル名: kmod-be2iscsi-12.0.1259.0-1.rhel7u7.x86_64.compsig; kmod-be2iscsi-12.0.1259.0-1.rhel7u7.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Emulex*コンバージドネットワークアダプター用*HPE*ファームウェアフラッシュ - *Linux(x64)*、バージョン2019.12.01で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20GbE iSCSIドライバー for Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン: 12.0.1259.0-1 (B) **(オプション)**

ファイル名: kmod-be2iscsi-12.0.1259.0-1.rhel8u0.x86_64.compsig; kmod-be2iscsi-12.0.1259.0-1.rhel8u0.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*Emulex*コンバージドネットワークアダプター用*HPE*ファームウェアフラッシュ - *Linux(x64)*、バージョン2019.03.01で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20GbE iSCSIドライバーfor VMware vSphere 6.5

バージョン: 2020.09.14 **(オプション)**
ファイル名: cp044543.compsig; cp044543.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*Emulex*コンバージドネットワークアダプター用*HPE*ファームウェアフラッシュ - *VMware vSphere 6.5*、バージョン2019.03.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20GbE iSCSIドライバーfor VMware vSphere 6.7

バージョン: 2020.09.14 **(オプション)**
ファイル名: cp044544.compsig; cp044544.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*Emulex*コンバージドネットワークアダプター用*HPE*ファームウェアフラッシュ - *VMware vSphere 6.7*、バージョン2019.03.01以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20GbE ドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64

バージョン: 12.0.1280.17-1 (B) **(オプション)**
ファイル名: kmod-be2net-12.0.1280.17-1.rhel7u7.x86_64.compsig; kmod-be2net-12.0.1280.17-1.rhel7u7.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Emulex*コンバージドネットワークアダプター用*HPE*ファームウェアフラッシュ - *Linux(x64)*、バージョン2019.12.01で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20GbE ドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 12.0.1280.17-1 (B) **(オプション)**
ファイル名: be2net-kmp-default-12.0.1280.17_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.compsig; be2net-kmp-default-12.0.1280.17_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.rpm; be2net-kmp-default-12.0.1280.17_k4.12.14_23-1.sles15sp0.x86_64.compsig; be2net-kmp-default-12.0.1280.17_k4.12.14_23-1.sles15sp0.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Emulex*コンバージドネットワークアダプター用*HPE*ファームウェアフラッシュ - *Linux(x64)*、バージョン2019.12.01で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20GbEドライバー for Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン: 12.0.1280.17-1 (B) **(オプション)**
ファイル名: kmod-be2net-12.0.1280.17-1.rhel8u0.x86_64.compsig; kmod-be2net-12.0.1280.17-1.rhel8u0.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*Emulex*コンバージドネットワークアダプター用*HPE*ファームウェアフラッシュ - *Linux(x64)*、バージョン2019.03.01で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tアダプター

HPE Emulex 10/20GbEドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 12.0.1280.17-1 (B) **(オプション)**
ファイル名: be2net-kmp-default-12.0.1280.17_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.compsig; be2net-kmp-default-12.0.1280.17_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Emulex*コンバージドネットワークアダプター用*HPE*ファームウェアフラッシュ - *Linux(x64)*、バージョン2019.12.01で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-SFP+アダプター

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE CN1200E-Tアダプター

HPE Intel E1Rドライバー for Windows Server 2012 R2

バージョン: 12.14.8.1 **(オプション)**
ファイル名: cp040854.compsig; cp040854.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.0.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品は、現在SynergyおよびBlade Serverのサポートが削除されています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPE Intel E1Rネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 2ポート 361iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 361Tアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 363iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366i通信ボード
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366FLRアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366Tアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 367iアダプター

HPE Intel E1Rドライバー for Windows Server 2016

バージョン: 12.15.184.7 **(オプション)**
ファイル名: cp040879.compsig; cp040879.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.0.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、コンストラクターをオーバーライドしてMSIX_AFFINITY_MANAGEMENTクラスにコピーする問題を修正し、メモリの二重解放に関するKWの問題を排除します。
この製品は、Nahum Icelakeの定義を除外するようにe1rコンパイルを修正した問題を修正します。
この製品は、タイムスタンプの64ビット値への変換を修正した問題を修正します。
この製品は、NDISミニポートカーネルポインターリークを修正する問題を修正します

拡張

この製品は、現在SynergyおよびBlade Serverのサポートが削除されています。

この製品は、ラッピングを追加し、Cometlakeにサポートを修正し、ファイバーNICの熱センサーサポートを追加しました。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPE Intel E1Rネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 2ポート 361iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361Tアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 363iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366i通信ボード
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4-port 366Tアダプター

HPE Intel E1Rドライバー for Windows Server 2019

バージョン: 12.18.9.1 **(オプション)**
ファイル名: cp040874.compsig; cp040874.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.0.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、コンストラクターをオーバーライドしてMSIX_AFFINITY_MANAGEMENTクラスにコピーする問題を修正し、メモリの二重解放に関するKWの問題を排除します。
この製品は、Nahum Icelakeの定義を除外するようにe1rコンパイルを修正した問題を修正します。
この製品は、タイムスタンプの64ビット値への変換を修正した問題を修正します。
この製品は、NDISミニポートカーネルポインターリークを修正する問題を修正します

拡張

この製品は、現在SynergyおよびBlade Serverのサポートが削除されています。

この製品は、ラッピングを追加し、Cometlakeにサポートを修正し、ファイバーNICの熱センサーサポートを追加しました。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPE Intel E1Rネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 2ポート 361iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 361Tアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 363iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366i通信ボード
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 366FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4-port 366Tアダプター

HPE Intel i40eaドライバー for Windows Server 2012 R2

バージョン: 1.12.171.0 **(オプション)**
ファイル名: cp043119.compsig; cp043119.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.3.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、サーバーのシャットダウン中にリモートアクセス役割サービスでブルースクリーンオブデス(BSOD)(0x133)が発生する問題を修正します。
- この製品は、タグ付き仮想ローカルエリアネットワーク(VLAN)でIntel® Advanced Network Services(Intel® ans)のチームタイプをいくつか変更した後にシステムがクラッシュする問題を修正します。

拡張

この製品は、動的リンク速度の変更をサポートする物理機能(PF)ドライバーにアドバンストリンク速度機能の実装を追加しました。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+アダプター

HPE Intel i40eaドライバー for Windows Server 2016

バージョン: 1.12.171.0 **(オプション)**
ファイル名: cp043120.compsig; cp043120.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.3.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、サーバーのシャットダウン中にリモートアクセス役割サービスでブルースクリーンオブデス(BSOD)(0x133)が発生する問題を修正します。
- この製品は、タグ付き仮想ローカルエリアネットワーク(VLAN)でIntel® Advanced Network Services(Intel® ans)のチームタイプをいくつか変更した後にシステムがクラッシュする問題を修正します。

拡張

この製品は、動的リンク速度の変更をサポートする物理機能(PF)ドライバーにアドバンストリンク速度機能の実装を追加しました。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+アダプター

HPE Intel i40eaドライバー for Windows Server 2019

バージョン: 1.12.171.0 **(オプション)**
ファイル名: cp043121.compsig; cp043121.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.3.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、サーバーのシャットダウン中にリモートアクセス役割サービスでブルースクリーンオブデス(BSOD)(0x133)が発生する問題を修正します。
- この製品は、タグ付き仮想ローカルエリアネットワーク(VLAN)でIntel® Advanced Network Services(Intel® ans)のチームタイプをいくつか変更した後にシステムがクラッシュする問題を修正します。

拡張

この製品は、動的リンク速度の変更をサポートする物理機能(PF)ドライバーにアドバンストリンク速度機能の実装を追加しました。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+アダプター

HPE Intel i40ebドライバー for Windows Server 2012 R2

バージョン: 1.12.171.0 **(オプション)**
ファイル名: cp043237.compsig; cp043237.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.3.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、サーバーのシャットダウン中にリモートアクセス役割サービスでブルースクリーンオブデス(BSOD)(0x133)が発生する問題を修正します。
- この製品は、タグ付き仮想ローカルエリアネットワーク(VLAN)でIntel® Advanced Network Services(Intel® ans)のチームタイプをいくつか変更した後にシステムがクラッシュする問題を修正します。

拡張

この製品は、動的リンク速度の変更をサポートする物理機能(PF)ドライバーにアドバンストリンク速度機能の実装を追加しました。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 369i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMSFP+アダプター

HPE Intel i40ebドライバー for Windows Server 2016

バージョン: 1.12.171.0 **(オプション)**
ファイル名: cp043236.compsig; cp043236.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.3.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、サーバーのシャットダウン中にリモートアクセス役割サービスでブルースクリーンオブデス(BSOD)(0x133)が発生する問題を修正します。
- この製品は、タグ付き仮想ローカルエリアネットワーク(VLAN)でIntel® Advanced Network Services(Intel® ans)のチームタイプをいくつか変更した後にシステムがクラッシュする問題を修正します。

拡張

この製品は、動的リンク速度の変更をサポートする物理機能(PF)ドライバーにアドバンストリンク速度機能の実装を追加しました。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 369i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMSFP+アダプター

HPE Intel i40ebドライバー for Windows Server 2019

バージョン: 1.12.171.0 **(オプション)**
ファイル名: cp043238.compsig; cp043238.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.3.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、サーバーのシャットダウン中にリモートアクセス役割サービスでブルースクリーンオブデス(BSOD)(0x133)が発生する問題を修正します。
- この製品は、タグ付き仮想ローカルエリアネットワーク(VLAN)でIntel® Advanced Network Services(Intel® ans)のチームタイプをいくつか変更した後にシステムがクラッシュする問題を修正します。

拡張

この製品は、動的リンク速度の変更をサポートする物理機能(PF)ドライバーにアドバンストリンク速度機能の実装を追加しました。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 369i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMSFP+アダプター

HPE Intel i40enドライバー for VMware vSphere 6.7

バージョン: 2020.09.14 **(オプション)**
ファイル名: cp042676.compsig; cp042676.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for VMware*、バージョン3.13.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、PCIデバイス情報がintnetcliコマンドラインインターフェイス(インテル®ESXCLIプラグイン管理ツール)に渡される問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 369i アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMSFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMT アダプター

HPE Intel i40enドライバーfor VMware vSphere 6.5

バージョン: 2020.09.14 **(オプション)**
ファイル名: cp042675.compsig; cp042675.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for VMware*、バージョン3.13.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、PCIデバイス情報がintnetcliコマンドラインインターフェイス(インテル®ESXCLIプラグイン管理ツール)に渡される問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 369i アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMSFP+アダプター

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMT アダプター

HPE Intel i40eドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64

バージョン: 2.11.27-1 **(オプション)**
ファイル名: kmod-hp-i40e-2.11.27-1.rhel7u7.x86_64.compsig; kmod-hp-i40e-2.11.27-1.rhel7u7.x86_64.rpm; kmod-hp-i40e-2.11.27-1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-hp-i40e-2.11.27-1.rhel7u8.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン1.20.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、OSの起動後に、errataカーネルがこのコンポーネントの代わりにインボックスドライバーをロードする問題を修正します
- この製品は、ドライバーがプローブするか、2.5/5G速度で設定された場合、インテルCarslvilleコントローラーでDCB構成データのクエリが失敗する問題を修正します。

拡張

この製品は現在、Red Hat Enterprise Linux 7 Update 8をサポートしています

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート369iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート563iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568FLR-MMSFP+アダプター

HPE Intel i40eドライバー for Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン: 2.11.27-1 **(オプション)**
ファイル名: kmod-hp-i40e-2.11.27-1.rhel8u0.x86_64.compsig; kmod-hp-i40e-2.11.27-1.rhel8u0.x86_64.rpm; kmod-hp-i40e-2.11.27-1.rhel8u1.x86_64.compsig; kmod-hp-i40e-2.11.27-1.rhel8u1.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン1.20.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、OSの起動後に、errataカーネルがこのコンポーネントの代わりにインボックスドライバーをロードする問題を修正します。
- この製品は、ドライバーがプローブするか、2.5/5G速度で設定された場合、インテルCarslvilleコントローラーでDCB構成データのクエリが失敗する問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート369iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート563iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568FLR-MMSFP+アダプター

HPE Intel i40eドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 2.11.27-1 **(オプション)**

ファイル名: hp-i40e-kmp-default-2.11.27_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.compsig; hp-i40e-kmp-default-2.11.27_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; hp-i40e-kmp-default-2.11.27_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.compsig; hp-i40e-kmp-default-2.11.27_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン1.20.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、OSの起動後に、erratacカーネルがこのコンポーネントの代わりにインボックスドライバーをロードする問題を修正します
- この製品は、ドライバーがプローブするか、2.5/5G速度で設定された場合、インテルCarslvilleコントローラーでDCB構成データのクエリが失敗する問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート369iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート563iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568FLR-MMSFP+アダプター

HPE Intel i40eドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 2.11.27-1 **(オプション)**

ファイル名: hp-i40e-kmp-default-2.11.27_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.compsig; hp-i40e-kmp-default-2.11.27_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.rpm; hp-i40e-kmp-default-2.11.27_k4.12.14_23-1.sles15sp0.x86_64.compsig; hp-i40e-kmp-default-2.11.27_k4.12.14_23-1.sles15sp0.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン1.20.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、OSの起動後に、erratacカーネルがこのコンポーネントの代わりにインボックスドライバーをロードする問題を修正します
- この製品は、ドライバーがプローブするか、2.5/5G速度で設定された場合、インテルCarslvilleコントローラーでDCB構成データのクエリが失敗する問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート369iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート563iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568FLR-MMSFP+アダプター

HPE Intel iavf ドライバー for Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン: 3.9.5-1 **(オプション)**
ファイル名: kmod-hp-iavf-3.9.5-1.rhel8u0.x86_64.compsig; kmod-hp-iavf-3.9.5-1.rhel8u0.x86_64.rpm; kmod-hp-iavf-3.9.5-1.rhel8u1.x86_64.compsig; kmod-hp-iavf-3.9.5-1.rhel8u1.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン1.20.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、OSの起動後に、errataカーネルがこのコンポーネントの代わりにインボックスドライバーをロードする問題を修正します

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート369iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート563iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568FLR-MMSFP+アダプター

HPE Intel iavfドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64

バージョン: 3.9.5-1 **(オプション)**
ファイル名: kmod-hp-iavf-3.9.5-1.rhel7u7.x86_64.compsig; kmod-hp-iavf-3.9.5-1.rhel7u7.x86_64.rpm; kmod-hp-iavf-3.9.5-1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-hp-iavf-3.9.5-1.rhel7u8.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン1.20.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、OSの起動後に、errataカーネルがこのコンポーネントの代わりにインボックスドライバーをロードする問題を修正します

拡張

この製品は現在、Red Hat Enterprise Linux 7 Update 8をサポートしています

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 369i アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 563i アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMSFP+アダプター

HPE Intel iavfドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 3.9.5-1 **(オプション)**
ファイル名: hp-iavf-kmp-default-3.9.5_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.compsig; hp-iavf-kmp-default-3.9.5_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; hp-iavf-kmp-default-3.9.5_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.compsig; hp-iavf-kmp-default-3.9.5_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン1.20.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、OSの起動後に、errataカーネルがこのコンポーネントの代わりにインボックスドライバーをロードする問題を修正します

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート369iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート563iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568FLR-MMTアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568FLR-MMSFP+アダプター

HPE Intel iavfドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 3.9.5-1 **(オプション)**
ファイル名: hp-iavf-kmp-default-3.9.5_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.compsig; hp-iavf-kmp-default-3.9.5_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.rpm; hp-iavf-kmp-default-3.9.5_k4.12.14_23-1.sles15sp0.x86_64.compsig; hp-iavf-kmp-default-3.9.5_k4.12.14_23-1.sles15sp0.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン1.20.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、OSの起動後に、errataカーネルがこのコンポーネントの代わりにインボックスドライバーをロードする問題を修正します

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368i アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート 368FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート 369i アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 563i アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMT アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMSFP+アダプター

HPE Intel iavfドライバー for Windows Server 2012 R2

バージョン: 1.7.119.0 **(オプション)**
ファイル名: cp040867.compsig; cp040867.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.0.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

事前要件

このドライバーではホストドライバーバージョン1.11.101.0以降が必要です。

拡張

この製品は、Synergyサーバーおよびデバイスをサポートしなくなりました。Synergyサーバーおよびデバイスは、HPE Synergy Intel iavfドライバーfor Windows Server 2012 R2によってサポートされるようになりました。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のHPE Intel i40eaネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+アダプター

この製品は、以下のHPE Intel i40ebネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMSFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMT アダプター

HPE Intel iavfドライバー for Windows Server 2016

バージョン: 1.7.119.0 **(オプション)**
ファイル名: cp040868.compsig; cp040868.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.0.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

事前要件

このドライバーではホストドライバーバージョン1.11.101.0以降が必要です。

拡張

この製品は、Synergyサーバーおよびデバイスをサポートしなくなりました。Synergyサーバーおよびデバイスは、HPE Synergy Intel iavfドライバーfor Windows Server 2016によってサポートされるようになりました。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のHPE Intel i40eaネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+アダプター

この製品は、以下のHPE Intel i40ebネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMSFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMT アダプター

HPE Intel iavfドライバー for Windows Server 2019

バージョン: 1.7.119.0 **(オプション)**
ファイル名: cp040869.compsig; cp040869.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.0.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

事前要件

このドライバーではホストドライバーバージョン1.11.101.0以降が必要です。

拡張

この製品は、Synergyサーバーおよびデバイスをサポートしなくなりました。Synergyサーバーおよびデバイスは、HPE Synergy Intel iavfドライバーfor Windows Server 2019によってサポートされるようになりました。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のHPE Intel i40eaネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562SFP+アダプター

この製品は、以下のHPE Intel i40ebネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMSFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 568FLR-MMT アダプター

HPE Intel igbnドライバーfor VMware vSphere 6.5

バージョン: 2019.12.20 **(オプション)**
ファイル名: cp040825.compsig; cp040825.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有

のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for VMware*、バージョン3.12.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、NICアダプターのリセット中に競合状態が発生する問題に対処します。

拡張

この製品は、現在SynergyおよびBlade Serverのサポートが削除されています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 2ポート 361iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 361Tアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 363iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366FLRアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート366iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4-port 366i通信ボード
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366Tアダプター

HPE Intel igbnドライバーfor VMware vSphere 6.7

バージョン: 2019.12.20 **(オプション)**
ファイル名: cp040829.compsig; cp040829.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for VMware*、バージョン3.12.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、NICアダプターのリセット中に競合状態が発生する問題に対処します。

拡張

この製品は、現在SynergyおよびBlade Serverのサポートが削除されています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 2ポート 361iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 361Tアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 363iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366FLRアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート366iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4-port 366i通信ボード
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366Tアダプター

HPE Intel igbドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64

バージョン: 6.2.3-1 **(オプション)**

ファイル名: kmod-hp-igb-6.2.3-1.rhel7u7.x86_64.compsig; kmod-hp-igb-6.2.3-1.rhel7u7.x86_64.rpm; kmod-hp-igb-6.2.3-1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-hp-igb-6.2.3-1.rhel7u8.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン1.20.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、OSの起動後に、errataカーネルがこのコンポーネントの代わりにインボックスドライバーをロードする問題を修正します

拡張

この製品は現在、Red Hat Enterprise Linux 7 Update 8をサポートしています

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のIntelネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 2ポート 361iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 361Tアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 363iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4-port 366i通信ボード
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366Tアダプター

HPE Intel igbドライバー for Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン: 6.2.3-1 **(オプション)**

ファイル名: kmod-hp-igb-6.2.3-1.rhel8u0.x86_64.compsig; kmod-hp-igb-6.2.3-1.rhel8u0.x86_64.rpm; kmod-hp-igb-6.2.3-1.rhel8u1.x86_64.compsig; kmod-hp-igb-6.2.3-1.rhel8u1.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン1.20.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、OSの起動後に、errataカーネルがこのコンポーネントの代わりにインボックスドライバーをロードする問題を修正します

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のIntelネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート361iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート361Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート363iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート366FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート366i通信ボード
- HP Ethernet 1Gb 4ポート366Tアダプター

HPE Intel igbドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 6.2.3-1 **(オプション)**
ファイル名: hp-igb-kmp-default-6.2.3_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.compsig; hp-igb-kmp-default-6.2.3_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; hp-igb-kmp-default-6.2.3_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.compsig; hp-igb-kmp-default-6.2.3_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン1.20.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、OSの起動後に、errataカーネルがこのコンポーネントの代わりにインボックスドライバーをロードする問題を修正します

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のIntelネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 2ポート 361iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 361Tアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 363iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4-port 366i通信ボード
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366Tアダプター

HPE Intel igbドライバーfor SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 6.2.3-1 **(オプション)**
ファイル名: hp-igb-kmp-default-6.2.3_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.compsig; hp-igb-kmp-default-6.2.3_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.rpm; hp-igb-kmp-default-6.2.3_k4.12.14_23-1.sles15sp0.x86_64.compsig; hp-igb-kmp-default-6.2.3_k4.12.14_23-1.sles15sp0.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン1.20.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、OSの起動後に、errataカーネルがこのコンポーネントの代わりにインボックスドライバーをロードする問題を修正します

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のIntelネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 2ポート 361iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 361Tアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート 363iアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4-port 366i通信ボード
- HP Ethernet 1Gb 4ポート 366Tアダプター

HPE Intel ixgbenドライバーfor VMware vSphere 6.5

バージョン: 2020.09.14 **(オプション)**
ファイル名: cp042679.compsig; cp042679.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for VMware*、バージョン3.13.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、リンクフロー制御設定を実行したときにリンクパートナーから通知される問題を修正しました。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562Tアダプター

HPE Intel ixgbenドライバーfor VMware vSphere 6.7

バージョン: 2020.09.14 **(オプション)**
ファイル名: cp042680.compsig; cp042680.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。このコンポーネントは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページから利用可能なドライバーと同様であり、さらにHPE固有のCP0xxxxx.xmlファイルを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for VMware*、バージョン3.13.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、リンクフロー制御設定を実行したときにリンクパートナーから通知される問題を修正しました。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562Tアダプター

HPE Intel ixgbevfドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64

バージョン: 4.7.1-1 **(オプション)**
ファイル名: kmod-hp-ixgbevf-4.7.1-1.rhel7u7.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbevf-4.7.1-1.rhel7u7.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbevf-4.7.1-1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbevf-4.7.1-1.rhel7u8.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン1.20.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、OSの起動後に、errataカーネルがこのコンポーネントの代わりにインボックスドライバーをロードする問題を修正します

拡張

- この製品は現在、Red Hat Enterprise Linux 7 Update 8をサポートしています
- この製品はLinuxカーネルのドキュメントをアップデートし、IRQアフィニティツールを構成します

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560M アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562Tアダプター

HPE Intel ixgbevfドライバー for Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン: 4.7.1-1 **(オプション)**
ファイル名: kmod-hp-ixgbevf-4.7.1-1.rhel8u0.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbevf-4.7.1-1.rhel8u0.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbevf-4.7.1-1.rhel8u1.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbevf-4.7.1-1.rhel8u1.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン1.20.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、OSの起動後に、errataカーネルがこのコンポーネントの代わりにインボックスドライバーをロードする問題を修正します

拡張

この製品はLinuxカーネルのドキュメントをアップデートし、IRQアフィニティツールを構成します

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート560FLBアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 560FLR-SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 560Mアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート560SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562Tアダプター

HPE Intel ixgbevfドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 4.7.1-1 **(オプション)**
ファイル名: hp-ixgbevf-kmp-default-4.7.1_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.compsig; hp-ixgbevf-kmp-default-4.7.1_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; hp-ixgbevf-kmp-default-4.7.1_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.compsig; hp-ixgbevf-kmp-default-4.7.1_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン1.20.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、OSの起動後に、errataカーネルがこのコンポーネントの代わりにインボックスドライバーをロードする問題を修正します

拡張

この製品はLinuxカーネルのドキュメントをアップデートし、IRQアフィニティツールを構成します

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560M アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562Tアダプター

HPE Intel ixgbevfドライバーfor SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 4.7.1-1 **(オプション)**
ファイル名: hp-ixgbevf-kmp-default-4.7.1_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.compsig; hp-ixgbevf-kmp-default-4.7.1_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.rpm; hp-ixgbevf-kmp-default-4.7.1_k4.12.14_23-1.sles15sp0.x86_64.compsig; hp-ixgbevf-kmp-default-4.7.1_k4.12.14_23-1.sles15sp0.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン1.20.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、OSの起動後に、errataカーネルがこのコンポーネントの代わりにインボックスドライバーをロードする問題を修正します

拡張

この製品はLinuxカーネルのドキュメントをアップデートし、IRQアフィニティツールを構成します

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560M アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562Tアダプター

HPE Intel ixgbeドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64

バージョン: 5.7.1-1 **(オプション)**
ファイル名: kmod-hp-ixgbe-5.7.1-1.rhel7u7.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbe-5.7.1-1.rhel7u7.x86_64.rpm;

kmod-hp-ixgbe-5.7.1-1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbe-5.7.1-1.rhel7u8.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン1.20.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、OSの起動後に、errataカーネルがこのコンポーネントの代わりにインボックスドライバーをロードする問題を修正します

拡張

- この製品は現在、Red Hat Enterprise Linux 7 Update 8をサポートしています
- この製品はLinuxカーネルのドキュメントをアップデートし、IRQアフィニティツールを構成します

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560M アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562Tアダプター

HPE Intel ixgbeドライバー for Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン: 5.7.1-1 **(オプション)**
ファイル名: kmod-hp-ixgbe-5.7.1-1.rhel8u0.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbe-5.7.1-1.rhel8u0.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbe-5.7.1-1.rhel8u1.x86_64.compsig; kmod-hp-ixgbe-5.7.1-1.rhel8u1.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン1.20.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、OSの起動後に、errataカーネルがこのコンポーネントの代わりにインボックスドライバーをロードする問題を修正します

拡張

この製品はLinuxカーネルのドキュメントをアップデートし、IRQアフィニティツールを構成します

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート560FLBアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 560FLR-SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 560Mアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート560SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562Tアダプター

HPE Intel ixgbeドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 5.7.1-1 **(オプション)**

ファイル名: hp-ixgbe-kmp-default-5.7.1_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.compsig; hp-ixgbe-kmp-default-5.7.1_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; hp-ixgbe-kmp-default-5.7.1_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.compsig; hp-ixgbe-kmp-default-5.7.1_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン1.20.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、OSの起動後に、errataカーネルがこのコンポーネントの代わりにインボックスドライバーをロードする問題を修正します

拡張

この製品はLinuxカーネルのドキュメントをアップデートし、IRQアフィニティツールを構成します

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート560FLBアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 560FLR-SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 560Mアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート560SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562Tアダプター

HPE Intel ixgbeドライバーfor SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 5.7.1-1 **(オプション)**

ファイル名: hp-ixgbe-kmp-default-5.7.1_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.compsig; hp-ixgbe-kmp-default-5.7.1_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.rpm; hp-ixgbe-kmp-default-5.7.1_k4.12.14_23-1.sles15sp0.x86_64.compsig; hp-ixgbe-kmp-default-5.7.1_k4.12.14_23-1.sles15sp0.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64*、バージョン1.20.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、OSの起動後に、errataカーネルがこのコンポーネントの代わりにインボックスドライバーをロードする問題を修正します

拡張

この製品はLinuxカーネルのドキュメントをアップデートし、IRQアフィニティツールを構成します

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560FLR-SFP+ アダプター

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560M アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 560SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 562Tアダプター

HPE Intel ixnドライバー for Windows Server 2012 R2

バージョン: 3.14.214.0 **(オプション)**
ファイル名: cp042027.compsig; cp042027.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.3.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品には、Windowsシステムアップデートでサポートされる改善が含まれています。

サポートしているデバイスおよび機能

このソフトウェアは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560SFP+アダプター

HPE Intel ixnドライバー for Windows Server 2016

バージョン: 4.1.199.0 **(オプション)**
ファイル名: cp042028.compsig; cp042028.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.3.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品には、Windowsシステムアップデートでサポートされる改善が含まれています。

サポートしているデバイスおよび機能

このソフトウェアは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560SFP+アダプター

HPE Intel ixnドライバー for Windows Server 2019

バージョン: 4.1.197.0 **(オプション)**
ファイル名: cp042029.compsig; cp042029.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.3.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品には、Windowsシステムアップデートでサポートされる改善が含まれています。

サポートしているデバイスおよび機能

このソフトウェアは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560SFP+アダプター

HPE Intel vxnドライバー for Windows Server 2012 R2

バージョン: 1.2.199.0 **(オプション)**
ファイル名: cp042033.compsig; cp042033.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.3.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

事前要件

このドライバーではホストドライバーバージョン3.14.214.0以降が必要です。

拡張

この製品には、Windowsシステムアップデートでサポートされる改善が含まれています。

サポートしているデバイスおよび機能

このソフトウェアは、以下のHPE Intelネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560SFP+アダプター

このソフトウェアは、以下のHPE Intelネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート561FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート561Tアダプター

HPE Intel vxnドライバー for Windows Server 2016

バージョン: 2.1.192.0 **(オプション)**
ファイル名: cp042034.compsig; cp042034.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.3.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

事前要件

このドライバーではホストドライバーバージョン4.1.199.0以降が必要です。

拡張

この製品には、Windowsシステムアップデートでサポートされる改善が含まれています。

サポートしているデバイスおよび機能

このソフトウェアは、以下のHPE Intelネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560SFP+アダプター

HPE Mellanox CX4LXおよびCX5ドライバー for Microsoft Windows Server 2012 R2

バージョン: 2.40.22511.0 **(オプション)**
ファイル名: cp042797.compsig; cp042797.exe

修正

1. この製品は、指定されたOSが、アラインされたメモリアドレスのオフセット0から始まらなかった複数のページにわたってメモリを継続したときにメモリが破損していた問題を修正します。
2. この製品は、ドライバーが既にドライバーストアにあるため、デバイスは新しいドライバーでアップデートされていなかった問題を修正します。
3. この製品は、VFカウンターがperfmonで正しく表示されない場合があった問題を修正します。
4. この製品は、ドライバーが、1x.18.0240より古いファームウェアを使用した場合にサポートされているゼロのリンク速度を報告していた問題を修正します。
5. この製品は、ドライバーの初期化中のエラーフローでメモリリークの問題を修正した問題を修正します。

拡張

1. VMQ(仮想マシンキュー)モードでは、VMの数は124 VMに制限されます。
2. SRIOV(シングルルートI/O仮想化)で作業する場合、ドライバーはConnectX-4 Lxでは最大200個のvPort、ConnectX-5では最大254個のvPortをサポートします。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 100Gb 1ポート 842QSFP28 アダプター
- HPE Ethernet 25Gb 2-port 640SFP28 アダプター
- HPE Ethernet 25Gb 2ポート640FLR-SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 548SFP+ アダプター
- HPE InfiniBand EDR/イーサーネット 100Gb 2ポート841QSFP28アダプター
- HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28アダプター
- HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28 Adapter
- HPE InfiniBand FDR/Ethernet 40/50Gb 2ポート 547FLR-QSFP Adapter

---

HPE Mellanox CX4LXおよびCX5ドライバー for Microsoft Windows Server 2016

バージョン: 2.40.22511.0 **(オプション)**
ファイル名: cp042798.compsig; cp042798.exe

修正

1. この製品は、指定されたOSが、アラインされたメモリアドレスのオフセット0から始まらなかった複数のページにわたってメモリを継続したときにメモリが破損していた問題を修正します。
2. この製品は、ドライバーが既にドライバーストアにあるため、デバイスは新しいドライバーでアップデートされていなかった問題を修正します。
3. この製品は、VFカウンターがperfmonで正しく表示されない場合があった問題を修正します。
4. この製品は、ドライバーが、1x.18.0240より古いファームウェアを使用した場合にサポートされているゼロのリンク速度を報告していた問題を修正します。
5. この製品は、ドライバーの初期化中のエラーフローでメモリリークの問題を修正した問題を修正します。

拡張

1. VMQ(仮想マシンキュー)モードでは、VMの数は124 VMに制限されます。

2. SRIOV(シングルルートI/O仮想化)で作業する場合、ドライバーはConnectX-4 Lxでは最大200個のvPort、ConnectX-5では最大254個のvPortをサポートします。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 100Gb 1ポート 842QSFP28 アダプター
- HPE Ethernet 25Gb 2-port 640SFP28 アダプター
- HPE Ethernet 25Gb 2ポート640FLR-SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 548SFP+ アダプター
- HPE InfiniBand EDR/イーサーネット 100Gb 2ポート841QSFP28アダプター
- HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28アダプター
- HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28 Adapter
- HPE InfiniBand FDR/Ethernet 40/50Gb 2ポート 547FLR-QSFP Adapter

---

HPE Mellanox CX4LXおよびCX5ドライバー for Microsoft Windows Server 2019

バージョン: 2.40.22511.0 **(オプション)**
ファイル名: cp042799.compsig; cp042799.exe

修正

1. この製品は、指定されたOSが、アラインされたメモリアドレスのオフセット0から始まらなかった複数のページにわたってメモリを継続したときにメモリが破損していた問題を修正します。
2. この製品は、ドライバーが既にドライバーストアにあるため、デバイスは新しいドライバーでアップデートされていなかった問題を修正します。
3. この製品は、VFカウンターがperfmonで正しく表示されない場合があった問題を修正します。
4. この製品は、ドライバーが、1x.18.0240より古いファームウェアを使用した場合にサポートされているゼロのリンク速度を報告していた問題を修正します。
5. この製品は、ドライバーの初期化中のエラーフローでメモリリークの問題を修正した問題を修正します。

拡張

1. VMQ(仮想マシンキュー)モードでは、VMの数は124 VMに制限されます。
2. SRIOV(シングルルートI/O仮想化)で作業する場合、ドライバーはConnectX-4 Lxでは最大200個のvPort、ConnectX-5では最大254個のvPortをサポートします。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 100Gb 1ポート 842QSFP28 アダプター
- HPE Ethernet 25Gb 2-port 640SFP28 アダプター
- HPE Ethernet 25Gb 2ポート640FLR-SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 548SFP+ アダプター
- HPE InfiniBand EDR/イーサーネット 100Gb 2ポート841QSFP28アダプター
- HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28アダプター
- HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28 Adapter
- HPE InfiniBand FDR/Ethernet 40/50Gb 2ポート 547FLR-QSFP Adapter

---

HPE Mellanox RoCE (RDMA over Converged Ethernet) ドライバーfor Mellanox ConnectX-4, ConnectX-5 and ConnectX-6 Adapters for Red Hat Enterprise Linux 7 Update 8 (x86_64)

バージョン: 5.0 **(推奨)**
ファイル名: kmod-mlnx-ofa_kernel-5.0-OFED.5.0.2.1.8.1.g5f67178.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-mlnx-ofa_kernel-5.0-OFED.5.0.2.1.8.1.g5f67178.rhel7u8.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-5.0-

OFED.5.0.2.1.8.1.g5f67178.rhel7u8.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-5.0-OFED.5.0.2.1.8.1.g5f67178.rhel7u8.x86_64.rpm

修正

以下の問題点がバージョン5.0で修正されました:

- パケットドロップの後、Rxページは補充されませんでした。特定のまれなシナリオで、同じページフラグメントが誤って書き込み用の2つの異なるRx記述子に割り当てられました。
- OFEDのインストール後にibsimが見つかりませんでした。
- OFEDのインストール後にucx-kmemが見つかりませんでした。
- systemdとRDMA-Core間の依存関係の問題が修正されました。
- トラフィッククラス(TC)ツールを使用してヘアピンフローを追加できませんでした。
- 拡張エラー処理(EEH)の場合、作業キュー(WQ)のフラッシュが適切に処理されませんでした。
- Reliable Message Passing Protocol(RMPP)madを集中的に使用するアプリケーションを終了すると、カーネルがクラッシュしました。
- MLNX_OFED v5.0以降で提供されるperftestアプリケーション(ib_read_*、ib_write_*など)は、クライアントサーバー通信のもう一方の側にある対応するアプリケーションが以前のバージョンのMLNX_OFEDで提供されている場合、相互運用性の問題により正しく機能しませんでした。
- ユーザー空間コマンドの実行と並行してAER/スロットリセットが行われると、カーネルがクラッシュしました。
- SwitchDevモードの物理機能(PF)のsysfsでExplicit Congestion Notification(ECN)構成がありません。

拡張

HPE Mellanox RoCEドライバーバージョン5.0の変更点および新機能:

ConnectX-5以上のアダプターの場合

- メモリ消費を削減することで、カーネルソフトウェアが管理するフローステアリングのパフォーマンスが改善しました。

HPE Mellanox RoCE (RDMA over Converged Ethernet) ドライバーfor Red Hat Enterprise Linux 7 Update 7 (x86_64)

バージョン: 4.9 **(推奨)**
ファイル名: kmod-mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.0.1.7.1.gd3d963b.rhel7u7.x86_64.compsig; kmod-mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.0.1.7.1.gd3d963b.rhel7u7.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.0.1.7.1.gd3d963b.rhel7u7.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.0.1.7.1.gd3d963b.rhel7u7.x86_64.rpm

重要な注意！

Mellanox Ethernet + RoCE Linuxドライバー(mlnx-ofa_kernel RPM)は、HPE MellanoxアダプターのEthernet動作モードのみサポートします。完全なInfiniBand機能または"InfiniBand + Ethernet"動作モードを同じノード上で必要とする場合、"Mellanox OFED VPI Drivers and Utilities"というLinuxソフトウェア配信リポジトリ(https://downloads.linux.hpe.com/SDR/project/mlnx_ofed/)からMLNX-OFEDドライバーをインストールしてください。

事前要件

ドライバーコンポーネントをインストールする前に、以下のパッケージをそれぞれのOSのディストリビューションからインストールする必要があります。

- Pythonバージョン2.7

修正

以下の問題点がバージョン4.9で修正されました。

- EEH(拡張エラー処理)を挿入すると、次のような余分なカーネル出力が発生する可能性がある問題:"EEH: Might be infinite loop in mlx5_core driver"が修正されました。

- デフォルト以外のカーネルを備えたRPMベースのOSで、(-add-kernel-supportを使用して)インストーラーを再作成した後にレポジトリを使用すると、ドライバーが正しくインストールされませんでした。
- perftestパッケージのタイプミスで、ヘルプメッセージにGb/sとMB/sの間の変換結果が誤って表示されました(2^20ではなく20^2)。
- LAGスレーブの1つがダウンすると、LAGの非アクティブ化に失敗し、最終的に帯域幅が低下しました。
- mlx5ドライバーでは、/sys/kernel/debug/にある開いているすべてのethポートのサブディレクトリを維持します。デフォルトのネットワーク名前空間の場合、サブディレクトリ名は"eth8"のようなインターフェイスの名前です。デフォルト以外のネットワーク名前空間に移動されたネットワークインターフェイスの新しい規則では、インターフェイス名の後に"@"とポートのPCI IDが続きます。例:"eth8@0000:af:00.3"。
- 以前は、esp6_offloadモジュールが正常にロードされない場合に"openibd"スクリプトのロードに失敗していました。
- mpi-selectorsパッケージのperl-Getopt-Longシステムパッケージへの依存関係を追加しました。RPMベースのOSの最小インストールでは、mpi-selectrosをインストールすると、必須のシステムパッケージperl-Getopt-Longもインストールされます。
- 特定のまれなシナリオで、Rxページが補充されないために、同じページフラグメントが誤って2つの異なるRx記述子に割り当てられるようになりました。
- SLES15 SP1のerrataカーネルでドライバーのロードに関する問題がありました。
- TCツールを使用してヘアピンフローを追加できないヘアピン機能の問題が修正されました。
- EEHの場合、WQ(作業キュー)のフラッシュが適切に処理されませんでした。
- RMPP madを集中的に使用するアプリケーションを終了すると、まれにカーネルがクラッシュするシナリオ。
- ユーザー空間コマンドの実行と並行してAER/スロットリセットが行われると、カーネルがクラッシュする可能性のあるシナリオ。
- SwitchDevモードのPFのsysfsで欠落していたECN(Explicit Congestion Notification)構成を追加しました。
- コマンドに対するファームウェアの応答時間が非常に長くなると、タイムアウト時に一部のコマンドが失敗しました。その後、ドライバーが誤ったエントリーでタイムアウトの完了をトリガーし、ヌルポインター呼び出しトレースが発生した可能性があります。
- 次のNetDev操作を使用する古いXDP_REDIRECTインフラストラクチャを備えたカーネルのドライバーサポートを追加しました:.ndo_xdp_flushおよび.ndo_xdp_xmit。
- Open MPI RPMオプション--excludedocsを使用したときにドキュメントに関連しないファイルが削除されました。
- 以前のMLNX_OFEDバージョンの起動プロセスを維持するために、udevトリガーによる一部のモジュールの自動ロードを無効にしました。
- rdma_resolve_addr()関数でRDMA接続ID(cm_id)の参照カウント(refcount)がインクリメントされなかったために、cm_idのUse-After-Freeアクセスが発生しました。cm_idのrefcountをインクリメントするように修正が適用されました
- 2つのポートを同時にSwitchDevモードに移行したときにカーネルパニックが発生する競合状態。
- SwitchDevモードでのsysfsハードウェアカウンターへのアクセスを許可しました
- 実行対象のコアを決定するために、RXページのリサイクルフローで関数smp_processor_id()が呼び出されます。これは、NAPIコンテキストで実行するためのものです。しかし、バックポート中のバグにより、RXページのリサイクルがRQクローズフローで不要なときにも誤って呼び出されました。
- 再起動後にポートリンク状態が(管理状態の関与なしに)"アップ"に自動的に変更されました。
- SLES 11 OSで動作しているときにConnectX-3アダプターカードがフリーズしました。
- ポートスペースが小さいときに、RDMA CM(リモートダイレクトメモリアクセス通信マネージャー)接続が失敗しました。
- VxLANインターフェイスを介したOVS(Open VSwitch)オフロードおよび非オフロードによるトラフィックのミラーリングがサポートされるようになりました。注記:カーネル4.9の場合、必ず専用のOVSバージョンを使用してください。
- ボンディングデバイスがアクティブ/アクティブモードのときにVF LAGを使用した場合、fwresetを実行すると、両方のPFでトラフィックが等しくなくなり、PFが回線速度に到達しません。
- SwitchDevモードでVF(仮想機能)netdevice上にボンディングが作成された場合、VF netdeviceはリプレゼンテーションネットデバイスとして扱われます。これにより、mlx5_coreドライバーがボンディングデバイスに関連するnetdeviceイベントを受信した場合にクラッシュしました。
- VF LAGモードでの不適切なアフィニティの発生に続いて、スイッチのポートがアップ/ダウンした後にトラフィックが送信されていた問題。
- CentOS 7.2 OSでのVLAN(仮想ローカルエリアネットワーク)ヘッダーの書き換えのサポートを追加しました。

拡張

バージョン4.9では次の変更点と新機能が追加されました:

- **ConnectX-5以上のアダプターの場合**

以下の機能のサポートを追加しました。

- デバッグ機能を改善するために、devlinkツールを使用して構成スペースをダンプするオプション。
- 従来のTXディスクリプター(WQE、ワークキューエレメント)は送信用の単一のパケットを記述します。XDP送信フローでのマルチパケットTX WQEというHW機能のドライバーサポートを追加しました。これにより、HWで、複数のパケットを記述する新しい改善されたWQEレイアウトの使用が可能になります。実際、この機能によってPCI帯域幅とトランザクションが節約され、送信パケットの速度が向上します。
- GENEVEのカプセル化/非カプセル化ルールのオフロード。
- XDP送信フロー用に単一のパケットではなく複数のパケットを記述する新しい改善されたWQEレイアウトを使用するマルチパケットTxというハードウェア機能のドライバーサポート。これにより、PCI帯域幅とトランザクションが節約され、送信パケットの速度が向上します。
- ソフトウェアステアリングメカニズムを使用したCT(接続追跡)ルールのアップデート。
- ソフトウェアステアリングメカニズムを使用したリモートミラーリングルールのアップデート。

- **ConnectX-4以上のアダプターの場合**

以下の機能のサポートを追加しました。

- 物理ポートのバッファー不足のためにドロップされた受信パケットの数をカウントする、優先順位ごとのrx_prio[p]_discards破棄カウンターを公開しました。
- MPLSタグ付きトラフィックのTSOおよびCSUMオフロード機能をレポートし、カーネルスタックでこれらのオフロードを使用できるようにします。
- mlx5eの最大結合チャネルで、ドライバーの最大結合チャネル値を64から128に増やしました(ただし、OOB値は64を超えないので注意してください)。128が上限です。ファームウェアによって構成されたコアとMSIXの数に応じて、ホストでの最大値がこれよりも下がる可能性があります。
- 次のRoCEアクセラレーターカウンターを追加しました。
  - roce_adp_retrans - RoCEトラフィックのアダプティブ再送信の数をカウントします。
  - roce_adp_retrans_to - RoCEトラフィックがアダプティブ再送信のためにタイムアウトに達した回数をカウントします。
  - roce_slow_restart - RoCEスローリスタートが使用された回数をカウントします。
  - roce_slow_restart_cnps - RoCEスローリスタートによってCNPパケットが生成された回数をカウントします。roce_slow_restart_trans - RoCEスローリスタートによって状態がスローリスタートに変更された回数をカウントします。
- ユーザーは、実験的なVerbsを使用してリラックスオーダリングアクセスフラグでメモリ領域を登録します。これにより、アーキテクチャやシナリオに応じてパフォーマンスが向上する可能性があります。

- **すべてのHCAの場合**

以下の機能のサポートを追加しました。

- ibdev2netdevツールの出力が変更されたため、ボンディングデバイスがスレーブインターフェイスではなくボンディングを指すようになりました。
- Cookieエラーやタイムアウトなど、RXキューで発生するエラーの監視およびエラーからの回復。
- ドアベルの使用量を必要最低限に減らすことにより、GSO(Generic Segmentation Offload)ワークロードのパフォーマンスを改善しました。
- TX CQE(完了キューエントリー)の圧縮。CQEをまとめて圧縮することにより、送信PCIe帯域幅を節約します。デフォルトでは無効になっています。ethtoolのプライベートフラグで構成可能です。
- devlinkによるファームウェアバージョンのクエリ―:devlinkツールを使用して、実行中および保存されているファームウェアバージョンをクエリするオプションを追加しました。
- devlinkによるファームウェアフラッシュのアップデート:devlinkツールを使用してフラッシュ内のファームウェアイメージをアップデートするオプションを追加しました。使用法:devlink dev flash file .mfa2 このアップデートの実行方法の詳細は、MFTユーザーマニュアルの「Updating Firmware Using ethtool/devlink and .mfa2 File」セクションを参照してください。
- Rx/Txレポーターに関するエラーによってトリガーされるWQE(ワークキューエレメント)のダンプ。また、(エラーによってトリガーされない)一部のダンプは、ユーザーがdevlink healthレポーターを使用して取得できます。
- TSO、CSUM、およびRSSのGENEVEでトンネル化されたハードウェアオフロード。
- MPLSタグ付きトラフィック用のTCPセグメンテーションとチェックサムオフロードのサポート。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:
このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 7 Update 7 (x86_64)カーネルは、次の通りです。
3.10.0-1062.el7 - (x86_64) および将来アップデートされるカーネル。

HPE Mellanox RoCE (RDMA over Converged Ethernet) ドライバーfor Red Hat Enterprise Linux 8 Update 1 (x86_64)

バージョン: 4.9 **(推奨)**
ファイル名: kmod-mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.0.1.7.1.gd3d963b.rhel8u1.x86_64.compsig; kmod-mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.0.1.7.1.gd3d963b.rhel8u1.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.0.1.7.1.gd3d963b.rhel8u1.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.0.1.7.1.gd3d963b.rhel8u1.x86_64.rpm

修正

以下の問題点がバージョン4.9で修正されました。

- EEH(拡張エラー処理)を挿入すると、次のような余分なカーネル出力が発生する可能性がある問題:"EEH: Might be infinite loop in mlx5_core driver"が修正されました。
- デフォルト以外のカーネルを備えたRPMベースのOSで、(-add-kernel-supportを使用して)インストーラーを再作成した後にレポジトリを使用すると、ドライバーが正しくインストールされませんでした。
- perftestパッケージのタイプミスで、ヘルプメッセージにGb/sとMB/sの間の変換結果が誤って表示されました(2^20ではなく20^2)。
- LAGスレーブの1つがダウンすると、LAGの非アクティブ化に失敗し、最終的に帯域幅が低下しました。
- mlx5ドライバーでは、/sys/kernel/debug/にある開いているすべてのethポートのサブディレクトリを維持します。デフォルトのネットワーク名前空間の場合、サブディレクトリ名は"eth8"のようなインターフェイスの名前です。デフォルト以外のネットワーク名前空間に移動されたネットワークインターフェイスの新しい規則では、インターフェイス名の後に"@"とポートのPCI IDが続きます。例:"eth8@0000:af:00.3"。
- 以前は、esp6_offloadモジュールが正常にロードされない場合に"openibd"スクリプトのロードに失敗していました。
- mpi-selectorsパッケージのperl-Getopt-Longシステムパッケージへの依存関係を追加しました。RPMベースのOSの最小インストールでは、mpi-selectrosをインストールすると、必須のシステムパッケージperl-Getopt-Longもインストールされます。
- 特定のまれなシナリオで、Rxページが補充されないために、同じページフラグメントが誤って2つの異なるRx記述子に割り当てられるようになりました。
- SLES15 SP1のerrataカーネルでドライバーのロードに関する問題がありました。
- TCツールを使用してヘアピンフローを追加できないヘアピン機能の問題が修正されました。
- EEHの場合、WQ(作業キュー)のフラッシュが適切に処理されませんでした。
- RMPP madを集中的に使用するアプリケーションを終了すると、まれにカーネルがクラッシュするシナリオ。
- ユーザー空間コマンドの実行と並行してAER/スロットリセットが行われると、カーネルがクラッシュする可能性のあるシナリオ。
- SwitchDevモードのPFのsysfsで欠落していたECN(Explicit Congestion Notification)構成を追加しました。
- コマンドに対するファームウェアの応答時間が非常に長くなると、タイムアウト時に一部のコマンドが失敗しました。その後、ドライバーが誤ったエントリーでタイムアウトの完了をトリガーし、ヌルポインター呼び出しトレースが発生した可能性があります。
- 次のNetDev操作を使用する古いXDP_REDIRECTインフラストラクチャを備えたカーネルのドライバーサポートを追加しました:.ndo_xdp_flushおよび.ndo_xdp_xmit。
- Open MPI RPMオプション--excludedocsを使用したときにドキュメントに関連しないファイルが削除されました。
- 以前のMLNX_OFEDバージョンの起動プロセスを維持するために、udevトリガーによる一部のモジュールの自動ロードを無効にしました。
- rdma_resolve_addr()関数でRDMA接続ID(cm_id)の参照カウント(refcount)がインクリメントされなかったために、cm_idのUse-After-Freeアクセスが発生しました。cm_idのrefcountをインクリメントするように修正が適用されました
- 2つのポートを同時にSwitchDevモードに移行したときにカーネルパニックが発生する競合状態。
- SwitchDevモードでのsysfsハードウェアカウンターへのアクセスを許可しました
- 実行対象のコアを決定するために、RXページのリサイクルフローで関数smp_processor_id()が呼び出されます。これは、NAPIコンテキストで実行するためのものです。しかし、バックポート中のバグにより、RXページのリサイクルがRQクローズフローで不要なときにも誤って呼び出されました。
- 再起動後にポートリンク状態が(管理状態の関与なしに)"アップ"に自動的に変更されました。
- SLES 11 OSで動作しているときにConnectX-3アダプターカードがフリーズしました。

- ポートスペースが小さいときに、RDMA CM(リモートダイレクトメモリアクセス通信マネージャー)接続が失敗しました。
- VxLANインターフェイスを介したOVS(Open VSwitch)オフロードおよび非オフロードによるトラフィックのミラーリングがサポートされるようになりました。注記:カーネル4.9の場合、必ず専用のOVSバージョンを使用してください。
- ボンディングデバイスがアクティブ/アクティブモードのときにVF LAGを使用した場合、fwresetを実行すると、両方のPFでトラフィックが等しくなくなり、PFが回線速度に到達しません。
- SwitchDevモードでVF(仮想機能)netdevice上にボンディングが作成された場合、VF netdeviceはリプレゼンテーションネットデバイスとして扱われます。これにより、mlx5_coreドライバーがボンディングデバイスに関連するnetdeviceイベントを受信した場合にクラッシュしました。
- VF LAGモードでの不適切なアフィニティの発生に続いて、スイッチのポートがアップ/ダウンした後にトラフィックが送信されていた問題。
- CentOS 7.2 OSでのVLAN(仮想ローカルエリアネットワーク)ヘッダーの書き換えのサポートを追加しました。

拡張

バージョン4.9では次の変更点と新機能が追加されました:

- **ConnectX-5以上のアダプターの場合**

以下の機能のサポートを追加しました。

- デバッグ機能を改善するために、devlinkツールを使用して構成スペースをダンプするオプション。
- 従来のTXディスクリプター(WQE、ワークキューエレメント)は送信用の単一のパケットを記述します。XDP送信フローでのマルチパケットTX WQEというHW機能のドライバーサポートを追加しました。これにより、HWで、複数のパケットを記述する新しい改善されたWQEレイアウトの使用が可能になります。実際、この機能によってPCI帯域幅とトランザクションが節約され、送信パケットの速度が向上します。
- GENEVEのカプセル化/非カプセル化ルールのオフロード。
- XDP送信フロー用に単一のパケットではなく複数のパケットを記述する新しい改善されたWQEレイアウトを使用するマルチパケットTxというハードウェア機能のドライバーサポート。これにより、PCI帯域幅とトランザクションが節約され、送信パケットの速度が向上します。
- ソフトウェアステアリングメカニズムを使用したCT(接続追跡)ルールのアップデート。
- ソフトウェアステアリングメカニズムを使用したリモートミラーリングルールのアップデート。

- **ConnectX-4以上のアダプターの場合**

以下の機能のサポートを追加しました。

- 物理ポートのバッファー不足のためにドロップされた受信パケットの数をカウントする、優先順位ごとのrx_prio[p]_discards破棄カウンターを公開しました。
- MPLSタグ付きトラフィックのTSOおよびCSUMオフロード機能をレポートし、カーネルスタックでこれらのオフロードを使用できるようにします。
- mlx5eの最大結合チャネルで、ドライバーの最大結合チャネル値を64から128に増やしました(ただし、OOB値は64を超えないので注意してください)。128が上限です。ファームウェアによって構成されたコアとMSIXの数に応じて、ホストでの最大値がこれよりも下がる可能性があります。
- 次のRoCEアクセラレーターカウンターを追加しました。
  - roce_adp_retrans - RoCEトラフィックのアダプティブ再送信の数をカウントします。
  - roce_adp_retrans_to - RoCEトラフィックがアダプティブ再送信のためにタイムアウトに達した回数をカウントします。
  - roce_slow_restart - RoCEスローリスタートが使用された回数をカウントします。
  - roce_slow_restart_cnps - RoCEスローリスタートによってCNPパケットが生成された回数をカウントします。roce_slow_restart_trans - RoCEスローリスタートによって状態がスローリスタートに変更された回数をカウントします。
- ユーザーは、実験的なVerbsを使用してリラックスオーダリングアクセスフラグでメモリ領域を登録します。これにより、アーキテクチャやシナリオに応じてパフォーマンスが向上する可能性があります。

- **すべてのHCAの場合**

以下の機能のサポートを追加しました。

- ibdev2netdevツールの出力が変更されたため、ボンディングデバイスがスレーブインターフェイスではなくボンディングを指すようになりました。
- Cookieエラーやタイムアウトなど、RXキューで発生するエラーの監視およびエラーからの回復。

- ドアベルの使用量を必要最低限に減らすことにより、GSO(Generic Segmentation Offload)ワークロードのパフォーマンスを改善しました。
- TX CQE(完了キューエントリー)の圧縮。CQEをまとめて圧縮することにより、送信PCIe帯域幅を節約します。デフォルトでは無効になっています。ethtoolのプライベートフラグで構成可能です。
- devlinkによるファームウェアバージョンのクエリ―:devlinkツールを使用して、実行中および保存されているファームウェアバージョンをクエリするオプションを追加しました。
- devlinkによるファームウェアフラッシュのアップデート:devlinkツールを使用してフラッシュ内のファームウェアイメージをアップデートするオプションを追加しました。使用法:devlink dev flash file .mfa2 このアップデートの実行方法の詳細は、MFTユーザーマニュアルの「Updating Firmware Using ethtool/devlink and .mfa2 File」セクションを参照してください。
- Rx/Txレポーターに関するエラーによってトリガーされるWQE(ワークキューエレメント)のダンプ。また、(エラーによってトリガーされない)一部のダンプは、ユーザーがdevlink healthレポーターを使用して取得できます。
- TSO、CSUM、およびRSSのGENEVEでトンネル化されたハードウェアオフロード。
- MPLSタグ付きトラフィック用のTCPセグメンテーションとチェックサムオフロードのサポート。

HPE Mellanox RoCE (RDMA over Converged Ethernet) ドライバーfor SUSE LINUX Enterprise Server 12 SP4 (AMD64/EM64T)

バージョン: 4.9 **(推奨)**
ファイル名: mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.0.1.7.1.gd3d963b.sles12sp4.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.0.1.7.1.gd3d963b.sles12sp4.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-4.9_k4.12.14_94.41-OFED.4.9.0.1.7.1.gd3d963b.sles12sp4.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-4.9_k4.12.14_94.41-OFED.4.9.0.1.7.1.gd3d963b.sles12sp4.x86_64.rpm

重要な注意！

Mellanox Ethernet + RoCE Linuxドライバー(mlnx-ofa_kernel RPM)は、HPE MellanoxアダプターのEthernet動作モードのみサポートします。完全なInfiniBand機能または"InfiniBand + Ethernet"動作モードを同じノード上で必要とする場合、"Mellanox OFED VPI Drivers and Utilities"というLinuxソフトウェア配信リポジトリ(https://downloads.linux.hpe.com/SDR/project/mlnx_ofed/)からMLNX-OFEDドライバーをインストールしてください。

事前要件

ドライバーコンポーネントをインストールする前に、以下のパッケージをそれぞれのOSのディストリビューションからインストールする必要があります。

- Pythonバージョン2.7

修正

以下の問題点がバージョン4.9で修正されました。

- EEH(拡張エラー処理)を挿入すると、次のような余分なカーネル出力が発生する可能性がある問題:"EEH: Might be infinite loop in mlx5_core driver"が修正されました。
- デフォルト以外のカーネルを備えたRPMベースのOSで、(-add-kernel-supportを使用して)インストーラーを再作成した後にレポジトリを使用すると、ドライバーが正しくインストールされませんでした。
- perftestパッケージのタイプミスで、ヘルプメッセージにGb/sとMB/sの間の変換結果が誤って表示されました(2^20ではなく20^2)。
- LAGスレーブの1つがダウンすると、LAGの非アクティブ化に失敗し、最終的に帯域幅が低下しました。
- mlx5ドライバーでは、/sys/kernel/debug/にある開いているすべてのethポートのサブディレクトリを維持します。デフォルトのネットワーク名前空間の場合、サブディレクトリ名は"eth8"のようなインターフェイスの名前です。デフォルト以外のネットワーク名前空間に移動されたネットワークインターフェイスの新しい規則では、インターフェイス名の後に"@"とポートのPCI IDが続きます。例:"eth8@0000:af:00.3"。
- 以前は、esp6_offloadモジュールが正常にロードされない場合に"openibd"スクリプトのロードに失敗していました。
- mpi-selectorsパッケージのperl-Getopt-Longシステムパッケージへの依存関係を追加しました。RPMベースのOSの最小インストールでは、mpi-selectrosをインストールすると、必須のシステムパッケージperl-Getopt-Longもインストールされます。

- 特定のまれなシナリオで、Rxページが補充されないために、同じページフラグメントが誤って2つの異なるRx記述子に割り当てられるようになりました。
- SLES15 SP1のerrataカーネルでドライバーのロードに関する問題がありました。
- TCツールを使用してヘアピンフローを追加できないヘアピン機能の問題が修正されました。
- EEHの場合、WQ(作業キュー)のフラッシュが適切に処理されませんでした。
- RMPP madを集中的に使用するアプリケーションを終了すると、まれにカーネルがクラッシュするシナリオ。
- ユーザー空間コマンドの実行と並行してAER/スロットリセットが行われると、カーネルがクラッシュする可能性のあるシナリオ。
- SwitchDevモードのPFのsysfsで欠落していたECN(Explicit Congestion Notification)構成を追加しました。
- コマンドに対するファームウェアの応答時間が非常に長くなると、タイムアウト時に一部のコマンドが失敗しました。その後、ドライバーが誤ったエントリーでタイムアウトの完了をトリガーし、ヌルポインター呼び出しトレースが発生した可能性があります。
- 次のNetDev操作を使用する古いXDP_REDIRECTインフラストラクチャを備えたカーネルのドライバーサポートを追加しました:.ndo_xdp_flushおよび.ndo_xdp_xmit。
- Open MPI RPMオプション--excludedocsを使用したときにドキュメントに関連しないファイルが削除されました。
- 以前のMLNX_OFEDバージョンの起動プロセスを維持するために、udevトリガーによる一部のモジュールの自動ロードを無効にしました。
- rdma_resolve_addr()関数でRDMA接続ID(cm_id)の参照カウント(refcount)がインクリメントされなかったために、cm_idのUse-After-Freeアクセスが発生しました。cm_idのrefcountをインクリメントするように修正が適用されました
- 2つのポートを同時にSwitchDevモードに移行したときにカーネルパニックが発生する競合状態。
- SwitchDevモードでのsysfsハードウェアカウンターへのアクセスを許可しました
- 実行対象のコアを決定するために、RXページのリサイクルフローで関数smp_processor_id()が呼び出されます。これは、NAPIコンテキストで実行するためのものです。しかし、バックポート中のバグにより、RXページのリサイクルがRQクローズフローで不要なときにも誤って呼び出されました。
- 再起動後にポートリンク状態が(管理状態の関与なしに)"アップ"に自動的に変更されました。
- SLES 11 OSで動作しているときにConnectX-3アダプターカードがフリーズしました。
- ポートスペースが小さいときに、RDMA CM(リモートダイレクトメモリアクセス通信マネージャー)接続が失敗しました。
- VxLANインターフェイスを介したOVS(Open VSwitch)オフロードおよび非オフロードによるトラフィックのミラーリングがサポートされるようになりました。注記:カーネル4.9の場合、必ず専用のOVSバージョンを使用してください。
- ボンディングデバイスがアクティブ/アクティブモードのときにVF LAGを使用した場合、fwresetを実行すると、両方のPFでトラフィックが等しくなくなり、PFが回線速度に到達しません。
- SwitchDevモードでVF(仮想機能)netdevice上にボンディングが作成された場合、VF netdeviceはリプレゼンテーションネットデバイスとして扱われます。これにより、mlx5_coreドライバーがボンディングデバイスに関連するnetdeviceイベントを受信した場合にクラッシュしました。
- VF LAGモードでの不適切なアフィニティの発生に続いて、スイッチのポートがアップ/ダウンした後にトラフィックが送信されていた問題。
- CentOS 7.2 OSでのVLAN(仮想ローカルエリアネットワーク)ヘッダーの書き換えのサポートを追加しました。

拡張

バージョン4.9では次の変更点と新機能が追加されました:

- **ConnectX-5以上のアダプターの場合**

以下の機能のサポートを追加しました。

- デバッグ機能を改善するために、devlinkツールを使用して構成スペースをダンプするオプション。
- 従来のTXディスクリプター(WQE、ワークキューエレメント)は送信用の単一のパケットを記述します。XDP送信フローでのマルチパケットTX WQEというHW機能のドライバーサポートを追加しました。これにより、HWで、複数のパケットを記述する新しい改善されたWQEレイアウトの使用が可能になります。実際、この機能によってPCI帯域幅とトランザクションが節約され、送信パケットの速度が向上します。
- GENEVEのカプセル化/非カプセル化ルールのオフロード。
- XDP送信フロー用に単一のパケットではなく複数のパケットを記述する新しい改善されたWQEレイアウトを使用するマルチパケットTxというハードウェア機能のドライバーサポート。これにより、PCI帯域幅とトランザクションが節約され、送信パケットの速度が向上します。
- ソフトウェアステアリングメカニズムを使用したCT(接続追跡)ルールのアップデート。
- ソフトウェアステアリングメカニズムを使用したリモートミラーリングルールのアップデート。

- **ConnectX-4以上のアダプターの場合**

以下の機能のサポートを追加しました。

- 物理ポートのバッファー不足のためにドロップされた受信パケットの数をカウントする、優先順位ごとのrx_prio[p]_discards破棄カウンターを公開しました。
- MPLSタグ付きトラフィックのTSOおよびCSUMオフロード機能をレポートし、カーネルスタックでこれらのオフロードを使用できるようにします。
- mlx5eの最大結合チャネルで、ドライバーの最大結合チャネル値を64から128に増やしました(ただし、OOB値は64を超えないので注意してください)。128が上限です。ファームウェアによって構成されたコアとMSIXの数に応じて、ホストでの最大値がこれよりも下がる可能性があります。
- 次のRoCEアクセラレーターカウンターを追加しました。
  - roce_adp_retrans - RoCEトラフィックのアダプティブ再送信の数をカウントします。
  - roce_adp_retrans_to - RoCEトラフィックがアダプティブ再送信のためにタイムアウトに達した回数をカウントします。
  - roce_slow_restart - RoCEスローリスタートが使用された回数をカウントします。
  - roce_slow_restart_cnps - RoCEスローリスタートによってCNPパケットが生成された回数をカウントします。roce_slow_restart_trans - RoCEスローリスタートによって状態がスローリスタートに変更された回数をカウントします。
- ユーザーは、実験的なVerbsを使用してリラックスオーダリングアクセスフラグでメモリ領域を登録します。これにより、アーキテクチャやシナリオに応じてパフォーマンスが向上する可能性があります。

- **すべてのHCAの場合**

以下の機能のサポートを追加しました。

- ibdev2netdevツールの出力が変更されたため、ボンディングデバイスがスレーブインターフェイスではなくボンディングを指すようになりました。
- Cookieエラーやタイムアウトなど、RXキューで発生するエラーの監視およびエラーからの回復。
- ドアベルの使用量を必要最低限に減らすことにより、GSO(Generic Segmentation Offload)ワークロードのパフォーマンスを改善しました。
- TX CQE(完了キューエントリー)の圧縮。CQEをまとめて圧縮することにより、送信PCIe帯域幅を節約します。デフォルトでは無効になっています。ethtoolのプライベートフラグで構成可能です。
- devlinkによるファームウェアバージョンのクエリ―:devlinkツールを使用して、実行中および保存されているファームウェアバージョンをクエリするオプションを追加しました。
- devlinkによるファームウェアフラッシュのアップデート:devlinkツールを使用してフラッシュ内のファームウェアイメージをアップデートするオプションを追加しました。使用法:devlink dev flash file .mfa2 このアップデートの実行方法の詳細は、MFTユーザーマニュアルの「Updating Firmware Using ethtool/devlink and .mfa2 File」セクションを参照してください。
- Rx/Txレポーターに関するエラーによってトリガーされるWQE(ワークキューエレメント)のダンプ。また、(エラーによってトリガーされない)一部のダンプは、ユーザーがdevlink healthレポーターを使用して取得できます。
- TSO、CSUM、およびRSSのGENEVEでトンネル化されたハードウェアオフロード。
- MPLSタグ付きトラフィック用のTCPセグメンテーションとチェックサムオフロードのサポート。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:
このバイナリrpmでサポートされるSUSE LINUX Enterprise Server 12 SP4(AMD64/EM64T)のカーネルは、次のとおりです。
4.12.14-94.41-default -(AMD64/EM64T)および将来のアップデートカーネル。

HPE Mellanox RoCE (RDMA over Converged Ethernet) ドライバーfor SUSE LINUX Enterprise Server 12 SP5 (AMD64/EM64T)

バージョン: 4.9 **(推奨)**
ファイル名: mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.0.1.7.1.gd3d963b.sles12sp5.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.0.1.7.1.gd3d963b.sles12sp5.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-4.9_k4.12.14_120-OFED.4.9.0.1.7.1.gd3d963b.sles12sp5.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-4.9_k4.12.14_120-OFED.4.9.0.1.7.1.gd3d963b.sles12sp5.x86_64.rpm

修正

以下の問題点がバージョン4.9で修正されました。

- EEH(拡張エラー処理)を挿入すると、次のような余分なカーネル出力が発生する可能性がある問題:"EEH: Might be infinite loop in mlx5_core driver"が修正されました。
- デフォルト以外のカーネルを備えたRPMベースのOSで、(-add-kernel-supportを使用して)インストーラーを再作成した後にレポジトリを使用すると、ドライバーが正しくインストールされませんでした。
- perftestパッケージのタイプミスで、ヘルプメッセージにGb/sとMB/sの間の変換結果が誤って表示されました(2^20ではなく20^2)。
- LAGスレーブの1つがダウンすると、LAGの非アクティブ化に失敗し、最終的に帯域幅が低下しました。
- mlx5ドライバーでは、/sys/kernel/debug/にある開いているすべてのethポートのサブディレクトリを維持します。デフォルトのネットワーク名前空間の場合、サブディレクトリ名は"eth8"のようなインターフェイスの名前です。デフォルト以外のネットワーク名前空間に移動されたネットワークインターフェイスの新しい規則では、インターフェイス名の後に"@"とポートのPCI IDが続きます。例:"eth8@0000:af:00.3"。
- 以前は、esp6_offloadモジュールが正常にロードされない場合に"openibd"スクリプトのロードに失敗していました。
- mpi-selectorsパッケージのperl-Getopt-Longシステムパッケージへの依存関係を追加しました。RPMベースのOSの最小インストールでは、mpi-selectrosをインストールすると、必須のシステムパッケージperl-Getopt-Longもインストールされます。
- 特定のまれなシナリオで、Rxページが補充されないために、同じページフラグメントが誤って2つの異なるRx記述子に割り当てられるようになりました。
- SLES15 SP1のerrataカーネルでドライバーのロードに関する問題がありました。
- TCツールを使用してヘアピンフローを追加できないヘアピン機能の問題が修正されました。
- EEHの場合、WQ(作業キュー)のフラッシュが適切に処理されませんでした。
- RMPP madを集中的に使用するアプリケーションを終了すると、まれにカーネルがクラッシュするシナリオ。
- ユーザー空間コマンドの実行と並行してAER/スロットリセットが行われると、カーネルがクラッシュする可能性のあるシナリオ。
- SwitchDevモードのPFのsysfsで欠落していたECN(Explicit Congestion Notification)構成を追加しました。
- コマンドに対するファームウェアの応答時間が非常に長くなると、タイムアウト時に一部のコマンドが失敗しました。その後、ドライバーが誤ったエントリーでタイムアウトの完了をトリガーし、ヌルポインター呼び出しトレースが発生した可能性があります。
- 次のNetDev操作を使用する古いXDP_REDIRECTインフラストラクチャを備えたカーネルのドライバーサポートを追加しました:.ndo_xdp_flushおよび.ndo_xdp_xmit。
- Open MPI RPMオプション--excludedocsを使用したときにドキュメントに関連しないファイルが削除されました。
- 以前のMLNX_OFEDバージョンの起動プロセスを維持するために、udevトリガーによる一部のモジュールの自動ロードを無効にしました。
- rdma_resolve_addr()関数でRDMA接続ID(cm_id)の参照カウント(refcount)がインクリメントされなかったために、cm_idのUse-After-Freeアクセスが発生しました。cm_idのrefcountをインクリメントするように修正が適用されました
- 2つのポートを同時にSwitchDevモードに移行したときにカーネルパニックが発生する競合状態。
- SwitchDevモードでのsysfsハードウェアカウンターへのアクセスを許可しました
- 実行対象のコアを決定するために、RXページのリサイクルフローで関数smp_processor_id()が呼び出されます。これは、NAPIコンテキストで実行するためのものです。しかし、バックポート中のバグにより、RXページのリサイクルがRQクローズフローで不要なときにも誤って呼び出されました。
- 再起動後にポートリンク状態が(管理状態の関与なしに)"アップ"に自動的に変更されました。
- SLES 11 OSで動作しているときにConnectX-3アダプターカードがフリーズしました。
- ポートスペースが小さいときに、RDMA CM(リモートダイレクトメモリアクセス通信マネージャー)接続が失敗しました。
- VxLANインターフェイスを介したOVS(Open VSwitch)オフロードおよび非オフロードによるトラフィックのミラーリングがサポートされるようになりました。注記:カーネル4.9の場合、必ず専用のOVSバージョンを使用してください。
- ボンディングデバイスがアクティブ/アクティブモードのときにVF LAGを使用した場合、fwresetを実行すると、両方のPFでトラフィックが等しくなくなり、PFが回線速度に到達しません。
- SwitchDevモードでVF(仮想機能)netdevice上にボンディングが作成された場合、VF netdeviceはリプレゼンテーションネットデバイスとして扱われます。これにより、mlx5_coreドライバーがボンディングデバイスに関連するnetdeviceイベントを受信した場合にクラッシュしました。
- VF LAGモードでの不適切なアフィニティの発生に続いて、スイッチのポートがアップ/ダウンした後にトラフィックが送信されていた問題。
- CentOS 7.2 OSでのVLAN(仮想ローカルエリアネットワーク)ヘッダーの書き換えのサポートを追加しました。

拡張

バージョン4.9では次の変更点と新機能が追加されました:

- **ConnectX-5以上のアダプターの場合**

以下の機能のサポートを追加しました。

- デバッグ機能を改善するために、devlinkツールを使用して構成スペースをダンプするオプション。
- 従来のTXディスクリプター(WQE、ワークキューエレメント)は送信用の単一のパケットを記述します。XDP送信フローでのマルチパケットTX WQEというHW機能のドライバーサポートを追加しました。これにより、HWで、複数のパケットを記述する新しい改善されたWQEレイアウトの使用が可能になります。実際、この機能によってPCI帯域幅とトランザクションが節約され、送信パケットの速度が向上します。
- GENEVEのカプセル化/非カプセル化ルールのオフロード。
- XDP送信フロー用に単一のパケットではなく複数のパケットを記述する新しい改善されたWQEレイアウトを使用するマルチパケットTxというハードウェア機能のドライバーサポート。これにより、PCI帯域幅とトランザクションが節約され、送信パケットの速度が向上します。
- ソフトウェアステアリングメカニズムを使用したCT(接続追跡)ルールのアップデート。
- ソフトウェアステアリングメカニズムを使用したリモートミラーリングルールのアップデート。

- **ConnectX-4以上のアダプターの場合**

以下の機能のサポートを追加しました。

- 物理ポートのバッファー不足のためにドロップされた受信パケットの数をカウントする、優先順位ごとのrx_prio[p]_discards破棄カウンターを公開しました。
- MPLSタグ付きトラフィックのTSOおよびCSUMオフロード機能をレポートし、カーネルスタックでこれらのオフロードを使用できるようにします。
- mlx5eの最大結合チャネルで、ドライバーの最大結合チャネル値を64から128に増やしました(ただし、OOB値は64を超えないので注意してください)。128が上限です。ファームウェアによって構成されたコアとMSIXの数に応じて、ホストでの最大値がこれよりも下がる可能性があります。
- 次のRoCEアクセラレーターカウンターを追加しました。
  - roce_adp_retrans - RoCEトラフィックのアダプティブ再送信の数をカウントします。
  - roce_adp_retrans_to - RoCEトラフィックがアダプティブ再送信のためにタイムアウトに達した回数をカウントします。
  - roce_slow_restart - RoCEスローリスタートが使用された回数をカウントします。
  - roce_slow_restart_cnps - RoCEスローリスタートによってCNPパケットが生成された回数をカウントします。roce_slow_restart_trans - RoCEスローリスタートによって状態がスローリスタートに変更された回数をカウントします。
- ユーザーは、実験的なVerbsを使用してリラックスオーダリングアクセスフラグでメモリ領域を登録します。これにより、アーキテクチャやシナリオに応じてパフォーマンスが向上する可能性があります。

- **すべてのHCAの場合**

以下の機能のサポートを追加しました。

- ibdev2netdevツールの出力が変更されたため、ボンディングデバイスがスレーブインターフェイスではなくボンディングを指すようになりました。
- Cookieエラーやタイムアウトなど、RXキューで発生するエラーの監視およびエラーからの回復。
- ドアベルの使用量を必要最低限に減らすことにより、GSO(Generic Segmentation Offload)ワークロードのパフォーマンスを改善しました。
- TX CQE(完了キューエントリー)の圧縮。CQEをまとめて圧縮することにより、送信PCIe帯域幅を節約します。デフォルトでは無効になっています。ethtoolのプライベートフラグで構成可能です。
- devlinkによるファームウェアバージョンのクエリ―:devlinkツールを使用して、実行中および保存されているファームウェアバージョンをクエリするオプションを追加しました。
- devlinkによるファームウェアフラッシュのアップデート:devlinkツールを使用してフラッシュ内のファームウェアイメージをアップデートするオプションを追加しました。使用法:devlink dev flash file .mfa2 このアップデートの実行方法の詳細は、MFTユーザーマニュアルの「Updating Firmware Using ethtool/devlink and .mfa2 File」セクションを参照してください。
- Rx/Txレポーターに関するエラーによってトリガーされるWQE(ワークキューエレメント)のダンプ。また、(エラーによってトリガーされない)一部のダンプは、ユーザーがdevlink healthレポーターを使用して取得できます。
- TSO、CSUM、およびRSSのGENEVEでトンネル化されたハードウェアオフロード。

- MPLSタグ付きトラフィック用のTCPセグメンテーションとチェックサムオフロードのサポート。

HPE Mellanox RoCE (RDMA over Converged Ethernet)ドライバー for SUSE LINUX Enterprise Server 15 SP1 (AMD64/EM64T)

バージョン: 4.9 **(推奨)**
ファイル名: mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.0.1.7.1.gd3d963b.sles15sp1.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.0.1.7.1.gd3d963b.sles15sp1.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-4.9_k4.12.14_195-OFED.4.9.0.1.7.1.gd3d963b.sles15sp1.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-4.9_k4.12.14_195-OFED.4.9.0.1.7.1.gd3d963b.sles15sp1.x86_64.rpm

重要な注意！

Mellanox Ethernet + RoCE Linuxドライバー(mlnx-ofa_kernel RPM)は、HPE MellanoxアダプターのEthernet動作モードのみサポートします。完全なInfiniBand機能または"InfiniBand + Ethernet"動作モードを同じノード上で必要とする場合、"Mellanox OFED VPI Drivers and Utilities"というLinuxソフトウェア配信リポジトリ(https://downloads.linux.hpe.com/SDR/project/mlnx_ofed/)からMLNX-OFEDドライバーをインストールしてください。

事前要件

ドライバーコンポーネントをインストールする前に、以下のパッケージをそれぞれのOSのディストリビューションからインストールする必要があります。

- Pythonバージョン2.7

修正

以下の問題点がバージョン4.9で修正されました。

- EEH(拡張エラー処理)を挿入すると、次のような余分なカーネル出力が発生する可能性がある問題:"EEH: Might be infinite loop in mlx5_core driver"が修正されました。
- デフォルト以外のカーネルを備えたRPMベースのOSで、(-add-kernel-supportを使用して)インストーラーを再作成した後にレポジトリを使用すると、ドライバーが正しくインストールされませんでした。
- perftestパッケージのタイプミスで、ヘルプメッセージにGb/sとMB/sの間の変換結果が誤って表示されました(2^20ではなく20^2)。
- LAGスレーブの1つがダウンすると、LAGの非アクティブ化に失敗し、最終的に帯域幅が低下しました。
- mlx5ドライバーでは、/sys/kernel/debug/にある開いているすべてのethポートのサブディレクトリを維持します。デフォルトのネットワーク名前空間の場合、サブディレクトリ名は"eth8"のようなインターフェイスの名前です。デフォルト以外のネットワーク名前空間に移動されたネットワークインターフェイスの新しい規則では、インターフェイス名の後に"@"とポートのPCI IDが続きます。例:"eth8@0000:af:00.3"。
- 以前は、esp6_offloadモジュールが正常にロードされない場合に"openibd"スクリプトのロードに失敗していました。
- mpi-selectorsパッケージのperl-Getopt-Longシステムパッケージへの依存関係を追加しました。RPMベースのOSの最小インストールでは、mpi-selectrosをインストールすると、必須のシステムパッケージperl-Getopt-Longもインストールされます。
- 特定のまれなシナリオで、Rxページが補充されないために、同じページフラグメントが誤って2つの異なるRx記述子に割り当てられるようになりました。
- SLES15 SP1のerrataカーネルでドライバーのロードに関する問題がありました。
- TCツールを使用してヘアピンフローを追加できないヘアピン機能の問題が修正されました。
- EEHの場合、WQ(作業キュー)のフラッシュが適切に処理されませんでした。
- RMPP madを集中的に使用するアプリケーションを終了すると、まれにカーネルがクラッシュするシナリオ。
- ユーザー空間コマンドの実行と並行してAER/スロットリセットが行われると、カーネルがクラッシュする可能性のあるシナリオ。
- SwitchDevモードのPFのsysfsで欠落していたECN(Explicit Congestion Notification)構成を追加しました。
- コマンドに対するファームウェアの応答時間が非常に長くなると、タイムアウト時に一部のコマンドが失敗しました。その後、ドライバーが誤ったエントリーでタイムアウトの完了をトリガーし、ヌルポインター呼び出しトレースが発生した可能性があります。
- 次のNetDev操作を使用する古いXDP_REDIRECTインフラストラクチャを備えたカーネルのドライバーサポートを追加しました:.ndo_xdp_flushおよび.ndo_xdp_xmit。

- Open MPI RPMオプション--excludedocsを使用したときにドキュメントに関連しないファイルが削除されました。
- 以前のMLNX_OFEDバージョンの起動プロセスを維持するために、udevトリガーによる一部のモジュールの自動ロードを無効にしました。
- rdma_resolve_addr()関数でRDMA接続ID(cm_id)の参照カウント(refcount)がインクリメントされなかったために、cm_idのUse-After-Freeアクセスが発生しました。cm_idのrefcountをインクリメントするように修正が適用されました
- 2つのポートを同時にSwitchDevモードに移行したときにカーネルパニックが発生する競合状態。
- SwitchDevモードでのsysfsハードウェアカウンターへのアクセスを許可しました
- 実行対象のコアを決定するために、RXページのリサイクルフローで関数smp_processor_id()が呼び出されます。これは、NAPIコンテキストで実行するためのものです。しかし、バックポート中のバグにより、RXページのリサイクルがRQクローズフローで不要なときにも誤って呼び出されました。
- 再起動後にポートリンク状態が(管理状態の関与なしに)"アップ"に自動的に変更されました。
- SLES 11 OSで動作しているときにConnectX-3アダプターカードがフリーズしました。
- ポートスペースが小さいときに、RDMA CM(リモートダイレクトメモリアクセス通信マネージャー)接続が失敗しました。
- VxLANインターフェイスを介したOVS(Open VSwitch)オフロードおよび非オフロードによるトラフィックのミラーリングがサポートされるようになりました。注記:カーネル4.9の場合、必ず専用のOVSバージョンを使用してください。
- ボンディングデバイスがアクティブ/アクティブモードのときにVF LAGを使用した場合、fwresetを実行すると、両方のPFでトラフィックが等しくなくなり、PFが回線速度に到達しません。
- SwitchDevモードでVF(仮想機能)netdevice上にボンディングが作成された場合、VF netdeviceはリプレゼンテーションネットデバイスとして扱われます。これにより、mlx5_coreドライバーがボンディングデバイスに関連するnetdeviceイベントを受信した場合にクラッシュしました。
- VF LAGモードでの不適切なアフィニティの発生に続いて、スイッチのポートがアップ/ダウンした後にトラフィックが送信されていた問題。
- CentOS 7.2 OSでのVLAN(仮想ローカルエリアネットワーク)ヘッダーの書き換えのサポートを追加しました。

拡張

バージョン4.9では次の変更点と新機能が追加されました:

- **ConnectX-5以上のアダプターの場合**

以下の機能のサポートを追加しました。

- デバッグ機能を改善するために、devlinkツールを使用して構成スペースをダンプするオプション。
- 従来のTXディスクリプター(WQE、ワークキューエレメント)は送信用の単一のパケットを記述します。XDP送信フローでのマルチパケットTX WQEというHW機能のドライバーサポートを追加しました。これにより、HWで、複数のパケットを記述する新しい改善されたWQEレイアウトの使用が可能になります。実際、この機能によってPCI帯域幅とトランザクションが節約され、送信パケットの速度が向上します。
- GENEVEのカプセル化/非カプセル化ルールのオフロード。
- XDP送信フロー用に単一のパケットではなく複数のパケットを記述する新しい改善されたWQEレイアウトを使用するマルチパケットTxというハードウェア機能のドライバーサポート。これにより、PCI帯域幅とトランザクションが節約され、送信パケットの速度が向上します。
- ソフトウェアステアリングメカニズムを使用したCT(接続追跡)ルールのアップデート。
- ソフトウェアステアリングメカニズムを使用したリモートミラーリングルールのアップデート。

- **ConnectX-4以上のアダプターの場合**

以下の機能のサポートを追加しました。

- 物理ポートのバッファー不足のためにドロップされた受信パケットの数をカウントする、優先順位ごとのrx_prio[p]_discards破棄カウンターを公開しました。
- MPLSタグ付きトラフィックのTSOおよびCSUMオフロード機能をレポートし、カーネルスタックでこれらのオフロードを使用できるようにします。
- mlx5eの最大結合チャネルで、ドライバーの最大結合チャネル値を64から128に増やしました(ただし、OOB値は64を超えないので注意してください)。128が上限です。ファームウェアによって構成されたコアとMSIXの数に応じて、ホストでの最大値がこれよりも下がる可能性があります。
- 次のRoCEアクセラレーターカウンターを追加しました。
    - roce_adp_retrans - RoCEトラフィックのアダプティブ再送信の数をカウントします。

        - roce_adp_retrans_to - RoCEトラフィックがアダプティブ再送信のためにタイムアウトに達した回数をカウントします。
        - roce_slow_restart - RoCEスローリスタートが使用された回数をカウントします。
        - roce_slow_restart_cnps - RoCEスローリスタートによってCNPパケットが生成された回数をカウントします。roce_slow_restart_trans - RoCEスローリスタートによって状態がスローリスタートに変更された回数をカウントします。
    - ユーザーは、実験的なVerbsを使用してリラックスオーダリングアクセスフラグでメモリ領域を登録します。これにより、アーキテクチャやシナリオに応じてパフォーマンスが向上する可能性があります。

    - **すべてのHCAの場合**

以下の機能のサポートを追加しました。

- ibdev2netdevツールの出力が変更されたため、ボンディングデバイスがスレーブインターフェイスではなくボンディングを指すようになりました。
- Cookieエラーやタイムアウトなど、RXキューで発生するエラーの監視およびエラーからの回復。
- ドアベルの使用量を必要最低限に減らすことにより、GSO(Generic Segmentation Offload)ワークロードのパフォーマンスを改善しました。
- TX CQE(完了キューエントリー)の圧縮。CQEをまとめて圧縮することにより、送信PCIe帯域幅を節約します。デフォルトでは無効になっています。ethtoolのプライベートフラグで構成可能です。
- devlinkによるファームウェアバージョンのクエリ―:devlinkツールを使用して、実行中および保存されているファームウェアバージョンをクエリするオプションを追加しました。
- devlinkによるファームウェアフラッシュのアップデート:devlinkツールを使用してフラッシュ内のファームウェアイメージをアップデートするオプションを追加しました。使用法:devlink dev flash file .mfa2 このアップデートの実行方法の詳細は、MFTユーザーマニュアルの「Updating Firmware Using ethtool/devlink and .mfa2 File」セクションを参照してください。
- Rx/Txレポーターに関するエラーによってトリガーされるWQE(ワークキューエレメント)のダンプ。また、(エラーによってトリガーされない)一部のダンプは、ユーザーがdevlink healthレポーターを使用して取得できます。
- TSO、CSUM、およびRSSのGENEVEでトンネル化されたハードウェアオフロード。
- MPLSタグ付きトラフィック用のTCPセグメンテーションとチェックサムオフロードのサポート。

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:
このバイナリrpmでサポートされるSUSE Linux Enterprise Server 15 SP1(AMD64/EM64T)カーネルは、次のとおりです。
4.12.14-193-default -(AMD64/EM64T)および将来のアップデートカーネル。

HPE Mellanox RoCE (RDMA over Converged Ethernet)ドライバーfor Mellanox ConnectX-4, ConnectX-5 and ConnectX-6 Adapters for SUSE LINUX Enterprise Server 12 SP5 (AMD64/EM64T)

バージョン: 5.0 **(推奨)**
ファイル名: mlnx-ofa_kernel-5.0-OFED.5.0.2.1.8.1.g5f67178.1.sles12sp5.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-5.0-OFED.5.0.2.1.8.1.g5f67178.1.sles12sp5.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-5.0_k4.12.14_120-OFED.5.0.2.1.8.1.g5f67178.sles12sp5.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-5.0_k4.12.14_120-OFED.5.0.2.1.8.1.g5f67178.sles12sp5.x86_64.rpm

修正

以下の問題点がバージョン5.0で修正されました:

- パケットドロップの後、Rxページは補充されませんでした。特定のまれなシナリオで、同じページフラグメントが誤って書き込み用の2つの異なるRx記述子に割り当てられました。
- OFEDのインストール後にibsimが見つかりませんでした。
- OFEDのインストール後にucx-kmemが見つかりませんでした。
- systemdとRDMA-Core間の依存関係の問題が修正されました。
- トラフィッククラス(TC)ツールを使用してヘアピンフローを追加できませんでした。
- 拡張エラー処理(EEH)の場合、作業キュー(WQ)のフラッシュが適切に処理されませんでした。

- Reliable Message Passing Protocol(RMPP)madを集中的に使用するアプリケーションを終了すると、カーネルがクラッシュしました。
- MLNX_OFED v5.0以降で提供されるperftestアプリケーション(ib_read_*、ib_write_*など)は、クライアントサーバー通信のもう一方の側にある対応するアプリケーションが以前のバージョンのMLNX_OFEDで提供されている場合、相互運用性の問題により正しく機能しませんでした。
- ユーザー空間コマンドの実行と並行してAER/スロットリセットが行われると、カーネルがクラッシュしました。
- SwitchDevモードの物理機能(PF)のsysfsでExplicit Congestion Notification(ECN)構成がありません。

拡張

HPE Mellanox RoCEドライバーバージョン5.0の変更点および新機能:

ConnectX-5以上のアダプターの場合

- メモリ消費を削減することで、カーネルソフトウェアが管理するフローステアリングのパフォーマンスが改善しました。

HPE Mellanox RoCE (RDMA over Converged Ethernet)ドライバーfor Mellanox ConnectX-4、ConnectX-5、ConnectX-6 Adapters for SUSE LINUX Enterprise Server 12 SP4 (AMD64/EM64T)

バージョン: 5.0 **(推奨)**
ファイル名: mlnx-ofa_kernel-5.0-OFED.5.0.2.1.8.1.g5f67178.sles12sp4.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-5.0-OFED.5.0.2.1.8.1.g5f67178.sles12sp4.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-5.0_k4.12.14_94.41-OFED.5.0.2.1.8.1.g5f67178.sles12sp4.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-5.0_k4.12.14_94.41-OFED.5.0.2.1.8.1.g5f67178.sles12sp4.x86_64.rpm

修正

以下の問題点がバージョン5.0で修正されました:

- パケットドロップの後、Rxページは補充されませんでした。特定のまれなシナリオで、同じページフラグメントが誤って書き込み用の2つの異なるRx記述子に割り当てられました。
- OFEDのインストール後にibsimが見つかりませんでした。
- OFEDのインストール後にucx-kmemが見つかりませんでした。
- systemdとRDMA-Core間の依存関係の問題が修正されました。
- トラフィッククラス(TC)ツールを使用してヘアピンフローを追加できませんでした。
- 拡張エラー処理(EEH)の場合、作業キュー(WQ)のフラッシュが適切に処理されませんでした。
- Reliable Message Passing Protocol(RMPP)madを集中的に使用するアプリケーションを終了すると、カーネルがクラッシュしました。
- MLNX_OFED v5.0以降で提供されるperftestアプリケーション(ib_read_*、ib_write_*など)は、クライアントサーバー通信のもう一方の側にある対応するアプリケーションが以前のバージョンのMLNX_OFEDで提供されている場合、相互運用性の問題により正しく機能しませんでした。
- ユーザー空間コマンドの実行と並行してAER/スロットリセットが行われると、カーネルがクラッシュしました。
- SwitchDevモードの物理機能(PF)のsysfsでExplicit Congestion Notification(ECN)構成がありません。

拡張

HPE Mellanox RoCEドライバーバージョン5.0の変更点および新機能:

ConnectX-5以上のアダプターの場合

- メモリ消費を削減することで、カーネルソフトウェアが管理するフローステアリングのパフォーマンスが改善しました。

HPE Mellanox RoCE (RDMA over Converged Ethernet)ドライバーfor Mellanox ConnectX-4、ConnectX-5、ConnectX-6 Adapters for SUSE LINUX Enterprise Server 15

SP1(AMD64/EM64T)

バージョン: 5.0 **(推奨)**

ファイル名: mlnx-ofa_kernel-5.0-OFED.5.0.2.1.8.1.g5f67178.sles15sp1.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-5.0-OFED.5.0.2.1.8.1.g5f67178.sles15sp1.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-5.0_k4.12.14_195-OFED.5.0.2.1.8.1.g5f67178.sles15sp1.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-kmp-default-5.0_k4.12.14_195-OFED.5.0.2.1.8.1.g5f67178.sles15sp1.x86_64.rpm

修正

以下の問題点がバージョン5.0で修正されました:

- パケットドロップの後、Rxページは補充されませんでした。特定のまれなシナリオで、同じページフラグメントが誤って書き込み用の2つの異なるRx記述子に割り当てられました。
- OFEDのインストール後にibsimが見つかりませんでした。
- OFEDのインストール後にucx-kmemが見つかりませんでした。
- systemdとRDMA-Core間の依存関係の問題が修正されました。
- トラフィッククラス(TC)ツールを使用してヘアピンフローを追加できませんでした。
- 拡張エラー処理(EEH)の場合、作業キュー(WQ)のフラッシュが適切に処理されませんでした。
- Reliable Message Passing Protocol(RMPP)madを集中的に使用するアプリケーションを終了すると、カーネルがクラッシュしました。
- MLNX_OFED v5.0以降で提供されるperftestアプリケーション(ib_read_*、ib_write_*など)は、クライアントサーバー通信のもう一方の側にある対応するアプリケーションが以前のバージョンのMLNX_OFEDで提供されている場合、相互運用性の問題により正しく機能しませんでした。
- ユーザー空間コマンドの実行と並行してAER/スロットリセットが行われると、カーネルがクラッシュしました。
- SwitchDevモードの物理機能(PF)のsysfsでExplicit Congestion Notification(ECN)構成がありません。

拡張

HPE Mellanox RoCEドライバーバージョン5.0の変更点および新機能:

ConnectX-5以上のアダプターの場合

- メモリ消費を削減することで、カーネルソフトウェアが管理するフローステアリングのパフォーマンスが改善しました。

HPE Mellanox RoCE(RDMA over Converged Ethernet) ドライバーfor Red Hat Enterprise Linux 8 Update 2 (x86_64)

バージョン: 4.9 **(推奨)**

ファイル名: kmod-mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.0.1.7.1.gd3d963b.rhel8u2.x86_64.compsig; kmod-mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.0.1.7.1.gd3d963b.rhel8u2.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.0.1.7.1.gd3d963b.rhel8u2.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-4.9-OFED.4.9.0.1.7.1.gd3d963b.rhel8u2.x86_64.rpm

修正

以下の問題点がバージョン4.9で修正されました。

- EEH(拡張エラー処理)を挿入すると、次のような余分なカーネル出力が発生する可能性がある問題:"EEH: Might be infinite loop in mlx5_core driver"が修正されました。
- デフォルト以外のカーネルを備えたRPMベースのOSで、(-add-kernel-supportを使用して)インストーラーを再作成した後にレポジトリを使用すると、ドライバーが正しくインストールされませんでした。
- perftestパッケージのタイプミスで、ヘルプメッセージにGb/sとMB/sの間の変換結果が誤って表示されました(2^20ではなく20^2)。
- LAGスレーブの1つがダウンすると、LAGの非アクティブ化に失敗し、最終的に帯域幅が低下しました。
- mlx5ドライバーでは、/sys/kernel/debug/にある開いているすべてのethポートのサブディレクトリを維持します。デフォルトのネットワーク名前空間の場合、サブディレクトリ名は"eth8"のようなインターフェイスの名前です。デフォルト以外のネットワーク名前空間に移動されたネットワークインターフェイスの新しい規則では、インターフェイス名の後に"@"とポートのPCI IDが続きます。例:"eth8@0000:af:00.3"。
- 以前は、esp6_offloadモジュールが正常にロードされない場合に"openibd"スクリプトのロードに失敗していました。

- mpi-selectorsパッケージのperl-Getopt-Longシステムパッケージへの依存関係を追加しました。RPMベースのOSの最小インストールでは、mpi-selectrosをインストールすると、必須のシステムパッケージperl-Getopt-Longもインストールされます。
- 特定のまれなシナリオで、Rxページが補充されないために、同じページフラグメントが誤って2つの異なるRx記述子に割り当てられるようになりました。
- SLES15 SP1のerrataカーネルでドライバーのロードに関する問題がありました。
- TCツールを使用してヘアピンフローを追加できないヘアピン機能の問題が修正されました。
- EEHの場合、WQ(作業キュー)のフラッシュが適切に処理されませんでした。
- RMPP madを集中的に使用するアプリケーションを終了すると、まれにカーネルがクラッシュするシナリオ。
- ユーザー空間コマンドの実行と並行してAER/スロットリセットが行われると、カーネルがクラッシュする可能性のあるシナリオ。
- SwitchDevモードのPFのsysfsで欠落していたECN(Explicit Congestion Notification)構成を追加しました。
- コマンドに対するファームウェアの応答時間が非常に長くなると、タイムアウト時に一部のコマンドが失敗しました。その後、ドライバーが誤ったエントリーでタイムアウトの完了をトリガーし、ヌルポインター呼び出しトレースが発生した可能性があります。
- 次のNetDev操作を使用する古いXDP_REDIRECTインフラストラクチャを備えたカーネルのドライバーサポートを追加しました:.ndo_xdp_flushおよび.ndo_xdp_xmit。
- Open MPI RPMオプション--excludedocsを使用したときにドキュメントに関連しないファイルが削除されました。
- 以前のMLNX_OFEDバージョンの起動プロセスを維持するために、udevトリガーによる一部のモジュールの自動ロードを無効にしました。
- rdma_resolve_addr()関数でRDMA接続ID(cm_id)の参照カウント(refcount)がインクリメントされなかったために、cm_idのUse-After-Freeアクセスが発生しました。cm_idのrefcountをインクリメントするように修正が適用されました
- 2つのポートを同時にSwitchDevモードに移行したときにカーネルパニックが発生する競合状態。
- SwitchDevモードでのsysfsハードウェアカウンターへのアクセスを許可しました
- 実行対象のコアを決定するために、RXページのリサイクルフローで関数smp_processor_id()が呼び出されます。これは、NAPIコンテキストで実行するためのものです。しかし、バックポート中のバグにより、RXページのリサイクルがRQクローズフローで不要なときにも誤って呼び出されました。
- 再起動後にポートリンク状態が(管理状態の関与なしに)"アップ"に自動的に変更されました。
- SLES 11 OSで動作しているときにConnectX-3アダプターカードがフリーズしました。
- ポートスペースが小さいときに、RDMA CM(リモートダイレクトメモリアクセス通信マネージャー)接続が失敗しました。
- VxLANインターフェイスを介したOVS(Open VSwitch)オフロードおよび非オフロードによるトラフィックのミラーリングがサポートされるようになりました。注記:カーネル4.9の場合、必ず専用のOVSバージョンを使用してください。
- ボンディングデバイスがアクティブ/アクティブモードのときにVF LAGを使用した場合、fwresetを実行すると、両方のPFでトラフィックが等しくなくなり、PFが回線速度に到達しません。
- SwitchDevモードでVF(仮想機能)netdevice上にボンディングが作成された場合、VF netdeviceはリプレゼンテーションネットデバイスとして扱われます。これにより、mlx5_coreドライバーがボンディングデバイスに関連するnetdeviceイベントを受信した場合にクラッシュしました。
- VF LAGモードでの不適切なアフィニティの発生に続いて、スイッチのポートがアップ/ダウンした後にトラフィックが送信されていた問題。
- CentOS 7.2 OSでのVLAN(仮想ローカルエリアネットワーク)ヘッダーの書き換えのサポートを追加しました。

拡張

バージョン4.9では次の変更点と新機能が追加されました:

- **ConnectX-5以上のアダプターの場合**

以下の機能のサポートを追加しました。

- デバッグ機能を改善するために、devlinkツールを使用して構成スペースをダンプするオプション。
- 従来のTXディスクリプター(WQE、ワークキューエレメント)は送信用の単一のパケットを記述します。XDP送信フローでのマルチパケットTX WQEというHW機能のドライバーサポートを追加しました。これにより、HWで、複数のパケットを記述する新しい改善されたWQEレイアウトの使用が可能になります。実際、この機能によってPCI帯域幅とトランザクションが節約され、送信パケットの速度が向上します。
- GENEVEのカプセル化/非カプセル化ルールのオフロード。
- XDP送信フロー用に単一のパケットではなく複数のパケットを記述する新しい改善されたWQEレイアウトを使用するマルチパケットTxというハードウェア機能のドライバーサポート。これにより、PCI帯域幅とトランザクションが節約され、送信パケットの速度が向上します。

- ソフトウェアステアリングメカニズムを使用したCT(接続追跡)ルールのアップデート。
- ソフトウェアステアリングメカニズムを使用したリモートミラーリングルールのアップデート。

- **ConnectX-4以上のアダプターの場合**

以下の機能のサポートを追加しました。

- 物理ポートのバッファー不足のためにドロップされた受信パケットの数をカウントする、優先順位ごとのrx_prio[p]_discards破棄カウンターを公開しました。
- MPLSタグ付きトラフィックのTSOおよびCSUMオフロード機能をレポートし、カーネルスタックでこれらのオフロードを使用できるようにします。
- mlx5eの最大結合チャネルで、ドライバーの最大結合チャネル値を64から128に増やしました(ただし、OOB値は64を超えないので注意してください)。128が上限です。ファームウェアによって構成されたコアとMSIXの数に応じて、ホストでの最大値がこれよりも下がる可能性があります。
- 次のRoCEアクセラレーターカウンターを追加しました。
  - roce_adp_retrans - RoCEトラフィックのアダプティブ再送信の数をカウントします。
  - roce_adp_retrans_to - RoCEトラフィックがアダプティブ再送信のためにタイムアウトに達した回数をカウントします。
  - roce_slow_restart - RoCEスローリスタートが使用された回数をカウントします。
  - roce_slow_restart_cnps - RoCEスローリスタートによってCNPパケットが生成された回数をカウントします。roce_slow_restart_trans - RoCEスローリスタートによって状態がスローリスタートに変更された回数をカウントします。
- ユーザーは、実験的なVerbsを使用してリラックスオーダリングアクセスフラグでメモリ領域を登録します。これにより、アーキテクチャやシナリオに応じてパフォーマンスが向上する可能性があります。

- **すべてのHCAの場合**

以下の機能のサポートを追加しました。

- ibdev2netdevツールの出力が変更されたため、ボンディングデバイスがスレーブインターフェイスではなくボンディングを指すようになりました。
- Cookieエラーやタイムアウトなど、RXキューで発生するエラーの監視およびエラーからの回復。
- ドアベルの使用量を必要最低限に減らすことにより、GSO(Generic Segmentation Offload)ワークロードのパフォーマンスを改善しました。
- TX CQE(完了キューエントリー)の圧縮。CQEをまとめて圧縮することにより、送信PCIe帯域幅を節約します。デフォルトでは無効になっています。ethtoolのプライベートフラグで構成可能です。
- devlinkによるファームウェアバージョンのクエリ―:devlinkツールを使用して、実行中および保存されているファームウェアバージョンをクエリするオプションを追加しました。
- devlinkによるファームウェアフラッシュのアップデート:devlinkツールを使用してフラッシュ内のファームウェアイメージをアップデートするオプションを追加しました。使用法:devlink dev flash file .mfa2 このアップデートの実行方法の詳細は、MFTユーザーマニュアルの「Updating Firmware Using ethtool/devlink and .mfa2 File」セクションを参照してください。
- Rx/Txレポーターに関するエラーによってトリガーされるWQE(ワークキューエレメント)のダンプ。また、(エラーによってトリガーされない)一部のダンプは、ユーザーがdevlink healthレポーターを使用して取得できます。
- TSO、CSUM、およびRSSのGENEVEでトンネル化されたハードウェアオフロード。
- MPLSタグ付きトラフィック用のTCPセグメンテーションとチェックサムオフロードのサポート。

HPE Mellanox RoCE(RDMA over Converged Ethernet)ドライバー for Mellanox ConnectX-4、ConnectX-5、ConnectX-6 Adapters for Red Hat Enterprise Linux 8 Update 1 (x86_64)

バージョン: 5.0 **(推奨)**
ファイル名: kmod-mlnx-ofa_kernel-5.0-OFED.5.0.2.1.8.1.g5f67178.rhel8u1.x86_64.compsig; kmod-mlnx-ofa_kernel-5.0-OFED.5.0.2.1.8.1.g5f67178.rhel8u1.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-5.0-OFED.5.0.2.1.8.1.g5f67178.rhel8u1.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-5.0-OFED.5.0.2.1.8.1.g5f67178.rhel8u1.x86_64.rpm

修正

以下の問題点がバージョン5.0で修正されました:

- パケットドロップの後、Rxページは補充されませんでした。特定のまれなシナリオで、同じページフラグメントが誤って書き込み用の2つの異なるRx記述子に割り当てられました。
- OFEDのインストール後にibsimが見つかりませんでした。
- OFEDのインストール後にucx-kmemが見つかりませんでした。
- systemdとRDMA-Core間の依存関係の問題が修正されました。
- トラフィッククラス(TC)ツールを使用してヘアピンフローを追加できませんでした。
- 拡張エラー処理(EEH)の場合、作業キュー(WQ)のフラッシュが適切に処理されませんでした。
- Reliable Message Passing Protocol(RMPP)madを集中的に使用するアプリケーションを終了すると、カーネルがクラッシュしました。
- MLNX_OFED v5.0以降で提供されるperftestアプリケーション(ib_read_*、ib_write_*など)は、クライアントサーバー通信のもう一方の側にある対応するアプリケーションが以前のバージョンのMLNX_OFEDで提供されている場合、相互運用性の問題により正しく機能しませんでした。
- ユーザー空間コマンドの実行と並行してAER/スロットリセットが行われると、カーネルがクラッシュしました。
- SwitchDevモードの物理機能(PF)のsysfsでExplicit Congestion Notification(ECN)構成がありません。

拡張

HPE Mellanox RoCEドライバーバージョン5.0の変更点および新機能:

ConnectX-5以上のアダプターの場合

- メモリ消費を削減することで、カーネルソフトウェアが管理するフローステアリングのパフォーマンスが改善しました。

HPE Mellanox RoCE(RDMA over Converged Ethernet)ドライバーfor Mellanox ConnectX-4, ConnectX-5 and ConnectX-6 Adapters for Red Hat Enterprise Linux 7 Update 7 (x86_64)

バージョン: 5.0 **(推奨)**
ファイル名: kmod-mlnx-ofa_kernel-5.0-OFED.5.0.2.1.8.1.g5f67178.rhel7u7.x86_64.compsig; kmod-mlnx-ofa_kernel-5.0-OFED.5.0.2.1.8.1.g5f67178.rhel7u7.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-5.0-OFED.5.0.2.1.8.1.g5f67178.rhel7u7.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-5.0-OFED.5.0.2.1.8.1.g5f67178.rhel7u7.x86_64.rpm

修正

以下の問題点がバージョン5.0で修正されました:

- パケットドロップの後、Rxページは補充されませんでした。特定のまれなシナリオで、同じページフラグメントが誤って書き込み用の2つの異なるRx記述子に割り当てられました。
- OFEDのインストール後にibsimが見つかりませんでした。
- OFEDのインストール後にucx-kmemが見つかりませんでした。
- systemdとRDMA-Core間の依存関係の問題が修正されました。
- トラフィッククラス(TC)ツールを使用してヘアピンフローを追加できませんでした。
- 拡張エラー処理(EEH)の場合、作業キュー(WQ)のフラッシュが適切に処理されませんでした。
- Reliable Message Passing Protocol(RMPP)madを集中的に使用するアプリケーションを終了すると、カーネルがクラッシュしました。
- MLNX_OFED v5.0以降で提供されるperftestアプリケーション(ib_read_*、ib_write_*など)は、クライアントサーバー通信のもう一方の側にある対応するアプリケーションが以前のバージョンのMLNX_OFEDで提供されている場合、相互運用性の問題により正しく機能しませんでした。
- ユーザー空間コマンドの実行と並行してAER/スロットリセットが行われると、カーネルがクラッシュしました。
- SwitchDevモードの物理機能(PF)のsysfsでExplicit Congestion Notification(ECN)構成がありません。

拡張

HPE Mellanox RoCEドライバーバージョン5.0の変更点および新機能:

ConnectX-5以上のアダプターの場合

- メモリ消費を削減することで、カーネルソフトウェアが管理するフローステアリングのパフォーマンスが改善しました。

HPE Mellanox RoCE(RDMA over Converged Ethernet)ドライバーfor Mellanox ConnectX-4, ConnectX-5 and ConnectX-6 Adapters for Red Hat Enterprise Linux 8 Update 2 (x86_64)

バージョン: 5.0 **(推奨)**
ファイル名: kmod-mlnx-ofa_kernel-5.0-OFED.5.0.2.1.8.1.g5f67178.rhel8u2.x86_64.compsig; kmod-mlnx-ofa_kernel-5.0-OFED.5.0.2.1.8.1.g5f67178.rhel8u2.x86_64.rpm; mlnx-ofa_kernel-5.0-OFED.5.0.2.1.8.1.g5f67178.2.rhel8u2.x86_64.compsig; mlnx-ofa_kernel-5.0-OFED.5.0.2.1.8.1.g5f67178.2.rhel8u2.x86_64.rpm

重要な注意!

Mellanox Ethernet + RoCE Linuxドライバー(mlnx-ofa_kernel RPM)は、HPE MellanoxアダプターのEthernet動作モードのみサポートします。完全なInfiniBand機能または"InfiniBand + Ethernet"動作モードを同じノード上で必要とする場合、"Mellanox OFED VPI Drivers and Utilities"というLinuxソフトウェア配信リポジトリ("https://downloads.linux.hpe.com/SDR/project/mlnx_ofed/)からMLNX-OFEDドライバーをインストールしてください。

前提条件

ドライバーコンポーネントをインストールする前に、以下のパッケージをそれぞれのOSのディストリビューションからインストールする必要があります。

- Pythonバージョン2.7

修正

以下の問題点がバージョン5.0で修正されました:

- パケットドロップの後、Rxページは補充されませんでした。特定のまれなシナリオでは、書き込み用の2つの異なるRx記述子に同じページフラグメントが誤って割り当てられていました。
- OFEDのインストール後にibsimが見つかりませんでした。
- OFEDのインストール後にucx-kmemが見つかりませんでした。
- systemdとRDMA-Core間の依存関係の問題が修正されました。
- トラフィッククラス(TC)ツールを使用してヘアピンフローを追加できませんでした。
- 拡張エラー処理(EEH)の場合、作業キュー(WQ)のフラッシュが適切に処理されませんでした。
- Reliable Message Passing Protocol(RMPP)madを集中的に使用するアプリケーションを終了すると、カーネルがクラッシュしました。
- MLNX_OFED v5.0以上で提供されているperftestアプリケーション(ib_read_*, ib_write_*など)で、クライアントサーバー通信の別の側にある対応するアプリケーションを以前のバージョンのMLNX_OFEDで提供した場合、相互運用性の問題により正常に動作しないことがありました。
- ユーザー空間コマンドの実行と並行してAER/スロットリセットが行われると、カーネルがクラッシュしました。
- SwitchDevモードの物理機能(PF)のsysfsでExplicit Congestion Notification(ECN)構成がありません。

拡張

HPE Mellanox RoCEドライバーバージョン5.0の変更点および新機能:

ConnectX-5以上のアダプターの場合

- メモリ消費を削減することで、カーネルソフトウェアが管理するフローステアリングのパフォーマンスが改善しました。

サポートされるデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:

このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 8 Update 2(x86_64)カーネルは、次の通りです。
4.18.0-193.el8 - (x86_64) および将来アップデートされるカーネル。

HPE QLogic FastLinQ 10/25/50 GbEマルチファンクションドライバー for VMware vSphere 6.7

バージョン: 2020.09.14 **(オプション)**
ファイル名: cp044297.compsig; cp044297.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCP0xxxxx.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE QLogic FastLinQ Online Firmware Upgrade Utility for VMware*、バージョン4.12.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、CRCサイズおよびEnd Of Frame(EOF)サイズのFibre Channel over Ethernet(FCoE)フレームの問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 521Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 524SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 621SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 622FLR-SFP28コンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200R-Tコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1300R コンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic FastLinQ 10/25/50 GbEマルチファンクションドライバーfor VMware vSphere 6.5

バージョン: 2020.09.14 **(オプション)**
ファイル名: cp044296.compsig; cp044296.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCP0xxxxx.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE QLogic FastLinQ Online Firmware Upgrade Utility for VMware*、バージョン4.12.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、CRCサイズおよびEnd Of Frame(EOF)サイズのFibre Channel over Ethernet(FCoE)フレームの問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 521Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 524SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 621SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 622FLR-SFP28コンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200R-Tコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1300R コンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic FastLinQ Open-iSCSIドライバー for Red Hat Enterprise Linux 7 Update 7

バージョン: 2.0-873.113-1 **(オプション)**
ファイル名: qlgc-open-iscsi-2.0_873.113.rhel7u7-1.x86_64.compsig; qlgc-open-iscsi-2.0_873.113.rhel7u7-1.x86_64.rpm; README

拡張

この製品は、Red Hat Enterprise Linux 7 Update 7をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 521Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 524SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 621SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 622FLR-SFP28コンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200R-Tコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1300R コンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic FastLinQ Open-iSCSIドライバー for Red Hat Enterprise Linux 8 Update 0

バージョン: 2.0-873.113-1 **(オプション)**
ファイル名: qlgc-open-iscsi-2.0_873.113.rhel8u0-1.x86_64.compsig; qlgc-open-iscsi-2.0_873.113.rhel8u0-1.x86_64.rpm; README

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 521Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 524SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 621SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 622FLR-SFP28コンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200R-Tコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1300R コンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic FastLinQ Open-iSCSIドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 12 SP4

バージョン: 2.0-873.113-1 (D) **(オプション)**
ファイル名: qlgc-open-iscsi-2.0_873.113.sles12sp4-1.x86_64.compsig; qlgc-open-iscsi-2.0_873.113.sles12sp4-1.x86_64.rpm; README

拡張

この製品は、Synergyサーバーおよびデバイスをサポートしなくなりました。Synergyサーバーおよびデバイスは、HPE Synergy QLogic FastLinQ Open-iSCSIドライバーfor SUSE Linux Enterprise Server 12 SP4によってサポートされるようになりました。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 521Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 524SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 621SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 622FLR-SFP28コンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200R-Tコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1300R コンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic FastLinQ Open-iSCSIドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 15 SP0

バージョン: 2.0-873.113-1 (D) **(オプション)**
ファイル名: qlgc-open-iscsi-2.0_873.113.sles15sp0-1.x86_64.compsig; qlgc-open-iscsi-2.0_873.113.sles15sp0-1.x86_64.rpm; README

拡張

この製品は、Synergyサーバーおよびデバイスをサポートしなくなりました。Synergyサーバーおよびデバイスは、HPE Synergy QLogic FastLinQ Open-iSCSIドライバーfor SUSE Linux Enterprise Server 15 SP0によってサポートされるようになりました。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 521Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 524SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 621SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 622FLR-SFP28コンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200R-Tコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1300R コンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic FastLinQ Open-iSCSIドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 15 SP1

バージョン: 2.0-873.113-1 **(オプション)**
ファイル名: qlgc-open-iscsi-2.0_873.113.sles15sp1-1.x86_64.compsig; qlgc-open-iscsi-2.0_873.113.sles15sp1-1.x86_64.rpm; README

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 521Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 524SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 621SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 622FLR-SFP28コンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200R-Tコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1300R コンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic iSCSI Offload IO Daemon for Red Hat Enterprise Linux 7 Update 7

バージョン: 2.11.5.13-3 **(オプション)**
ファイル名: iscsiuio-2.11.5.13-3.rhel7u7.x86_64.compsig; iscsiuio-2.11.5.13-3.rhel7u7.x86_64.rpm

拡張

この製品は、Red Hat Enterprise Linux 7 Update 7をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 521Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 524SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 533FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 534FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート536FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 621SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 622FLR-SFP28コンバージドネットワークアダプター
- HP StoreFabric CN1100R デュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1100R-Tコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic iSCSI Offload IO Daemon for Red Hat Enterprise Linux 8 Update 0

バージョン: 2.11.5.13-3 **(オプション)**
ファイル名: iscsiuio-2.11.5.13-3.rhel8u0.x86_64.compsig; iscsiuio-2.11.5.13-3.rhel8u0.x86_64.rpm

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 521Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 524SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 533FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 534FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート536FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 621SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 622FLR-SFP28コンバージドネットワークアダプター
- HP StoreFabric CN1100R デュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1100R-Tコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic iSCSI Offload IO Daemon for Red Hat Enterprise Linux 8 Update 1

バージョン: 2.11.5.13-3 **(オプション)**
ファイル名: iscsiuio-2.11.5.13-3.rhel8u1.x86_64.compsig; iscsiuio-2.11.5.13-3.rhel8u1.x86_64.rpm; README

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート521Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート524SFP+ アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート530SFP+アダプター

- HP Ethernet 10Gb 2ポート530Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート533FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート534FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート536FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート621SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート622FLR-SFP28コンバージドネットワークアダプター
- HP StoreFabric CN1100R Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1100R-Tコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic iSCSI Offload IO Daemon for SUSE Linux Enterprise Server 12 SP4

バージョン: 2.11.5.13-3 (B) **(オプション)**
ファイル名: iscsiuio-2.11.5.13-3.sles12sp4.x86_64.compsig; iscsiuio-2.11.5.13-3.sles12sp4.x86_64.rpm; README

修正

この製品は、VLAN上でのiSCSI検出エラーに対処します。

拡張

この製品は、ProLiant Bladeサーバーおよびデバイスをサポートしなくなりました。ブレードサーバーおよびデバイスは、HPE Blade QLogic NX2 iSCSIオフロードIOデーモンfor SUSE Linux Enterprise Server 12 SP4によってサポートされるようになりました。

この製品は、Synergyサーバーおよびデバイスをサポートしなくなりました。Synergyサーバーおよびデバイスは、HPE Synergy QLogic iSCSIオフロードIOデーモンfor SUSE Linux Enterprise Server 12 SP4によってサポートされるようになりました。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 521Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 524SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 533FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 534FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート536FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 621SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 622FLR-SFP28コンバージドネットワークアダプター
- HP StoreFabric CN1100R デュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1100R-Tコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic iSCSI Offload IO Daemon for SUSE Linux Enterprise Server 15 SP0

バージョン: 2.11.5.13-3 (B) **(オプション)**
ファイル名: iscsiuio-2.11.5.13-3.sles15sp0.x86_64.compsig; iscsiuio-2.11.5.13-3.sles15sp0.x86_64.rpm; README

修正

この製品は、VLAN上でのiSCSI検出エラーに対処します。

拡張

この製品は、ProLiant Bladeサーバーおよびデバイスをサポートしなくなりました。ブレードサーバーおよびデバイスは、HPE Blade QLogic NX2 iSCSIオフロードIOデーモンfor SUSE Linux Enterprise Server 15 SP0によってサポートされるようになりました。

この製品は、Synergyサーバーおよびデバイスをサポートしなくなりました。Synergyサーバーおよびデバイスは、HPE Synergy QLogic iSCSIオフロードIOデーモンfor SUSE Linux Enterprise Server 15 SP0によってサポートされるようになりました。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 521Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 524SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 533FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 534FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート536FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 621SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 622FLR-SFP28コンバージドネットワークアダプター
- HP StoreFabric CN1100R デュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1100R-Tコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic iSCSI Offload IO Daemon for SUSE Linux Enterprise Server 15 SP1

バージョン: 2.11.5.13-3 **(オプション)**
ファイル名: iscsiuio-2.11.5.13-3.sles15sp1.x86_64.compsig; iscsiuio-2.11.5.13-3.sles15sp1.x86_64.rpm

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 521Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 524SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 533FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 534FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート536FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 621SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 622FLR-SFP28コンバージドネットワークアダプター
- HP StoreFabric CN1100R デュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1100R-Tコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic NX2 10/20 GbE マルチファンクションドライバーfor Windows Server x64 Editions

バージョン: 7.13.187.0 **(オプション)**
ファイル名: cp043244.compsig; cp043244.exe

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE QLogic NX2 Online Firmware Upgrade Utility for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.3.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、ネットワークストレスを実行すると、スレッドの保存された浮動小数点状態が無効になるブルースクリーンオブデス(BSOD)の問題を修正します。

- この製品は、セキュアブートが有効になっているときにInternet Small Computer System Interface(iSCSI)のクラッシュダンプを生成できなかった問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 533FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート 534FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート536FLR-Tアダプター
- HP StoreFabric CN1100R デュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1100R-Tコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic NX2 10/20 GbEマルチファンクションドライバー for SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 7.14.70-1 **(オプション)**
ファイル名: netxtreme2-kmp-default-7.14.70.1_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.compsig; netxtreme2-kmp-default-7.14.70.1_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm; netxtreme2-kmp-default-7.14.70_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.compsig; netxtreme2-kmp-default-7.14.70_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.rpm; README

重要な注意！

*HPE*は、これらのドライバー用に HPE QLogic NX2オンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor Linux x86_64、バージョン2.27.0以降で提供されるファームウェアをおすすめします。

修正

- この製品は、bnx2iドライバーをアンロードした後にシステムがクラッシュする問題を修正します
- この製品は、統計アップデートのタイムアウトが原因でドライバーがアサートする問題を修正します
- この製品は、Windows環境の10GbTカードでアクティビティLEDの動作が一貫しない問題を修正します

拡張

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 15 SP2をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート533FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート534FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート536FLR-Tアダプター
- HP StoreFabric CN1100R Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1100R-Tコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic NX2 10/20 GbEマルチファンクションドライバーfor Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64

バージョン: 7.14.70-1 **(オプション)**
ファイル名: kmod-netxtreme2-7.14.70-1.rhel7u7.x86_64.compsig; kmod-netxtreme2-7.14.70-1.rhel7u7.x86_64.rpm; kmod-netxtreme2-7.14.70-1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-netxtreme2-7.14.70-1.rhel7u8.x86_64.rpm; README

重要な注意！

*HPE*は、これらのドライバー用に HPE QLogic NX2オンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor Linux x86_64、バージョン2.27.0以降で提供されるファームウェアをおすすめします。

修正

- この製品は、bnx2iドライバーをアンロードした後にシステムがクラッシュする問題を修正します
- この製品は、統計アップデートのタイムアウトが原因でドライバーがアサートする問題を修正します
- この製品は、Windows環境の10GbTカードでアクティビティLEDの動作が一貫しない問題を修正します

拡張

この製品は現在、Red Hat Enterprise Linux 7 Update 8をサポートしています

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート530SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート530Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート533FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート534FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート536FLR-Tアダプター
- HP StoreFabric CN1100R Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1100R-Tコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic NX2 10/20 GbEマルチファンクションドライバーfor Red Hat Enterprise Linux 8

バージョン: 7.14.70-1 **(オプション)**
ファイル名: kmod-netxtreme2-7.14.70-1.rhel8u0.x86_64.compsig; kmod-netxtreme2-7.14.70-1.rhel8u0.x86_64.rpm; kmod-netxtreme2-7.14.70-1.rhel8u1.x86_64.compsig; kmod-netxtreme2-7.14.70-1.rhel8u1.x86_64.rpm; README

重要な注意！

*HPE*は、これらのドライバー用に HPE QLogic NX2オンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor Linux x86_64、バージョン2.27.0以降で提供されるファームウェアをおすすめします。

修正

- この製品は、bnx2iドライバーをアンロードした後にシステムがクラッシュする問題を修正します
- この製品は、統計アップデートのタイムアウトが原因でドライバーがアサートする問題を修正します
- この製品は、Windows環境の10GbTカードでアクティビティLEDの動作が一貫しない問題を修正します

拡張

この製品は、Red Hat Enterprise Linux 8 Update 1をサポートしています

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート530SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート530Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート533FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート534FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート536FLR-Tアダプター
- HP StoreFabric CN1100R Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1100R-Tコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic NX2 10/20 GbEマルチファンクションドライバーfor SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64

バージョン: 7.14.70-1 **(オプション)**
ファイル名: netxtreme2-kmp-default-7.14.70_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.compsig; netxtreme2-kmp-default-7.14.70_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; netxtreme2-kmp-default-7.14.70_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.compsig; netxtreme2-kmp-default-7.14.70_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.rpm; README

重要な注意！

*HPE*は、これらのドライバー用に HPE QLogic NX2オンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor Linux x86_64、バージョン2.27.0以降で提供されるファームウェアをおすすめします。

修正

- この製品は、bnx2iドライバーをアンロードした後にシステムがクラッシュする問題を修正します
- この製品は、統計アップデートのタイムアウトが原因でドライバーがアサートする問題を修正します
- この製品は、Windows環境の10GbTカードでアクティビティLEDの動作が一貫しない問題を修正します

拡張

この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 12 Service Pack 5をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート530SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート530Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート533FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート534FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート536FLR-Tアダプター
- HP StoreFabric CN1100R Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1100R-Tコンバージドネットワークアダプター

Intel i350ドライバー for Windows Server 2016

バージョン: 12.15.184.7 **(オプション)**
ファイル名: cp041189.compsig; cp041189.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*Intel Online Firmware Upgrade Utility for Windows Server x64 Editions*、バージョン5.2.0.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPE Intel Powervilleネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 4ポートBaseT I350-T4アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポートBaseT I350-T4 OCP3アダプター
- インテル(R) I350 Gigabit Network Connection

Intel i350ドライバー for Windows Server 2019

バージョン: 12.18.9.1 **(オプション)**
ファイル名: cp041190.compsig; cp041190.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*Intel Online Firmware Upgrade Utility for Windows Server x64 Editions*、バージョン5.2.0.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPE Intel E1Rネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 4ポートBaseT I350-T4アダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポートBaseT I350-T4 OCP3アダプター
- インテル(R) I350 Gigabit Network Connection

Marvell FastLinQ 10/25/50 GbEドライバー for Windows Server x64 Edition

バージョン: 8.50.10.0 **(オプション)**
ファイル名: cp043118.compsig; cp043118.exe

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*Marvell FastLinQ*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ*for Windows Server x64 Editions*、バージョン5.2.3.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、物理機能(PF)応答の待機中にチャネルの仮想機能(VF)スリープ期間を修正する問題を修正します。
- この製品は、シングルルートI/O仮想化(SR-IOV)がいくつかのパーティションで有効になっていて、OneViewを使用していくつかのパーティションで無効になっているときにシステムがクラッシュする問題を修正します。
- この製品は、ファームウェアを08.50.27にアップデートした後にオペレーティングシステムのブートに失敗する問題を修正します。
- この製品は、エンタープライズデータセンターモードが有効なネットワークパーティショニング(NPAR)およびシングルルートI/O仮想化(SR-IOV)でドライバーをアップグレードするときにシステムがクラッシュするという問題を修正します。
- この製品は、すべての物理機能(PF)で列挙された最大仮想機能(VF)での詳細プロパティの無効化/有効化時に仮想マシン(VM)がランダムにクラッシュする問題を修正します
- この製品は、管理OSでRoCEv2 IPv6トラフィックを実行しているときにネットワークドライバーインターフェイス仕様(NDIS)ドライバーを無効にするとシステムがクラッシュするという問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 QL41232HQCU OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 QL41232HLCUアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 4ポートSFP+ QL41134HLCUアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート BaseT QL41132HLRJアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート BaseT QL41132HQRJ OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート SFP+ QL41132HQCU OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート SFP+ QL41132HLCUアダプター

Mellanox CX5およびCX6DXドライバーfor Windows Server 2016

バージョン: 2.40.22511.0 **(オプション)**
ファイル名: cp043353.compsig; cp043353.exe

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 100Gb 2ポートQSFP56 MCX623106AS-CDATアダプター

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28 MCX516A-CCHTアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 MCX562A-ACAI OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 MCX512F-ACHTアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ MCX4621A-ACAB OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ MCX4121A-XCHTアダプター
- HPE Ethernet 100Gb 2ポートQSFP56 MCX623106AS-CDATアダプター

Mellanox CX5およびCX6DXドライバーfor Windows Server 2019

バージョン: 2.40.22511.0 **(オプション)**
ファイル名: cp043354.compsig; cp043354.exe

拡張

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 100Gb 2ポートQSFP56 MCX623106AS-CDATアダプター

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28 MCX516A-CCHTアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 MCX562A-ACAI OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 MCX512F-ACHTアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ MCX4621A-ACAB OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ MCX4121A-XCHTアダプター
- HPE Ethernet 100Gb 2ポートQSFP56 MCX623106AS-CDATアダプター

net-mstカーネルモジュールドライバーコンポーネント for VMware ESXi 6.5および6.7

バージョン: 2019.09.11 **(推奨)**
ファイル名: cp041339.compsig; cp041339.zip

修正

NMSTバージョン 4.11.0.103

拡張

NMSTバージョン 4.11.0.103

nmlx4_enドライバーコンポーネント for VMware 6.5

バージョン: 2019.06.14 **(推奨)**

ファイル名: cp040179.compsig; cp040179.zip

重要な注意！

既知の問題点:

- ConnectX-3 Pro 10Gアダプターカードでは、"esxcli network nic get"コマンド実行時に40Gの速度のサポートが間違って報告されます。
- ポートがDOWNしている場合、管理インターフェイスの"ポートタイプ"フィールドは、デバイスがサポートするポートタイプの1つを次の順序で示します。TP, FIBER, DA, NONE。ポートが複数のケーブルタイプをサポートしている場合、上記のリストの最初のタイプが表示されます。
- ポートがUPの場合、管理インターフェイスのポートタイプフィールド(nmlx_en_MgmtIFPortType)は、サポートされているすべてのタイプのうち現在接続されているものを示します。
- 管理インターフェイスのポートタイプフィールドは、SFP-to-RJ45ケーブルをFIBERとして報告します。
- 管理インターフェイスの自動ネゴシエーションフィールドは、"esxcli network nic get -n vmnicX"フィールド"Pause Autonegotiate"に相当します。

ESXi 6.5ドライバーバージョン3.16.11.10のリリースノートについて詳しくは、以下のリンクを参照してください: https://www.mellanox.com/page/products_dyn?product_family=29&mtag=vmware_driver

修正

バージョン3.16.11.10には修正は含まれていません。

拡張

バージョン3.16.11.10の変更および新機能:

- ネットワークアダプターのトラフィックが停止する問題を解決しました。
- LACP(リンクアグリゲーション制御プロトコル)bondingプロトコルを破壊した内部マルチキャストループバックの問題を修正しました。

サポートしているデバイスおよび機能

HPE部品番号	デバイス名	PSID
764282-B21	HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+Mアダプター	HP_1350110023
764283-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート544+Mアダプター	HP_1360110017
764284-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート 544+QSFPアダプター	HP_1370110017
764285-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 10Gb/40Gb 2ポート544+FLR-QSFPアダプター	HP_1380110017
764286-B21	HPE InfiniBand QDR/Ethernet 10Gb 2ポート544+FLR-QSFPアダプター	HP_1390110023
779793-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター	HP_1200111023
779799-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート546FLR-SFP+アダプター	HP_2240110004

---

nmlx5_enドライバーコンポーネント for VMware 6.5

バージョン: 2020.03.09 **(推奨)**
ファイル名: cp043371.compsig; cp043371.zip

重要な注意！

バージョン4.16.14.2での既知の問題:

- リアクションポイントプロトコルのECN調整パラメーターinitialAlphaValueは変更できません。
- ECN統計カウンターaccumulatorsPeriodとecnMarkedRoce-Packetsには誤った値が表示され、クリアすることはできません。
- ハードウェアは、最大256バイトのヘッダーのみをオフロードできます。
- "esxcli network sriovnic vf stats"コマンドはサポートされていません。
- 同じHCA上の異なるポートに接続されたPV機能とSR-IOV VF間でトラフィックを送信することはできません。
- vSphere Clientの"ゲストMTU変更を許可する"オプションを設定する機能は現在機能していません。SR-IOVのゲストMTUの変更は許可されますが、ポートのMTUには影響を与えず、ゲストのMTUはPF MTUと同じままです。
- Geneveの長さのサポートは56バイトに制限されています。オプションの長さが56バイトを超える受信パケットは廃棄されます。
- ConnectX-4/ConnectX-4 Lxの古いファームウェアのバージョンとの相互作用により、以下の内部ファームウェアエラーが発生する可能性があります。
- デバイスの状態が損なわれる
- synd 0x1: ファームウェアの内部エラー
- extSync 0x94ee
- 'esxcli mellanox uplink link info -u 'コマンドは、'Auto negotiation'機能を常に'true'としてレポートします。
- Wake-on-LANは、無効なパラメーターが提供されたときには通知しません。
- ネストされたESXiが正しく機能しない可能性があります。
- デバイスRSSは、ブロードキャストトラフィックで十分なRXリングにトラフィックをハッシュすることに失敗します。
- ストレス状態では'ウォッチドッグ'が現れ、アップリンクがアップしたり、ダウンしたりします。
- VXLANインターフェイスを介したVGTトラフィックは現在サポートされていません。
- SMP MAD (ibnetdiscover、sminfo、iblinkinfo、smpdump、ibqueryerr、ibdiagnet、smpquery)は、VFではサポートされていません。
- max_vfsモジュールのパラメーター範囲は"0-128"ですが、ファームウェアの制限により、単一ポートごとにサポートされるVFは次のとおりです:
  - ConnectX-4: 最大127
  - ConnectX-5: 最大63

ESXi 6.5ドライバーバージョン4.16.14.2のリリースノートについて詳しくは、以下のリンクを参照してください:
https://www.mellanox.com/page/products_dyn?product_family=29&mtag=vmware_driver

修正

以下の問題点がバージョン4.16.70.1で修正されました。

- "esxcli network sriovnic vf stats"コマンドはサポートされていませんでした。vmknicでこのコマンドを実行すると、障害メッセージが表示されました。

拡張

Smartコンポーネントバージョン2020.03.09の変更点と新機能:

- 以下のアダプターのサポートを追加しました。
  - HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート642SFP28アダプター(HPE部品番号:P24837-B21)
  - HPE Ethernet 10Gb 2ポート548SFP+ (HPE部品番号:P11338-B21)

バージョン4.16.70.1の新機能および変更:

- ネットワークアダプターが必要とする電力がPCIeスロットで利用可能な電力よりも高い場合、イベントが送信されて管理者に通知されます。
- 差別化されたサービスコードコードポイント(DSCP)の信頼とRoCEトラフィックのデフォルト値の設定のサポート。
- ユーザーが仮想関数カウンターごとにクエリできるようにする新しいカウンター。
- ソフトウェア受信バッファーの不足を示す受信バッファー不足のカウンター。
- 特定のRoCEバージョンを適用するためのモジュールパラメーター。

サポートしているデバイスおよび機能

HPE部品番	デバイス名	PSID

号		
825110-B21	HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28アダプター	HP_2180110032
825111-B21	HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28アダプター	HP_2190110032
872726-B21	HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート841QSFP28アダプター	HPE0000000009
879482-B21	HPE Infiniband FDR/Ethernet 40/50Gb 2ポート547FLR-QSFPアダプター	HPE0000000022
868779-B21	HPE Synergy 6410C 25/50Gb Ethernetアダプター	HPE0000000006
817749-B21	HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640FLR-SFP28 アダプター	HP_2690110034
817753-B21	HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640SFP28 アダプター	HP_2420110034
874253-B21	HPE Ethernet 100Gb 1ポート 842QSFP28 アダプター	HPE0000000014

---

nmlx5_enドライバーコンポーネント for VMware 6.7

バージョン: 2020.03.09 **(推奨)**
ファイル名: cp043197.compsig; cp043197.zip

重要な注意！

バージョン4.17.15.16での既知の問題:

- リアクションポイントプロトコルのECN調整パラメーターinitialAlphaValueは変更できません。
- ECN統計カウンターaccumulatorsPeriodとecnMarkedRoce-Packetsには誤った値が表示され、クリアすることはできません。
- RSSの最大値は、CPUコアの数よりも少なくなければなりません。
- ハードウェアは、最大256Bのヘッダーのみをオフロードできます。
- "esxcli network sriovnic vf stats"コマンドはサポートされていません。vmknicでこのコマンドを実行すると、障害メッセージが表示されます。
- 同じHCAの異なるポートに接続されているPVとSR-IOV VFの間にトラフィックはありません。
- vSphere Clientの"ゲストMTU変更を許可する"オプションを設定する機能は現在機能していません。SR-IOVのゲストMTUの変更は許可されますが、ポートのMTUには影響を与えず、ゲストのMTUはPF MTUと同じままです。
- ゲストにIB PCIパススルーデバイスまたはIB VFが割り当てられている場合、ゲスト用のVMware Toolsネットワーク情報が正しくない可能性があります。これは、インターフェイスやIPなどのゲストネットワーキング情報をvCenterに表示する方法に影響します。
- パススルーモードのvmnicsでの操作はサポートされていません。
- 'esxcli mellanox uplink link info -u 'コマンドは、'Auto negotiation'機能を常に'true'としてレポートします。
- SMP MAD (ibnetdiscover、sminfo、iblinkinfo、smpdump、ibqueryerr、ibdiagnet、smpquery)は、VFではサポートされていません。
- 内側のパケットとしてのIPv6はサポートされていません。
- ファームウェアのVF設定はN + 1でなければなりません(Nは必要なVF番号です)。例: 設定に10 VFが必要な場合、ファームウェアは16 VF(ESXiの制限)をサポートするように設定する必要があります。
- Wake-on-LANは、無効なパラメーターが提供されたときには通知しません。
- ネストされたESXiが正しく機能しない可能性があります。
- デバイスRSSは、ブロードキャストトラフィックで十分なRXリングにトラフィックをハッシュすることに失敗します。
- ストレス状態では'ウォッチドッグ'が現れ、アップリンクがアップしたり、ダウンしたりします。
- SR-IOV VFがオンのときにドライバーをリロードすると、Purple Screen of Death (PSOD)が発生します。
- PSODは、ENS(拡張ネットワークスタック)VMK上のvMotion中に発生する場合があります。
- VXLANインターフェイスを介したVGTトラフィックは現在サポートされていません。
- SR-IOVのVMは、使用可能なベクトルが少なくなったときに電源を投入することはできません。

- ENS DVSからのENSアップリンク切断中に、キューがまだ割り当てられていること、または要求されたキューが使用されていないことに関する以下のエラーメッセージが表示される場合があります。"ドライバーは*OS*の問題をカバーしているため、メッセージは情報提供のみを目的としています。"
- max_vfsモジュールのパラメーター範囲は"0-128"ですが、ファームウェアの制限により、単一ポートデバイスごとにサポートされるVFは次のとおりです:
  - ConnectX-4: 最大127
  - ConnectX-5: 最大63

ESXi 6.7ドライバーバージョン4.17.15.16のリリースノートについて詳しくは、以下のリンクを参照してください:
https://www.mellanox.com/page/products_dyn?product_family=29&mtag=vmware_driver

修正

以下の問題点がバージョン4.17.70.1で修正されました。

- "esxcli network sriovnic vf stats"コマンドはサポートされていませんでした。このコマンドを"vmknic"で実行すると、エラーメッセージが表示されました。
- 内側のパケットとしてのIPv6はサポートされていませんでした。

拡張

Smartコンポーネントバージョン2020.03.09の変更点と新機能:

- 以下のアダプターのサポートを追加しました。
  - HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート642SFP28アダプター(HPE部品番号:P24837-B21)
  - HPE Ethernet 10Gb 2ポート548SFP+アダプター(HPE部品番号:P11338-B21)

バージョン4.17.70.1の新機能および変更:

- 電力制限のため、リンクをシャットダウンするオプションを無効にしました。
- 差別化されたサービスコードコードポイント(DSCP)の信頼とRoCEトラフィックのデフォルト値の設定のサポート。
- ユーザーが仮想関数カウンターごとにクエリできるようにする新しいカウンター。
- ソフトウェア受信バッファーの不足を示す受信バッファー不足のカウンター。
- 特定のRoCEバージョンを適用するためのモジュールパラメーター。

サポートしているデバイスおよび機能

HPE部品番号	デバイス名	PSID
825110-B21	HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28アダプター	HP_2180110032
825111-B21	HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28アダプター	HP_2190110032
872726-B21	HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート841QSFP28アダプター	HPE0000000009
879482-B21	HPE Infiniband FDR/Ethernet 40/50Gb 2ポート547FLR-QSFPアダプター	HPE0000000022
868779-B21	HPE Synergy 6410C 25/50Gb Ethernetアダプター	HPE0000000006
817749-B21	HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640FLR-SFP28 アダプター	HP_2690110034
817753-B21	HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640SFP28 アダプター	HP_2420110034
874253-B21	HPE Ethernet 100Gb 1ポート 842QSFP28 アダプター	HPE0000000014

nmlx5_enドライバーコンポーネントfor VMware 7.0

バージョン: 2020.05.26 **(推奨)**
ファイル名: cp043205.compsig; cp043205.zip

重要な注意！

バージョン4.19.70.1での既知の問題:

- ENSが有効にされている場合、SR-IOVはサポートされません。
- ドライバーのライブアンロードはサポートされていません。これを行うと、max_vfsパラメーターが設定されている場合にPSODが発生する可能性があります。
- 確立されたアクティブなRDMA接続(QP)の最大数は現在5000です。
- ENSは現在、ConnectX-6 Dxアダプターカードでサポートされていません。
  回避策: ConnectX-6 DxカードにENS DVS以外を使用してください。
- ETS値を0に設定すると、WQEタイムアウトが発生することがあります。
  回避策:ETS値を0ではなく1に設定します。
- 'esxcli mellanox uplink link info -u 'コマンドは、'Auto negotiation'機能を常に'true'としてレポートします。
- SMP MAD (ibnetdiscover、sminfo、iblinkinfo、smpdump、ibqueryerr、ibdiagnet、smpquery)は、VFではサポートされていません。
- max_vfsモジュールのパラメーター範囲は"0-128"ですが、ファームウェアの制限により、単一ポートデバイスごとにサポートされるVFは次のとおりです:
  - ConnectX-4 / ConnectX-5:最大127

修正

バージョン4.19.70.1には修正は含まれていません:

拡張

Smartコンポーネントバージョン2020.05.26の変更点と新機能はありません:

バージョン4.19.70.1の新機能および変更:

- 電力制限のため、リンクをシャットダウンするオプションを無効にしました。
- 差別化されたサービスコードコードポイント(DSCP)の信頼とRoCEトラフィックのデフォルト値の設定のサポート。
- ユーザーが仮想関数カウンターごとにクエリできるようにする新しいカウンター。
- ソフトウェア受信バッファーの不足を示す受信バッファー不足のカウンター。
- Data Center Bridging Capability Exchange(DCBx)プロトコルのサポート。DCBXはLLDPと連携して、スイッチでデータセンターブリッジング(DCB)機能と構成に関する情報を交換し、一般的な優先順位ベースのフロー制御(PFC)

  パラメーターを自動的にネゴシエートできるようにします。
- 特定のRoCEバージョンを適用するためのモジュールパラメーター。
- トラフィッククラス(TC)の最小帯域幅保証の設定のサポート。

サポートしているデバイスおよび機能

HPE部品番号	デバイス名	PSID
825110-	HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28	HP_2180110032

B21	Adapter	
825111-B21	HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28アダプター	HP_2190110032
872726-B21	HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート841QSFP28アダプター	HPE0000000009
879482-B21	HPE InfiniBand FDR/Ethernet 40/50Gb 2ポート 547FLR-QSFP Adapter	HPE0000000022
868779-B21	HPE Synergy 6410C 25/50Gb Ethernetアダプター	HPE0000000006
P11338-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート 548SFP+ アダプター	HP_1200111023
817749-B21	HPE Ethernet 25Gb 2-port 640FLR-SFP28 アダプター	HP_2690110034
817753-B21	HPE Ethernet 25Gb 2-port 640SFP28 アダプター	HP_2420110034
P24837-B21	HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 642SFP28アダプター	HPE0000000054
874253-B21	HPE Ethernet 100Gb 1ポート 842QSFP28 アダプター	HPE0000000014
P06154-B21	HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポート940QSFP56 x16 アダプター	HPE0000000034
P06250-B21	HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポート940QSFP56 x16アダプター	HPE0000000035
P06251-B21	HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2ポート940QSFP56 x16アダプター	HPE0000000036

Red Hat Enterprise Linux 7 Update 7(x86_64)向けのHPE Mellanox MFTドライバーおよびFirmware Tools

バージョン: 4.14 **(オプション)**
ファイル名: kmod-kernel-mft-mlnx-4.14.0-1.rhel7u7.x86_64.compsig; kmod-kernel-mft-mlnx-4.14.0-1.rhel7u7.x86_64.rpm; mft-4.14.0-105.rhel7u7.x86_64.compsig; mft-4.14.0-105.rhel7u7.x86_64.rpm

修正

セキュアブートモードでのMellanoxアダプターのファームウェアアップデート向けのMFT前提条件のRPM。

拡張

セキュアブートモードでのMellanoxアダプターのファームウェアアップデート向けのMFT前提条件のRPM。

Red Hat Enterprise Linux 7 Update 7用HPE Broadcom NetXtreme-E RoCEライブラリ

バージョン: 216.0.88.3 **(オプション)**
ファイル名: libbnxt_re-216.0.88.3-rhel7u7.x86_64.compsig; libbnxt_re-216.0.88.3-rhel7u7.x86_64.rpm; README

事前要件

この製品をインストールする前に、*HPE Broadcom NetXtreme-E Drivers for Red Hat Enterprise Linux 7*、バージョン1.10.0-216.0.169.4以降をインストールする必要があります。

RoCEライブラリをインストールする前に、ターゲットシステムにlibibverbおよびrdma-coreパッケージをインストールしておく必要があります。まだインストールしていない場合は、オペレーティングシステムのインストールメディアからパッケージを取得できます。

修正

- この製品は、システムの再起動後にRoCEボンドが自動的に作成されない問題を修正します。
- この製品は、ホットプラグ操作の実行後にエラー/パフォーマンスが劣化する可能性がある問題を修正します。

拡張

- この製品は、リンクアグリゲーションが有効になっている場合、VFでのRoCEドライバーのロードを無効にするようになりました。
- この製品は、rdma-core v22をサポートするようになりました。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター

Red Hat Enterprise Linux 7 Update 8用HPE Broadcom NetXtreme-E RoCEライブラリ

バージョン: 216.0.88.3 **(オプション)**
ファイル名: libbnxt_re-216.0.88.3-rhel7u8.x86_64.compsig; libbnxt_re-216.0.88.3-rhel7u8.x86_64.rpm; README

事前要件

この製品をインストールする前に、*HPE Broadcom NetXtreme-E Drivers for Red Hat Enterprise Linux 7*、バージョン1.10.0-216.0.169.4以降をインストールする必要があります。

RoCEライブラリをインストールする前に、ターゲットシステムにlibibverbおよびrdma-coreパッケージをインストールしておく必要があります。まだインストールしていない場合は、オペレーティングシステムのインストールメディアからパッケージを取得できます。

修正

- この製品は、システムの再起動後にRoCEボンドが自動的に作成されない問題を修正します
- この製品は、ホットプラグ操作の実行後にエラー/パフォーマンスが劣化する可能性がある問題を修正します

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター

Red Hat Enterprise Linux 7 x86_64用HPE QLogic FastLinQ 10/25/50 GbEドライバー

バージョン: 8.50.25.0-1 **(オプション)**
ファイル名: kmod-qlgc-fastlinq-8.50.25.0-1.rhel7u7.x86_64.compsig; kmod-qlgc-fastlinq-8.50.25.0-1.rhel7u7.x86_64.rpm; kmod-qlgc-fastlinq-8.50.25.0-1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-qlgc-fastlinq-8.50.25.0-1.rhel7u8.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、HPE QLogic FastLinQ Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64、バージョン1.9.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、roceドライバーのみをアンロードおよび再ロードした後にシステムがクラッシュする問題を修正します
- この製品は、複数のVMでの夜間再起動テストでVF RDMAシステムがクラッシュする問題を修正します
- この製品は、すべてのPFで列挙された最大VFでの詳細プロパティの無効化/有効化時にVMがランダムにクラッシュする問題を修正します
- この製品は、1つのポートがダウンし、再起動が試みられる場合にiSCSI BFSシステムが再起動に失敗する問題を修正します

拡張

- この製品は現在、Red Hat Enterprise Linux 7 Update 8をサポートしています
- この製品にPCIe Advanced Error Recovery(AER)サポートが追加されました
- この製品はRoCE結合モードをサポートするようになりました

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 524SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 521Tアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2-port 622FLR-SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 621SFP28アダプター
- HPE StoreFabric CN1300R コンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200R-Tコンバージドネットワークアダプター

Red Hat Enterprise Linux 8 Update 1用HPE Broadcom NetXtreme-E RoCEライブラリ

バージョン: 216.0.88.3 **(オプション)**
ファイル名: libbnxt_re-216.0.88.3-rhel8u1.x86_64.compsig; libbnxt_re-216.0.88.3-rhel8u1.x86_64.rpm; README

事前要件

この製品をインストールする前に、*HPE Broadcom NetXtreme-E Drivers for Red Hat Enterprise Linux 8*、バージョン1.10.0-216.0.169.4以降をインストールする必要があります。

RoCEライブラリをインストールする前に、ターゲットシステムにlibibverbおよびrdma-coreパッケージをインストールしておく必要があります。まだインストールしていない場合は、オペレーティングシステムのインストールメディアからパッケージを取得できます。

修正

- この製品は、システムの再起動後にRoCEボンドが自動的に作成されない問題を修正します
- この製品は、ホットプラグ操作の実行後にエラー/パフォーマンスが劣化する可能性がある問題を修正します

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター

Red Hat Enterprise Linux 8用HPE QLogic FastLinQ 10/25/50 GbEドライバー

バージョン: 8.50.25.0-1 **(オプション)**
ファイル名: kmod-qlgc-fastlinq-8.50.25.0-1.rhel8u0.x86_64.compsig; kmod-qlgc-fastlinq-8.50.25.0-1.rhel8u0.x86_64.rpm; kmod-qlgc-fastlinq-8.50.25.0-1.rhel8u1.x86_64.compsig; kmod-qlgc-fastlinq-8.50.25.0-1.rhel8u1.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、HPE QLogic FastLinQ Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64、バージョン1.9.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、roceドライバーのみをアンロードおよび再ロードした後にシステムがクラッシュする問題を修正します
- この製品は、複数のVMでの夜間再起動テストでVF RDMAシステムがクラッシュする問題を修正します
- この製品は、すべてのPFで列挙された最大VFでの詳細プロパティの無効化/有効化時にVMがランダムにクラッシュする問題を修正します
- この製品は、1つのポートがダウンし、再起動が試みられる場合にiSCSI BFSシステムが再起動に失敗する問題を修正します

拡張

- この製品は、Red Hat Enterprise Linux 8 Update 1をサポートしています。
- この製品にPCIe Advanced Error Recovery(AER)サポートが追加されました
- この製品はRoCE結合モードをサポートするようになりました

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート524SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート521Tアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2-port 622FLR-SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート621SFP28アダプター
- HPE StoreFabric CN1300Rコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200R-Tコンバージドネットワークアダプター

Red Hat Enterprise Linux用Linux Intelドライバービルドバンドル

バージョン: 1.0.3.0 **(オプション)**
ファイル名: hp-i40e-2.11.27-1.all.src.rpm; hp-iavf-3.9.5-1.all.src.rpm; hp-igb-6.2.3-1.all.src.rpm; hp-ixgbe-5.7.1-1.all.src.rpm; hp-ixgbevf-4.7.1-1.all.src.rpm; i40e-README; iavf-README; ice-README; igb-README; irdma-README; ixgbe-README; ixgbevf-README; kmod-hp-i40e-2.11.27-1.rhel7u7.x86_64.rpm; kmod-hp-i40e-2.11.27-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-hp-i40e-2.11.27-1.rhel8u0.x86_64.rpm; kmod-hp-i40e-2.11.27-1.rhel8u1.x86_64.rpm; kmod-hp-iavf-3.9.5-1.rhel7u7.x86_64.rpm; kmod-hp-iavf-3.9.5-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-hp-iavf-3.9.5-1.rhel8u0.x86_64.rpm; kmod-hp-iavf-3.9.5-1.rhel8u1.x86_64.rpm; kmod-hp-igb-6.2.3-

1.rhel7u7.x86_64.rpm; kmod-hp-igb-6.2.3-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-hp-igb-6.2.3-1.rhel8u0.x86_64.rpm; kmod-hp-igb-6.2.3-1.rhel8u1.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbe-5.7.1-1.rhel7u7.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbe-5.7.1-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbe-5.7.1-1.rhel8u0.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbe-5.7.1-1.rhel8u1.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbevf-4.7.1-1.rhel7u7.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbevf-4.7.1-1.rhel7u8.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbevf-4.7.1-1.rhel8u0.x86_64.rpm; kmod-hp-ixgbevf-4.7.1-1.rhel8u1.x86_64.rpm

拡張

Gen10PlusSnap3

SUSE Linux Enterprise Server 12 SP4(AMD64/EM64T)向けのHPE Mellanox MFTドライバーおよびFirmware Tools

バージョン: 4.14 **(オプション)**
ファイル名: kernel-mft-mlnx-kmp-default-4.14.0_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.compsig; kernel-mft-mlnx-kmp-default-4.14.0_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.rpm; mft-4.14.0-105.sles12sp4.x86_64.compsig; mft-4.14.0-105.sles12sp4.x86_64.rpm

修正

セキュアブートモードでのMellanoxアダプターのファームウェアアップデート向けのMFT前提条件のRPM。

拡張

セキュアブートモードでのMellanoxアダプターのファームウェアアップデート向けのMFT前提条件のRPM。

SUSE Linux Enterprise Server 12 SP4用HPE Broadcom NetXtreme-E RoCEライブラリ

バージョン: 216.0.88.3 **(オプション)**
ファイル名: libbnxt_re-216.0.88.3-sles12sp4.x86_64.compsig; libbnxt_re-216.0.88.3-sles12sp4.x86_64.rpm; README

事前要件

この製品をインストールする前に、*HPE Broadcom NetXtreme-E Drivers for SUSE Linux Enterprise Server 12*、バージョン1.10.0-214.0.259.0以降をインストールする必要があります。

RoCEライブラリをインストールする前に、ターゲットシステムにlibibverbおよびrdma-coreパッケージをインストールしておく必要があります。まだインストールしていない場合は、オペレーティングシステムのインストールメディアからパッケージを取得できます。

修正

- この製品は、システムの再起動後にRoCEボンドが自動的に作成されない問題を修正します
- この製品は、ホットプラグ操作の実行後にエラー/パフォーマンスが劣化する可能性がある問題を修正します

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター

SUSE Linux Enterprise Server 12 SP5用HPE Broadcom NetXtreme-E RoCEライブラリ

バージョン: 216.0.88.3 **(オプション)**
ファイル名: libbnxt_re-216.0.88.3-sles12sp5.x86_64.compsig; libbnxt_re-216.0.88.3-sles12sp5.x86_64.rpm; README

事前要件

この製品をインストールする前に、*HPE Broadcom NetXtreme-E Drivers for SUSE Linux Enterprise Server 12*、バージョン1.10.1-216.0.153.0以降をインストールする必要があります。

RoCEライブラリをインストールする前に、ターゲットシステムにlibibverbおよびrdma-coreパッケージをインストールしておく必要があります。まだインストールしていない場合は、オペレーティングシステムのインストールメディアからパッケージを取得できます。

修正

- この製品は、システムの再起動後にRoCEボンドが自動的に作成されない問題を修正します
- この製品は、ホットプラグ操作の実行後にエラー/パフォーマンスが劣化する可能性がある問題を修正します

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター

SUSE Linux Enterprise Server 12 x86_64用HPE QLogic FastLinQ 10/25/50 GbEドライバー

バージョン: 8.50.25.0-1 **(オプション)**
ファイル名: qlgc-fastlinq-kmp-default-8.50.25.0_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.compsig; qlgc-fastlinq-kmp-default-8.50.25.0_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; qlgc-fastlinq-kmp-default-8.50.25.0_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.compsig; qlgc-fastlinq-kmp-default-8.50.25.0_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、HPE QLogic FastLinQ Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64、バージョン1.9.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、roceドライバーのみをアンロードおよび再ロードした後にシステムがクラッシュする問題を修正します
- この製品は、複数のVMでの夜間再起動テストでVF RDMAシステムがクラッシュする問題を修正します
- この製品は、すべてのPFで列挙された最大VFでの詳細プロパティの無効化/有効化時にVMがランダムにクラッシュする問題を修正します
- この製品は、1つのポートがダウンし、再起動が試みられる場合にiSCSI BFSシステムが再起動に失敗する問題を修正します

拡張

- この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 12 Service Pack 5をサポートしています。

- この製品にPCIe Advanced Error Recovery(AER)サポートが追加されました
- この製品はRoCE結合モードをサポートするようになりました

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート524SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート521Tアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2-port 622FLR-SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート621SFP28アダプター
- HPE StoreFabric CN1300Rコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200R-Tコンバージドネットワークアダプター

SUSE Linux Enterprise Server 15 SP1(AMD64/EM64T)向けのHPE Mellanox MFTドライバーおよびFirmware Tools

バージョン: 4.14 **(オプション)**
ファイル名: kernel-mft-mlnx-kmp-default-4.14.0_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.compsig; kernel-mft-mlnx-kmp-default-4.14.0_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.rpm; mft-4.14.0-105.sles15sp1.x86_64.compsig; mft-4.14.0-105.sles15sp1.x86_64.rpm

修正

セキュアブートモードでのMellanoxアダプターのファームウェアアップデート向けのMFT前提条件のRPM。

拡張

セキュアブートモードでのMellanoxアダプターのファームウェアアップデート向けのMFT前提条件のRPM。

SUSE Linux Enterprise Server 15 SP1用HPE Broadcom NetXtreme-E RoCEライブラリ

バージョン: 216.0.88.3 **(オプション)**
ファイル名: libbnxt_re-216.0.88.3-sles15sp1.x86_64.compsig; libbnxt_re-216.0.88.3-sles15sp1.x86_64.rpm; README

事前要件

この製品をインストールする前に、*HPE Broadcom NetXtreme-E Drivers for SUSE Linux Enterprise Server 15*、バージョン1.10.1-216.0.169.4以降をインストールする必要があります。

RoCEライブラリをインストールする前に、ターゲットシステムにlibibverbおよびrdma-coreパッケージをインストールしておく必要があります。まだインストールしていない場合は、オペレーティングシステムのインストールメディアからパッケージを取得できます。

修正

- この製品は、システムの再起動後にRoCEボンドが自動的に作成されない問題を修正します
- この製品は、ホットプラグ操作の実行後にエラー/パフォーマンスが劣化する可能性がある問題を修正します
- この製品は、SUSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 1プラットフォームでSPP展開が実行されているときに、HPSUMがSUSE Linux Enterprise Server 15のドライバーを選択する問題を修正します。

拡張

- この製品は、リンクアグリゲーションが有効になっている場合、VFでのRoCEドライバーのロードを無効にするようになりました
- この製品は、rdma-core v22をサポートするようになりました

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター

SUSE Linux Enterprise Server 15用HPE Broadcom NetXtreme-E RoCEライブラリ

バージョン: 216.0.88.3 **(オプション)**
ファイル名: libbnxt_re-216.0.88.3-sles15sp0.x86_64.compsig; libbnxt_re-216.0.88.3-sles15sp0.x86_64.rpm; README

事前要件

この製品をインストールする前に、*HPE Broadcom NetXtreme-E Drivers for SUSE Linux Enterprise Server 15*、バージョン1.10.1-216.0.169.4以降をインストールする必要があります。

RoCEライブラリをインストールする前に、ターゲットシステムにlibibverbおよびrdma-coreパッケージをインストールしておく必要があります。まだインストールしていない場合は、オペレーティングシステムのインストールメディアからパッケージを取得できます。

修正

- この製品は、システムの再起動後にRoCEボンドが自動的に作成されない問題を修正します。
- この製品は、ホットプラグ操作の実行後にエラー/パフォーマンスが劣化する可能性がある問題を修正します。

拡張

- この製品は、リンクアグリゲーションが有効になっている場合、VFでのRoCEドライバーのロードを無効にするようになりました。
- この製品は、rdma-core v22をサポートするようになりました。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター

SUSE Linux Enterprise Server 15用HPE QLogic FastLinQ 10/25/50 GbEドライバー

バージョン: 8.50.25.0-1 **(オプション)**
ファイル名: qlgc-fastlinq-kmp-default-8.50.25.0_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.compsig; qlgc-fastlinq-kmp-default-8.50.25.0_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.rpm; qlgc-fastlinq-kmp-default-8.50.25.1_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.compsig; qlgc-fastlinq-kmp-default-8.50.25.1_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm; README

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、HPE QLogic FastLinQ Online Firmware Upgrade Utility for Linux x86_64、バージョン1.9.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、roceドライバーのみをアンロードおよび再ロードした後にシステムがクラッシュする問題を修正します
- この製品は、複数のVMでの夜間再起動テストでVF RDMAシステムがクラッシュする問題を修正します
- この製品は、すべてのPFで列挙された最大VFでの詳細プロパティの無効化/有効化時にVMがランダムにクラッシュする問題を修正します
- この製品は、1つのポートがダウンし、再起動が試みられる場合にiSCSI BFSシステムが再起動に失敗する問題を修正します

拡張

- この製品は、現在SUSE Linux Enterprise Server 15 SP2をサポートしています。
- この製品にPCIe Advanced Error Recovery(AER)サポートが追加されました。
- この製品はRoCE結合モードをサポートするようになりました。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート524SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート521Tアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2-port 622FLR-SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート621SFP28アダプター
- HPE StoreFabric CN1300Rコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200R-Tコンバージドネットワークアダプター

SUSE Linux Enterprise Server用Linux Intelドライバービルドバンドル

バージョン: 1.0.3.0 **(オプション)**
ファイル名: hp-i40e-2.11.27-1.all.src.rpm; hp-i40e-kmp-default-2.11.27_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; hp-i40e-kmp-default-2.11.27_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.rpm; hp-i40e-kmp-default-2.11.27_k4.12.14_23-1.sles15sp0.x86_64.rpm; hp-i40e-kmp-default-2.11.27_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.rpm; hp-iavf-3.9.5-1.all.src.rpm; hp-iavf-kmp-default-3.9.5_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; hp-iavf-kmp-default-3.9.5_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.rpm; hp-iavf-kmp-default-3.9.5_k4.12.14_23-1.sles15sp0.x86_64.rpm; hp-iavf-kmp-default-3.9.5_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.rpm; hp-igb-6.2.3-1.all.src.rpm; hp-igb-kmp-default-6.2.3_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; hp-igb-kmp-default-6.2.3_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.rpm; hp-igb-kmp-default-6.2.3_k4.12.14_23-1.sles15sp0.x86_64.rpm; hp-igb-kmp-default-6.2.3_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.rpm; hp-ixgbe-5.7.1-1.all.src.rpm; hp-ixgbe-kmp-default-5.7.1_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; hp-ixgbe-kmp-default-5.7.1_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.rpm; hp-ixgbe-kmp-default-5.7.1_k4.12.14_23-1.sles15sp0.x86_64.rpm; hp-ixgbe-kmp-default-5.7.1_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.rpm; hp-ixgbevf-4.7.1-1.all.src.rpm; hp-ixgbevf-kmp-default-4.7.1_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm; hp-ixgbevf-kmp-default-4.7.1_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.rpm; hp-ixgbevf-kmp-default-4.7.1_k4.12.14_23-1.sles15sp0.x86_64.rpm; hp-ixgbevf-kmp-default-4.7.1_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.rpm; i40e-README; iavf-README; ice-README; igb-README; irdma-README; ixgbe-README; ixgbevf-README

拡張

Gen10PlusSnap3

VMware ESXi 6.5および6.7 MSTドライバーオフラインバンドル for Mellanoxアダプター

バージョン: 4.12.0.105 **(推奨)**
ファイル名: MLNX-NMST-ESX-6.5.0-4.12.0.105.zip

拡張

VM65/67 nmst 4.12.0.105

VMware vSphere 6.5用HPE QLogic NX2 10/20 GbEマルチファンクションドライバー

バージョン: 2020.09.14 **(オプション)**
ファイル名: cp042872.compsig; cp042872.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCP0xxxxx.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE QLogic NX2*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ*for VMware*、バージョン1.27.0で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、イーサーネットリンクが533FLR-T/536FLR-Tアダプターに接続されている場合にPurple Screen Of Death(PSOD)が発生する問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート536FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート534FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 533FLR-Tアダプター
- HPE StoreFabric CN1100Rデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1100R 10GBASE-T 2ポートコンバージドネットワークアダプター

VMware vSphere 6.7用HPE QLogic NX2 10/20 GbEマルチファンクションドライバー

バージョン: 2020.09.14 **(オプション)**
ファイル名: cp042873.compsig; cp042873.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCP0xxxxx.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE QLogic NX2*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ*for VMware*、バージョン1.27.0で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

この製品は、イーサーネットリンクが533FLR-T/536FLR-Tアダプターに接続されている場合にPurple Screen Of Death(PSOD)が発生する問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート536FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート534FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 533FLR-Tアダプター
- HPE StoreFabric CN1100Rデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1100R 10GBASE-T 2ポートコンバージドネットワークアダプター

VMware vSphere 7.0用HPE QLogic NX2 10/20 GbEマルチファンクションドライバー

バージョン: 2020.05.29 **(オプション)**
ファイル名: cp041163.compsig; cp041163.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCP0xxxxx.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipファイルです。

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE QLogic NX2 Online Firmware Upgrade Utility for VMware*、バージョン1.26.50以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

これらのドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート 530SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート536FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート534FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 533FLR-Tアダプター
- HPE StoreFabric CN1100Rデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1100R 10GBASE-T 2ポートコンバージドネットワークアダプター

Windows Server 2016用HPE Intel ixsドライバー

バージョン: 4.1.199.0 **(オプション)**
ファイル名: cp042031.compsig; cp042031.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.3.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品には、Windowsシステムアップデートでサポートされる改善が含まれています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562Tアダプター

Windows Server 2019用HPE Intel ixsドライバー

バージョン: 4.1.197.0 **(オプション)**
ファイル名: cp042032.compsig; cp042032.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.3.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

拡張

この製品には、Windowsシステムアップデートでサポートされる改善が含まれています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562Tアダプター

Windows Server 2019用HPE Intel vxsドライバー

バージョン: 2.1.191.0 **(オプション)**
ファイル名: cp042038.compsig; cp042038.exe

重要な注意！

このドライバーとともに使用する場合は、*HPE Intel Online Firmware Upgrade Utility for Windows Server x64 Edition*、バージョン5.2.3.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

事前要件

このドライバーではホストドライバーバージョン4.1.179.0以降が必要です。

拡張

この製品には、Windowsシステムアップデートでサポートされる改善が含まれています。

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562Tアダプター

Windows Server x64 Edition用HPE QLogic FastLinQ 10/25/50 GbEドライバー

バージョン: 8.50.10.0 **(オプション)**
ファイル名: cp043122.compsig; cp043122.exe

重要な注意！

これらのドライバーとともに使用する場合は、*HPE QLogic FastLinQ*オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ*for Windows Server x64 Editions*、バージョン5.2.3.0以降で提供されるファームウェアを推奨しています。

修正

- この製品は、物理機能(PF)応答の待機中にチャネルの仮想機能(VF)スリープ期間を修正する問題を修正します。
- この製品は、シングルルートI/O仮想化(SR-IOV)がいくつかのパーティションで有効になっていて、OneViewを使用していくつかのパーティションで無効になっているときにシステムがクラッシュする問題を修正します。
- この製品は、ファームウェアを08.50.27にアップデートした後にオペレーティングシステムのブートに失敗する問題を修正します。
- この製品は、エンタープライズデータセンターモードが有効なネットワークパーティショニング(NPAR)およびシングルルートI/O仮想化(SR-IOV)でドライバーをアップグレードするときにシステムがクラッシュするとい

う問題を修正します。
- この製品は、すべての物理機能(PF)で列挙された最大仮想機能(VF)での詳細プロパティの無効化/有効化時に仮想マシン(VM)がランダムにクラッシュする問題を修正します
- この製品は、管理OSでRoCEv2 IPv6トラフィックを実行しているときにネットワークドライバーインターフェイス仕様(NDIS)ドライバーを無効にするとシステムがクラッシュするという問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 521Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 524SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 524SFP+ OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート523T OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート523Tアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 621SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 622FLR-SFP28コンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200R-Tコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1300R コンバージドネットワークアダプター

ドライバー - ストレージ

先頭

HPE SmartアレイS100i SR Gen10 SW RAIDドライバーfor Windows Server 2012 R2、Windows Server 2016およびWindows Server 2019

バージョン: 106.12.6.0 **(推奨)**
ファイル名: cp043250.compsig; cp043250.exe

修正

RAID 0/1/5/10フォールトトレラントモードで構成されたRAIDボリュームの初期構成または操作中に、HPE Smartアレイs100iソフトウェアRAIDで潜在的なデータの不整合が発生する可能性がある問題に対処しました。

この問題は、Smartアレイs100iサポートを有効にしていないシステムには影響しません。

- 詳しくは、カスタマー通知a00097789en_usを参照してください

重要な情報:

- 単一のRAID 0論理ドライブで構成されたアレイは影響を受けません。
- 単一のRAID 1論理ドライブで構成されたアレイは影響を受けません。

拡張

AMD向けのサポートを追加しました

ドライバー - ストレージコントローラー

先頭

64-bit Red Hat Enterprise Linux 7用HPE SmartアレイP824i-p MRコントローラードライバー

バージョン: 07.706.05.00-14 **(推奨)**
ファイル名: kmod-megaraid_sas-07.706.05.00-14.rhel7u5.x86_64.compsig; kmod-megaraid_sas-07.706.05.00-14.rhel7u5.x86_64.rpm; kmod-megaraid_sas-07.706.05.00-14.rhel7u6.x86_64.compsig; kmod-megaraid_sas-07.706.05.00-14.rhel7u6.x86_64.rpm

拡張

ProLiant機能のサポートを追加しました(メガセルステータス、AHS、Spade、サニタイズ & エキスパンダー)

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:
このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 7 (64-bit)カーネルは、次の通りです。
3.10.0-693.el7 - Red Hat Enterprise Linux 7 Update 4 (64-bit)およびUpdate 4用の今後のerrataカーネル。
3.10.0-862.el7- Red Hat Enterprise Linux 7 Update 5 (64-bit)およびUpdate 5用の今後のerrataカーネル。

64-bit SUSE LINUX Enterprise Server 12用HPE SmartアレイP824i-p MRコントローラードライバー

バージョン: 07.706.05.00-14 **(推奨)**
ファイル名: lsi-megaraid_sas-kmp-default-07.706.05.00-14.sles12sp3.x86_64.compsig; lsi-megaraid_sas-kmp-default-07.706.05.00-14.sles12sp3.x86_64.rpm; lsi-megaraid_sas-kmp-default-07.706.05.00-14.sles12sp4.x86_64.compsig; lsi-megaraid_sas-kmp-default-07.706.05.00-14.sles12sp4.x86_64.rpm

拡張

ProLiant機能のサポートを追加しました(Megacellステータス、AHS、Spade、サニタイズおよびエキスパンダー)

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:
このバイナリrpmでサポートされるSUSE LINUX Enterpriseサーバー 12 (64-bit)カーネルは、次のとおりです。
4.4.21-69-default - SUSE LINUX Enterpriseサーバー12 (64-bit) SP2 plus future errata。
4.4.73-5.1 - SUSE LINUX Enterpriseサーバー12 (64-bit) SP3 plus future errata。

64-bit SUSE LINUX Enterprise Server 15用HPE SmartアレイP824i-p MRコントローラードライバー

バージョン: 07.706.05.00-14 **(推奨)**
ファイル名: lsi-megaraid_sas-kmp-default-07.706.05.00-14.sles15sp0.x86_64.compsig; lsi-megaraid_sas-kmp-default-07.706.05.00-14.sles15sp0.x86_64.rpm

拡張

ProLiant機能のサポートを追加しました(メガセルステータス、AHS、Spade、サニタイズ & エキスパンダー)

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:
このバイナリrpmでサポートされるSUSE LINUX Enterpriseサーバー15(64-bit)カーネルは、次の通りです。
4.12.14-23 - SUSE LINUX Enterpriseサーバー15 (64-bit) SP0 plus future errata.

HPE ProLiant Gen10 Smartアレイコントローラードライバーfor VMware ESXi 6.5 (バンドルファイル)

バージョン: 1.0.4.3008 **(推奨)**
ファイル名: VMW-ESX-6.5.0-smartpqi-1.0.4.3008-offline_bundle-14862448.zip

拡張

パススルーコマンドが完了できないときに回復メカニズムを有効にするために、パススルーおよびタスク管理要求にタイムアウトサポートフィールドを追加します。

HPE ProLiant Gen10 Smartアレイコントローラードライバーfor VMware ESXi 6.7 (バンドルファイル)

バージョン: 1.0.4.3008 **(推奨)**
ファイル名: VMW-ESX-6.7.0-smartpqi-1.0.4.3008-offline_bundle-14862538.zip

拡張

パススルーコマンドが完了できないときに回復メカニズムを有効にするために、パススルーおよびタスク管理要求にタイムアウトサポートフィールドを追加します。

HPE ProLiant Gen10 Smartアレイコントローラードライバーfor VMware vSphere 6.5 (ドライバーコンポーネント)

バージョン: 2019.12.01 **(推奨)**
ファイル名: cp040982.compsig; cp040982.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。 これは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

拡張

パススルーコマンドが完了できないときに回復メカニズムを有効にするために、パススルーおよびタスク管理要求にタイムアウトサポートフィールドを追加します。

HPE ProLiant Gen10 Smartアレイコントローラードライバーfor VMware vSphere 6.7 (ドライバーコンポーネント)

バージョン: 2019.12.01 **(推奨)**
ファイル名: cp040981.compsig; cp040981.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。 これは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

拡張

パススルーコマンドが完了できないときに回復メカニズムを有効にするために、パススルーおよびタスク管理要求にタイムアウトサポートフィールドを追加します。

HPE Smartアレイ Gen10コントローラードライバーfor Windows Server 2012 R2、Windows Server 2016およびWindows Server 2019

バージョン: 106.178.0.1009 **(推奨)**
ファイル名: cp043158.compsig; cp043158.exe

拡張

Smartpqiドライバー106.178.0.1009は、Microsoft Windows OS環境の最新バージョンをサポートしており、HPE Gen10 Smartアレイコントローラーのファームウェア3.0での使用が推奨されています

Red Hat Enterprise Linux 7(64-bit)用HPE ProLiant Gen10およびGen10Plus Smartアレイコントローラー(64-bit)ドライバー

バージョン: 1.2.14-016 **(推奨)**
ファイル名: kmod-smartpqi-1.2.14-016.rhel7u7.x86_64.compsig; kmod-smartpqi-1.2.14-

016.rhel7u7.x86_64.rpm; kmod-smartpqi-1.2.14-016.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-smartpqi-1.2.14-016.rhel7u8.x86_64.rpm

拡張

Smartpqiドライバー1.2.14-016は、Red Hat Enterprise Linux 7.7および8.2をサポートするようになりました。HPE Gen10 Smartアレイコントローラーのファームウェア3.0での使用が推奨されています

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:
このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 7 (64-bit)カーネルは、次の通りです。
3.10.0-957.el7- Red Hat Enterprise Linux 7 Update 6 (64-bit)およびfuture errata kernels for update 6.

Red Hat Enterprise Linux 8(64-bit)用HPE ProLiant Gen10およびGen10Plus Smartアレイコントローラー(64-bit)ドライバー

バージョン: 1.2.14-016 **(推奨)**
ファイル名: kmod-smartpqi-1.2.14-016.rhel8u1.x86_64.compsig; kmod-smartpqi-1.2.14-016.rhel8u1.x86_64.rpm; kmod-smartpqi-1.2.14-016.rhel8u2.x86_64.compsig; kmod-smartpqi-1.2.14-016.rhel8u2.x86_64.rpm

拡張

Smartpqiドライバー1.2.14-016は、Red Hat Enterprise Linux 7.7および8.2をサポートするようになりました。HPE Gen10 Smartアレイコントローラーのファームウェア3.0での使用が推奨されています

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:
このバイナリrpmでサポートされるRed Hat Enterprise Linux 8(64ビット)カーネルは、次のとおりです。
-デフォルト- Red Hat Enterprise Linux 8 Update 0(64ビット)

SUSE LINUX Enterprise Server 12(64-bit)用HPE ProLiant Gen10およびGen10Plus Smartアレイコントローラー(64-bit)ドライバー

バージョン: 1.2.14-016 **(推奨)**
ファイル名: smartpqi-kmp-default-1.2.14-016.sles12sp4.x86_64.compsig; smartpqi-kmp-default-1.2.14-016.sles12sp4.x86_64.rpm; smartpqi-kmp-default-1.2.14-016.sles12sp5.x86_64.compsig; smartpqi-kmp-default-1.2.14-016.sles12sp5.x86_64.rpm

拡張

Smartpqiドライバー1.2.14-016は、SUSE Linux Enterprise Service 12.5および15.1をサポートするようになりました。HPE Gen10 Smartアレイコントローラーのファームウェア3.0での使用が推奨されています

サポートしているデバイスおよび機能

サポートされるカーネル:
4.12.14-94.41.1 - SUSE LINUX Enterprise Server 12 (64-bit) SP4 plus future errata。

SUSE LINUX Enterprise Server 15(64-bit)用HPE ProLiant Gen10およびGen10Plus Smartアレイコントローラー(64-bit)ドライバー

バージョン: 1.2.14-017 **(推奨)**

ファイル名: smartpqi-kmp-default-1.2.14-017.sles15sp1.x86_64.compsig; smartpqi-kmp-default-1.2.14-017.sles15sp1.x86_64.rpm; smartpqi-kmp-default-1.2.14-017.sles15sp2.x86_64.compsig; smartpqi-kmp-default-1.2.14-017.sles15sp2.x86_64.rpm

拡張

SUSE Linux Enterprise Server 15 SP2のサポートを追加します

---

vSphere 6.5用HPE SmartアレイP824i-p MRコントローラー(64ビット)ドライバー

バージョン: 7.706.09.00 **(推奨)**
ファイル名: Release_Notes_lsi-mr3-7.706.09.00-1OEM_6.5.txt; VMW-ESX-6.5.0-lsi_mr3-7.706.09.00-12102431.zip

修正

JBODモードで見られるvSANフォールトトレランステストの失敗に対処しました。

---

vSphere 6.5用HPE SmartアレイP824i-p MRコントローラー(64ビット)ドライバー(ドライバーコンポーネント)

バージョン: 2019.12.13 **(推奨)**
ファイル名: cp042803.compsig; cp042803.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。 これは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

修正

JBODモードで見られるvSANフォールトトレランステストの失敗に対処しました。

---

vSphere 6.7用HPE SmartアレイP824i-p MRコントローラー(64ビット)ドライバー

バージョン: 7.706.09.00 **(推奨)**
ファイル名: Release_Notes_lsi-mr3-7.706.09.00-1OEM.txt; VMW-ESX-6.7.0-lsi_mr3-7.706.09.00-offline_bundle-12095481.zip

修正

JBODモードで見られるvSANフォールトトレランステストの失敗に対処しました。

---

vSphere 6.7用HPE SmartアレイP824i-p MRコントローラー(64ビット)ドライバー(ドライバーコンポーネント)

バージョン: 2019.12.13 **(推奨)**
ファイル名: cp042807.compsig; cp042807.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを意図します。 これは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

修正

JBODモードで見られるvSANフォールトトレランステストの失敗に対処しました。

Windows 2012 R2 エディション用HPE Smart Array P824i-p MR 64-bitコントローラードライバー

バージョン: 6.714.18.0 **(推奨)**
ファイル名: cp034410.compsig; cp034410.exe

拡張

- Apollo 4510システムのサポートを追加しました

Windows 2016エディション用HPE Smart Array P824i-p MR 64-bitコントローラードライバー

バージョン: 6.714.18.0 **(推奨)**
ファイル名: cp034411.compsig; cp034411.exe

拡張

- Apollo 4510システムのサポートを追加しました

Windows 2019エディション用HPE SmartアレイP824i-p MR 64-bitコントローラードライバー

バージョン: 6.714.18.0 **(推奨)**
ファイル名: cp038009.compsig; cp038009.exe

拡張

Microsoft Windows Server 2019初回リリース

ドライバー - ストレージファイバーチャネルおよびファイバーチャネルオーバーイーサーネット

先頭

HPE QLogicホストバスアダプター用のSUSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 1ファイバーチャネルドライバーキット

バージョン: 10.01.00.64.15.1-k1 **(推奨)**
ファイル名: qlgc-qla2xxx-kmp-default-10.01.00.64.15.1_k1_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.compsig; qlgc-qla2xxx-kmp-default-10.01.00.64.15.1_k1_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.rpm

重要な注意！

リリースノート:

HPE QLogicアダプターリリースノート

注記:QLogicドライバーのベース名は、「qlgc」に変更されています。「hpqlgc」ドライバーからのアップデートがサポートされています。

以下を修正しました。

- 3PARアレイから起動するホストが、ドライバー10.01.00.57.xx.xxによる3PARアレイノードコントローラーの再起動中に予期せず再起動する可能性があります
- 次のタイトルのカスタマーアドバイザリで説明されている予期しない動作のアダプタードライバー処理と、その回復を改善しました。「HPE ProLiant、Synergy、およびSuperdome Flexホストバスアダプター (HBA) - 特定のファイバーチャネルHBAファームウェアが原因で、オペレーティングシステムが停止することがあり、ファイルシステムのデータ完全性が損なわれる可能性があります」

https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_us

以下のサポートを追加しました:

- ql2xextended_error_loggingの特殊な値1をいつでも設定できます。
- ドライバーのパフォーマンスを向上させるためにポート統計情報の収集が改善されました

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

修正

以下を修正しました。

- 3PARアレイから起動するホストが、ドライバー10.01.00.57.xx.xxによる3PARアレイノードコントローラーの再起動中に予期せず再起動する可能性があります
- 次のタイトルのカスタマーアドバイザリで説明されている予期しない動作のアダプタードライバー処理と、その回復を改善しました。「HPE ProLiant、Synergy、およびSuperdome Flexホストバスアダプター (HBA) - 特定のファイバーチャネルHBAファームウェアが原因で、オペレーティングシステムが停止することがあり、ファイルシステムのデータ完全性が損なわれる可能性があります」

  https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_us

拡張

SuSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 1バージョン10.01.00.64.15.1-k1の初期ドライバー

以下のサポートを追加しました:

- ql2xextended_error_loggingの特殊な値1をいつでも設定できます。
- ドライバーのパフォーマンスを向上させるためにポート統計情報の収集が改善されました

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE 81Q 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1000Q 16GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000Q 16GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE QLogicホストバスアダプター用のSUSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 2ファイバーチャネルドライバーキット

バージョン: 10.01.00.64.15.2-k1b **(推奨)**
ファイル名: qlgc-qla2xxx-kmp-default-10.01.00.64.15.2_k1b_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.compsig; qlgc-qla2xxx-kmp-default-10.01.00.64.15.2_k1b_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm

重要な注意！

リリースノート:

HPE QLogicアダプターリリースノート

注記:QLogicドライバーのベース名は、「qlgc」に変更されています。「hpqlgc」ドライバーからのアップデートがサポートされています。

以下を修正しました。

- 3PARアレイから起動するホストが、ドライバー10.01.00.57.xx.xxによる3PARアレイノードコントローラーの再起動中に予期せず再起動する可能性があります
- 次のタイトルのカスタマーアドバイザリで説明されている予期しない動作のアダプタードライバー処理と、その回復を改善しました。「HPE ProLiant、Synergy、およびSuperdome Flexホストバスアダプター (HBA) - 特定のファイバーチャネルHBAファームウェアが原因で、オペレーティングシステムが停止することがあり、ファイルシステムのデータ完全性が損なわれる可能性があります」

  https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_us

以下のサポートを追加しました:

- ql2xextended_error_loggingの特殊な値1をいつでも設定できます。
- ドライバーのパフォーマンスを向上させるためにポート統計情報の収集が改善されました

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

修正

以下を修正しました。

- 3PARアレイから起動するホストが、ドライバー10.01.00.57.xx.xxによる3PARアレイノードコントローラーの再起動中に予期せず再起動する可能性があります
- 次のタイトルのカスタマーアドバイザリで説明されている予期しない動作のアダプタードライバー処理と、その回復を改善しました。「HPE ProLiant、Synergy、およびSuperdome Flexホストバスアダプター (HBA) - 特定のファイバーチャネルHBAファームウェアが原因で、オペレーティングシステムが停止することがあり、ファイルシステムのデータ完全性が損なわれる可能性があります」

  https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_us

拡張

SuSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 2バージョン10.01.00.64.15.2-k1の初期ドライバー

以下のサポートを追加しました:

- ql2xextended_error_loggingの特殊な値1をいつでも設定できます。
- ドライバーのパフォーマンスを向上させるためにポート統計情報の収集が改善されました

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE 81Q 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1000Q 16GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000Q 16GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE QLogicメザニンホストバスアダプター用SUSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 1 ファイバーチャネルドライバーキット

バージョン: 10.01.00.57.15.1-k1 **(推奨)**
ファイル名: qlgc-qla2xxx-kmp-default-10.01.00.57.15.1_k1_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.compsig; qlgc-qla2xxx-kmp-default-10.01.00.57.15.1_k1_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.rpm

重要な注意！

リリースノート:

HPE QLogicアダプターリリースノート

注記:QLogicドライバーのベース名は、「qlgc」に変更されています。「hpqlgc」ドライバーからのアップデートがサポートされています。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

拡張

アップデートされたドライバー:

SuSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 1バージョン10.01.00.57.15.1-k1

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE QMH2572 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

HPE QLogicメザニンホストバスアダプター用のSUSE Linux Enterprise Server 12 Service Pack 4ファイバーチャネルドライバーキット

バージョン: 10.01.00.57.12.4-k1 **(推奨)**
ファイル名: qlgc-qla2xxx-kmp-default-10.01.00.57.12.4_k1_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.compsig; qlgc-qla2xxx-kmp-default-10.01.00.57.12.4_k1_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.rpm

重要な注意！

リリースノート:

HPE QLogicアダプターリリースノート

注記:QLogicドライバーのベース名は、「qlgc」に変更されています。「hpqlgc」ドライバーからのアップデートがサポートされています。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

拡張

アップデートされたドライバー:

SuSE Linux Enterprise Server 12サービスパック4(SLES12 sp4)バージョン10.01.00.57.12.4-k1

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE QMH2572 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

HPE Storageファイバーチャネルアダプターキットfor x64 Emulex Storportドライバーfor Microsoft Windows Server 2012R2/2016

バージョン: 12.4.243.4 **(推奨)**
ファイル名: cp042265.compsig; cp042265.exe

重要な注意！

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へアクセスしてください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

拡張

ドライバーバージョン12.4.243.4にアップデートしました

以下のサポートを追加しました。

rawドライバーファイルフォルダーを削除しました。 rawドライバーファイルは、Smartコンポーネントを解凍し、その後Emulexインストーラーを解凍することによって取得することができます。 次のコマンドを使用します。

elxdrvr-fc-version.exe /q2 extract=2

抽出されたファイルは次に置かれます。

C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Emulex¥Drivers¥FC-version

各キットのフォルダーは、それに続くアーキテクチャーとOSフォルダーを持ちます。 たとえば、以下のようになります。

C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Emulex¥Drivers¥FC-version¥x64¥win2019

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FCアダプター:

- HPE LPe1205A 8GbファイバーチャネルホストバスアダプターfoBladeSystem c-Class

16Gb FCアダプター:

- HPE LPe1605 16GbファイバーチャネルホストバスアダプターfoBladeSystem c-Class

HPE Storageファイバーチャネルアダプターキットfor x64 Emulex Storportドライバーfor Microsoft Windows Server 2012R2/2016

バージョン: 12.6.165.0 (b) **(推奨)**
ファイル名: cp041717.compsig; cp041717.exe

重要な注意！

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へアクセスしてください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

以下を修正しました。

- Hyper-V仮想マシン(VM)が512回以上シャットダウンされ、再起動された場合、それらの仮想マシン(VM)がストレージアレイにアクセスできなくなりました。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

修正

以下を修正しました。

- Hyper-V仮想マシン(VM)が512回以上シャットダウンされ、再起動された場合、それらの仮想マシン(VM)がストレージアレイにアクセスできなくなりました。

拡張

ドライバーバージョン12.6.165.0にアップデートしました

rawドライバーファイルフォルダーを削除しました。 rawドライバーファイルは、Smartコンポーネントを解凍し、その後Emulexインストーラーを解凍することによって取得することができます。 次のコマンドを使用します。

elxdrvr-fc-version.exe /q2 extract=2

抽出されたファイルは次に置かれます。

C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Emulex¥Drivers¥FC-version

各キットのフォルダーは、それに続くアーキテクチャーとOSフォルダーを持ちます。 たとえば、以下のようになります。

C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Emulex¥Drivers¥FC-version¥x64¥win2019

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FCアダプター:

- HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

- HPE SN1100E 16Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gb 1シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE Storageファイバーチャネルアダプターキットfor x64 Emulex Storportドライバーfor Microsoft Windows Server 2019

バージョン: 12.6.165.0 (b) **(推奨)**
ファイル名: cp041729.compsig; cp041729.exe

重要な注意！

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へアクセスしてください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

以下を修正しました。

- Hyper-V仮想マシン(VM)が512回以上シャットダウンされ、再起動された場合、それらの仮想マシン(VM)がストレージアレイにアクセスできなくなりました。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

修正

以下を修正しました。

- Hyper-V仮想マシン(VM)が512回以上シャットダウンされ、再起動された場合、それらの仮想マシン(VM)がストレージアレイにアクセスできなくなりました。

拡張

ドライバーバージョン12.6.165.0にアップデートしました

rawドライバーファイルフォルダーを削除しました。 rawドライバーファイルは、Smartコンポーネントを解凍し、その後Emulexインストーラーを解凍することによって取得することができます。 次のコマンドを使用します。

elxdrvr-fc-version.exe /q2 extract=2

抽出されたファイルは次に置かれます。

C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Emulex¥Drivers¥FC-version

各キットのフォルダーは、それに続くアーキテクチャーとOSフォルダーを持ちます。 たとえば、以下のようになります。

C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Emulex¥Drivers¥FC-version¥x64¥win2019

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FCアダプター:

- HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gb 1シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE Storageファイバーチャネルアダプターキットfor x64 QLogic Storportドライバーfor Microsoft Windows Server 2012 R2

バージョン: 9.4.1.20 **(推奨)**
ファイル名: cp042970.compsig; cp042970.exe

重要な注意！

リリースノート:
HPE QLogicアダプターリリースノート

以下を修正しました。

- SAN環境からのブートでのクラッシュダンプ時にメモリダンプが生成されませんでした

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

修正

以下を修正しました。

- SAN環境からのブートでのクラッシュダンプ時にメモリダンプが生成されませんでした

拡張

バージョン9.4.1.20にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE 81Q 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1000Q 16GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000Q 16GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE Storageファイバーチャネルアダプターキットfor x64 QLogic Storportドライバーfor Microsoft Windows Server 2016

バージョン: 9.4.1.20 **(推奨)**
ファイル名: cp042519.compsig; cp042519.exe

重要な注意！

リリースノート:
HPE QLogicアダプターリリースノート

以下を修正しました。

- SAN環境からのブートでのクラッシュダンプ時にメモリダンプが生成されませんでした

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

修正

以下を修正しました。

- SAN環境からのブートでのクラッシュダンプ時にメモリダンプが生成されませんでした

拡張

バージョン9.4.1.20にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE 81Q 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1000Q 16GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000Q 16GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE Storageファイバーチャネルアダプターキットfor x64 QLogic Storportドライバーfor Microsoft Windows Server 2019

バージョン: 9.4.1.20 **(推奨)**
ファイル名: cp042520.compsig; cp042520.exe

重要な注意！

リリースノート:
HPE QLogicアダプターリリースノート

以下を修正しました。

- SAN環境からのブートでのクラッシュダンプ時にメモリダンプが生成されませんでした

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

修正

以下を修正しました。

- SAN環境からのブートでのクラッシュダンプ時にメモリダンプが生成されませんでした

拡張

バージョン9.4.1.20にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE 81Q 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1000Q 16GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000Q 16GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE Storageファイバーチャネルオーバーイーサネットアダプターキット for the x64 Emulex Storport ドライバー for Windows Server 2019

バージョン: 12.0.1192.0 (d) **(推奨)**
ファイル名: cp044553.compsig; cp044553.exe

重要な注意！

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へアクセスしてください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

- HPE Emulex XE-102 ベースのネットワークアダプター HPE FlexFabric 10Gb 2 ポート 556FLR-T Adapter with CNA (XE100 シリーズ) ファームウェア 12.0.1110.0、12.0.1110.10、または 12.0.1110.11 (またはそれ以降) を使用して構成された HPE ProLiant サーバーでは、ネットワークアダプターに「リンクダウン」状態が発生し、電源サイクルやリセットでは回復できない場合があります。

詳細については、次のリンク先の「特定のHPE Emulex XE-102ベースのネットワークアダプターが組み込まれているHPE ProLiantサーバーで、ファームウェアの問題のためリンクがダウンすることがある」と題されたドキュメントを参照してください。

https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00099050en_us

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

修正

以下を修正しました。

- HPE Emulex XE-102 ベースのネットワークアダプター HPE FlexFabric 10Gb 2 ポート 556FLR-T Adapter with CNA (XE100 シリーズ) ファームウェア 12.0.1110.0、12.0.1110.10、または 12.0.1110.11 (またはそれ以降) を使用して構成された HPE ProLiant サーバーでは、ネットワークアダプターに「リンクダウン」状態が発生し、電源サイクルやリセットでは回復できない場合があります。
  詳細については、次のリンク先の「特定のHPE Emulex XE-102ベースのネットワークアダプターが組み込まれているHPE ProLiantサーバーで、ファームウェアの問題のためリンクがダウンすることがある」と題されたドキュメントを参照してください。
  https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00099050en_us

拡張

以下のサポートを追加しました:

ドライバーバージョン12.0.1192.0にアップデートしました

rawドライバーファイルフォルダーを削除しました。 rawドライバーファイルは、Smartコンポーネントを解凍し、その後Emulexインストーラーを解凍することによって取得することができます。 次のコマンドを使用します。

brcmdrvr-fcoe-version.exe /q2 extract=2

抽出されたファイルは次に置かれます。

C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Broadcom¥Drivers¥FCoE-version

各キットのフォルダーは、それに続くアーキテクチャーとOSフォルダーを持ちます。 たとえば、以下のようになります。

C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Broadcom¥Drivers¥FCoE-version¥x64¥win2012

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター
- HPE CN1200E-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター

HPE Storageファイバーチャネルオーバーイーサネットアダプターキット for the x64 Emulex Storport ドライバーfor Windows 2012R2およびWindows 2016

バージョン: 12.0.1192.0 (c) **(推奨)**
ファイル名: cp044554.compsig; cp044554.exe

重要な注意！

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へアクセスしてください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

- HPE Emulex XE-102 ベースのネットワークアダプター HPE FlexFabric 10Gb 2 ポート 556FLR-T Adapter with CNA (XE100 シリーズ) ファームウェア 12.0.1110.0、12.0.1110.10、または 12.0.1110.11 (またはそれ以降) を使用して構成された HPE ProLiant サーバーでは、ネットワークアダプターに「リンクダウン」状態が発生し、電源サイクルやリセットでは回復できない場合があります。

  詳細については、次のリンク先の「特定のHPE Emulex XE-102ベースのネットワークアダプターが組み込まれているHPE ProLiantサーバーで、ファームウェアの問題のためリンクがダウンすることがある」と題されたドキュメントを参照してください。

  https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00099050en_us

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

修正

以下を修正しました。

- HPE Emulex XE-102 ベースのネットワークアダプター HPE FlexFabric 10Gb 2 ポート 556FLR-T Adapter with CNA (XE100 シリーズ) ファームウェア 12.0.1110.0、12.0.1110.10、または 12.0.1110.11 (またはそれ以降) を使用して構成された HPE ProLiant サーバーでは、ネットワークアダプターに「リンクダウン」状態が発生し、電源サイクルやリセットでは回復できない場合があります。
  詳細については、次のリンク先の「特定のHPE Emulex XE-102ベースのネットワークアダプターが組み込まれているHPE ProLiantサーバーで、ファームウェアの問題のためリンクがダウンすることがある」と題されたドキュメントを参照してください。
  https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00099050en_us

拡張

ドライバーバージョン12.0.1192.0にアップデートしました

rawドライバーファイルフォルダーを削除しました。 rawドライバーファイルは、Smartコンポーネントを解凍し、その後Emulexインストーラーを解凍することによって取得することができます。 次のコマンドを使用します。

```
brcmdrvr-fcoe-version.exe /q2 extract=2
```

抽出されたファイルは次に置かれます。

```
C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Broadcom¥Drivers¥FCoE-version
```

各キットのフォルダーは、それに続くアーキテクチャーとOSフォルダーを持ちます。 たとえば、以下のようになります。

C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Broadcom¥Drivers¥FCoE-version¥x64¥win2012

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター
- HPE CN1200E-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター

HPE Storageメザニンファイバーチャネルアダプターキットfor x64 Emulex Storportドライバー for Microsoft Windows Server 2019

バージョン: 12.4.243.4 **(推奨)**
ファイル名: cp042264.compsig; cp042264.exe

重要な注意！

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へアクセスしてください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

拡張

ドライバーバージョン12.4.243.4にアップデートしました

以下のサポートを追加しました。

rawドライバーファイルフォルダーを削除しました。 rawドライバーファイルは、Smartコンポーネントを解凍し、その後Emulexインストーラーを解凍することによって取得することができます。 次のコマンドを使用します。

elxdrvr-fc-version.exe /q2 extract=2

抽出されたファイルは次に置かれます。

C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Emulex¥Drivers¥FC-version

各キットのフォルダーは、それに続くアーキテクチャーとOSフォルダーを持ちます。 たとえば、以下のようになります。

C:¥Users¥Administrator¥Documents¥Emulex¥Drivers¥FC-version¥x64¥win2019

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FCアダプター:

- HPE LPe1205A 8Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class

16Gb FCアダプター:

- HPE LPe1605 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class

HPE Storageメザニンファイバーチャネルアダプターキットfor x64 QLogic Storportドライバー for Microsoft Windows Server 2012 R2

バージョン: 9.3.3.20 **(推奨)**
ファイル名: cp042971.compsig; cp042971.exe

重要な注意！

リリースノート:
HPE QLogicアダプターリリースノート

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

拡張

バージョン9.3.3.20にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE QMH2572 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

HPE Storageメザニンファイバーチャネルアダプターキットfor x64 QLogic Storportドライバー for Microsoft Windows Server 2016

バージョン: 9.3.3.20 **(推奨)**
ファイル名: cp042212.compsig; cp042212.exe

重要な注意！

リリースノート:
HPE StoreFabric QLogicアダプターリリースノート

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

拡張

バージョン9.3.3.20にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE QMH2572 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

HPE Storageメザニンファイバーチャネルアダプターキットfor x64 QLogic Storportドライバー for Microsoft Windows Server 2019

バージョン: 9.3.3.20 **(推奨)**
ファイル名: cp042213.compsig; cp042213.exe

重要な注意！

リリースノート:
HPE QLogicアダプターリリースノート

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

拡張

バージョン9.3.3.20にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE QMH2572 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

Red Hat Enterprise Linux 7 Update 7 Server FCoEドライバーキット for HPE

Emulex(BRCM) コンバージドネットワークアダプター(CNA)およびメザニンコンバージドネットワークアダプター(CNA)

バージョン: 12.0.1259.0 (c) **(推奨)**
ファイル名: kmod-brcmfcoe-12.0.1259.0-1.rhel7u7.x86_64.compsig; kmod-brcmfcoe-12.0.1259.0-1.rhel7u7.x86_64.rpm

重要な注意！

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へアクセスしてください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

- HPE Emulex XE-102 ベースのネットワークアダプター HPE FlexFabric 10Gb 2 ポート 556FLR-T Adapter with CNA (XE100 シリーズ) ファームウェア 12.0.1110.0、12.0.1110.10、または 12.0.1110.11 (またはそれ以降) を使用して構成された HPE ProLiant サーバーでは、ネットワークアダプターに「リンクダウン」状態が発生し、電源サイクルやリセットでは回復できない場合があります。

詳細については、次のリンク先の「特定のHPE Emulex XE-102ベースのネットワークアダプターが組み込まれているHPE ProLiantサーバーで、ファームウェアの問題のためリンクがダウンすることがある」と題されたドキュメントを参照してください。

https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00099050en_us

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよびコンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へアクセスしてください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前のドライバー(オリジナル)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、inboxドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

修正

以下を修正しました。

- HPE Emulex XE-102 ベースのネットワークアダプター HPE FlexFabric 10Gb 2 ポート 556FLR-T Adapter with CNA (XE100 シリーズ) ファームウェア 12.0.1110.0、12.0.1110.10、または 12.0.1110.11 (またはそれ以降) を使用して構成された HPE ProLiant サーバーでは、ネットワークアダプターに「リンクダウン」状態が発生し、電源サイクルやリセットでは回復できない場合があります。
  詳細については、次のリンク先の「特定のHPE Emulex XE-102ベースのネットワークアダプターが組み込まれているHPE ProLiantサーバーで、ファームウェアの問題のためリンクがダウンすることがある」と題されたドキュメントを参照してください。
  https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00099050en_us

拡張

ドライバーバージョン12.0.1259.0にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター
- HPE CN1200E-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター

Red Hat Enterprise Linux 7 Update 7 Serverファイバーチャネルドライバーキットfor HPE Emulexホストバスアダプター

バージョン: 12.6.275.14 **(推奨)**
ファイル名: kmod-elx-lpfc-12.6.275.14-1.rhel7u7.x86_64.compsig; kmod-elx-lpfc-12.6.275.14-1.rhel7u7.x86_64.rpm

重要な注意！

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、ファイバーチャネル(LightPulse)ホストバスアダプターおよびコンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へアクセスしてください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

以下を修正しました。

- ホストがまだ実行中に、アレイで3PAR Persistent Checksumが無効になっている場合、入出力(I / O)が動作していないというメッセージが表示されることがあります。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

ソフトウェアリリース11.2以降は、ファイバーチャネル(LightPulse)ホストバスアダプターおよびコンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へアクセスしてください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、ファイバーチャネルホストバスアダプターおよびコンバージドネットワークアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

修正

以下を修正しました。

- ホストがまだ実行中に、アレイで3PAR Persistent Checksumが無効になっている場合、入出力(I / O)が動作していないというメッセージが表示されることがあります。

拡張

ドライバーバージョン12.6.275.14にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FCアダプター:

- HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gb 1シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

Red Hat Enterprise Linux 7 Update 7 Serverファイバーチャネルドライバーキットfor HPE Emulexメザニンホストバスアダプター

バージョン: 12.4.270.3 **(推奨)**
ファイル名: kmod-elx-lpfc-12.4.270.3-1.rhel7u7.x86_64.compsig; kmod-elx-lpfc-12.4.270.3-1.rhel7u7.x86_64.rpm

重要な注意！

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へアクセスしてください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよびコンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へアクセスしてください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

拡張

ドライバーバージョン12.4.270.3にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FCアダプター:

- HPE LPe1205A 8Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class

16Gb FCアダプター:

- HPE LPe1605 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class

Red Hat Enterprise Linux 7 Update 7 Serverファイバーチャネルドライバーキットfor HPE QLogicホストバスアダプター

バージョン: 10.01.00.64.07.6-k1a **(推奨)**
ファイル名: kmod-qlgc-qla2xxx-10.01.00.64.07.6_k1a-1.rhel7u7.x86_64.compsig; kmod-qlgc-qla2xxx-10.01.00.64.07.6_k1a-1.rhel7u7.x86_64.rpm

重要な注意！

リリースノート:

HPE QLogicアダプターリリースノート

注記:QLogicドライバーのベース名は、「qlgc」に変更されています。「hpqlgc」ドライバーからのアップデートがサポートされています。

以下を修正しました。

- 3PARアレイから起動するホストが、ドライバー10.01.00.57.xx.xxによる3PARアレイノードコントローラーの再起動中に予期せず再起動する可能性があります
- 次のタイトルのカスタマーアドバイザリで説明されている予期しない動作のアダプタードライバー処理と、その回復を改善しました。「HPE ProLiant、Synergy、およびSuperdome Flexホストバスアダプター (HBA) - 特定のファイバーチャネルHBAファームウェアが原因で、オペレーティングシステムが停止することがあり、ファイルシステムのデータ完全性が損なわれる可能性があります」

  https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_us

以下のサポートを追加しました:

- ql2xextended_error_loggingの特殊な値1をいつでも設定できます。
- ドライバーのパフォーマンスを向上させるためにポート統計情報の収集が改善されました

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

修正

以下を修正しました。

- 3PARアレイから起動するホストが、ドライバー10.01.00.57.xx.xxによる3PARアレイノードコントローラーの再起動中に予期せず再起動する可能性があります
- 次のタイトルのカスタマーアドバイザリで説明されている予期しない動作のアダプタードライバー処理と、その回復を改善しました。「HPE ProLiant、Synergy、およびSuperdome Flexホストバスアダプター (HBA) - 特定のファイバーチャネルHBAファームウェアが原因で、オペレーティングシステムが停止することがあり、ファイルシステムのデータ完全性が損なわれる可能性があります」

https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_us

拡張

Red Hat Enterprise Linux Server 7 Update 7バージョン10.01.00.64.07.6-k1aの初期ドライバー

以下のサポートを追加しました:

- ql2xextended_error_loggingの特殊な値1をいつでも設定できます。
- ドライバーのパフォーマンスを向上させるためにポート統計情報の収集が改善されました

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE 81Q 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1000Q 16GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000Q 16GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

Red Hat Enterprise Linux 7 Update 7 Serverファイバーチャネルドライバーキットfor HPE QLogicメザニンホストバスアダプター

バージョン: 10.01.00.57.07.6-k1 **(推奨)**
ファイル名: kmod-qlgc-qla2xxx-10.01.00.57.07.6_k1-1.rhel7u7.x86_64.compsig; kmod-qlgc-qla2xxx-10.01.00.57.07.6_k1-1.rhel7u7.x86_64.rpm

重要な注意！

リリースノート:

HPE QLogicアダプターリリースノート

注記:QLogicドライバーのベース名は、「qlgc」に変更されています。「hpqlgc」ドライバーからのアップデートがサポートされています。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

拡張

ドライバーバージョン10.01.00.57.07.6-k1にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE QMH2572 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

Red Hat Enterprise Linux 7 Update 8 Serverファイバーチャネルドライバーキットfor HPE Emulexホストバスアダプター

バージョン: 12.6.275.14 **(推奨)**
ファイル名: kmod-elx-lpfc-12.6.275.14-1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-elx-lpfc-12.6.275.14-1.rhel7u8.x86_64.rpm

重要な注意！

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、ファイバーチャネル(LightPulse)ホストバスアダプターおよびコンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へアクセスしてください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

以下を修正しました。

- ホストがまだ実行中に、アレイで3PAR Persistent Checksumが無効になっている場合、入出力(I / O)が動作していないというメッセージが表示されることがあります。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよびコンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へアクセスしてください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前のドライバー(オリジナル)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、inboxドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

修正

以下を修正しました。

- ホストがまだ実行中に、アレイで3PAR Persistent Checksumが無効になっている場合、入出力(I / O)が動作していないというメッセージが表示されることがあります。

拡張

ドライバーバージョン12.6.275.14にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FCアダプター:

- HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gb 1シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

Red Hat Enterprise Linux 7 Update 8 Serverファイバーチャネルドライバーキットfor HPE QLogicホストバスアダプター

バージョン: 10.01.00.64.07.6-k1a **(推奨)**
ファイル名: kmod-qlgc-qla2xxx-10.01.00.64.07.6_k1a-1.rhel7u8.x86_64.compsig; kmod-qlgc-qla2xxx-10.01.00.64.07.6_k1a-1.rhel7u8.x86_64.rpm

重要な注意！

リリースノート:

HPE QLogicアダプターリリースノート

注記:QLogicドライバーのベース名は、「qlgc」に変更されています。「hpqlgc」ドライバーからのアップデートがサポートされています。

以下を修正しました。

- 3PARアレイから起動するホストが、ドライバー10.01.00.57.xx.xxによる3PARアレイノードコントローラーの再起動中に予期せず再起動する可能性があります
- 次のタイトルのカスタマーアドバイザリで説明されている予期しない動作のアダプタードライバー処理と、その回復を改善しました。「HPE ProLiant、Synergy、およびSuperdome Flexホストバスアダプター (HBA) - 特定のファイバーチャネルHBAファームウェアが原因で、オペレーティングシステムが停止することがあり、ファイルシステムのデータ完全性が損なわれる可能性があります」

  https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_us

以下のサポートを追加しました:

- ql2xextended_error_loggingの特殊な値1をいつでも設定できます。
- ドライバーのパフォーマンスを向上させるためにポート統計情報の収集が改善されました

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

修正

以下を修正しました。

- 3PARアレイから起動するホストが、ドライバー10.01.00.57.xx.xxによる3PARアレイノードコントローラーの再起動中に予期せず再起動する可能性があります
- 次のタイトルのカスタマーアドバイザリで説明されている予期しない動作のアダプタードライバー処理と、その回復を改善しました。「HPE ProLiant、Synergy、およびSuperdome Flexホストバスアダプター (HBA) - 特定のファイバーチャネルHBAファームウェアが原因で、オペレーティングシステムが停止することがあり、ファイルシステムのデータ完全性が損なわれる可能性があります」

  https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_us

拡張

Red Hat Enterprise Linux Server 7 Update 8バージョン10.01.00.64.07.6-k1aの初期ドライバー

以下のサポートを追加しました:

- ql2xextended_error_loggingの特殊な値1をいつでも設定できます。
- ドライバーのパフォーマンスを向上させるためにポート統計情報の収集が改善されました

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE 81Q 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1000Q 16Gbデュアルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000Q 16Gbシングルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBデュアルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポート PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

Red Hat Enterprise Linux 8 Update 1 Serverファイバーチャネルドライバーキットfor HPE Emulexホストバスアダプター

バージョン: 12.6.275.14 **(推奨)**
ファイル名: kmod-elx-lpfc-12.6.275.14-1.rhel8u1.x86_64.compsig; kmod-elx-lpfc-12.6.275.14-1.rhel8u1.x86_64.rpm

重要な注意！

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、ファイバーチャネル(LightPulse)ホストバスアダプターおよびコンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へアクセスしてください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

以下を修正しました。

- ホストがまだ実行中に、アレイで3PAR Persistent Checksumが無効になっている場合、入出力(I / O)が動作していないというメッセージが表示されることがあります。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよびコンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へアクセスしてください:http://www.hpe.com/support/manuals

2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

修正

以下を修正しました。

- ホストがまだ実行中に、アレイで3PAR Persistent Checksumが無効になっている場合、入出力(I / O)が動作していないというメッセージが表示されることがあります。

拡張

ドライバーバージョン12.6.275.14にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FCアダプター:

- HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gb 1シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

Red Hat Enterprise Linux 8 Update 1 Serverファイバーチャネルドライバーキットfor HPE QLogicホストバスアダプター

バージョン: 10.01.00.64.08.0-k1 **(推奨)**
ファイル名: kmod-qlgc-qla2xxx-10.01.00.64.08.0_k1-1.rhel8u1.x86_64.compsig; kmod-qlgc-qla2xxx-10.01.00.64.08.0_k1-1.rhel8u1.x86_64.rpm

重要な注意！

リリースノート:

HPE QLogicアダプターリリースノート

注記:QLogicドライバーのベース名は、「qlgc」に変更されています。「hpqlgc」ドライバーからのアップデートがサポートされています。

以下を修正しました。

- 3PARアレイから起動するホストが、ドライバー10.01.00.57.xx.xxによる3PARアレイノードコントローラーの再起動中に予期せず再起動する可能性があります
- 次のタイトルのカスタマーアドバイザリで説明されている予期しない動作のアダプタードライバー処理と、その回復を改善しました。「HPE ProLiant、Synergy、およびSuperdome Flexホストバスアダプター (HBA) - 特定のファイバーチャネルHBAファームウェアが原因で、オペレーティングシステムが停止することがあり、ファイルシステムのデータ完全性が損なわれる可能性があります」

  https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_us

以下のサポートを追加しました:

- ql2xextended_error_loggingの特殊な値1をいつでも設定できます。
- ドライバーのパフォーマンスを向上させるためにポート統計情報の収集が改善されました

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

修正

以下を修正しました。

- 3PARアレイから起動するホストが、ドライバー10.01.00.57.xx.xxによる3PARアレイノードコントローラーの再起動中に予期せず再起動する可能性があります
- 次のタイトルのカスタマーアドバイザリで説明されている予期しない動作のアダプタードライバー処理と、その回復を改善しました。「HPE ProLiant、Synergy、およびSuperdome Flexホストバスアダプター (HBA) - 特定のファイバーチャネルHBAファームウェアが原因で、オペレーティングシステムが停止することがあり、ファイルシステムのデータ完全性が損なわれる可能性があります」

  https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_us

拡張

Red Hat Enterprise Linux Server 8アップデート1バージョン10.01.00.64.08.0-k1

以下のサポートを追加しました:

- ql2xextended_error_loggingの特殊な値1をいつでも設定できます。
- ドライバーのパフォーマンスを向上させるためにポート統計情報の収集が改善されました

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE 81Q 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1000Q 16GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000Q 16GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

Red Hat Enterprise Linux 8 Update 1 Serverファイバーチャネルドライバーキットfor HPE QLogicメザニンホストバスアダプター

バージョン: 10.01.00.57.08.0-k1 **(推奨)**
ファイル名: kmod-qlgc-qla2xxx-10.01.00.57.08.0_k1-1.rhel8u1.x86_64.compsig; kmod-qlgc-qla2xxx-10.01.00.57.08.0_k1-1.rhel8u1.x86_64.rpm

重要な注意！

リリースノート:

HPE QLogicアダプターリリースノート

注記:QLogicドライバーのベース名は、「qlgc」に変更されています。「hpqlgc」ドライバーからのアップデートがサポートされています。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

拡張

RedHat Enterprise Linux Server 8アップデート1バージョン10.01.00.57.08.0-k1用のドライバーをアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE QMH2572 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

Red Hat Enterprise Linux 8 Update 2 Serverファイバーチャネルドライバーキットfor HPE Emulexホストバスアダプター

バージョン: 12.6.275.14 **(推奨)**
ファイル名: kmod-elx-lpfc-12.6.275.14-1.rhel8u2.x86_64.compsig; kmod-elx-lpfc-12.6.275.14-1.rhel8u2.x86_64.rpm

重要な注意！

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、ファイバーチャネル(LightPulse)ホストバスアダプターおよびコンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へアクセスしてください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

以下を修正しました。

- ホストがまだ実行中に、アレイで3PAR Persistent Checksumが無効になっている場合、入出力(I / O)が動作していないというメッセージが表示されることがあります。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよびコンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へアクセスしてください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

修正

以下を修正しました。

- ホストがまだ実行中に、アレイで3PAR Persistent Checksumが無効になっている場合、入出力(I / O)が動作していないというメッセージが表示されることがあります。

拡張

ドライバーバージョン12.6.275.14にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FCアダプター:

- HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gb 1シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

Red Hat Enterprise Linux 8 Update 2ファイバーチャネルドライバーキットfor HPE QLogicホストバスアダプター

バージョン: 10.01.00.64.08.0-k1 **(推奨)**
ファイル名: kmod-qlgc-qla2xxx-10.01.00.64.08.0_k1-1.rhel8u2.x86_64.compsig; kmod-qlgc-qla2xxx-10.01.00.64.08.0_k1-1.rhel8u2.x86_64.rpm

重要な注意！

リリースノート:

HPE QLogicアダプターリリースノート

注記:QLogicドライバーのベース名は、「qlgc」に変更されています。「hpqlgc」ドライバーからのアップデートがサポートされています。

以下を修正しました。

- 3PARアレイから起動するホストが、ドライバー10.01.00.57.xx.xxによる3PARアレイノードコントローラーの再起動中に予期せず再起動する可能性があります
- 次のタイトルのカスタマーアドバイザリで説明されている予期しない動作のアダプタードライバー処理と、その回復を改善しました。「HPE ProLiant、Synergy、およびSuperdome Flexホストバスアダプター (HBA) - 特定のファイバーチャネルHBAファームウェアが原因で、オペレーティングシステムが停止することがあり、ファイルシステムのデータ完全性が損なわれる可能性があります」

  https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_us

以下のサポートを追加しました:

- ql2xextended_error_loggingの特殊な値1をいつでも設定できます。
- ドライバーのパフォーマンスを向上させるためにポート統計情報の収集が改善されました

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

修正

以下を修正しました。

- 3PARアレイから起動するホストが、ドライバー10.01.00.57.xx.xxによる3PARアレイノードコントローラーの再起動中に予期せず再起動する可能性があります
- 次のタイトルのカスタマーアドバイザリで説明されている予期しない動作のアダプタードライバー処理と、その回復を改善しました。「HPE ProLiant、Synergy、およびSuperdome Flexホストバスアダプター (HBA) - 特定のファイバーチャネルHBAファームウェアが原因で、オペレーティングシステムが停止することがあり、ファイルシステムのデータ完全性が損なわれる可能性があります」

  https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_us

拡張

Red Hat Enterprise Linux Server 8アップデート2バージョン10.01.00.64.08.0-k1

以下のサポートを追加しました:

- ql2xextended_error_loggingの特殊な値1をいつでも設定できます。
- ドライバーのパフォーマンスを向上させるためにポート統計情報の収集が改善されました

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE 81Q 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1000Q 16GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000Q 16GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

SUSE Linux Enterprise Server 12 Service Pack 4 FCoEドライバーキット for HPE Emulex(BRCM) コンバージドネットワークアダプター(CNA)およびコンバージドネットワークアダプター(CNA)

バージョン: 12.0.1259.0 (c) **(推奨)**
ファイル名: brcmfcoe-kmp-default-12.0.1259.0_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.compsig; brcmfcoe-kmp-default-12.0.1259.0_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.rpm

重要な注意！

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へアクセスしてください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

- HPE Emulex XE-102 ベースのネットワークアダプター HPE FlexFabric 10Gb 2 ポート 556FLR-T Adapter with CNA (XE100 シリーズ) ファームウェア 12.0.1110.0、12.0.1110.10、または 12.0.1110.11 (またはそれ以降) を使用して構成された HPE ProLiant サーバーでは、ネットワークアダプターに「リンクダウン」状態が発生し、電源サイクルやリセットでは回復できない場合があります。

詳細については、次のリンク先の「特定のHPE Emulex XE-102ベースのネットワークアダプターが組み込まれているHPE ProLiantサーバーで、ファームウェアの問題のためリンクがダウンすることがある」と題されたドキュメントを参照してください。

https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00099050en_us

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよびコンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へアクセスしてください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前のドライバー(オリジナル)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、inboxドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

修正

以下を修正しました。

- HPE Emulex XE-102 ベースのネットワークアダプター HPE FlexFabric 10Gb 2 ポート 556FLR-T Adapter with CNA (XE100 シリーズ) ファームウェア 12.0.1110.0、12.0.1110.10、または 12.0.1110.11 (またはそれ以降) を使用して構成された HPE ProLiant サーバーでは、ネットワークアダプターに「リンクダウン」状態が発生し、電源サイクルやリセットでは回復できない場合があります。

詳細については、次のリンク先の「特定のHPE Emulex XE-102ベースのネットワークアダプターが組み込まれているHPE ProLiantサーバーで、ファームウェアの問題のためリンクがダウンすることがある」と題されたドキュメントを参照してください。
https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00099050en_us

拡張

ドライバーバージョン12.0.1259.0にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター
- HPE CN1200E-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター

SUSE Linux Enterprise Server 12 Service Pack 4ファイバーチャネルドライバーキットfor HPE Emulexホストバスアダプター

バージョン: 12.6.275.14 **(推奨)**
ファイル名: elx-lpfc-kmp-default-12.6.275.14_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.compsig; elx-lpfc-kmp-default-12.6.275.14_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.rpm

重要な注意！

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、ファイバーチャネル(LightPulse)ホストバスアダプターおよびコンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へアクセスしてください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

以下を修正しました。

- ホストがまだ実行中に、アレイで3PAR Persistent Checksumが無効になっている場合、入出力(I / O)が動作していないというメッセージが表示されることがあります。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよびコンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へアクセスしてください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

SuSE Linux Enterprise Server 12サービスパック3にEmulexファイバーチャネルドライバーをインストールする場合は、ユーザーが利用可能な最新のErrataカーネルをインストールする必要があります。そうしないと、ドライバーがインストールを完了せず、依存関係メッセージをスローします

修正

以下を修正しました。

- ホストがまだ実行中に、アレイで3PAR Persistent Checksumが無効になっている場合、入出力(I / O)が動作していないというメッセージが表示されることがあります。

拡張

ドライバーバージョン12.6.275.14にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FCアダプター:

- HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gb 1シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

SUSE Linux Enterprise Server 12 Service Pack 4ファイバーチャネルドライバーキットfor HPE Emulexメザニンホストバスアダプター

バージョン: 12.4.270.3 **(推奨)**

ファイル名: elx-lpfc-kmp-default-12.4.270.3_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.compsig; elx-lpfc-kmp-default-12.4.270.3_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.rpm

重要な注意！

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へアクセスしてください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

SuSE Linux Enterprise Server 12サービスパック3にEmulexファイバーチャネルドライバーをインストールする場合は、ユーザーが利用可能な最新のErrataカーネルをインストールする必要があります。そうしないと、ドライバーがインストールを完了せず、依存関係メッセージをスローします

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよびコンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へアクセスしてください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

SuSE Linux Enterprise Server 12サービスパック3にEmulexファイバーチャネルドライバーをインストールする場合は、ユーザーが利用可能な最新のErrataカーネルをインストールする必要があります。そうしないと、ドライバーがインストールを完了せず、依存関係メッセージをスローします

拡張

ドライバーバージョン12.4.270.3にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FCアダプター:

- HPE LPe1205A 8Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class

16Gb FCアダプター:

- HPE LPe1605 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class

SUSE Linux Enterprise Server 12 Service Pack 4ファイバーチャネルドライバーキットfor HPE QLogicホストバスアダプター

バージョン: 10.01.00.64.12.4-k1b **(推奨)**
ファイル名: qlgc-qla2xxx-kmp-default-10.01.00.64.12.4_k1b_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.compsig; qlgc-qla2xxx-kmp-default-10.01.00.64.12.4_k1b_k4.12.14_94.41-1.sles12sp4.x86_64.rpm

重要な注意！

リリースノート:

HPE QLogicアダプターリリースノート

注記:QLogicドライバーのベース名は、「qlgc」に変更されています。「hpqlgc」ドライバーからのアップデートがサポートされています。

以下を修正しました。

- 3PARアレイから起動するホストが、ドライバー10.01.00.57.xx.xxによる3PARアレイノードコントローラーの再起動中に予期せず再起動する可能性があります
- 次のタイトルのカスタマーアドバイザリで説明されている予期しない動作のアダプタードライバー処理と、その回復を改善しました。「HPE ProLiant、Synergy、およびSuperdome Flexホストバスアダプター (HBA) - 特定のファイバーチャネルHBAファームウェアが原因で、オペレーティングシステムが停止することがあり、ファイルシステムのデータ完全性が損なわれる可能性があります」

  https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_us

以下のサポートを追加しました:

- ql2xextended_error_loggingの特殊な値1をいつでも設定できます。
- ドライバーのパフォーマンスを向上させるためにポート統計情報の収集が改善されました

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

修正

以下を修正しました。

- 3PARアレイから起動するホストが、ドライバー10.01.00.57.xx.xxによる3PARアレイノードコントローラーの再起動中に予期せず再起動する可能性があります
- 次のタイトルのカスタマーアドバイザリで説明されている予期しない動作のアダプタードライバー処理と、その回復を改善しました。「HPE ProLiant、Synergy、およびSuperdome Flexホストバスアダプター (HBA) - 特定のファイバーチャネルHBAファームウェアが原因で、オペレーティングシステムが停止することがあり、ファイルシステムのデータ完全性が損なわれる可能性があります」

  https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_us

拡張

SuSE Linux Enterprise Server 12 Service Pack 4バージョン10.01.00.64.12.4-k1bの初期ドライバー

以下のサポートを追加しました:

- ql2xextended_error_loggingの特殊な値1をいつでも設定できます。
- ドライバーのパフォーマンスを向上させるためにポート統計情報の収集が改善されました

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE 81Q 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1000Q 16GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000Q 16GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

SUSE Linux Enterprise Server 12 Service Pack 5ファイバーチャネルドライバーキットfor HPE Emulexホストバスアダプター

バージョン: 12.6.275.14 **(推奨)**
ファイル名: elx-lpfc-kmp-default-12.6.275.14_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.compsig; elx-lpfc-kmp-default-12.6.275.14_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm

重要な注意！

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、ファイバーチャネル(LightPulse)ホストバスアダプターおよびコンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へアクセスしてください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

以下を修正しました。

- ホストがまだ実行中に、アレイで3PAR Persistent Checksumが無効になっている場合、入出力(I / O)が動作していないというメッセージが表示されることがあります。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよびコンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へアクセスしてください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前のドライバー(オリジナル)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、inboxドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

修正

以下を修正しました。

- ホストがまだ実行中に、アレイで3PAR Persistent Checksumが無効になっている場合、入出力(I / O)が動作していないというメッセージが表示されることがあります。

拡張

ドライバーバージョン12.6.275.14にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FCアダプター:

- HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gb 1シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

SUSE Linux Enterprise Server 12 Service Pack 5ファイバーチャネルドライバーキットfor HPE QLogicホストバスアダプター

バージョン: 10.01.00.64.12.5-k1 **(推奨)**
ファイル名: qlgc-qla2xxx-kmp-default-10.01.00.64.12.5_k1_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.compsig; qlgc-qla2xxx-kmp-default-10.01.00.64.12.5_k1_k4.12.14_120-1.sles12sp5.x86_64.rpm

重要な注意！

リリースノート:

HPE QLogicアダプターリリースノート

注記:QLogicドライバーのベース名は、「qlgc」に変更されています。「hpqlgc」ドライバーからのアップデートがサポートされています。

以下を修正しました。

- 3PARアレイから起動するホストが、ドライバー10.01.00.57.xx.xxによる3PARアレイノードコントローラーの再起動中に予期せず再起動する可能性があります
- 次のタイトルのカスタマーアドバイザリで説明されている予期しない動作のアダプタードライバー処理と、その回復を改善しました。「HPE ProLiant、Synergy、およびSuperdome Flexホストバスアダプター (HBA) - 特定のファイバーチャネルHBAファームウェアが原因で、オペレーティングシステムが停止することがあり、ファイルシステムのデータ完全性が損なわれる可能性があります」

  https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_us

以下のサポートを追加しました:

- ql2xextended_error_loggingの特殊な値1をいつでも設定できます。
- ドライバーのパフォーマンスを向上させるためにポート統計情報の収集が改善されました

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

修正

以下を修正しました。

- 3PARアレイから起動するホストが、ドライバー10.01.00.57.xx.xxによる3PARアレイノードコントローラーの再起動中に予期せず再起動する可能性があります
- 次のタイトルのカスタマーアドバイザリで説明されている予期しない動作のアダプタードライバー処理と、その回復を改善しました。「HPE ProLiant、Synergy、およびSuperdome Flexホストバスアダプター (HBA) - 特定のファイバーチャネルHBAファームウェアが原因で、オペレーティングシステムが停止することがあり、ファイルシステムのデータ完全性が損なわれる可能性があります」

  https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_us

拡張

SuSE Linux Enterprise Server 12 Service Pack 5バージョン10.01.00.64.12.5-k1の初期ドライバー

以下のサポートを追加しました:

- ql2xextended_error_loggingの特殊な値1をいつでも設定できます。
- ドライバーのパフォーマンスを向上させるためにポート統計情報の収集が改善されました

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE 81Q 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1000Q 16GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000Q 16GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

SUSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 1 FCoEドライバーキット for HPE Emulex(BRCM) コンバージドネットワークアダプター(CNA)およびメザニンコンバージドネットワークアダプター(CNA)

バージョン: 12.0.1259.0 (c) **(推奨)**
ファイル名: brcmfcoe-kmp-default-12.0.1259.0_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.compsig; brcmfcoe-kmp-default-12.0.1259.0_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.rpm

重要な注意！

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へアクセスしてください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

- HPE Emulex XE-102 ベースのネットワークアダプター HPE FlexFabric 10Gb 2 ポート 556FLR-T Adapter with CNA (XE100 シリーズ) ファームウェア 12.0.1110.0、12.0.1110.10、または 12.0.1110.11 (またはそれ以降) を使用して構成された HPE ProLiant サーバーでは、ネットワークアダプターに「リンクダウン」状態が発生し、電源サイクルやリセットでは回復できない場合があります。

詳細については、次のリンク先の「特定のHPE Emulex XE-102ベースのネットワークアダプターが組み込まれているHPE ProLiantサーバーで、ファームウェアの問題のためリンクがダウンすることがある」と題されたドキュメントを参照してください。

https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00099050en_us

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよびコンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へアクセスしてください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前のドライバー(オリジナル)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、inboxドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

修正

以下を修正しました。

- HPE Emulex XE-102 ベースのネットワークアダプター HPE FlexFabric 10Gb 2 ポート 556FLR-T Adapter with CNA (XE100 シリーズ) ファームウェア 12.0.1110.0、12.0.1110.10、または 12.0.1110.11 (またはそれ以降) を使用して構成された HPE ProLiant サーバーでは、ネットワークアダプターに「リンクダウン」状態が発生し、電源サイクルやリセットでは回復できない場合があります。
  詳細については、次のリンク先の「特定のHPE Emulex XE-102ベースのネットワークアダプターが組み込まれているHPE ProLiantサーバーで、ファームウェアの問題のためリンクがダウンすることがある」と題されたドキュメントを参照してください。
  https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00099050en_us

拡張

ドライバーバージョン12.0.1259.0にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター
- HPE CN1200E-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター

SUSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 1ファイバーチャネルドライバーキットfor HPE Emulexホストバスアダプター

バージョン: 12.6.275.14 **(推奨)**
ファイル名: elx-lpfc-kmp-default-12.6.275.14_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.compsig; elx-lpfc-kmp-default-12.6.275.14_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.rpm

重要な注意！

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、ファイバーチャネル(LightPulse)ホストバスアダプターおよびコンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へアクセスしてください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

以下を修正しました。

- ホストがまだ実行中に、アレイで3PAR Persistent Checksumが無効になっている場合、入出力(I / O)が動作していないというメッセージが表示されることがあります。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよびコンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へアクセスしてください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

修正

以下を修正しました。

- ホストがまだ実行中に、アレイで3PAR Persistent Checksumが無効になっている場合、入出力(I / O)が動作していないというメッセージが表示されることがあります。

拡張

ドライバーバージョン12.6.275.14にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FCアダプター:

- HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gb 1シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

SUSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 1ファイバーチャネルドライバーキットfor HPE Emulexメザニンホストバスアダプター

バージョン: 12.4.270.3 **(推奨)**
ファイル名: elx-lpfc-kmp-default-12.4.270.3_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.compsig; elx-lpfc-kmp-default-12.4.270.3_k4.12.14_195-1.sles15sp1.x86_64.rpm

重要な注意！

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へアクセスしてください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよびコンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へアクセスしてください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

拡張

ドライバーバージョン12.4.270.3にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FCアダプター:

- HPE LPe1205A 8GbファイバーチャネルホストバスアダプターfoBladeSystem c-Class

16Gb FCアダプター:

- HPE LPe1605 16GbファイバーチャネルホストバスアダプターfoBladeSystem c-Class

SUSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 2ファイバーチャネルドライバーキットfor HPE Emulexホストバスアダプター

バージョン: 12.6.275.20 **(推奨)**
ファイル名: elx-lpfc-kmp-default-12.6.275.20_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.compsig; elx-lpfc-kmp-default-12.6.275.20_k5.3.18_22-1.sles15sp2.x86_64.rpm

重要な注意!

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、ファイバーチャネル(LightPulse)ホストバスアダプターおよびコンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へアクセスしてください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

以下を修正しました。

- ホストがまだ実行中に、アレイで3PAR Persistent Checksumが無効になっている場合、入出力(I / O)が動作していないというメッセージが表示されることがあります。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよびコンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へアクセスしてください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前のドライバー(オリジナル)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、inboxドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

修正

以下を修正しました。

- ホストがまだ実行中に、アレイで3PAR Persistent Checksumが無効になっている場合、入出力(I / O)が動作していないというメッセージが表示されることがあります。

拡張

ドライバーバージョン12.6.275.20にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FCアダプター:

- HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gb 1シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

ドライバー - システム

先頭

HPE 不揮発性メモリドライバーfor Microsoft Windows Server 2012 R2および2016

バージョン: 3.0.1.2 **(推奨)**
ファイル名: cp038534.compsig; cp038534.exe

重要な注意！

このSmartコンポーネントバージョン3.0.1.2には、HPE NVMバスドライバーHpeNvmBus.sysバージョン3.0.1.2およびHPE NVMディスクドライバーHpeNvmDisk0101バージョン3.0.1.0が含まれています。

拡張

これらのNVDIMMドライバーはMicrosoft Windows Server 2012 R2および2016を実行する限定されたHPEサーバー上での不揮発性メモリに関するサポートを可能にします。

- WS2012R2およびWS2016で、HPE Persistent Memoryデバイス(Intel Optane DC Persistent Memoryを搭載)のサポートを追加しました。
- HPE 16GB NVDIMMデバイスWS2012R2上のサポートを追加しました。
- ブロックセクターサイズを512バイトから4096バイトに変更しました。古いデータを保存する必要がある場合には、アクセスできないようにしてバックアップしなければなりません。

HPEサーバー上のPersistent Memoryに関する詳しい情報については、下記のリンクを参照願います。

- https://www.hpe.com/us/en/servers/persistent-memory.html(英語)
- https://persistentmemory.hpe.com/windows/nvdimm (英語)

ドライバー - システムマネジメント

先頭

ESXi 7.0用のHPE CRUネイティブドライバー

バージョン: 7.0.10 **(推奨)**
ファイル名: cru_driver_700.10.16_1OEM.700.0.0.14828939_signed_component_15675715.zip

拡張

VMware ESXi 7.0のサポート

---

iLO 5 チャネルインターフェースドライバー for Windows Server 2012 R2

バージョン: 4.6.0.0 **(オプション)**
ファイル名: cp040013.compsig; cp040013.exe

拡張

iLO 5バージョン2.xファームウェアのサポートを追加します。

iLO 5チャネルインターフェイスドライバーfor Windows Server 2016およびWindows Server 2019

バージョン: 4.6.0.0 (C) **(オプション)**
ファイル名: cp041932.compsig; cp041932.exe

拡張

Windows Server 2012 R2用iLO 5自動サーバー復旧ドライバー

バージョン: 4.7.0.0 **(オプション)**
ファイル名: cp041378.compsig; cp041378.exe

重要な注意！

iLO 5 Channel Interface Driver(バージョン4.1.0.0以前)をインストールすると、このドライバーが上書きされます。上書きを避けるには、バージョン4.1.0.0(B)以降のiLO 5 Channel Interface Driverを使用してください。

修正

ドライバーバージョン4.4.0.0および4.6.0.0の問題を修正しました。オペレーティングシステムがハングして再起動した後、別のオペレーティングシステムがハングすると、予期されるWindowsバグチェックとメモリダンプの代わりにASRリセットが不適切に発生することがありました。

Windows Server 2016およびServer 2019用iLO 5自動サーバー復旧ドライバー

バージョン: 4.7.0.0 **(オプション)**
ファイル名: cp041379.compsig; cp041379.exe

重要な注意！

iLO 5 Channel Interface Driver(バージョン4.1.0.0以前)をインストールすると、このドライバーが上書きされます。上書きを避けるには、バージョン4.1.0.0(B)以降のiLO 5 Channel Interface Driverを使用してください。

修正

ドライバーバージョン4.4.0.0および4.6.0.0の問題を修正しました。オペレーティングシステムがハングして再起動した後、別のオペレーティングシステムがハングすると、予期されるWindowsバグチェックとメモリダンプの代わりにASRリセットが不適切に発生することがありました。

ドライバー - ビデオ

先頭

Windows Server 2012 R2用Matrox G200eH3ビデオコントローラードライバー

バージョン: 9.15.1.224 (B) **(オプション)**
ファイル名: cp040214.compsig; cp040214.exe

拡張

iLO 5バージョン2.xファームウェアのサポートを追加します。

Windows Server 2016および2019用Matrox G200eH3ビデオコントローラードライバー

バージョン: 9.15.1.224 (B) **(オプション)**
ファイル名: cp040215.compsig; cp040215.exe

拡張

- iLO 5バージョン2.xファームウェアのサポートを追加します。
- HPE ProLiant Gen10 Plusサーバーのサポートを追加します。

ファームウェア - ブレードインフラストラクチャ 先頭

HPE BladeSystem c-Class Virtual Connectファームウェア、Ethernet plus 8 Gb 20ポートおよび8/16 Gb 24ポートFC Editionコンポーネント for Linux

バージョン: 4.85 **(推奨)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-vceth-4.85-1.1.x86_64.rpm

事前要件

『HPE Virtual Connectリリースノート』のバージョン4.85には、前提条件が含まれていて、次のURLにあります:http://www.hpe.com/info/vc/manuals

修正

バージョン4.85で解決した問題のリストは、http://www.hpe.com/info/vc/manualsにあるHPE Virtual Connectリリースノートに記載されています。

拡張

バージョン4.85での機能強化のリストは、http://www.hpe.com/info/vc/manualsにあるHPE Virtual Connectリリースノートに記載されています。

サポートしているデバイスおよび機能

HPE Virtual Connect FlexFabric 10Gb/24ポートモジュール for c-Class BladeSystem

HPE Virtual Connect 8Gb 24ポート ファイバーチャネルモジュール for c-Class BladeSystem

HPE バーチャルコネクト 8Gb 20ポート ファイバーチャネルモジュール for c-Class BladeSystem

HPE バーチャルコネクト Flex-10/10Dモジュール for c-Class BladeSystem

HPE Virtual Connect FlexFabric-20/40 F8モジュールfor HPE BladeSystem c-Class

HPE バーチャルコネクト 16Gb 24ポート ファイバーチャネルモジュール for c-Class BladeSystem

---

HPE BladeSystem c-Class Virtual Connectファームウェア、Ethernet plus 8Gb 20ポートおよび8/16 Gb 24ポートFC Editionコンポーネントfor Windows

バージョン: 4.85 **(推奨)**
ファイル名: cp043332.exe

事前要件

HPE Virtual Connectリリースノートのバージョン4.85には、前提条件が含まれていて、次のURLにあります:http://www.hpe.com/info/vc/manuals

修正

バージョン4.85で解決した問題のリストは、http://www.hpe.com/info/vc/manualsにあるHPE Virtual Connectリリースノートに記載されています。

拡張

バージョン4.85での機能強化のリストは、http://www.hpe.com/info/vc/manualsにあるHPE Virtual Connectリリースノートに記載されています。

サポートしているデバイスおよび機能

HPE Virtual Connect FlexFabric 10Gb/24ポートモジュール for c-Class BladeSystem

HPE Virtual Connect 8Gb 24ポート ファイバーチャネルモジュール for c-Class BladeSystem

HPE バーチャルコネクト 8Gb 20ポート ファイバーチャネルモジュール for c-Class BladeSystem

HPE バーチャルコネクト Flex-10/10Dモジュール for c-Class BladeSystem

HPE Virtual Connect FlexFabric-20/40 F8モジュールfor HPE BladeSystem c-Class

HPE バーチャルコネクト 16Gb 24ポート ファイバーチャネルモジュール for c-Class BladeSystem

---

オンラインHP 6Gb SAS BLスイッチファームウェア Smart Component for Linux (x86/x64)

バージョン: 4.3.6.0 (B) **(オプション)**
ファイル名: RPMS/i586/firmware-solex6gb-solex-4.3.6.0-2.1.i586.rpm

重要な注意!

注記:システムが以前にバージョン4.3.6.0にアップデートされている場合、4.3.6.0(B)にアップデートする必要はありません。

拡張

- SUSE LINUX Enterprise Server 15 OSのサポートを追加しました。

オンラインHPE 6 Gb SAS BLスイッチファームウェアSmart Component for Windows (x86/x64)

バージョン: 4.3.6.0 (C) **(オプション)**
ファイル名: cp038273.exe

拡張

- Smart Update Managerとの統合を強化しました

オンラインHPE BladeSystem c-Class Onboard Administratorファームウェアコンポーネント for Linux

バージョン: 4.96 **(推奨)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-oa-4.96-1.1.x86_64.rpm

重要な注意！

重要な注意

- **ファームウェアアップグレード**
  - OA 4.50リリースから、ファームウェアイメージの信憑性を高めるために標準化されたコード署名および検証メカニズムを導入しました。
  - OAをアップグレードするためにファームウェアROMイメージを使用するお客様:
    - ファームウェアバージョン3.50未満のOAの場合、まずOA 3.50へアップデートし、それからOA 4.50以降へアップデートをしてください。
    - OAをアップグレードするためにSmartコンポーネントを使用するお客様:
      - HP Smartコンポーネント(例:EFM)に依存するOAファームウェアアップデートメカニズムは、この変更によって影響を受けることはありません。 Smartコンポーネントは、OA

4.50以降へのアップグレードを実行する前に、自動的にOA 3.50に中間アップグレードを実行します。

- **EFM**
  - エンクロージャーDVD機能または接続されたUSBキーを通して直接ホストされるか、指定されたURLを介してリモートでマウントされるかに関係なく、OAはサイズが4GB未満のSPP ISOイメージのみをサポートします。 ISOイメージが4GBを超える場合、CLI SHOW FIRMWARE MANAGEMENTコマンドは「無効なURL」とISO URLステータスを表示します。
    - SPP ISOイメージが4GBを超える場合、OA EFMブレードファームウェアアップデートプロセスに不必要なコンポーネントを除外した、カスタムISOイメージを作成する必要があります。 最低でも、カスタムISOは、HP ProLiant BLサーバー用のファームウェアコンポーネントを含む必要があります。 (カスタムISOイメージを作成するためにHP SUMを使う場合、コンポーネントタイプにファームウェアを選択し、サーバータイプにHP ProLiant BLシリーズを選択します。) OA EFM機能に互換性があるカスタムISOイメージの作成に関する情報は、*HP BladeSystem Onboard Administrator*ユーザーガイドを参照してください。 さらに詳しいHP SUMの情報については、HP Smart Update Managerオンラインヘルプ、または、http://www.hp.com/go/hpsum/documentationで見つけることができます。
- **FIPS**
  - OA 3.71は、http://csrc.nist.gov/groups/STM/cmvp/documents/140-1/140InProcess.pdf(英語)にある140-2 In Process Listで参照されるようにFIPSのアクティブ評価中です。
- **IPv6**
  - DHCPv6の有効化またはSLAACエンクロージャーIPv6設定の有効化がOnboard Administrator上で無効にされている場合、それらそれぞれの構成に基づいて、これらのアドレスが自動的に期限切れになるまで、エンクロージャー内のiLOのそれぞれのDHCPv6またはSLAACアドレスは保持されます。 iLOのマニュアルリセットはすぐにこれらのアドレスを解放します。

事前要件

Onboard Administrator Smartコンポーネントは、32ビット実行可能バイナリを含みます。 その結果、OA Smartコンポーネントがインストールされ、実行されるクライアントオペレーティングシステムは、32ビット実行可能ファイルのネイティブサポートを持つか、インストールされた32ビット互換ライブラリを持つ必要があります。

修正

全般

- オートネゴシエーションモードでポート速度が100Mから1000Mに変更されたときにOnboard Administratorにアクセスできない問題に対処しました。この問題は、カスタマーアドバイザリーで説明されています：https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?sp4ts.oid=1844065&docLocale=en_US&docId=emr_na-c04866545
- Onboard Administratorが再起動した後にDHCPv6サービスが開始されず、15分後に再起動するという問題に対処しました。
- 適切なエラーメッセージが表示されるOnboard Administratorのコマンドラインインターフェイス(CLI)でSSLプロトコルが有効または無効になる問題に対処しました。入力されたパスワードが8文字未満の場合、BL460c Gen10ブレードの周囲温度は表示されません。
- 以下に関連するOnboard Administrator GUIページの対処済みの問題
  1. 電力管理
  2. BL460c Gen10ブレードの正面図
  3. リンクされたエンクロージャーへのログイン機能とTwo-factor認証
- ダイナミックDNS設定およびLDAPグループアクセスの変更に対してsyslogメッセージが追加されない問題に対処しました。
- Onboard Administratorのシステム記述OIDに対するSNMP GETが誤った値を表示する問題に対処しました。
- OAの再起動後にBlade Switch 6125Gのファームウェアバージョンが表示されない問題に対処しました。
- Onboard Administratorが管理インターフェイスからの内部プライベートIP ping要求に応答する問題に対処しました。
- VCMに管理されたエンクロージャーでエンクロージャーの電源を入れ直すと、ブレードの電源供給が遅れるという問題に対処しました。

- エンクロージャーの電源を入れ直しても電源装置のOKトラップが送信されないというSNMPの問題に対処しました。
- 同じ証明書を複数のユーザーに使用できず、証明書で使用されている場合はIPv6アドレスの構文をチェックできないというOnboard Administratorでのユーザー証明書の使用に関する問題に対処しました。
- Onboard Administratorのオンラインヘルプの以前のバージョンに存在していた問題に対処しました。
- ユーザーが無効なパスワードを入力したときにOnboard Administrator CLIがパスワード要件に関する情報を表示するFIPS ONモードの問題に対処しました。
- Command Line Interface (CLI)でのGen10ブレードの周囲温度表示に関する問題を修正しました。
- FIPS ONモードで、DEBUGをONに設定できないGUIの初回セットアップウィザードページの問題を修正しました。
- デバイスとインターコネクトのベイへのアクセスがLDAPグループに対して更新されたときにメッセージがsyslogに記録されない問題に対処しました。
- OA GUIおよびCLIでのブレード部品番号の表示に関する問題を修正しました。

セキュリティ

以下のセキュリティの脆弱性が修正されました:

- CVE-2018-0732- TLSハンドシェイクでのキー合意中に、悪意のあるサーバーがDH(E)ベースの暗号スイートからクライアントに大きな素数値を送信する可能性があり、その結果、クライアントが素数で鍵を生成するのに長い時間がかかり、サービス拒否攻撃に悪用されるという問題に対処しました。
- CVE-2018-0737 - OpenSSL RSA鍵生成アルゴリズムの脆弱性の問題をキャッシュタイミングサイドチャネル攻撃に対処しました。

問題点および解決策

ブラウザー

- OA GUIはChromeのバージョン43.0.2357.10から44.0.2383ではアクセスできません。この問題は、Chrome(またはWebKit)の"回帰"によって発生しています。FirefoxやInternet Explorerなどの代わりのブラウザーを使用するか、別のバージョンのChromeを試す必要があります。
- iLOホスト名を使用したOAからのSSO-to-iLO接続は、Windows 8のMicrosoft Internet Explorer 11で失敗します。Internet Explorer 10またはInternet Explorer 11を備えたWindows 8システムでは、OA Web GUIセッションがIPアドレスの代わりにホスト名を使用してロードされている場合、OA Web GUIからSSOを使用してiLOウィンドウを開こうとすると、目的の新しいウィンドウではなくOA Web GUIウィンドウにiLOページが読み込まれる可能性があります。この問題はInternet Explorerのバグであると判断され、Internet Explorerの将来のリリースまたはアップデートで修正される予定です。この問題を回避するには、IPアドレスを使用してOA Web GUIをロードするか、Internet Explorerの設定で適切なゾーンの保護モードをオフにします。この問題はInternet Explorerブラウザーのみで発生します。

FIPS

2048ビット未満のサイズの証明書は、OA 4.20以降のOAファームウェアによって強制されるFIPS要件に準拠していません。OAファームウェアバージョン4.40以降を実行しているOAがFIPSモードON/DEBUGで動作し、以前のバージョンのOAファームウェアを実行しているときにインストールされた1024ビットのLDAP証明書で構成されている場合、非準拠の証明書が存在するためにFIPSモードON/DEBUGは劣化状態で動作しているとみなされます。このFIPS-劣化モードで動作している間に、OA GUIのネットワークアクセス>FIPSタブからFIPSモードをオフに設定しようとすると失敗し、選択したFIPSモードが既に有効になっているというエラーメッセージが表示されます。非準拠の証明書が削除されると、FIPS-劣化モードの動作ステータスはクリアされ、FIPSモードはGUIインターフェイスから正常にOFFに設定できます。OA CLIコマンドSET FIPS MODE OFFを使用すると、OAにインストールされている非準拠の1024ビットLDAP証明書を使用しても、FIPSモードをオフに設定できます。

IRC

Gen10 Blade用の.net IRCコンソールを開くことができない、Gen9 Bladeも同じ問題があります。JavaアプレットとWebstartはロードされますが、仮想メディアのマウントは失敗します。回避策として、ターミナルクライアントにインストールされているIRCアプリケーション(HPE Lights-Outスタンドアロンリモートコンソール)を使用してIRCを起動することです。

EFM

Gen 10 BladeでEFMを使用するには、HPSUM 8.0.0でカスタムSPP ISOを作成する際にオプション/フィルター"*Make Bootable ISO file*"と"*Enclosure Firmware Management*"を選択してください。詳しくは、HPE SUM 8.0.0ユーザーガイドを参照してください。

CAC

- CACモードのSSHでは、TelnetおよびXML応答プロトコルは無効になります。
- リンクされたエンクロージャーがCACモードになっている場合、リンクされたエンクロージャーのログインは動作しません。
- サービスアカウントの詳細を正確に指定しないと、証明書を使用したLDAPユーザーのログインは失敗します。
- CACの使用を開始する前にリカバリプランを立てることを強くお勧めします。 OA設定で問題が起こった場合、OAをシリアルポートまたはInsight DisplayパネルおよびUSB KEYからリカバリできる場合があります。いずれの方法もOAへの物理アクセスが必要です。 ただし、LCD PINが設定されている(または忘れた)場合、およびローカルアカウントが無効になっているかCACが正しく設定されていない場合、リカバリする唯一の方法はシリアルポート経由です。OAの復旧が必要な最も一般的な状況を2つ挙げると、LDAPが無効なローカルアカウントで誤って設定されている場合と、CACが証明書にアクセスしないよう設定されている場合です。

設定可能なSSHポート番号

スタンバイOAが4.85未満のファームウェアバージョンを実行していて、アクティブOAのファームウェア同期機能を使用してファームウェアバージョンが4.85以上に更新した場合、ファームウェアのアップデートおよびスタンバイOAの再起動後、SSHポートは構成されたポート番号で開きません。回避策は、スタンバイOAを再起動することです。SSHポートは、次回起動時に設定されたポートで開きます。SSH ポートがアクティブOAのデフォルトポート22で構成されている場合は、この問題が発生しません。

拡張

Onboard Administrator 4.96は、以下の機能強化に対するサポートを提供します:

ハードウェアの追加

- なし

特徴**: 追加と変更**

全般

- AlertMail機能は、ユーザーがAlertMailメッセージに対して選択できる2つの優先順位をサポートするようになりました。
- Enclosure Firmware Management(EFM)機能は、EFMアップデート操作を高速化するために最適化されています。
- Onboard AdministratorのSSL証明書は、**共通名(CN)フィールドとIPアドレスSANフィールド**内の完全修飾ドメイン名(FQDN)をサポートするようになりました。
- SSLセッションの構成可能なタイムアウトをサポートするために、Common Access Card(CAC)認証機能が強化されています。

セキュリティ

- Onboard Administratorは2つの新しいTLS_DHE_RSA暗号をサポートします
- FIPS TOP-SECRETモードの暗号がFIPSでサポートされるようになりました**ON**そして**OFF**モード。
- CLIコマンドSHOW SSH CIPHER、ENABLE SSH CIPHER、およびDISABLE SSH CIPHERが、FIPS ONおよびOFFモードでのSSH暗号の表示、有効化、および無効化に追加されました。

オンラインHPE BladeSystem c-Class Onboard Administratorファームウェアコンポーネント for Windows

バージョン: 4.96 **(推奨)**
ファイル名: cp042537.exe

重要な注意！

重要な注意

- **ファームウェアアップグレード**
  - OA 4.50リリースから、ファームウェアイメージの信憑性を高めるために標準化されたコード署名および検証メカニズムを導入しました。

- OAをアップグレードするためにファームウェアROMイメージを使用するお客様:
  - ファームウェアバージョン3.50未満のOAの場合、まずOA 3.50へアップデートし、それからOA 4.50以降へアップデートをしてください。
  - OAをアップグレードするためにSmartコンポーネントを使用するお客様:
    - HP Smartコンポーネント(例:EFM)に依存するOAファームウェアアップデートメカニズムは、この変更によって影響を受けることはありません。 Smartコンポーネントは、OA 4.50以降へのアップグレードを実行する前に、自動的にOA 3.50に中間アップグレードを実行します。

- **EFM**
  - エンクロージャーDVD機能または接続されたUSBキーを通して直接ホストされるか、指定されたURLを介してリモートでマウントされるかに関係なく、OAはサイズが4GB未満のSPP ISOイメージのみをサポートします。 ISOイメージが4GBを超える場合、CLI SHOW FIRMWARE MANAGEMENTコマンドは「無効なURL」とISO URLステータスを表示します。
    - SPP ISOイメージが4GBを超える場合、OA EFMブレードファームウェアアップデートプロセスに不必要なコンポーネントを除外した、カスタムISOイメージを作成する必要があります。 最低でも、カスタムISOは、HP ProLiant BLサーバー用のファームウェアコンポーネントを含む必要があります。 (カスタムISOイメージを作成するためにHP SUMを使う場合、コンポーネントタイプにファームウェアを選択し、サーバータイプにHP ProLiant BLシリーズを選択します。) OA EFM機能に互換性があるカスタムISOイメージの作成に関する情報は、*HP BladeSystem Onboard Administrator*ユーザーガイドを参照してください。 さらに詳しいHP SUMの情報については、HP Smart Update Managerオンラインヘルプ、または、http://www.hp.com/go/hpsum/documentationで見つけることができます。
- **FIPS**
  - OA 3.71は、http://csrc.nist.gov/groups/STM/cmvp/documents/140-1/140InProcess.pdf(英語)にある140-2 In Process Listで参照されるようにFIPSのアクティブ評価中です。
- **IPv6**
  - DHCPv6の有効化またはSLAACエンクロージャーIPv6設定の有効化がOnboard Administrator上で無効にされている場合、それらそれぞれの構成に基づいて、これらのアドレスが自動的に期限切れになるまで、エンクロージャー内のiLOのそれぞれのDHCPv6またはSLAACアドレスは保持されます。 iLOのマニュアルリセットはすぐにこれらのアドレスを解放します。

事前要件

Onboard Administrator Smartコンポーネントは、32ビット実行可能バイナリを含みます。 その結果、OA Smartコンポーネントがインストールされ、実行されるクライアントオペレーティングシステムは、32ビット実行可能ファイルのネイティブサポートを持つか、インストールされた32ビット互換ライブラリを持つ必要があります。

修正

全般

- オートネゴシエーションモードでポート速度が100Mから1000Mに変更されたときにOnboard Administratorにアクセスできない問題に対処しました。この問題は、カスタマーアドバイザリーで説明されています：https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?sp4ts.oid=1844065&docLocale=en_US&docId=emr_na-c04866545
- Onboard Administratorが再起動した後にDHCPv6サービスが開始されず、15分後に再起動するという問題に対処しました。
- 適切なエラーメッセージが表示されるOnboard Administratorのコマンドラインインターフェイス(CLI)でSSLプロトコルが有効または無効になる問題に対処しました。入力されたパスワードが8文字未満の場合、BL460c Gen10ブレードの周囲温度は表示されません。
- 以下に関連するOnboard Administrator GUIページの対処済みの問題
  1. 電力管理
  2. BL460c Gen10ブレードの正面図
  3. リンクされたエンクロージャーへのログイン機能とTwo-factor認証
- ダイナミックDNS設定およびLDAPグループアクセスの変更に対してsyslogメッセージが追加されない問題に対処しました。
- Onboard Administratorのシステム記述OIDに対するSNMP GETが誤った値を表示する問題に対処しました。

- OAの再起動後にBlade Switch 6125Gのファームウェアバージョンが表示されない問題に対処しました。
- Onboard Administratorが管理インターフェイスからの内部プライベートIP ping要求に応答する問題に対処しました。
- VCMに管理されたエンクロージャーでエンクロージャーの電源を入れ直すと、ブレードの電源供給が遅れるという問題に対処しました。
- エンクロージャーの電源を入れ直しても電源装置のOKトラップが送信されないというSNMPの問題に対処しました。
- 同じ証明書を複数のユーザーに使用できず、証明書で使用されている場合はIPv6アドレスの構文をチェックできないというOnboard Administratorでのユーザー証明書の使用に関する問題に対処しました。
- Onboard Administratorのオンラインヘルプの以前のバージョンに存在していた問題に対処しました。
- ユーザーが無効なパスワードを入力したときにOnboard Administrator CLIがパスワード要件に関する情報を表示するFIPS ONモードの問題に対処しました。
- Command Line Interface (CLI)でのGen10ブレードの周囲温度表示に関する問題を修正しました。
- FIPS ONモードで、DEBUGをONに設定できないGUIの初回セットアップウィザードページの問題を修正しました。
- デバイスとインターコネクトのベイへのアクセスがLDAPグループに対して更新されたときにメッセージがsyslogに記録されない問題に対処しました。
- OA GUIおよびCLIでのブレード部品番号の表示に関する問題を修正しました。

セキュリティ

以下のセキュリティの脆弱性が修正されました:

- CVE-2018-0732- TLSハンドシェイクでのキー合意中に、悪意のあるサーバーがDH(E)ベースの暗号スイートからクライアントに大きな素数値を送信する可能性があり、その結果、クライアントが素数で鍵を生成するのに長い時間がかかり、サービス拒否攻撃に悪用されるという問題に対処しました。
- CVE-2018-0737 - OpenSSL RSA鍵生成アルゴリズムの脆弱性の問題をキャッシュタイミングサイドチャネル攻撃に対処しました。

問題点および解決策

ブラウザー

- OA GUIはChromeのバージョン43.0.2357.10から44.0.2383ではアクセスできません。この問題は、Chrome(またはWebKit)の"回帰"によって発生しています。FirefoxやInternet Explorerなどの代わりのブラウザーを使用するか、別のバージョンのChromeを試す必要があります。
- iLOホスト名を使用したOAからのSSO-to-iLO接続は、Windows 8のMicrosoft Internet Explorer 11で失敗します。Internet Explorer 10またはInternet Explorer 11を備えたWindows 8システムでは、OA Web GUIセッションがIPアドレスの代わりにホスト名を使用してロードされている場合、OA Web GUIからSSOを使用してiLOウィンドウを開こうとすると、目的の新しいウィンドウではなくOA Web GUIウィンドウにiLOページが読み込まれる可能性があります。この問題はInternet Explorerのバグであると判断され、Internet Explorerの将来のリリースまたはアップデートで修正される予定です。この問題を回避するには、IPアドレスを使用してOA Web GUIをロードするか、Internet Explorerの設定で適切なゾーンの保護モードをオフにします。この問題はInternet Explorerブラウザーのみで発生します。

FIPS

2048ビット未満のサイズの証明書は、OA 4.20以降のOAファームウェアによって強制されるFIPS要件に準拠していません。OAファームウェアバージョン4.40以降を実行しているOAがFIPSモードON/DEBUGで動作し、以前のバージョンのOAファームウェアを実行しているときにインストールされた1024ビットのLDAP証明書で構成されている場合、非準拠の証明書が存在するためにFIPSモードON/DEBUGは劣化状態で動作しているとみなされます。このFIPS-劣化モードで動作している間に、OA GUIのネットワークアクセス>FIPSタブからFIPSモードをオフに設定しようとすると失敗し、選択したFIPSモードが既に有効になっているというエラーメッセージが表示されます。非準拠の証明書が削除されると、FIPS-劣化モードの動作ステータスはクリアされ、FIPSモードはGUIインターフェイスから正常にOFFに設定できます。OA CLIコマンドSET FIPS MODE OFFを使用すると、OAにインストールされている非準拠の1024ビットLDAP証明書を使用しても、FIPSモードをオフに設定できます。

IRC

Gen10 Blade用の.net IRCコンソールを開くことができない、Gen9 Bladeも同じ問題があります。JavaアプレットとWebstartはロードされますが、仮想メディアのマウントは失敗します。回避策として、ターミナルクライアントにインストールされているIRCアプリケーション(HPE Lights-Outスタンドアロンリモートコンソール)を使用してIRCを起動することです。

EFM

Gen 10 BladeでEFMを使用するには、HPSUM 8.0.0でカスタムSPP ISOを作成する際にオプション/フィルター"*Make Bootable ISO file*"と"*Enclosure Firmware Management*"を選択してください。詳しくは、HPE SUM 8.0.0ユーザーガイドを参照してください。

CAC

- CACモードのSSHでは、TelnetおよびXML応答プロトコルは無効になります。
- リンクされたエンクロージャーがCACモードになっている場合、リンクされたエンクロージャーのログインは動作しません。
- サービスアカウントの詳細を正確に指定しないと、証明書を使用したLDAPユーザーのログインは失敗します。
- CACの使用を開始する前にリカバリプランを立てることを強くお勧めします。 OA設定で問題が起こった場合、OAをシリアルポートまたはInsight Displayパネルおよび USB KEYからリカバリできる場合があります。いずれの方法もOAへの物理アクセスが必要です。 ただし、LCD PINが設定されている(または忘れた)場合、およびローカルアカウントが無効になっているかCACが正しく設定されていない場合、リカバリする唯一の方法はシリアルポート経由です。OAの復旧が必要な最も一般的な状況を2つ挙げると、LDAPが無効なローカルアカウントで誤って設定されている場合と、CACが証明書にアクセスしないよう設定されている場合です。

設定可能なSSHポート番号

スタンバイOAが4.85未満のファームウェアバージョンを実行していて、アクティブOAのファームウェア同期機能を使用してファームウェアバージョンが4.85以上に更新した場合、ファームウェアのアップデートおよびスタンバイOAの再起動後、SSHポートは構成されたポート番号で開きません。回避策は、スタンバイOAを再起動することです。SSHポートは、次回起動時に設定されたポートで開きます。SSH ポートがアクティブOAのデフォルトポート22で構成されている場合は、この問題が発生しません。

拡張

Onboard Administrator 4.96は、以下の機能強化に対するサポートを提供します:

ハードウェアの追加

- なし

特徴**: 追加と変更**

全般

- AlertMail機能は、ユーザーがAlertMailメッセージに対して選択できる2つの優先順位をサポートするようになりました。
- Enclosure Firmware Management(EFM)機能は、EFMアップデート操作を高速化するために最適化されています。
- Onboard AdministratorのSSL証明書は、**共通名(CN)フィールドとIPアドレスSANフィールド**内の完全修飾ドメイン名(FQDN)をサポートするようになりました。
- SSLセッションの構成可能なタイムアウトをサポートするために、Common Access Card(CAC)認証機能が強化されています。

セキュリティ

- Onboard Administratorは2つの新しいTLS_DHE_RSA暗号をサポートします
- FIPS TOP-SECRETモードの暗号がFIPSでサポートされるようになりました**ON**そして**OFF**モード。
- CLIコマンドSHOW SSH CIPHER、ENABLE SSH CIPHER、およびDISABLE SSH CIPHERが、FIPS ONおよびOFFモードでのSSH暗号の表示、有効化、および無効化に追加されました。

ファームウェア - Lights-Outマネジメント

先頭

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux - HPE Integrated Lights-Out 5

バージョン: 2.30 **(推奨)**

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-ilo5-2.30-1.1.x86_64.rpm; RPMS/x86_64/firmware-ilo5-2.30-1.1.x86_64_part1.compsig; RPMS/x86_64/firmware-ilo5-2.30-1.1.x86_64_part2.compsig

重要な注意!

IPv6ネットワーク通信(専用ネットワーク接続のみ)

サポートされているネットワークの機能

IPv6静的アドレス割り当て
IPv6 SLAACアドレス割り当て
IPv6静的経路割り当て
IPv6静的デフォルトゲートウェイエントリー
DHCPv6ステートフルアドレス割り当て
DHCPv6ステートレスDNS、ドメイン名、およびNTP構成
内蔵リモートコンソール
OAシングルサインオン
HP-SIMシングルサインオン
Webサーバー
SSHサーバー
SNTPクライアント
DDNSクライアント
RIBCL over IPv6
SNMP
アラートメール
リモートSyslog
WinDBGサポート
HPONCFG/HPLOMIG over IPv6接続
スクリプト化可能な仮想メディア
IPv6を経由したCLI/RIBCLキーインポート
LDAPおよびKerberos over IPv6を使用した認証
iLO連携

このリリースのIPv6ではサポートされていないネットワーク機能

共有ネットワークポート接続経由のIPv6
IPMI
NETBIOS-WINS
Enterprise Secure Key Manager(ESKM)サポート
内蔵リモートサポート (ERS)

前提条件

最良のパフォーマンスを得るには、次のバージョン以上のiLOユーティリティを
お勧めします。

- RESTfulインターフェイスツール(iLOREST)2.3
- HPQLOCFG v5.2
- Lights-Out XMLスクリプティングサンプルバンドル5.10.0
- HPONCFG Windows 5.2.0
- HPONCFG Linux 5.3.0
- LOCFG v5.10.0
- HPLOMIG 5.2.0

注記: iLO高セキュリティ、FIPSおよびCNSAのセキュリティ状態をサポートするには、アップデートされたユーティリティおよびシステムライブラリーが必要です。HPONCFG Windowsユーティリティは、CNSAのセキュリティ状態を現在サポートしていません。

修正

- TCP/IPスタックに影響を与える可能性のあるRipple20の脆弱性。
- One-buttonセキュア消去完了後に、Synergy Compute Moduleの電源が入りません。
- iLOファームウェア& OSソフトウェアページから開始したSPSファームウェアアップデートが失敗する可能性があります。
- CクラスブレードはFRU検出を完了しません。
- Central Connectリモートサポート登録時に、必須フィールドが空白の場合、エラーメッセージが表示されません。

- 仮想NIC機能が、SUSE Linux Enterprise Server 15を使用したホストへのIPアドレスの提供に断続的に失敗します。
- 多数のグループに対してKerberos認証が設定されている場合、Zeroサインインログインに失敗します。
- iLOが完全に配置されたNVDIMM構成で工場出荷時のデフォルト設定に設定されている場合、iLOはCHIF通信を失う可能性があります。
- 管理されていないネットワーク構成でのDCi準拠のネットワークアダプターは、コールドブート時にデフォルトにリセットされます。

拡張

- MCTPは、iLOの誤報「デバイス/アダプターが応答しない」問題に対処するようになりました。
- 仮想ボタンの押下によるシャットダウンは、iLOの強化されたリセット原因に含まれています。
- iLOウェブインタフェースのライフサイクル管理 - 廃棄ページからワンボタンで安全な消去プロセスを開始できるようになりました。
- ユーザーアカウントロールは、定義済みの特権セットを提供するか、またはカスタムセットを定義することもできます。
- 新しいHTML5リモートコンソールモード: スタンドアロンモードと新しいウィンドウモード。
- NVMeドライブの電源をオンまたはオフにする仮想電源ボタン。この機能には、ストレージ情報ページの物理ドライブ詳細ペインからアクセスできます。
- インターフェイスを使用した最小ファン速度の構成。
- ユーザーは、インターフェイスを使用して、システムの温度構成設定を表示および変更できます。
- NICおよびストレージオプションカードのPLDMファームウェアアップデートのサポート。
- 自動回復およびセーフモードに関する新しいRESTアラート。
- Webサーバーが要求のソースを仮想NIC上のホストとして識別できるようになりました。
- RDE対応デバイスの読み取りのサポート。
- ユニバーサルFWPKG 2.0イメージのフラッシュのサポート。
- Edgeline 8000システムの電力測定値のサポート。
- NVMe直接接続ストレージを備えたU.2/UBM1/UBM3のドライブインジケーターLEDのサポート(LEDオンまたはLEDオフ)。
- iLOが工場出荷時のデフォルト設定になっているとき、仮想NICはデフォルトで無効です。
- HTTP 接続を介したアクセスを回避するように iLOを設定できるようになりました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64- HPE Integrated Lights-Out 5

バージョン: 2.30 **(推奨)**
ファイル名: cp040154.exe; cp040154_part1.compsig; cp040154_part2.compsig

重要な注意!

IPv6ネットワーク通信(専用ネットワーク接続のみ)
サポートされているネットワークの機能
IPv6静的アドレス割り当て
IPv6 SLAACアドレス割り当て
IPv6静的経路割り当て
IPv6静的デフォルトゲートウェイエントリー
DHCPv6ステートフルアドレス割り当て
DHCPv6ステートレスDNS、ドメイン名、およびNTP構成
内蔵リモートコンソール
OAシングルサインオン
HP-SIMシングルサインオン
Webサーバー
SSHサーバー
SNTPクライアント
DDNSクライアント
RIBCL over IPv6
SNMP
アラートメール
リモートSyslog
WinDBGサポート
HPONCFG/HPLOMIG over IPv6接続

スクリプト化可能な仮想メディア
IPv6を経由したCLI/RIBCLキーインポート
LDAPおよびKerberos over IPv6を使用した認証
iLO連携

このリリースのIPv6ではサポートされていないネットワーク機能
共有ネットワークポート接続経由のIPv6
IPMI
NETBIOS-WINS
Enterprise Secure Key Manager(ESKM)サポート
内蔵リモートサポート (ERS)

前提条件

最良のパフォーマンスを得るには、次のバージョン以上のiLOユーティリティを
お勧めします。

- RESTfulインターフェイスツール(iLOREST)2.3
- HPQLOCFG v5.2
- Lights-Out XMLスクリプティングサンプルバンドル5.10.0
- HPONCFG Windows 5.2.0
- HPONCFG Linux 5.3.0
- LOCFG v5.10.0
- HPLOMIG 5.2.0

注記: iLO高セキュリティ、FIPSおよびCNSAのセキュリティ状態をサポートするには、アップデートされたユーティリティおよびシステムライブラリーが必要です。HPONCFG Windowsユーティリティは、CNSAのセキュリティ状態を現在サポートしていません。

修正

- TCP/IPスタックに影響を与える可能性のあるRipple20の脆弱性。
- One-buttonセキュア消去完了後に、Synergy Compute Moduleの電源が入りません。
- iLOファームウェア& OSソフトウェアページから開始したSPSファームウェアアップデートが失敗する可能性があります。
- CクラスブレードはFRU検出を完了しません。
- Central Connectリモートサポート登録時に、必須フィールドが空白の場合、エラーメッセージが表示されません。
- 仮想NIC機能が、SUSE Linux Enterprise Server 15を使用したホストへのIPアドレスの提供に断続的に失敗します。
- 多数のグループに対してKerberos認証が設定されている場合、Zeroサインインログインに失敗します。
- iLOが完全に配置されたNVDIMM構成で工場出荷時のデフォルト設定に設定されている場合、iLOはCHIF通信を失う可能性があります。
- 管理されていないネットワーク構成でのDCi準拠のネットワークアダプターは、コールドブート時にデフォルトにリセットされます。

拡張

- MCTPは、iLOの誤報「デバイス/アダプターが応答しない」問題に対処するようになりました。
- 仮想ボタンの押下によるシャットダウンは、iLOの強化されたリセット原因に含まれています。
- iLOウェブインタフェースのライフサイクル管理 - 廃棄ページからワンボタンで安全な消去プロセスを開始できるようになりました。
- ユーザーアカウントロールは、定義済みの特権セットを提供するか、またはカスタムセットを定義することもできます。
- 新しいHTML5リモートコンソールモード: スタンドアロンモードと新しいウィンドウモード。
- NVMeドライブの電源をオンまたはオフにする仮想電源ボタン。この機能には、ストレージ情報ページの物理ドライブ詳細ペインからアクセスできます。
- インターフェイスを使用した最小ファン速度の構成。
- ユーザーは、インターフェイスを使用して、システムの温度構成設定を表示および変更できます。
- NICおよびストレージオプションカードのPLDMファームウェアアップデートのサポート。
- 自動回復およびセーフモードに関する新しいRESTアラート。
- Webサーバーが要求のソースを仮想NIC上のホストとして識別できるようになりました。

- RDE対応デバイスの読み取りのサポート。
- ユニバーサルFWPKG 2.0イメージのフラッシュのサポート。
- Edgeline 8000システムの電力測定値のサポート。
- NVMe直接接続ストレージを備えたU.2/UBM1/UBM3のドライブインジケーターLEDのサポート(LEDオンまたはLEDオフ)。
- iLOが工場出荷時のデフォルト設定になっているとき、仮想NICはデフォルトで無効です。
- HTTP 接続を介したアクセスを回避するように iLOを設定できるようになりました。

オンラインROMフラッシュファームウェアパッケージ - HPE Integrated Lights-Out 5

バージョン: 2.30 **(推奨)**
ファイル名: ilo5_230_SHA512.fwpkg

重要な注意!

IPv6ネットワーク通信(専用ネットワーク接続のみ)
サポートされているネットワークの機能
IPv6静的アドレス割り当て
IPv6 SLAACアドレス割り当て
IPv6静的経路割り当て
IPv6静的デフォルトゲートウェイエントリー
DHCPv6ステートフルアドレス割り当て
DHCPv6ステートレスDNS、ドメイン名、およびNTP構成
内蔵リモートコンソール
OAシングルサインオン
HP-SIMシングルサインオン
Webサーバー
SSHサーバー
SNTPクライアント
DDNSクライアント
RIBCL over IPv6
SNMP
アラートメール
リモートSyslog
WinDBGサポート
HPONCFG/HPLOMIG over IPv6接続
スクリプト化可能な仮想メディア
IPv6を経由したCLI/RIBCLキーインポート
LDAPおよびKerberos over IPv6を使用した認証
iLO連携
このリリースのIPv6ではサポートされていないネットワーク機能
共有ネットワークポート接続経由のIPv6
IPMI
NETBIOS-WINS
Enterprise Secure Key Manager(ESKM)サポート

前提条件

Hewlett Packard Enterpriseでは、最良のパフォーマンスを得るために次のバージョン以上のiLOユーティリティ を推奨します。

- RESTfulインターフェイスツール(iLOREST)3.0
- HPQLOCFG v5.2
- Lights-Out XMLスクリプティングサンプルバンドル5.20.0以降
- HPONCFG Windows 5.3.0
- HPONCFG Linux 5.3.0以降
- LOCFG v5.20.0以降
- HPLOMIG 5.2.0

注記: iLO 高セキュリティ、FIPS、CNSA セキュリティ状態をサポートするには、アップデートされたユーティリティとシステムライブラリが必要です。

修正

- TCP/IPスタックに影響を与える可能性のあるRipple20の脆弱性。
- One-buttonセキュア消去完了後に、Synergy Compute Moduleの電源が入りません。
- iLOファームウェア& OSソフトウェアページから開始したSPSファームウェアアップデートが失敗する可能性があります。
- CクラスブレードはFRU検出を完了しません。
- Central Connectリモートサポート登録時に、必須フィールドが空白の場合、エラーメッセージが表示されません。
- 仮想NIC機能が、SUSE Linux Enterprise Server 15を使用したホストへのIPアドレスの提供に断続的に失敗します。
- 多数のグループに対してKerberos認証が設定されている場合、Zeroサインインログインに失敗します。
- iLOが完全に配置されたNVDIMM構成で工場出荷時のデフォルト設定に設定されている場合、iLOはCHIF通信を失う可能性があります。
- 管理されていないネットワーク構成でのDCi準拠のネットワークアダプターは、コールドブート時にデフォルトにリセットされます。

拡張

- MCTPは、iLOの誤報「デバイス/アダプターが応答しない」問題に対処するようになりました。
- 仮想ボタンの押下によるシャットダウンは、iLOの強化されたリセット原因に含まれています。
- iLOウェブインタフェースのライフサイクル管理 - 廃棄ページからワンボタンで安全な消去プロセスを開始できるようになりました。
- ユーザーアカウントロールは、定義済みの特権セットを提供するか、またはカスタムセットを定義することもできます。
- 新しいHTML5リモートコンソールモード: スタンドアロンモードと新しいウィンドウモード。
- NVMeドライブの電源をオンまたはオフにする仮想電源ボタン。この機能には、ストレージ情報ページの物理ドライブ詳細ペインからアクセスできます。
- インターフェイスを使用した最小ファン速度の構成。
- ユーザーは、インターフェイスを使用して、システムの温度構成設定を表示および変更できます。
- NICおよびストレージオプションカードのPLDMファームウェアアップデートのサポート。
- 自動回復およびセーフモードに関する新しいRESTアラート。
- Webサーバーが要求のソースを仮想NIC上のホストとして識別できるようになりました。
- RDE対応デバイスの読み取りのサポート。
- ユニバーサルFWPKG 2.0イメージのフラッシュのサポート。
- Edgeline 8000システムの電力測定値のサポート。
- NVMe直接接続ストレージを備えたU.2/UBM1/UBM3のドライブインジケーターLEDのサポート(LEDオンまたはLEDオフ)。
- iLOが工場出荷時のデフォルト設定になっているとき、仮想NICはデフォルトで無効です。
- HTTP 接続を介したアクセスを回避するように iLOを設定できるようになりました。

ファームウェア - ネットワーク

先頭

Broadcom NetXtreme-Eオンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor Linux x86_64

バージョン: 1.9.4 **(オプション)**

ファイル名: firmware-nic-is-bcm-nxe-1.9.4-1.1.x86_64.compsig; firmware-nic-is-bcm-nxe-1.9.4-1.1.x86_64.rpm

重要な注意！

このファームウェアとともに使用する場合は、*Broadcom NetXtreme-E Drivers for Linux*、バージョン1.10.1-216.0.169.4以降を推奨しています。

事前要件

このパッケージは、ご使用のネットワークアダプターのための適切なドライバーがインストールされ、ファームウェアをアップデートする前にすべてのイーサーネットポートをアップ(*ifup ethX*、*ifconfig ethX up*、または*wicked ifup ethX*)している必要があります。

ローカルシステムが、インターフェイスを起動するようにネットワーク構成ファイルを作成するために必要な、アダプターのネットワークインターフェイスを構成しない場合。
- たとえばsles15sp1で、/etc/sysconfig/network/の下にifcfg-ethXファイルを作成すること。

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 BCM57414 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10 Gb 2ポートBaseT BCM57416アダプター
- HPE Ethernet 10 Gb 2ポートBaseT BCM57416 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10 Gb 2ポートSFP+ BCM57412アダプター
- HPE Ethernet 10 Gb 2ポートSFP+ BCM57412 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 BCM57414アダプター

Broadcom NetXtreme-Eオンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor VMware

バージョン: 5.11.6 **(オプション)**
ファイル名: CP043168.compsig; CP043168.zip

重要な注意！

このファームウェアとともに使用する場合は、*Broadcom NetXtreme-E*ドライバー*for VMware*、バージョン216.0.54以降を推奨しています。

このソフトウェアパッケージには、下記のファームウェアバージョンを含むNVMイメージバージョン216.0.333.11が含まれています。

NIC	Bootcodeバージョン	NCSIバージョン	MBAバージョン	UEFIバージョン	CCMバージョン	RoCEバージョン
HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 BCM57414 OCP3アダプター	214.4.91.1	214.4.42.1	2214.0.241.0	214.0.305.0	216.0.52.1	214.0.194.0
HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 BCM57414アダプター						
HPE Ethernet 10 Gb 2ポートBaseT BCM57416 OCP3アダプター						

NIC	Bootcodeバージョン	NCSIバージョン	MBAバージョン	UEFIバージョン	CCMバージョン	RoCEバージョン
HPE Ethernet 10 Gb 2ポートBaseT BCM57416アダプター						
HPE Ethernet 10 Gb 2ポートSFP+ BCM57412 OCP3アダプター						
HPE Ethernet 10 Gb 2ポートSFP+ BCM57412アダプター						

事前要件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 BCM57414 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10 Gb 2ポートBaseT BCM57416アダプター
- HPE Ethernet 10 Gb 2ポートBaseT BCM57416 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10 Gb 2ポートSFP+ BCM57412アダプター
- HPE Ethernet 10 Gb 2ポートSFP+ BCM57412 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 BCM57414アダプター

Broadcom NetXtreme-Eオンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor Windows Server x64 Edition

バージョン: 5.2.3.0 **(オプション)**
ファイル名: cp043169.compsig; cp043169.exe

重要な注意！

このファームウェアとともに使用する場合は、*Broadcom NetXtreme-E Driver for Windows*、バージョン216.0.143.3以降を推奨しています。

このソフトウェアパッケージには、下記のファームウェアバージョンを含むNVMイメージバージョン216.0.333.11が含まれています。

NIC	Bootcodeバージョン	NCSIバージョン	MBAバージョン	UEFIバージョン	CCMバージョン	RoCEバージョン
HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 BCM57414 OCP3アダプター	214.4.91.1	214.4.42.1	2214.0.241.0	214.0.305.0	216.0.52.1	214.0.194.0
HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 BCM57414 アダプター						
HPE Ethernet 10 Gb 2ポートBaseT BCM57416 OCP3アダプター						
HPE Ethernet 10 Gb 2ポートBaseT BCM57416 アダプター						
HPE Ethernet 10 Gb 2ポートSFP+ BCM57412 OCP3アダプター						
HPE Ethernet 10 Gb 2ポートSFP+ BCM57412 アダプター						

事前要件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 BCM57414 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10 Gb 2ポートBaseT BCM57416アダプター
- HPE Ethernet 10 Gb 2ポートBaseT BCM57416 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10 Gb 2ポートSFP+ BCM57412アダプター
- HPE Ethernet 10 Gb 2ポートSFP+ BCM57412 OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 BCM57414アダプター

HPE Blade Intelオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux

バージョン: 1.0.14 **(オプション)**
ファイル名: firmware-nic-intel-bl-1.0.14-1.1.x86_64.compsig; firmware-nic-intel-bl-1.0.14-1.1.x86_64.rpm

重要な注意！

HPEでは、このファームウェアとともに使用する場合は、*HPE Blade Intel ixgbe Drivers for Linux*、バージョン5.6.4以降を推奨しています。

事前要件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

修正

この製品は、F7を押すとNIC HIIメニューの"ファームウェアイメージのプロパティ"、"デバイスレベル構成"、および"リンク速度ステータス"オプションが消える問題に対処します。

拡張

最初のリリース。

この製品では、次のオペレーティングシステムがサポートされるようになりました。

- Red Hat Enterprise Linux 7 Update 7
- Red Hat Enterprise Linux 8 Update 0
- SUSE Linux Enterprise Server 15 SP1

サポートしているデバイスおよび機能

このパッケージは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560Mアダプター

HPE Blade Intelオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Editions

バージョン: 1.0.0.5 **(オプション)**
ファイル名: cp040422.compsig; cp040422.exe

重要な注意！

HPEでは、このファームウェアとともに使用する場合は、ご使用のシステムに適用可能な次のドライバーのいずれかを推奨しています:

- *HPE Blade Intel ixn Driver for Windows Server 2012 R2*、バージョン3.14.132.0以降
- *HPE Blade Intel ixn Driver for Windows Server 2016*、バージョン4.1.131.0以降
- *HPE Blade Intel ixn Driver for Windows Server 2019*、バージョン4.1.143.0以降

事前要件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

修正

この製品は、F7を押すとNIC HIIメニューの"ファームウェアイメージのプロパティ"、"デバイスレベル構成"、および"リンク速度ステータス"オプションが消える問題に対処します。

拡張

最初のリリース。

サポートしているデバイスおよび機能

このパッケージは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560Mアダプター

HPE Blade Intelオンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor VMware

バージョン: 1.1.2 **(オプション)**
ファイル名: CP042573.compsig; CP042573.zip

重要な注意！

このファームウェアとともに使用する場合は、*HPE Blade Intel ixgben*ドライバー *for VMware vSphere 7.0*、バージョン2020.06.01以降を推奨しています。

このファームウェアとともに使用する場合は、*HPE Blade Intel ixgben*ドライバー *for VMware vSphere 6.7*、バージョン2019.12.20以降を推奨しています。

このファームウェアとともに使用する場合は、*HPE Blade Intel ixgben*ドライバー *for VMware vSphere 6.5*、バージョン2019.12.20以降を推奨しています。

事前要件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

拡張

この製品は現在、VMware ESXi 7.0をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

このパッケージは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート 560FLBアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560Mアダプター

HPE Blade QLogic NX2オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for VMware

バージョン: 1.1.1 **(オプション)**
ファイル名: CP042923.compsig; CP042923.zip

重要な注意！

このファームウェアとともに使用する場合は、*HPE Blade QLogic NX2 10/20 GbE*マルチファンクションドライバー *for VMware vSphere 7.0*、バージョン2020.06.01以降を推奨しています。

このファームウェアとともに使用する場合は、*HPE Blade QLogic NX2 10/20 GbE*マルチファンクションドライバー *for VMware vSphere 6.7*、バージョン2019.12.20以降を推奨しています。

このファームウェアとともに使用する場合は、*HPE Blade QLogic NX2 10/20 GbE*マルチファンクションドライバー *for VMware vSphere 6.5*、バージョン2019.12.20以降を推奨しています。

事前要件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

拡張

この製品は現在、VMware vSphere 7.0をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534Mアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630Mアダプター

HPE Blade QLogic NX2オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Editions

バージョン: 1.0.0.9 (C) **(推奨)**
ファイル名: cp044984.compsig; cp044984.exe

重要な注意！

このファームウェアとともに使用する場合は、*HPE Blade QLogic NX2 10/20GbE*マルチファンクションドライバー *for Windows Server x64 Editions*、バージョン7.13.171.0以降を推奨しています。

事前要件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

修正

この製品は、正しいデジタル署名で再構築されています。二重の署名は必要ありません。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534Mアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630Mアダプター

HPE Blade QLogic NX2オンラインファームウェアアップグレードユーティリティfor Linux

バージョン: 1.0.9 **(オプション)**

ファイル名: firmware-nic-qlogic-nx2-bl-1.0.9-1.1.x86_64.compsig; firmware-nic-qlogic-nx2-bl-1.0.9-1.1.x86_64.rpm

重要な注意！

このパッケージのファームウェアとともに使用する場合は、*HPE Blade QLogic NX2 10/20GbE Multifunction Drivers for Linux*、バージョン7.14.63-1以降を推奨しています。

事前要件

このパッケージは、ご使用のネットワークアダプターのための適切なドライバーがインストールされ、ファームウェアをアップデートする前にすべてのイーサーネットポートをアップ(*ifup ethX* または*ifconfig ethX up*)している必要があります。

修正

この製品は、Link Layer Discovery Protocol(LLDP)の誤ったローカルシーケンス番号に対処します。

この製品は、工場出荷時設定にリセットした後、ブートモードがデフォルト値にリストされない問題に対処します。

この製品は、F1ヘルプメッセージ"PFあたりのVF数"および"レガシーブートプロトコル"オプションが日本語および簡体字中国語で正しく表示されない問題に対処します。

拡張

最初のリリース。

この製品では、次のオペレーティングシステムがサポートされるようになりました。

- Red Hat Enterprise Linux 7 Update 7
- Red Hat Enterprise Linux 8 Update 0
- SUSE Linux Enterprise Server 15 SP1

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート534Mアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート 536FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート630Mアダプター

HPE Broadcom NetXtreme-Eオンライン ファームウェアアップグレードユーティリティ for VMware

バージョン: 5.11.6 **(オプション)**
ファイル名: CP043300.compsig; CP043300.zip

重要な注意！

このファームウェアとともに使用する場合は、*HPE Broadcom NetXtreme-E Drivers for VMware*、バージョン2020.09.14以降を推奨しています。

このソフトウェアパッケージには、下記のファームウェアバージョンを含むNVMイメージバージョン216.0.333011が含まれています。

NIC	Bootcodeバージョン	NCSIバージョン	MBAバージョン	UEFIバージョン	CCMバージョン	RoCEバージョン

NIC	Bootcodeバージョン	NCSIバージョン	MBAバージョン	UEFIバージョン	CCMバージョン	RoCEバージョン
HPE Ethernet 10Gb 2ポート535FLR-Tアダプター	214.4.91.1	214.4.42.1	214.0.241.0	214.0.305.0	216.0.52.1	214.0.194.0
HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター						
HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター						
HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631SFP28アダプター						
HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター						
HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+FLRアダプター						

事前要件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

修正

- この製品は、ファームウェアアップデートの実行中に表示されるアダプターの間違った名前を修正します。
- この製品は、ポートボンドの2つのポートが1つのポートだけを切断したはずの場合に両方とも切断されるという問題を修正します。
- この製品は、NIC HIIの下でLLDPの最近接ブリッジパケットオプションが無効になっているときに、そのオプションが無効にならないという問題を修正します。
- この製品は、SFP-RJ45トランシーバーを接続する際の間違ったLED動作を修正します。
- この製品は、ファームウェアがアップデートユーティリティによって成功であるとされても、実際にはアップデートされていないという問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター

HPE Broadcom NetXtreme-Eオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64

バージョン: 1.9.3 **(オプション)**
ファイル名: firmware-nic-bcm-nxe-1.9.3-1.1.x86_64.compsig; firmware-nic-bcm-nxe-1.9.3-1.1.x86_64.rpm

重要な注意！

このファームウェアとともに使用する場合は、*HPE Broadcom NetXtreme-E Drivers for Linux*、バージョン1.10.0-216.0.169.4以降を推奨しています。

事前要件

このパッケージは、ご使用のネットワークアダプターのための適切なドライバーがインストールされ、ファームウェアをアップデートする前にすべてのイーサーネットポートをアップ(*ifup ethX*、*ifconfig ethX up*、または*wicked ifup ethX*)している必要があります。

ローカルシステムが、インターフェイスを起動するようにネットワーク構成ファイルを作成するために必要な、アダプターのネットワークインターフェイスを構成しない場合。
- たとえばsles15sp1で、/etc/sysconfig/network/の下にifcfg-ethXファイルを作成すること。

修正

- この製品は、ファームウェアアップデートの実行中に表示されるアダプターの間違った名前を修正します。
- この製品は、ポートボンドの2つのポートが1つのポートだけを切断したはずの場合に両方とも切断されるという問題を修正します。
- この製品は、NIC HIIの下でLLDPの最近接ブリッジパケットオプションが無効になっているときに、そのオプションが無効にならないという問題を修正します。
- この製品は、SFP-RJ45トランシーバーを接続する際の間違ったLED動作を修正します。
- この製品は、ファームウェアがアップデートユーティリティによって成功であるとされても、実際にはアップデートされていないという問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター

HPE Broadcom NetXtreme-Eオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Edition

バージョン: 5.2.3.0 **(オプション)**
ファイル名: cp043301.compsig; cp043301.exe

重要な注意！

このファームウェアとともに使用する場合は、*HPE Broadcom NetXtreme-E Driver for Windows*、バージョン216.0.143.3以降を推奨しています。

このソフトウェアパッケージには、下記のファームウェアバージョンを含むNVMイメージバージョン216.0.333011が含まれています。

NIC	Bootcodeバージョン	NCSIバージョン	MBAバージョン	UEFIバージョン	CCMバージョン	RoCEバージョン
HPE Ethernet 10Gb 2ポート535FLR-Tアダプター	214.4.91.1	214.4.42.1	214.0.241.0	214.0.305.0	216.0.52.1	214.0.194.0
HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター						
HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 631FLR-SFP28アダプター						
HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート 631SFP28アダプター						
HPE Ethernet 10Gb 2ポート 537SFP+アダプター						
HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター						

事前要件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

修正

- この製品は、ファームウェアアップデートの実行中に表示されるアダプターの間違った名前を修正します。
- この製品は、ポートボンドの2つのポートが1つのポートだけを切断したはずの場合に両方とも切断されるという問題を修正します。
- この製品は、NIC HIIの下でLLDPの最近接ブリッジパケットオプションが無効になっているときに、そのオプションが無効にならないという問題を修正します。
- この製品は、SFP-RJ45トランシーバーを接続する際の間違ったLED動作を修正します。

- この製品は、ファームウェアがアップデートユーティリティによって成功であるとされても、実際にはアップデートされていないという問題を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート535Tアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631FLR-SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート631SFP28アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート537SFP+ FLRアダプター

HPE Broadcom NX1オンライン ファームウェアアップグレードユーティリティ for VMware

バージョン: 1.27.5 **(オプション)**
ファイル名: CP043297.compsig; CP043297.zip

重要な注意！

このファームウェアとともに使用する場合は、*HP Broadcom tg3 Ethernet Drivers for VMware*、バージョン2020.09.14以降を推奨しています。

このソフトウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンを含むコンボイメージv20.16.31が含まれています:

NIC	ブートコードバージョン	PXEバージョン	NCSIバージョン	UEFIバージョン	CCMバージョン
HPE Ethernet 1Gb 2ポート330iアダプター(22BD)	2.10	21.6.0	1.5.18	21.6.5	216.0.49.0
HPE Ethernet 1Gb 4ポート331iアダプター(22BE) HPE Ethernet 1Gb 4ポート331FLRアダプター HPE Ethernet 1Gb 4ポート331Tアダプター	1.46	21.6.0	1.5.18	21.6.5	216.0.49.0
HPE Ethernet 1Gb 2ポート332iアダプター(22E8) HPE Ethernet 1Gb 2ポート332Tアダプター	1.40	21.6.0	1.5.18	21.6.5	216.0.49.0

事前要件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

修正

この製品は、元々パッケージのラベルに書かれていたものと同じではなかった、間違ったスペア番号を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート330iアダプター(22BD)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331iアダプター(22BE)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331Tアダプター

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート332iアダプター(22E8)
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート332Tアダプター

HPE Broadcom NX1オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64

バージョン: 2.26.1 **(オプション)**
ファイル名: firmware-nic-broadcom-2.26.1-1.1.x86_64.compsig; firmware-nic-broadcom-2.26.1-1.1.x86_64.rpm

重要な注意！

このファームウェアとともに使用する場合は、*HPE Broadcom tg3 Ethernet*ドライバー、バージョン3.138b以降を推奨しています。

事前要件

このパッケージは、ご使用のネットワークアダプターのための適切なドライバーがインストールされ、ファームウェアをアップデートする前にすべてのイーサーネットポートをアップ(*ifup ethX*、*ifconfig ethX up*、または*wicked ifup ethX*)している必要があります。

ローカルシステムが、インターフェイスを起動するようにネットワーク構成ファイルを作成するために必要な、アダプターのネットワークインターフェイスを構成しない場合。
- たとえばsles15sp1で、/etc/sysconfig/network/の下にifcfg-ethXファイルを作成すること。

修正

この製品は、元々パッケージのラベルに書かれていたものと同じではなかった、間違ったスペア番号を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート330iアダプター(22BD)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331iアダプター(22BE)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート332iアダプター(22E8)
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート332Tアダプター

HPE Broadcom NX1オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Edition

バージョン: 5.2.3.0 **(オプション)**
ファイル名: cp043298.compsig; cp043298.exe

重要な注意！

このファームウェアとともに使用する場合は、*HPE Broadcom NX1 1Gb*ドライバー*for Windows Server x64 Editions*、バージョン214.0.0.3以降を推奨しています。

このソフトウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンを含むコンボイメージv20.16.31が含まれています:

NIC	ブートコードバージョン	PXEバージョン	NCSIバージョン	UEFIバージョン	CCMバージョン
HPE Ethernet 1Gb 2ポート330iアダプター(22BD)	2.10	21.6.0	1.5.18	21.6.5	216.0.49.0
HPE Ethernet 1Gb 4ポート331iアダプター(22BE)	1.46	21.6.0	1.5.18	21.6.5	216.0.49.0

HPE Ethernet 1Gb 4ポート 331FLRアダプター HPE Ethernet 1Gb 4ポート 331Tアダプター					
HPE Ethernet 1Gb 2ポート 332iアダプター(22E8) HPE Ethernet 1Gb 2ポート 332Tアダプター	1.40	21.6.0	1.5.18	21.6.5	216.0.49.0

事前要件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

修正

この製品は、元々パッケージのラベルに書かれていたものと同じではなかった、間違ったスペア番号を修正します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 1Gb 2ポート330iアダプター(22BD)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331iアダプター(22BE)
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート331Tアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート332iアダプター(22E8)
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート332Tアダプター

HPE Firmware Flash for Emulex Converged Network Adapters for Linux (x64)

バージョン: 2020.09.01 **(推奨)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-cna-emulex-2020.09.01-1.17.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-cna-emulex-2020.09.01-1.17.x86_64.rpm

重要な注意！

リリースノート:

HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へアクセスしてください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

以下を修正しました。

UEFI:

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプターおよびHPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプターは、2番目のポートでブートソースの作成を完了しません

ファームウェア:

- Unified Extensible Firmware Interface(UEFI)でポートを無効にすると、発光ダイオード(LED)は無効状態になります
- いくつかのアダプターで、ファームウェアレポートのNIC詳細に重複エントリが見つかりました。
- 一部のROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)で、HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプターの完全なアダプター名が表示されません。
- HPE Emulex XE-102ベースのネットワークアダプター HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-T Adapter with CNA(XE100 シリーズ)ファームウェア12.0.1110.0、12.0.1110.10、または12.0.1110.11(またはそれ以降)を使用して構成されたHPE ProLiant サーバーでは、ネットワークアダプターに「リンクダウン」状態が発生し、電源サイクルやリセットでは回復できない場合があります。

詳細については、次のリンク先の「特定のHPE Emulex XE-102ベースのネットワークアダプターが組み込まれているHPE ProLiantサーバーで、ファームウェアの問題のためリンクがダウンすることがある」と題されたドキュメントを参照してください。https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00099050en_us

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	ファームウェア
HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター	10Gb	12.0.1280.5
HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター	10Gb	12.0.1280.5
HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター	20Gb	12.0.1280.5
HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター	20Gb	12.0.1280.5
HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター	20Gb	12.0.1280.5
HPE CN1200E-Tデュアルポートアダプター	20Gb	12.0.1280.5

事前要件

ファームウェアアップデートは、インボックスまたはOut of Box(OOB)ドライバーを使用して実行できます。サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

OOB NICドライバーは、http://www.hpe.com/servers/spp/downloadのService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

追加の要件:

ファームウェアアップデートキットのインストール前にターゲット環境にlibsysfsまたはsysfsutilsパッケージをインストールしておく必要があります。存在していない場合、libsysfsまたはsysfsutilsパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます。

コンポーネントがEmulex HBA/CNAを検出できるようにするために32-bit netlink library (libnl.so) がインストールされている環境が必要です
フラッシュエンジンを動作させるためにsyslogデーモンが実行されている環境が必要です

注記:FCoE/iSCSIプロトコルをサポートするデバイス上でプロトコルを有効にするには、適切なEmulex FCoE/iSCSIドライバーをインストールしてください。 また、FCoEプロトコルは、HPE Emulexイネーブルメントキットがインストールされている必要があります。 また、ドライバーおよびイネーブルメントキットは、http://www.hpe.com/servers/spp/downloadのService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

イネーブルメントキットは、OSインストールメディアからlibHBAAPIパッケージをインストールしたターゲット環境を必要とします。

FCoEドライバーキットをインストールし、再起動してからイネーブルメントキットをインストールします。

修正

以下を修正しました。

UEFI:

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプターおよびHPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプターは、2番目のポートでブートソースの作成を完了しません

ファームウェア:

- Unified Extensible Firmware Interface(UEFI)でポートを無効にすると、発光ダイオード(LED)は無効状態になります
- いくつかのアダプターで、ファームウェアレポートのNIC詳細に重複エントリが見つかりました。
- 一部のROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)で、HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプターの完全なアダプター名が表示されません。
- HPE Emulex XE-102ベースのネットワークアダプター HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-T Adapter with CNA(XE100 シリーズ)ファームウェア12.0.1110.0、12.0.1110.10、または12.0.1110.11(またはそれ以降)を使用して構成されたHPE ProLiant サーバーでは、ネットワークアダプターに「リンクダウン」状態が発生し、電源サイクルやリセットでは回復できない場合があります。

詳細については、次のリンク先の「特定のHPE Emulex XE-102ベースのネットワークアダプターが組み込まれているHPE ProLiantサーバーで、ファームウェアの問題のためリンクがダウンすることがある」と題されたドキュメントを参照してください。https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00099050en_us

拡張

ファイバーチャネルおよびConverged Networkアダプターをアップデートする別々のコンポーネントがあります。これは、Converged Networkアダプターアップデートコンポーネントです。

CNA (XE100シリーズ)ファームウェアをアップデートしました

ファームウェア

含まれるもの:
CNA(XE100シリーズ)ファームウェア12.0.1280.5

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター
- HPE CN1200E-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター

HPE Firmware Flash for Emulex Converged Network Adapters for Windows (x64)

バージョン: 2020.09.01 **(推奨)**
ファイル名: cp044552.compsig; cp044552.exe

重要な注意！

リリースノート:

HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へアクセスしてください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

以下を修正しました。

UEFI:

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプターおよびHPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプターは、2番目のポートでブートソースの作成を完了しません

ファームウェア:

- Unified Extensible Firmware Interface(UEFI)でポートを無効にすると、発光ダイオード(LED)は無効状態になります
- いくつかのアダプターで、ファームウェアレポートのNIC詳細に重複エントリが見つかりました。
- 一部のROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)で、HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプターの完全なアダプター名が表示されません。
- HPE Emulex XE-102ベースのネットワークアダプター HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-T Adapter with CNA(XE100 シリーズ)ファームウェア12.0.1110.0、12.0.1110.10、または12.0.1110.11(またはそれ以降)を使用して構成されたHPE ProLiant サーバーでは、ネットワークアダプターに「リンクダウン」状態が発生し、電源サイクルやリセットでは回復できない場合があります。

詳細については、次のリンク先の「特定のHPE Emulex XE-102ベースのネットワークアダプターが組み込まれているHPE ProLiantサーバーで、ファームウェアの問題のためリンクがダウンすることがある」と題されたドキュメントを参照してください。https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00099050en_us

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	ファームウェア
HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター	10Gb	12.0.1280.5
HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター	10Gb	12.0.1280.5
HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター	20Gb	12.0.1280.5
HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター	20Gb	12.0.1280.5
HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター	20Gb	12.0.1280.5
HPE CN1200E-Tデュアルポートアダプター	20Gb	12.0.1280.5

事前要件

ファームウェアアップデートは、インボックスまたはOut of Box(OOB)ドライバーを使用して実行できます。 サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

このファームウェアコンポーネントが開発用のSUMで識別される前に、HPEで提供しているEmulex NICドライバーをインストールする必要があります。最新のドライバーは、HPE.com Webサイト:http://www.hpe.com/から入手できます。

CoE/iSCSI OOBドライバーおよびFCoEイネーブルメントキットは、http://www.hpe.com/servers/spp/download のService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

修正

以下を修正しました。

UEFI:

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプターおよびHPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプターは、2番目のポートでブートソースの作成を完了しません

ファームウェア:

- Unified Extensible Firmware Interface(UEFI)でポートを無効にすると、発光ダイオード(LED)は無効状態になります
- いくつかのアダプターで、ファームウェアレポートのNIC詳細に重複エントリが見つかりました。
- 一部のROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)で、HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプターの完全なアダプター名が表示されません。
- HPE Emulex XE-102ベースのネットワークアダプター HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-T Adapter with CNA(XE100 シリーズ)ファームウェア12.0.1110.0、12.0.1110.10、または12.0.1110.11(またはそれ以降)を使用して構成されたHPE ProLiant サーバーでは、ネットワークアダプターに「リンクダウン」状態が発生し、電源サイクルやリセットでは回復できない場合があります。

詳細については、次のリンク先の「特定のHPE Emulex XE-102ベースのネットワークアダプターが組み込まれているHPE ProLiantサーバーで、ファームウェアの問題のためリンクがダウンすることがある」と題されたドキュメントを参照してください。https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00099050en_us

拡張

ファイバーチャネルおよびConverged Networkアダプターをアップデートする別々のコンポーネントがあります。これは、Converged Networkアダプターアップデートコンポーネントです。

CNA (XE100シリーズ)ファームウェアをアップデートしました

含まれるもの:
CNA(XE100シリーズ)ファームウェア12.0.1280.5

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター
- HPE CN1200E-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター

HPE Intelオンライン ファームウェアアップグレードユーティリティ for VMware

バージョン: 3.13.15 **(オプション)**
ファイル名: CP041856.compsig; CP041856.zip

重要な注意！

HPEは、このファームウェアで使用するために、ご使用のデバイスに適用可能な次のドライバーの少なくとも1つをお勧めします:

- *HPE Intel igbn Drivers for VMware*、バージョン2020.09.14

- *HPE Intel ixgben Drivers for VMware*、バージョン2020.09.14
- *HPE Intel i40en Drivers for VMware*、バージョン2020.09.14

このソフトウェアパッケージは、以下にリストされるサポートされるネットワークアダプターの次のファームウェアのバージョンを含みます:

NIC	EEPROM/NVMバージョン	OROMバージョン	シングルNVMバージョン
HPE Ethernet 1Gb 2ポート361iアダプター	8000106F	1.2688.0	該当なし
HP Ethernet 1Gb 2ポート361Tアダプター	80000F91	1.2688.0	該当なし
HPE Ethernet 1Gb 2ポート363iアダプター	80000D00	1.2688.0	該当なし
HPE Ethernet 1Gb 4ポート366i通信ボード	80000EBF	1.2688.0	該当なし
HPE Ethernet 1Gb 4ポート366iアダプター	8000105E	1.2688.0	該当なし
HP Ethernet 1Gb 4ポート366FLRアダプター	80001060	1.2688.0	該当なし
HP Ethernet 1Gb 4ポート366Tアダプター	8000105F	1.2688.0	該当なし
HPE Ethernet 1Gb 2ポート368iアダプター	80002192	1.2688.0	該当なし
HPE Ethernet 1Gb 2ポート368FLR-MMTアダプター	8000218B	1.2688.0	該当なし
HPE Ethernet 1Gb 4ポート369iアダプター	8000218F	1.2688.0	該当なし
HP Ethernet 10Gb 2-port 560FLR-SFP+ アダプター	80000838	1.2688.0	該当なし
HPE Ethernet 10Gb 2ポート560SFP+アダプター	80000835	1.2688.0	該当なし
HPE Ethernet 10Gb 2ポート568iアダプター	80002190	1.2688.0	該当なし
HPE Ethernet 10Gb 2ポート568FLR-MMSFP+アダプター	8000218B	1.2688.0	該当なし
HPE Ethernet 10Gb 2ポート568FLR-MMTアダプター	8000218B	1.2688.0	該当なし
HPE Ethernet 10Gb 2ポート563iアダプター	800035C0	1.1375.0	該当なし
HPE Ethernet 10Gb 2ポート562FLR-SFP+アダプター	800083C2	1.2688.0	10.53.7
HPE Ethernet 10Gb 2ポート562FLR-Tアダプター	800011BD	1.2688.0	10.53.4
HPE Ethernet 10Gb 2ポート562SFP+アダプター	800083C1	1.2688.0	10.53.7
HPE Ethernet 10Gb 2ポート562Tアダプター	8000115A	1.2688.0	10.53.3

コンボイメージv1.2688.0は以下を含みます:Boot Agent: 1GbE - v1.5.88、10GbE - v2.4.44、40GbE - v1.1.16 & UEFIドライバー:1GbE - v9.2.06、10GbE - v7.6.13、40GbE - v4.1.20

コンボイメージv1.1375.0は以下を含みます: Boot Agent: 1GbE - v1.5.72、10GbE - v2.3.46、40GbE - v1.0.21 &UEFIドライバー: 1GbE - v6.9.13、10GbE - v5.0.20、40GbE - v1.5.14

シングルNVMバージョンは、以前に使用されていたバージョンEEPROM/NVMまたはOROMバージョンの代わりに統合されたバージョンを表す新しいファームウェア形式です。

事前要件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

修正

この製品は、HPE Ethernet 10Gb 2ポート562TアダプターおよびHPE Ethernet 10Gb 2ポート562FLR-Tアダプターで失敗したリカバリを実行するときにECCエラーが発生する問題に対処します。

拡張

この製品は、現在VMware vSphere 7.0をサポートしています。

サポートしているデバイスおよび機能

このパッケージは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 4ポート366Tアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート366FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368FLR-MMTアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート361Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568FLR-MMSFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 560FLR-SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート369iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート366i通信ボード
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート363iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート366iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート361iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568FLR-MMTアダプター

HPE Intelオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64

バージョン: 1.20.10 **(オプション)**
ファイル名: firmware-nic-intel-1.20.10-1.1.x86_64.compsig; firmware-nic-intel-1.20.10-1.1.x86_64.rpm

重要な注意！

HPEは、このファームウェアで使用するために、ご使用のデバイスに適用可能な次のドライバーの少なくとも1つをお勧めします:

- Linux用HPE Intel igbドライバー、バージョン6.3.1以降
- Linux用HPE Intel ixgbeドライバー、バージョン5.7.1以降
- Linux用HPE Intel i40eドライバー、バージョン2.11.27以降

事前要件

このパッケージは、ご使用のネットワークアダプターのための適切なドライバーがインストールされ、ファームウェアをアップデートする前にすべてのイーサーネットポートをアップ(*ifup ethX*、*ifconfig ethX up*、または*wicked ifup ethX*)している必要があります。

ローカルシステムが、インターフェイスを起動するようにネットワーク構成ファイルを作成するために必要な、アダプターのネットワークインターフェイスを構成しない場合。
- たとえばsles15sp1で、/etc/sysconfig/network/の下にifcfg-ethXファイルを作成すること。

修正

この製品は、HPE Ethernet 10Gb 2ポート562TアダプターおよびHPE Ethernet 10Gb 2ポート562FLR-Tアダプターで失敗したリカバリを実行するときにECCエラーが発生する問題に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

このパッケージは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 4ポート366Tアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート366FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368FLR-MMTアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート361Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568FLR-MMSFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 560FLR-SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート369iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート366i通信ボード
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート363iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート366iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート361iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568FLR-MMTアダプター

HPE Intelオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Edition

バージョン: 5.2.3.0 **(オプション)**
ファイル名: cp041704.compsig; cp041704.exe

重要な注意！

HPEは、このファームウェアで使用するために、ご使用のデバイスに適用可能な次のドライバーの少なくとも1つをお勧めします:

- *HPE Intel ixn*ドライバー*for Windows*、バージョン3.14.214.0
- *HPE Intel ixs*ドライバー*for Windows*、バージョン3.14.214.0
- *HPE Intel i40ea*ドライバー*for Windows*、バージョン1.12.171.0
- *HPE Intel i40eb*ドライバー*for Windows*、バージョン1.12.171.0
- *HPE Intel vxn*ドライバー*for Windows*、バージョン1.2.199.0
- *HPE Intel vxs*ドライバー*for Windows*、バージョン1.2.199.0

このソフトウェアパッケージは、以下にリストされるサポートされるネットワークアダプターの次のファームウェアのバージョンを含みます:

NIC	EEPROM/NVMバージョン	OROMバージョン	シングルNVMバージョン
HPE Ethernet 1Gb 2ポート361iアダプター	8000106F	1.2688.0	該当なし
HP Ethernet 1Gb 2ポート361Tアダプター	80000F91	1.2688.0	該当なし

NIC	EEPROM/NVMバージョン	OROMバージョン	シングルNVMバージョン
HPE Ethernet 1Gb 2ポート363iアダプター	80000D00	1.2688.0	該当なし
HPE Ethernet 1Gb 4ポート366i通信ボード	80000EBF	1.2688.0	該当なし
HPE Ethernet 1Gb 4ポート366iアダプター	8000105E	1.2688.0	該当なし
HP Ethernet 1Gb 4ポート366FLRアダプター	80001060	1.2688.0	該当なし
HP Ethernet 1Gb 4ポート366Tアダプター	8000105F	1.2688.0	該当なし
HPE Ethernet 1Gb 2ポート368iアダプター	80002192	1.2688.0	該当なし
HPE Ethernet 1Gb 2ポート368FLR-MMTアダプター	8000218B	1.2688.0	該当なし
HPE Ethernet 1Gb 4ポート369iアダプター	8000218F	1.2688.0	該当なし
HP Ethernet 10Gb 2-port 560FLR-SFP+ アダプター	80000838	1.2688.0	該当なし
HPE Ethernet 10Gb 2ポート560SFP+アダプター	80000835	1.2688.0	該当なし
HPE Ethernet 10Gb 2ポート568iアダプター	80002190	1.2688.0	該当なし
HPE Ethernet 10Gb 2ポート568FLR-MMSFP+アダプター	8000218B	1.2688.0	該当なし
HPE Ethernet 10Gb 2ポート568FLR-MMTアダプター	8000218B	1.2688.0	該当なし
HPE Ethernet 10Gb 2ポート563iアダプター	800035C0	1.1375.0	該当なし
HPE Ethernet 10Gb 2ポート562FLR-SFP+アダプター	800083C2	1.2688.0	10.53.7
HPE Ethernet 10Gb 2ポート562FLR-Tアダプター	800011BD	1.2688.0	10.53.4
HPE Ethernet 10Gb 2ポート562SFP+アダプター	800083C1	1.2688.0	10.53.7
HPE Ethernet 10Gb 2ポート562Tアダプター	8000115A	1.2688.0	10.53.3

コンボイメージv1.2688.0は以下を含みます:Boot Agent: 1GbE - v1.5.88、10GbE - v2.4.44、40GbE - v1.1.16 & UEFIドライバー:1GbE - v9.2.06、10GbE - v7.6.13、40GbE - v4.1.20

コンボイメージv1.1375.0は以下を含みます: Boot Agent: 1GbE - v1.5.72、10GbE - v2.3.46、40GbE - v1.0.21 &UEFIドライバー: 1GbE - v6.9.13、10GbE - v5.0.20、40GbE - v1.5.14

シングルNVMバージョンは、以前に使用されていたバージョンEEPROM/NVMまたはOROMバージョンの代わりに統合されたバージョンを表す新しいファームウェア形式です。

事前要件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

修正

- この製品は、システムがシャットダウンする前に送信されているマジックパケットがある場合にシステムが自動的にウェイクアップするというWOLの問題に対処します。Windows®でPMEを有効にするための対応するドライバー設定も採用する必要があります。
- この製品は、HPE Ethernet 10Gb 2ポート562TアダプターおよびHPE Ethernet 10Gb 2ポート562FLR-Tアダプターで失敗したリカバリを実行するときにECCエラーが発生する問題に対処します。

サポートしているデバイスおよび機能

このパッケージは、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 1Gb 4ポート366Tアダプター
- HP Ethernet 1Gb 4ポート366FLRアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368FLR-MMTアダプター
- HP Ethernet 1Gb 2ポート361Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568FLR-MMSFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562FLR-Tアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート562FLR-SFP+アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート560SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2-port 560FLR-SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート369iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート366i通信ボード
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート368iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート363iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 4ポート366iアダプター
- HPE Ethernet 1Gb 2ポート361iアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート568FLR-MMTアダプター

HPE Mellanox Ethernetアダプター専用のオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (ESXi 6.5)

バージョン: 1.0.8 **(推奨)**
ファイル名: CP044339.compsig; CP044339.zip

重要な注意！

FWバージョン2.42.5000 での既知の問題:

- mlxconfigを使用してcq_timestampを有効または無効にすることはサポートされていません。
- 2つの別個のLEDスキーム(Phy LEDと論理LED)を備えたカードでは、Phy LEDだけが点灯します。つまり、オレンジ色のLEDは、ETHリンクがアイドルモードの間はアクティブではありません。
- SR-IOVセットアップでは、PFがVMに渡されるときにmlxconfigを使用すると、ハイパーバイザーの再起動を必要とします。
- 前のGAにダウングレードするにはサーバーのリブートが必要です。v2.30.8000以降のバージョンから2.30.8000より前のバージョンにダウングレードするには、サーバーのリブートが必要です。サーバーを再起動します。
- ConnectX-3 Ethernet アダプターカードでは、ファームウェア管理ツールによって返されるGUID値とデバイスファームウェアを通してGUIDを読み込むファブリック/ドライバーユーティリティ(例えば、ibstatを使用)によって返される値の間にミスマッチがあります。ユーティリティがMACアドレスから得られた値を返すとき、Mlxburn/flintはGUIDとして0xffffを返します。すべてのドライバー/ファームウェア/ソフトウェアのために、後者の値が使用されるべきです。
- SBRはConnectX®-3アダプターのために最低50msアサートされる必要があります
- Pilot1 SL230で、PCIeリンクは時々Gen3の速度に達しません。
- ドライバーの互換性の問題のため、SR-IOVがVPIカードで有効になっている場合、RH6.3インボックスドライバーがカーネルパニックを引き起こします。
- アドバンストステアリングモードで、MCGごとに8以上のQPを持つ場合、サイドバンド管理接続性が失われることがあります。
- システムBIOSでSR-IOVが無効にされたとき、Linuxカーネルv3.8のUbuntu v12.04.3で、Mellanoxを含むいくつかの製造業者のNICが動作しない可能性があるPCI問題が認識されています。

- MFTツールは、ツール動作が停止を強制された場合にロックされたフラッシュセマフォを残すことがありました。セマフォがロックされていると、ファームウェアはフラッシュにアクセスすることができず、ハングアップします。
- MC2210411-SR4モジュールを使用する場合、ケーブル情報MADは正しくないケーブル情報をレポートします。
- 10C/分以上のスピードで温度が上昇するとGen2が故障します(MT27518A1-FDIR-BVのみ)。
- MT27518A1-FDIR-BVでは10C/分以上のスピードで温度が上昇するとPCIe Gen2リンクが不安定になります。
- Bloomフィルターは、現在サポートされません。
- ファームウェアダウングレードメッセージ ファームウェアv2.11.0000からダウングレードし、MFT 3.0.0-3を使用する場合
- MLNX_OFED-2.0.3でInfiniBandを使用する場合、RM＃DMFSを有効にしないでください
- RM#VPD読み取り専用のフィールドが書き込み可能です。
- SymbolErrorCounterの増加 ポート1 FDRとポート2 40Gを使用してVPIモードで動作すると、エラーカウンターが誤動作して急激に増加します
- デバイスを128Byte CQ/EQストライドに設定するとサイドバンド管理が正常に機能せず、コミュニケーション消失につながります。
- CQおよびEQを異なるストライドサイズに構成することはできません。
- ConnectX-3 Pro VFデバイスIDは、ドライバーの制限のためのConnectX-3 VFデバイスIDと同じように示されます。
- PXE (レガシー)をG9サーバーで稼働中のRSOD。これはPXEブートに失敗し、BIOSがHDDからブートするときにのみ起こります。現在BIOSの修正は保留中です。
- ポートがETHスイッチに接続されているときに、NCSI/IPMIが有効になっている状態でポートプロトコルをETHからIBに変更することは推奨されません。
- IPv6上でのRDPは、現在機能しません。
- Sniffer QP では、"push to that rule"と同等の挿入スキームのあるQPを追加した後に正規のルールを削除できません。
- PCI Physical FunctionごとのBoot Entry Vector (BEV)のみがサポートされているので、最初のポートを無効化すると、二番目のポートも消えてしまいます。
- NICは、56GbEポートリンクのNICポートからケーブルが外れてしまっている場合に、リンクダウンをドライバーに通知しません。
- 100GbE 光ケーブルを使用している場合に、56GbE リンクが起動しません。
- MLNX_OFED v3.3-1.0.0.0を使用している場合、サーバーのリブートが非同期イベントハンドラーから呼ばれたmlx-4_en_get_drvinfo() のカーネルパニックにより、動けなくなることがあります。
- 832298: ibdumpを実行しているとき、ループバックトラフィックがカーネルドライバーにミラーリングされます。
- AHSが誤ったMTUサイズをレポートします
- RM#846523: ifconfigを使用してOSから設定されたMACアドレスがOCBBバッファーに反映されません。

FWバージョン14.22.1414での既知の問題:

- フックで負の温度を設定すると、PLDMセンサー読み取りコマンドを実行しているときに誤ったセンサー状態がレポートされます。
- ヘルスカウンターが10msごとでなく50msごとに大きくなります。
- mlxconfigツールが、既存の拡張ROMイメージだけを表示するのでなく、可能なすべての拡張ROMイメージを表示します。
- nic_receive_steering_discard コマンドを実行しているとき、イーサーネットマルチキャストループバックパケットがカウントされません(ローカルループバックパケットでなくても)。
- デュアルポートVHCAが非ネイティブポートでRoCEパケットを送信し、パケットが系列のvport FDBに到達すると、パケットソースvportが一致するルールで不一致が起きる場合があります。

FWバージョン12.22.1414での既知の問題:

- フックで負の温度を設定すると、PLDMセンサー読み取りコマンドを実行しているときに誤ったセンサー状態がレポートされます。
- まれに、署名がされた再送信/パケット損失が原因でエラーが発生し、接続が終了することがあります。
- ヘルスカウンターが10msごとでなく50msごとに大きくなります。
- mlxconfigツールが、既存の拡張ROMイメージだけを表示するのでなく、可能なすべての拡張ROMイメージを表示します。
- nic_receive_steering_discard コマンドを実行しているとき、イーサーネットマルチキャストループバックパケットがカウントされません(ローカルループバックパケットでなくても)。

- デュアルポートVHCAが非ネイティブポートでRoCEパケットを送信し、パケットが系列のvport FDBに到達すると、パケットソースvportが一致するルールで不一致が起きる場合があります。
- DC CNAKストレステスト中に、DC CNAKタイムアウト(CNAKドロップ)が発生することがあります。

FWバージョン16.22.1414での既知の問題:

- フックで負の温度を設定すると、PLDMセンサー読み取りコマンドを実行しているときに誤ったセンサー状態がレポートされます。
- ヘルスカウンターが10msごとでなく50msごとに大きくなります。

修正

バージョン2.42.5044 で提出された修正:

- ファームウェアがlink_downイベントを検出することを妨げることで、IBボンドインターフェイスがフェイルオーバーモードになることを妨げる問題。

以下の問題点がバージョン14.27.4000で修正されました:

- デバイスがFLRモードに入ったときに送信パケットがハングしました。
- write_enビットマスクを適用することで、バーの構成をバイト単位で有効にしました。
- 負荷が高く、多くのオープンリソースでソフトウェアのリセットフローを実行中にデバイスがハングしました。
- 完了(CQ)は、ファームウェアトランスポートエラーハンドラーとエラーストレッサーの競合状態が原因で完了しました。エラーストレッサーは、ファームウェアトランスポートエラーハンドラーフローをハングさせます。
- 断片化されたIPパケットは破棄されました。

以下の問題点がバージョン16.27.2008で修正されました:

- 有効なビットエラーレート(BER)(FEC後)は設計目標(10e-14以下など)を満たすと予想されますが、それよりも高い場合がありました。
- 0.5/1mタイプのDACとHDRスピードのケーブルを接続すると高いBERが発生しました。
- PCIeリンクを無効にした後で速度を変更すると、PCIe Txパラメーターが正しく読み込まれませんでした。
- desched_thresholdフィールドが正しく機能しませんでした。
- 「roce_adp_retrans」カウンターは「local_ack_timeout_err」カウンターの値を示していました。
- 「setpci」コマンドを実行してRelaxed Orderingを無効にした場合、「setpci」コマンドを再度実行して再度有効にしても機能しません。

拡張

次のデバイスのファームウェアが2.42.5044にアップデートされます:

779799-B21(HP Ethernet 10Gb 2ポート546FLR-SFP+アダプター)
779793-B21(HP Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが14.27.4000にアップデートされました:

817749-B21(HPE Ethernet 25Gb 2ポート640FLR-SFP28アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが14.27.4000にアップデートされました:
817753-B21(HPE Ethernet 25Gb 2ポート640SFP28アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが16.27.2008にアップデートされました:

874253-B21(HPE Ethernet 100Gb 1ポート 842QSFP28アダプター)

バージョン16.27.2008の新機能および変更:

- PRMに表示されている次のセグメントをリソースダンプに追加しました。
  - PRM_QUERY_QP
  - PRM_QUERY_CQ
  - PRM_QUERY_MKEY
  - QUERY_VNIC_ENV

バージョン14.27.4000の新機能および変更:

- 電力削減のためのmlxconfigサポートを追加しました。
  - PCI CAP
  - AUTO_POWER_SAVE_LINK_DOWN

サポートしているデバイスおよび機能

HPE部品番号	InfiniBandカードタイプ	PSID
779793-B21	HP Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター	HP_1200111023
779799-B21	HP Ethernet 10Gb 2ポート546FLR-SFP+アダプター	HP_2240110004
817749-B21	HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640FLR-SFP28 アダプター	HP_2690110034
817753-B21	HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640SFP28 アダプター	HP_2420110034
868779-B21	HPE Synergy 6410C 25/50Gb Ethernetアダプター	HPE0000000006
874253-B21	HPE Ethernet 100Gb 1ポート 842QSFP28 アダプター	HPE0000000014

HPE QLogic FastLinQオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64

バージョン: 1.9.8 **(オプション)**
ファイル名: firmware-nic-qlogic-flq-1.9.8-1.1.x86_64.compsig; firmware-nic-qlogic-flq-1.9.8-1.1.x86_64.rpm

重要な注意！

この製品のファームウェアとともに使用する場合は、*HPE QLogic FastLinQ 10/25/50GbE Drivers for Linux*、バージョン8.50.25.0-1以降を推奨しています。

事前要件

このパッケージは、ご使用のネットワークアダプターのための適切なドライバーがインストールされ、ファームウェアをアップデートする前にすべてのイーサーネットポートをアップ(*ifup ethX*、*ifconfig ethX up*、または*wicked ifup ethX*)している必要があります。

ローカルシステムが、インターフェイスを起動するようにネットワーク構成ファイルを作成するために必要な、アダプターのネットワークインターフェイスを構成しない場合。
- たとえばsles15sp1で、/etc/sysconfig/network/の下にifcfg-ethXファイルを作成すること。

修正

- この製品は、Flexible-LOM上の共有ネットワークでの実行中に発生するiLO Webページの異常な切断を修正します。
- この製品は、HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート622FLR-SFP28アダプターおよびHPE Ethernet 10/25Gb 2ポート621SFP28アダプターのUMCE(修正不可能なMachine Check Exception)後に回復不可能なI/Oエラー、サーバーでの修正不可能なPCI Expressエラーが続き、ポートのいずれかが突然トラフィックを送受信できなくなる問題に対処します。
- この製品は、正しいメモリの再配置によって起動時にドライバーがロードされない問題を解決します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート524SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート521Tアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート622FLR-SFP28コンバージドネットワークアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート621SFP28アダプター
- HPE StoreFabric CN1300Rコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200R-Tコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic FastLinQオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for VMware

バージョン: 4.12.12 **(オプション)**
ファイル名: CP041875.compsig; CP041875.zip

重要な注意！

このファームウェアとともに使用する場合は、*HPE QLogic FastLinQ 10/25/50GbE*マルチファンクションドライバー*for VMware*、バージョン2020.09.14以降を推奨しています。

このソフトウェアパッケージには、コンボイメージバージョンv8.52.12が含まれています。

- ブートコード(MFW):8.52.9.0
- UEFI:4.1.10.2
- PXE:2.0.19

ユーザーがコンボイメージのバージョンを確認できるのは、対話型モードのファームウェアアップデート、またはサポートされているアダプター上でHPSUM/SPPを使用してファームウェアをアップデートしている間だけです。

事前要件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

修正

- この製品は、Flexible-LOM上の共有ネットワークでの実行中に発生するiLO Webページの異常な切断を修正します。
- この製品は、HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート622FLR-SFP28アダプターおよびHPE Ethernet 10/25Gb 2ポート621SFP28アダプターのUMCE(修正不可能なMachine Check Exception)後に回復不可能なI/Oエラー、サーバーでの修正不可能なPCI Expressエラーが続き、ポートのいずれかが突然トラフィックを送受信できなくなる問題に対処します。
- この製品は、正しいメモリの再配置によって起動時にドライバーがロードされない問題を解決します。

拡張

この製品は、MBIファームウェアアップデートの機能を改善します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート524SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート521Tアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート622FLR-SFP28コンバージドネットワークアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート621SFP28アダプター
- HPE StoreFabric CN1300Rコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200R-Tコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic FastLinQオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Editions

バージョン: 5.2.3.0 **(オプション)**
ファイル名: cp041876.compsig; cp041876.exe

重要な注意！

HPEは、このファームウェアで使用するために、ご使用のデバイスに適用可能な次のドライバーの少なくとも1つをお勧めします:

- *HPE QLogic FastLinQ 10/25/50 GbE*ドライバー*for Windows Server x64 Editions*、バージョン8.50.10.0

このコンボイメージバージョンv8.52.12には以下が含まれます。

- ブートコード(MFW):8.52.9.0
- UEFI:4.1.10.2
- PXE:2.0.19

ユーザーがコンボイメージのバージョンを確認できるのは、対話型モードのファームウェアアップデート、またはサポートされているアダプター上でHPSUM/SPPを使用してファームウェアをアップデートしている間だけです。

事前要件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

修正

- この製品は、Flexible-LOM上の共有ネットワークでの実行中に発生するiLO Webページの異常な切断を修正します。
- この製品は、HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート622FLR-SFP28およびHPE Ethernet 10/25Gb 2ポート621SFP28アダプターのUMCE(修正不可能なMachine Check Exception)後に回復不可能なI/Oエラー、サーバーでの修正不可能なPCI Expressエラーが続き、ポートのいずれかが突然トラフィックを送受信できなくなる問題に対処します。
- この製品は、正しいメモリの再配置によって起動時にドライバーがロードされない問題を解決します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10Gb 2ポート524SFP+ アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポート521Tアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート622FLR-SFP28コンバージドネットワークアダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート621SFP28アダプター
- HPE StoreFabric CN1300Rコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1200R-Tコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic NX2オンライン ファームウェアアップグレードユーティリティ for VMware

バージョン: 1.27.11 **(オプション)**
ファイル名: CP041878.compsig; CP041878.zip

重要な注意！

このファームウェアとともに使用する場合は、HPE QLogic NX2 10/20GbE Multifunction Drivers for VMware、バージョン2020.09.14以降を推奨しています。

このソフトウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンを含むコンボイメージv7.18.69が含まれています:

NIC	ブートコードバージョン	PXEバージョン	UEFIバージョン	iSCSIバージョン	FCoEバージョン	CCMバージョン	L2バージョン
HP Ethernet 10Gb 2ポート530SFP+アダプター HP Ethernet 10Gb 2ポート530Tアダプター	7.15.77	7.14.13	8.7.2	該当なし	該当なし	7.14.4	7.12.25
HP Ethernet 10Gb 2ポート533FLR-Tアダプター HP FlexFabric 10Gb 2ポート534FLR-SFP+アダプター HPE FlexFabric 10Gb 4ポート	7.15.77	7.14.13	8.7.2	7.14.0	7.14.3	7.14.4	7.12.25

536FLR-Tアダプター HP StoreFabric CN1100R Dual Portコンバージドネットワークアダプター HPE StoreFabric CN1100R-Tコンバージドネットワークアダプター							

事前要件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

修正

- この製品は、RBSUでのアダプター名の表示の問題を修正します。
- この製品は、アダプターの熱報告および温度しきい値制御に関するいくつかの問題を修正します。
- この製品は、セキュアブートモードでMBIファームウェアアップデートが実行されるときのエラーに対処します。
- この製品は、NPAR(Network Partitioning)が有効になっているシステムの電源を入れるときに予期しないUMCE(Uncorrectable Machine Check Exception)が表示される問題を解決します。

拡張

この製品は、MBIファームウェアアップデートの機能を改善します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート530SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート530Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート533FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート534FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート536FLR-Tアダプター
- HP StoreFabric CN1100R Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1100R-Tコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic NX2オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64

バージョン: 2.27.8 **(オプション)**

ファイル名: firmware-nic-qlogic-nx2-2.27.8-1.1.x86_64.compsig; firmware-nic-qlogic-nx2-2.27.8-1.1.x86_64.rpm

重要な注意！

このパッケージのファームウェアとともに使用する場合は、*HPE QLogic NX2 10/20GbE Multifunction Drivers for Linux*、バージョン7.14.70-1以降を推奨しています。

事前要件

このパッケージは、ご使用のネットワークアダプターのための適切なドライバーがインストールされ、ファームウェアをアップデートする前にすべてのイーサーネットポートをアップ(*ifup ethX*、*ifconfig ethX up*、または*wicked ifup ethX*)している必要があります。

ローカルシステムが、インターフェイスを起動するようにネットワーク構成ファイルを作成するために必要な、アダプターのネットワークインターフェイスを構成しない場合。
- たとえばsles15sp1で、/etc/sysconfig/network/の下にifcfg-ethXファイルを作成すること。

修正

- この製品は、RBSUでのアダプター名の表示の問題を修正します。
- この製品は、アダプターの熱報告および温度しきい値制御に関するいくつかの問題を修正します。
- この製品は、NPAR(Network Partitioning)が有効になっているシステムの電源を入れるときに予期しないUMCE(Uncorrectable Machine Check Exception)が表示される問題を解決します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート530SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート530Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート533FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート534FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート536FLR-Tアダプター
- HP StoreFabric CN1100R Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1100R-Tコンバージドネットワークアダプター

HPE QLogic NX2オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Edition

バージョン: 5.2.3.0 **(オプション)**
ファイル名: cp041879.compsig; cp041879.exe

重要な注意！

HPEは、このファームウェアで使用するために、ご使用のデバイスに適用可能な次のドライバーの少なくとも1つをお勧めします:

- *HPE QLogic NX2 10/20GbE*マルチファンクションドライバー*for Windows Server x64 Edition*、バージョン7.13.187.0以降

このソフトウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンを含むコンボイメージv7.18.69が含まれています:

NIC	ブートコードバージョン	PXEバージョン	UEFIバージョン	iSCSIバージョン	FCoEバージョン	CCMバージョン	L2バージョン
HP Ethernet 10Gb 2ポート530SFP+アダプター HP Ethernet 10Gb 2ポート530Tアダプター	7.15.77	7.14.13	8.7.2	該当なし	該当なし	7.14.4	7.12.25
HP Ethernet 10Gb 2ポート533FLR-Tアダプター HP FlexFabric 10Gb 2ポート534FLR-SFP+アダプター HPE FlexFabric 10Gb 4ポート536FLR-Tアダプター HP StoreFabric CN1100R Dual Portコンバージドネットワークアダプター HPE StoreFabric CN1100R-Tコンバージドネットワークアダプター	7.15.77	7.14.13	8.7.2	7.14.0	7.14.3	7.14.4	7.12.25

ユーザーがコンボイメージのバージョンを確認できるのは、対話型モードのファームウェアアップデート、またはサポートされているアダプター上でHPSUM/SPPを使用してファームウェアをアップデートしている間だけです。

事前要件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

修正

- この製品は、RBSUでのアダプター名の表示の問題を修正します。
- この製品は、アダプターの熱報告および温度しきい値制御に関するいくつかの問題を修正します。
- この製品は、NPAR(Network Partitioning)が有効になっているシステムの電源を入れるときに予期しないUMCE(Uncorrectable Machine Check Exception)が表示される問題を解決します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HP Ethernet 10Gb 2ポート530SFP+アダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート530Tアダプター
- HP Ethernet 10Gb 2ポート533FLR-Tアダプター
- HP FlexFabric 10Gb 2ポート534FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 4ポート536FLR-Tアダプター
- HP StoreFabric CN1100R Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric CN1100R-Tコンバージドネットワークアダプター

HPEファームウェアフラッシュfor VMware vSphere 6.5用Emulexコンバージドネットワークアダプター

バージョン: 2020.09.01 (b) **(推奨)**
ファイル名: CP044549.compsig; CP044549.zip

重要な注意！

リリースノート:

HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へアクセスしてください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

以下を修正しました。

UEFI:

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプターおよびHPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプターは、2番目のポートでブートソースの作成を完了しません

ファームウェア:

- Unified Extensible Firmware Interface(UEFI)でポートを無効にすると、発光ダイオード(LED)は無効状態になります
- いくつかのアダプターで、ファームウェアレポートのNIC詳細に重複エントリが見つかりました。
- 一部のROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)で、HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプターの完全なアダプター名が表示されません。
- HPE Emulex XE-102ベースのネットワークアダプター HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-T Adapter with CNA(XE100 シリーズ)ファームウェア12.0.1110.0、12.0.1110.10、または12.0.1110.11(またはそれ以降)を使用して構成されたHPE ProLiant サーバーでは、ネットワークアダプターに「リンクダウン」状態が発生し、電源サイクルやリセットでは回復できない場合があります。

詳細については、次のリンク先の「特定のHPE Emulex XE-102ベースのネットワークアダプターが組み込まれているHPE ProLiantサーバーで、ファームウェアの問題のためリンクがダウンすることがある」と題されたドキュメントを参照してください。https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00099050en_us

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	ファームウェア
HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター	10Gb	12.0.1280.5
HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター	10Gb	12.0.1280.5
HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター	20Gb	12.0.1280.5
HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター	20Gb	12.0.1280.5
HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター	20Gb	12.0.1280.5
HPE CN1200E-Tデュアルポートアダプター	20Gb	12.0.1280.5

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

修正

以下を修正しました。

UEFI:

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプターおよびHPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプターは、2番目のポートでブートソースの作成を完了しません

ファームウェア:

- Unified Extensible Firmware Interface(UEFI)でポートを無効にすると、発光ダイオード(LED)は無効状態になります
- いくつかのアダプターで、ファームウェアレポートのNIC詳細に重複エントリが見つかりました。
- 一部のROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)で、HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプターの完全なアダプター名が表示されません。
- HPE Emulex XE-102ベースのネットワークアダプター HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-T Adapter with CNA(XE100 シリーズ)ファームウェア12.0.1110.0、12.0.1110.10、または12.0.1110.11(またはそれ以降)を使用して構成されたHPE ProLiant サーバーでは、ネットワークアダプターに「リンクダウン」状態が発生し、電源サイクルやリセットでは回復できない場合があります。

詳細については、次のリンク先の「特定のHPE Emulex XE-102ベースのネットワークアダプターが組み込まれているHPE ProLiantサーバーで、ファームウェアの問題のためリンクがダウンすることがある」と題されたドキュメントを参照してください。https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00099050en_us

拡張

CNA (XE100シリーズ)ファームウェアをアップデートしました

ファームウェア

含まれるもの:

CNA(XE100シリーズ)ファームウェア12.0.1280.5

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター
- HPE CN1200E-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター

HPEファームウェアフラッシュfor VMware vSphere 6.7用Emulexコンバージドネットワークアダプター

バージョン: 2020.09.01 (b) **(推奨)**
ファイル名: CP044550.compsig; CP044550.zip

重要な注意！

リリースノート:

HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へアクセスしてください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

以下を修正しました。

UEFI:

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプターおよびHPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプターは、2番目のポートでブートソースの作成を完了しません

ファームウェア:

- Unified Extensible Firmware Interface(UEFI)でポートを無効にすると、発光ダイオード(LED)は無効状態になります
- いくつかのアダプターで、ファームウェアレポートのNIC詳細に重複エントリが見つかりました。
- 一部のROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)で、HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプターの完全なアダプター名が表示されません。
- HPE Emulex XE-102ベースのネットワークアダプター HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-T Adapter with CNA(XE100 シリーズ)ファームウェア12.0.1110.0、12.0.1110.10、または12.0.1110.11(またはそれ

以降)を使用して構成されたHPE ProLiant サーバーでは、ネットワークアダプターに「リンクダウン」状態が発生し、電源サイクルやリセットでは回復できない場合があります。

詳細については、次のリンク先の「特定のHPE Emulex XE-102ベースのネットワークアダプターが組み込まれているHPE ProLiantサーバーで、ファームウェアの問題のためリンクがダウンすることがある」と題されたドキュメントを参照してください。https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00099050en_us

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	ファームウェア
HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター	10Gb	12.0.1280.5
HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター	10Gb	12.0.1280.5
HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター	20Gb	12.0.1280.5
HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター	20Gb	12.0.1280.5
HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター	20Gb	12.0.1280.5
HPE CN1200E-Tデュアルポートアダプター	20Gb	12.0.1280.5

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

修正

以下を修正しました。

UEFI:

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプターおよびHPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプターは、2番目のポートでブートソースの作成を完了しません

ファームウェア:

- Unified Extensible Firmware Interface(UEFI)でポートを無効にすると、発光ダイオード(LED)は無効状態になります
- いくつかのアダプターで、ファームウェアレポートのNIC詳細に重複エントリが見つかりました。
- 一部のROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)で、HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプターの完全なアダプター名が表示されません。
- HPE Emulex XE-102ベースのネットワークアダプター HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-T Adapter with CNA(XE100 シリーズ)ファームウェア12.0.1110.0、12.0.1110.10、または12.0.1110.11(またはそれ以降)を使用して構成されたHPE ProLiant サーバーでは、ネットワークアダプターに「リンクダウン」状態が発生し、電源サイクルやリセットでは回復できない場合があります。

詳細については、次のリンク先の「特定のHPE Emulex XE-102ベースのネットワークアダプターが組み込まれているHPE ProLiantサーバーで、ファームウェアの問題のためリンクがダウンすることがある」と題されたドキュメントを参照してください。https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00099050en_us

拡張

CNA (XE100シリーズ)ファームウェアをアップデートしました

ファームウェア

含まれるもの:

CNA(XE100シリーズ)ファームウェア12.0.1280.5

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター
- HPE CN1200E-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター

HPEファームウェアフラッシュfor VMware vSphere 7.0用Emulexコンバージドネットワークアダプター

バージョン: 2020.09.01 (b) **(推奨)**
ファイル名: CP044565.compsig; CP044565.zip

重要な注意！

リリースノート:

HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へアクセスしてください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

以下を修正しました。

UEFI:

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプターおよびHPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプターは、2番目のポートでブートソースの作成を完了しません

ファームウェア:

- Unified Extensible Firmware Interface(UEFI)でポートを無効にすると、発光ダイオード(LED)は無効状態になります
- いくつかのアダプターで、ファームウェアレポートのNIC詳細に重複エントリが見つかりました。
- 一部のROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)で、HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプターの完全なアダプター名が表示されません。
- HPE Emulex XE-102ベースのネットワークアダプター HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-T Adapter with CNA(XE100 シリーズ)ファームウェア12.0.1110.0、12.0.1110.10、または12.0.1110.11(またはそれ以降)を使用して構成されたHPE ProLiant サーバーでは、ネットワークアダプターに「リンクダウン」状態が発生し、電源サイクルやリセットでは回復できない場合があります。

詳細については、次のリンク先の「特定のHPE Emulex XE-102ベースのネットワークアダプターが組み込まれているHPE ProLiantサーバーで、ファームウェアの問題のためリンクがダウンすることがある」と題されたドキュメントを参照してください。https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00099050en_us

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	ファームウェア
HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター	10Gb	12.0.1280.5
HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター	10Gb	12.0.1280.5
HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター	20Gb	12.0.1280.5
HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター	20Gb	12.0.1280.5
HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター	20Gb	12.0.1280.5
HPE CN1200E-Tデュアルポートアダプター	20Gb	12.0.1280.5

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

修正

以下を修正しました。

UEFI:

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプターおよびHPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプターは、2番目のポートでブートソースの作成を完了しません

ファームウェア:

- Unified Extensible Firmware Interface(UEFI)でポートを無効にすると、発光ダイオード(LED)は無効状態になります
- いくつかのアダプターで、ファームウェアレポートのNIC詳細に重複エントリが見つかりました。
- 一部のROMベースセットアップユーティリティ(RBSU)で、HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプターの完全なアダプター名が表示されません。
- HPE Emulex XE-102ベースのネットワークアダプター HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-T Adapter with CNA(XE100 シリーズ)ファームウェア12.0.1110.0、12.0.1110.10、または12.0.1110.11(またはそれ以降)を使用して構成されたHPE ProLiant サーバーでは、ネットワークアダプターに「リンクダウン」状態が発生し、電源サイクルやリセットでは回復できない場合があります。

詳細については、次のリンク先の「特定のHPE Emulex XE-102ベースのネットワークアダプターが組み込まれているHPE ProLiantサーバーで、ファームウェアの問題のためリンクがダウンすることがある」と題されたドキュメントを参照してください。https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00099050en_us

拡張

CNA(XE100シリーズ)ファームウェアをアップデートしました

ファームウェア

含まれるもの:

CNA(XE100シリーズ)ファームウェア12.0.1280.5

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター
- HPE CN1200E-Tアダプター

- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター

Marvell FastLinQオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Linux x86_64

バージョン: 1.9.10 **(オプション)**
ファイル名: firmware-nic-is-marvell-flq-1.9.10-1.1.x86_64.compsig; firmware-nic-is-marvell-flq-1.9.10-1.1.x86_64.rpm

重要な注意！

この製品のファームウェアとともに使用する場合は、*Marvell FastLinQ 10/25/50GbE*ドライバー*for Linux*、バージョン8.50.25.0-1以降を推奨しています。

事前要件

このパッケージは、ご使用のネットワークアダプターのための適切なドライバーがインストールされ、ファームウェアをアップデートする前にすべてのイーサーネットポートをアップ(*ifup ethX* または*ifconfig ethX up*)している必要があります。

修正

- この製品は、異なる速度でリンクが稼働しているときの一貫性のないLED動作の問題を修正します。
- この製品は、F7キーを押して工場出荷時のデフォルト値を復元できない問題を修正します。
- この製品は、正しいメモリの再配置によって起動時にドライバーがロードされない問題を解決します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 QL41232HQCU OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 QL41232HLCUアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 4ポートSFP+ QL41134HLCUアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートBaseT QL41132HLRJアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートBaseT QL41132HQRJ OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ QL41132HQCU OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ QL41132HLCUアダプター

Marvell FastLinQオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for VMware

バージョン: 4.12.14 **(オプション)**
ファイル名: CP042279.compsig; CP042279.zip

重要な注意！

このソフトウェアパッケージには、コンボイメージv8.52.21が含まれています。このコンボイメージには以下が含まれます。

- ブートコード(MFW):8.52.9.0
- UEFI:6.1.7.3

事前要件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

修正

- この製品は、異なる速度でリンクが稼働しているときの一貫性のないLED動作の問題を修正します。

- この製品は、F7キーを押して工場出荷時のデフォルト値を復元できない問題を修正します。
- この製品は、正しいメモリの再配置によって起動時にドライバーがロードされない問題を解決します。

拡張

この製品は、ESXi 7.0でのファームウェアのアップグレードをサポートするようになりました。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 QL41232HQCU OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 QL41232HLCUアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 4ポートSFP+ QL41134HLCUアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートBaseT QL41132HLRJアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートBaseT QL41132HQRJ OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ QL41132HQCU OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ QL41132HLCUアダプター

Marvell FastLinQオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ for Windows Server x64 Editions

バージョン: 5.2.3.0 **(オプション)**
ファイル名: cp042280.compsig; cp042280.exe

重要な注意！

この製品のファームウェアとともに使用する場合は、*Marvell FastLinQ 10/25/50 GbE*ドライバー*for Windows Server x64*エディション*8.50.10.0*以降を推奨しています。

このソフトウェアパッケージには、コンボイメージv8.52.21が含まれています。このコンボイメージには以下が含まれます。

- ブートコード(MFW):8.52.9.0
- UEFI:6.1.7.3

事前要件

この製品では、ファームウェアをアップデートする前に、使用するデバイスおよびオペレーティングシステム用の適切なドライバーがインストールされている必要があります。

修正

- この製品は、異なる速度でリンクが稼働しているときの一貫性のないLED動作の問題を修正します。
- この製品は、F7キーを押して工場出荷時のデフォルト値を復元できない問題を修正します。
- この製品は、正しいメモリの再配置によって起動時にドライバーがロードされない問題を解決します。

サポートしているデバイスおよび機能

この製品は、以下のネットワークアダプターをサポートします。

- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 QL41232HQCU OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 QL41232HLCUアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 4ポートSFP+ QL41134HLCUアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートBaseT QL41132HLRJアダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートBaseT QL41132HQRJ OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ QL41132HQCU OCP3アダプター
- HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ QL41132HLCUアダプター

Mellanox ConnectX6Dx Open Ethernetカードのオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ(ESXi 7.0)

バージョン: 1.0.0 **(推奨)**
ファイル名: CP044406.compsig; CP044406.zip

修正

以下の問題点がファームウェアバージョン22.27.6008で修正されました:

- IBパディングが必要なときにドロップするカプセル化されたRoCEトラフィック。
- カウンターの不正確さが原因で予期しないときにカウントするPortXmitWait HWカウンター。
- Rxバッファーの変更後のデュアルポートデバイスで、2番目のポートの物理機能が予期されないにもかかわらず復元される。 1つのポート上で(reboot /driver restart / FLRを介して)すべての物理機能がリセットされ、一方で2番目のポート上にアクティブな物理機能があるとき、Rxバッファーが変更される。
- SBPR、SBPM、SBCM、PFCCフロー制御などの共有バッファーの変更を実行した後に、以前の共有バッファーの変更がオーバーランされる。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが22.27.6008にアップデートされます:

P25960-B21(HPE Ethernet 100Gb 2ポートQSFP56 MCX623106AS-CDATアダプター)

バージョン22.27.6008の新機能および変更:

- Mellanox NICを使用してMellanoxスイッチに、Mellanox NICを使用してサードパーティスイッチに接続する場合にPAM4リンク速度をサポートする最小のソフトウェア/ファームウェアバージョンは次のとおりです。
  - Mellanox Spectrum-3:30.2007.1142
  - Mellanox Spectrum-2:29.2007.1142
  - スイッチSDK:4.4.0920
  - Mellanox Onyx:3.9.0830-038
  - SONiC/SAI:201911
  - ConnectX-6 Dx:22.27.2008

*注記:このファームウェアバージョンのNICは、PAM4リンク速度でMellanox-to-Mellanox接続をサポートします。

- Programmable Congestion Control(PCC)はGAレベルです。
- キーサイズ256のTLSオフロードv1.3を有効にしました。

Mellanox Open ConnectX6Dx Ethernetカードのオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ(ESXi 6.5)

バージョン: 1.0.2 **(推奨)**
ファイル名: CP044265.compsig; CP044265.zip

修正

以下の問題点がファームウェアバージョン22.27.6008で修正されました:

- IBパディングが必要なときにドロップするカプセル化されたRoCEトラフィック。
- カウンターの不正確さが原因で予期しないときにカウントするPortXmitWait HWカウンター。
- Rxバッファーの変更後のデュアルポートデバイスで、2番目のポートの物理機能が予期されないにもかかわらず復元される。 1つのポート上で(reboot /driver restart / FLRを介して)すべての物理機能がリセットされ、一方で2番目のポート上にアクティブな物理機能があるとき、Rxバッファーが変更される。
- SBPR、SBPM、SBCM、PFCCフロー制御などの共有バッファーの変更を実行した後に、以前の共有バッファーの変更がオーバーランされる。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが22.27.6008にアップデートされます:

P25960-B21(HPE Ethernet 100Gb 2ポートQSFP56 MCX623106AS-CDATアダプター)

バージョン22.27.6008の新機能および変更:

- Mellanox NICを使用してMellanoxスイッチに、Mellanox NICを使用してサードパーティスイッチに接続する場合にPAM4リンク速度をサポートする最小のソフトウェア/ファームウェアバージョンは次のとおりです。
  - Mellanox Spectrum-3:30.2007.1142
  - Mellanox Spectrum-2:29.2007.1142
  - スイッチSDK:4.4.0920
  - Mellanox Onyx:3.9.0830-038
  - SONiC/SAI:201911
  - ConnectX-6 Dx:22.27.2008

*注記:このファームウェアバージョンのNICは、PAM4リンク速度でMellanox-to-Mellanox接続をサポートします。

- Programmable Congestion Control(PCC)はGAレベルです。
- キーサイズ256のTLSオフロードv1.3を有効にしました。

Mellanox Open Ethernetカードのオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ(ESXi 6.5)

バージョン: 1.0.3 **(推奨)**
ファイル名: CP044345.zip; CP044345_part1.compsig; CP044345_part2.compsig

重要な注意！

ファームウェア14.26.1040および14.26.2002の既知の問題:

- OCP3.0カードで、ハードウェア調停は現在、無効になっています。同じハードウェアの将来のリリースでサポートされる予定です。
- パケットペーシングではmax_tc値が"1"であることが必須のため、このモードが利用可能なとき、複数のTCを必要とする機能はアクティブになりません。
- パフォーマンスの考慮事項により、ユニキャストループバックトラフィックはNIC SXテーブルを通過し、マルチキャストループバックトラフィックはNIC SXテーブルをスキップします。

ファームウェア16.26.1040および16.26.2002の既知の問題:

- LFWPフローの実行中にNVMoFオフロードターゲットを作成すると、デバイスが不安定になる場合があります。
- sw_resetアクションは、ライブパッチフローの途中で開始されると失敗します。
- WindowsでSocket Directデバイスにmlxfwresetを使用すると、ブルースクリーンが発生する場合があります。
- デュアルポートRoCE機能が有効なとき、SX_RDMAはサポートされません。この動作が原因で、他のポートで送信されたパケットはSX_RDMAテーブルによって処理されます。
- OCP3.0カードで、ハードウェア調停は現在、無効になっています。同じハードウェアの将来のリリースでサポートされる予定です。
- ATSが有効なとき、sw_resetオプションはサポートされません
- ヘアピン機能を使用しているとき、VLANストリップまたは"modify esw vport context"コマンドを使用すると、パケットに不正なVLANヘッダーが含まれる可能性があります。
- DC LAGは、ポートごとに1つのPFが存在し、アクティブなVFがない場合にしか機能しません。
- パフォーマンスの考慮事項により、ユニキャストループバックトラフィックはNIC SXテーブルを通過し、マルチキャストループバックトラフィックはNIC SXテーブルをスキップします。
- サポートされている最大サイズ(最大のPF_BAR2_SIZEは4)よりもPF_BAR2_SIZEの値を高く設定すると、ファームウェアアサートが発生する場合があります。
- CWDM4 AOMケーブルは現在サポートされていません

修正

以下の問題点がバージョン16.27.2008で修正されました:

- 有効なビットエラーレート(BER)(FEC後)は設計目標(10e-14以下など)を満たすと予想されますが、それよりも高い場合がありました。
- 0.5/1mタイプのDACとHDRスピードのケーブルを接続すると高いBERが発生しました。
- PCIeリンクを無効にした後で速度を変更すると、PCIe Txパラメーターが正しく読み込まれませんでした。
- desched_thresholdフィールドが正しく機能しませんでした。
- 「roce_adp_retrans」カウンターは「local_ack_timeout_err」カウンターの値を示していました。
- 「setpci」コマンドを実行してRelaxed Orderingを無効にした場合、「setpci」コマンドを再度実行して再度有効にしても機能しません。

以下の問題点がバージョン14.27.4000で修正されました:

- 負荷が高く、多くのオープンリソースでソフトウェアのリセットフローを実行中にデバイスがハングしました。
- VSCを使用してsend_ring_doorbellsをトリガーしているときに、PXEパフォーマンスの低下が見られました。
- IPoIBとDCは連動しません。
- DC機能の問題。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが14.27.4000にアップデートされました:

P21930-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ MCX4121A-XCATアダプター)
P11341-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ MCX4621A-ACAB OCP3アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが16.27.2008にアップデートされました:

P13188-B21(HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 MCX512F-ACATアダプター)
P21927-B21(HPE Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28 MCX516A-CCHTアダプター)
P10112-B21(HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 MCX562A-ACAI OCP3アダプター)

バージョン14.27.4000の新機能および変更:

- PRMに表示されている次のセグメントをリソースダンプに追加しました。
  - PRM_QUERY_QP
  - PRM_QUERY_CQ
  - PRM_QUERY_MKEY
  - QUERY_VNIC_ENV

バージョン16.27.2008の新機能および変更:

このリリースには、重要な信頼性の向上とセキュリティ強化の機能改善が含まれています。デバイスのファームウェアセキュリティと信頼性を向上させるために、デバイスのファームウェアをこのリリースにアップグレードしてください。

- 並列関数の初期化におけるinit_hcaの性能を改善しました。

サポートしているデバイスおよび機能

HPE部品番号	Mellanox Ethernetアダプター専用	PSID
P21930-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート SFP+ MCX4121A-XCHTアダプター	MT_0000000414
P11341-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート SFP+ MCX4621A-ACAB OCP3アダプター	MT_0000000238
P13188-B21	HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 MCX512F-ACHTアダプター	MT_0000000416
P10112-B21	HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 MCX562A-ACAI OCP3アダプター	MT_0000000241
P21927-B21	HPE Ethernet 100Gb 2ポート QSFP28 MCX516A-CCHTアダプター	MT_0000000417

Mellanox Open Ethernetカードのオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ(ESXi 6.7)

バージョン: 1.0.3 **(推奨)**
ファイル名: CP044346.zip; CP044346_part1.compsig; CP044346_part2.compsig

重要な注意！

ファームウェア14.26.1040および14.26.2002の既知の問題:

- OCP3.0カードで、ハードウェア調停は現在、無効になっています。同じハードウェアの将来のリリースでサポートされる予定です。
- パケットペーシングではmax_tc値が"1"であることが必須のため、このモードが利用可能なとき、複数のTCを必要とする機能はアクティブになりません。
- パフォーマンスの考慮事項により、ユニキャストループバックトラフィックはNIC SXテーブルを通過し、マルチキャストループバックトラフィックはNIC SXテーブルをスキップします。

ファームウェア16.26.1040および16.26.2002の既知の問題:

- LFWPフローの実行中にNVMoFオフロードターゲットを作成すると、デバイスが不安定になる場合があります。
- sw_resetアクションは、ライブパッチフローの途中で開始されると失敗します。
- WindowsでSocket Directデバイスにmlxfwresetを使用すると、ブルースクリーンが発生する場合があります。
- デュアルポートRoCE機能が有効なとき、SX_RDMAはサポートされません。この動作が原因で、他のポートで送信されたパケットはSX_RDMAテーブルによって処理されます。
- OCP3.0カードで、ハードウェア調停は現在、無効になっています。同じハードウェアの将来のリリースでサポートされる予定です。
- ATSが有効なとき、sw_resetオプションはサポートされません
- ヘアピン機能を使用しているとき、VLANストリップまたは"modify esw vport context"コマンドを使用すると、パケットに不正なVLANヘッダーが含まれる可能性があります。
- DC LAGは、ポートごとに1つのPFが存在し、アクティブなVFがない場合にしか機能しません。
- パフォーマンスの考慮事項により、ユニキャストループバックトラフィックはNIC SXテーブルを通過し、マルチキャストループバックトラフィックはNIC SXテーブルをスキップします。
- サポートされている最大サイズ(最大のPF_BAR2_SIZEは4)よりもPF_BAR2_SIZEの値を高く設定すると、ファームウェアアサートが発生する場合があります。
- CWDM4 AOMケーブルは現在サポートされていません

修正

以下の問題点がバージョン16.27.2008で修正されました:

- 有効なビットエラーレート(BER)(FEC後)は設計目標(10e-14以下など)を満たすと予想されますが、それよりも高い場合がありました。
- 0.5/1mタイプのDACとHDRスピードのケーブルを接続すると高いBERが発生しました。
- PCIeリンクを無効にした後で速度を変更すると、PCIe Txパラメーターが正しく読み込まれませんでした。
- desched_thresholdフィールドが正しく機能しませんでした。
- 「roce_adp_retrans」カウンターは「local_ack_timeout_err」カウンターの値を示していました。
- 「setpci」コマンドを実行してRelaxed Orderingを無効にした場合、「setpci」コマンドを再度実行して再度有効にしても機能しません。

以下の問題点がバージョン14.27.4000で修正されました:

- 負荷が高く、多くのオープンリソースでソフトウェアのリセットフローを実行中にデバイスがハングしました。
- VSCを使用してsend_ring_doorbellsをトリガーしているときに、PXEパフォーマンスの低下が見られました。
- IPoIBとDCは連動しません。
- DC機能の問題。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが14.27.4000にアップデートされました:

P21930-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ MCX4121A-XCATアダプター)
P11341-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ MCX4621A-ACAB OCP3アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが16.27.2008にアップデートされました:

P13188-B21(HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 MCX512F-ACATアダプター)
P21927-B21(HPE Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28 MCX516A-CCHTアダプター)
P10112-B21(HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 MCX562A-ACAI OCP3アダプター)

バージョン14.27.4000の新機能および変更:

- PRMに表示されている次のセグメントをリソースダンプに追加しました。
  - PRM_QUERY_QP
  - PRM_QUERY_CQ
  - PRM_QUERY_MKEY
  - QUERY_VNIC_ENV

バージョン16.27.2008の新機能および変更:

このリリースには、重要な信頼性の向上とセキュリティ強化の機能改善が含まれています。デバイスのファームウェアセキュリティと信頼性を向上させるために、デバイスのファームウェアをこのリリースにアップグレードしてください。

- 並列関数の初期化におけるinit_hcaの性能を改善しました。

サポートしているデバイスおよび機能

HPE部品番号	Mellanox Ethernetアダプター専用	PSID
P21930-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート SFP+ MCX4121A-XCHTアダプター	MT_0000000414
P11341-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート SFP+ MCX4621A-ACAB OCP3アダプター	MT_0000000238
P13188-B21	HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 MCX512F-ACHTアダプター	MT_0000000416
P10112-B21	HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 MCX562A-ACAI OCP3アダプター	MT_0000000241
P21927-B21	HPE Ethernet 100Gb 2ポート QSFP28 MCX516A-CCHTアダプター	MT_0000000417

Mellanox Open Ethernetカードのオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ(Linux x86_64)

バージョン: 1.0.3 **(推奨)**
ファイル名: firmware-nic-open-mellanox-eth-mft-1.0.3-1.1.x86_64.compsig; firmware-nic-open-mellanox-eth-mft-1.0.3-1.1.x86_64.rpm

重要な注意！

ファームウェア14.26.1040および14.26.2002の既知の問題:

- OCP3.0カードで、ハードウェア調停は現在、無効になっています。同じハードウェアの将来のリリースでサポートされる予定です。
- パケットペーシングではmax_tc値が"1"であることが必須のため、このモードが利用可能なとき、複数のTCを必要とする機能はアクティブになりません。
- パフォーマンスの考慮事項により、ユニキャストループバックトラフィックはNIC SXテーブルを通過し、マルチキャストループバックトラフィックはNIC SXテーブルをスキップします。

ファームウェア16.26.1040および16.26.2002の既知の問題:

- LFWPフローの実行中にNVMoFオフロードターゲットを作成すると、デバイスが不安定になる場合があります。

- sw_resetアクションは、ライブパッチフローの途中で開始されると失敗します。
- WindowsでSocket Directデバイスにmlxfwresetを使用すると、ブルースクリーンが発生する場合があります。
- デュアルポートRoCE機能が有効なとき、SX_RDMAはサポートされません。この動作が原因で、他のポートで送信されたパケットはSX_RDMAテーブルによって処理されます。
- OCP3.0カードで、ハードウェア調停は現在、無効になっています。同じハードウェアの将来のリリースでサポートされる予定です。
- ATSが有効なとき、sw_resetオプションはサポートされません
- ヘアピン機能を使用しているとき、VLANストリップまたは"modify esw vport context"コマンドを使用すると、パケットに不正なVLANヘッダーが含まれる可能性があります。
- DC LAGは、ポートごとに1つのPFが存在し、アクティブなVFがない場合にしか機能しません。
- パフォーマンスの考慮事項により、ユニキャストループバックトラフィックはNIC SXテーブルを通過し、マルチキャストループバックトラフィックはNIC SXテーブルをスキップします。
- サポートされている最大サイズ(最大のPF_BAR2_SIZEは4)よりもPF_BAR2_SIZEの値を高く設定すると、ファームウェアアサートが発生する場合があります。
- CWDM4 AOMケーブルは現在サポートされていません

修正

以下の問題点がバージョン16.27.2008で修正されました:

- 有効なビットエラーレート(BER)(FEC後)は設計目標(10e-14以下など)を満たすと予想されますが、それよりも高い場合がありました。
- 0.5/1mタイプのDACとHDRスピードのケーブルを接続すると高いBERが発生しました。
- PCIeリンクを無効にした後で速度を変更すると、PCIe Txパラメーターが正しく読み込まれませんでした。
- desched_thresholdフィールドが正しく機能しませんでした。
- 「roce_adp_retrans」カウンターは「local_ack_timeout_err」カウンターの値を示していました。
- 「setpci」コマンドを実行してRelaxed Orderingを無効にした場合、「setpci」コマンドを再度実行して再度有効にしても機能しません。

以下の問題点がバージョン14.27.4000で修正されました:

- 負荷が高く、多くのオープンリソースでソフトウェアのリセットフローを実行中にデバイスがハングしました。
- VSCを使用してsend_ring_doorbellsをトリガーしているときに、PXEパフォーマンスの低下が見られました。
- IPoIBとDCは連動しません。
- DC機能の問題。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが14.27.4000にアップデートされました:

P21930-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ MCX4121A-XCATアダプター)
P11341-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ MCX4621A-ACAB OCP3アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが16.27.2008にアップデートされました:

P13188-B21(HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 MCX512F-ACATアダプター)
P21927-B21(HPE Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28 MCX516A-CCHTアダプター)
P10112-B21(HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 MCX562A-ACAI OCP3アダプター)

バージョン12.27.4000の新機能および変更:

- PRMに表示されている次のセグメントをリソースダンプに追加しました。
  - PRM_QUERY_QP
  - PRM_QUERY_CQ
  - PRM_QUERY_MKEY
  - QUERY_VNIC_ENV

バージョン16.27.2008の新機能および変更:

このリリースには、重要な信頼性の向上とセキュリティ強化の機能改善が含まれています。デバイスのファームウェアセキュリティと信頼性を向上させるために、デバイスのファームウェアをこのリリースにアップグレードしてください。

- 並列関数の初期化におけるinit_hcaの性能を改善しました。

サポートしているデバイスおよび機能

HPE部品番号	Mellanox Ethernetアダプター専用	PSID
P21930-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート SFP+ MCX4121A-XCHTアダプター	MT_0000000414
P11341-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート SFP+ MCX4621A-ACAB OCP3アダプター	MT_0000000238
P13188-B21	HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 MCX512F-ACHTアダプター	MT_0000000416
P10112-B21	HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 MCX562A-ACAI OCP3アダプター	MT_0000000241
P21927-B21	HPE Ethernet 100Gb 2ポート QSFP28 MCX516A-CCHTアダプター	MT_0000000417

Mellanox Open Ethernetカードのオンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (Windows x64)

バージョン: 1.0.0.3 **(推奨)**
ファイル名: cp044408.compsig; cp044408.exe

重要な注意！

ファームウェア14.26.1040および14.26.2002の既知の問題:

- OCP3.0カードで、ハードウェア調停は現在、無効になっています。同じハードウェアの将来のリリースでサポートされる予定です。
- パケットペーシングではmax_tc値が"1"であることが必須のため、このモードが利用可能なとき、複数のTCを必要とする機能はアクティブになりません。
- パフォーマンスの考慮事項により、ユニキャストループバックトラフィックはNIC SXテーブルを通過し、マルチキャストループバックトラフィックはNIC SXテーブルをスキップします。

ファームウェア16.26.1040および16.26.2002の既知の問題:

- LFWPフローの実行中にNVMoFオフロードターゲットを作成すると、デバイスが不安定になる場合があります。
- sw_resetアクションは、ライブパッチフローの途中で開始されると失敗します。
- WindowsでSocket Directデバイスにmlxfwresetを使用すると、ブルースクリーンが発生する場合があります。
- デュアルポートRoCE機能が有効なとき、SX_RDMAはサポートされません。この動作が原因で、他のポートで送信されたパケットはSX_RDMAテーブルによって処理されます。
- OCP3.0カードで、ハードウェア調停は現在、無効になっています。同じハードウェアの将来のリリースでサポートされる予定です。
- ATSが有効なとき、sw_resetオプションはサポートされません
- ヘアピン機能を使用しているとき、VLANストリップまたは"modify esw vport context"コマンドを使用すると、パケットに不正なVLANヘッダーが含まれる可能性があります。
- DC LAGは、ポートごとに1つのPFが存在し、アクティブなVFがない場合にしか機能しません。
- パフォーマンスの考慮事項により、ユニキャストループバックトラフィックはNIC SXテーブルを通過し、マルチキャストループバックトラフィックはNIC SXテーブルをスキップします。
- サポートされている最大サイズ(最大のPF_BAR2_SIZEは4)よりもPF_BAR2_SIZEの値を高く設定すると、ファームウェアアサートが発生する場合があります。
- CWDM4 AOMケーブルは現在サポートされていません

修正

以下の問題点がバージョン16.27.2008で修正されました:

- 有効なビットエラーレート(BER)(FEC後)は設計目標(10e-14以下など)を満たすと予想されますが、それよりも高い場合がありました。
- 0.5/1mタイプのDACとHDRスピードのケーブルを接続すると高いBERが発生しました。
- PCIeリンクを無効にした後で速度を変更すると、PCIe Txパラメーターが正しく読み込まれませんでした。
- desched_thresholdフィールドが正しく機能しませんでした。
- 「roce_adp_retrans」カウンターは「local_ack_timeout_err」カウンターの値を示していました。
- 「setpci」コマンドを実行してRelaxed Orderingを無効にした場合、「setpci」コマンドを再度実行して再度有効にしても機能しません。

以下の問題点がバージョン14.27.4000で修正されました:

- 負荷が高く、多くのオープンリソースでソフトウェアのリセットフローを実行中にデバイスがハングしました。
- VSCを使用してsend_ring_doorbellsをトリガーしているときに、PXEパフォーマンスの低下が見られました。
- IPoIBとDCは連動しません。
- DC機能の問題。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが14.27.4000にアップデートされました:

P21930-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ MCX4121A-XCATアダプター)
P11341-B21(HPE Ethernet 10Gb 2ポートSFP+ MCX4621A-ACAB OCP3アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが16.27.2008にアップデートされました:

P13188-B21(HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 MCX512F-ACATアダプター)
P21927-B21(HPE Ethernet 100Gb 2ポートQSFP28 MCX516A-CCHTアダプター)
P10112-B21(HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 MCX562A-ACAI OCP3アダプター)

バージョン12.27.4000の新機能および変更:

- PRMに表示されている次のセグメントをリソースダンプに追加しました。
  - PRM_QUERY_QP
  - PRM_QUERY_CQ
  - PRM_QUERY_MKEY
  - QUERY_VNIC_ENV

バージョン16.27.2008の新機能および変更:

このリリースには、重要な信頼性の向上とセキュリティ強化の機能改善が含まれています。デバイスのファームウェアセキュリティと信頼性を向上させるために、デバイスのファームウェアをこのリリースにアップグレードしてください。

- 並列関数の初期化におけるinit_hcaの性能を改善しました。

サポートしているデバイスおよび機能

HPE部品番号	Mellanox Ethernetアダプター専用	PSID
P21930-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート SFP+ MCX4121A-XCHTアダプター	MT_0000000414
P11341-B21	HPE Ethernet 10Gb 2ポート SFP+ MCX4621A-ACAB OCP3アダプター	MT_0000000238
P13188-B21	HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 MCX512F-ACHTアダプター	MT_0000000416
P10112-B21	HPE Ethernet 10/25Gb 2ポート SFP28 MCX562A-ACAI OCP3アダプター	MT_0000000241
P21927-B21	HPE Ethernet 100Gb 2ポート QSFP28 MCX516A-CCHTアダプター	MT_0000000417

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (ESXi 6.7) for HPE Mellanox VPI (Ethernet and Infiniband mode) devices on VMware ESXi 6.7

バージョン: 1.0.4 **(推奨)**
ファイル名: CP044335.compsig; CP044335.zip

修正

バージョン2.42.5000での修正:

- PortRcvPktsカウンターはリセット後にクリアされませんでした。
- 10個を超える仮想ファンクションがFLRを実行し、完了タイムアウト値が16ミリ秒より小さい範囲に構成されている場合に、仮想ファンクション(VF)の構成サイクルでシステムのタイムアウトが発生する問題。
- ドライバーを(別のスレッドから)並行して再起動しているときに、"mlxfwtop –d mt4103_pci_cr0"を実行した場合、サーバーがハングしてNMIになります。この場合、デバイスのダウンストリームブリッジは完了タイムアウトエラーを報告しました。
- bmc_rebootの実行後にBMCがIPv6でpingを受信できなかったflow_steeringの問題。
- HCAを閉じている間、RXパケットは存在しなかったリソースへの不正アクセスを引き起こし、その結果QPCGWまたはiriscがスタックしました。
- ポートがActiveやArmedの状態でない場合に、マスターMLIDとLIDが0または0xFFFFである問題。
- ibdumpがすべてのMADパケットをキャプチャーできない問題。
- 再起動後にリンクアップしませんでした。
- sw_resetの実行中に到着したPCIeコンフィギュレーションサイクルが2つの完了を生成する原因となる、まれな問題を修正しました。
- iniファイル内にdisable_stat-ic_steering_iniフィールドを追加したときに、スクラッチパッドでのこのフィールドのメモリ割り当ての問題により、ネットワークコントローラーサイドバンドインターフェイス(NC-SI)が動作しなくなる問題。

バージョン2.42.5056での修正:

- VPIアダプターデバイスでポートがInfiniBandとして構成されている場合に、UEFIブートからOSブートへのハンドオーバーで無効なI/Oアドレスからの読み取りの結果として発生する問題を修正しました。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5000にアップデートされます。
764282-B21
764286-B21

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5056にアップデートされます。
764283-B21
764284-B21

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5700にアップデートされます:
764285-B21

ファームウェアバージョン2.42.5000での新機能:

- 以下の機能のサポートを追加しました。
  - 新しいTLV: CX3_GLOBAL_CONFを使用して、mlxconfig構成を介して着信パケットのタイムスタンプを有効または無効にします。
  - ユーザーMAC構成。
  - ドライバーのリセット前に自動的にmstdumpを収集します。
  - TPT(iron)からDEAD_IRISC(plastic)を検出し、アサートを発生させるメカニズム。
  - user_mtuのサイズをファームウェアに示す"set port"コマンドに新しいフィールドの追加。
- コマンドタイムアウトの場合のデバッグ機能が向上しました。

ファームウェアバージョン2.42.5700の新機能および変更。

- mlx_cmd_get_mlx_link_statusコマンドの戻り値を、Ethernetアダプターカードで"Link Type = Ethernet"を返すように変更しました。

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (Linux x86_64) for HPE Intel OPA

adapters

バージョン: 1.9.2 **(推奨)**
ファイル名: firmware-nic-intel-opa-hfi-1.9.2-1.1.x86_64.compsig; firmware-nic-intel-opa-hfi-1.9.2-1.1.x86_64.rpm

修正

以下の問題がバージョン1.9.2で修正されました。

- SLES 15カーネル設定のため、HFIドライバーがロードされている間はhfi1_epromは機能しません。ツールとドライバーは相互に排他的です。

拡張

バージョン1.9.2の変更点および主な新しい機能:

- hfi1_eprom **v10_9_2_0_0**を追加しました。
- Loader ROM **HfiPcieGen3Loader_1.9.2.0.0.rom**およびドライバーEFI **HfiPcieGen3_1.9.2.0.0.efi**が追加されました。

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (Linux x86_64) for HPE Mellanox IB only ConnectX4 device on Linux x86_64 platform

バージョン: 1.0.6 **(推奨)**
ファイル名: firmware-nic-mellanox-ib-cx4-cx5-1.0.6-1.1.x86_64.compsig; firmware-nic-mellanox-ib-cx4-cx5-1.0.6-1.1.x86_64.rpm

拡張

次のデバイス用のファームウェアが12.26.1040にアップデートされました:

843400-B21 (HPE Apollo A10 InfiniBand EDR (100Gb) 2ポートアダプター)

次のデバイス用のファームウェアが16.26.1040にアップデートされます。

872723-B21(HPE Apollo InfiniBand EDR 100Gb 2ポート841zメザニンアダプター)
872725-B21(HPE InfiniBand EDR 100Gb 1ポート841QSFP28アダプター)

ファームウェアバージョン12.26.1040および16.26.1040の新機能および変更:

- ICMDコマンドを使用して、cmdifと同様の診断カウンターを処理することにより、ファームウェアを有効にしました。これらはvsecスペースを介して呼び出すことができます。カウンターの値は、トレーサー経由でのみ返されます。ICMD Query Capsはサポートを示し、サポートされているカウンターのリストを公開します。
- ユーザーコンテキストオブジェクト(DEVX)は、ユーザーごとのコンテナー化されたサンドボックスであり、一般オブジェクトコマンド、UMEMおよびUCTXコンテキストを使用してPRMコマンドに安全にアクセスします。この機能で許可される機能は、ユーザーの権限によって異なります。
  次の機能は引き続きカーネルによって管理されます。
  - リソースのクリーニング
  - UCTXスタンピング
  - これらのUCTXからの物理アドレスとIRQのブロック
- コマンドインターフェイスを使用した、DEVXユーザーへのサポートされている関連および非関連の非同期イベントの報告のサポートが追加されました。
- Zero-Touch-RoCE機能を使用する場合は、ユーザーがデバッグ目的でZero-Touch-RoCEカウンターを使用できるようになりました。
- このリリースには、重要な信頼性の向上とセキュリティ強化の機能改善が含まれています。 Mellanoxでは、デバイスファームウェアのセキュリティと信頼性を向上させるために、デバイスファームウェアをこのリリースにアップグレードすることを推奨しています。

ファームウェアバージョン16.26.1040の変更および新機能:

- 以下の機能のサポートを追加しました。
  - MKEYおよびUMEMのアドレス変換サービス(ATS)のサポート。
  - 仮想機能(VF)の重要製品データ(VPD)の公開。

- ヘアピンドロップカウンター。
- DevXを操作するためのヘアピンとTM RNDV QP。
- eSwitch/Forwarding Table(FDB)のソフトウェア管理ステアリングテーブルの作成。

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (Windows x64) for HPE Mellanox IB only ConnectX4 device on Windows x86_64 platform

バージョン: 1.0.0.6 **(推奨)**
ファイル名: cp044357.compsig; cp044357.exe

拡張

次のデバイス用のファームウェアが12.26.1040にアップデートされました:

843400-B21 (HPE Apollo A10 InfiniBand EDR (100Gb) 2ポートアダプター)

次のデバイス用のファームウェアが16.26.1040にアップデートされます。

872723-B21(HPE Apollo InfiniBand EDR 100Gb 2ポート841zメザニンアダプター)
872725-B21(HPE InfiniBand EDR 100Gb 1ポート841QSFP28アダプター)

ファームウェアバージョン12.26.1040および16.26.1040の新機能および変更:

- ICMDコマンドを使用して、cmdifと同様の診断カウンターを処理することにより、ファームウェアを有効にしました。これらはvsecスペースを介して呼び出すことができます。カウンターの値は、トレーサー経由でのみ返されます。ICMD Query Capsはサポートを示し、サポートされているカウンターのリストを公開します。
- ユーザーコンテキストオブジェクト(DEVX)は、ユーザーごとのコンテナー化されたサンドボックスであり、一般オブジェクトコマンド、UMEMおよびUCTXコンテキストを使用してPRMコマンドに安全にアクセスします。この機能で許可される機能は、ユーザーの権限によって異なります。
  次の機能は引き続きカーネルによって管理されます。
  - リソースのクリーニング
  - UCTXスタンピング
  - これらのUCTXからの物理アドレスとIRQのブロック
- コマンドインターフェイスを使用した、DEVXユーザーへのサポートされている関連および非関連の非同期イベントの報告のサポートが追加されました。
- Zero-Touch-RoCE機能を使用する場合は、ユーザーがデバッグ目的でZero-Touch-RoCEカウンターを使用できるようになりました。
- このリリースには、重要な信頼性の向上とセキュリティ強化の機能改善が含まれています。 Mellanoxでは、デバイスファームウェアのセキュリティと信頼性を向上させるために、デバイスファームウェアをこのリリースにアップグレードすることを推奨しています。

ファームウェアバージョン16.26.1040の変更および新機能:

- 以下の機能のサポートを追加しました。
  - MKEYおよびUMEMのアドレス変換サービス(ATS)のサポート。
  - 仮想機能(VF)の重要製品データ(VPD)の公開。
  - ヘアピンドロップカウンター。
  - DevXを操作するためのヘアピンとTM RNDV QP。
  - eSwitch/Forwarding Table(FDB)のソフトウェア管理ステアリングテーブルの作成。

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (Windows x64) for HPE Mellanox VPI (Ethernet and Infiniband mode) ConnectX4 devices on Windows x86_64 platform

バージョン: 1.0.0.8 **(推奨)**
ファイル名: cp044172.compsig; cp044172.exe

修正

バージョン12.26.1040で提出された修正:

- IPoIBは、動的接続トランスポート(DC)CNAKキューペア(QP)がアクティブな場合に機能できませんでした。
- まれに、firmware coalesce Host stuckイベントが発生すると、非同期イベントが報告されるまで遅延し、PCIeがホストのいずれかで次にハングするまでトリガーされないことがあります。

- GMP Mellanox Vendor Specific External Capability mask enumの名前を、IsDiagnosticCountersSupportedからIsDiagnosticDataSupportedに変更しました。
- PCIe Transaction Layer Packet(TLP)がポイズニングの兆候で設定されている場合に機能が誤動作する問題を修正しました。

バージョン16.26.1040で提出された修正:

- まれに、firmware coalesce Host stuckイベントが発生すると、非同期イベントが報告されるまで遅延し、PCIeがホストのいずれかで次にハングするまでトリガーされないことがあります。
- 予期しないキューペアは、損失の多いテストでエラーに移行しました。
- PFで作成されるダンプの最大量を制限しました。
- GMP Mellanox Vendor Specific External Capability mask enumの名前を、IsDiagnosticCountersSupportedからIsDiagnosticDataSupportedに変更しました。
- ストレス下でのRDMA over Converged Ethernet(RoCE)再送信の安定性の問題は、Zero-Touch-RoCEに影響を与えていました。
- PCIe Transaction Layer Packet(TLP)がポイズニングの兆候で設定されている場合に機能が誤動作する問題を修正しました。
- TTL書き換えでジャンボフレームを実行すると、大量のパケットがドロップしました。
- サービス品質(QoS)ツリー2Kの要素の数を制限しました。
  注記:TCごとに250を超えるVport_tcを作成することは許可されていません。
- キューペア(QP)フロークエリは常にポート1を使用していました。ファームウェアは、デュアルポートRoCEネットデバイスの適切なポート1または2に応答するようになりました。
- ナックカウンターが常に"0"として報告されました。
- まれなシナリオとして、ドライバーが"2err"コマンドを実行し、QPがSend Queue(SQ)ドレイン状態にあった場合、ファームウェアは、すべてのWQEでエラーの完了キューエントリー(CQE)を送信する代わりに、破損したワークキューエントリー(WQ)のイベントをポストすることがあります。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが12.26.1040にアップデートされました:

825110-B21 (HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28アダプター)
825111-B21 (HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが16.26.1040にアップデートされます。

879482-B21 (HPE InfiniBand FDR/Ethernet 40/50Gb 2ポート 547FLR-QSFPアダプター)
872726-B21 (HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2-port 841QSFP28アダプター)

ファームウェアバージョン12.26.1040および16.26.1040の新機能および変更:

- ICMDコマンドを使用して、cmdifと同様の診断カウンターを処理することにより、ファームウェアを有効にしました。これらはvsecスペースを介して呼び出すことができます。カウンターの値は、トレーサー経由でのみ返されます。ICMD Query Capsはサポートを示し、サポートされているカウンターのリストを公開します。
- ユーザーコンテキストオブジェクト(DEVX)は、ユーザーごとのコンテナー化されたサンドボックスであり、一般オブジェクトコマンド、UMEMおよびUCTXコンテキストを使用してPRMコマンドに安全にアクセスします。この機能で許可される機能は、ユーザーの権限によって異なります。
  次の機能は引き続きカーネルによって管理されます。
  - リソースのクリーニング
  - UCTXスタンピング
  - これらのUCTXからの物理アドレスとIRQのブロック
- コマンドインターフェイスを使用した、DEVXユーザーへのサポートされている関連および非関連の非同期イベントの報告のサポートが追加されました。
- Zero-Touch-RoCE機能を使用する場合は、ユーザーがデバッグ目的でZero-Touch-RoCEカウンターを使用できるようになりました。
- このリリースには、重要な信頼性の向上とセキュリティ強化の機能改善が含まれています。 Mellanoxでは、デバイスファームウェアのセキュリティと信頼性を向上させるために、デバイスファームウェアをこのリリースにアップグレードすることを推奨しています。

ファームウェアバージョン16.26.1040の変更および新機能:

- 以下の機能のサポートを追加しました。
  - MKEYおよびUMEMのアドレス変換サービス(ATS)のサポート。
  - 仮想機能(VF)の重要製品データ(VPD)の公開。

- ヘアピンドロップカウンター。
- DevXを操作するためのヘアピンとTM RNDV QP。
- eSwitch/Forwarding Table(FDB)のソフトウェア管理ステアリングテーブルの作成。

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (ESXi 6.5) for HPE Mellanox VPI (EthernetおよびInfinibandモード) デバイス - VMware ESXi 6.5

バージョン: 1.0.6 **(推奨)**
ファイル名: CP044334.compsig; CP044334.zip

修正

バージョン2.42.5000での修正:

- PortRcvPktsカウンターはリセット後にクリアされませんでした。
- 10個を超える仮想ファンクションがFLRを実行し、完了タイムアウト値が16ミリ秒より小さい範囲に構成されている場合に、仮想ファンクション(VF)の構成サイクルでシステムのタイムアウトが発生する問題。
- ドライバーを(別のスレッドから)並行して再起動しているときに、"mlxfwtop –d mt4103_pci_cr0"を実行した場合、サーバーがハングしてNMIになります。この場合、デバイスのダウンストリームブリッジは完了タイムアウトエラーを報告しました。
- bmc_rebootの実行後にBMCがIPv6でpingを受信できなかったflow_steeringの問題。
- HCAを閉じている間、RXパケットは存在しなかったリソースへの不正アクセスを引き起こし、その結果QPCGWまたはiriscがスタックしました。
- ポートがActiveやArmedの状態でない場合に、マスターMLIDとLIDが0または0xFFFFである問題。
- ibdumpがすべてのMADパケットをキャプチャーできない問題。
- 再起動後にリンクアップしませんでした。
- sw_resetの実行中に到着したPCIeコンフィギュレーションサイクルが2つの完了を生成する原因となる、まれな問題を修正しました。
- iniファイル内にdisable_stat-ic_steering_iniフィールドを追加したときに、スクラッチパッドでのこのフィールドのメモリ割り当ての問題により、ネットワークコントローラーサイドバンドインターフェイス(NC-SI)が動作しなくなる問題。

バージョン2.42.5056での修正:

- VPIアダプターデバイスでポートがInfiniBandとして構成されている場合に、UEFIブートからOSブートへのハンドオーバーで無効なI/Oアドレスからの読み取りの結果として発生する問題を修正しました。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5000にアップデートされます。
764282-B21
764286-B21

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5056にアップデートされます。
764283-B21
764284-B21

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5700にアップデートされます:
764285-B21

ファームウェアバージョン2.42.5000での新機能:

- 以下の機能のサポートを追加しました。
  - 新しいTLV: CX3_GLOBAL_CONFを使用して、mlxconfig構成を介して着信パケットのタイムスタンプを有効または無効にします。
  - ユーザーMAC構成。
  - ドライバーのリセット前に自動的にmstdumpを収集します。
  - TPT(iron)からDEAD_IRISC(plastic)を検出し、アサートを発生させるメカニズム。
  - user_mtuのサイズをファームウェアに示す"set port"コマンドに新しいフィールドの追加。
- コマンドタイムアウトの場合のデバッグ機能が向上しました。

ファームウェアバージョン2.42.5700の新機能および変更。

- mlx_cmd_get_mlx_link_statusコマンドの戻り値を、Ethernetアダプターカードで"Link Type = Ethernet"を返すように変更しました。

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (ESXi 6.5) for Mellanox Open VPI (EthernetおよびInfinibandモード) ConnectX6デバイス - VMware ESXi 6.5

バージョン: 1.0.0 **(推奨)**
ファイル名: CP044418.compsig; CP044418.zip

修正

以下の問題点がバージョン20.27.6008で修正されました:

- write_enビットマスクを適用することで、バーの構成をバイト単位で有効にしました。
- VSCを使用してsend_ring_doorbellsをトリガーすると、PXEパフォーマンスが低下します。
- 断片化されたIPパケットが破棄されていました。
- PHYなしのリセット後のファームウェアの書き込みは大幅に遅くなることが予想されます。
- PortCounters.PortRcvErr / PPCNT.infiniband_counters.PortRcvErrがポートicrcエラーを報告していませんでした。
- カウンターの不正確さが原因で、予期しないときにPortXmitWait HWカウンターが増分していました。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが20.27.6008にアップデートされます:

- HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポートMCX653105A-HDAT QSFP56 x16アダプター - P23664-B21
- HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポートMCX653105A-ECAT QSFP56 x16アダプター - P23665-B21
- HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2ポートMCX653106A-ECAT QSFP56 x16アダプター - P23666-B21

バージョン20.27.6008の新機能および変更:

- Mellanox NICを使用してMellanoxスイッチに、Mellanox NICを使用してサードパーティスイッチに接続する場合にPAM4リンク速度をサポートする最小のソフトウェア/ファームウェアバージョンは次のとおりです。
  - Mellanox Onyx:3.9.0830-038
  - ConnectX-6:20.27.2008*
    *注記:このファームウェアバージョンのNICは、PAM4リンク速度でMellanox-to-Mellanox接続をサポートします。
- 以下の機能のサポートを追加しました。
  - 最大30mのアクティブファイバーケーブルでKP4RS FECを有効にしました。
  - FDRプロトコル。
  - エンドツーエンド(E2E)クレジットパケットの即時アップデートを有効にしました。

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (ESXi 6.7) for Mellanox Open VPI (EthernetおよびInfinibandモード) ConnectX6デバイス - VMware ESXi 6.7

バージョン: 1.0.0 **(推奨)**
ファイル名: CP044419.compsig; CP044419.zip

修正

以下の問題点がバージョン20.27.6008で修正されました:

- write_enビットマスクを適用することで、バーの構成をバイト単位で有効にしました。
- VSCを使用してsend_ring_doorbellsをトリガーすると、PXEパフォーマンスが低下します。
- 断片化されたIPパケットが破棄されていました。
- PHYなしのリセット後のファームウェアの書き込みは大幅に遅くなることが予想されます。
- PortCounters.PortRcvErr / PPCNT.infiniband_counters.PortRcvErrがポートicrcエラーを報告していませんでした。

- カウンターの不正確さが原因で、予期しないときにPortXmitWait HWカウンターが増分していました。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが20.27.6008にアップデートされます:

- HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポートMCX653105A-HDAT QSFP56 x16アダプター - P23664-B21
- HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポートMCX653105A-ECAT QSFP56 x16アダプター - P23665-B21
- HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2ポートMCX653106A-ECAT QSFP56 x16アダプター - P23666-B21

バージョン20.27.6008の新機能および変更:

- Mellanox NICを使用してMellanoxスイッチに、Mellanox NICを使用してサードパーティスイッチに接続する場合にPAM4リンク速度をサポートする最小のソフトウェア/ファームウェアバージョンは次のとおりです。
  - Mellanox Onyx:3.9.0830-038
  - ConnectX-6:20.27.2008*
    *注記:このファームウェアバージョンのNICは、PAM4リンク速度でMellanox-to-Mellanox接続をサポートします。
- 以下の機能のサポートを追加しました。
  - 最大30mのアクティブファイバーケーブルでKP4RS FECを有効にしました。
  - FDRプロトコル。
  - エンドツーエンド(E2E)クレジットパケットの即時アップデートを有効にしました。

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (ESXi 7.0) for HPE Mellanox VPI (EthernetおよびInfinibandモード) デバイス - VMware ESXi 7.0

バージョン: 1.0.0 **(推奨)**
ファイル名: CP044389.compsig; CP044389.zip

修正

バージョン2.42.5000での修正:

- PortRcvPktsカウンターはリセット後にクリアされませんでした。
- 10個を超える仮想ファンクションがFLRを実行し、完了タイムアウト値が16ミリ秒より小さい範囲に構成されている場合に、仮想ファンクション(VF)の構成サイクルでシステムのタイムアウトが発生する問題。
- ドライバーを(別のスレッドから)並行して再起動しているときに、"mlxfwtop –d mt4103_pci_cr0"を実行した場合、サーバーがハングしてNMIになります。この場合、デバイスのダウンストリームブリッジは完了タイムアウトエラーを報告しました。
- bmc_rebootの実行後にBMCがIPv6でpingを受信できなかったflow_steeringの問題。
- HCAを閉じている間、RXパケットは存在しなかったリソースへの不正アクセスを引き起こし、その結果QPCGWまたはiriscがスタックしました。
- ポートがActiveやArmedの状態でない場合に、マスターMLIDとLIDが0または0xFFFFである問題。
- ibdumpがすべてのMADパケットをキャプチャーできない問題。
- 再起動後にリンクアップしませんでした。
- sw_resetの実行中に到着したPCIeコンフィギュレーションサイクルが2つの完了を生成する原因となる、まれな問題を修正しました。
- iniファイル内にdisable_stat-ic_steering_iniフィールドを追加したときに、スクラッチパッドでのこのフィールドのメモリ割り当ての問題により、ネットワークコントローラーサイドバンドインターフェイス(NC-SI)が動作しなくなる問題。

バージョン2.42.5056での修正:

- VPIアダプターデバイスでポートがInfiniBandとして構成されている場合に、UEFIブートからOSブートへのハンドオーバーで無効なI/Oアドレスからの読み取りの結果として発生する問題を修正しました。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5000にアップデートされます。

764282-B21
764286-B21

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5056にアップデートされます。

764283-B21
764284-B21

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5700にアップデートされます:

764285-B21

ファームウェアバージョン2.42.5000での新機能:

- 以下の機能のサポートを追加しました。
  - 新しいTLV: CX3_GLOBAL_CONFを使用して、mlxconfig構成を介して着信パケットのタイムスタンプを有効または無効にします。
  - ユーザーMAC構成。
  - ドライバーのリセット前に自動的にmstdumpを収集します。
  - TPT(iron)からDEAD_IRISC(plastic)を検出し、アサートを発生させるメカニズム。
  - user_mtuのサイズをファームウェアに示す"set port"コマンドに新しいフィールドの追加。
- コマンドタイムアウトの場合のデバッグ機能が向上しました。

ファームウェアバージョン2.42.5700の新機能および変更。

- mlx_cmd_get_mlx_link_statusコマンドの戻り値を、Ethernetアダプターカードで"Link Type = Ethernet"を返すように変更しました。

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (ESXi 7.0) for Mellanox Open VPI (EthernetおよびInfinibandモード) ConnectX6デバイス - VMware ESXi 7.0

バージョン: 1.0.0 **(推奨)**
ファイル名: CP044420.compsig; CP044420.zip

修正

以下の問題点がバージョン20.27.6008で修正されました:

- write_enビットマスクを適用することで、バーの構成をバイト単位で有効にしました。
- VSCを使用してsend_ring_doorbellsをトリガーすると、PXEパフォーマンスが低下します。
- 断片化されたIPパケットが破棄されていました。
- PHYなしのリセット後のファームウェアの書き込みは大幅に遅くなることが予想されます。
- PortCounters.PortRcvErr / PPCNT.infiniband_counters.PortRcvErrがポートicrcエラーを報告していませんでした。
- カウンターの不正確さが原因で、予期しないときにPortXmitWait HWカウンターが増分していました。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが20.27.6008にアップデートされます:

- HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポートMCX653105A-HDAT QSFP56 x16アダプター - P23664-B21
- HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポートMCX653105A-ECAT QSFP56 x16アダプター - P23665-B21
- HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2ポートMCX653106A-ECAT QSFP56 x16アダプター - P23666-B21

バージョン20.27.6008の新機能および変更:

- Mellanox NICを使用してMellanoxスイッチに、Mellanox NICを使用してサードパーティスイッチに接続する場合にPAM4リンク速度をサポートする最小のソフトウェア/ファームウェアバージョンは次のとおりです。
  - Mellanox Onyx:3.9.0830-038
  - ConnectX-6:20.27.2008*
    *注記:このファームウェアバージョンのNICは、PAM4リンク速度でMellanox-to-Mellanox接続をサポートします。

- 以下の機能のサポートを追加しました。
  - 最大30mのアクティブファイバーケーブルでKP4RS FECを有効にしました。
  - FDRプロトコル。
  - エンドツーエンド(E2E)クレジットパケットの即時アップデートを有効にしました。

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (Linux x86_64) for HPE Mellanox VPI (EthernetおよびInfinibandモード)デバイス - Linux x86_64プラットフォーム

バージョン: 1.0.11 **(推奨)**

ファイル名: firmware-hca-mellanox-vpi-eth-ib-1.0.11-1.1.x86_64.compsig; firmware-hca-mellanox-vpi-eth-ib-1.0.11-1.1.x86_64.rpm

修正

バージョン2.42.5000での修正:

- PortRcvPktsカウンターはリセット後にクリアされませんでした。
- 10個を超える仮想ファンクションがFLRを実行し、完了タイムアウト値が16ミリ秒より小さい範囲に構成されている場合に、仮想ファンクション(VF)の構成サイクルでシステムのタイムアウトが発生する問題。
- ドライバーを(別のスレッドから)並行して再起動しているときに、"mlxfwtop –d mt4103_pci_cr0"を実行した場合、サーバーがハングしてNMIになります。この場合、デバイスのダウンストリームブリッジは完了タイムアウトエラーを報告しました。
- bmc_rebootの実行後にBMCがIPv6でpingを受信できなかったflow_steeringの問題。
- HCAを閉じている間、RXパケットは存在しなかったリソースへの不正アクセスを引き起こし、その結果QPCGWまたはiriscがスタックしました。
- ポートがActiveやArmedの状態でない場合に、マスターMLIDとLIDが0または0xFFFFである問題。
- ibdumpがすべてのMADパケットをキャプチャーできない問題。
- 再起動後にリンクアップしませんでした。
- sw_resetの実行中に到着したPCIeコンフィギュレーションサイクルが2つの完了を生成する原因となる、まれな問題を修正しました。
- iniファイル内にdisable_stat-ic_steering_iniフィールドを追加したときに、スクラッチパッドでのこのフィールドのメモリ割り当ての問題により、ネットワークコントローラーサイドバンドインターフェイス(NC-SI)が動作しなくなる問題。

バージョン2.42.5056での修正:

- VPIアダプターデバイスでポートがInfiniBandとして構成されている場合に、UEFIブートからOSブートへのハンドオーバーで無効なI/Oアドレスからの読み取りの結果として発生する問題を修正しました。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5000にアップデートされます。

764282-B21
764286-B21

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5056にアップデートされます。

764283-B21
764284-B21
764285-B21

ファームウェアバージョン2.42.5000での新機能:

- 以下の機能のサポートを追加しました。
  - 新しいTLV: CX3_GLOBAL_CONFを使用して、mlxconfig構成を介して着信パケットのタイムスタンプを有効または無効にします。
  - ユーザーMAC構成。
  - ドライバーのリセット前に自動的にmstdumpを収集します。
  - TPT(iron)からDEAD_IRISC(plastic)を検出し、アサートを発生させるメカニズム。
  - user_mtuのサイズをファームウェアに示す"set port"コマンドに新しいフィールドの追加。
- コマンドタイムアウトの場合のデバッグ機能が向上しました。

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (Windows x64) for HPE Mellanox VPI (EthernetおよびInfinibandモード)デバイス - Windows x86_64プラットフォーム

バージョン: 1.0.0.11 **(推奨)**
ファイル名: cp044336.compsig; cp044336.exe

修正

バージョン2.42.5000での修正:

- PortRcvPktsカウンターはリセット後にクリアされませんでした。
- 10個を超える仮想ファンクションがFLRを実行し、完了タイムアウト値が16ミリ秒より小さい範囲に構成されている場合に、仮想ファンクション(VF)の構成サイクルでシステムのタイムアウトが発生する問題。
- ドライバーを(別のスレッドから)並行して再起動しているときに、"mlxfwtop –d mt4103_pci_cr0"を実行した場合、サーバーがハングしてNMIになります。この場合、デバイスのダウンストリームブリッジは完了タイムアウトエラーを報告しました。
- bmc_rebootの実行後にBMCがIPv6でpingを受信できなかったflow_steeringの問題。
- HCAを閉じている間、RXパケットは存在しなかったリソースへの不正アクセスを引き起こし、その結果QPCGWまたはiriscがスタックしました。
- ポートがActiveやArmedの状態でない場合に、マスターMLIDとLIDが0または0xFFFFである問題。
- ibdumpがすべてのMADパケットをキャプチャーできない問題。
- 再起動後にリンクアップしませんでした。
- sw_resetの実行中に到着したPCIeコンフィギュレーションサイクルが2つの完了を生成する原因となる、まれな問題を修正しました。
- iniファイル内にdisable_stat-ic_steering_iniフィールドを追加したときに、スクラッチパッドでのこのフィールドのメモリ割り当ての問題により、ネットワークコントローラーサイドバンドインターフェイス(NC-SI)が動作しなくなる問題。

バージョン2.42.5056での修正:

- VPIアダプターデバイスでポートがInfiniBandとして構成されている場合に、UEFIブートからOSブートへのハンドオーバーで無効なI/Oアドレスからの読み取りの結果として発生する問題を修正しました。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5000にアップデートされます。
764282-B21
764286-B21

次のデバイス用のファームウェアが2.42.5056にアップデートされます。
764283-B21
764284-B21
764285-B21

ファームウェアバージョン2.42.5000での新機能:

- 以下の機能のサポートを追加しました。
  - 新しいTLV: CX3_GLOBAL_CONFを使用して、mlxconfig構成を介して着信パケットのタイムスタンプを有効または無効にします。
  - ユーザーMAC構成。
  - ドライバーのリセット前に自動的にmstdumpを収集します。
  - TPT(iron)からDEAD_IRISC(plastic)を検出し、アサートを発生させるメカニズム。
  - user_mtuのサイズをファームウェアに示す"set port"コマンドに新しいフィールドの追加。
- コマンドタイムアウトの場合のデバッグ機能が向上しました。

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ (Windows x64) for Mellanox Open VPI (EthernetおよびInfinibandモード) ConnectX6デバイス - Windows x86_64プラットフォーム

バージョン: 1.0.0.2 **(推奨)**
ファイル名: cp044422.compsig; cp044422.exe

重要な注意!

ConnectX-6 VPIは、次の組み合わせマトリックスに従って、1つのポートをInfiniBandとして、もう1つのポートをイーサーネットとして設定することをサポートします。

ポート#2 - InfiniBand				
ポート#1 - イーサーネット	**HDR/HDR100**	**EDR**	**FDR**	**QDR**
50GbE	サポート	未サポート	未サポート	サポート
100GbE/25GbE	サポート	未サポート	未サポート	サポート
40GbE/10GbE	サポート	未サポート	未サポート	サポート
1GbE	サポート	未サポート	未サポート	サポート

ポート#2 - イーサーネット				
ポート#1 - InfiniBand	**50GbE**	**100GbE/25GbE**	**40GbE/10GbE**	**1GbE**
HDR / HDR100	サポート	サポート	未サポート	サポート
EDR	サポート	サポート	未サポート	サポート
FDR	未サポート	未サポート	未サポート	未サポート
QDR/SDR	サポート	サポート	未サポート	サポート

注記: アダプターファームウェアの書き換えシナリオでは、SUMは常にMellanox Openアダプターファームウェアスマートコンポーネントを適切に検出し、サーバーのiLO5ファームウェアバージョンが2.30より古い場合は、それを展開用に選択します。

前提条件

ConnectX5/ConnectX6ファームウェアバージョン20.27.6008では、iLO5ファームウェアバージョン2.30以降を使用します。アダプターの温度センサーレポートは、古いバージョンのiLO5ファームウェアで機能しません。

修正

以下の問題点がバージョン20.27.6008で修正されました:

- write_enビットマスクを適用することで、バーの構成をバイト単位で有効にしました。
- VSCを使用してsend_ring_doorbellsをトリガーする間、PXEのパフォーマンスが低下します。
- 断片化されたIPパケットが破棄されていました。
- PHYなしのリセット後のファームウェアの書き込みは大幅に遅くなることが予想されます。
- PortCounters.PortRcvErr / PPCNT.infiniband_counters.PortRcvErrがポートicrcエラーを報告していませんでした。
- カウンターの不正確さが原因で、予期しないときにPortXmitWait HWカウンターが増分していました。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが20.27.6008にアップデートされます:

- HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポートMCX653105A-HDAT QSFP56 x16アダプター - P23664-B21
- HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポートMCX653105A-ECAT QSFP56 x16アダプター - P23665-B21

- HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2ポートMCX653106A-ECAT QSFP56 x16アダプター - P23666-B21

バージョン20.27.6008の新機能および変更:

- Mellanox NICを使用してMellanoxスイッチに、Mellanox NICを使用してサードパーティスイッチに接続する場合にPAM4リンク速度をサポートする最小のソフトウェア/ファームウェアバージョンは次のとおりです。
  - Mellanox Onyx: 3.9.0830-038
  - ConnectX-6: 20.27.2008*
    *注記: このファームウェアバージョンのNICは、PAM4リンク速度でMellanox-to-Mellanox接続をサポートします。
- 以下の機能のサポートを追加しました。
  - 最大30mのアクティブファイバーケーブルでKP4RS FECを有効にしました。
  - FDRプロトコル。
  - エンドツーエンド(E2E)クレジットパケットの即時アップデートを有効にしました。

サポートされるデバイスおよび機能

HPE部品番号	デバイス名	PSID
P23664-B21	HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポートMCX653105A-HDAT QSFP56 x16アダプター	MT_0000000451
P23665-B21	HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポートMCX653105A-ECAT QSFP56 x16アダプター	MT_0000000452
P23666-B21	HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2ポートMCX653106A-ECAT QSFP56 x16アダプター	MT_0000000453

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ(ESXi 6.5) for HPE Mellanox VPI (EthernetおよびInfinibandモード) ConnectX4およびConnectX5デバイス - VMware ESXi 6.5

バージョン: 1.0.7 **(推奨)**
ファイル名: CP044170.compsig; CP044170.zip

修正

バージョン12.26.4012で提出された修正:

- LFWPフローの実行中にNVMoFオフロードターゲットを作成すると、デバイスが不安定になる場合があります。
- DC CNAK QPがアクティブなときにIPoIBが機能しなくなる問題を修正しました。
- firmware coalesce Host stuckイベントが発生すると、非同期イベントが報告されるまで遅延し、PCIeがホストのいずれかで次にハングするまでトリガーされないことがあります。
- GMP Mellanox Vendor Specific External Capability mask enumの名前を、IsDiagnosticCountersSupportedからIsDiagnosticDataSupportedに変更しました。
- PCIe TLPがポイズニングの兆候で設定されている場合、機能が正しく動作しません。

バージョン16.26.4012で提出された修正:

- 再試行時間が非常に短いRDMA読み取り操作が発生すると、デバイスが応答しない状態になります。この場合、wait_fw_initが原因で、ドライバーのロードに失敗しました(mlx5_load_oneがエラーコード-16で失敗しました)。
- 特定のQPNを使用してRoCEシナリオの帯域幅を増やしました。
- より細かいレートでの輻輳制御を有効にしました。
- min_time_between_cnpsのデフォルト値を2に設定しました。
- 流量計が更新された後、メーターカウンターがクリアされないようにしました。この場合、情報レートが有効になるまでに最大10分かかりました。
- デバイスがQPのlag_tx_port_affinityを設定した場合の不等コストマルチパス。
- フローグループの一致条件にIPV6とIP_ECNの両方が含まれる場合に発生したパフォーマンス低下の問題。
- 高い挿入速度のファームウェアステアリングを、低いテーブルエントリーの"追加および削除"中に実行すると、時々発生していたパフォーマンスの低下の問題。

- Multi-GVMIとSR-IOVを使用し、多数の仮想機能とサブ機能を使用している場合、VF/サブ機能のドライバー起動が失敗することがあります。
- NICステアリングルールで多数のVMを実行したときに発生したパフォーマンスの問題
- sw_resetアクションは、ライブパッチフローの途中で開始されると失敗します。
- デュアルポートRoCE機能が有効なとき、SX_RDMAはサポートされません。この動作が原因で、他のポートで送信されたパケットはSX_RDMAテーブルによって処理されます。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが12.26.4012にアップデートされます。

825110-B21 (HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28アダプター)
825111-B21 (HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが16.26.4012にアップデートされます。

879482-B21 (HPE InfiniBand FDR/Ethernet 40/50Gb 2ポート 547FLR-QSFPアダプター)
872726-B21 (HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 841QSFP28アダプター)

ファームウェアバージョン12.26.1040および16.26.1040の変更および新機能はありません。

サポートしているデバイスおよび機能

HPE部品番号	デバイス名	PSID
825110-B21	HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28アダプター	HP_2180110032
825111-B21	HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28アダプター	HP_2190110032
872726-B21	HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート841QSFP28アダプター	HPE0000000009
879482-B21	HPE Infiniband FDR/Ethernet 40/50Gb 2ポート547FLR-QSFPアダプター	HPE0000000022

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ(ESXi 6.7) for HPE Mellanox VPI (EthernetおよびInfinibandモード) ConnectX4およびConnectX5デバイス - VMware ESXi 6.7

バージョン: 1.0.3 **(推奨)**
ファイル名: CP044171.compsig; CP044171.zip

修正

バージョン12.26.4012で提出された修正:

- LFWPフローの実行中にNVMoFオフロードターゲットを作成すると、デバイスが不安定になる場合があります。
- DC CNAK QPがアクティブなときにIPoIBが機能しなくなる問題を修正しました。
- firmware coalesce Host stuckイベントが発生すると、非同期イベントが報告されるまで遅延し、PCIeがホストのいずれかで次にハングするまでトリガーされないことがあります。
- GMP Mellanox Vendor Specific External Capability mask enumの名前を、IsDiagnosticCountersSupportedからIsDiagnosticDataSupportedに変更しました。
- PCIe TLPがポイズニングの兆候で設定されている場合、機能が正しく動作しません。

バージョン16.26.4012で提出された修正:

- 再試行時間が非常に短いRDMA読み取り操作が発生すると、デバイスが応答しない状態になります。この場合、wait_fw_initが原因で、ドライバーのロードに失敗しました(mlx5_load_oneがエラーコード-16で失敗しました)。
- 特定のQPNを使用してRoCEシナリオの帯域幅を増やしました。

- より細かいレートでの輻輳制御を有効にしました。
- min_time_between_cnpsのデフォルト値を2に設定しました。
- 流量計が更新された後、メーターカウンターがクリアされないようにしました。この場合、情報レートが有効になるまでに最大10分かかりました。
- デバイスがQPのlag_tx_port_affinityを設定した場合の不等コストマルチパス。
- フローグループの一致条件にIPV6とIP_ECNの両方が含まれる場合に発生したパフォーマンス低下の問題。
- 高い挿入速度のファームウェアステアリングを、低いテーブルエントリーの"追加および削除"中に実行すると、時々発生していたパフォーマンスの低下の問題。
- Multi-GVMIとSR-IOVを使用し、多数の仮想機能とサブ機能を使用している場合、VF/サブ機能のドライバー起動が失敗することがあります。
- NICステアリングルールで多数のVMを実行したときに発生したパフォーマンスの問題
- sw_resetアクションは、ライブパッチフローの途中で開始されると失敗します。
- デュアルポートRoCE機能が有効なとき、SX_RDMAはサポートされません。この動作が原因で、他のポートで送信されたパケットはSX_RDMAテーブルによって処理されます。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが12.26.4012にアップデートされます。

825110-B21 (HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28アダプター)
825111-B21 (HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが16.26.4012にアップデートされます。

879482-B21 (HPE InfiniBand FDR/Ethernet 40/50Gb 2ポート 547FLR-QSFPアダプター)
872726-B21 (HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 841QSFP28アダプター)

ファームウェアバージョン12.26.1040および16.26.1040の変更および新機能はありません。

サポートしているデバイスおよび機能

HPE部品番号	デバイス名	PSID
825110-B21	HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28アダプター	HP_2180110032
825111-B21	HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28アダプター	HP_2190110032
872726-B21	HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート841QSFP28アダプター	HPE0000000009
879482-B21	HPE Infiniband FDR/Ethernet 40/50Gb 2ポート547FLR-QSFPアダプター	HPE0000000022

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ(Linux x86_64) for HPE Mellanox Ethernetアダプター専用

バージョン: 1.0.13 **(推奨)**
ファイル名: firmware-nic-mellanox-ethernet-only-1.0.13-1.1.x86_64.compsig; firmware-nic-mellanox-ethernet-only-1.0.13-1.1.x86_64.rpm

重要な注意！

FWバージョン2.42.5044での既知の問題:

- QSFPモジュールRTXM320-581を使用して、ファームウェアのアップグレード/ダウングレードを有効にするためにドライバーの再起動を実行した場合、リンクが使用可能になりません。
- mlxconfigを使用してcq_timestampを有効または無効にすることはサポートされていません。
- 2つの別個のLEDスキーム(Phy LEDと論理LED)を備えたカードでは、Phy LEDだけが点灯します。つまり、オレンジ色のLEDは、ETHリンクがアイドルモードの間はアクティブではありません。

- SR-IOVセットアップでは、PFがVMに渡されるときにmlxconfigを使用すると、ハイパーバイザーの再起動を必要とします。
- 前のGAにダウングレードするにはサーバーのリブートが必要です。v2.30.8000以降のバージョンから2.30.8000より前のバージョンにダウングレードするには、サーバーのリブートが必要です。サーバーを再起動します。
- ConnectX-3 Ethernet アダプターカードでは、ファームウェア管理ツールによって返されるGUID値とデバイスファームウェアを通してGUIDを読み込むファブリック/ドライバーユーティリティ(例えば、ibstatを使用)によって返される値の間にミスマッチがあります。ユーティリティがMACアドレスから得られた値を返すとき、Mlxburn/flintはGUIDとして0xffffを返します。すべてのドライバー/ファームウェア/ソフトウェアのために、後者の値が使用されるべきです。
- SBRはConnectX®-3アダプターのために最低50msアサートされる必要があります
- Pilot1 SL230で、PCIeリンクは時々Gen3の速度に達しません。
- ドライバーの互換性の問題のため、SR-IOVがVPIカードで有効になっている場合、RH6.3インボックスドライバーがカーネルパニックを引き起こします。
- アドバンストステアリングモードで、MCGごとに8以上のQPを持つ場合、サイドバンド管理接続性が失われることがあります。
- システムBIOSでSR-IOVが無効にされたとき、Linuxカーネルv3.8のUbuntu v12.04.3で、Mellanoxを含むいくつかの製造業者のNICが動作しない可能性があるPCI問題が認識されています。
- MFTツールは、ツール動作が停止を強制された場合にロックされたフラッシュセマフォを残すことがありました。セマフォがロックされていると、ファームウェアはフラッシュにアクセスすることができず、ハングアップします。
- MC2210411-SR4モジュールを使用する場合、ケーブル情報MADは正しくないケーブル情報をレポートします。
- 10C/分以上のスピードで温度が上昇するとGen2が故障します(MT27518A1-FDIR-BVのみ)。
- MT27518A1-FDIR-BVでは10C/分以上のスピードで温度が上昇するとPCIe Gen2リンクが不安定になります。
- Bloomフィルターは、現在サポートされません。
- ファームウェアダウングレードメッセージ ファームウェアv2.11.0000からダウングレードし、MFT 3.0.0-3を使用する場合
- MLNX_OFED-2.0.3でInfiniBandを使用する場合、RM＃DMFSを有効にしないでください
- RM#VPD読み取り専用のフィールドが書き込み可能です。
- SymbolErrorCounterの増加 ポート1 FDRとポート2 40Gを使用してVPIモードで動作すると、エラーカウンターが誤動作して急激に増加します
- デバイスを128Byte CQ/EQストライドに設定するとサイドバンド管理が正常に機能せず、コミュニケーション消失につながります。
- CQおよびEQを異なるストライドサイズに構成することはできません。
- ConnectX-3 Pro VFデバイスIDは、ドライバーの制限のためのConnectX-3 VFデバイスIDと同じように示されます。
- PXE (レガシー)をG9サーバーで稼働中のRSOD。これはPXEブートに失敗し、BIOSがHDDからブートするときにのみ起こります。現在BIOSの修正は保留中です。
- ポートがETHスイッチに接続されているときに、NCSI/IPMIが有効になっている状態でポートプロトコルをETHからIBに変更することは推奨されません。
- IPv6上でのRDPは、現在機能しません。
- Sniffer QP では、"push to that rule"と同等の挿入スキームのあるQPを追加した後に正規のルールを削除できません。
- PCI Physical FunctionごとのBoot Entry Vector (BEV)のみがサポートされているので、最初のポートを無効化すると、2番目のポートも消えてしまいます。
- NICは、56GbEポートリンクのNICポートからケーブルが外れてしまっている場合に、リンクダウンをドライバーに通知しません。
- 100GbE 光ケーブルを使用している場合に、56GbE リンクが起動しません。
- MLNX_OFED v3.3-1.0.0.0を使用している場合、サーバーのリブートが非同期イベントハンドラーから呼ばれたmlx-4_en_get_drvinfo() のカーネルパニックにより、動けなくなることがあります。
- 832298: ibdumpを実行しているとき、ループバックトラフィックがカーネルドライバーにミラーリングされます。
- AHSが誤ったMTUサイズをレポートします
- RM#846523: ifconfigを使用してOSから設定されたMACアドレスがOCBBバッファーに反映されません。

FWバージョン14.26.1040での既知の問題:

- OCP3.0カードで、ハードウェア調停は現在、無効になっています。同じハードウェアの将来のリリースでサポートされる予定です。
- 次の動作が原因で、ファームウェアの書き込み後にセキュア状態が更新されません。

- パケットペーシングではmax_tc値が"1"であることが必須のため、このモードが利用可能なとき、複数のTCを必要とする機能はアクティブになりません。
- パフォーマンスの考慮事項により、ユニキャストループバックトラフィックはNIC SXテーブルを通過し、マルチキャストループバックトラフィックはNIC SXテーブルをスキップします。

FWバージョン16.26.1040での既知の問題:

- WindowsでSocket Directデバイスにmlxfwresetを使用すると、ブルースクリーンが発生する場合があります。
- デュアルポートRoCE機能が有効なとき、SX_RDMAはサポートされません。この動作が原因で、他のポートで送信されたパケットはSX_RDMAテーブルによって処理されます。
- OCP3.0カードで、ハードウェア調停は現在、無効になっています。同じハードウェアの将来のリリースでサポートされる予定です。
- ATSが有効なとき、sw_resetオプションはサポートされません。
- ヘアピン機能を使用しているとき、VLANストリップまたは"modify esw vport context"コマンドを使用すると、パケットに不正なVLANヘッダーが含まれる可能性があります。
- DC LAGは、ポートごとに1つのPFが存在し、アクティブなVFがない場合にしか機能しません。
- パフォーマンスの考慮事項により、ユニキャストループバックトラフィックはNIC SXテーブルを通過し、マルチキャストループバックトラフィックはNIC SXテーブルをスキップします。
- サポートされている最大サイズよりもPF_BAR2_SIZEの値を高く設定すると、ファームウェアアサートが発生する場合があります。

修正

バージョン2.42.5044 で提出された修正:

- ファームウェアがlink_downイベントを検出することを妨げることで、IBボンドインターフェイスがフェイルオーバーモードになることを妨げる問題。

以下の問題点がバージョン14.27.4000で修正されました:

- デバイスがFLRモードに入ったときに送信パケットがハングしました。
- write_enビットマスクを適用することで、バーの構成をバイト単位で有効にしました。
- 負荷が高く、多くのオープンリソースでソフトウェアのリセットフローを実行中にデバイスがハングしました。
- 完了(CQ)は、ファームウェアトランスポートエラーハンドラーとエラーストレッサーの競合状態が原因で完了しました。エラーストレッサーは、ファームウェアトランスポートエラーハンドラーフローをハングさせます。
- 断片化されたIPパケットは破棄されました。

以下の問題点がバージョン16.27.2008で修正されました:

- 有効なビットエラーレート(BER)(FEC後)は設計目標(10e-14以下など)を満たすと予想されますが、それよりも高い場合がありました。
- 0.5/1mタイプのDACとHDRスピードのケーブルを接続すると高いBERが発生しました。
- PCIeリンクを無効にした後で速度を変更すると、PCIe Txパラメーターが正しく読み込まれませんでした。
- desched_thresholdフィールドが正しく機能しませんでした。
- 「roce_adp_retrans」カウンターは「local_ack_timeout_err」カウンターの値を示していました。
- 「setpci」コマンドを実行してRelaxed Orderingを無効にした場合、「setpci」コマンドを再度実行して再度有効にしても機能しません。

拡張

次のデバイスのファームウェアが2.42.5044にアップデートされます:

779799-B21(HP Ethernet 10Gb 2ポート546FLR-SFP+アダプター)
779793-B21(HP Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが14.27.4000にアップデートされました:

817749-B21(HPE Ethernet 25Gb 2ポート640FLR-SFP28アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが14.27.4000にアップデートされました:
817753-B21(HPE Ethernet 25Gb 2ポート640SFP28アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが16.27.2008にアップデートされました:

874253-B21(HPE Ethernet 100Gb 1ポート 842QSFP28アダプター)

バージョン16.27.2008の新機能および変更:

- PRMに表示されている次のセグメントをリソースダンプに追加しました。
  - PRM_QUERY_QP
  - PRM_QUERY_CQ
  - PRM_QUERY_MKEY
  - QUERY_VNIC_ENV

バージョン14.27.4000の新機能および変更:

- 電力削減のためのmlxconfigサポートを追加しました。
  - PCI CAP
  - AUTO_POWER_SAVE_LINK_DOWN

サポートしているデバイスおよび機能

HPE部品番号	Mellanox Ethernetアダプター専用	PSID
779793-B21	HP Ethernet 10Gb 2ポート 546SFP+アダプター	HP_1200111023
779799-B21	HP Ethernet 10Gb 2ポート 546FLR-SFP+アダプター	HP_2240110004
817749-B21	HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640FLR-SFP28 アダプター	HP_2690110034
817753-B21	HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640SFP28 アダプター	HP_2420110034
874253-B21	HPE Ethernet 100Gb 1ポート 842QSFP28 アダプター	HPE0000000014

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ(Linux x86_64)for HPE Mellanox VPI(EthernetおよびInfinibandモード)ConnectX4デバイス - Linux x86_64プラットフォーム

バージョン: 1.0.9 **(推奨)**

ファイル名: firmware-hca-mellanox-vpi-connectx4-1.0.9-1.1.x86_64.compsig; firmware-hca-mellanox-vpi-connectx4-1.0.9-1.1.x86_64.rpm

修正

バージョン12.26.1040で提出された修正:

- IPoIBは、動的接続トランスポート(DC)CNAKキューペア(QP)がアクティブな場合に機能できませんでした。
- まれに、firmware coalesce Host stuckイベントが発生すると、非同期イベントが報告されるまで遅延し、PCIeがホストのいずれかで次にハングするまでトリガーされないことがあります。
- GMP Mellanox Vendor Specific External Capability mask enumの名前を、IsDiagnosticCountersSupportedからIsDiagnosticDataSupportedに変更しました。
- PCIe Transaction Layer Packet(TLP)がポイズニングの兆候で設定されている場合に機能が誤動作する問題を修正しました。

バージョン16.26.1040で提出された修正:

- まれに、firmware coalesce Host stuckイベントが発生すると、非同期イベントが報告されるまで遅延し、PCIeがホストのいずれかで次にハングするまでトリガーされないことがあります。
- 予期しないキューペアは、損失の多いテストでエラーに移行しました。
- PFで作成されるダンプの最大量を制限しました。
- GMP Mellanox Vendor Specific External Capability mask enumの名前を、IsDiagnosticCountersSupportedからIsDiagnosticDataSupportedに変更しました。
- ストレス下でのRDMA over Converged Ethernet(RoCE)再送信の安定性の問題は、Zero-Touch-RoCEに影響を与えていました。
- PCIe Transaction Layer Packet(TLP)がポイズニングの兆候で設定されている場合に機能が誤動作する問題を修正しました。
- TTL書き換えでジャンボフレームを実行すると、大量のパケットがドロップしました。
- サービス品質(QoS)ツリー2Kの要素の数を制限しました。
  注記:TCごとに250を超えるVport_tcを作成することは許可されていません。

- キューペア(QP)フロークエリは常にポート1を使用していました。ファームウェアは、デュアルポートRoCEネットデバイスの適切なポート1または2に応答するようになりました。
- ナックカウンターが常に"0"として報告されました。
- まれなシナリオとして、ドライバーが"2err"コマンドを実行し、QPがSend Queue(SQ)ドレイン状態にあった場合、ファームウェアは、すべてのWQEでエラーの完了キューエントリー(CQE)を送信する代わりに、破損したワークキューエントリー(WQ)のイベントをポストすることがあります。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが12.26.1040にアップデートされました:

825110-B21 (HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 1ポート 840QSFP28アダプター)
825111-B21 (HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2ポート 840QSFP28アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが16.26.1040にアップデートされます。

879482-B21 (HPE InfiniBand FDR/Ethernet 40/50Gb 2ポート 547FLR-QSFPアダプター)
872726-B21 (HPE InfiniBand EDR/Ethernet 100Gb 2-port 841QSFP28アダプター)

ファームウェアバージョン12.26.1040および16.26.1040の新機能および変更:

- ICMDコマンドを使用して、cmdifと同様の診断カウンターを処理することにより、ファームウェアを有効にしました。これらはvsecスペースを介して呼び出すことができます。カウンターの値は、トレーサー経由でのみ返されます。ICMD Query Capsはサポートを示し、サポートされているカウンターのリストを公開します。
- ユーザーコンテキストオブジェクト(DEVX)は、ユーザーごとのコンテナー化されたサンドボックスであり、一般オブジェクトコマンド、UMEMおよびUCTXコンテキストを使用してPRMコマンドに安全にアクセスします。この機能で許可される機能は、ユーザーの権限によって異なります。
  次の機能は引き続きカーネルによって管理されます。
  - リソースのクリーニング
  - UCTXスタンピング
  - これらのUCTXからの物理アドレスとIRQのブロック
- コマンドインターフェイスを使用した、DEVXユーザーへのサポートされている関連および非関連の非同期イベントの報告のサポートが追加されました。
- Zero-Touch-RoCE機能を使用する場合は、ユーザーがデバッグ目的でZero-Touch-RoCEカウンターを使用できるようになりました。
- このリリースには、重要な信頼性の向上とセキュリティ強化の機能改善が含まれています。 Mellanoxでは、デバイスファームウェアのセキュリティと信頼性を向上させるために、デバイスファームウェアをこのリリースにアップグレードすることを推奨しています。

ファームウェアバージョン16.26.1040の変更および新機能:

- 以下の機能のサポートを追加しました。
  - MKEYおよびUMEMのアドレス変換サービス(ATS)のサポート。
  - 仮想機能(VF)の重要製品データ(VPD)の公開。
  - ヘアピンドロップカウンター。
  - DevXを操作するためのヘアピンとTM RNDV QP。
  - eSwitch/Forwarding Table(FDB)のソフトウェア管理ステアリングテーブルの作成。

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ(Linux x86_64)for Mellanox Open VPI(EthernetおよびInfinibandモード)ConnectX6デバイス - Linux x86_64プラットフォーム

バージョン: 1.0.2 **(推奨)**
ファイル名: firmware-hca-open-mellanox-vpi-connectx6-mft-1.0.2-1.1.x86_64.compsig; firmware-hca-open-mellanox-vpi-connectx6-mft-1.0.2-1.1.x86_64.rpm

重要な注意!

ConnectX-6 VPIは、次の組み合わせマトリックスに従って、1つのポートをInfiniBandとして、もう1つのポートをイーサーネットとして設定することをサポートします。

ポート#2 - InfiniBand				

ポート#1 - イーサーネット	HDR/HDR100	EDR	FDR	QDR
50GbE	サポート	未サポート	未サポート	サポート
100GbE/25GbE	サポート	未サポート	未サポート	サポート
40GbE/10GbE	サポート	未サポート	未サポート	サポート
1GbE	サポート	未サポート	未サポート	サポート

ポート#2 - イーサーネット				
ポート#1 - InfiniBand	50GbE	100GbE/25GbE	40GbE/10GbE	1GbE
HDR / HDR100	サポート	サポート	未サポート	サポート
EDR	サポート	サポート	未サポート	サポート
FDR	未サポート	未サポート	未サポート	未サポート
QDR/SDR	サポート	サポート	未サポート	サポート

注記: アダプターファームウェアの書き換えシナリオでは、SUMは常にMellanox Openアダプターファームウェアスマートコンポーネントを適切に検出し、サーバーのiLO5ファームウェアバージョンが2.30より古い場合は、それを展開用に選択します。

前提条件

ConnectX5/ConnectX6ファームウェアバージョン20.27.6008では、iLO5ファームウェアバージョン2.30以降を使用します。アダプターの温度センサーレポートは、古いバージョンのiLO5ファームウェアで機能しません。

修正

以下の問題点がバージョン20.27.6008で修正されました:

- write_enビットマスクを適用することで、バーの構成をバイト単位で有効にしました。
- VSCを使用してsend_ring_doorbellsをトリガーする間、PXEのパフォーマンスが低下します。
- 断片化されたIPパケットが破棄されていました。
- PHYなしのリセット後のファームウェアの書き込みは大幅に遅くなることが予想されます。
- PortCounters.PortRcvErr / PPCNT.infiniband_counters.PortRcvErrがポートicrcエラーを報告していませんでした。
- カウンターの不正確さが原因で、予期しないときにPortXmitWait HWカウンターが増分していました。

拡張

次のデバイス用のファームウェアが20.27.6008にアップデートされます:

- HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポートMCX653105A-HDAT QSFP56 x16アダプター - P23664-B21
- HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポートMCX653105A-ECAT QSFP56 x16アダプター - P23665-B21
- HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2ポートMCX653106A-ECAT QSFP56 x16アダプター - P23666-B21

バージョン20.27.6008の新機能および変更:

- Mellanox NICを使用してMellanoxスイッチに、Mellanox NICを使用してサードパーティスイッチに接続する場合にPAM4リンク速度をサポートする最小のソフトウェア/ファームウェアバージョンは次のとおりです。
  - Mellanox Onyx: 3.9.0830-038
  - ConnectX-6: 20.27.2008*
    *注記: このファームウェアバージョンのNICは、PAM4リンク速度でMellanox-to-Mellanox接続をサポートします。
- 以下の機能のサポートを追加しました。
  - 最大30mのアクティブファイバーケーブルでKP4RS FECを有効にしました。
  - FDRプロトコル。
  - エンドツーエンド(E2E)クレジットパケットの即時アップデートを有効にしました。

サポートされるデバイスおよび機能

HPE部品番号	デバイス名	PSID
P23664-B21	HPE InfiniBand HDR/Ethernet 200Gb 1ポートMCX653105A-HDAT QSFP56 x16アダプター	MT_0000000451
P23665-B21	HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 1ポートMCX653105A-ECAT QSFP56 x16アダプター	MT_0000000452
P23666-B21	HPE InfiniBand HDR100/Ethernet 100Gb 2ポートMCX653106A-ECAT QSFP56 x16アダプター	MT_0000000453

オンラインファームウェアアップグレードユーティリティ(Windows x64) for HPE Mellanox Ethernetアダプター専用

バージョン: 1.0.0.13 **(推奨)**
ファイル名: cp044409.compsig; cp044409.exe

重要な注意！

FWバージョン2.42.5000 での既知の問題:

- mlxconfigを使用してcq_timestampを有効または無効にすることはサポートされていません。
- 2つの別個のLEDスキーム(Phy LEDと論理LED)を備えたカードでは、Phy LEDだけが点灯します。つまり、オレンジ色のLEDは、ETHリンクがアイドルモードの間はアクティブではありません。
- SR-IOVセットアップでは、PFがVMに渡されるときにmlxconfigを使用すると、ハイパーバイザーの再起動を必要とします。
- 前のGAにダウングレードするにはサーバーのリブートが必要です。v2.30.8000以降のバージョンから2.30.8000より前のバージョンにダウングレードするには、サーバーのリブートが必要です。サーバーを再起動します。
- ConnectX-3 Ethernet アダプターカードでは、ファームウェア管理ツールによって返されるGUID値とデバイスファームウェアを通してGUIDを読み込むファブリック/ドライバーユーティリティ(例えば、ibstatを使用)によって返される値の間にミスマッチがあります。ユーティリティがMACアドレスから得られた値を返すとき、Mlxburn/flintはGUIDとして0xffffを返します。すべてのドライバー/ファームウェア/ソフトウェアのために、後者の値が使用されるべきです。
- SBRはConnectX®-3アダプターのために最低50msアサートされる必要があります
- Pilot1 SL230で、PCIeリンクは時々Gen3の速度に達しません。
- ドライバーの互換性の問題のため、SR-IOVがVPIカードで有効になっている場合、RH6.3インボックスドライバーがカーネルパニックを引き起こします。
- アドバンストステアリングモードで、MCGごとに8以上のQPを持つ場合、サイドバンド管理接続性が失われることがあります。
- システムBIOSでSR-IOVが無効にされたとき、Linuxカーネルv3.8のUbuntu v12.04.3で、Mellanoxを含むいくつかの製造業者のNICが動作しない可能性があるPCI問題が認識されています。
- MFTツールは、ツール動作が停止を強制された場合にロックされたフラッシュセマフォを残すことがありました。セマフォがロックされていると、ファームウェアはフラッシュにアクセスすることができず、ハングアップします。
- MC2210411-SR4モジュールを使用する場合、ケーブル情報MADは正しくないケーブル情報をレポートします。
- 10C/分以上のスピードで温度が上昇するとGen2が故障します(MT27518A1-FDIR-BVのみ)。

- MT27518A1-FDIR-BVでは10C/分以上のスピードで温度が上昇するとPCIe Gen2リンクが不安定になります。
- Bloomフィルターは、現在サポートされません。
- ファームウェアダウングレードメッセージ ファームウェアv2.11.0000からダウングレードし、MFT 3.0.0-3を使用する場合
- MLNX_OFED-2.0.3でInfiniBandを使用する場合、RM＃DMFSを有効にしないでください
- RM#VPD読み取り専用のフィールドが書き込み可能です。
- SymbolErrorCounterの増加 ポート1 FDRとポート2 40Gを使用してVPIモードで動作すると、エラーカウンターが誤動作して急激に増加します
- デバイスを128Byte CQ/EQストライドに設定するとサイドバンド管理が正常に機能せず、コミュニケーション消失につながります。
- CQおよびEQを異なるストライドサイズに構成することはできません。
- ConnectX-3 Pro VFデバイスIDは、ドライバーの制限のためのConnectX-3 VFデバイスIDと同じように示されます。
- PXE (レガシー)をG9サーバーで稼働中のRSOD。これはPXEブートに失敗し、BIOSがHDDからブートするときにのみ起こります。現在BIOSの修正は保留中です。
- ポートがETHスイッチに接続されているときに、NCSI/IPMIが有効になっている状態でポートプロトコルをETHからIBに変更することは推奨されません。
- IPv6上でのRDPは、現在機能しません。
- Sniffer QP では、"push to that rule"と同等の挿入スキームのあるQPを追加した後に正規のルールを削除できません。
- PCI Physical FunctionごとのBoot Entry Vector (BEV)のみがサポートされているので、最初のポートを無効化すると、二番目のポートも消えてしまいます。
- NICは、56GbEポートリンクのNICポートからケーブルが外れてしまっている場合に、リンクダウンをドライバーに通知しません。
- 100GbE 光ケーブルを使用している場合に、56GbE リンクが起動しません。
- MLNX_OFED v3.3-1.0.0.0を使用している場合、サーバーのリブートが非同期イベントハンドラーから呼ばれたmlx-4_en_get_drvinfo() のカーネルパニックにより、動けなくなることがあります。
- 832298: ibdumpを実行しているとき、ループバックトラフィックがカーネルドライバーにミラーリングされます。
- AHSが誤ったMTUサイズをレポートします
- RM#846523: ifconfigを使用してOSから設定されたMACアドレスがOCBBバッファーに反映されません。

FWバージョン14.22.1414での既知の問題:

- フックで負の温度を設定すると、PLDMセンサー読み取りコマンドを実行しているときに誤ったセンサー状態がレポートされます。
- ヘルスカウンターが10msごとでなく50msごとに大きくなります。
- mlxconfigツールが、既存の拡張ROMイメージだけを表示するのでなく、可能なすべての拡張ROMイメージを表示します。
- nic_receive_steering_discard コマンドを実行しているとき、イーサーネットマルチキャストループバックパケットがカウントされません(ローカルループバックパケットでなくても)。
- デュアルポートVHCAが非ネイティブポートでRoCEパケットを送信し、パケットが系列のvport FDBに到達すると、パケットソースvportが一致するルールで不一致が起きる場合があります。

FWバージョン12.22.1414での既知の問題:

- フックで負の温度を設定すると、PLDMセンサー読み取りコマンドを実行しているときに誤ったセンサー状態がレポートされます。
- まれに、署名がされた再送信/パケット損失が原因でエラーが発生し、接続が終了することがあります。
- ヘルスカウンターが10msごとでなく50msごとに大きくなります。
- mlxconfigツールが、既存の拡張ROMイメージだけを表示するのでなく、可能なすべての拡張ROMイメージを表示します。
- nic_receive_steering_discard コマンドを実行しているとき、イーサーネットマルチキャストループバックパケットがカウントされません(ローカルループバックパケットでなくても)。
- デュアルポートVHCAが非ネイティブポートでRoCEパケットを送信し、パケットが系列のvport FDBに到達すると、パケットソースvportが一致するルールで不一致が起きる場合があります。
- DC CNAKストレステスト中に、DC CNAKタイムアウト(CNAKドロップ)が発生することがあります。

FWバージョン16.22.1414での既知の問題:

- フックで負の温度を設定すると、PLDMセンサー読み取りコマンドを実行しているときに誤ったセンサー状態がレポートされます。

- ヘルスカウンターが10msごとでなく50msごとに大きくなります。

修正

バージョン2.42.5044 で提出された修正:

- ファームウェアがlink_downイベントを検出することを妨げることで、IBボンドインターフェイスがフェイルオーバーモードになることを妨げる問題。

以下の問題点がバージョン14.27.4000で修正されました:

- デバイスがFLRモードに入ったときに送信パケットがハングしました。
- write_enビットマスクを適用することで、バーの構成をバイト単位で有効にしました。
- 負荷が高く、多くのオープンリソースでソフトウェアのリセットフローを実行中にデバイスがハングしました。
- 完了(CQ)は、ファームウェアトランスポートエラーハンドラーとエラーストレッサーの競合状態が原因で完了しました。エラーストレッサーは、ファームウェアトランスポートエラーハンドラーフローをハングさせます。
- 断片化されたIPパケットは破棄されました。

以下の問題点がバージョン16.27.2008で修正されました:

- 有効なビットエラーレート(BER)(FEC後)は設計目標(10e-14以下など)を満たすと予想されますが、それよりも高い場合がありました。
- 0.5/1mタイプのDACとHDRスピードのケーブルを接続すると高いBERが発生しました。
- PCIeリンクを無効にした後で速度を変更すると、PCIe Txパラメーターが正しく読み込まれませんでした。
- desched_thresholdフィールドが正しく機能しませんでした。
- 「roce_adp_retrans」カウンターは「local_ack_timeout_err」カウンターの値を示していました。
- 「setpci」コマンドを実行してRelaxed Orderingを無効にした場合、「setpci」コマンドを再度実行して再度有効にしても機能しません。

拡張

次のデバイスのファームウェアが2.42.5044にアップデートされます:

779799-B21(HP Ethernet 10Gb 2ポート546FLR-SFP+アダプター)
779793-B21(HP Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが14.27.4000にアップデートされました:

817749-B21(HPE Ethernet 25Gb 2ポート640FLR-SFP28アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが14.27.4000にアップデートされました:
817753-B21(HPE Ethernet 25Gb 2ポート640SFP28アダプター)

次のデバイス用のファームウェアが16.27.2008にアップデートされました:

874253-B21(HPE Ethernet 100Gb 1ポート 842QSFP28アダプター)

バージョン16.27.2008の新機能および変更:

- PRMに表示されている次のセグメントをリソースダンプに追加しました。
  - PRM_QUERY_QP
  - PRM_QUERY_CQ
  - PRM_QUERY_MKEY
  - QUERY_VNIC_ENV

バージョン14.27.4000の新機能および変更:

- 電力削減のためのmlxconfigサポートを追加しました。
  - PCI CAP
  - AUTO_POWER_SAVE_LINK_DOWN

サポートしているデバイスおよび機能

HPE部品番号	InfiniBandカードタイプ	PSID
779793-B21	HP Ethernet 10Gb 2ポート546SFP+アダプター	HP_1200111023
779799-B21	HP Ethernet 10Gb 2ポート546FLR-SFP+アダプター	HP_2240110004
817749-B21	HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640FLR-SFP28 アダプター	HP_2690110034
817753-B21	HPE Ethernet 25Gb 2ポート 640SFP28 アダプター	HP_2420110034
868779-B21	HPE Synergy 6410C 25/50Gb Ethernetアダプター	HPE0000000006
874253-B21	HPE Ethernet 100Gb 1ポート 842QSFP28 アダプター	HPE0000000014

ファームウェア - NVDIMM

先頭

HPE Gen10サーバー上にIntel Optane DC Persistent Memoryを搭載したHPE Persistent Memory用のファームウェアパッケージ

バージョン: 01.02.00.5435 (B) **(推奨)**
ファイル名: dcpmm_01.02.00.5435.fwpkg

重要な注意！

このソフトウェアパッケージには、Intel Optane DC Persistent Memoryファームウェアバージョン1.2.0.5435が含まれています

拡張

- この製品には、主にパフォーマンスの改善が含まれています。
- この製品は、Red Hat Enterprise Linux 8、SUSE Linux Enterprise Server 12、およびVMware ESXi 7.0をサポートするようになりました。

サポートしているデバイスおよび機能

このパッケージは、次のメモリデバイスをサポートします:

- Intel Optane DC Persistent Memoryを搭載するHPE 512GB 2666 Persistent Memory Kit
- Intel Optane DC Persistent Memoryを搭載するHPE 256GB 2666 Persistent Memory Kit
- Intel Optane DC Persistent Memoryを搭載するHPE 128GB 2666 Persistent Memory Kit

---

Linux用オンラインフラッシュコンポーネント - 16GB NVDIMM-N DDR4-2666

バージョン: 1.04 (A) **(オプション)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-nvdimm-16gb-1.04-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-nvdimm-16gb-1.04-1.1.x86_64.rpm

修正

最初のリリース。

拡張

最初のリリース。

Windows x64用オンラインフラッシュコンポーネント - 16GB NVDIMM-N DDR4-2666

バージョン: 1.04 (A) **(オプション)**
ファイル名: cp037531.compsig; cp037531.exe

修正

最初のリリース。

拡張

最初のリリース。

オンラインフラッシュコンポーネント for Linux - HPE Gen10サーバー上のIntel Optane DC Persistent Memoryを搭載したHPE Persistent Memory

バージョン: 1.2.0.5435 (B) **(推奨)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-dcpmm-1.2.0.5435-2.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-dcpmm-1.2.0.5435-2.1.x86_64.rpm

重要な注意！

このソフトウェアパッケージには、Intel Optane DC Persistent Memoryファームウェアバージョン1.2.0.5435が含まれています

事前要件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

拡張

- Gen10サーバー用HPE Persistent Memoryのファームウェアの最初のリリース。
- この製品には、主にパフォーマンスの改善が含まれています。
- この製品は、Red Hat Enterprise Linux 8およびSUSE Linux Enterprise Server 12をサポートするようになりました。

サポートしているデバイスおよび機能

このパッケージは、次のメモリデバイスをサポートします:

- Intel Optane DC Persistent Memoryを搭載するHPE 512GB 2666 Persistent Memory Kit
- Intel Optane DC Persistent Memoryを搭載するHPE 256GB 2666 Persistent Memory Kit
- Intel Optane DC Persistent Memoryを搭載するHPE 128GB 2666 Persistent Memory Kit

---

オンラインフラッシュコンポーネント for Windows x64 - HPE Gen10サーバー上のIntel Optane DC Persistent Memoryを搭載したHPE Persistent Memory

バージョン: 1.2.0.5375 **(推奨)**
ファイル名: cp039525.compsig; cp039525.exe

事前要件

Service Pack for ProLiant(SPP)から入手可能なWindows用のiLO 5 Channel Interface Driver(CHIF)。

拡張

Gen10サーバー用HPE Persistent Memoryのファームウェアの最初のリリース。

ファームウェアパッケージ - 16GB NVDIMM-N DDR4-2666

バージョン: 1.04 (B) **(推奨)**
ファイル名: nvdimm-16gb_1.04.fwpkg

拡張

この製品は、Microsoft Windows Server 2019、Red Hat Enterprise Linux 8、SUSE Linux Enterprise Server 15、およびVMware ESXi 7.0をサポートするようになりました。

サポートしているデバイスおよび機能

このパッケージは、次のメモリデバイスをサポートします:

- HPE 16GB NVDIMMシングルランクx4 DDR4-2666モジュールキット

ファームウェア - PCIe NVMeストレージディスク

先頭

Linux用オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネント(x64)- MK000400KWDUK、VK000480KWDUE、MK000800KWDUL、VK000960KWDUF、MK001600KWDUN、およびVK001920KWDUHドライブ

バージョン: HPK4 (D) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b45e49679c-HPK4-4.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b45e49679c-HPK4-4.1.x86_64.rpm

拡張

- RHEL8.2のサポートを追加しました

VMware ESXi用オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネント - VS000480KWDUP、VS000960KWDUQ、MS000400KWDUR、およびMS000800KWDUTドライブ

バージョン: HPK4 (C) **(推奨)**
ファイル名: CP043757.compsig; CP043757.zip

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MM1000GFJTEドライブ

バージョン: 85030G00 (C) **(推奨)**
ファイル名: CP044993.compsig; CP044993.zip

拡張

- VMware 7.0 U1のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - ET000750KWJTF、EO000750KWTXC、およびEO000375KWJUCドライブ

バージョン: HPK3 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-c4355d15c4-HPK3-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-c4355d15c4-HPK3-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - LO0400KEFJQ、LO0800KEFJR、LO1600KEFJT、LO2000KEFJU、LT0800KEXVA、LT1600KEXVB、およびLT2000KEXVCドライブ

バージョン: HPK4 (E) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-d64642c780-HPK4-5.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-d64642c780-HPK4-5.1.x86_64.rpm

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MO001600KWVNB、MO003200KWVNCおよびMO006400KWVND ドライブ

バージョン: HPK2 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-cea219e4b1-HPK2-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-cea219e4b1-HPK2-2.1.x86_64.rpm

拡張

- RHEL8.2のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MT001600KWHAC、MT003200KWHAD、およびMT006400KWHAEドライブ

バージョン: HPS1 (D) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8e8ddc5265-HPS1-4.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8e8ddc5265-HPS1-4.1.x86_64.rpm

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VO001000KWJSE、VO002000KWJSF、VO004000KWJSH、VT004000KWJSU、MO001600KWJSN、およびMO003200KWJSQドライブ

バージョン: HPK1 (E) **(クリティカル)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-1656c1b14a-HPK1-5.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-1656c1b14a-HPK1-5.1.x86_64.rpm

修正

- このファームウェアは、特定の条件またはワークロード中にドライブが無効になり機能しなくなる可能性を修正します。
- ドライブをファームウェアバージョンHPK1にアップグレードした後、ファームウェアバージョンHPK0にダウングレードできません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VO002000KWVVC、VO004000KWVUR、MO001600KWVUU、MO003200KWVUV、およびMO006400KWVVAドライブ

バージョン: HPK1 (C) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-92d876cfea-HPK1-3.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-92d876cfea-HPK1-3.1.x86_64.rpm

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VO0400KEFJB、VO1200KEFJC、およびVO2000KEFJDドライブ

バージョン: HPK4 (E) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-9a826ccd8a-HPK4-5.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-9a826ccd8a-HPK4-5.1.x86_64.rpm

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VS000480KWDUP、VS000960KWDUQ、MS000400KWDUR、およびMS000800KWDUTドライブ

バージョン: HPK4 (D) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-95a2e5abcb-HPK4-4.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-95a2e5abcb-HPK4-4.1.x86_64.rpm

拡張

- RHEL8.2のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VS000480KXALBドライブ

バージョン: 85030G00 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-805abb7e9c-85030G00-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-805abb7e9c-85030G00-2.1.x86_64.rpm

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Linux(x64)- MO0400KEFHN、MO0800KEFHP、MO1600KEFHQ、MO2000KEFHR、MT0800KEXUU、およびMT1600KEXUVドライブ

バージョン: HPK4 (E) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2a5b65f157-HPK4-5.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2a5b65f157-HPK4-5.1.x86_64.rpm

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - ET000750KWJTF、EO000750KWTXC、およびEO000375KWJUCドライブ

バージョン: HPK3 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP043846.compsig; CP043846.zip

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - LO0400KEFJQ、LO0800KEFJR、LO1600KEFJT、LO2000KEFJU、LT0800KEXVA、LT1600KEXVB、およびLT2000KEXVCドライブ

バージョン: HPK4 (D) **(推奨)**
ファイル名: CP044498.compsig; CP044498.zip

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MK000400KWDUK、VK000480KWDUE、MK000800KWDUL、VK000960KWDUF、MK001600KWDUN、およびVK001920KWDUHドライブ

バージョン: HPK4 (E) **(推奨)**
ファイル名: CP044491.compsig; CP044491.zip

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MO001600KWVNB、MO003200KWVNC およびMO006400KWVNDドライブ

バージョン: HPK2 **(推奨)**
ファイル名: CP043321.compsig; CP043321.zip

修正

- SSIDがドライブに正しくプログラムされない問題を修正します。これにより、Integrated Lights-Outユーティリティでドライブが正しく識別されないという問題が発生する場合があります。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MO0400KEFHN、MO0800KEFHP、MO1600KEFHQ、MO2000KEFHR、MT0800KEXUUおよびMT1600KEXUVドライブ

バージョン: HPK4 (C) **(推奨)**
ファイル名: CP043753.compsig; CP043753.zip

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MT001600KWHAC、MT003200KWHADおよびMT006400KWHAEドライブ

バージョン: HPS1 (D) **(推奨)**
ファイル名: CP044496.compsig; CP044496.zip

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MT001600KWSTB、MT003200KWSTCおよびMT006400KWSTDドライブ

バージョン: HPK2 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP044246.compsig; CP044246.zip

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VO001000KWJSE、VO002000KWJSF、VO004000KWJSH、VT004000KWJSU、MO001600KWJSN、およびMO003200KWJSQドライブ

バージョン: HPK1 (D) **(クリティカル)**
ファイル名: CP044495.compsig; CP044495.zip

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- このファームウェアは、特定の条件またはワークロード中にドライブが無効になり機能しなくなる可能性を修正します。
- ドライブをファームウェアバージョンHPK1にアップグレードした後、ファームウェアバージョンHPK0にダウングレードできません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VO002000KWVVC、VO004000KWVUR、MO001600KWVUU、MO003200KWVUV、およびMO006400KWVVAドライブ

バージョン: HPK1 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP044243.compsig; CP044243.zip

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VO0400KEFJB、VO1200KEFJC、およびVO2000KEFJDドライブ

バージョン: HPK4 (D) **(推奨)**
ファイル名: CP044497.compsig; CP044497.zip

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - ET000750KWJTF、EO000750KWTXC、およびEO000375KWJUCドライブ

バージョン: HPK3 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp043969.compsig; cp043969.exe; cp043969.md5

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - LO0400KEFJQ、LO0800KEFJR、LO1600KEFJT、LO2000KEFJU、LT0800KEXVA、LT1600KEXVB、およびLT2000KEXVCドライブ

バージョン: HPK4 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp043870.compsig; cp043870.exe; cp043870.md5

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MO001600KWVNB、MO003200KWVNC、およびMO006400KWVNDドライブ

バージョン: HPK2 **(推奨)**
ファイル名: cp044393.compsig; cp044393.exe; cp044393.md5

修正

- SSIDがドライブに正しくプログラムされない問題を修正します。これにより、Integrated Lights-Outユーティリティでドライブが正しく識別されないという問題が発生する場合があります。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MT001600KWHAC、MT003200KWHAD、およびMT006400KWHAEドライブ

バージョン: HPS1 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp043865.compsig; cp043865.exe; cp043865.md5

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MT001600KWSTB、MT003200KWSTCおよびMT006400KWSTDドライブ

バージョン: HPK2 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-9ccac59e76-HPK2-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-9ccac59e76-HPK2-2.1.x86_64.rpm

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MT001600KWSTB、MT003200KWSTCおよびMT006400KWSTDドライブ

バージョン: HPK2 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp044248.compsig; cp044248.exe; cp044248.md5

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VO001000KWJSE、VO002000KWJSF、VO004000KWJSH、VT004000KWJSU、MO001600KWJSN、およびMO003200KWJSQドライブ

バージョン: HPK1 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp043872.compsig; cp043872.exe; cp043872.md5

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VO002000KWVVC、VO004000KWVUR、MO001600KWVUU、MO003200KWVUV、およびMO006400KWVVAドライブ

バージョン: HPK1 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp044244.compsig; cp044244.exe; cp044244.md5

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VS000480KWDUP、VS000960KWDUQ、MS000400KWDUR、およびMS000800KWDUTドライブ

バージョン: HPK4 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp043871.compsig; cp043871.exe; cp043871.md5

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VS000480KXALBドライブ

バージョン: 85030G00 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp044288.compsig; cp044288.exe; cp044288.md5

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MK000400KWDUK、VK000480KWDUE、MK000800KWDUL、VK000960KWDUF、MK001600KWDUN、およびVK001920KWDUHドライブ

バージョン: HPK4 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp043864.compsig; cp043864.exe; cp043864.md5

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- MO0400KEFHN、MO0800KEFHP、MO1600KEFHQ、MO2000KEFHR、MT0800KEXUU、およびMT1600KEXUVドライブ

バージョン: HPK4 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp043603.compsig; cp043603.exe; cp043603.md5

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインNVMe SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- VO0400KEFJB、VO1200KEFJC、およびVO2000KEFJDドライブ

バージョン: HPK4 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp043863.compsig; cp043863.exe; cp043863.md5

重要な注意!

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

ファームウェア - SASストレージディスク

先頭

オンライン HDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - VO000960JWTBK、VO001920JWTBL、VO003840JWTBN、VO007680JWTBP、MO000400JWTBQ、MO000800JWTBR、MO001600JWTBT、MO003200JWTBU、MO006400JWTCD、EO000400JWTBV、EO000800JWTCA、EO001600JWTCB ドライブ

バージョン: HPD7 (D) **(推奨)**
ファイル名: CP043816.compsig; CP043816.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。

これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンライン HDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VO000960JWTBK、VO001920JWTBL、VO003840JWTBN、VO007680JWTBP、 MO000400JWTBQ、MO000800JWTBR、MO001600JWTBT、MO003200JWTBU、 MO006400JWTCD、EO000400JWTBV、EO000800JWTCA、EO001600JWTCBドライブ

バージョン: HPD7 (E) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-9ad359dac1-HPD7-5.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-9ad359dac1-HPD7-5.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンライン HDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VO000960JWTBK、VO001920JWTBL、VO003840JWTBN、VO007680JWTBP、MO000400JWTBQ、MO000800JWTBR、MO001600JWTBT、MO003200JWTBU、MO006400JWTCD、EO000400JWTBV、EO000800JWTCA、EO001600JWTCB ドライブ

バージョン: HPD7 (C) **(推奨)**
ファイル名: cp043941.compsig; cp043941.exe; cp043941.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SDDフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - EG001800JWJNRおよびEG002400JWJNTドライブ

バージョン: HPD5 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b1c9eaf74c-HPD5-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b1c9eaf74c-HPD5-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SDDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MB6000JVYZDおよびMB4000JVYZCドライブ

バージョン: HPD4 (E) **(推奨)**
ファイル名: CP044489.compsig; CP044489.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SDDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MO0200JEFNV、MO0400JEFPA、MO0800JEFPB、MO1600JEFPC、EO0200JEFPD、EO0400JEFPE、およびEO0800JEFPFドライブ

バージョン: HPD3 (G) **(推奨)**
ファイル名: CP043752.compsig; CP043752.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SDDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EG0300FCSPH、EG0450FCSPK、EG0600FCSPL、およびEG0900FCSPNドライブ

バージョン: HPD2 (G) **(推奨)**
ファイル名: CP043769.compsig; CP043769.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for ESXi - MB014000JWRTH、MB012000JWRTFおよびMB010000JWRTE ドライブ

バージョン: HPD2 (D) **(推奨)**
ファイル名: CP043825.compsig; CP043825.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - EK0800JVYPN、EO1600JVYPP、MK0800JVYPQ、およびMO1600JVYPRドライブ

バージョン: HPD7 (B) **(クリティカル)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-481c8ea9a7-HPD7-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-481c8ea9a7-HPD7-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- この問題は、HPD7以前のHPEファームウェアバージョンを使用しているSSDに影響を与え、40,000時間(つまり、4年、205日16時間)の動作でSSDの障害が発生すると、SSDの障害が発生した後、SSDもデータも回復できなくなります。
- さらに、同時にサービスを開始したSSDは、ほぼ同時に故障する可能性があります。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリhttps://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00097382en_usを参照してください。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MB004000JWWQB、MB002000JWWQA、およびMB001000JWWPVドライブ

バージョン: HPD2 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-adb3ab8147-HPD2-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-adb3ab8147-HPD2-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MB008000JWWQPおよびMB006000JWWQNドライブ

バージョン: HPD2 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-ae6b41e855-HPD2-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-ae6b41e855-HPD2-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MB6000JEQUV およびMB8000JEQVAドライブ

バージョン: HPDB (G) **(推奨)**
ファイル名: CP043774.compsig; CP043774.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - VO000960RWUEV、VO001920RWUFA、VO003840RWUFB、VO007680RWUFC、VO000960RWUFD、VO001920RWUFE およびVO003840RWUFFドライブ

バージョン: HPD3 (C) **(推奨)**
ファイル名: CP043850.compsig; CP043850.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - EG000300JWSJP、EG000600JWJNHおよびEG001200JWJNKドライブ

バージョン: HPD2 (D) **(推奨)**
ファイル名: CP043828.compsig; CP043828.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - EG000600JWFUVおよびEG001200JWFVAドライブ

バージョン: HPD3 (F) **(オプション)**
ファイル名: CP043780.compsig; CP043780.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - EG000600JWJNPおよびEG001200JWJNQドライブ

バージョン: HPD3 (C) **(推奨)**
ファイル名: CP043849.compsig; CP043849.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - EG001800JWJNLおよびEG002400JWJNNドライブ

バージョン: HPD2 (E) **(推奨)**
ファイル名: CP043821.compsig; CP043821.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - EG001800JWJNRおよびEG002400JWJNTドライブ

バージョン: HPD5 (C) **(推奨)**
ファイル名: CP043848.compsig; CP043848.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - EG0300JEHLV、EG0600JEHMA、EG0900JEHMB、およびEG1200JEHMCドライブ

バージョン: HPD5 (H) **(推奨)**
ファイル名: CP043841.compsig; CP043841.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - EH000300JWCPK、EH000600JWCPL、およびEH000900JWCPNドライブ

バージョン: HPD5 (D) **(推奨)**
ファイル名: CP043771.compsig; CP043771.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、

Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - EH000600JWCPFおよびEH000900JWCPHドライブ

バージョン: HPD7 (D) **(推奨)**
ファイル名: CP043770.compsig; CP043770.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - EH000900JWHPKおよびEH000600JWHPHドライブ

バージョン: HPD4 (C) **(推奨)**
ファイル名: CP043743.compsig; CP043743.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - EH0300JDYTH、EH0450JDYTK、およびEH0600JDYTLドライブ

バージョン: HPD6 (H) **(推奨)**
ファイル名: CP043783.compsig; CP043783.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - EO000400JWDKP、EO000800JWDKQ、EO001600JWDKR、MO000400JWDKU、MO000800JWDKV、MO001600JWDLA および MO003200JWDLBドライブ

バージョン: HPD2 (D) **(推奨)**
ファイル名: CP043788.compsig; CP043788.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MB002000JWFVNおよびMB004000JWFVPドライブ

バージョン: HPD3 (C) **(推奨)**
ファイル名: CP043832.compsig; CP043832.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。

これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MB2000JFEMLおよびMB4000JFEMNドライブ

バージョン: HPD6 (G) **(クリティカル)**
ファイル名: CP043785.compsig; CP043785.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- プロセス中の書き込みの再試行が誤った場所で間違って開始されることによって発生する潜在的なデータ整合性の問題を修正します。これらの問題は、サプライヤーの継続的な信頼性テスト中で検出されました。
- ファームウェアは、緊急の電源オフの改善も含まれます。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MB2000JFEPAおよびMB4000JFEPBドライブ

バージョン: HPD5 (G) **(推奨)**
ファイル名: CP043857.compsig; CP043857.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、

Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MB4000JEFNCおよびMB6000JEFNDドライブ

バージョン: HPD9 (G) **(推奨)**
ファイル名: CP043764.compsig; CP043764.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MB4000JEQNLおよびMB6000JEQNNドライブ

バージョン: HPDB (G) **(推奨)**
ファイル名: CP043765.compsig; CP043765.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MM1000JFJTHドライブ

バージョン: HPD3 (F) **(オプション)**
ファイル名: CP043775.compsig; CP043775.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - VO007680JWCNKおよびVO015300JWCNLドライブ

バージョン: HPD8 (C) **(クリティカル)**
ファイル名: CP043835.compsig; CP043835.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- この問題は、HPD8より前のHPEファームウェアバージョンのSSDに影響し、SSD障害が発生した後、32,768時間(つまり、3年、270日8時間)でSSDが故障し、SSDもデータも回復できません。
- さらに、同時にサービスを開始したSSDは、ほぼ同時に故障する可能性があります。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00092491en_usを参照してください。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi -MB004000JWFVKおよびMB006000JWFVLドライブ

バージョン: HPD3 (C) **(推奨)**
ファイル名: CP043847.compsig; CP043847.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi -VK000960JWSSQ、VK001920JWSSR、VK003840JWSST、VK007680JWSSUおよびVO015300JWSSVドライブ

バージョン: HPD8 (C) **(クリティカル)**
ファイル名: CP043834.compsig; CP043834.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- この問題は、HPD8より前のHPEファームウェアバージョンのSSDに影響し、SSD障害が発生した後、32,768時間(つまり、3年、270日8時間)でSSDが故障し、SSDもデータも回復できません。
- さらに、同時にサービスを開始したSSDは、ほぼ同時に故障する可能性があります。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00092491en_usを参照してください。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - EK0800JVYPN、EO1600JVYPP、MK0800JVYPQ、およびMO1600JVYPRドライブ

バージョン: HPD7 (B) **(クリティカル)**
ファイル名: cp044216.compsig; cp044216.exe; cp044216.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- この問題は、HPD7以前のHPEファームウェアバージョンを使用しているSSDに影響を与え、40,000時間(つまり、4年、205日16時間)の動作でSSDの障害が発生すると、SSDの障害が発生した後、SSDもデータも回復できなくなります。
- さらに、同時にサービスを開始したSSDは、ほぼ同時に故障する可能性があります。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリhttps://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00097382en_usを参照してください。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MB004000JWWQB、MB002000JWWQA、およびMB001000JWWPVドライブ

バージョン: HPD2 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp044220.compsig; cp044220.exe; cp044220.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MB008000JWWQPおよびMB006000JWWQNドライブ

バージョン: HPD2 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp044201.compsig; cp044201.exe; cp044201.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor ESXi - EK0800JVYPN、EO1600JVYPP、MK0800JVYPQ、およびMO1600JVYPRドライブ

バージョン: HPD7 (B) **(クリティカル)**
ファイル名: CP044215.compsig; CP044215.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- この問題は、HPD7以前のHPEファームウェアバージョンを使用しているSSDに影響を与え、40,000時間(つまり、4年、205日16時間)の動作でSSDの障害が発生すると、SSDの障害が発生した後、SSDもデータも回復できなくなります。
- さらに、同時にサービスを開始したSSDは、ほぼ同時に故障する可能性があります。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリhttps://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00097382en_usを参照してください。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor ESXi - MB004000JWWQB、MB002000JWWQA、およびMB001000JWWPVドライブ

バージョン: HPD2 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP044219.compsig; CP044219.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、

Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor ESXi - MB008000JWWQPおよびMB006000JWWQNドライブ

バージョン: HPD2 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP044203.compsig; CP044203.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB004000JWKGU ドライブ

バージョン: HPD1 (C) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2c27a7a9a4-HPD1-3.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2c27a7a9a4-HPD1-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB006000JWKGN ドライブ

バージョン: HPD1 (C) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-a886842a99-HPD1-3.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-a886842a99-HPD1-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB008000JWRTD ドライブ

バージョン: HPD1 (C) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8b26d1ef02-HPD1-3.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8b26d1ef02-HPD1-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VO000960RWUEV、VO001920RWUFA、VO003840RWUFB、VO007680RWUFC、VO000960RWUFD、VO001920RWUFE およびVO003840RWUFFドライブ

バージョン: HPD3 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8fafc9efb2-HPD3-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8fafc9efb2-HPD3-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、

Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EG000300JWBHRドライブ

バージョン: HPD4 (D) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2e4c61fc63-HPD4-4.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2e4c61fc63-HPD4-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EG000300JWFVBドライブ

バージョン: HPD2 (E) **(オプション)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-c5cd837c29-HPD2-5.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-c5cd837c29-HPD2-5.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EG000300JWSJP、EG000600JWJNHおよびEG001200JWJNKドライブ

バージョン: HPD2 (C) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-24fe569b72-HPD2-3.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-24fe569b72-HPD2-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EG000600JWFUVおよびEG001200JWFVAドライブ

バージョン: HPD3 (E) **(オプション)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-f0c91d2fe3-HPD3-5.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-f0c91d2fe3-HPD3-5.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EG000600JWJNPおよびEG001200JWJNQドライブ

バージョン: HPD3 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-bdfb8e99d9-HPD3-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-bdfb8e99d9-HPD3-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EG001800JWFVCドライブ

バージョン: HPD3 (E) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-693b9a2853-HPD3-5.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-693b9a2853-HPD3-5.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EG001800JWJNLおよびEG002400JWJNNドライブ

バージョン: HPD2 (D) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-852266afdf-HPD2-4.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-852266afdf-HPD2-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EG0300JEHLV、EG0600JEHMA、EG0900JEHMB、およびEG1200JEHMCドライブ

バージョン: HPD5 (G) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-31f91b8622-HPD5-7.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-31f91b8622-HPD5-7.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EG0300JFCKA、EG0600JEMCV、EG0900JFCKB、およびEG1200JEMDAドライブ

バージョン: HPD6 (G) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-ac3fda26eb-HPD6-7.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-ac3fda26eb-HPD6-7.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EG0600JETKA、EG0900JETKBおよびEG1200JETKCドライブ

バージョン: HPD7 (D) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-7505dfb5ae-HPD7-4.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-7505dfb5ae-HPD7-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EG1800JEHMDドライブ

バージョン: HPD6 (G) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8a2c06af48-HPD6-7.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8a2c06af48-HPD6-7.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EG1800JEMDBドライブ

バージョン: HPD5 (F) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-0a38b25661-HPD5-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-0a38b25661-HPD5-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EG1800JFHMHドライブ

バージョン: HPD7 (E) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-7fc5497116-HPD7-5.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-7fc5497116-HPD7-5.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EH0600JDYTNドライブ

バージョン: HPD7 (F) **(クリティカル)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-f3faa195ff-HPD7-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-f3faa195ff-HPD7-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- 古くなったデータが誤ってキャッシュから使用されるというデータ整合性のリスクを修正します。
- アライメントされていない重複書き込み読み取り操作で古いデータが返されるデータ整合性に関するリスクが修正されます。
- 不完全なデータが読み取られる可能性がある、回復されたエラーが発生した場合の順次読み取りおよび書き込みワークロード中のデータ整合性リスクを修正します。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EO000400JWDKP、EO000800JWDKQ、EO001600JWDKR、MO000400JWDKU、MO000800JWDKV、MO001600JWDLA、およびMO003200JWDLBドライブ

バージョン: HPD2 (D) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-5dcf26fa42-HPD2-4.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-5dcf26fa42-HPD2-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB002000JWFVNおよびMB004000JWFVP ドライブ

バージョン: HPD3 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-d7af557f47-HPD3-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-d7af557f47-HPD3-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB004000JWFVKおよびMB006000JWFVLドライブ

バージョン: HPD3 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-f6d00bd17e-HPD3-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-f6d00bd17e-HPD3-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB008000JWJRQおよびMB006000JWJRPドライブ

バージョン: HPD5 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-faf39e0ff7-HPD5-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-faf39e0ff7-HPD5-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。

これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB010000JWAYKおよびMB008000JWAYHドライブ

バージョン: HPD5 (E) **(クリティカル)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-6ec35faf90-HPD5-5.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-6ec35faf90-HPD5-5.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- このコードは、アライメントされていない書き込みコマンドに関連する潜在的なデータ整合性の問題を修正します。このサプライヤーの継続的なラボテストで発見されました。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB012000JWDFDドライブ

バージョン: HPD2 (E) **(クリティカル)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-aaf1014ede-HPD2-5.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-aaf1014ede-HPD2-5.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- サプライヤーの継続的なラボテストでのみ見られる、整列されていない書き込みコマンド中の潜在的なデータ整合性の問題を修正します。エラー処理と信頼性を改善するための追加の修正が含まれています。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB014000JWRTH、MB012000JWRTFおよびMB010000JWRTE ドライブ

バージョン: HPD2 (D) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-10385ef3e6-HPD2-4.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-10385ef3e6-HPD2-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB014000JWUDBドライブ

バージョン: HPD2 (C) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-cfd7436fcc-HPD2-3.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-cfd7436fcc-HPD2-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB1000JVYZL、MB2000JVYZN、MB3000JVYZP、およびMB4000JVYZQドライブ

バージョン: HPD3 (D) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b85516c7d2-HPD3-4.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b85516c7d2-HPD3-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB2000JFDSLおよびMB4000JFDSNドライブ

バージョン: HPD4 (F) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-46fc43ab26-HPD4-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-46fc43ab26-HPD4-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB2000JFEMLおよびMB4000JFEMNドライブ

バージョン: HPD6 (F) **(クリティカル)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-624b75c7e2-HPD6-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-624b75c7e2-HPD6-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- プロセス中の書き込みの再試行が誤った場所で間違って開始されることによって発生する潜在的なデータ整合性の問題を修正します。 これらの問題は、サプライヤーの継続的な信頼性テスト中で検出されました。
- ファームウェアは、緊急の電源オフの改善も含まれます。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB2000JFEPAおよびMB4000JFEPBドライブ

バージョン: HPD5 (F) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-326de7c0f2-HPD5-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-326de7c0f2-HPD5-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB4000JEFNCおよびMB6000JEFNDドライブ

バージョン: HPD9 (F) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-af802bb412-HPD9-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-af802bb412-HPD9-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB4000JEQNLおよびMB6000JEQNNドライブ

バージョン: HPDB (F) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2cfaac41db-HPDB-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2cfaac41db-HPDB-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB4000JEXYAおよびMB6000JEXYBドライブ

バージョン: HPD9 (D) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-0f923833e9-HPD9-4.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-0f923833e9-HPD9-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB6000JEQUVおよびMB8000JEQVAドライブ

バージョン: HPDB (F) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-df22f7effd-HPDB-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-df22f7effd-HPDB-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB6000JVYYVドライブ

バージョン: HPD2 (F) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-0595c2a887-HPD2-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-0595c2a887-HPD2-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB6000JVYZDおよびMB4000JVYZCドライブ

バージョン: HPD4 (D) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-e800e8d3b9-HPD4-4.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-e800e8d3b9-HPD4-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB8000JFECQドライブ

バージョン: HPD7 (E) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-252770cdda-HPD7-5.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-252770cdda-HPD7-5.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MM1000JEFRBおよびMM2000JEFRCドライブ

バージョン: HPD8 (E) **(オプション)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b04257b77b-HPD8-5.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b04257b77b-HPD8-5.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MM1000JFJTHドライブ

バージョン: HPD3 (E) **(オプション)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-fa46c607d6-HPD3-5.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-fa46c607d6-HPD3-5.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MO000400JWUFT、MO000800JWUFU、MO001600JWUFV、MO003200JWUGA、MO006400JWUGB、EO000400JWUGC、EO000800JWUGD、およびEO001600JWUGEドライブ

バージョン: HPD1 (D) **(オプション)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-ef93133161-HPD1-4.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-ef93133161-HPD1-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MO0200JEFNV、MO0400JEFPA、MO0800JEFPB、MO1600JEFPC、EO0200JEFPD、EO0400JEFPE、およびEO0800JEFPFドライブ

バージョン: HPD3 (F) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-71af849f3b-HPD3-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-71af849f3b-HPD3-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MO0400JFFCF、MO0800JFFCH、MO1600JFFCK、およびMO3200JFFCLドライブ

バージョン: HPD9 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-edf6dcd906-HPD9-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-edf6dcd906-HPD9-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VO007680JWCNKおよびVO015300JWCNLドライブ

バージョン: HPD8 (B) **(クリティカル)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-4c048aaeb0-HPD8-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-4c048aaeb0-HPD8-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- この問題は、HPD8より前のHPEファームウェアバージョンのSSDに影響し、SSD障害が発生した後、32,768時間(つまり、3年、270日8時間)でSSDが故障し、SSDもデータも回復できません。
- さらに、同時にサービスを開始したSSDは、ほぼ同時に故障する可能性があります。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ: https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00092491en_usを参照してください。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VO0480JFDGT、VO0960JFDGU、VO1920JFDGV、およびVO3840JFDHAドライブ

バージョン: HPD9 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8ed8893abd-HPD9-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8ed8893abd-HPD9-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VO1920JEUQQドライブ

バージョン: HPD3 (F) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-5d9e841607-HPD3-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-5d9e841607-HPD3-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64)- EG0300FCSPH、EG0450FCSPK、EG0600FCSPL、およびEG0900FCSPNドライブ

バージョン: HPD2 (F) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-7c1a1734f9-HPD2-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-7c1a1734f9-HPD2-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) -VK000960JWSSQ、VK001920JWSSR、VK003840JWSST、VK007680JWSSUおよびVO015300JWSSVドライブ

バージョン: HPD8 (C) **(クリティカル)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-1e51a57347-HPD8-3.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-1e51a57347-HPD8-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

- この問題は、HPD8より前のHPEファームウェアバージョンのSSDに影響し、SSD障害が発生した後、32,768時間(つまり、3年、270日8時間)でSSDが故障し、SSDもデータも回復できません。
- さらに、同時にサービスを開始したSSDは、ほぼ同時に故障する可能性があります。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ: https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00092491en_usを参照してください。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64)- VO000480JWDAR、VO000960JWDAT、VO001920JWDAUおよびVO003840JWDAVドライブ

バージョン: HPD8 (B) **(クリティカル)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2eb810cdd7-HPD8-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2eb810cdd7-HPD8-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

- この問題は、HPD8より前のHPEファームウェアバージョンのSSDに影響し、SSD障害が発生した後、32,768時間(つまり、3年、270日8時間)でSSDが故障し、SSDもデータも回復できません。
- さらに、同時にサービスを開始したSSDは、ほぼ同時に故障する可能性があります。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ: https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00092491en_usを参照してください。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux(x64) - EH000300JWCPK、EH000600JWCPLおよびEH000900JWCPNドライブ

バージョン: HPD5 (D) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-3d97759111-HPD5-4.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-3d97759111-HPD5-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux(x64) - EH000600JWCPFおよびEH000900JWCPHドライブ

バージョン: HPD7 (D) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-a05f29cef3-HPD7-4.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-a05f29cef3-HPD7-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux(x64) - EH000900JWHPKおよびEH000600JWHPHドライブ

バージョン: HPD4 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-c7df7ceedb-HPD4-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-c7df7ceedb-HPD4-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux(x64) - EH000900JWHPP、EH000600JWHPNおよびEH000300JWHPLドライブ

バージョン: HPD4 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8d68452816-HPD4-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8d68452816-HPD4-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux(x64) - EH0300JDXBA、EH0450JDXBBおよびEH0600JDXBCドライブ

バージョン: HPD5 (F) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-1cbab97ff0-HPD5-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-1cbab97ff0-HPD5-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux(x64) - EH0300JDYTH、EH0450JDYTKおよびEH0600JDYTLドライブ

バージョン: HPD6 (G) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b9340d29be-HPD6-7.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b9340d29be-HPD6-7.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux(x64) - EH0300JEDHC、EH0450JEDHDおよびEH0600JEDHEドライブ

バージョン: HPD4 (G) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8c4a212ff9-HPD4-7.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8c4a212ff9-HPD4-7.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux(x64)-MO000400JWFWN、MO000800JWFWP、MO001600JWFWQ、MO003200JWFWR、MO000960JWFWT、MO001920JWFWUおよびMO003840JWFWVドライブ

バージョン: HPD5 (C) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b8a60fbe9a-HPD5-3.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b8a60fbe9a-HPD5-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EG000300JWBHRドライブ

バージョン: HPD4 (E) **(推奨)**
ファイル名: CP044494.compsig; CP044494.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EG000300JWFVBドライブ

バージョン: HPD2 (F) **(推奨)**
ファイル名: CP043779.compsig; CP043779.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EG001800JWFVC ライブ

バージョン: HPD3 (D) **(推奨)**
ファイル名: CP043768.compsig; CP043768.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EG0300JFCKA、EG0600JEMCV、EG0900JFCKB、およびEG1200JEMDAドライブ

バージョン: HPD6 (G) **(推奨)**
ファイル名: CP043839.compsig; CP043839.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EG0600JETKA、EG0900JETKB、およびEG1200JETKCドライブ

バージョン: HPD7 (D) **(推奨)**
ファイル名: CP043758.compsig; CP043758.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、

Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EG1800JEHMDドライブ

バージョン: HPD6 (H) **(推奨)**
ファイル名: CP043781.compsig; CP043781.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EG1800JEMDBドライブ

バージョン: HPD5 (G) **(推奨)**
ファイル名: CP043759.compsig; CP043759.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EG1800JFHMHドライブ

バージョン: HPD7 (F) **(推奨)**
ファイル名: CP043782.compsig; CP043782.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EH000900JWHPP、EH000600JWHPNおよびEH000300JWHPLドライブ

バージョン: HPD4 (C) **(推奨)**
ファイル名: CP043829.compsig; CP043829.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EH0300JDXBA、EH0450JDXBB、およびEH0600JDXBCドライブ

バージョン: HPD5 (G) **(推奨)**
ファイル名: CP043760.compsig; CP043760.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EH0300JEDHC、EH0450JEDHD、およびEH0600JEDHEドライブ

バージョン: HPD4 (H) **(推奨)**
ファイル名: CP043761.compsig; CP043761.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EH0600JDYTNドライブ

バージョン: HPD7 (F) **(クリティカル)**
ファイル名: CP043798.compsig; CP043798.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- 古くなったデータが誤ってキャッシュから使用されるというデータ整合性のリスクを修正します。
- アライメントされていない重複書き込み読み取り操作で古いデータが返されるデータ整合性に関するリスクが修正されます。
- 不完全なデータが読み取られる可能性がある、回復されたエラーが発生した場合の順次読み取りおよび書き込みワークロード中のデータ整合性リスクを修正します。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB004000JWKGUドライブ

バージョン: HPD1 (D) **(推奨)**
ファイル名: CP043818.compsig; CP043818.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB006000JWKGNドライブ

バージョン: HPD1 (D) **(推奨)**
ファイル名: CP043819.compsig; CP043819.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB008000JWJRQおよびMB006000JWJRP ドライブ

バージョン: HPD5 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP044156.compsig; CP044156.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。

これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB008000JWRTD ドライブ

バージョン: HPD1 (D) **(推奨)**
ファイル名: CP043822.compsig; CP043822.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB010000JWAYKおよびMB008000JWAYHドライブ

バージョン: HPD5 (E) **(クリティカル)**
ファイル名: CP043784.compsig; CP043784.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- このコードは、アライメントされていない書き込みコマンドに関連する潜在的なデータ整合性の問題を修正します。このサプライヤーの継続的なラボテストで発見されました。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB012000JWDFDドライブ

バージョン: HPD2 (E) **(クリティカル)**
ファイル名: CP043803.compsig; CP043803.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- サプライヤーの継続的なラボテストで見つかった、アライメントされていない書き込みコマンド中の潜在的なデータ整合性の問題を修正します。エラー処理と信頼性を向上させるための追加の修正が含まれています。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB014000JWUDB ドライブ

バージョン: HPD2 (D) **(推奨)**
ファイル名: CP043831.compsig; CP043831.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB1000JVYZL、MB2000JVYZN、MB3000JVYZP、およびMB4000JVYZQドライブ

バージョン: HPD3 (D) **(推奨)**
ファイル名: CP043790.compsig; CP043790.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB2000JFDSLおよびMB4000JFDSNドライブ

バージョン: HPD4 (G) **(推奨)**
ファイル名: CP043858.compsig; CP043858.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB4000JEXYAおよびMB6000JEXYBドライブ

バージョン: HPD9 (D) **(推奨)**
ファイル名: CP043805.compsig; CP043805.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB6000JVYYVドライブ

バージョン: HPD2 (G) **(推奨)**
ファイル名: CP043854.compsig; CP043854.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB8000JFECQドライブ

バージョン: HPD7 (F) **(推奨)**
ファイル名: CP043853.compsig; CP043853.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MM1000JEFRBおよびMM2000JEFRCドライブ

バージョン: HPD8 (F) **(オプション)**
ファイル名: CP043838.compsig; CP043838.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MO000400JWFWN、MO000800JWFWP、MO001600JWFWQ、MO003200JWFWR、MO000960JWFWT、MO001920JWFWU、およびMO003840JWFWVドライブ

バージョン: HPD5 (D) **(推奨)**
ファイル名: CP043826.compsig; CP043826.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MO000400JWUFT、MO000800JWUFU、MO001600JWUFV、MO003200JWUGA、MO006400JWUGB、EO000400JWUGC、EO000800JWUGD、およびEO001600JWUGEドライブ

バージョン: HPD1 (D) **(オプション)**
ファイル名: CP043808.compsig; CP043808.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。

これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MO0400JFFCF、MO0800JFFCH、MO1600JFFCK、およびMO3200JFFCLドライブ

バージョン: HPD9 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP043791.compsig; CP043791.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VO000480JWDAR、VO000960JWDAT、VO001920JWDAUおよびVO003840JWDAVドライブ

バージョン: HPD8 (D) **(クリティカル)**
ファイル名: CP044493.compsig; CP044493.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- この問題は、HPD8より前のHPEファームウェアバージョンのSSDに影響し、SSD障害が発生した後、32,768時間(つまり、3年、270日8時間)でSSDが故障し、SSDもデータも回復できません。
- さらに、同時にサービスを開始したSSDは、ほぼ同時に故障する可能性があります。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ: https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00092491en_usを参照してください。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VO0480JFDGT、VO0960JFDGU、VO1920JFDGV、およびVO3840JFDHAドライブ

バージョン: HPD9 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP043845.compsig; CP043845.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VO1920JEUQQドライブ

バージョン: HPD3 (G) **(推奨)**
ファイル名: CP043777.compsig; CP043777.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG000600JWFUVおよび

EG001200JWFVAドライブ

バージョン: HPD3 (D) **(オプション)**
ファイル名: cp043921.compsig; cp043921.exe; cp043921.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EH000300JWCPK、EH000600JWCPL、およびEH000900JWCPNドライブ

バージョン: HPD5 (C) **(推奨)**
ファイル名: cp043903.compsig; cp043903.exe; cp043903.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB004000JWKGUドライブ

バージョン: HPD1 (C) **(推奨)**
ファイル名: cp043954.compsig; cp043954.exe; cp043954.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB006000JWKGN ドライブ

バージョン: HPD1 (C) **(推奨)**
ファイル名: cp043953.compsig; cp043953.exe; cp043953.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB008000JWRTD ドライブ

バージョン: HPD1 (C) **(推奨)**
ファイル名: cp043951.compsig; cp043951.exe; cp043951.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB012000JWDFDドライブ

バージョン: HPD2 (D) **(クリティカル)**
ファイル名: cp043923.compsig; cp043923.exe; cp043923.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- サプライヤーの継続的なラボテストで見つかった、アライメントされていない書き込みコマンド中の潜在的なデータ整合性の問題を修正します。エラー処理と信頼性を改善するための追加の修正が含まれています。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB6000JVYYVドライブ

バージョン: HPD2 (E) **(推奨)**
ファイル名: cp043901.compsig; cp043901.exe; cp043901.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB8000JFECQドライブ

バージョン: HPD7 (D) **(推奨)**
ファイル名: cp043899.compsig; cp043899.exe; cp043899.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG000300JWBHRドライブ

バージョン: HPD4 (C) **(推奨)**
ファイル名: cp043897.compsig; cp043897.exe; cp043897.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG000300JWFVB ドライブ

バージョン: HPD2 (D) **(オプション)**
ファイル名: cp043922.compsig; cp043922.exe; cp043922.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG000300JWSJP、EG000600JWJNHおよびEG001200JWJNKドライブ

バージョン: HPD2 (C) **(推奨)**
ファイル名: cp043960.compsig; cp043960.exe; cp043960.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、

Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG000600JWJNPおよびEG001200JWJNQドライブ

バージョン: HPD3 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp043966.compsig; cp043966.exe; cp043966.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG001800JWFVCドライブ

バージョン: HPD3 (C) **(推奨)**
ファイル名: cp043908.compsig; cp043908.exe; cp043908.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG001800JWJNLおよびEG002400JWJNNドライブ

バージョン: HPD2 (D) **(推奨)**
ファイル名: cp043973.compsig; cp043973.exe; cp043973.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG001800JWJNRおよびEG002400JWJNTドライブ

バージョン: HPD5 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp043965.compsig; cp043965.exe; cp043965.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG0300JEHLV、EG0600JEHMA、EG0900JEHMB、およびEG1200JEHMCドライブ

バージョン: HPD5 (F) **(推奨)**
ファイル名: cp043909.compsig; cp043909.exe; cp043909.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG0300JFCKA、EG0600JEMCV、EG0900JFCKB、およびEG1200JEMDAドライブ

バージョン: HPD6 (E) **(推奨)**
ファイル名: cp043879.compsig; cp043879.exe; cp043879.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG0600JETKA、EG0900JETKB、およびEG1200JETKCドライブ

バージョン: HPD7 (C) **(推奨)**
ファイル名: cp043884.compsig; cp043884.exe; cp043884.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG1800JEHMDドライブ

バージョン: HPD6 (F) **(推奨)**
ファイル名: cp043910.compsig; cp043910.exe; cp043910.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、

Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG1800JEMDBドライブ

バージョン: HPD5 (E) **(推奨)**
ファイル名: cp043940.compsig; cp043940.exe; cp043940.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EG1800JFHMHドライブ

バージョン: HPD7 (E) **(推奨)**
ファイル名: cp043912.compsig; cp043912.exe; cp043912.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EH000600JWCPFおよびEH000900JWCPHドライブ

バージョン: HPD7 (C) **(推奨)**
ファイル名: cp043902.compsig; cp043902.exe; cp043902.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EH000900JWHPKおよびEH000600JWHPHドライブ

バージョン: HPD4 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp043964.compsig; cp043964.exe; cp043964.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EH0300JDYTH、EH0450JDYTK、およびEH0600JDYTLドライブ

バージョン: HPD6 (F) **(推奨)**
ファイル名: cp043911.compsig; cp043911.exe; cp043911.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EH0600JDYTNドライブ

バージョン: HPD7 (D) **(クリティカル)**
ファイル名: cp043926.compsig; cp043926.exe; cp043926.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- 古くなったデータが誤ってキャッシュから使用されるというデータ整合性のリスクを修正します。
- アライメントされていない重複書き込み読み取り操作で古いデータが返されるデータ整合性に関するリスクが修正されます。
- 不完全なデータが読み取られる可能性がある、回復されたエラーが発生した場合の順次読み取りおよび書き込みワークロード中のデータ整合性リスクを修正します。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EO000400JWDKP、EO000800JWDKQ、EO001600JWDKR、MO000400JWDKU、MO000800JWDKV、MO001600JWDLA、およびMO003200JWDLBドライブ

バージョン: HPD2 (C) **(推奨)**
ファイル名: cp043918.compsig; cp043918.exe; cp043918.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB002000JWFVNおよびMB004000JWFVPドライブ

バージョン: HPD3 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp043968.compsig; cp043968.exe; cp043968.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB004000JWFVKおよびMB006000JWFVLドライブ

バージョン: HPD3 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp043967.compsig; cp043967.exe; cp043967.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB008000JWJRQおよびMB006000JWJRPドライブ

バージョン: HPD5 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp044157.compsig; cp044157.exe; cp044157.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB010000JWAYKおよびMB008000JWAYHドライブ

バージョン: HPD5 (D) **(クリティカル)**
ファイル名: cp043913.compsig; cp043913.exe; cp043913.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- このコードは、アライメントされていない書き込みコマンドに関連する潜在的なデータ整合性の問題を修正します。このサプライヤーの継続的なラボテストで発見されました。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB014000JWRTH、MB012000JWRTFおよびMB010000JWRTE ドライブ

バージョン: HPD2 (C) **(推奨)**
ファイル名: cp043950.compsig; cp043950.exe; cp043950.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB014000JWUDB ドライブ

バージョン: HPD2 (C) **(推奨)**
ファイル名: cp043958.compsig; cp043958.exe; cp043958.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB1000JVYZL、MB2000JVYZN、MB3000JVYZP、およびMB4000JVYZQドライブ

バージョン: HPD3 (C) **(推奨)**
ファイル名: cp043930.compsig; cp043930.exe; cp043930.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB2000JFDSLおよびMB4000JFDSNドライブ

バージョン: HPD4 (E) **(推奨)**
ファイル名: cp043887.compsig; cp043887.exe; cp043887.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB2000JFEMLおよびMB4000JFEMNドライブ

バージョン: HPD6 (E) **(クリティカル)**
ファイル名: cp043914.compsig; cp043914.exe; cp043914.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- プロセス中の書き込みの再試行が誤った場所で間違って開始されることによって発生する潜在的なデータ整合性の問題を修正します。 これらの問題は、サプライヤーの継続的な信頼性テスト中で検出されました。
- ファームウェアは、緊急の電源オフの改善も含まれます。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB2000JFEPAおよびMB4000JFEPBドライブ

バージョン: HPD5 (E) **(推奨)**
ファイル名: cp043888.compsig; cp043888.exe; cp043888.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB4000JEFNCおよびMB6000JEFNDドライブ

バージョン: HPD9 (E) **(推奨)**
ファイル名: cp043881.compsig; cp043881.exe; cp043881.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB4000JEQNLおよびMB6000JEQNNドライブ

バージョン: HPDB (E) **(推奨)**
ファイル名: cp043876.compsig; cp043876.exe; cp043876.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB4000JEXYAおよびMB6000JEXYBドライブ

バージョン: HPD9 (C) **(推奨)**
ファイル名: cp043900.compsig; cp043900.exe; cp043900.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB6000JEQUV および MB8000JEQVAドライブ

バージョン: HPDB (E) **(推奨)**
ファイル名: cp043893.compsig; cp043893.exe; cp043893.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB6000JVYZDおよび MB4000JVYZCドライブ

バージョン: HPD4 (C) **(推奨)**
ファイル名: cp043917.compsig; cp043917.exe; cp043917.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MM1000JEFRBおよび MM2000JEFRCドライブ

バージョン: HPD8 (D) **(オプション)**
ファイル名: cp043878.compsig; cp043878.exe; cp043878.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MM1000JFJTHドライブ

バージョン: HPD3 (D) **(オプション)**
ファイル名: cp043891.compsig; cp043891.exe; cp043891.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MO000400JWUFT、MO000800JWUFU、MO001600JWUFV、MO003200JWUGA、MO006400JWUGB、EO000400JWUGC、EO000800JWUGD、およびEO001600JWUGEドライブ

バージョン: HPD1 (C) **(オプション)**
ファイル名: cp043935.compsig; cp043935.exe; cp043935.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MO0200JEFNV、MO0400JEFPA、MO0800JEFPB、MO1600JEFPC、EO0200JEFPD、EO0400JEFPE、およびEO0800JEFPFドライブ

バージョン: HPD3 (E) **(推奨)**

ファイル名: cp043873.compsig; cp043873.exe; cp043873.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MO0400JFFCF、MO0800JFFCH、MO1600JFFCK、およびMO3200JFFCLドライブ

バージョン: HPD9 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp043975.compsig; cp043975.exe; cp043975.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VO007680JWCNKおよびVO015300JWCNLドライブ

バージョン: HPD8 (B) **(クリティカル)**
ファイル名: cp043961.compsig; cp043961.exe; cp043961.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- この問題は、HPD8より前のHPEファームウェアバージョンのSSDに影響し、SSD障害が発生した後、32,768時間(つまり、3年、270日8時間)でSSDが故障し、SSDもデータも回復できません。
- さらに、同時にサービスを開始したSSDは、ほぼ同時に故障する可能性があります。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ: https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00092491en_usを参照してください。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VO0480JFDGT、VO0960JFDGU、VO1920JFDGV、およびVO3840JFDHAドライブ

バージョン: HPD9 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp043976.compsig; cp043976.exe; cp043976.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VO1920JEUQQドライブ

バージョン: HPD3 (E) **(推奨)**
ファイル名: cp043906.compsig; cp043906.exe; cp043906.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) -VK000960JWSSQ、VK001920JWSSR、VK003840JWSST、VK007680JWSSUおよびVO015300JWSSVドライブ

バージョン: HPD8 (B) **(クリティカル)**
ファイル名: cp043573.compsig; cp043573.exe; cp043573.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

- この問題は、HPD8より前のHPEファームウェアバージョンのSSDに影響し、SSD障害が発生した後、32,768時間(つまり、3年、270日8時間)でSSDが故障し、SSDもデータも回復できません。
- さらに、同時にサービスを開始したSSDは、ほぼ同時に故障する可能性があります。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ: https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00092491en_usを参照してください。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64)- VO000480JWDAR、VO000960JWDAT、VO001920JWDAUおよびVO003840JWDAVドライブ

バージョン: HPD8 (B) **(クリティカル)**
ファイル名: cp043572.compsig; cp043572.exe; cp043572.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

修正

- この問題は、HPD8より前のHPEファームウェアバージョンのSSDに影響し、SSD障害が発生した後、32,768時間(つまり、3年、270日8時間)でSSDが故障し、SSDもデータも回復できません。
- さらに、同時にサービスを開始したSSDは、ほぼ同時に故障する可能性があります。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ: https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00092491en_usを参照してください。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VO000960RWUEV、VO001920RWUFA、VO003840RWUFB、VO007680RWUFC、VO000960RWUFD、VO001920RWUFE およびVO003840RWUFFドライブ

バージョン: HPD3 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp043977.compsig; cp043977.exe; cp043977.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EH000900JWHPP、EH000600JWHPNおよびEH000300JWHPLドライブ

バージョン: HPD4 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp043963.compsig; cp043963.exe; cp043963.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- MO000400JWFWN、MO000800JWFWP、MO001600JWFWQ、MO003200JWFWR、MO000960JWFWT、MO001920JWFWU、およびMO003840JWFWVドライブ

バージョン: HPD5 (C) **(推奨)**
ファイル名: cp043948.compsig; cp043948.exe; cp043948.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- EG0300FCSPH、EG0450FCSPK、EG0600FCSPL、およびEG0900FCSPNドライブ

バージョン: HPD2 (E) **(推奨)**
ファイル名: cp043898.compsig; cp043898.exe; cp043898.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- EH0300JDXBA、EH0450JDXBB、およびEH0600JDXBCドライブ

バージョン: HPD5 (E) **(推奨)**
ファイル名: cp043882.compsig; cp043882.exe; cp043882.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- EH0300JEDHC、EH0450JEDHD、およびEH0600JEDHEドライブ

バージョン: HPD4 (G) **(推奨)**
ファイル名: cp043875.compsig; cp043875.exe; cp043875.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、

Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

ファームウェア - SATAストレージディスク

先頭

オンラインHDD/SDDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB1000GVYZE、MB2000GVYZF、MB3000GVYZH、およびMB4000GVYZKドライブ

バージョン: HPG4 (G) **(推奨)**
ファイル名: CP043859.compsig; CP043859.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - MB004000GWWQH、MB002000GWWQF、およびMB001000GWWQEドライブ

バージョン: HPG2 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-12304c1aca-HPG2-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-12304c1aca-HPG2-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for Linux(x64)- MK000480GWXFF、MK000960GWXFH、MK001920GWXFKおよびMK003840GWXFLドライブ

バージョン: HPG1 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8e1e8083c5-HPG1-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-8e1e8083c5-HPG1-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MK0960GECQKドライブ

バージョン: HPG3 (J) **(クリティカル)**
ファイル名: CP043837.compsig; CP043837.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- ファームウェアは、非整列シーケンシャル書き込み操作に関連する断続的なデータの破損問題を修正します。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - MM1000GFJTEドライブ

バージョン: HPG5 (D) **(オプション)**
ファイル名: CP043842.compsig; CP043842.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for VMware ESXi - XP0120GFJSLおよびXP0240GFJSNドライブ

バージョン: HPS4 (H) **(推奨)**
ファイル名: CP043778.compsig; CP043778.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - MB004000GWWQH、MB002000GWWQF、およびMB001000GWWQEドライブ

バージョン: HPG2 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp044228.compsig; cp044228.exe; cp044228.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネント for Windows(x64)- MK000480GWXFF、MK000960GWXFH、MK001920GWXFKおよびMK003840GWXFLドライブ

バージョン: HPG1 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp044206.compsig; cp044206.exe; cp044206.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor ESXi - MB001000GWCBCおよびMB002000GWCBDドライブ

バージョン: HPG6 (D) **(推奨)**
ファイル名: CP043772.compsig; CP043772.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor ESXi - MB001000GWFWKおよびMB002000GWFWLドライブ

バージョン: HPG6 (D) **(推奨)**
ファイル名: CP043860.compsig; CP043860.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor ESXi - MB001000GWJAN、MB002000GWFWAおよびMB004000GWFWBドライブ

バージョン: HPG1 (D) **(推奨)**
ファイル名: CP043800.compsig; CP043800.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor ESXi - MB006000GWJRRおよびMB008000GWJRTドライブ

バージョン: HPG4 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP044435.compsig; CP044435.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor ESXi - MB008000GWWQUおよびMB006000GWWQTドライブ

バージョン: HPG2 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP044208.compsig; CP044208.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor ESXi - MB012000GWTFEおよびMB014000GWTFFドライブ

バージョン: HPG6 (C) **(オプション)**
ファイル名: CP043833.compsig; CP043833.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor ESXi - MB014000GWRTN、MB012000GWRTLおよびMB010000GWRTKドライブ

バージョン: HPG2 (D) **(推奨)**
ファイル名: CP043823.compsig; CP043823.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor ESXi - MB1000GDUNU、MB2000GDUNV、MB3000GDUPA、およびMB4000GDUPBドライブ

バージョン: HPG4 (I) **(推奨)**
ファイル名: CP043762.compsig; CP043762.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor ESXi - MB4000GEFNAおよびMB6000GEFNBドライブ

バージョン: HPG6 (G) **(推奨)**
ファイル名: CP043750.compsig; CP043750.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor ESXi - MB6000GVYZBおよびMB4000GVYZAドライブ

バージョン: HPG4 (D) **(推奨)**
ファイル名: CP043807.compsig; CP043807.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor ESXi - MK000480GWSSC、MK000960GWSSD、MK001920GWSSE、およびMK003840GWSSFドライブ

バージョン: HPG2 (C) **(推奨)**
ファイル名: CP044492.compsig; CP044492.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor ESXi - VK000240GWJPD、VK000480GWJPE、VK000960GWJPF、VK001920GWJPH、VK003840GWJPK、

MK000240GWKVK、MK000480GWJPN、MK000960GWJPPおよびMK001920GWJPQドライブ

バージョン: HPG5 (D) **(クリティカル)**
ファイル名: CP043793.compsig; CP043793.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- まれなリンク損失の問題を修正し、ドライブの信頼性を向上させます。
- ドライブにHPG5ファームウェアがダウンロードされると、新しいHPG5ファームウェアがそのドライブでアクティブになります。
- ドライブの次の電源再投入後に、新しいドライブブートローダーコードがアクティブ化されます。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ:https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00072768en_usを参照してください。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor ESXi - VK0240GEPQN、VK0480GEPQP、およびVK0960GEPQQドライブ

バージョン: HPG1 (H) **(推奨)**
ファイル名: CP043776.compsig; CP043776.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor ESXi- MK000480GWXFF、MK000960GWXFH、MK001920GWXFKおよびMK003840GWXFLドライブ

バージョン: HPG1 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP044205.compsig; CP044205.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB004000GWKGV ドライブ

バージョン: HPG1 (C) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-ca21e169e2-HPG1-3.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-ca21e169e2-HPG1-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VK000240GWJPD、VK000480GWJPE、VK000960GWJPF、VK001920GWJPH、VK003840GWJPK、MK000240GWKVK、MK000480GWJPN、MK000960GWJPP、およびMK001920GWJPQドライブ

バージョン: HPG5 (D) **(クリティカル)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-aef2a690c9-HPG5-4.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-aef2a690c9-HPG5-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、

Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- まれなリンク損失の問題を修正し、ドライブの信頼性を向上させます。
- ドライブにHPG5ファームウェアがダウンロードされると、新しいHPG5ファームウェアがそのドライブでアクティブになります。
- ドライブの次の電源再投入後に、新しいドライブブートローダーコードがアクティブ化されます。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ: https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00072768en_usを参照してください。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - EK000200GWEPD、EK000400GWEPE、EK000800GWEPFおよびEK001600GWEPHドライブ

バージョン: HPG3 (E) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-5bf9355926-HPG3-5.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-5bf9355926-HPG3-5.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB001000GWCBCおよびMB002000GWCBDドライブ

バージョン: HPG6 (D) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-68b12e54d2-HPG6-4.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-68b12e54d2-HPG6-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB001000GWFWKおよびMB002000GWFWLドライブ

バージョン: HPG6 (C) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-bfc4af697b-HPG6-3.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-bfc4af697b-HPG6-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB001000GWJAN、MB002000GWFWAおよびMB004000GWFWBドライブ

バージョン: HPG1 (D) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-d39e7a7e75-HPG1-4.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-d39e7a7e75-HPG1-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB002000GWFGHおよびMB001000GWFGFドライブ

バージョン: HPG3 (F) **(オプション)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-0b575b5895-HPG3-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-0b575b5895-HPG3-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB006000GWBXQおよびMB008000GWBYLドライブ

バージョン: HPG8 (D) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-a1fd19f9ca-HPG8-4.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-a1fd19f9ca-HPG8-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB006000GWJRRおよびMB008000GWJRTドライブ

バージョン: HPG4 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-c993b31232-HPG4-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-c993b31232-HPG4-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB006000GWKGRドライブ

バージョン: HPG1 (C) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-7f2a26e6d0-HPG1-3.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-7f2a26e6d0-HPG1-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB008000GWRTC ドライブ

バージョン: HPG1 (C) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-82894b9e0a-HPG1-3.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-82894b9e0a-HPG1-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB008000GWWQUおよびMB006000GWWQTドライブ

バージョン: HPG2 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-18e328f036-HPG2-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-18e328f036-HPG2-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB010000GWAYNおよびMB008000GWAYLドライブ

バージョン: HPG5 (E) **(クリティカル)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-cc819d4bff-HPG5-5.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-cc819d4bff-HPG5-5.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- このコードは、アライメントされていない書き込みコマンドに関連する潜在的なデータ整合性の問題を修正します。このサプライヤーの継続的なラボテストで発見されました。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB012000GWDFEドライブ

バージョン: HPG2 (E) **(クリティカル)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-059b8654a6-HPG2-5.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-059b8654a6-HPG2-5.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- サプライヤーの継続的なラボテストでのみ見られる、整列されていない書き込みコマンド中の潜在的なデータ整合性の問題を修正します。エラー処理と信頼性を改善するための追加の修正が含まれています。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB012000GWTFEおよびMB014000GWTFFドライブ

バージョン: HPG6 (B) **(オプション)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b78255e146-HPG6-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b78255e146-HPG6-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB014000GWRTN、MB012000GWRTLおよびMB010000GWRTKドライブ

バージョン: HPG2 (D) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-6b7ce3da0e-HPG2-4.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-6b7ce3da0e-HPG2-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB014000GWUDAドライブ

バージョン: HPG2 (C) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-41cdb1c9da-HPG2-3.1.x86_64.compsig;

rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-41cdb1c9da-HPG2-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB1000GDUNU、MB2000GDUNV、MB3000GDUPA、および MB4000GDUPB ドライブ

バージョン: HPG4 (H) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-3ab4c70e64-HPG4-8.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-3ab4c70e64-HPG4-8.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB1000GVYZE、MB2000GVYZF、MB3000GVYZH、およびMB4000GVYZKドライブ

バージョン: HPG4 (H) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-0a7010918e-HPG4-8.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-0a7010918e-HPG4-8.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB2000GCWLT、MB3000GCWLUおよびMB4000GCWLVドライブ

バージョン: HPG4 (H) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2e70ce7412-HPG4-8.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-2e70ce7412-HPG4-8.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB2000GFEMHおよびMB4000GFEMKドライブ

バージョン: HPG6 (G) **(クリティカル)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-70e3962f98-HPG6-7.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-70e3962f98-HPG6-7.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- プロセス中の書き込みの再試行が誤った場所で間違って開始されることによって発生する潜在的なデータ整合性の問題を修正します。 これらの問題は、サプライヤーの継続的な信頼性テスト中で見つかりました。
- ファームウェアは、コードのダウンロード後に設定の保存を修正し、緊急電源オフの改善を含みます。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB4000GEFNAおよびMB6000GEFNBドライブ

バージョン: HPG6 (H) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-40277d55d3-HPG6-8.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-40277d55d3-HPG6-8.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB4000GEQNHおよびMB6000GEQNKドライブ

バージョン: HPGB (G) **(クリティカル)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-bfc95f0628-HPGB-7.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-bfc95f0628-HPGB-7.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- プロセス中の書き込みの再試行が誤った場所で間違って開始されることによって発生する潜在的なデータ整合性の問題を修正します。これらの問題は、サプライヤーの継続的なラボテスト中でのみ検出されました。
- ファームウェアは、コードのダウンロード後に設定の保存を修正し、緊急電源オフの改善を含みます。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB6000GEBTPドライブ

バージョン: HPG4 (G) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-3243fce9a0-HPG4-7.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-3243fce9a0-HPG4-7.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB6000GEQUTおよびMB8000GEQUUドライブ

バージョン: HPGB (G) **(クリティカル)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-1d7f19120b-HPGB-7.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-1d7f19120b-HPGB-7.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- プロセス中の書き込みの再試行が誤った場所で間違って開始されることによって発生する潜在的なデータ整合性の問題を修正します。 これらの問題は、サプライヤーの継続的な信頼性テスト中でのみ見つかりました。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB6000GEXXVドライブ

バージョン: HPG2 (H) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-a629fcea59-HPG2-8.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-a629fcea59-HPG2-8.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB6000GVYYUドライブ

バージョン: HPG2 (G) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-bdc37cb37f-HPG2-7.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-bdc37cb37f-HPG2-7.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB6000GVYZBおよびMB4000GVYZAドライブ

バージョン: HPG4 (D) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-0a7d4aa47f-HPG4-4.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-0a7d4aa47f-HPG4-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MB8000GFECRドライブ

バージョン: HPG6 (D) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-6d922fc9a8-HPG6-4.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-6d922fc9a8-HPG6-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフライ

ンでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MK000240GWCEU、MK000480GWCEV、MK000960GWCFAおよびMK001920GWCFBドライブ

バージョン: HPG3 (E) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-7677644a25-HPG3-5.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-7677644a25-HPG3-5.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MK003840GWHTEドライブ

バージョン: HPG6 (C) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-ac20a1e1c6-HPG6-3.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-ac20a1e1c6-HPG6-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MK0960GECQKドライブ

バージョン: HPG3 (I) **(クリティカル)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-3e34285be7-HPG3-9.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-3e34285be7-HPG3-9.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- ファームウェアは、非整列シーケンシャル書き込み操作に関連する断続的なデータの破損問題を修正します。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MM1000GEFQVおよびMM2000GEFRAドライブ

バージョン: HPG8 (F) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-ec908c3650-HPG8-6.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-ec908c3650-HPG8-6.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MM1000GFJTEドライブ

バージョン: HPG5 (D) **(オプション)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-95af9a555e-HPG5-4.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-95af9a555e-HPG5-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - MR000240GWFLU、MR000480GWFLV、VR000480GWFMD、MR000960GWFMA、VR000960GWFME、MR001920GWFMB、およびVR001920GWFMCドライブ

バージョン: HPGE (C) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-9196d4f720-HPGE-3.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-9196d4f720-HPGE-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VK000150GWCNN、VK000240GWCNP、VK000480GWCNQ、VK000960GWCNR、およびVK001600GWCNTドライブ

バージョン: HPG1 (D) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-6e3845def5-HPG1-4.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-6e3845def5-HPG1-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VK000240GWCFD、VK000480GWCFE、VK000960GWCFF、VK001920GWCFHおよびVK003840GWCFKドライブ

バージョン: HPG3 (E) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-f42438de3d-HPG3-5.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-f42438de3d-HPG3-5.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VK000240GWEZB、VK000480GWEZC、VK000960GWEZD、VK001920GWEZE、MK000240GWEZF、MK000480GWEZH、MK000960GWEZK、およびMK001920GWHRUドライブ

バージョン: HPGE (C) **(オプション)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-3db7640485-HPGE-3.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-3db7640485-HPGE-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VK000240GWSRQ、VK000480GWSRR、VK000960GWSRT、VK001920GWSRU、およびVK003840GWSRVドライブ

バージョン: HPG3 (B) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-db687966b4-HPG3-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-db687966b4-HPG3-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VK000240GWTSV、VK000480GWTTA、VK000960GWTTB、VK001920GWTTC、VK003840GWTTD、MK000480GWTTH、MK000960GWTTK、MK001920GWTTLおよびMK003840GWTTNドライブ

バージョン: HPG3 (D) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-c566d63ca0-HPG3-4.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-c566d63ca0-HPG3-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VK000480GWSXF、VK000960GWSXH、VK001920GWSXK、MK000480GWUGF、MK000960GWUGH、MK001920GWUGKドライブ

バージョン: HPG2 (D) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-9e87eecb3f-HPG2-4.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-9e87eecb3f-HPG2-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VK000480GWTHA、VK000960GWTHB、VK001920GWTHCおよびVK003840GWTHDドライブ

バージョン: HPG1 (C) **(オプション)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-492a9952f6-HPG1-3.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-492a9952f6-HPG1-3.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VK003840GWSXLドライブ

バージョン: HPG2 (D) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-d1cf327bc4-HPG2-4.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-d1cf327bc4-HPG2-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VK007680GWSXNドライブ

バージョン: HPG2 (D) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b460823f70-HPG2-4.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b460823f70-HPG2-4.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VK0120GFDKE、VK0240GFDKF、VK0480GFDKH、VK0960GFDKK、VK1920GFDKL、およびVK3840GFDKNドライブ

バージョン: HPG1 (H) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-a2d4b5c742-HPG1-8.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-a2d4b5c742-HPG1-8.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - VR000150GWEPPおよびVR000480GWEPRドライブ

バージョン: HPG1 (E) **(クリティカル)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b7eb905efe-HPG1-5.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-b7eb905efe-HPG1-5.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- ドライブが機能しなくなる問題を修正しました。
- VPDログD0hで報告されたドライブサニタイズ時間を修正しました。
- セキュリティログページBBhのサポートを追加します。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - XP0120GFJSLおよびXP0240GFJSNドライブ

バージョン: HPS4 (H) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-d355375539-HPS4-8.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-d355375539-HPS4-8.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux (x64)- VK0240GEPQN、VK0480GEPQP、およびVK0960GEPQQドライブ

バージョン: HPG1 (G) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-1a516522d1-HPG1-7.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-1a516522d1-HPG1-7.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Linux(x64)- MK000480GWSSC、MK000960GWSSD、MK001920GWSSEおよびMK003840GWSSFドライブ

バージョン: HPG2 (B) **(推奨)**

ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-f693ccc138-HPG2-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-hdd-f693ccc138-HPG2-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- RHEL 8.2のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - EK000200GWEPD、EK000400GWEPE、EK000800GWEPF、およびEK001600GWEPHドライブ

バージョン: HPG3 (E) **(推奨)**
ファイル名: CP043799.compsig; CP043799.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB002000GWFGHおよびMB001000GWFGFドライブ

バージョン: HPG3 (F) **(オプション)**
ファイル名: CP043789.compsig; CP043789.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、

Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB004000GWKGVドライブ

バージョン: HPG1 (D) **(推奨)**
ファイル名: CP043817.compsig; CP043817.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB004000GWWQH、MB002000GWWQF、およびMB001000GWWQEドライブ

バージョン: HPG2 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP044227.compsig; CP044227.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB006000GWBXQおよび

MB008000GWBYLドライブ

バージョン: HPG8 (D) **(推奨)**
ファイル名: CP043809.compsig; CP043809.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB006000GWKGR ドライブ

バージョン: HPG1 (D) **(推奨)**
ファイル名: CP043830.compsig; CP043830.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB008000GWRTCドライブ

バージョン: HPG1 (D) **(推奨)**
ファイル名: CP043820.compsig; CP043820.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、

Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB010000GWAYNおよびMB008000GWAYLドライブ

バージョン: HPG5 (E) **(クリティカル)**
ファイル名: CP043207.compsig; CP043207.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- このコードは、アラインされていない書込みコマンドに関連する潜在的なデータの整合性の問題を修正します。 この問題はサプライヤーの継続的な信頼性テスト中に発見されました。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB012000GWDFEドライブ

バージョン: HPG2 (E) **(クリティカル)**
ファイル名: CP043801.compsig; CP043801.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- サプライヤーの継続的なラボテストで見つかった、アライメントされていない書き込みコマンド中の潜在的なデータ整合性の問題を修正します。
- エラー処理と信頼性を向上させるための追加の修正が含まれています。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB014000GWUDAドライブ

バージョン: HPG2 (D) **(推奨)**
ファイル名: CP043824.compsig; CP043824.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB2000GCWLT、MB3000GCWLU、およびMB4000GCWLVドライブ

バージョン: HPG4 (I) **(推奨)**
ファイル名: CP043763.compsig; CP043763.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB2000GFEMHおよびMB4000GFEMKドライブ

バージョン: HPG6 (G) **(クリティカル)**
ファイル名: CP043792.compsig; CP043792.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- プロセス中の書き込みの再試行が誤った場所で間違って開始されることによって発生する潜在的なデータ整合性の問題を修正します。これらの問題は、サプライヤーの継続的なラボテスト中でのみ検出されました。
- ファームウェアは、コードのダウンロード後に設定の保存を修正し、緊急電源オフの改善を含みます。
- ドライブがAHCIコントローラーの背後で接続されているときにオンラインファームウェアアップデートが失敗します。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB4000GEQNHおよびMB6000GEQNKドライブ

バージョン: HPGB (G) **(クリティカル)**
ファイル名: CP043804.compsig; CP043804.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- プロセス中の書き込みの再試行が誤った場所で間違って開始されることによって発生する潜在的なデータ整合性の問題を修正します。これらの問題は、サプライヤーの継続的なラボテスト中でのみ検出されました。
- ファームウェアは、コードのダウンロード後に設定の保存を修正し、緊急電源オフの改善を含みます。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB6000GEBTPドライブ

バージョン: HPG4 (G) **(推奨)**
ファイル名: CP043856.compsig; CP043856.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB6000GEQUTおよびMB8000GEQUUドライブ

バージョン: HPGB (G) **(クリティカル)**
ファイル名: CP043786.compsig; CP043786.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- プロセス中の書き込みの再試行が誤った場所で間違って開始されることによって発生する潜在的なデータ整合性の問題を修正します。これらの問題は、サプライヤーの継続的なラボテスト中でのみ検出されました。
- ドライブがAHCIコントローラーの背後で接続されているときにオンラインファームウェアアップデートが失敗します。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB6000GEXXVドライブ

バージョン: HPG2 (I) **(推奨)**
ファイル名: CP043855.compsig; CP043855.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB6000GVYYUドライブ

バージョン: HPG2 (G) **(推奨)**
ファイル名: CP043806.compsig; CP043806.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MB8000GFECRドライブ

バージョン: HPG6 (E) **(推奨)**
ファイル名: CP044490.compsig; CP044490.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MK000240GWCEU、MK000480GWCEV、MK000960GWCFAおよびMK001920GWCFBドライブ

バージョン: HPG3 (E) **(推奨)**
ファイル名: CP043794.compsig; CP043794.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MK003840GWHTEドライブ

バージョン: HPG6 (D) **(推奨)**
ファイル名: CP043810.compsig; CP043810.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MM1000GEFQVおよびMM2000GEFRAドライブ

バージョン: HPG8 (F) **(推奨)**
ファイル名: CP043795.compsig; CP043795.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - MR000240GWFLU、MR000480GWFLV、VR000480GWFMD、MR000960GWFMA、VR000960GWFME、MR001920GWFMBおよびVR001920GWFMCドライブ

バージョン: HPGE (D) **(推奨)**
ファイル名: CP043811.compsig; CP043811.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VK000150GWCNN、VK000240GWCNP、VK000480GWCNQ、VK000960GWCNR、およびVK001600GWCNTドライブ

バージョン: HPG1 (D) **(推奨)**
ファイル名: CP043843.compsig; CP043843.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VK000240GWCFD、VK000480GWCFE、VK000960GWCFF、VK001920GWCFH およびVK003840GWCFK ドライブ。

バージョン: HPG3 (E) **(推奨)**
ファイル名: CP043796.compsig; CP043796.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VK000240GWEZB、VK000480GWEZC、VK000960GWEZD、VK001920GWEZE、MK000240GWEZF、MK000480GWEZH、MK000960GWEZK および MK001920GWHRU ドライブ

バージョン: HPGE (E) **(オプション)**
ファイル名: CP044252.compsig; CP044252.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VK000240GWSRQ、VK000480GWSRR、VK000960GWSRT、VK001920GWSRU、およびVK003840GWSRVドライブ

バージョン: HPG3 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP043836.compsig; CP043836.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VK000240GWTSV、VK000480GWTTA、VK000960GWTTB、VK001920GWTTC、VK003840GWTTD、MK000480GWTTH、MK000960GWTTK、MK001920GWTTLおよびMK003840GWTTNドライブ

バージョン: HPG3 (D) **(推奨)**
ファイル名: CP043812.compsig; CP043812.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VK000480GWSXF、VK000960GWSXH、VK001920GWSXK、MK000480GWUGF、MK000960GWUGH、MK001920GWUGKドライブ

バージョン: HPG2 (D) **(推奨)**
ファイル名: CP043813.compsig; CP043813.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VK003840GWSXLドライブ

バージョン: HPG2 (D) **(推奨)**
ファイル名: CP043814.compsig; CP043814.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VK007680GWSXNドライブ

バージョン: HPG2 (D) **(推奨)**
ファイル名: CP043815.compsig; CP043815.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VK0120GFDKE、VK0240GFDKF、VK0480GFDKH、VK0960GFDKK、VK1920GFDKL、およびVK3840GFDKNドライブ

バージョン: HPG1 (H) **(推奨)**
ファイル名: CP043840.compsig; CP043840.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - VR000150GWEPPおよびVR000480GWEPRドライブ

バージョン: HPG1 (E) **(クリティカル)**
ファイル名: CP043797.compsig; CP043797.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- ドライブが機能しなくなる可能性のあるタイミングの問題を修正しました。
- VPDログD0hで報告されたドライブサニタイズ時間を修正しました。
- セキュリティログページBBhのサポートを追加します。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi -VK000480GWTHA、VK000960GWTHB、VK001920GWTHCおよびVK003840GWTHDドライブ

バージョン: HPG1 (D) **(オプション)**
ファイル名: CP043827.compsig; CP043827.zip

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- AHCI構成では、オフラインでのフラッシュのみがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- VMware 7.0のサポートを追加しました

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB004000GWKGVドライブ

バージョン: HPG1 (C) **(推奨)**
ファイル名: cp043955.compsig; cp043955.exe; cp043955.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB006000GWKGRドライブ

バージョン: HPG1 (C) **(推奨)**
ファイル名: cp043959.compsig; cp043959.exe; cp043959.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB008000GWRTCドライブ

バージョン: HPG1 (C) **(推奨)**
ファイル名: cp043952.compsig; cp043952.exe; cp043952.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB012000GWDFEドライブ

バージョン: HPG2 (D) **(クリティカル)**
ファイル名: cp043924.compsig; cp043924.exe; cp043924.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- サプライヤーの継続的なラボテストで見つかった、アライメントされていない書き込みコマンド中の潜在的なデータ整合性の問題を修正します。エラー処理と信頼性を改善するための追加の修正が含まれています。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB014000GWUDAドライブ

バージョン: HPG2 (C) **(推奨)**
ファイル名: cp043957.compsig; cp043957.exe; cp043957.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB6000GEBTPドライブ

バージョン: HPG4 (F) **(推奨)**
ファイル名: cp043904.compsig; cp043904.exe; cp043904.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB6000GEXXVドライブ

バージョン: HPG2 (G) **(推奨)**
ファイル名: cp043889.compsig; cp043889.exe; cp043889.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、

Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB6000GVYYUドライブ

バージョン: HPG2 (F) **(推奨)**
ファイル名: cp043938.compsig; cp043938.exe; cp043938.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB8000GFECRドライブ

バージョン: HPG6 (C) **(推奨)**
ファイル名: cp043890.compsig; cp043890.exe; cp043890.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VK000240GWJPD、VK000480GWJPE、VK000960GWJPF、VK001920GWJPH、VK003840GWJPK、MK000240GWKVK、MK000480GWJPN、MK000960GWJPPおよびMK001920GWJPQドライブ

バージョン: HPG5 (C) **(クリティカル)**
ファイル名: cp043927.compsig; cp043927.exe; cp043927.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- まれなリンク損失の問題を修正し、ドライブの信頼性を向上させます。
- ドライブにHPG5ファームウェアがダウンロードされると、新しいHPG5ファームウェアがそのドライブでアクティブになります。
- ドライブの次の電源再投入後に、新しいドライブブートローダーコードがアクティブ化されます。
- 詳しくは、HPEカスタマーアドバイザリ: https://support.hpe.com/hpsc/doc/public/display?docId=emr_na-a00072768en_usを参照してください。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - EK000200GWEPD、EK000400GWEPE、EK000800GWEPFおよびEK001600GWEPHドライブ

バージョン: HPG3 (D) **(推奨)**
ファイル名: cp043939.compsig; cp043939.exe; cp043939.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB001000GWCBCおよびMB002000GWCBDドライブ

バージョン: HPG6 (C) **(推奨)**
ファイル名: cp043896.compsig; cp043896.exe; cp043896.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB001000GWFWKおよびMB002000GWFWLドライブ

バージョン: HPG6 (C) **(推奨)**
ファイル名: cp043907.compsig; cp043907.exe; cp043907.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB001000GWJAN、MB002000GWFWAおよびMB004000GWFWBドライブ

バージョン: HPG1 (C) **(推奨)**
ファイル名: cp043936.compsig; cp043936.exe; cp043936.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB006000GWJRRおよび

MB008000GWJRTドライブ

バージョン: HPG4 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp044437.compsig; cp044437.exe; cp044437.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB008000GWWQUおよびMB006000GWWQTドライブ

バージョン: HPG2 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp044209.compsig; cp044209.exe; cp044209.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB014000GWRTN、MB012000GWRTLおよびMB010000GWRTKドライブ

バージョン: HPG2 (C) **(推奨)**
ファイル名: cp043949.compsig; cp043949.exe; cp043949.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB1000GDUNU、MB2000GDUNV、MB3000GDUPA、および MB4000GDUPB ドライブ

バージョン: HPG4 (G) **(推奨)**
ファイル名: cp043885.compsig; cp043885.exe; cp043885.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB1000GVYZE、MB2000GVYZF、MB3000GVYZH、およびMB4000GVYZKドライブ

バージョン: HPG4 (G) **(推奨)**
ファイル名: cp043905.compsig; cp043905.exe; cp043905.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MB2000GCWLT、MB3000GCWLU、およびMB4000GCWLVドライブ

バージョン: HPG4 (G) **(推奨)**
ファイル名: cp043886.compsig; cp043886.exe; cp043886.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフライ

ンでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MK003840GWHTEドライブ

バージョン: HPG6 (C) **(推奨)**
ファイル名: cp043947.compsig; cp043947.exe; cp043947.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MK0960GECQKドライブ

バージョン: HPG3 (I) **(クリティカル)**
ファイル名: cp043874.compsig; cp043874.exe; cp043874.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- ファームウェアは、非整列シーケンシャル書き込み操作に関連する断続的なデータの破損問題を修正します。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MM1000GEFQVおよびMM2000GEFRAドライブ

バージョン: HPG8 (E) **(推奨)**
ファイル名: cp043880.compsig; cp043880.exe; cp043880.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MM1000GFJTEドライブ

バージョン: HPG5 (C) **(オプション)**
ファイル名: cp043929.compsig; cp043929.exe; cp043929.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - MR000240GWFLU、MR000480GWFLV、VR000480GWFMD、MR000960GWFMA、VR000960GWFME、MR001920GWFMB、およびVR001920GWFMCドライブ

バージョン: HPGE (C) **(推奨)**
ファイル名: cp043928.compsig; cp043928.exe; cp043928.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。

- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VK000150GWCNN、VK000240GWCNP、VK000480GWCNQ、VK000960GWCNR、およびVK001600GWCNTドライブ

バージョン: HPG1 (C) **(推奨)**
ファイル名: cp043931.compsig; cp043931.exe; cp043931.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VK000240GWCFD、VK000480GWCFE、VK000960GWCFF、VK001920GWCFHおよびVK003840GWCFKドライブ

バージョン: HPG3 (D) **(推奨)**
ファイル名: cp043932.compsig; cp043932.exe; cp043932.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VK000240GWEZB、

VK000480GWEZC、VK000960GWEZD、VK001920GWEZE、MK000240GWEZF、MK000480GWEZH、MK000960GWEZK、およびMK001920GWHRUドライブ

バージョン: HPGE (C) **(オプション)**
ファイル名: cp043970.compsig; cp043970.exe; cp043970.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- 電力損失中のブートローダーダウンロードで発生する問題を修正しました。
- Microsoft SQLの要件に合わせて、4/8TBドライブ用のIDF Word 106 report 4K TUを変更します。
- エラー例外の改善
- 高頻度パワーサイクルによるマルチスレッド読み取りテスト中のセキュアロック修正の改善。
- HPGEには、ドライブのファームウェアがドライブ上のエラーを検出して修復する機能を向上させるための修正が含まれています。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VK000240GWSRQ、VK000480GWSRR、VK000960GWSRT、VK001920GWSRU、およびVK003840GWSRVドライブ

バージョン: HPG3 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp043972.compsig; cp043972.exe; cp043972.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VK000240GWTSV、VK000480GWTTA、VK000960GWTTB、VK001920GWTTC、VK003840GWTTD、

MK000480GWTTH、MK000960GWTTK、MK001920GWTTLおよびMK003840GWTTNドライブ

バージョン: HPG3 (C) **(推奨)**
ファイル名: cp043946.compsig; cp043946.exe; cp043946.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- セキュア消去操作中の潜在的な無応答を修正し、特定のSATAプロトコル転送中の誤ったエラー報告の問題を修正しました。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VK000480GWSXF、VK000960GWSXH、VK001920GWSXK、MK000480GWUGF、MK000960GWUGH、MK001920GWUGKドライブ

バージョン: HPG2 (C) **(推奨)**
ファイル名: cp043944.compsig; cp043944.exe; cp043944.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VK003840GWSXL ドライブ

バージョン: HPG2 (C) **(推奨)**
ファイル名: cp043942.compsig; cp043942.exe; cp043942.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VK007680GWSXNドライブ

バージョン: HPG2 (C) **(推奨)**
ファイル名: cp043943.compsig; cp043943.exe; cp043943.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VK0120GFDKE、VK0240GFDKF、VK0480GFDKH、VK0960GFDKK、VK1920GFDKL、およびVK3840GFDKNドライブ

バージョン: HPG1 (F) **(推奨)**
ファイル名: cp043892.compsig; cp043892.exe; cp043892.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VK0240GEPQN、VK0480GEPQP、およびVK0960GEPQQドライブ

バージョン: HPG1 (F) **(推奨)**
ファイル名: cp043895.compsig; cp043895.exe; cp043895.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - VR000150GWEPPおよびVR000480GWEPRドライブ

バージョン: HPG1 (D) **(クリティカル)**
ファイル名: cp043933.compsig; cp043933.exe; cp043933.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- ドライブが機能しなくなる可能性のあるタイミングの問題を修正しました。
- VPDログD0hで報告されたドライブサニタイズ時間を修正しました。
- セキュリティログページBBhのサポートを追加します。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - XP0120GFJSLおよびXP0240GFJSNドライブ

バージョン: HPS4 (F) **(推奨)**
ファイル名: cp043894.compsig; cp043894.exe; cp043894.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはProLiantのホストバスアダプター(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64)- MK000240GWCEU、MK000480GWCEV、MK000960GWCFAおよびMK001920GWCFBドライブ

バージョン: HPG3 (D) **(推奨)**
ファイル名: cp043937.compsig; cp043937.exe; cp043937.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- エラー回復最適化の機能強化

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) -VK000480GWTHA、VK000960GWTHB、VK001920GWTHC、およびVK003840GWTHDドライブ

バージョン: HPG1 (C) **(オプション)**
ファイル名: cp043956.compsig; cp043956.exe; cp043956.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64) - MB002000GWFGHおよびMB001000GWFGFドライブ

バージョン: HPG3 (E) **(オプション)**
ファイル名: cp043920.compsig; cp043920.exe; cp043920.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64) - MB006000GWBXQおよびMB008000GWBYLドライブ

バージョン: HPG8 (C) **(推奨)**
ファイル名: cp043945.compsig; cp043945.exe; cp043945.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64) - MB010000GWAYNおよびMB008000GWAYLドライブ

バージョン: HPG5 (D) **(クリティカル)**
ファイル名: cp043916.compsig; cp043916.exe; cp043916.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、

Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- このコードは、アライメントされていない書き込みコマンドに関連する潜在的なデータ整合性の問題を修正します。このサプライヤーの継続的なラボテストで発見されました。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64) - MB2000GFEMHおよびMB4000GFEMKドライブ

バージョン: HPG6 (F) **(クリティカル)**
ファイル名: cp043915.compsig; cp043915.exe; cp043915.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- プロセス中の書き込みの再試行が誤った場所で間違って開始されることによって発生する潜在的なデータ整合性の問題を修正します。 これらの問題は、サプライヤーの継続的な信頼性テスト中で見つかりました。

- ファームウェアは、コードのダウンロード後に設定の保存を修正し、緊急電源オフの改善を含みます。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64) - MB4000GEFNAおよびMB6000GEFNBドライブ

バージョン: HPG6 (G) **(推奨)**
ファイル名: cp043866.compsig; cp043866.exe; cp043866.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります

- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64) - MB4000GEQNHおよびMB6000GEQNKドライブ

バージョン: HPGB (F) **(クリティカル)**
ファイル名: cp043877.compsig; cp043877.exe; cp043877.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- プロセス中の書き込みの再試行が誤った場所で間違って開始されることによって発生する潜在的なデータ整合性の問題を修正します。これらの問題は、サプライヤーの継続的なラボテスト中でのみ検出されました。
- ファームウェアは、コードのダウンロード後に設定の保存を修正し、緊急電源オフの改善を含みます。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64) - MB6000GEQUTおよびMB8000GEQUUドライブ

バージョン: HPGB (F) **(クリティカル)**
ファイル名: cp043919.compsig; cp043919.exe; cp043919.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

修正

- プロセス中の書き込みの再試行が誤った場所で間違って開始されることによって発生する潜在的なデータ整合性の問題を修正します。 これらの問題は、サプライヤーの継続的な信頼性テスト中でのみ見つかりました。

- ドライブがAHCIコントローラーの背後で接続されているときにオンラインファームウェアアップデートが失敗します。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64) - MB6000GVYZBおよびMB4000GVYZAドライブ

バージョン: HPG4 (C) **(推奨)**
ファイル名: cp043925.compsig; cp043925.exe; cp043925.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- MB012000GWTFEおよびMB014000GWTFFドライブ

バージョン: HPG6 (B) **(オプション)**
ファイル名: cp043962.compsig; cp043962.exe; cp043962.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーに接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインHDD/SSDフラッシュコンポーネントfor Windows(x64)- MK000480GWSSC、MK000960GWSSD、MK001920GWSSEおよびMK003840GWSSFドライブ

バージョン: HPG2 (B) **(推奨)**
ファイル名: cp043974.compsig; cp043974.exe; cp043974.md5

重要な注意!

- Zero Memory(ZM)モードで動作しているSmartアレイコントローラーあるいはホストバスアダプターー(HBA)に接続されているドライブへオンラインでファームウェアをフラッシュすることはサポートされていません。これらの構成では、ドライブへオフラインでファームウェアをフラッシュすることだけがサポートされています。
- サポートされるLinux、Microsoft WindowsおよびVMware環境を実行しているシステムで構成されたSmartアレイコントローラーで利用可能なオンラインドライブファームウェアのアップデート。他のすべてのOSは、Service Pack for ProLiantおよびSmart Update Managerを使用してオフラインでアップデートする必要があります。
- 最新のファームウェアバージョンをインストールしている場合、(B) (C) (D)などのサブバージョンにアップデートする必要はありません。

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました。

ファームウェア - ストレージコントローラー

先頭

HPE D6020 12 Gb SASディスクエンクロージャーROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64)

バージョン: 2.74 (G) **(推奨)**
ファイル名: CP043653.md5; RPMS/x86_64/firmware-d6020-2.74-7.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-d6020-2.74-7.1.x86_64.rpm

重要な注意！

重要:ファームウェアのアップグレードは、システムのすべてのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。シングルドメイン構成では、ユーザーがD6020(または任意のストレージボックス)でOSをホスティングしてSEPをフラッシュすると、フラッシュ/コードロードの後でSmartComponentがSEPをリセットするため、常にハング/クラッシュします。

警告 このユニットの機能が失われる可能性があるので、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注記:すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、/var/cpq/D6020.logに記録され、フラッシュの要約は、/var/cpq/Component.logに記録されます。

事前要件

重要: ファームウェアのアップグレードは、システムのすべてのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告！ このユニットの機能が失われる可能性があるので、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注記:すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、/var/cpq/D6020.logに記録され、フラッシュの要約は、/var/cpq/Component.logに記録されます。

修正

以下の修正がこのリリースに含まれました:

- gSEPモデルとSESデータベース内の温度センサーロジック
- IOMが引き出されたときに、残っているIOMが正しくない異常温度を報告する

このファームウェアに関する修正のリスト、拡張、既知の問題および回避方法については、リリースノートを参照してください。

拡張

このバージョンでは、以下の機能強化が追加されています。

- Rhel 7.8のサポートを追加しました
- Rhel 8.2のサポートを追加しました
- SLES15 SP2のサポートを追加しました

サポートしているデバイスおよび機能

D6020エンクロージャーは、どのHPEストレージコントローラーとホストバスアダプターにも接続できます:

- HP SmartアレイP841コントローラー
- HP SmartアレイP441コントローラー
- HP Smart HBA H241
- HP SmartアレイP741mコントローラー
- HPE SmartアレイP408e-pコントローラー
- HPE SmartアレイE208e-pコントローラー
- HPE SmartアレイP408e-mコントローラー
- HPE SmartアレイP416ie-mコントローラー

HPE D6020 12 Gb SASディスクエンクロージャーROMフラッシュコンポーネントfor Windows (x64)

バージョン: 2.74 (G) **(推奨)**
ファイル名: cp043654.compsig; cp043654.exe

重要な注意！

重要: ファームウェアのアップグレードは、システムのすべてのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。シングルドメイン構成では、ユーザーがD6020(または任意のストレージボックス)でOSをホスティングしてSEPをフラッシュすると、フラッシュ/コードロードの後でSmartComponentがSEPをリセットするため、常にハング/クラッシュします。

警告 このユニットの機能が失われる可能性があるので、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注記:すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、%systemdrive%¥CPQSYSTEM¥Log¥D6020.logに記録され、フラッシュの要約は、%systemdrive%¥CPQSYSTEM¥Log¥cpqsetup.logに記録されます。

事前要件

重要:ファームウェアのアップグレードは、システムのすべてのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告！このユニットの機能が失われる可能性があるので、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注記:すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、%systemdrive%¥CPQSYSTEM¥Log¥D6020.logに記録され、フラッシュの要約は、%systemdrive%¥CPQSYSTEM¥Log¥cpqsetup.logに記録されます。

修正

以下の修正がこのリリースに含まれました:

- gSEPモデルとSESデータベース内の温度センサーロジック
- IOMが引き出されたときに、残っているIOMが正しくない異常温度を報告する

このファームウェアに関する修正のリスト、拡張、既知の問題および回避方法については、リリースノートを参照してください。

サポートしているデバイスおよび機能

D6020エンクロージャーは、どのHPEストレージコントローラーとホストバスアダプターにも接続できます:

- HP SmartアレイP841コントローラー
- HP SmartアレイP441コントローラー
- HP Smart HBA H241
- HP SmartアレイP741mコントローラー
- HPE SmartアレイP408e-pコントローラー
- HPE SmartアレイE208e-pコントローラー
- HPE SmartアレイP408e-mコントローラー
- HPE SmartアレイP416ie-mコントローラー

HPE D6020 12Gb SASディスクエンクロージャーROMフラッシュコンポーネントfor VMware (ESXi)

バージョン: 2.74 (G) **(推奨)**
ファイル名: CP043637.compsig; CP043637.md5; CP043637.zip

重要な注意！

重要:ファームウェアのアップグレードは、システムのすべてのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。シングルドメイン構成では、ユーザーがD6020(または任意のストレージボックス)でOSをホスティングしてSEPをフラッシュすると、フラッシュ/コードロードの後でSmartComponentがSEPをリセットするため、常にハング/クラッシュします。

警告 このユニットの機能が失われる可能性があるので、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注記:すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、/var/cpq/D6020.logに記録され、フラッシュの要約は、/var/cpq/Component.logに記録されます。

事前要件

重要: ファームウェアのアップグレードは、システムのすべてのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告！ このユニットの機能が失われる可能性があるので、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注記:すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、/var/cpq/D6020.logに記録され、フラッシュの要約は、/var/cpq/Component.logに記録されます。

修正

以下の修正がこのリリースに含まれました:

- gSEPモデルとSESデータベース内の温度センサーロジック
- IOMが引き出されたときに、残っているIOMが正しくない異常温度を報告する

このファームウェアに関する修正のリスト、拡張、既知の問題および回避方法については、リリースノートを参照してください。

サポートしているデバイスおよび機能

D6020エンクロージャーは、どのHPEストレージコントローラーとホストバスアダプターにも接続できます:

- HP SmartアレイP841コントローラー
- HP SmartアレイP441コントローラー
- HP Smart HBA H241
- HP SmartアレイP741mコントローラー
- HPE SmartアレイP408e-pコントローラー
- HPE SmartアレイE208e-pコントローラー
- HPE SmartアレイP408e-mコントローラー

- HPE SmartアレイP416ie-mコントローラー

HPE D8000 12 Gb SASディスクエンクロージャーROMフラッシュコンポーネントfor Windows (x64)

バージョン: 0107 **(推奨)**
ファイル名: cp043713.compsig; cp043713.exe

修正

以下の修正がこのリリースに含まれました:

- STD INQUIRY RESPONSEでは、ErrMビットが常に設定されていました。ErrMビットは、エンクロージャーファームウェアが、そのいずれかのパッケージバージョンとFRUコンポーネントのファームウェアバージョンの不一致を検出したことを示します。この問題は、誤ったバージョンのPSUファームウェアが含まれていることに原因がありましたが、修正されました。
- エンクロージャーI / Oモジュールに最新のファームウェアをインストールした後、ホストでSESターゲットを検出できませんでした。Microchip smartpqi HBAで使用されるSMP DISCOVER RESPONSEの仮想PHYビットが、I / Oモジュールの仮想PHYとして検出されました。

このファームウェアに関する修正のリスト、拡張、既知の問題および回避方法については、リリースノートを参照してください。

HPE D8000 12Gb SASディスクエンクロージャーROMフラッシュコンポーネントfor VMware (ESXi)

バージョン: 0107 **(推奨)**
ファイル名: CP043703.md5; CP043703.zip; CP043703_part1.compsig; CP043703_part2.compsig

修正

以下の修正がこのリリースに含まれました:

- STD INQUIRY RESPONSEでは、ErrMビットが常に設定されていました。ErrMビットは、エンクロージャーファームウェアが、そのいずれかのパッケージバージョンとFRUコンポーネントのファームウェアバージョンの不一致を検出したことを示します。この問題は、誤ったバージョンのPSUファームウェアが含まれていることに原因がありましたが、修正されました。
- エンクロージャーI / Oモジュールに最新のファームウェアをインストールした後、ホストでSESターゲットを検出できませんでした。Microchip smartpqi HBAで使用されるSMP DISCOVER RESPONSEの仮想PHYビットが、I / Oモジュールの仮想PHYとして検出されました。

このファームウェアに関する修正のリスト、拡張、既知の問題および回避方法については、リリースノートを参照してください。

HPE D800012 Gb SASディスクエンクロージャーROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64)

バージョン: 0107 **(推奨)**
ファイル名: CP043683.md5; RPMS/x86_64/firmware-d8000-0107-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-d8000-0107-1.1.x86_64.rpm

修正

以下の修正がこのリリースに含まれました:

- STD INQUIRY RESPONSEでは、ErrMビットが常に設定されていました。ErrMビットは、エンクロージャーファームウェアが、そのいずれかのパッケージバージョンとFRUコンポーネントのファームウェアバージョンの不一致を検出したことを示します。この問題は、誤ったバージョンのPSUファームウェアが含まれていることに原因がありましたが、修正されました。
- エンクロージャーI / Oモジュールに最新のファームウェアをインストールした後、ホストでSESターゲットを検出できませんでした。Microchip smartpqi HBAで使用されるSMP DISCOVER RESPONSEの仮想PHYビット

が、I / Oモジュールの仮想PHYとして検出されました。

このファームウェアに関する修正のリスト、拡張、既知の問題および回避方法については、リリースノートを参照してください。

拡張

このバージョンでは、以下の機能強化が追加されています。

- Rhel 7.8のサポートを追加しました
- Rhel 8.2のサポートを追加しました
- SLES15 SP2のサポートを追加しました

Linux (x64)向けHPE D3600/D3700/D3610/D3710 12Gb SASディスクエンクロージャーROMフラッシュコンポーネント

バージョン: 5.04 **(推奨)**
ファイル名: CP041859.md5; RPMS/x86_64/firmware-d3000-5.04-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-d3000-5.04-1.1.x86_64.rpm

重要な注意！

重要:ファームウェアのアップグレードは、システムのすべてのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。シングルドメイン構成では、ユーザーがD3000(または任意のストレージボックス)でOSをホスティングしてSEPをフラッシュすると、フラッシュ/コードロードの後でSmartComponentがSEPをリセットするため、常にハング/クラッシュします。

警告 このユニットの機能が失われる可能性があるので、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注記:すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、/var/cpq/D3000.logに記録され、フラッシュの要約は、/var/cpq/Component.logに記録されます。

事前要件

重要:ファームウェアのアップグレードは、システムのすべてのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告！このユニットの機能が失われる可能性があるので、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注記:すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、/var/cpq/D3000.logに記録され、フラッシュの要約は、/var/cpq/Component.logに記録されます。

修正

以下の修正がこのリリースに含まれました:

- Enabled-ClusterS2Dコマンドは、NonStopソリューションのD3610ディスクエンクロージャー内のSATAドライブ上で実行すると正常に完了するようになりました。
- SASドライブのドライブケースであるスマートキャリアは、D3610/D3710ドライブエンクロージャーで認証されるようになりました。
- ファンモジュールAおよびBの問題を報告するために、新しい7セグメントエラーコードE0およびE1がそれぞれ追加されました。これらの新しいコードはD3610/D3710にのみ適用され、ファームウェア5.04を実行しているときにのみ表示されます。
- I/Oモジュール内のストレージエンクロージャープロセッサーに障害が発生すると、プロセッサーを確実にオンラインに戻すために、ハードリセット(電源を切ってから電源を入れる)が実行されます。

このファームウェアに関する修正のリスト、拡張、既知の問題および回避方法については、リリースノートを参照してください。

拡張

このバージョンでは、以下の機能強化が追加されています。

- Rhel 7.8のサポートを追加しました
- Rhel 8.2のサポートを追加しました
- SLES15 SP2のサポートを追加しました

サポートしているデバイスおよび機能

D3600/D3700/D3610/D3710エンクロージャーは、以下のどのHPEストレージコントローラーとホストバスアダプターにも接続できます:

- HP SmartアレイP841コントローラー
- HP SmartアレイP441コントローラー
- HP Smart HBA H241
- HPE SmartアレイP408e-pコントローラー
- HPE SmartアレイE208e-pコントローラー
- HPE SmartアレイP408e-mコントローラー
- HP SmartアレイP741mコントローラー
- HPE SmartアレイP416ie-mコントローラー

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor ESXi (x86) - HPE Smart Array P824i-p MR Gen10

バージョン: 24.23.0-0043 (B) **(推奨)**
ファイル名: CP044443.compsig; CP044443.zip

拡張

VMware ESXi 7.0のサポートを追加しました

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) - HPE Smart Array P824i-p MR Gen10

バージョン: 24.23.0-0043 (A) **(推奨)**
ファイル名: CP044918.md5; CP044918.scexe; deb/firmware-cafee9b6e4_24.23.0.0043-1.1_amd64.deb; rpm/RPMS/x86_64/firmware-cafee9b6e4-24.23.0_0043-1.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-cafee9b6e4-24.23.0_0043-1.1.x86_64.rpm

修正

過熱の問題は、>=60Cしきい値のための誤ったIMLでした。新しいバージョンでしきい値を>65Cに変更しました。

カスタマーアドバイザリa00101958en_usを参照してください。

VMware (ESXi)向けHPE D3600/D3700/D3610/D3710 12Gb SASディスクエンクロージャーROMフラッシュコンポーネント

バージョン: 5.04 **(推奨)**
ファイル名: CP041860.compsig; CP041860.md5; CP041860.zip

重要な注意！

重要:ファームウェアのアップグレードは、システムのすべてのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。シングルドメイン構成では、ユーザーがD3000(または任意のストレージボックス)でOSをホ

スティングしてSEPをフラッシュすると、フラッシュ/コードロードの後でSmartComponentがSEPをリセットするため、常にハング/クラッシュします。

警告 このユニットの機能が失われる可能性があるので、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注記:すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、/var/cpq/D3000.logに記録され、フラッシュの要約は、/var/cpq/Component.logに記録されます。

事前要件

重要:ファームウェアのアップグレードは、システムのすべてのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告！このユニットの機能が失われる可能性があるので、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注記:すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、/var/cpq/D3000.logに記録され、フラッシュの要約は、/var/cpq/Component.logに記録されます。

修正

以下の修正がこのリリースに含まれました:

- Enabled-ClusterS2Dコマンドは、NonStopソリューションのD3610ディスクエンクロージャー内のSATAドライブ上で実行すると正常に完了するようになりました。
- SASドライブのドライブケースであるスマートキャリアは、D3610/D3710ドライブエンクロージャーで認証されるようになりました。
- ファンモジュールAおよびBの問題を報告するために、新しい7セグメントエラーコードE0およびE1がそれぞれ追加されました。これらの新しいコードはD3610/D3710にのみ適用され、ファームウェア5.04を実行しているときにのみ表示されます。
- I/Oモジュール内のストレージエンクロージャープロセッサーに障害が発生すると、プロセッサーを確実にオンラインに戻すために、ハードリセット(電源を切ってから電源を入れる)が実行されます。

このファームウェアに関する修正のリスト、拡張、既知の問題および回避方法については、リリースノートを参照してください。

サポートしているデバイスおよび機能

D3600/D3700/D3610/D3710エンクロージャーは、以下のどのHPEストレージコントローラーとホストバスアダプターにも接続できます:

- HP SmartアレイP841コントローラー
- HP SmartアレイP441コントローラー
- HP Smart HBA H241
- HP SmartアレイP741mコントローラー
- HPE SmartアレイP408e-pコントローラー
- HPE SmartアレイE208e-pコントローラー
- HPE SmartアレイP408e-mコントローラー
- HPE SmartアレイP416ie-mコントローラー

Windows (x64)向けHPE D3600/D3700/D3610/D3710 12Gb SASディスクエンクロージャーROMフラッシュコンポーネント

バージョン: 5.04 **(推奨)**
ファイル名: cp041861.compsig; cp041861.exe

重要な注意！

重要: ファームウェアのアップグレードは、システムのすべてのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。シングルドメイン構成では、ユーザーがD3000(または任意のストレージボックス)でOSをホスティングしてSEPをフラッシュすると、フラッシュ/コードロードの後でSmartComponentがSEPをリセットするため、常にハング/クラッシュします。

警告 このユニットの機能が失われる可能性があるので、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注記:すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、%systemdrive%¥CPQSYSTEM¥Log¥D3000.logに記録され、フラッシュの要約は、%systemdrive%¥CPQSYSTEM¥Log¥cpqsetup.logに記録されます。

事前要件

重要:ファームウェアのアップグレードは、システムのすべてのI/Oを停止して、システムをメンテナンスする期間内に行う必要があります。

警告！このユニットの機能が失われる可能性があるので、ファームウェアのアップデート中は電源を切ったり再起動したりしないでください。通常ファームウェアをロードするのに数分かかります。

注記:すべてのファームウェアフラッシュ進行メッセージは、%systemdrive%¥CPQSYSTEM¥Log¥D3000.logに記録され、フラッシュの要約は、%systemdrive%¥CPQSYSTEM¥Log¥cpqsetup.logに記録されます。

修正

以下の修正がこのリリースに含まれました:

- Enabled-ClusterS2Dコマンドは、NonStopソリューションのD3610ディスクエンクロージャー内のSATAドライブ上で実行すると正常に完了するようになりました。
- SASドライブのドライブケースであるスマートキャリアは、D3610/D3710ドライブエンクロージャーで認証されるようになりました。
- ファンモジュールAおよびBの問題を報告するために、新しい7セグメントエラーコードE0およびE1がそれぞれ追加されました。これらの新しいコードはD3610/D3710にのみ適用され、ファームウェア5.04を実行しているときにのみ表示されます。
- I/Oモジュール内のストレージエンクロージャープロセッサーに障害が発生すると、プロセッサーを確実にオンラインに戻すために、ハードリセット(電源を切ってから電源を入れる)が実行されます。

このファームウェアに関する修正のリスト、拡張、既知の問題および回避方法については、リリースノートを参照してください。

サポートしているデバイスおよび機能

D3600/D3700/D3610/D3710エンクロージャーは、以下のどのHPEストレージコントローラーとホストバスアダプターにも接続できます:

- HP Smartアレイ P841コントローラー
- HP Smartアレイ P441コントローラー
- HP Smart HBA H241
- HPE Smartアレイ P408e-pコントローラー
- HPE Smartアレイ E208e-pコントローラー
- HPE Smartアレイ P408e-mコントローラー
- HP Smartアレイ P741mコントローラー
- HPE Smartアレイ P416ie-mコントローラー

オンラインROM Flashコンポーネント for Windows (x64) - HPE Smartアレイ P824i-p MR Gen10

バージョン: 24.23.0-0043 (A) **(推奨)**
ファイル名: cp044919.compsig; cp044919.exe; cp044919.md5

修正

過熱の問題は、>=60Cしきい値のための誤ったIMLでした。新しいバージョンでしきい値を>65Cに変更しました。

カスタマーアドバイザリa00101958en_usを参照してください。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux(x64) - HPE Apollo 2000 Gen10バックプレーンエキスパンダーファームウェア

バージョン: 1.00 (B) **(オプション)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-9f082dffb4-1.00-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-9f082dffb4-1.00-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

注記:バージョン1.00が以前にインストールされていた場合、1.00(B)にアップグレードする必要はありません。

拡張

- SUSE LINUX Enterprise Server 15 OSのサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - HPE 12Gb/s SASエキスパンダーファームウェア for HPE Smartアレイコントローラーおよび HPE HBAコントローラー

バージョン: 4.22 **(推奨)**
ファイル名: cp040619.compsig; cp040619.exe; cp040619.md5

重要な注意！

- ファームウェアがバージョン1.31またはそれ以前からアップグレードされた場合には、電源再投入/コールドリブートが必要です。

修正

- 不正なSmart Carrier認証エラーが発生する可能性がある問題を修正します。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - HPE Apollo 2000 Gen10バックプレーンエキスパンダーファームウェア

バージョン: 1.00 (B) **(オプション)**
ファイル名: cp037609.compsig; cp037609.exe; cp037609.md5

重要な注意!

注記:バージョン1.00が以前にインストールされていた場合、1.00(B)にアップグレードする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2019のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows (x64) - HPE Apollo 45xx Gen10バックプレーンエキスパンダーファームウェア

バージョン: 1.56 (C) **(推奨)**
ファイル名: cp037765.compsig; cp037765.exe; cp037765.md5

拡張

- HPE SmartアレイP824i-p コントローラーのサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor ESXi - HPE SmartアレイP408i-p、P408e-p、P408i-a、P408i-c、E208i-p、E208e-p、E208i-c、E208i-a、P408i-sb、P408e-m、P204i-c、P204i-b、P816i-a、およびP416ie-m SR Gen10

バージョン: 3.00 **(クリティカル)**
ファイル名: CP044423.compsig; CP044423.zip

事前要件

* ファームウェアアップデートを開始する前に、データをバックアップしてください。

修正

Smartアレイコントローラーのファームウェアv3.00で次の問題が
修正されました:

* バックグラウンドの表面スキャンで、RAID 1、5、10、および50の論理ドライブの
12G SASドライブのメディアエラーが修復されないことがあります。

* 一部のI/Oワークロードでは、ファイルシステムまたはアプリケーションが
暗号化されたRAID 0(2つ以上の物理ドライブ)またはRAID 10/10ADM
(4つ以上の物理ドライブ)論理ドライブから間違ったデータを
読み取ることがあります。

* SSD論理ドライブパリティの迅速初期化中にTest Unit Readyコマンドが失敗すると、
コントローラーがハングする場合があります。

* 再構築および極端な同時ホストI/O書き込み中に、再構築操作で
古いデータが使用される場合があり、その結果、後続のホスト読み取りで
古いデータが返される場合があります。

* 複数の論理ドライブを持つ単一のアレイ上の論理ドライブで
バックグラウンドパリティ初期化が完了した後、ホストが誤ったデータを読み取る
可能性があります。

* RAID 5ボリュームの回復不可能な読み取りエラー(URE)の修復中に、
コントローラーのロックアップの問題が発生する場合があります。

* SmartCacheエラーの処理中に、コントローラーのロックアップの問題が
発生する可能性があります。

* SmartCacheが有効になっている場合、コントローラーの起動中にコントローラーのロックアップの問題が発生する
場合があります。

* 合成したホスト要求で致命的なエラーが発生すると、ファイルシステムまたは
アプリケーションが間違ったデータを読み取る場合があります。

* コントローラーの起動中に取り付けられたドライブの障害は、ドライブの障害として
識別されません。

* 障害ドライブのステータスLEDは、バックプレーンの障害ドライブと正常な
ドライブが交換されている場合は点灯しません。

* バックプレーンのある構成では、以前に構成されたRAIDボリュームの
交換品として取り付けられた故障したドライブは、故障したドライブとして
識別されません。

* SSDドライブから作成された論理ドライブの再構築は、1,200秒以内に
開始されません。

* 低いキュー深度での16kから256kの順次読み取り中のパフォーマンス低下が、
キャッシュが有効になっている論理ドライブで発生します。

* コントローラーのロックアップの問題は、ホストの同時書き込みおよび
バックグラウンドのキャッシュフラッシュ操作中に発生することがあります。

* デュアルI/Oモジュールエンクロージャ構成での特定の物理イベントの後、
SATAドライブに対して誤ったコネクタ情報が表示されます。

* ドライブベイに物理的に存在する故障したドライブは、
正しく報告されません。

* ドライブゾーングループの作成または構成の複数のコマンドが発行された後に、
デバイスが構成から削除されることがあります。

* ドライブがエキスパンダーに接続されている場合、サニタイズ操作中に
ドライブのステータスLEDが点滅しません。

*バックアップ電源の充電がタイムアウトになると、キャッシュ無効化ステータスが
正しくアップデートされません。

* SmartCacheが有効になっていて、システムが以前に強制的に
シャットダウンされた場合、clear configurationコマンドで構成がクリアされない
場合があります。

* SmartCacheボリュームのSmartCacheページのブロックサイズ内に複数UREが
ある場合、clear configurationコマンドは失敗します。

* デュアルドメイン構成のエンクロージャーへのパスを切り替えると、コントローラーの
ロックアップの問題が発生する場合があります。

* 温度センサーが検出されない場合、コントローラーはサバイバルモードで
実行されます。

* clear configurationコマンドは、障害ステータスの取り付け済みドライブを
検出すると、障害を報告する場合があります。

* パフォーマンスの低下はシーケンシャルワークロード中に発生します。

* 未割り当てのドライブとRAID論理ドライブ内のドライブへの同時I/Oを
実行すると、コントローラー障害が発生する場合があります。

* 再起動後に、不良ドライブによりコントローラーの検出またはオペレーティング
システムの起動が妨げられる場合があります。

* 劣化したボリュームの故障したドライブを交換すると、ホスト要求が誤って
Failedとして返されます。

* アクティブなスペアの再構築でスペア構成を変更すると、
再構築プロセスが停止します。

*直接接続のドライブがバックプレーンに接続されておらず、エンクロージャー
管理スキーマが定義されていない場合、デバイスの場所が正しく
報告されません。

* RAIDボリューム構成設定は、ディスクドライブが実行時に未割り当てから
RAID使用に移行した場合は適用されません。

* 構成のクリア操作が完了してシステムが再起動された後、ドライブに
障害が発生したRAIDボリュームが再度表示されます。

* 複数の回復不能なメディアエラー(URE)が発生するSmartCacheフラッシュタスク中に、
コントローラーがハングすることがあります。

* アウトオブバンド(OOB)ホストトランスポートを介したSMART READ DATAなどの
ATA PASSTHROUGHコマンドでは、すべて0の応答が送信されます。

拡張

以下の拡張機能は、Smartアレイコントローラーファームウェアの一部です。
修正されました:

* ファームウェアのアップグレードと再起動後、バックグラウンドのパリティ
初期化ステータスが未完了または失敗の論理ドライブに対して、
バックグラウンドのパリティ初期化プロセスが開始します。

* 以前は、データ整合性のためのバックグラウンドの表面スキャンは、
実行と実行の間で最大14日間、待機することがありました。表面スキャンは、整合性チェックが失敗するとすぐに再開される
ようになりました。表面スキャンの問題が見つからない場合、
表面スキャンは14日間の待機期間を維持します。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Linux (x64) – HPE D2500sbストレージブレード用HPE SASエキスパンダーファームウェア

バージョン: 2.00 (B) **(オプション)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-1d0696d939-2.00-2.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-1d0696d939-2.00-2.1.x86_64.rpm

重要な注意!

ファームウェアバージョン2.00をすでにインストールしている場合、2.00 (B)へアップデートする必要はありません。

拡張

- SUSE LINUX Enterprise Server 15 OSのサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - HPE 12 Gb/s SASエキスパンダーファームウェアfor HPE Smartアレイコントローラーおよび HPE HBAコントローラー

バージョン: 4.22 (A) **(推奨)**
ファイル名: CP044309.compsig; CP044309.zip

重要な注意！

- ファームウェアがバージョン1.31またはそれ以前からアップグレードされた場合には、電源再投入/コールドリブートが必要です。

拡張

ESXi 7.0のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - HPE Apollo 2000 Gen10バックプレーンエキスパンダーファームウェア

バージョン: 1.00 (E) **(推奨)**
ファイル名: CP044326.compsig; CP044326.zip

重要な注意!

ファームウェアバージョン1.00をすでにインストールしている場合、1.00 (E)へアップデートする必要はありません。

拡張

VMware ESXi 7.0のサポートを追加しました

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - HPE Apollo 45xx Gen10バックプレーンエキスパンダーファームウェア

バージョン: 1.56 (F) **(推奨)**
ファイル名: CP044312.compsig; CP044312.zip

拡張

- VMware ESXi 7.0のサポートを追加しました

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor VMware ESXi - HPE D2500sbストレージブレード用HPE SASエキスパンダーファームウェア
バージョン: 2.02 (A) **(推奨)**
ファイル名: CP044325.compsig; CP044325.zip

重要な注意！

- ESXi6.0を使用するには、アップグレード3以降である必要があります。以前のバージョンのOSには必要なSmartPQIドライバーがありません。

事前要件

ESXi6.0を使用するには、アップグレード3以降である必要があります。以前のバージョンのOSには必要なSmartPQIドライバーがありません。

拡張

ESXi 7.0のサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - HPE D2500sbストレージブレード用HPE SASエキスパンダーファームウェア

バージョン: 2.00 (B) **(オプション)**
ファイル名: cp037679.compsig; cp037679.exe; cp037679.md5

重要な注意!

ファームウェアバージョン2.00をすでにインストールしている場合、2.00 (B)へアップデートする必要はありません。

拡張

- Microsoft Windows Server 2019 OSのサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows (x64) - HPE Smart Array P408i-p、P408e-p、P408i-a、P408i-c、E208i-p、E208e-p、E208i-c、E208i-a、P408i-sb、P408e-m、P204i-c、P204i-b、P816i-aおよびP416ie-m SR Gen10

バージョン: 3.00 **(クリティカル)**
ファイル名: cp044558.compsig; cp044558.exe; cp044558.md5

事前要件

* ファームウェアアップデートを開始する前に、データをバックアップしてください。

修正

Smartアレイコントローラーのファームウェアv3.00で次の問題が
修正されました:

* バックグラウンドの表面スキャンで、RAID 1、5、10、および50の論理ドライブの
12G SASドライブのメディアエラーが修復されないことがあります。

* 一部のI/Oワークロードでは、ファイルシステムまたはアプリケーションが
暗号化されたRAID 0(2つ以上の物理ドライブ)またはRAID 10/10ADM
(4つ以上の物理ドライブ)論理ドライブから間違ったデータを
読み取ることがあります。

* SSD論理ドライブパリティの迅速初期化中にTest Unit Readyコマンドが失敗すると、
コントローラーがハングする場合があります。

* 再構築および極端な同時ホストI/O書き込み中に、再構築操作で
古いデータが使用される場合があり、その結果、後続のホスト読み取りで
古いデータが返される場合があります。

* 複数の論理ドライブを持つ単一のアレイ上の論理ドライブで
バックグラウンドパリティ初期化が完了した後、ホストが誤ったデータを読み取る
可能性があります。

* RAID 5ボリュームの回復不可能な読み取りエラー(URE)の修復中に、
コントローラーのロックアップの問題が発生する場合があります。

* SmartCacheエラーの処理中に、コントローラーのロックアップの問題が
発生する可能性があります。

* SmartCacheが有効になっている場合、コントローラーの起動中にコントローラーのロックアップの問題が発生する
場合があります。

* 合成したホスト要求で致命的なエラーが発生すると、ファイルシステムまたは
アプリケーションが間違ったデータを読み取る場合があります。

* コントローラーの起動中に取り付けられたドライブの障害は、ドライブの障害として
識別されません。

* 障害ドライブのステータスLEDは、バックプレーンの障害ドライブと正常な
ドライブが交換されている場合は点灯しません。

* バックプレーンのある構成では、以前に構成されたRAIDボリュームの
交換品として取り付けられた故障したドライブは、故障したドライブとして
識別されません。

* SSDドライブから作成された論理ドライブの再構築は、1,200秒以内に
開始されません。

* 低いキュー深度での16kから256kの順次読み取り中のパフォーマンス低下が、
キャッシュが有効になっている論理ドライブで発生します。

* コントローラーのロックアップの問題は、ホストの同時書き込みおよび
バックグラウンドのキャッシュフラッシュ操作中に発生することがあります。

* デュアルI/Oモジュールエンクロージャ構成での特定の物理イベントの後、
SATAドライブに対して誤ったコネクタ情報が表示されます。

* ドライブベイに物理的に存在する故障したドライブは、
正しく報告されません。

* ドライブゾーングループの作成または構成の複数のコマンドが発行された後に、
デバイスが構成から削除されることがあります。

* ドライブがエキスパンダーに接続されている場合、サニタイズ操作中に
ドライブのステータスLEDが点滅しません。

*バックアップ電源の充電がタイムアウトになると、キャッシュ無効化ステータスが
正しくアップデートされません。

* SmartCacheが有効になっていて、システムが以前に強制的
シャットダウンされた場合、clear configurationコマンドで構成がクリアされない
場合があります。

* SmartCacheボリュームのSmartCacheページのブロックサイズ内に複数UREが
ある場合、clear configurationコマンドは失敗します。

* デュアルドメイン構成のエンクロージャーへのパスを切り替えると、コントローラーの
ロックアップの問題が発生する場合があります。

* 温度センサーが検出されない場合、コントローラーはサバイバルモードで
実行されます。

* clear configurationコマンドは、障害ステータスの取り付け済みドライブを
検出すると、障害を報告する場合があります。

* パフォーマンスの低下はシーケンシャルワークロード中に発生します。

* 未割り当てのドライブとRAID論理ドライブ内のドライブへの同時I/Oを
実行すると、コントローラー障害が発生する場合があります。

* 再起動後に、不良ドライブによりコントローラーの検出またはオペレーティング
システムの起動が妨げられる場合があります。

* 劣化したボリュームの故障したドライブを交換すると、ホスト要求が誤って
Failedとして返されます。

* アクティブなスペアの再構築でスペア構成を変更すると、
再構築プロセスが停止します。

*直接接続のドライブがバックプレーンに接続されておらず、エンクロージャー
管理スキーマが定義されていない場合、デバイスの場所が正しく
報告されません。

* RAIDボリューム構成設定は、ディスクドライブが実行時に未割り当てから
RAID使用に移行した場合は適用されません。

* 構成のクリア操作が完了してシステムが再起動された後、ドライブに
障害が発生したRAIDボリュームが再度表示されます。

* 複数の回復不能なメディアエラー(URE)が発生するSmartCacheフラッシュタスク中に、
コントローラーがハングすることがあります。

* アウトオブバンド(OOB)ホストトランスポートを介したSMART READ DATAなどの
ATA PASSTHROUGHコマンドでは、すべて0の応答が送信されます。

拡張

以下の拡張機能は、Smartアレイコントローラーファームウェアの一部です。
修正されました:

* ファームウェアのアップグレードと再起動後、バックグラウンドのパリティ
初期化ステータスが未完了または失敗の論理ドライブに対して、
バックグラウンドのパリティ初期化プロセスが開始します。

* 以前は、データ整合性のためのバックグラウンドの表面スキャンは、
実行と実行の間で最大14日間、待機することがありました。表面スキャンは、整合性チェックが失敗するとすぐに再開される
ようになりました。表面スキャンの問題が見つからない場合、
表面スキャンは14日間の待機期間を維持します。

サプリメンタルアップデート/Linux(x64)用オンラインROMフラッシュコンポーネント - HPE SmartアレイP408i-p、P408e-p、P408i-a、P408i-c、E208i-p、E208e-p、E208i-c、E208i-a、P408e-m、P204i-c、P204i-b、P816i-a、およびP416ie-m SR Gen10

バージョン: 3.00 **(クリティカル)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-f7c07bdbbd-3.00-1.1.x86_64.compsig;
rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-f7c07bdbbd-3.00-1.1.x86_64.rpm

事前要件

* ファームウェアアップデートを開始する前に、データをバックアップしてください。

修正

Smartアレイコントローラーのファームウェアv3.00で次の問題が
修正されました:

* バックグラウンドの表面スキャンで、RAID 1、5、10、および50の論理ドライブの
12G SASドライブのメディアエラーが修復されないことがあります。

* 一部のI/Oワークロードでは、ファイルシステムまたはアプリケーションが
暗号化されたRAID 0(2つ以上の物理ドライブ)またはRAID 10/10ADM
(4つ以上の物理ドライブ)論理ドライブから間違ったデータを
読み取ることがあります。

* SSD論理ドライブパリティの迅速初期化中にTest Unit Readyコマンドが失敗すると、
コントローラーがハングする場合があります。

* 再構築および極端な同時ホストI/O書き込み中に、再構築操作で
古いデータが使用される場合があり、その結果、後続のホスト読み取りで
古いデータが返される場合があります。

* 複数の論理ドライブを持つ単一のアレイ上の論理ドライブで
バックグラウンドパリティ初期化が完了した後、ホストが誤ったデータを読み取る
可能性があります。

* RAID 5ボリュームの回復不可能な読み取りエラー(URE)の修復中に、
コントローラーのロックアップの問題が発生する場合があります。

* SmartCacheエラーの処理中に、コントローラーのロックアップの問題が
発生する可能性があります。

* SmartCacheが有効になっている場合、コントローラーの起動中にコントローラーのロックアップの問題が発生する
場合があります。

* 合成したホスト要求で致命的なエラーが発生すると、ファイルシステムまたは
アプリケーションが間違ったデータを読み取る場合があります。

* コントローラーの起動中に取り付けられたドライブの障害は、ドライブの障害として
識別されません。

* 障害ドライブのステータスLEDは、バックプレーンの障害ドライブと正常な
ドライブが交換されている場合は点灯しません。

* バックプレーンのある構成では、以前に構成されたRAIDボリュームの
交換品として取り付けられた故障したドライブは、故障したドライブとして
識別されません。

* SSDドライブから作成された論理ドライブの再構築は、1,200秒以内に
開始されません。

* 低いキュー深度での16kから256kの順次読み取り中のパフォーマンス低下が、
キャッシュが有効になっている論理ドライブで発生します。

* コントローラーのロックアップの問題は、ホストの同時書き込みおよび
バックグラウンドのキャッシュフラッシュ操作中に発生することがあります。

* デュアルI/Oモジュールエンクロージャ構成での特定の物理イベントの後、
SATAドライブに対して誤ったコネクタ情報が表示されます。

* ドライブベイに物理的に存在する故障したドライブは、
正しく報告されません。

* ドライブゾーングループの作成または構成の複数のコマンドが発行された後に、
デバイスが構成から削除されることがあります。

* ドライブがエキスパンダーに接続されている場合、サニタイズ操作中に
ドライブのステータスLEDが点滅しません。

*バックアップ電源の充電がタイムアウトになると、キャッシュ無効化ステータスが
正しくアップデートされません。

* SmartCacheが有効になっていて、システムが以前に強制的に
シャットダウンされた場合、clear configurationコマンドで構成がクリアされない
場合があります。

* SmartCacheボリュームのSmartCacheページのブロックサイズ内に複数UREが
ある場合、clear configurationコマンドは失敗します。

* デュアルドメイン構成のエンクロージャーへのパスを切り替えると、コントローラーの
ロックアップの問題が発生する場合があります。

* 温度センサーが検出されない場合、コントローラーはサバイバルモードで
実行されます。

* clear configurationコマンドは、障害ステータスの取り付け済みドライブを
検出すると、障害を報告する場合があります。

* パフォーマンスの低下はシーケンシャルワークロード中に発生します。

* 未割り当てのドライブとRAID論理ドライブ内のドライブへの同時I/Oを
実行すると、コントローラー障害が発生する場合があります。

* 再起動後に、不良ドライブによりコントローラーの検出またはオペレーティング
システムの起動が妨げられる場合があります。

* 劣化したボリュームの故障したドライブを交換すると、ホスト要求が誤って
Failedとして返されます。

* アクティブなスペアの再構築でスペア構成を変更すると、
再構築プロセスが停止します。

*直接接続のドライブがバックプレーンに接続されておらず、エンクロージャー
管理スキーマが定義されていない場合、デバイスの場所が正しく
報告されません。

* RAIDボリューム構成設定は、ディスクドライブが実行時に未割り当てから
RAID使用に移行した場合は適用されません。

* 構成のクリア操作が完了してシステムが再起動された後、ドライブに
障害が発生したRAIDボリュームが再度表示されます。

* 複数の回復不能なメディアエラー(URE)が発生するSmartCacheフラッシュタスク中に、
コントローラーがハングすることがあります。

* アウトオブバンド(OOB)ホストトランスポートを介したSMART READ DATAなどの
ATA PASSTHROUGHコマンドでは、すべて0の応答が送信されます。

拡張

以下の拡張機能は、Smartアレイコントローラーファームウェアの一部です。
修正されました:

* ファームウェアのアップグレードと再起動後、バックグラウンドのパリティ
初期化ステータスが未完了または失敗の論理ドライブに対して、
バックグラウンドのパリティ初期化プロセスが開始します。

* 以前は、データ整合性のためのバックグラウンドの表面スキャンは、
実行と実行の間で最大14日間、待機することがありました。表面スキャンは、整合性チェックが失敗するとすぐに再開される
ようになりました。表面スキャンの問題が見つからない場合、
表面スキャンは14日間の待機期間を維持します。

サプリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - HPE 12 Gb/s SASエキスパンダーファームウェア for HPE Smartアレイコントローラーおよび HPE HBAコントローラー

バージョン: 4.22 **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-2de15b6882-4.22-1.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-2de15b6882-4.22-1.1.x86_64.rpm

重要な注意！

- ファームウェアがバージョン1.31またはそれ以前からアップグレードされた場合には、電源再投入/コールドリブートが必要です。

修正

- 不正なSmart Carrier認証エラーが発生する可能性がある問題を修正します。

サプリメンタルアップデート/オンラインROMフラッシュコンポーネント for Linux (x64) - HPE Apollo 45xx Gen10バックプレーンエキスパンダーファームウェア

バージョン: 1.56 (C) **(推奨)**
ファイル名: rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-815b1ae26d-1.56-3.1.x86_64.compsig; rpm/RPMS/x86_64/firmware-smartarray-815b1ae26d-1.56-3.1.x86_64.rpm

拡張

- HPE SmartアレイP824i-p コントローラーのサポートを追加しました。

ファームウェア - ストレージファイバーチャネル

先頭

Emulex Mezzanineファイバーチャネルホストバスアダプター用HPEファームウェアオンラインフラッシュ - Microsoft Windows Server 2012R2/2016/2019 x64

バージョン: 2020.09.01 **(推奨)**
ファイル名: cp042263.compsig; cp042263.exe

重要な注意！

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へアクセスしてください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE LPe1205A 8Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class	8Gb	12.40a6	2.10X6	12.4.262.0	12.4.153.0
HPE 16Gb LPe1605ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class	16Gb	12.4.270.10	12.4.270.10	該当なし	該当なし

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

このファームウェアコンポーネントが展開のためにSUMで識別される前に、HPEで提供しているEmulexドライバーをインストールする必要があります。OOBドライバーは、 http://www.hpe.com/jp/servers/spp_dl/ のService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

拡張

ファイバーチャネルおよびConverged Networkアダプターをアップデートする別々のコンポーネントがあります。 これは、ファイバーチャネルアップデートコンポーネントです。

含まれるもの:

16 GBユニバーサルブート12.4.270.10

8 Gb Gen8メザニン(LPe1205A)ファームウェア2.10X6
8 Gbメザニンユニバーサルブートイメージ12.40a6(12.4.262.0 BIOS、12.4.153.0 UEFI)

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FCアダプター:

- HPE LPe1205A 8Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class

16Gb FCアダプター:

- HPE LPe1605 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class

Emulexファイバーチャネルホストバスアダプター for VMware vSphere 6.5用HPEファームウェアフラッシュ

バージョン: 2020.09.01 **(推奨)**
ファイル名: CP042251.compsig; CP042251.zip

重要な注意！

リリースノート:

HPEホストバスアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、ファイバーチャネル(LightPulse)ホストバスアダプターおよびコンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へアクセスしてください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、ファイバーチャネルホストバスアダプターおよびコンバージドネットワークアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE 81E 8GbシングルポートpcIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	12.60a4	2.10X6	12.6.284.0	12.6.302.0
HPE 82E 8GbデュアルポートpcIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	12.60a4	2.10X6	12.6.284.0	12.6.302.0
HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	12.60a4	2.10X6	12.6.284.0	12.6.302.0
HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.6.275.12	12.6.275.12	12.6.275.7	12.6.271.0
HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.6.275.12	12.6.275.12	12.6.275.7	12.6.271.0
HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.6.275.12	12.6.275.12	12.6.275.7	12.6.271.0
HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.6.275.12	12.6.275.12	12.6.275.7	12.6.271.0
HPE SN1100E 16Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.6.275.12	12.6.275.12	12.6.275.7	12.6.271.0
HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.6.275.12	12.6.275.12	12.6.275.7	12.6.271.0
HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.6.275.12	12.6.275.12	12.6.275.7	12.6.271.0
HPE SN1200E 16Gbシン	16Gb	12.6.275.12	12.6.275.12	12.6.275.7	12.6.271.0

グルポートファイバーチャネルホストバスアダプター					
HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.6.275.12	12.6.275.12	12.6.275.7	12.6.271.0
HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.6.275.12	12.6.275.12	12.6.275.7	12.6.271.0
HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.6.275.12	12.6.275.12	12.6.275.7	12.6.271.0
HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.6.275.12	12.6.275.12	12.6.275.7	12.6.271.0

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

拡張

ファイバーチャネルおよびConverged Networkアダプターをアップデートする別々のコンポーネントがあります。 これは、ファイバーチャネルアップデートコンポーネントです。

含まれるもの:

32 Gbユニバーサルブート12.6.275.12 (EFI 12.6.275.7、起動BIOS 12.6.271.0、ファームウェア12.6.275.12)

16/32 Gbユニバーサルブート12.6.275.12 (EFI 12.6.275.7、起動BIOS 12.6.271.0、ファームウェア 12.6.275.12)

16 Gbユニバーサルブート12.6.275.12 (EFI 12.6.275.7、起動BIOS 12.6.271.0、ファームウェア12.6.275.12)

8 Gb HBAスタンドアップファームウェア2.10x6
8 Gbスタンドアップユニバーサルブートイメージ12.60a4(12.6.302.0 BIOS、12.6.284.0 UEFI)

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FCアダプター:

- HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gb 1シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE Firmware Flash for Emulex Fibre Channel Host Bus Adapters for Linux (x64)

バージョン: 2020.09.01 **(推奨)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-fc-emulex-2020.09.01-1.22.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-fc-emulex-2020.09.01-1.22.x86_64.rpm

重要な注意！

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へアクセスしてください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE 81E 8Gbシングルポートpcieファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	12.60a4	2.10X6	12.6.284.0	12.6.302.0
HPE 82E 8Gbデュアルポートpcieファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	12.60a4	2.10X6	12.6.284.0	12.6.302.0
HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	12.60a4	2.10X6	12.6.284.0	12.6.302.0
HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.6.275.12	12.6.275.12	12.6.275.7	12.6.271.0
HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.6.275.12	12.6.275.12	12.6.275.7	12.6.271.0
HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.6.275.12	12.6.275.12	12.6.275.7	12.6.271.0
HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.6.275.12	12.6.275.12	12.6.275.7	12.6.271.0
HPE SN1100E 16Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.6.275.12	12.6.275.12	12.6.275.7	12.6.271.0

HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.6.275.12	12.6.275.12	12.6.275.7	12.6.271.0
HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.6.275.12	12.6.275.12	12.6.275.7	12.6.271.0
HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.6.275.12	12.6.275.12	12.6.275.7	12.6.271.0
HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.6.275.12	12.6.275.12	12.6.275.7	12.6.271.0
HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.6.275.12	12.6.275.12	12.6.275.7	12.6.271.0
HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.6.275.12	12.6.275.12	12.6.275.7	12.6.271.0
HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.6.275.12	12.6.275.12	12.6.275.7	12.6.271.0

事前要件

ファームウェアアップデートは、インボックスまたはOut of Box(OOB)ドライバーを使用して実行できます。 サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

このファームウェアコンポーネントが展開のためにSUMで識別される前に、HPEで提供しているイネーブルメントキットをインストールする必要があります。

OOBドライバーおよびイネーブルメントキットは、http://www.hpe.com/servers/spp/downloadのService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

イネーブルメントキットは、OSインストールメディアからlibHBAAPIパッケージをインストールしたターゲット環境を必要とします。

FCドライバーキットをインストールし、再起動してからイネーブルメントキットをインストールしてください。

追加の要件:

フラッシュエンジンを動作させるためにsyslogデーモンが実行されている環境が必要です
コンポーネントでEmulexホストバスアダプター(HBA)を検出できるようにするには、32-bit netlink library(libnl.so)がインストールされている環境が必要です

拡張

ファイバーチャネルおよびConverged Networkアダプターをアップデートする別々のコンポーネントがあります。 これは、ファイバーチャネルアップデートコンポーネントです。

含まれるもの:

32 Gbユニバーサルブート12.6.275.12 (EFI 12.6.275.7、起動BIOS 12.6.271.0、ファームウェア12.6.275.12)

16/32 Gbユニバーサルブート12.6.275.12 (EFI 12.6.275.7、起動BIOS 12.6.271.0、ファームウェア 12.6.275.12)

16 Gbユニバーサルブート12.6.275.12 (EFI 12.6.275.7、起動BIOS 12.6.271.0、ファームウェア12.6.275.12)

8 Gb HBAスタンドアップファームウェア2.10x6
8 Gbスタンドアップユニバーサルブートイメージ12.60a4(12.6.302.0 BIOS、12.6.284.0 UEFI)

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FCアダプター:

- HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gb 1シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPEファームウェアフラッシュfor Emulexファイバーチャネルホストバスアダプターfor Microsoft Windows Server 2012 R2/2016/2019 x64

バージョン: 2020.09.01 **(推奨)**
ファイル名: cp042254.compsig; cp042254.exe

重要な注意！

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へアクセスしてください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE 81E 8Gbシングルポ	8Gb	12.60a4	2.10X6	12.6.284.0	12.6.302.0

ートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター					
HPE 82E 8Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	12.60a4	2.10X6	12.6.284.0	12.6.302.0
HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	12.60a4	2.10X6	12.6.284.0	12.6.302.0
HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.6.275.12	12.6.275.12	12.6.275.7	12.6.271.0
HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.6.275.12	12.6.275.12	12.6.275.7	12.6.271.0
HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.6.275.12	12.6.275.12	12.6.275.7	12.6.271.0
HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.6.275.12	12.6.275.12	12.6.275.7	12.6.271.0
HPE SN1100E 16Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.6.275.12	12.6.275.12	12.6.275.7	12.6.271.0
HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.6.275.12	12.6.275.12	12.6.275.7	12.6.271.0
HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.6.275.12	12.6.275.12	12.6.275.7	12.6.271.0
HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	12.6.275.12	12.6.275.12	12.6.275.7	12.6.271.0
HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.6.275.12	12.6.275.12	12.6.275.7	12.6.271.0
HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.6.275.12	12.6.275.12	12.6.275.7	12.6.271.0
HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.6.275.12	12.6.275.12	12.6.275.7	12.6.271.0
HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	12.6.275.12	12.6.275.12	12.6.275.7	12.6.271.0

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

このファームウェアコンポーネントが展開のためにSUMで識別される前に、HPEで提供しているEmulexドライバーをインストールする必要があります。OOBドライバーは、 http://www.hpe.com/servers/spp/download/ のService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

拡張

ファイバーチャネルおよびConverged Networkアダプターをアップデートする別々のコンポーネントがあります。 これは、ファイバーチャネルアップデートコンポーネントです。

含まれるもの:

32 Gbユニバーサルブート12.6.275.12 (EFI 12.6.275.7、起動BIOS 12.6.271.0、ファームウェア12.6.275.12)

16/32 Gbユニバーサルブート12.6.275.12 (EFI 12.6.275.7、起動BIOS 12.6.271.0、ファームウェア 12.6.275.12)

16 Gbユニバーサルブート12.6.275.12 (EFI 12.6.275.7、起動BIOS 12.6.271.0、ファームウェア12.6.275.12)

8 Gb HBAスタンドアップファームウェア2.10x6
8 Gbスタンドアップユニバーサルブートイメージ12.60a4(12.6.302.0 BIOS、12.6.284.0 UEFI)

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FCアダプター:

- HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gb 1シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPEファームウェアフラッシュfor Emulexメザニンファイバーチャネルホストバスアダプターfor VMware vSphere 7.0

バージョン: 2020.09.01 **(推奨)**
ファイル名: CP042545.compsig; CP042545.zip

重要な注意！

リリースノート:

HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよびコンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へアクセスしてください:http://www.hpe.com/support/manuals

2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	Universal Boot Image	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE LPe1205A 8Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class	8Gb	12.40a6	2.10X6	12.4.262.0	12.4.153.0
HPE 16Gb LPe1605ファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class	16Gb	12.4.270.10	12.4.270.10	該当なし	該当なし

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

拡張

ファイバーチャネルおよびConverged Networkアダプターをアップデートする別々のコンポーネントがあります。 これは、ファイバーチャネルアップデートコンポーネントです。

含まれるもの:

16 GBユニバーサルブート12.4.270.10

8 Gb Gen8メザニン(LPe1205A)ファームウェア2.10X6
8 Gbメザニンユニバーサルブートイメージ12.40a6(12.4.262.0 BIOS、12.4.153.0 UEFI)

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FCアダプター:

- HPE LPe1205A 8Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class

16Gb FCアダプター:

- HPE LPe1605 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class

HPEファームウェアフラッシュfor QLogicメザニンファイバーチャネルホストバスアダプター - Linux (x86_64)

バージョン: 2020.09.01 **(推奨)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-fc-mezz-qlogic-2020.09.01-1.25.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-fc-mezz-qlogic-2020.09.01-1.25.x86_64.rpm

重要な注意！

リリースノート:
HPE QLogicアダプターリリースノート

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	世代/速度	MBI	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE QMH2572 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem	Gen4/8Gb	3.81.05	8.08.206	7.00	3.56
HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem	Gen5/16Gb	6.02.01	8.08.230	7.02	3.43

事前要件

ファームウェアアップデートは、インボックスまたはOut of Box(OOB)ドライバーを使用して実行できます。 サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

このファームウェアコンポーネントが展開のためにSUMで識別される前に、HPEで提供しているイネーブルメントキットをインストールする必要があります。

OOBドライバーおよびイネーブルメントキットは、http://www.hpe.com/jp/servers/spp_dlのService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

拡張

8 Gbおよび16 Gb製品のためのファームウェア/BIOS/UEFIパッケージをアップデートしました。

- 8Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:
  - パッケージ3.81.05
  - ファームウェア8.08.206
  - UEFI 7.00
  - BIOS 3.56
- 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:
  - パッケージ6.02.01
  - ファームウェア8.08.230
  - UEFI 7.02
  - BIOS 3.43

サポートしているデバイスおよび機能

このファームウェアコンポーネントは、以下のHPEアダプターでサポートされています。

Gen4ファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE QMH2572 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

Gen5ファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

HPEファームウェアフラッシュfor QLogicメザニンファイバーチャネルホストバスアダプター for

VMware vSphere 6.5

バージョン: 2020.09.01 **(推奨)**
ファイル名: CP042208.compsig; CP042208.zip

重要な注意！

リリースノート:

HPE QLogicアダプターリリースノート

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	MBI	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE QMH2572 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem	8Gb	3.81.05	8.08.206	7.00	3.56
HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem	16Gb	6.02.01	8.08.230	7.02	3.43

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

展開のためにHPE SUMによりこのファームウェアコンポーネントが識別される前に、SUMが供給するQLogicドライバーをインストールする必要があります。OOBドライバーは、 http://www.hpe.com/jp/servers/spp_dl/ の Service Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

拡張

8 Gbおよび16 Gb製品のためのファームウェア/BIOS/UEFIパッケージをアップデートしました。

- 8Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:
  - パッケージ3.81.05
  - ファームウェア8.08.206
  - UEFI 7.00
  - BIOS 3.56
- 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:
  - パッケージ6.02.01
  - ファームウェア8.08.230
  - UEFI 7.02
  - BIOS 3.43

サポートしているデバイスおよび機能

このファームウェアコンポーネントは、以下のHPEアダプターでサポートされています。

8Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE QMH2572 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

HPEファームウェアフラッシュfor QLogicメザニンファイバーチャネルホストバスアダプター for VMware vSphere 6.7

バージョン: 2020.09.01 **(推奨)**
ファイル名: CP042209.compsig; CP042209.zip

重要な注意！

リリースノート:

HPE QLogicアダプターリリースノート

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	MBI	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE QMH2572 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem	8Gb	3.81.05	8.08.206	7.00	3.56
HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem	16Gb	6.02.01	8.08.230	7.02	3.43

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

展開のためにHPE SUMによりこのファームウェアコンポーネントが識別される前に、SUMが供給するQLogicドライバーをインストールする必要があります。OOBドライバーは、 http://www.hpe.com/jp/servers/spp_dl/ の Service Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

拡張

8 Gbおよび16 Gb製品のためのファームウェア/BIOS/UEFIパッケージをアップデートしました。

- 8Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:
  - パッケージ3.81.05
  - ファームウェア8.08.206
  - UEFI 7.00
  - BIOS 3.56
- 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:
  - パッケージ6.02.01
  - ファームウェア8.08.230
  - UEFI 7.02
  - BIOS 3.43

サポートしているデバイスおよび機能

このファームウェアコンポーネントは、以下のHPEアダプターでサポートされています。

8Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE QMH2572 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

QLogicファイバーチャネルホストバスアダプター for VMware vSphere 6.5用HPEファームウェアフラッシュ

バージョン: 2020.09.01 **(推奨)**

ファイル名: CP042515.compsig; CP042515.zip

重要な注意！

次のリリースノートを参照してください。

HPE QLogicアダプターリリースノート

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	MBI	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE 81Q 8Gb PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE SN1000Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	6.03.00	8.08.231	7.02	3.43
HPE SN1000Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	6.03.00	8.08.231	7.02	3.43
HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	02.03.06	09.04.01	7.08	0.0
HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	02.03.06	09.04.01	7.08	0.0

以下を修正しました。

- 次のタイトルのカスタマーアドバイザリで説明されている予期しない動作を防止し、その回復を改善するために、ファームウェアが強化されました。「HPE ProLiant、Synergy、およびSuperdome Flexホストバスアダプター (HBA) - 特定のファイバーチャネルHBAファームウェアが原因で、オペレーティングシステムが停止することがあり、ファイルシステムのデータ完全性が損なわれる可能性があります」

  https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_us

- ファイバーチャネルアダプターが、3PAR Persistent Checksumをサポートするアレイと、T10-PI(T10-DIFとも呼ばれる)を実行しているかまたはブロックチェックサムテクノロジーをまったく実行していない別のアレイへのトラフィックを同時に実行していた場合の予期しない動作に対処します
- ファイバーチャネルアダプターのファームウェアバージョンが、AHSログに予想どおりに表示されていません。
- 信号消失または同期喪失の場合に、ポート統計カウンターがアップデートされないことがあります
- HPE XP8アレイによって使用される特定のフレームシーケンス中に、アレイ側のリンクロス後に、リンクダウンが発生することがあります

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

展開のためにHPE SUMによりこのファームウェアコンポーネントが識別される前に、SUMが供給するQLogicドライバーをインストールする必要があります。OOBドライバーは、 http://www.hpe.com/jp/servers/spp_dl/ の Service Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

修正

以下を修正しました。

- 次のタイトルのカスタマーアドバイザリで説明されている予期しない動作を防止し、その回復を改善するために、ファームウェアが強化されました。「HPE ProLiant、Synergy、およびSuperdome Flexホストバスアダプター (HBA) - 特定のファイバーチャネルHBAファームウェアが原因で、オペレーティングシステムが停止することがあり、ファイルシステムのデータ完全性が損なわれる可能性があります」

  https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_us

- ファイバーチャネルアダプターが、3PAR Persistent Checksumをサポートするアレイと、T10-PI(T10-DIFとも呼ばれる)を実行しているかまたはブロックチェックサムテクノロジーをまったく実行していない別のアレイへのトラフィックを同時に実行していた場合の予期しない動作に対処します
- ファイバーチャネルアダプターのファームウェアバージョンが、AHSログに予想どおりに表示されていません。
- 信号消失または同期喪失の場合に、ポート統計カウンターがアップデートされないことがあります
- HPE XP8アレイによって使用される特定のフレームシーケンス中に、アレイ側のリンクロス後に、リンクダウンが発生することがあります

拡張

8 Gb、16 Gbおよび32 Gb製品のためのファームウェア/BIOS/UEFIパッケージをアップデートしました。

アダプター	速度	MBI	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE 81Q 8Gb PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE SN1000Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	6.03.00	8.08.231	7.02	3.43
HPE SN1000Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	6.03.00	8.08.231	7.02	3.43
HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	02.03.06	09.04.01	7.08	0.0
HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	02.03.06	09.04.01	7.08	0.0

サポートしているデバイスおよび機能

このファームウェアは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE 81Q 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1000Q 16GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000Q 16GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

QLogicファイバーチャネルホストバスアダプター for VMware vSphere 6.7用HPEファームウェアフラッシュ

バージョン: 2020.09.01 **(推奨)**
ファイル名: CP042516.compsig; CP042516.zip

重要な注意！

次のリリースノートを参照してください。

HPE QLogicアダプターリリースノート

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	MBI	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE 81Q 8Gb PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE SN1000Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	6.03.00	8.08.231	7.02	3.43
HPE SN1000Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	6.03.00	8.08.231	7.02	3.43
HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	02.03.06	09.04.01	7.08	0.0
HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	02.03.06	09.04.01	7.08	0.0

以下を修正しました。

- 次のタイトルのカスタマーアドバイザリで説明されている予期しない動作を防止し、その回復を改善するために、ファームウェアが強化されました。「HPE ProLiant、Synergy、およびSuperdome Flexホストバスアダプター (HBA) - 特定のファイバーチャネルHBAファームウェアが原因で、オペレーティングシステムが停止することがあり、ファイルシステムのデータ完全性が損なわれる可能性があります」

  https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_us

- ファイバーチャネルアダプターが、3PAR Persistent Checksumをサポートするアレイと、T10-PI(T10-DIFとも呼ばれる)を実行しているかまたはブロックチェックサムテクノロジーをまったく実行していない別のアレイへのトラフィックを同時に実行していた場合の予期しない動作に対処します
- ファイバーチャネルアダプターのファームウェアバージョンが、AHSログに予想どおりに表示されていません。
- 信号消失または同期喪失の場合に、ポート統計カウンターがアップデートされないことがあります
- HPE XP8アレイによって使用される特定のフレームシーケンス中に、アレイ側のリンクロス後に、リンクダウンが発生することがあります

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

展開のためにHPE SUMによりこのファームウェアコンポーネントが識別される前に、SUMが供給するQLogicドライバーをインストールする必要があります。OOBドライバーは、 http://www.hpe.com/jp/servers/spp_dl/ の Service Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

修正

以下を修正しました。

- 次のタイトルのカスタマーアドバイザリで説明されている予期しない動作を防止し、その回復を改善するために、ファームウェアが強化されました。「HPE ProLiant、Synergy、およびSuperdome Flexホストバスアダプター (HBA) - 特定のファイバーチャネルHBAファームウェアが原因で、オペレーティングシステムが停止することがあり、ファイルシステムのデータ完全性が損なわれる可能性があります」

  https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_us

- ファイバーチャネルアダプターが、3PAR Persistent Checksumをサポートするアレイと、T10-PI(T10-DIFとも呼ばれる)を実行しているかまたはブロックチェックサムテクノロジーをまったく実行していない別のアレイへのトラフィックを同時に実行していた場合の予期しない動作に対処します
- ファイバーチャネルアダプターのファームウェアバージョンが、AHSログに予想どおりに表示されていません。
- 信号消失または同期喪失の場合に、ポート統計カウンターがアップデートされないことがあります
- HPE XP8アレイによって使用される特定のフレームシーケンス中に、アレイ側のリンクロス後に、リンクダウンが発生することがあります

拡張

8 Gb、16 Gbおよび32 Gb製品のためのファームウェア/BIOS/UEFIパッケージをアップデートしました。

アダプター	速度	MBI	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE 81Q 8Gb PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE SN1000Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	6.03.00	8.08.231	7.02	3.43
HPE SN1000Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	6.03.00	8.08.231	7.02	3.43
HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	02.03.06	09.04.01	7.08	0.0
HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	02.03.06	09.04.01	7.08	0.0

サポートしているデバイスおよび機能

このファームウェアは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE 81Q 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1000Q 16GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000Q 16GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

QLogicファイバーチャネルホストバスアダプター for VMware vSphere 7.0用HPEファームウェアフラッシュ

バージョン: 2020.09.01 **(推奨)**
ファイル名: CP042547.compsig; CP042547.zip

重要な注意！

次のリリースノートを参照してください。

HPE QLogicアダプターリリースノート

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	MBI	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE 81Q 8Gb PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE SN1000Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	6.03.00	8.08.231	7.02	3.43
HPE SN1000Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	6.03.00	8.08.231	7.02	3.43
HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	02.03.06	09.04.01	7.08	0.0
HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	02.03.06	09.04.01	7.08	0.0

以下を修正しました。

- 次のタイトルのカスタマーアドバイザリで説明されている予期しない動作を防止し、その回復を改善するために、ファームウェアが強化されました。「HPE ProLiant、Synergy、およびSuperdome Flexホストバスアダプター (HBA) - 特定のファイバーチャネルHBAファームウェアが原因で、オペレーティングシステムが停止することがあり、ファイルシステムのデータ完全性が損なわれる可能性があります」

  https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_us

- ファイバーチャネルアダプターが、3PAR Persistent Checksumをサポートするアレイと、T10-PI(T10-DIFとも呼ばれる)を実行しているかまたはブロックチェックサムテクノロジーをまったく実行していない別のアレイへのトラフィックを同時に実行していた場合の予期しない動作に対処します
- ファイバーチャネルアダプターのファームウェアバージョンが、AHSログに予想どおりに表示されていません。
- 信号消失または同期喪失の場合に、ポート統計カウンターがアップデートされないことがあります
- HPE XP8アレイによって使用される特定のフレームシーケンス中に、アレイ側のリンクロス後に、リンクダウンが発生することがあります

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

展開のためにHPE SUMによりこのファームウェアコンポーネントが識別される前に、SUMが供給するQLogicドライバーをインストールする必要があります。OOBドライバーは、 http://www.hpe.com/jp/servers/spp_dl/ の Service Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

修正

以下を修正しました。

- 次のタイトルのカスタマーアドバイザリで説明されている予期しない動作を防止し、その回復を改善するために、ファームウェアが強化されました。「HPE ProLiant、Synergy、およびSuperdome Flexホストバスアダプター (HBA) - 特定のファイバーチャネルHBAファームウェアが原因で、オペレーティングシステムが停止することがあり、ファイルシステムのデータ完全性が損なわれる可能性があります」

  https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_us

- ファイバーチャネルアダプターが、3PAR Persistent Checksumをサポートするアレイと、T10-PI(T10-DIFとも呼ばれる)を実行しているかまたはブロックチェックサムテクノロジーをまったく実行していない別のアレイへのトラフィックを同時に実行していた場合の予期しない動作に対処します
- ファイバーチャネルアダプターのファームウェアバージョンが、AHSログに予想どおりに表示されていません。
- 信号消失または同期喪失の場合に、ポート統計カウンターがアップデートされないことがあります
- HPE XP8アレイによって使用される特定のフレームシーケンス中に、アレイ側のリンクロス後に、リンクダウンが発生することがあります

拡張

8 Gb、16 Gbおよび32 Gb製品のためのファームウェア/BIOS/UEFIパッケージをアップデートしました。

アダプター	速度	MBI	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE 81Q 8Gb PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター	8Gb	3.82.00	8.08.207	7.00	3.56
HPE SN1000Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	6.03.00	8.08.231	7.02	3.43
HPE SN1000Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター	16Gb	6.03.00	8.08.231	7.02	3.43
HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	02.03.06	09.04.01	7.08	0.0
HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター	32Gb	02.03.06	09.04.01	7.08	0.0

サポートしているデバイスおよび機能

このファームウェアは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE 81Q 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1000Q 16GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000Q 16GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

QLogicファイバーチャネルホストバスアダプター用HPEファームウェアオンラインフラッシュ - Microsoft Windows Server 2012R2/2016/2019 (x86_64)

バージョン: 2020.09.01 **(推奨)**
ファイル名: cp042518.compsig; cp042518.exe

重要な注意！

リリースノート:
HPE StoreFabric QLogic アダプターリリースノート

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

OOBドライバーは、http://www.hpe.com/servers/spp/downloadのService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

拡張

8 Gb、16 Gbおよび32 Gb製品のためのファームウェア/BIOS/UEFIパッケージをアップデートしました。

- 8Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:
  - パッケージ3.82.00
  - ファームウェア8.08.207
  - UEFI 7.00
  - BIOS 3.56
- 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:
  - パッケージ6.03.00
  - ファームウェア8.08.231
  - UEFI 7.02
  - BIOS 3.43
- 16Gb/32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:
  - パッケージ1.74.07
  - ファームウェア9.03.00
  - UEFI 7.02
  - BIOS 3.64
- 32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:
  - パッケージ02.03.06
  - ファームウェア09.04.01
  - UEFI 7.08
  - BIOS 0.0

サポートしているデバイスおよび機能

このファームウェアは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gb FC:

- HP 81Q PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric 84Q 4P 8GbファイバーチャネルHBA
- HP QMH2572 8Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem

16Gb FC:

- HP QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 2-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 1-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1100Q 16GB 2-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1100Q 16GB 1-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE Synergy 3830C 16Gファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FC:

- HPE StoreFabric SN1600Q 32Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1600Q 32Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE Synergy 5830C 32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター

QLogicファイバーチャネルホストバスアダプター用HPEファームウェアフラッシュ - Linux (x86_64)

バージョン: 2020.09.01 **(推奨)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-fc-qlogic-2020.09.01-1.26.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-fc-qlogic-2020.09.01-1.26.x86_64.rpm

重要な注意！

リリースノート:
HPE StoreFabric QLogic アダプターリリースノート

事前要件

ファームウェアアップデートは、インボックスまたはOut of Box(OOB)ドライバーを使用して実行できます。 サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

このファームウェアコンポーネントが展開のためにSUMで識別される前に、HPEで提供しているイネーブルメントキットをインストールする必要があります。

OOBドライバーおよびイネーブルメントキットは、http://www.hpe.com/servers/spp/downloadのService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

拡張

8 Gb、16 Gbおよび32 Gb製品のためのファームウェア/BIOS/UEFIパッケージをアップデートしました。

- 8Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:
  - パッケージ3.82.00
  - ファームウェア8.08.207
  - UEFI 7.00
  - BIOS 3.56
- 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:
  - パッケージ6.03.00
  - ファームウェア8.08.231
  - UEFI 7.02
  - BIOS 3.43
- 16Gb/32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:
  - パッケージ1.74.07
  - ファームウェア9.03.00
  - UEFI 7.02
  - BIOS 3.64
- 32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:
  - パッケージ02.03.06
  - ファームウェア09.04.01
  - UEFI 7.08
  - BIOS 0.0

サポートしているデバイスおよび機能

このファームウェアは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gb FC:

- HP 81Q PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

- HPE StoreFabric 84Q 4P 8GbファイバーチャネルHBA
- HP QMH2572 8Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem

16Gb FC:

- HP QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 2-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1000Q 16GB 1-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1100Q 16GB 2-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HP StoreFabric SN1100Q 16GB 1-port PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE Synergy 3830C 16GファイバーチャネルホストバスアダプターHPE Synergy 3830C 16Gファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FC:

- HPE StoreFabric SN1600Q 32Gb Single PortファイバーチャネルホストバスアダプターHPE StoreFabric SN1600Q 32Gb Single Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE StoreFabric SN1600Q 32Gb Dual PortファイバーチャネルホストバスアダプターHPE StoreFabric SN1600Q 32Gb Dual Portファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE Synergy 5830C 32GbファイバーチャネルホストバスアダプターHPE Synergy 5830C 32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター

QLogicファイバーチャネルメザニンホストバスアダプターfor VMware vSphere 7.0用HPEファームウェアフラッシュ

バージョン: 2020.09.01 **(推奨)**
ファイル名: CP042548.compsig; CP042548.zip

重要な注意！

リリースノート:

HPE QLogicアダプターリリースノート

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	MBI	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE QMH2572 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem	8Gb	3.81.05	8.08.206	7.00	3.56
HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem	16Gb	6.02.01	8.08.230	7.02	3.43

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

展開のためにHPE SUMによりこのファームウェアコンポーネントが識別される前に、SUMが供給するQLogicドライバーをインストールする必要があります。OOBドライバーは、 http://www.hpe.com/jp/servers/spp_dl/ の Service Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

拡張

8 Gbおよび16 Gb製品のためのファームウェア/BIOS/UEFIパッケージをアップデートしました。

- Gen4ファイバーチャネルホストバスアダプター
  - パッケージ3.12.05
  - ファームウェア8.08.206
  - UEFI 7.00
  - BIOS 3.56
- Gen5ファイバーチャネルホストバスアダプター
  - パッケージ6.02.01
  - ファームウェア8.08.230

- UEFI 7.02
- BIOS 3.43

サポートしているデバイスおよび機能

このファームウェアコンポーネントは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE QMH2572 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

QLogicメザニンファイバーチャネルホストバスアダプター用HPEファームウェアオンラインフラッシュ - Microsoft Windows Server 2012R2/2016/2019 (x86_64)

バージョン: 2020.09.01 **(推奨)**
ファイル名: cp042211.compsig; cp042211.exe

重要な注意！

リリースノート:
HPE QLogicアダプターリリースノート

このファームウェアパッケージには、以下のファームウェアバージョンが含まれています。

アダプター	速度	MBI	ファームウェア	UEFI	起動BIOS
HPE QMH2572 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem	8Gb	3.81.05	8.08.206	7.00	3.56
HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem	16Gb	6.02.01	8.08.230	7.02	3.43

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

OOBドライバーは、http://www.hpe.com/jp/servers/spp_dlのService Pack for ProLiant(SPP)から入手できます。

拡張

8 Gbおよび16 Gb製品のためのファームウェア/BIOS/UEFIパッケージをアップデートしました。

- 8Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:
  - パッケージ3.81.05
  - ファームウェア8.08.206
  - UEFI 7.00
  - BIOS 3.56
- 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:
  - パッケージ6.02.01
  - ファームウェア8.08.230
  - UEFI 7.02
  - BIOS 3.43

サポートしているデバイスおよび機能

このファームウェアコンポーネントは、以下のHPEアダプターでサポートされています。

8Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE QMH2572 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

ファームウェア - システム

先頭

Linux向けオンラインROMフラッシュ - HPE Gen10向けServer Platform Services(SPS)ファームウェア

バージョン: 04.01.04.339 **(推奨)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-spsgen10-04.01.04.339-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-spsgen10-04.01.04.339-1.1.x86_64.rpm

重要な注意！

重要な注意:

なし

提供名:

HPE Gen10 Server Platform Services(SPS)ファームウェア

リリースバージョン:

04.01.04.339

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

04.01.04.339

以前のリビジョン:

04.01.04.296

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

このイメージには、さまざまなセキュリティ脆弱性の緩和策を含む最新のIntel Server Platform Services(SPS)ファームウェアが含まれています。次の脆弱性は、このSPSリリースで対応済です。CVE-2019-11090およびCVE-2019-11109 これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

修正された問題点:

なし

既知の問題点:

なし

事前要件

HPE Gen10システムROMバージョン1.26以降

HPE Gen10 Innovation Engine(IE)ファームウェアバージョン0.1.5.2以降

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

拡張

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

このイメージには、さまざまなセキュリティ脆弱性の緩和策を含む最新のIntel Server Platform Services(SPS)ファームウェアが含まれています。次の脆弱性は、このSPSリリースで対応済です。CVE-2019-11090およびCVE-2019-11109 これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

Linux用オンラインフラッシュコンポーネント - Gen10 NVMeバックプレーンPICファームウェア

バージョン: 1.20 (E) **(オプション)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-nvmebackplane-gen10-1.20-5.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-nvmebackplane-gen10-1.20-5.1.x86_64.rpm

重要な注意!

注記:ターゲットデバイスがすでにファームウェアバージョン1.20にアップデートされている場合は、ファームウェアアップデート1.20(E)を適用する必要はありません。

事前要件

iLO 5バージョン1.10以降が必要です。

拡張

- SUSE LINUX Enterprise Server 15 OSのサポートを追加しました。

オンラインROMフラッシュfor Windows x64 - HPE Gen10 Innovation Engine Firmware for HPE Gen10 Servers

バージョン: 0.2.2.0 **(オプション)**
ファイル名: cp043588.compsig; cp043588.exe

重要な注意！

重要な注意:

なし

提供名:

HPE Gen10 Innovation Engine(IE)ファームウェア

リリースバージョン:

0.2.2.0

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

0.1.5.2

以前のリビジョン:

0.2.1.2

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

プロセッサまたはメモリの温度レポートがプラットフォームによって適切に収集されず、システムファンが予測よりも速く動作することがあるという非常にまれな問題に対処しました。この問題はサーバーのリブート後に時々見られ、通常はその後のサーバーリブートで修正されます。

既知の問題点:

なし

事前要件

システムROM V1.26以降

Service Pack for ProLiant(SPP)から入手可能なWindows用のiLO 5 Channel Interface Driver(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

プロセッサまたはメモリの温度レポートがプラットフォームによって適切に収集されず、システムファンが予測よりも速く動作することがあるという非常にまれな問題に対処しました。この問題はサーバーのリブート後に時々見られ、通常はその後のサーバーリブートで修正されます。

既知の問題点:

なし

ROMフラッシュ ファームウェアパッケージ - HPE Gen10イノベーションエンジンファームウェアfor HPE Gen10サーバー

バージョン: 0.2.2.0 **(オプション)**
ファイル名: IEGen10_0.2.2.0.fwpkg

重要な注意！

重要な注意:

なし

提供名:

HPE Gen10 Innovation Engine(IE)ファームウェア

リリースバージョン:

0.2.2.0

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

0.1.5.2

以前のリビジョン:

0.2.1.2

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

プロセッサまたはメモリの温度レポートがプラットフォームによって適切に収集されず、システムファンが予測よりも速く動作することがあるという非常にまれな問題に対処しました。この問題はサーバーのリブート後に時々見られ、通常はその後のサーバーリブートで修正されます。

既知の問題点:

なし

事前要件

システムROM V1.26以降

iLO 5 v1.20以降

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

プロセッサまたはメモリの温度レポートがプラットフォームによって適切に収集されず、システムファンが予測よりも速く動作することがあるという非常にまれな問題に対処しました。この問題はサーバーのリブート後に時々見られ、通常はその後のサーバーリブートで修正されます。

既知の問題点:

なし

ROMフラッシュ ファームウェアパッケージ - Server Platform Services(SPS)ファームウェアfor HPE Gen10サーバー

バージョン: 04.01.04.339 (B) **(推奨)**
ファイル名: SPSGen10_04.01.04.339.fwpkg

重要な注意！

重要な注意:

バージョン04.01.04.339(B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン04.01.04.339と同等です。 ファームウェアをバージョン04.01.04.339にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョン(B)にアップグレードする必要はありません。

提供名:

HPE Gen10 Server Platform Services(SPS)ファームウェア

リリースバージョン:

04.01.04.339

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

04.01.04.339

以前のリビジョン:

04.01.04.296

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

このイメージには、さまざまなセキュリティ脆弱性の緩和策を含む最新のIntel Server Platform Services(SPS)ファームウェアが含まれています。次の脆弱性は、このSPSリリースで対応済です。CVE-2019-11090およびCVE-2019-11109 これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

修正された問題点:

なし

既知の問題点:

なし

事前要件

HPE Gen10システムROMバージョン1.26以降

HPE Gen10 Innovation Engine(IE)ファームウェアバージョン0.1.5.2以降

Service Pack for ProLiant(SPP)から入手可能なWindows用のiLO 5 Channel Interface Driver(CHIF)。

拡張

重要な注意:

バージョン04.01.04.339(B)にはコンポーネントパッケージのアップデートが含まれており、機能的にはバージョン04.01.04.339と同等です。 ファームウェアをバージョン04.01.04.339にアップグレードするために以前のリビジョンのコンポーネントが使われた場合は、リビジョン(B)にアップグレードする必要はありません。

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

このイメージには、さまざまなセキュリティ脆弱性の緩和策を含む最新のIntel Server Platform Services(SPS)ファームウェアが含まれています。次の脆弱性は、このSPSリリースで対応済です。CVE-2019-11090およびCVE-2019-11109 これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

ROMフラッシュ ファームウェアパッケージ - Server Platform Services(SPS)ファームウェアfor HPE Gen10サーバー

バージョン: 05.01.04.113 **(推奨)**
ファイル名: DL20ML30Gen10SPS_05.01.04.113.fwpkg

重要な注意！

重要な注意:

なし

提供名:

HPE DL20ML30Gen10SPS Server Platform Services(SPS)ファームウェア

リリースバージョン:

05.01.04.113

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

05.01.04.113

以前のリビジョン:

05.01.03.094

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

このイメージには、さまざまなセキュリティ脆弱性の緩和策を含む最新のIntel Server Platform Services(SPS)ファームウェアが含まれています。次の脆弱性は、このSPSリリースで対応済です。CVE-2020-0545およびCVE-2020-0586。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

修正された問題点:

なし

既知の問題点:

なし

事前要件

Service Pack for ProLiant(SPP)から入手可能なWindows用のiLO 5 Channel Interface Driver(CHIF)。

拡張

このイメージには、さまざまなセキュリティ脆弱性の緩和策を含む最新のIntel Server Platform Services(SPS)ファームウェアが含まれています。次の脆弱性は、このSPSリリースで対応済です。CVE-2020-0545およびCVE-2020-0586。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

Windows x64向けオンラインROMフラッシュコンポーネント - HPE Gen10サーバー向けServer Platform Services(SPS)ファームウェア

バージョン: 04.01.04.339 **(推奨)**
ファイル名: cp040928.compsig; cp040928.exe

重要な注意！

重要な注意:

なし

提供名:

HPE Gen10 Server Platform Services(SPS)ファームウェア

リリースバージョン:

04.01.04.339

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

04.01.04.339

以前のリビジョン:

04.01.04.296

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

このイメージには、さまざまなセキュリティ脆弱性の緩和策を含む最新のIntel Server Platform Services(SPS)ファームウェアが含まれています。次の脆弱性は、このSPSリリースで対応済です。CVE-2019-11090およびCVE-2019-11109 これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

修正された問題点:

なし

既知の問題点:

なし

事前要件

HPE Gen10システムROMバージョン1.26以降

HPE Gen10 Innovation Engine(IE)ファームウェアバージョン0.1.5.2以降

Service Pack for ProLiant(SPP)から入手可能なWindows用のiLO 5 Channel Interface Driver(CHIF)。

拡張

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

このイメージには、さまざまなセキュリティ脆弱性の緩和策を含む最新のIntel Server Platform Services(SPS)ファームウェアが含まれています。次の脆弱性は、このSPSリリースで対応済です。CVE-2019-11090およびCVE-2019-11109 これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュfor Linux - HPE Gen10イノベーションエンジンファームウェアfor HPE Gen10サーバー

バージョン: 0.2.2.0 **(オプション)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-iegen10-0.2.2.0-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-iegen10-0.2.2.0-1.1.x86_64.rpm

重要な注意！

重要な注意:

なし

提供名:

HPE Gen10 Innovation Engine(IE)ファームウェア

リリースバージョン:

0.2.2.0

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

0.1.5.2

以前のリビジョン:

0.2.1.2

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

なし

修正された問題点:

プロセッサまたはメモリの温度レポートがプラットフォームによって適切に収集されず、システムファンが予測よりも速く動作することがあるという非常にまれな問題に対処しました。この問題はサーバーのリブート後に時々見られ、通常はその後のサーバーリブートで修正されます。

既知の問題点:

なし

事前要件

システムROM V1.26以降

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

修正

重要な注意:

なし

ファームウェアの依存関係:

なし

修正された問題点:

プロセッサまたはメモリの温度レポートがプラットフォームによって適切に収集されず、システムファンが予測よりも速く動作することがあるという非常にまれな問題に対処しました。この問題はサーバーのリブート後に時々見られ、通常はその後のサーバーリブートで修正されます。

既知の問題点:

なし

オンラインROMフラッシュfor Linux - Server Platform Services (SPS) ファームウェアfor HPE ProLiant DL20/ML30 Gen10

バージョン: 05.01.04.113 **(推奨)**

ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-dl20ml30gen10sps-05.01.04.113-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-dl20ml30gen10sps-05.01.04.113-1.1.x86_64.rpm

重要な注意！

重要な注意:

なし

提供名:

HPE DL20ML30Gen10SPS Server Platform Services(SPS)ファームウェア

リリースバージョン:

05.01.04.113

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

05.01.04.113

以前のリビジョン:

05.01.03.094

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

このイメージには、さまざまなセキュリティ脆弱性の緩和策を含む最新のIntel Server Platform Services(SPS)ファームウェアが含まれています。次の脆弱性は、このSPSリリースで対応済です。CVE-2020-0545およびCVE-2020-0586。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

修正された問題点:

なし

既知の問題点:

なし

事前要件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

拡張

このイメージには、さまざまなセキュリティ脆弱性の緩和策を含む最新のIntel Server Platform Services(SPS)ファームウェアが含まれています。次の脆弱性は、このSPSリリースで対応済です。CVE-2020-0545およびCVE-2020-0586。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

オンラインROMフラッシュfor Linux - Server Platform Services(SPS)ファームウェア for HPE MicroServer Gen10 Plus

バージョン: 05.01.04.113 **(推奨)**
ファイル名: RPMS/x86_64/firmware-microservergen10plussps-05.01.04.113-1.1.x86_64.compsig; RPMS/x86_64/firmware-microservergen10plussps-05.01.04.113-1.1.x86_64.rpm

重要な注意！

重要な注意:

なし

提供名:

Server Platform Services(SPS)ファームウェアfor HPE ProLiant MicroServer Gen10 Plus(U48)サーバー

リリースバージョン:

05.01.04.113

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

05.01.04.113

以前のリビジョン:

05.01.03.094

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

このイメージには、さまざまなセキュリティ脆弱性の緩和策を含む最新のIntel Server Platform Services(SPS)ファームウェアが含まれています。次の脆弱性は、このSPSリリースで対応済です。CVE-2020-0545およびCVE-2020-0586。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

修正された問題点:

なし

既知の問題点:

なし

事前要件

標準のLinuxカーネルに含まれているLinux用"iLO 5 Channel Interface Driver"(CHIF)。

拡張

このイメージには、さまざまなセキュリティ脆弱性の緩和策を含む最新のIntel Server Platform Services(SPS)ファームウェアが含まれています。次の脆弱性は、このSPSリリースで対応済です。CVE-2020-0545およびCVE-2020-0586。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

オンラインROMフラッシュコンポーネント for Windows x64 - Server Platform Services(SPS) ファームウェア for HPE MicroServer Gen10 Plus

バージョン: 05.01.04.113 **(推奨)**
ファイル名: cp044092.compsig; cp044092.exe

重要な注意！

重要な注意:

なし

提供名:

Server Platform Services(SPS)ファームウェアfor HPE ProLiant MicroServer Gen10 Plus(U48)サーバー

リリースバージョン:

05.01.04.113

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

05.01.04.113

以前のリビジョン:

05.01.03.094

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

このイメージには、さまざまなセキュリティ脆弱性の緩和策を含む最新のIntel Server Platform Services(SPS)ファームウェアが含まれています。次の脆弱性は、このSPSリリースで対応済です。CVE-2020-0545およびCVE-2020-0586。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

修正された問題点:

なし

既知の問題点:

なし

事前要件

Service Pack for ProLiant(SPP)から入手可能なWindows用のiLO 5 Channel Interface Driver(CHIF)。

拡張

このイメージには、さまざまなセキュリティ脆弱性の緩和策を含む最新のIntel Server Platform Services(SPS)ファームウェアが含まれています。次の脆弱性は、このSPSリリースで対応済です。CVE-2020-0545およびCVE-2020-0586。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

オンラインROMフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - Server Platform Services (SPS) ファームウェアfor HPE ProLiant DL20/ML30 Gen10

バージョン: 05.01.04.113 **(推奨)**
ファイル名: cp044100.compsig; cp044100.exe

重要な注意！

重要な注意:

なし

提供名:

HPE DL20ML30Gen10SPS Server Platform Services(SPS)ファームウェア

リリースバージョン:

05.01.04.113

最新の推奨またはクリティカルリビジョン:

05.01.04.113

以前のリビジョン:

05.01.03.094

ファームウェアの依存関係:

なし

改善点/新しい機能:

このイメージには、さまざまなセキュリティ脆弱性の緩和策を含む最新のIntel Server Platform Services(SPS)ファームウェアが含まれています。次の脆弱性は、このSPSリリースで対応済です。CVE-2020-0545およびCVE-2020-0586。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

修正された問題点:

なし

既知の問題点:

なし

事前要件

Service Pack for ProLiant(SPP)から入手可能なWindows用のiLO 5 Channel Interface Driver(CHIF)。

拡張

このイメージには、さまざまなセキュリティ脆弱性の緩和策を含む最新のIntel Server Platform Services(SPS)ファームウェアが含まれています。次の脆弱性は、このSPSリリースで対応済です。CVE-2020-0545およびCVE-2020-0586。これらの問題は、HPEサーバーに固有のものではありません。

オンラインフラッシュコンポーネントfor Windows x64 - Gen10 NVMeバックプレーンPICファームウェア

バージョン: 1.20 (D) **(オプション)**
ファイル名: cp037722.compsig; cp037722.exe

重要な注意!

注記:ターゲットデバイスがすでにファームウェアバージョン1.20にアップデートされている場合は、ファームウェアアップデート1.20(D) を適用する必要はありません。

事前要件

iLO 5バージョン1.10以降が必要です。

拡張

- Microsoft Windows Server 2019 OSのサポートを追加しました。

ファームウェアパッケージ - Gen10 NVMe Backplane PICファームウェア

バージョン: 1.20 **(オプション)**
ファイル名: ISS_NVMe_BP_PIC_flashV1B20.fwpkg

事前要件

iLO 5バージョン1.10以降が必要です。

拡張

最初のリリース。

ソフトウェア - Lights-Outマネジメント

先頭

HP Lights-Outオンライン構成ユーティリティ for Windows x64 Editions

バージョン: 5.4.0.0 **(オプション)**
ファイル名: cp040708.compsig; cp040708.exe

事前要件

このユーティリティは、以下の最小ファームウェアリビジョンを必要とします。

- Integrated Lights-Out 3ファームウェアバージョン1.00以降
- Integrated Lights-Out 4ファームウェアバージョン1.00以降
- Integrated Lights-Out 5ファームウェアバージョン1.30以降

マネジメントインターフェイスドライバーがサーバーに必ずインストールされていなければなりません。

HPONCFG GUIを起動するには、Microsoft .Net Framework 2.0以降が必要です。

HP Lights-Outオンライン設定ユーティリティ for Linux (AMD64/EM64T)

バージョン: 5.5.0-0 **(推奨)**
ファイル名: hponcfg-5.5.0-0.x86_64.compsig; hponcfg-5.5.0-0.x86_64.rpm

事前要件

このユーティリティは、以下の最小ファームウェアリビジョンを必要とします。

- Integrated Lights-Out 3ファームウェアバージョン1.00以降
- Integrated Lights-Out 4ファームウェアバージョン1.00以降
- Integrated Lights-Out 5ファームウェアバージョン1.20以降

マネジメントインターフェイスドライバーおよびマネジメントエージェントはサーバーに必ずインストールされていなければなりません。

iLO 5の場合は、上記のパッケージに加え、openssl v1.0.x以降が必要です。
opensslを手動でコンパイルおよびインストールしたり、意図的に/usr/bin/opensslに再配置している場合は、PATH環境変数を設定し、正しい/意図したopensslにHPONCFGをダイレクトする必要があります。

修正

ホストのOpenSSL FIPSモードをサポートするためにOpenSSL API呼び出しをアップデートしました。

ソフトウェア - マネジメント

先頭

HPE Agentless ManagementバンドルSmart コンポーネントon ESXi 7.0

バージョン: 2020.09.01 **(推奨)**
ファイル名: cp043232.compsig; cp043232.zip

修正

- ホストIPアドレスを報告しないAMSの問題を解決するための分散スイッチのサポートを追加します
- 重複IPアドレスのレポートの問題を修正します
- CPUとメモリ使用量のログが無効になっている場合に、CPUとメモリ使用量のデータ収集をスキップする修正を追加します
- デフォルトで論理ディスク使用状況のログを無効にします

拡張

AHS論理ディスク使用状況のログを有効/無効にするオプションを追加しました

HPE CRUドライバーバンドルSmartコンポーネントfor ESXi 7.0

バージョン: 2020.04.01 (A) **(推奨)**
ファイル名: cp044598.compsig; cp044598.zip

拡張

サポートされている新しいサーバーを追加します

HPE iLOドライバーバンドルSmartコンポーネントfor ESXi 7.0

バージョン: 2020.09.01 **(推奨)**
ファイル名: cp043231.compsig; cp043231.zip

拡張

ESXi 7.0およびESXi 7.0 U1をサポートします

HPE Management Bundle Smart Component for ESXi 6.5

バージョン: 2020.09.01 **(推奨)**
ファイル名: cp043234.compsig; cp043234.zip

修正

Agentless Management Service

- ホストIPアドレスを報告しないAMSの問題を解決するための分散スイッチのサポートを追加します
- 重複IPアドレスのレポートの問題を修正します
- CPUとメモリ使用量のログが無効になっている場合に、CPUとメモリ使用量のデータ収集をスキップする修正を追加します
- デフォルトで論理ディスク使用状況のログを無効にします

拡張

Agentless Management Service

AHS論理ディスク使用状況のログを有効/無効にするオプションを追加しました

HPE Management Bundle Smart Component for ESXi 6.7

バージョン: 2020.09.01 **(推奨)**
ファイル名: cp043233.compsig; cp043233.zip

修正

Agentless Management Service

- ホストIPアドレスを報告しないAMSの問題を解決するための分散スイッチのサポートを追加します
- 重複IPアドレスのレポートの問題を修正します
- CPUとメモリ使用量のログが無効になっている場合に、CPUとメモリ使用量のデータ収集をスキップする修正を追加します
- デフォルトで論理ディスク使用状況のログを無効にします

拡張

Agentless Management Service

AHS論理ディスク使用状況のログを有効/無効にするオプションを追加しました

HPE SDK Pythonモジュール

バージョン: 3.1.0 **(オプション)**
ファイル名: python-ilorest-library-3.1.0.zip

修正

RESTfulインターフェイスツール3.1をサポートするようにアップデートされました。

HPE SMXプロバイダーバンドルSmartコンポーネントfor ESXi 7.0

バージョン: 2020.04.01 (A) **(推奨)**
ファイル名: cp044591.compsig; cp044591.zip

拡張

サポートされている新しいサーバーを追加します

HPEファイバーチャネルおよびストレージ イネーブルメント バンドル Smart コンポーネント for ESXi 7.0

バージョン: 2020.09.01 **(推奨)**
ファイル名: cp044095.compsig; cp044095.zip

拡張

VMware ESXi 7.0およびESXi 7.0 U1をサポートします

ソフトウェア - ストレージコントローラー

先頭

HPE MegaRAID Storage Administrator StorCLI for VMware6.5

バージョン: 2019.09.00 **(オプション)**
ファイル名: cp040118.compsig; cp040118.zip

拡張

製品名をOSバージョンでアップデートしました。

HPE MegaRAID Storage Administrator StorCLI for VMware6.7

バージョン: 2019.09.00 **(オプション)**
ファイル名: cp040119.compsig; cp040119.zip

拡張

製品名をOSバージョンでアップデートしました。

Windows Server 64ビットEditions向けHPE SmartアレイSRベント通知サービス

バージョン: 1.2.1.64 **(推奨)**
ファイル名: cp037793.compsig; cp037793.exe

拡張

- Smart Update Managerとの統合を強化しました

ソフトウェア - ストレージファイバーチャネル

先頭

Emulex(BRCM) Fibre Channel over Ethernet driver for VMware vSphere 6.5

バージョン: 2019.12.01 (b) **(推奨)**
ファイル名: cp044547.compsig; cp044547.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。 これは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよびConverged Networkアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へアクセスしてください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

サーバーにCNAアダプターのみが含まれており、lpfcドライバーが既にインストールされている場合は、新しいドライバーのアップデートを投稿し、次のコマンドを使用してlpfcドライバーを削除してください:

#esxcli software vib remove lpfc

- HPE Emulex XE-102 ベースのネットワークアダプター HPE FlexFabric 10Gb 2 ポート 556FLR-T Adapter with CNA (XE100 シリーズ) ファームウェア 12.0.1110.0、12.0.1110.10、または 12.0.1110.11 (またはそれ以降) を使用して構成された HPE ProLiant サーバーでは、ネットワークアダプターに「リンクダウン」状態が発生し、電源サイクルやリセットでは回復できない場合があります。

詳細については、次のリンク先の「特定のHPE Emulex XE-102ベースのネットワークアダプターが組み込まれているHPE ProLiantサーバーで、ファームウェアの問題のためリンクがダウンすることがある」と題されたドキュメントを参照してください。

https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00099050en_us

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へアクセスしてください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

サーバーにCNAアダプターのみが含まれており、lpfcドライバーが既にインストールされている場合は、新しいドライバーの更新を投稿し、次のコマンドを使用してlpfcドライバーを削除してください:

```
#esxcli software vib remove lpfc
```

修正

以下を修正しました。

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプターで、ランダムな間隔でのパープルスクリーンオブデス(PSOD)
- スイッチでポートがダウンおよびアップを1000回反復した後、リンクがダウンします。
- lpfc_do_work_eventを終了できないため、デタッチが完了していません。
- メモリリークが発生する、解放後のスラブのメモリ使用。
- Small Computer Sytem Interface(SCSI)コマンドは、呼び出し後に使用されます。
- ターゲットのリセットは元のステータスを報告しません
- HPE Emulex XE-102 ベースのネットワークアダプター HPE FlexFabric 10Gb 2 ポート 556FLR-T Adapter with CNA (XE100 シリーズ) ファームウェア 12.0.1110.0、12.0.1110.10、または 12.0.1110.11 (またはそれ以降) を使用して構成された HPE ProLiant サーバーでは、ネットワークアダプターに「リンクダウン」状態が発生し、電源サイクルやリセットでは回復できない場合があります。

詳細については、次のリンク先の「特定のHPE Emulex XE-102ベースのネットワークアダプターが組み込まれているHPE ProLiantサーバーで、ファームウェアの問題のためリンクがダウンすることがある」と題されたドキュメントを参照してください。

https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00099050en_us

拡張

ドライバーバージョン12.0.1278.0にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター
- HPE CN1200E-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター

HPE QLogicメザニンファイバーチャネルドライバーコンポーネントfor VMware vSphere 6.7

バージョン: 2020.09.01 **(推奨)**
ファイル名: cp042194.compsig; cp042194.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。 これは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

拡張

ドライバーバージョン3.1.31.0

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE QMH2572 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

HPE Storage Emulexファイバーチャネルドライバーコンポーネントfor VMware vSphere 7.0

バージョン: 2020.09.01 **(推奨)**
ファイル名: cp042258.compsig; cp042258.zip

重要な注意！

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。 これは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよびコンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へアクセスしてください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

以下を修正しました。

- ホストシステムが3か月以上オンラインであった場合に、ストレージのアップグレード後、ファイバーチャネルアダプターの1つのポートがストレージへの再接続を完了できませんでした
- ホストオペレーティングシステムの実行後に3PAR Persistent Checksumをオンにしても、アダプターと3PARアレイ間でPersistent Checksumが有効になりませんでした。
- ストレージアレイがNポートID仮想化(NPIV)を使用してVMに接続されている場合、仮想マシン(VM)がそれらのアレイにアクセスできませんでした

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよびコンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へアクセスしてください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

修正

以下を修正しました。

- ホストシステムが3か月以上オンラインであった場合に、ストレージのアップグレード後、ファイバーチャネルアダプターの1つのポートがストレージへの再接続を完了できませんでした
- ホストオペレーティングシステムの実行後に3PAR Persistent Checksumをオンにしても、アダプターと3PARアレイ間でPersistent Checksumが有効になりませんでした。
- ストレージアレイがNポートID仮想化(NPIV)を使用してVMに接続されている場合、仮想マシン(VM)がそれらのアレイにアクセスできませんでした

拡張

ドライバーバージョン12.6.228.4にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FCアダプター:

- HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gb 1シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

VMware vSphere 6.5用HPE QLogicファイバーチャネルドライバーコンポーネント

バージョン: 2020.09.01 **(推奨)**
ファイル名: cp042511.compsig; cp042511.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。 これは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

以下を修正しました。

- 次のタイトルのカスタマーアドバイザリで説明されている予期しない動作のアダプタードライバー処理と、その回復を改善しました。「HPE ProLiant、Synergy、およびSuperdome Flexホストバスアダプター (HBA) - 特定のファイバーチャネルHBAファームウェアが原因で、オペレーティングシステムが停止することがあり、ファイルシステムのデータ完全性が損なわれる可能性があります」

  https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_us

- カスタマーアドバイザリ"a00094722en_us"に説明されているように、応答しない管理プロセッサーの回復を試みると、二次的な不完全なアクティビティが発生し、プロセスが予期せず終了することがありました
- 3PAR Persistent Checksumをサポートするアレイと、T10-PI(T10-DIFとも呼ばれる)を実行しているかまたはブロックチェックサムテクノロジーをまったく実行していない別のアレイに、大量のトラフィックが送信されると、パケットの形式が不正になることがありました

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

修正

以下を修正しました。

- 次のタイトルのカスタマーアドバイザリで説明されている予期しない動作のアダプタードライバー処理と、その回復を改善しました。「HPE ProLiant、Synergy、およびSuperdome Flexホストバスアダプター (HBA) - 特定のファイバーチャネルHBAファームウェアが原因で、オペレーティングシステムが停止することがあり、ファイルシステムのデータ完全性が損なわれる可能性があります」

  https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_us

- カスタマーアドバイザリ"a00094722en_us"に説明されているように、応答しない管理プロセッサーの回復を試みると、二次的な不完全なアクティビティが発生し、プロセスが予期せず終了することがありました
- 3PAR Persistent Checksumをサポートするアレイと、T10-PI(T10-DIFとも呼ばれる)を実行しているかまたはブロックチェックサムテクノロジーをまったく実行していない別のアレイに、大量のトラフィックが送信されると、パケットの形式が不正になることがありました

拡張

ドライバーバージョン2.1.101.0

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE 81Q 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1000Q 16GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000Q 16GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

VMware vSphere 6.5用HPE QLogicメザニンファイバーチャネルドライバーコンポーネント

バージョン: 2020.09.01 **(推奨)**
ファイル名: cp042193.compsig; cp042193.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。 これは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

拡張

ドライバーバージョン2.1.96.0

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE QMH2572 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

VMware vSphere 6.5用HPE Storage Emulexファイバーチャネルドライバーコンポーネント

バージョン: 2020.09.01 **(推奨)**
ファイル名: cp042256.compsig; cp042256.zip

重要な注意！

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。 これは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な

同じドライバーを含むzipです。

ソフトウェアリリース11.2以降は、ファイバーチャネル(LightPulse)ホストバスアダプターおよびコンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へアクセスしてください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

以下を修正しました。

- ホストシステムが3か月以上オンラインであった場合に、ストレージのアップグレード後、ファイバーチャネルアダプターの1つのポートがストレージへの再接続を完了できませんでした
- ホストオペレーティングシステムの実行後に3PAR Persistent Checksumをオンにしても、アダプターと3PARアレイ間でPersistent Checksumが有効になりませんでした。
- ストレージアレイがNポートID仮想化(NPIV)を使用してVMに接続されている場合、仮想マシン(VM)がそれらのアレイにアクセスできませんでした

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

ソフトウェアリリース11.2以降は、ファイバーチャネル(LightPulse)ホストバスアダプターおよびコンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へアクセスしてください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

修正

以下を修正しました。

- ホストシステムが3か月以上オンラインであった場合に、ストレージのアップグレード後、ファイバーチャネルアダプターの1つのポートがストレージへの再接続を完了できませんでした
- ホストオペレーティングシステムの実行後に3PAR Persistent Checksumをオンにしても、アダプターと3PARアレイ間でPersistent Checksumが有効になりませんでした。

- ストレージアレイがNポートID仮想化(NPIV)を使用してVMに接続されている場合、仮想マシン(VM)がそれらのアレイにアクセスできませんでした

拡張

ドライバーバージョン12.6.182.2にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FCアダプター:

- HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gb 1シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

VMware vSphere 6.7用Emulex(BRCM)Fibre Channel over Ethernetドライバー

バージョン: 2019.12.01 (b) **(推奨)**
ファイル名: cp044548.compsig; cp044548.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。 これは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよびConverged Networkアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へアクセスしてください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

サーバーにCNAアダプターのみが含まれており、lpfcドライバーが既にインストールされている場合は、新しいドライバーのアップデートを投稿し、次のコマンドを使用してlpfcドライバーを削除してください:

#esxcli software vib remove lpfc

- HPE Emulex XE-102 ベースのネットワークアダプター HPE FlexFabric 10Gb 2 ポート 556FLR-T Adapter with CNA (XE100 シリーズ) ファームウェア 12.0.1110.0、12.0.1110.10、または 12.0.1110.11 (またはそれ以降) を使用して構成された HPE ProLiant サーバーでは、ネットワークアダプターに「リンクダウン」状態が発生し、電源サイクルやリセットでは回復できない場合があります。

詳細については、次のリンク先の「特定のHPE Emulex XE-102ベースのネットワークアダプターが組み込まれているHPE ProLiantサーバーで、ファームウェアの問題のためリンクがダウンすることがある」と題されたドキュメントを参照してください。

https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00099050en_us

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へアクセスしてください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

サーバーにCNAアダプターのみが含まれており、lpfcドライバーが既にインストールされている場合は、新しいドライバーの更新を投稿し、次のコマンドを使用してlpfcドライバーを削除してください:

#esxcli software vib remove lpfc

修正

以下を修正しました。

- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプターで、ランダムな間隔でのパープルスクリーンオブデス(PSOD)
- スイッチでポートがダウンおよびアップを1000回反復した後、リンクがダウンします。
- lpfc_do_work_eventを終了できないため、デタッチが完了していません。
- メモリリークが発生する、解放後のスラブのメモリ使用。
- Small Computer Sytem Interface(SCSI)コマンドは、呼び出し後に使用されます。
- ターゲットのリセットは元のステータスを報告しません
- HPE Emulex XE-102 ベースのネットワークアダプター HPE FlexFabric 10Gb 2 ポート 556FLR-T Adapter with CNA (XE100 シリーズ) ファームウェア 12.0.1110.0、12.0.1110.10、または 12.0.1110.11 (またはそれ以降) を使用して構成された HPE ProLiant サーバーでは、ネットワークアダプターに「リンクダウン」状態が発生し、電源サイクルやリセットでは回復できない場合があります。

詳細については、次のリンクにある「特定のHPE Emulex XE-102ベースのネットワークアダプターで構成されたHP ProLiantサーバーで、ファームウェアの問題が原因でリンクがダウンする場

合がある」というタイトルのドキュメントを参照してください。

https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00099050en_us

拡張

ドライバーバージョン12.0.1278.0にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター
- HPE CN1200E-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター

VMware vSphere 6.7用HPE QLogicファイバーチャネルドライバーコンポーネント

バージョン: 2020.09.01 **(推奨)**
ファイル名: cp042512.compsig; cp042512.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。 これは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

以下を修正しました。

- 次のタイトルのカスタマーアドバイザリで説明されている予期しない動作のアダプタードライバー処理と、その回復を改善しました。「HPE ProLiant、Synergy、およびSuperdome Flexホストバスアダプター (HBA) - 特定のファイバーチャネルHBAファームウェアが原因で、オペレーティングシステムが停止することがあり、ファイルシステムのデータ完全性が損なわれる可能性があります」

  https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_us

- カスタマーアドバイザリ"a00094722en_us"に説明されているように、応答しない管理プロセッサーの回復を試みると、二次的な不完全なアクティビティが発生し、プロセスが予期せず終了することがありました
- 3PAR Persistent Checksumをサポートするアレイと、T10-PI(T10-DIFとも呼ばれる)を実行しているかまたはブロックチェックサムテクノロジーをまったく実行していない別のアレイに、大量のトラフィックが送信されると、パケットの形式が不正になることがありました

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

修正

以下を修正しました。

- 次のタイトルのカスタマーアドバイザリで説明されている予期しない動作のアダプタードライバー処理と、その回復を改善しました。「HPE ProLiant、Synergy、およびSuperdome Flexホストバスアダプター (HBA) -

特定のファイバーチャネルHBAファームウェアが原因で、オペレーティングシステムが停止することがあり、ファイルシステムのデータ完全性が損なわれる可能性があります」

https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_us

- カスタマーアドバイザリ"a00094722en_us"に説明されているように、応答しない管理プロセッサーの回復を試みると、二次的な不完全なアクティビティが発生し、プロセスが予期せず終了することがありました
- 3PAR Persistent Checksumをサポートするアレイと、T10-PI(T10-DIFとも呼ばれる)を実行しているかまたはブロックチェックサムテクノロジーをまったく実行していない別のアレイに、大量のトラフィックが送信されると、パケットの形式が不正になることがありました

拡張

ドライバーバージョン3.1.36.0

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE 81Q 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1000Q 16GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000Q 16GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

VMware vSphere 6.7用HPE Storage Emulexファイバーチャネルドライバーコンポーネント

バージョン: 2020.09.01 **(推奨)**
ファイル名: cp042257.compsig; cp042257.zip

重要な注意！

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。 これは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよびコンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へアクセスしてください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

以下を修正しました。

- ホストシステムが3か月以上オンラインであった場合に、ストレージのアップグレード後、ファイバーチャネルアダプターの1つのポートがストレージへの再接続を完了できませんでした
- ホストオペレーティングシステムの実行後に3PAR Persistent Checksumをオンにしても、アダプターと3PARアレイ間でPersistent Checksumが有効になりませんでした。
- ストレージアレイがNポートID仮想化(NPIV)を使用してVMに接続されている場合、仮想マシン(VM)がそれらのアレイにアクセスできませんでした

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよびコンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へアクセスしてください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前のドライバー(オリジナル)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、inboxドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

修正

以下を修正しました。

- ホストシステムが3か月以上オンラインであった場合に、ストレージのアップグレード後、ファイバーチャネルアダプターの1つのポートがストレージへの再接続を完了できませんでした
- ホストオペレーティングシステムの実行後に3PAR Persistent Checksumをオンにしても、アダプターと3PARアレイ間でPersistent Checksumが有効になりませんでした。
- ストレージアレイがNポートID仮想化(NPIV)を使用してVMに接続されている場合、仮想マシン(VM)がそれらのアレイにアクセスできませんでした

拡張

ドライバーバージョン12.6.182.2にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FCアダプター:

- HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gb 1シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

VMware vSphere 7.0用HPE QLogicファイバーチャネルドライバーコンポーネント

バージョン: 2020.09.01 **(推奨)**
ファイル名: cp042513.compsig; cp042513.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。 これは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

以下を修正しました。

- 次のタイトルのカスタマーアドバイザリで説明されている予期しない動作のアダプタードライバー処理と、その回復を改善しました。「HPE ProLiant、Synergy、およびSuperdome Flexホストバスアダプター (HBA) - 特定のファイバーチャネルHBAファームウェアが原因で、オペレーティングシステムが停止することがあり、ファイルシステムのデータ完全性が損なわれる可能性があります」

  https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_us

- カスタマーアドバイザリ"a00094722en_us"に説明されているように、応答しない管理プロセッサーの回復を試みると、二次的な不完全なアクティビティが発生し、プロセスが予期せず終了することがありました
- 3PAR Persistent Checksumをサポートするアレイと、T10-PI(T10-DIFとも呼ばれる)を実行しているかまたはブロックチェックサムテクノロジーをまったく実行していない別のアレイに、大量のトラフィックが送信されると、パケットの形式が不正になることがありました

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

修正

以下を修正しました。

- 次のタイトルのカスタマーアドバイザリで説明されている予期しない動作のアダプタードライバー処理と、その回復を改善しました。「HPE ProLiant、Synergy、およびSuperdome Flexホストバスアダプター (HBA) - 特定のファイバーチャネルHBAファームウェアが原因で、オペレーティングシステムが停止することがあり、ファイルシステムのデータ完全性が損なわれる可能性があります」

  https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docLocale=en_US&docId=a00094722en_us

- カスタマーアドバイザリ"a00094722en_us"に説明されているように、応答しない管理プロセッサーの回復を試みると、二次的な不完全なアクティビティが発生し、プロセスが予期せず終了することがありました
- 3PAR Persistent Checksumをサポートするアレイと、T10-PI(T10-DIFとも呼ばれる)を実行しているかまたはブロックチェックサムテクノロジーをまったく実行していない別のアレイに、大量のトラフィックが送信されると、パケットの形式が不正になることがありました

拡張

ドライバーバージョン4.1.9.0

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE 81Q 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1000Q 16GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000Q 16GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

VMware vSphere 7.0用のHPE QLogicメザニンファイバーチャネルドライバーコンポーネント

バージョン: 2020.09.01 **(推奨)**
ファイル名: cp042195.compsig; cp042195.zip

重要な注意！

このコンポーネントは、HPEアプリケーションによって使用されることを目的としています。 これは、vmware.comおよびHPE vibsdepot.hpe.com Webページに加え、HPE特有のCPXXXX.xmlファイルから利用可能な同じドライバーを含むzipです。

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

拡張

ドライバーバージョン4.1.9.0

サポートしているデバイスおよび機能

このドライバーは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE QMH2572 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

ソフトウェア - ストレージファイバーチャネルHBA

先頭

Fibreutils for HPE Storageファイバーチャネルホストバスアダプター for Linux(x86_64)

バージョン: 4.1-1 (c) **(オプション)**

ファイル名: fibreutils-4.1-1_rhel.x86_64.compsig; fibreutils-4.1-1_rhel.x86_64.rpm

事前要件

- 以下のパッケージをインストールする必要があります:glibc libgcc libstdc++ bash perl

サポートしているデバイスおよび機能

サポート対象:

- HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE LPe1205A 8Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class
- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE LPe1605 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor BladeSystem c-Class
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 81Q 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000Q 16GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000Q 16GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32GbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプターHPE SN1600Q 32GbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプターHPE SN1610Q 32GbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプターHPE SN1610Q 32GbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプターHPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプターHPE CN1200E-TコンバージドネットワークアダプターHPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプターHPE FlexFabric 20Gb 2ポート650MアダプターHPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプターHPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-TアダプターHPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystemHPE QMH2572 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

---

HPE Emulex Fibre Channel Enablement Kit for Red Hat Enterprise Linux 7 Server

バージョン: 12.6.272.0 **(推奨)**

ファイル名: HP-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-12.6.272.0-1.rhel7.x86_64.compsig; HP-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-12.6.272.0-1.rhel7.x86_64.rpm

重要な注意！

Enablement Kitのインストール前にターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールしておく必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます)

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へアクセスしてください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

事前要件

Enablement Kitのインストール前にターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールしておく必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます)

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよびコンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へアクセスしてください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

拡張

バージョン12.6.272.0にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FCアダプター:

- HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

- HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gb 1シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE Emulex Fibre Channel Enablement Kit for SUSE Linux Enterprise Server 12

バージョン: 12.6.272.0 **(推奨)**
ファイル名: HP-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-12.6.272.0-1.sles12sp4.x86_64.compsig; HP-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-12.6.272.0-1.sles12sp4.x86_64.rpm; HP-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-12.6.272.0-1.sles12sp5.x86_64.compsig; HP-CNA-FC-Emulex-Enablement-Kit-12.6.272.0-1.sles12sp5.x86_64.rpm

重要な注意！

Enablement Kitのインストール前にターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールしておく必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます)

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へアクセスしてください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

事前要件

Enablement Kitのインストール前にターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールしておく必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます)

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよびコンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へアクセスしてください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

拡張

バージョン12.6.272.0にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FCアダプター:

- HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gb 1シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE Emulex Smart SAN イネーブルメントキット(Linux)

バージョン: 1.0.0.0-4 (f) **(オプション)**
ファイル名: hpe-emulex-smartsan-enablement-kit-1.0.0.0-4.x86_64.compsig; hpe-emulex-smartsan-enablement-kit-1.0.0.0-4.x86_64.rpm

重要な注意！

オペレーティングシステムにインボックスファイバーチャネルドライバーのみインストールされている場合、Smart SANイネーブルメントキットは実行されません。 ボックス (OOB) ファイバーチャネルドライバー以外では、Smart SAN 機能を利用する必要があります。 OOB ドライバーがインストールされている場合、イネーブルメントキットでは、将来の使用のためにSmart SAN 機能が事前に有効/無効になります。OOBドライバーが有効なSmart SANがインストールされ(前提条件の注記参照)、再起動後に有効になります。

3PAR Smart SANユーザーガイドを取得するには、以下のリンクからStorage Information Libraryを参照してください：

Storage Information Library

(http://www.hpe.com/info/storage/docs/)

デフォルトでは、**HP 3PAR Storage** が選択されます

製品およびソリューション

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

Smart SAN機能を有効にする場合、この有効化キットのコンポーネントの前にHPEで指定されたファイバーチャネルドライバーをインストールしなければなりません。 ドライバーは、HPE.comのウェブサイトwww.hpe.comで利用できます。

Linux FCドライバーキットfor HPE Branded Emulex FC HBAおよびメザニンカード、バージョン11.1.183.21(サポートされている最小バージョン)for RedHat 7、RedHat 8およびNovell SUSE 12、SUSE 15

ただし、Smart SAN が有効なドライバーが実行時にインストールされていない場合、ドライバーをインストールした後に、将来の使用のためにコンポーネントのイネーブルメントキットファイルを取得します。

拡張

RedHat Enterprise Linux Server 8のサポートを追加しました

バージョン1.0.0.0-4にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FCアダプター:

- HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gb 1シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE Emulex Smart SANイネーブルメントキット(Microsoft Windows Server 64ビットオペレーティングシステム)

バージョン: 1.0.0.1 (j) **(推奨)**
ファイル名: cp042255.compsig; cp042255.exe

重要な注意！

オペレーティング システムに受信トレイ ファイバ ーチャネル ドライバーのみインストールされている場合、Smart SANイネーブルメントキットは実行されません。ボックス (OOB) ファイバー チャネルドライバー以外では、Smart SAN 機能を利用する必要があります。OOB ドライバーがインストールされている場合、イネーブルメントキットでは、将来の使用のためにSmart SAN 機能が事前に有効/無効になります。OOBドライバーが有効なSmart SANがインストールされ(前提条件参照)、再起動後に有効になります。

3PAR Smart SANユーザーガイドを取得するには、以下のリンクからStorage Information Libraryを参照してください：

Storage Information Library

(http://www.hpe.com/info/storage/docs/)

デフォルトでは、**HP 3PAR Storage** が選択されます

製品およびソリューション

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

Smart SAN機能を有効にする場合、この有効化キットのコンポーネントの前にHPEで指定されたファイバーチャネルドライバーをインストールしなければなりません。 ドライバーは、HPE.comのウェブサイトwww.hpe.comで利用できます。

HPE Storageファイバーチャネルアダプターキットfor x64 Emulex Storportドライバーv11.1.145.16 cp030886.exe

ただし、Smart SAN が有効なドライバーが実行時にインストールされていない場合、ドライバーをインストールした後に、将来の使用のためにコンポーネントのイネーブルメントキットファイルを取得します。

拡張

バージョン1.0.0.1 (f)にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexファイバーチャネルホストバスアダプターでサポートされています。

8Gb FCアダプター:

- HPE 81E 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82E 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84E 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gb FCアダプター:

- HPE SN1000E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100E 16Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1200E 16Gb 1シングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gb FCアダプター:

- HPE SN1600E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610E 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

- HPE SN1610E 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE Emulex(BRCM) Fibre Channel Over Ethernet Enablement Kit for Red Hat Enterprise Linux 7 Server

バージョン: 12.0.1264.0 (b) **(推奨)**
ファイル名: HP-CNA-FC-Broadcom-Enablement-Kit-12.0.1264.0-1.rhel7.x86_64.compsig; HP-CNA-FC-Broadcom-Enablement-Kit-12.0.1264.0-1.rhel7.x86_64.rpm

重要な注意！

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へアクセスしてください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

- HPE Emulex XE-102 ベースのネットワークアダプター HPE FlexFabric 10Gb 2 ポート 556FLR-T Adapter with CNA (XE100 シリーズ) ファームウェア 12.0.1110.0、12.0.1110.10、または 12.0.1110.11 (またはそれ以降) を使用して構成された HPE ProLiant サーバーでは、ネットワークアダプターに「リンクダウン」状態が発生し、電源サイクルやリセットでは回復できない場合があります。

  詳細については、次のリンク先の「特定のHPE Emulex XE-102ベースのネットワークアダプターが組み込まれているHPE ProLiantサーバーで、ファームウェアの問題のためリンクがダウンすることがある」と題されたドキュメントを参照してください。

  https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00099050en_us

事前要件

イネーブルメントキットのインストール前にターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールしておく必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます)

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へアクセスしてください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

修正

以下を修正しました。

- HPE Emulex XE-102 ベースのネットワークアダプター HPE FlexFabric 10Gb 2 ポート 556FLR-T Adapter with CNA (XE100 シリーズ) ファームウェア 12.0.1110.0、12.0.1110.10、または 12.0.1110.11 (またはそれ以降) を使用して構成された HPE ProLiant サーバーでは、ネットワークアダプターに「リンクダウン」状態が発生し、電源サイクルやリセットでは回復できない場合があります。
  詳細については、次のリンク先の「特定のHPE Emulex XE-102ベースのネットワークアダプターが組み込まれているHPE ProLiantサーバーで、ファームウェアの問題のためリンクがダウンすることがある」と題されたドキュメントを参照してください。
  https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00099050en_us

拡張

アップデートしたバージョン: 12.0.1264.0

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター
- HPE CN1200E-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター

HPE Emulex(BRCM) Fibre Channel Over Ethernet Enablement Kit for SUSE Linux Enterprise Server 12

バージョン: 12.0.1264.0 (b) **(推奨)**
ファイル名: HP-CNA-FC-Broadcom-Enablement-Kit-12.0.1264.0-1.sles12sp4.x86_64.compsig; HP-CNA-FC-Broadcom-Enablement-Kit-12.0.1264.0-1.sles12sp4.x86_64.rpm

重要な注意！

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へアクセスしてください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

事前要件

イネーブルメントキットのインストール前にターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールしておく必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます)

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へアクセスしてください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

拡張

アップデートしたバージョン: 12.0.1264.0

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE StoreFabric CN1200E Dual Portコンバージドネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター
- HPE StoreFabric CN1200E-Tアダプター

HPE QLogic Smart SAN イネーブルメントキット(Linux)

バージョン: 3.3-3 (h) **(オプション)**
ファイル名: hpe-qlogic-smartsan-enablement-kit-3.3-3.x86_64.compsig; hpe-qlogic-smartsan-enablement-kit-3.3-3.x86_64.rpm

重要な注意！

3PAR Smart SANユーザーガイドを取得するには、以下のリンクからStorage Information Libraryを参照してください：

Storage Information Library

(http://www.hpe.com/info/storage/docs/)

デフォルトでは、**HP 3PAR Storage** が選択されます

製品およびソリューション

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

Smart SAN機能を有効にする場合、この有効化キットのコンポーネントの前にHPEで指定されたファイバーチャネルドライバーをインストールしなければなりません。 ドライバーは、HPE.comのウェブサイトwww.hpe.comで利用できます。

- Red Hat Enterprise Linux 6 Server (x86-64) FCoE/FCドライバーキットfor HPE Qlogic CNA、HBAおよびメザニンHBA、バージ8.07.00.42.06.0-k1
- Red Hat Enterprise Linux 7 Server FCoE/FCドライバーキットfor HPE QLogic CNA、HBAおよびメザニンHBAおよびCNAバージョン8.07.00.42.07.0-k1
- SUSE Linux Enterprise Server 11 (AMD64/EM64T) FCoE/FCドライバーキットfor HPE Qlogic CNA、HBAおよびメザニンHBA、バージョン8.07.00.42.11.3-k
- SUSE Linux Enterprise Server 12 FCoE/FCドライバーキットfor HPE QLogic CNA、HBAおよびメザニンHBAおよびCNAバージョン 8.07.00.42.12.0-k1

ただし、Smart SAN が有効なドライバーが実行時にインストールされていない場合、ドライバーをインストールした後に、将来の使用のためにコンポーネントのイネーブルメントキットファイルを取得します。

拡張

RHEL8およびSLES15SP1のサポートが追加されました

バージョン3.3-3にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このバージョンのイネーブルメントキットは、以下のデバイスをサポートします:

8Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE 81Q PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84Q 4P 8GbファイバーチャネルHBA
- HPE QMH2572 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem
- HPE SN1000Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE QLogic Smart SANイネーブルメントキットfor Microsoft Windows Server 64ビットオペレーティングシステム

バージョン: 1.0.0.1 (i) **(推奨)**

ファイル名: cp039719.compsig; cp039719.exe

重要な注意！

オペレーティングシステムにインボックスファイバーチャネルドライバーのみインストールされている場合、Smart SANイネーブルメントキットは実行されません。 ボックス (OOB) ファイバーチャネルドライバー以外では、Smart SAN 機能を利用する必要があります。 OOB ドライバーがインストールされている場合、イネーブルメントキットでは、将来の使用のためにSmart SAN 機能が事前に有効/無効になります。OOBドライバーが有効なSmart SANがインストールされ(前提条件の注記参照)、再起動後に有効になります。

3PAR Smart SANユーザーガイドを取得するには、以下のリンクからStorage Information Libraryを参照してください：

Storage Information Library

(http://www.hpe.com/info/storage/docs/)

デフォルトでは、**HPE 3PAR Storage**が選択されます

製品およびソリューション

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

Smart SAN機能を有効にする場合、この有効化キットのコンポーネントの前にHPEで指定されたファイバーチャネルドライバーをインストールしなければなりません。 ドライバーは、HPE.comのウェブサイトwww.hpe.comで利用できます。

- x64 QLogic Storport Driver v9.2.2.20用HPE Storage Fibre Channelアダプターキット、cp031252.exe
- QLogic Storport Driver for Windows Server 2012および2012 R2 v9.2.2.20用HPE Storage Fibre Channelアダプターキット、cp031253.exe
- HPE Storage Fibre Channelアダプターキット for QLogic Storportドライバー for Windows Server 2016 v9.2.2.20、cp031251.exe
- HPE Storage Fibre Channelアダプターキット for QLogic Storportドライバーfor Windows Server 2019 v9.2.9.22、cp037397.exe

ただし、Smart SAN が有効なドライバーが実行時にインストールされていない場合、ドライバーをインストールした後に、将来の使用のためにコンポーネントのイネーブルメントキットファイルを取得します。

拡張

バージョン1.0.0.1にアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このバージョンのイネーブルメントキットは、以下のデバイスをサポートします:

8Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE 81Q PCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84Q 4P 8GbファイバーチャネルHBA
- HPE QMH2572 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem
- HPE SN1000Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE QLogicファイバーチャネルEnablement Kitキットfor Linux

バージョン: 6.0.0.0-13 **(推奨)**
ファイル名: HP-CNA-FC-hpqlgc-Enablement-Kit-6.0.0.0-13.noarch.compsig; HP-CNA-FC-hpqlgc-Enablement-Kit-6.0.0.0-13.noarch.rpm

重要な注意！

リリースノート:
HPE QLogicアダプターリリースノート

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

拡張

バージョン6.0.0.0-13にキットをアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このEnablement Kitは、以下のHPEアダプターをサポートします。

8Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE 81Q 8GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 82Q 8GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE 84Q 8Gbクアッドポートファイバーチャネルホストバスアダプター

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1000Q 16GbデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1000Q 16GbシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBデュアルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1100Q 16GBシングルポートPCIeファイバーチャネルホストバスアダプター

32Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE SN1600Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1600Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbデュアルポートファイバーチャネルホストバスアダプター
- HPE SN1610Q 32Gbシングルポートファイバーチャネルホストバスアダプター

HPE QLogicメザニンファイバーチャネルEnablement Kitキットfor Linux

バージョン: 6.0.0.0-12 **(推奨)**
ファイル名: HP-CNA-FC-hpqlgc-Enablement-Kit-6.0.0.0-12.noarch.compsig; HP-CNA-FC-hpqlgc-Enablement-Kit-6.0.0.0-12.noarch.rpm

重要な注意！

リリースノート:
HPE QLogicアダプターリリースノート

事前要件

サポートされる構成の一覧については、次のリンクから利用可能なSPOCKを参照してください:

http://www.hpe.com/storage/spock/

拡張

バージョン6.0.0.0-12にキットをアップデートしました

サポートしているデバイスおよび機能

このバージョンのイネーブルメントキットは、以下のデバイスをサポートします:

8Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE QMH2572 8Gb ファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

16Gbファイバーチャネルホストバスアダプター:

- HPE QMH2672 16Gbファイバーチャネルホストバスアダプターfor c-Class BladeSystem

Red Hat Enterprise Linux 8 Server用HPE Emulex (BRCM) Fibre Channel Over Ethernet Enablement Kit

バージョン: 12.0.1264.0 **(推奨)**
ファイル名: HP-CNA-FC-Broadcom-Enablement-Kit-12.0.1264.0-1.rhel8.x86_64.compsig; HP-CNA-FC-Broadcom-Enablement-Kit-12.0.1264.0-1.rhel8.x86_64.rpm

重要な注意！

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよびコンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へアクセスしてください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

事前要件

イネーブルメントキットのインストール前にターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールしておく必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます)

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へアクセスしてください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

拡張

アップデートしたバージョン: 12.0.1264.0

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE CN1200Eデュアルポートコンバージドネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター
- HPE CN1200E-Tアダプター

SUSE Linux Enterprise Server 15 Emulex(BRCM)用HPE Fibre Channel Over Ethernet Enablement Kit

バージョン: 12.0.1264.0 (b) **(推奨)**
ファイル名: HP-CNA-FC-Broadcom-Enablement-Kit-12.0.1264.0-1.sles15sp1.x86_64.compsig; HP-CNA-FC-Broadcom-Enablement-Kit-12.0.1264.0-1.sles15sp1.x86_64.rpm

重要な注意！

リリースノート:
HPE Emulexアダプターリリースノート

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へアクセスしてください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

- HPE Emulex XE-102 ベースのネットワークアダプター HPE FlexFabric 10Gb 2 ポート 556FLR-T Adapter with CNA (XE100 シリーズ) ファームウェア 12.0.1110.0、12.0.1110.10、または 12.0.1110.11 (または

それ以降) を使用して構成された HPE ProLiant サーバーでは、ネットワークアダプターに「リンクダウン」状態が発生し、電源サイクルやリセットでは回復できない場合があります。

詳細については、次のリンク先の「特定のHPE Emulex XE-102ベースのネットワークアダプターが組み込まれているHPE ProLiantサーバーで、ファームウェアの問題のためリンクがダウンすることがある」と題されたドキュメントを参照してください。

https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00099050en_us

事前要件

イネーブルメントキットのインストール前にターゲット環境にlibHBAAPIパッケージをインストールしておく必要があります。(存在していない場合、libHBAAPIパッケージはオペレーティングシステムのインストールメディアから取得することができます)

ソフトウェアリリース11.2以降は、Fibre Channel(LightPulse)アダプターおよび コンバージドネットワークアダプター(OneConnect)に独立したソフトウェアキットが用意されています。

この変更について詳しくは、『Broadcom Software Kit Migration User Guide(Broadcomソフトウェアキット移行ユーザーガイド)』をお読みいただくことをお勧めします。

ガイドを入手するには:

1. 次へアクセスしてください:http://www.hpe.com/support/manuals
2. HPEモデル番号を使用する場合、製品の検索ボックスにアダプターのモデル番号を入力し、>>をクリックします。

このドキュメントには、FCおよびCNAアダプター用のドライバーキットを使用するための特別な手順および考慮事項が記載されています。

特別ケースでは、11.2よりも前の(オリジナルの)ドライバーおよびアプリケーションが新規11.2ドライバーおよびアプリケーションに置き換えられています。また、インボックスドライバーが新規11.2 out-of-box(OOB)ドライバーに置き換えられています。

修正

以下を修正しました。

- HPE Emulex XE-102 ベースのネットワークアダプター HPE FlexFabric 10Gb 2 ポート 556FLR-T Adapter with CNA (XE100 シリーズ) ファームウェア 12.0.1110.0、12.0.1110.10、または 12.0.1110.11 (またはそれ以降) を使用して構成された HPE ProLiant サーバーでは、ネットワークアダプターに「リンクダウン」状態が発生し、電源サイクルやリセットでは回復できない場合があります。
  詳細については、次のリンク先の「特定のHPE Emulex XE-102ベースのネットワークアダプターが組み込まれているHPE ProLiantサーバーで、ファームウェアの問題のためリンクがダウンすることがある」と題されたドキュメントを参照してください。
  https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00099050en_us

拡張

アップデートしたバージョン: 12.0.1264.0

サポートしているデバイスおよび機能

このコンポーネントは次のEmulexコンバージドネットワークアダプターでサポートされています。

XE100シリーズ:

- HPE CN1200E デュアルポート コンバージド ネットワークアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650FLBアダプター
- HPE FlexFabric 20Gb 2ポート650Mアダプター
- HPE CN1200E-Tアダプター
- HPE FlexFabric 10Gb 2ポート556FLR-SFP+アダプター

- HPE FlexFabric 10Gb 2-port 556FLR-Tアダプター

ソフトウェア - システムマネジメント

先頭

Agentless Management Service (iLO 5) for Red Hat Enterprise Linux 7 Server

バージョン: 2.3.0 **(オプション)**
ファイル名: amsd-2.3.0-1451.49.rhel7.x86_64.compsig; amsd-2.3.0-1451.49.rhel7.x86_64.rpm

事前要件

- **amsdは、HPE Gen10サーバー上のみでサポートされています。**
- **amsdは、SNMPサポートを提供しているiLO 5サービスに情報を提供します。**
- **要件:**
  - 最低限必要なiLO 5ファームウェアバージョン = 1.1
  - サポートされる最小OSバージョン = Red Hat Enterprise Linux 7.3 Errata 3.10.0.514.6.1

修正

以下を修正しました。

- HPE Agentless Management Service (iLO 5)(amsd) for Linuxのahslogサービスは、システムの起動中にsegfaultすることがあります。これが発生している間、ユーザーはsystemctlから"Failed to start Active Health Service Logger"メッセージを見ることができます。詳しくは、カスタマーアドバイザリa00099165en_usを参照してください。
- RHELでipv6を無効にするようにカーネルパラメーターを設定すると、HPE Agentless Management Service(AMSD)のメモリ使用量がはるかに安定します。
- HPE Agentless Management Service(AMSD)で、テストパラメーターを使用してテストトリップを生成できないことを修正しました。
- iLoの再起動時にサービスを再開できるように、ahslogの安定性に対処しました。iLOの再起動後にサービスがハングアップしなくなります。
- ファイバーオプションでは、リバースモード(SMA)でデータを正しく配信します

拡張

このリリースの機能強化は、以下のとおりです。

- 次の新しいネットワークコントローラーのサポート:
  - P10118-B21(HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 QL41232HQCU OCP3アダプター)
  - P22702-B21(HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 QL41222HLCUアダプター)
  - 874253-B21(HPE Ethernet 100Gb 1ポート 842QSFP28アダプター)

Agentless Management Service (iLO 5) for Red Hat Enterprise Linux 8 Server

バージョン: 2.3.0 **(オプション)**
ファイル名: amsd-2.3.0-1443.35.rhel8.x86_64.compsig; amsd-2.3.0-1443.35.rhel8.x86_64.rpm

事前要件

- **amsdは、HPE Gen10サーバー上のみでサポートされています。**
- **amsdは、SNMPサポートを提供しているiLO 5サービスに情報を提供します。**
- **要件:**
  - 最低限必要なiLO 5ファームウェアバージョン = 1.1
  - サポートされる最小OSバージョン = Red Hat Enterprise Linux 7.3 Errata 3.10.0.514.6.1

修正

以下を修正しました。

- HPE Agentless Management Service (iLO 5)(amsd) for Linuxのahslogサービスは、システムの起動中にsegfaultすることがあります。これが発生している間、ユーザーはsystemctlから"Failed to start Active Health Service Logger"メッセージを見ることができます。詳しくは、カスタマーアドバイザリa00099165en_usを参照してください。
- RHELでipv6を無効にするようにカーネルパラメーターを設定すると、HPE Agentless Management Service(AMSD)のメモリ使用量がはるかに安定します。
- HPE Agentless Management Service(AMSD)で、テストパラメーターを使用してテストトリップを生成できないことを修正しました。
- iLoの再起動時にサービスを再開できるように、ahslogの安定性に対処しました。iLOの再起動後にサービスがハングアップしなくなります。
- ファイバーオプションでは、リバースモード(SMA)でデータを正しく配信します

拡張

このリリースの機能強化は、以下のとおりです。

- 次の新しいネットワークコントローラーのサポート:
  - P10118-B21(HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 QL41232HQCU OCP3アダプター)
  - P22702-B21(HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 QL41222HLCUアダプター)
  - 874253-B21(HPE Ethernet 100Gb 1ポート 842QSFP28アダプター)

Agentless Management Service (iLO 5) for SUSE Linux Enterprise Server 12

バージョン: 2.3.0 **(オプション)**
ファイル名: amsd-2.3.0-1439.30.sles12.x86_64.compsig; amsd-2.3.0-1439.30.sles12.x86_64.rpm

事前要件

- **amsdは、HPE Gen10サーバー上のみでサポートされています。**
- **amsdは、SNMPサポートを提供しているiLO 5サービスに情報を提供します。**
- **要件:**
  - 最低限必要なiLO 5ファームウェアバージョン = 1.1
  - サポートされる最小OSバージョン = SuSE Linux Enterprise Server 12 SP2

修正

以下を修正しました。

- HPE Agentless Management Service (iLO 5)(amsd) for Linuxのahslogサービスは、システムの起動中にsegfaultすることがあります。これが発生している間、ユーザーはsystemctlから"Failed to start Active Health Service Logger"メッセージを見ることができます。詳しくは、カスタマーアドバイザリa00099165en_usを参照してください。
- RHELでipv6を無効にするようにカーネルパラメーターを設定すると、HPE Agentless Management Service(AMSD)のメモリ使用量がはるかに安定します。
- HPE Agentless Management Service(AMSD)で、テストパラメーターを使用してテストトリップを生成できないことを修正しました。
- iLoの再起動時にサービスを再開できるように、ahslogの安定性に対処しました。iLOの再起動後にサービスがハングアップしなくなります。
- ファイバーオプションでは、リバースモード(SMA)でデータを正しく配信します

拡張

このリリースの機能強化は、以下のとおりです。

- 次の新しいネットワークコントローラーのサポート:
  - P10118-B21(HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 QL41232HQCU OCP3アダプター)
  - P22702-B21(HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 QL41222HLCUアダプター)
  - 874253-B21(HPE Ethernet 100Gb 1ポート 842QSFP28アダプター)
- SUSE Linux Enterprise Server 12 Service Pack 5のサポート

Agentless Management Service (iLO 5) for SUSE Linux Enterprise Server 15

バージョン: 2.3.0 **(オプション)**
ファイル名: amsd-2.3.0-1439.31.sles15.x86_64.compsig; amsd-2.3.0-1439.31.sles15.x86_64.rpm

事前要件

- **amsdは、HPE Gen10サーバー上のみでサポートされています。**
- **amsdは、SNMPサポートを提供しているiLO 5サービスに情報を提供します。**
- **要件:**
  - 最低限必要なiLO 5ファームウェアバージョン = 1.1
  - サポートされる最小OSバージョン = SuSE Linux Enterprise Server 15

修正

以下を修正しました。

- HPE Agentless Management Service (iLO 5)(amsd) for Linuxのahslogサービスは、システムの起動中にsegfaultすることがあります。これが発生している間、ユーザーはsystemctlから"Failed to start Active Health Service Logger"メッセージを見ることができます。詳しくは、カスタマーアドバイザリa00099165en_usを参照してください。
- RHELでipv6を無効にするようにカーネルパラメーターを設定すると、HPE Agentless Management Service(AMSD)のメモリ使用量がはるかに安定します。
- HPE Agentless Management Service(AMSD)で、テストパラメーターを使用してテストトリップを生成できないことを修正しました。
- iLoの再起動時にサービスを再開できるように、ahslogの安定性に対処しました。iLOの再起動後にサービスがハングアップしなくなります。
- ファイバーオプションでは、リバースモード(SMA)でデータを正しく配信します

拡張

このリリースの機能強化は、以下のとおりです。

- 次の新しいネットワークコントローラーのサポート:
  - P10118-B21(HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 QL41232HQCU OCP3アダプター)
  - P22702-B21(HPE Ethernet 10/25Gb 2ポートSFP28 QL41222HLCUアダプター)
  - 874253-B21(HPE Ethernet 100Gb 1ポート 842QSFP28アダプター)
- SUSE Linux Enterprise Server 15 Service Pack 2のサポート

Agentless Management Service for Windows x64

バージョン: 2.30.1.0 **(オプション)**
ファイル名: cp044612.compsig; cp044612.exe

修正

- CpqHoNameの文字列エンコーディングの問題を修正しました

HPE Agentless Management バンドル for ESXi 7.0

バージョン: 700.11.6.0 **(推奨)**

ファイル名: amsdComponent_700.11.6.0-24_16357308.zip

修正

- ホストIPアドレスを報告しないAMSの問題を解決するための分散スイッチのサポートを追加します
- 重複IPアドレスのレポートの問題を修正します
- CPUとメモリ使用量のログが無効になっている場合に、CPUとメモリ使用量のデータ収集をスキップする修正を追加します
- デフォルトで論理ディスク使用状況のログを無効にします

拡張

AHS論理ディスク使用状況のログを有効/無効にするオプションを追加しました

HPE Insight Management WBEM Provider for Windows Server x64 Edition

バージョン: 10.75.0.0 **(オプション)**
ファイル名: cp037689.exe

事前要件

HPE Insight Management WBEM ProviderはHPE ProLiant iLO 3/4 Channel Interface とManagement Controller Drivers (バージョン3.4.0.0以降) for Windows X64がこのコンポーネントに予めインストールされていることを要求します。

また、シングル サーバーWebベースユーザーインターフェイスのためにSystem Management Homepage (SMH) コンポーネント (バージョン7.2.2.9以降) が必要です。

Windows Updateを実行することによって、システム上のOSに必要なすべての更新を適用します。Windows Updateが不完全な場合、HPE WBEM Providerのインストールに失敗することがあります。

修正

コントローラーにHPE Smart Storage Administratorバージョン3.10.3.0以降で作成された論理ドライブがある場合、System Management Homepage上での、Smartアレイコントローラーの間違った赤いアイコンのステータスが修正されました。

HPE MegaRAID Storage Administrator StorCLI for Linux 64-bit

バージョン: 1.25.12 **(オプション)**
ファイル名: LINUX_Readme.txt; storcli-1.25.12-1.noarch.compsig; storcli-1.25.12-1.noarch.rpm

拡張

- 最初のリリース

HPE Smart Storage Administrator (HPE SSA) CLI for Linux 64ビット

バージョン: 4.21.7.0 **(オプション)**
ファイル名: ssacli-4.21-7.0.x86_64.compsig; ssacli-4.21-7.0.x86_64.rpm; ssacli-4.21-7.0.x86_64.txt

重要な注意！

HPE SSACLIは従来と同様に、さらに追加の機能、能力、およびサポートされたデバイスを持ち、ご使用のストレージを構成して管理することができます。 既存のACUCLIスクリプトは、互換性を維持するために適切なバイナリまたは実行可能ファイルを呼び出すような最小限の変更のみを加える必要があります。

拡張

HPE SmartアレイS100i SR Gen10 Plus SW RAIDのサポートを追加

HPE Smart Storage Administrator (HPE SSA) CLI for VMware 6.5

バージョン: 4.21.6.0 **(オプション)**
ファイル名: HPE_bootbank_hpessacli-4.21.6.0-6.5.0.4240417.hpe.vib

拡張

HPE SmartアレイS100i SR Gen10 Plus SW RAIDのサポートを追加

HPE Smart Storage Administrator (HPE SSA) CLI for VMware 6.7

バージョン: 4.21.6.0 **(オプション)**
ファイル名: HPE_bootbank_hpessacli-4.21.6.0-6.7.0.7535516.hpe.vib

拡張

HPE SmartアレイS100i SR Gen10 Plus SW RAIDのサポートを追加

HPE Smart Storage Administrator (HPE SSA) CLI for Windows 64ビット

バージョン: 4.21.7.0 **(オプション)**
ファイル名: cp044527.compsig; cp044527.exe

重要な注意！

HPE SSACLIは従来と同様に、さらに追加の機能、能力、およびサポートされたデバイスを持ち、ご使用のストレージを構成して管理することができます。 既存のACUCLIスクリプトは、互換性を維持するために適切なバイナリまたは実行可能ファイルを呼び出すような最小限の変更のみを加える必要があります。

拡張

HPE SmartアレイS100i SR Gen10 Plus SW RAIDのサポートを追加

HPE Smart Storage Administrator (HPE SSA) for Linux 64ビット

バージョン: 4.21.7.0 **(オプション)**
ファイル名: ssa-4.21-7.0.x86_64.compsig; ssa-4.21-7.0.x86_64.rpm; ssa-4.21-7.0.x86_64.txt

重要な注意！

HPE SSAは既存のHPアレイコンフィギュレーションユーティリティ、またはACUのデザインをアップデートして、それらがオンラインになるのに応じて、様々なSmart Storageイニシアチブのために新機能と機能性を提供します。
HPE Smart Array Advanced Pack 1.0および2.0の機能は、適切なファームウェア(の使用)によりHPE SSAのベースライン機能の一部となりました。

HPE SSAは従来と同様に、さらに追加の機能、能力、およびサポートされたデバイスを持ち、ご使用のストレージを構成して管理することができます。 既存のACUスクリプトは、互換性を維持するために適切なバイナリまたは実行可能ファイルを呼び出すような最小限の変更のみを加える必要があります。

事前要件

HPE Smart Storage Administrator for Linuxは、サーバーにHPE System Management Homepageソフトウェアがインストールされている必要があります。 サーバーにHPE System Management Homepageソフトウェアがイン

ストールされていない場合、HPE Smart Storage Administrator for Linuxをインストールする前に、HPE.comからダウンロードしてインストールしてください。

重要なアップデート: HPE SSA (GUI) for Linuxは、HPE System Management Homepageを必要とせず、実行することができます。 HPE SSAはLinux用にローカルアプリケーションモードをサポートします。 HPE System Management Homepageはサポートされていますが、HPE SSA GUIの実行には必要ありません。

起動するには、コマンドプロンプトで以下を入力してください。

ssa -local

コマンドは新しいFirefoxブラウザーウィンドウでHPE SSAを開始します。ブラウザーウィンドウを閉じると、HPE SSAは自動的に終了します。これは、ループバックインタ-フェイスだけに有効であって、外部のネットワーク接続には当てはまりません。

拡張

HPE SmartアレイS100i SR Gen10 Plus SW RAIDのサポートを追加

HPE Smart Storage Administrator (HPE SSA) for Windows 64ビット

バージョン: 4.21.7.0 **(オプション)**
ファイル名: cp044526.compsig; cp044526.exe

重要な注意！

HPE SSAは既存のHPアレイコンフィギュレーションユーティリティ、またはACUのデザインをアップデートして、それらがオンラインになるのに応じて、様々なSmart Storageイニシアチブのために新機能と機能性を提供します。
HPE Smart Array Advanced Pack 1.0および2.0の機能は、適切なファームウェア(の使用)によりHPE SSAのベースライン機能の一部となりました。

HPE SSAは従来と同様に、さらに追加の機能、能力、およびサポートされたデバイスを持ち、ご使用のストレージを構成して管理することができます。 既存のACUスクリプトは、互換性を維持するために適切なバイナリまたは実行可能ファイルを呼び出すような最小限の変更のみを加える必要があります。

拡張

HPE SmartアレイS100i SR Gen10 Plus SW RAIDのサポートを追加

HPE Smart Storage Administrator Diagnostic Utility (HPE SSADU) CLI for Linux 64ビット

バージョン: 4.21.7.0 **(オプション)**
ファイル名: ssaducli-4.21-7.0.x86_64.compsig; ssaducli-4.21-7.0.x86_64.rpm; ssaducli-4.21-7.0.x86_64.txt

重要な注意！

HPE Smart Storage Administratorの診断機能のこのスタンドアロンバージョンは、CLIからのみ利用できます。 診断レポートのGUIバージョンは、HPE Smart Storage Administrator (HPE SSA)を使用してください。

拡張

HPE SmartアレイS100i SR Gen10 Plus SW RAIDのサポートを追加

HPE Smart Storage Administrator Diagnostic Utility (HPE SSADU) CLI for Windows 64ビット

バージョン: 4.21.7.0 **(オプション)**
ファイル名: cp044528.compsig; cp044528.exe

重要な注意！

HPE Smart Storage Administratorの診断機能のこのスタンドアロンバージョンは、CLIからのみ利用できます。 診断レポートのGUIバージョンは、HPE Smart Storage Administrator (HPE SSA)を使用してください。

拡張

HPE SmartアレイS100i SR Gen10 Plus SW RAIDのサポートを追加

HPE SMXプロバイダーコンポーネントfor ESXi 7.0

バージョン: 3.16.00 **(推奨)**
ファイル名: smxProvider_700.03.16.00__1_.12_14828939_signed_component_1567546.zip

拡張

VMware ESXi 7.0のサポート

HPEオフラインバンドルfor ESXi 6.5

バージョン: 3.6.0 **(推奨)**
ファイル名: esxi6.5uX-mgmt-bundle-3.6.0-9.zip

修正

Agentless Management Service

- ホストIPアドレスを報告しないAMSの問題を解決するための分散スイッチのサポートを追加します
- 重複IPアドレスのレポートの問題を修正します
- CPUとメモリ使用量のログが無効になっている場合に、CPUとメモリ使用量のデータ収集をスキップする修正を追加します
- デフォルトで論理ディスク使用状況のログを無効にします

拡張

Agentless Management Service

AHS論理ディスク使用状況のログを有効/無効にするオプションを追加しました

サポートしているデバイスおよび機能

VMware vSphereバージョンサポート:

- VMware vSphere 6.5 U2
- VMware vSphere 6.5 U3

HPEオフラインバンドルfor ESXi 6.7

バージョン: 3.6.0 **(推奨)**
ファイル名: esxi6.7uX-mgmt-bundle-3.6.0-9.zip

修正

Agentless Management Service

- ホストIPアドレスを報告しないAMSの問題を解決するための分散スイッチのサポートを追加します
- 重複IPアドレスのレポートの問題を修正します

- CPUとメモリ使用量のログが無効になっている場合に、CPUとメモリ使用量のデータ収集をスキップする修正を追加します
- デフォルトで論理ディスク使用状況のログを無効にします

拡張

Agentless Management Service

AHS論理ディスク使用状況のログを有効/無効にするオプションを追加しました

HPEファイバーチャネルおよびストレージ イネーブルメント コンポーネント for ESXi 7.0

バージョン: 3.6.0 **(推奨)**
ファイル名: fc-enablement-component_700.3.6.0.4-1_16239845.zip

拡張

VMware ESXi 7.0およびESXi 7.0 U1をサポートします

HPEユーティリティオフラインバンドルfor ESXi 6.5

バージョン: 10.6.0 **(推奨)**
ファイル名: HPE-Util-CPNT_6.5.0.10.6.0-32.zip

重要な注意！

以下のVMware vSphere 6.5用HPE VMwareユーティリティガイドを参照してください。
www.hpe.com/info/vmware/proliant-docs

拡張

Smart Storage Administrator CLI(SSACLI)のアップデート

HPEユーティリティオフラインバンドルfor ESXi 6.7

バージョン: 10.6.0 **(推奨)**
ファイル名: HPE-Util-CPNT_6.7.0.10.6.0-34.zip

重要な注意！

以下のVMware vSphere 6.7 U3用HPE VMwareユーティリティガイドを参照してください。
http://www.hpe.com/info/vmware/proliant-docs

拡張

HPE Smart Storage Administrator CLI(SSACLI)をアップデートしました

HPEユーティリティオフラインバンドルfor ESXi 7.0

バージョン: 10.6.0 **(推奨)**
ファイル名: HPE-Util-CPNT_7.0.0.10.6.0-45.zip

重要な注意！

以下のVMware vSphere/ESX用HPE VMwareユーティリティガイドを参照してください。
http://www.hpe.com/info/vmware/proliant-docs

拡張

VMware ESXi 7.0 をサポートします

Linux 64-bit用HPE MegaRAID Storage Administrator (HPE MRSA)

バージョン: 3.113.0.0 **(オプション)**
ファイル名: HPE_Linux_64_readme.txt; MRStorageAdministrator-003.113.000.000-00.x86_64.rpm; MRStorageAdministrator-003.113.000.000-00.x86_64_part1.compsig; MRStorageAdministrator-003.113.000.000-00.x86_64_part2.compsig; MRStorageAdministrator-003.113.000.000-00.x86_64_part3.compsig; MRStorageAdministrator-003.113.000.000-00.x86_64_part4.compsig

拡張

最初のリリース

VMware用HPE MegaRAID Storage Administrator StorCLI

バージョン: 1.25.12 **(オプション)**
ファイル名: vmware-esx-storcli-1.25.12.vib; VMWARE_MN_NDS_Readme.txt

拡張

最初のリリース

VMware用HPE MegaRAID Storage Administrator StorCLI

バージョン: 1.25.12 **(推奨)**
ファイル名: storcli-esxi6.5-bundle-1.25.12.zip

拡張

最初のリリース

VMware用HPE MegaRAID Storage Administrator StorCLI

バージョン: 1.25.12 **(推奨)**
ファイル名: storcli-esxi6.7-bundle-1.25.12.zip

拡張

ProLiant機能のサポートを追加しました(メガセルステータス、AHS、Spade、サニタイズ & エキスパンダー)

Windows 64-bit向けHPE MegaRAID Storage Administrator (HPE MRSA)

バージョン: 3.113.0.0 **(オプション)**
ファイル名: cp036916.exe; cp036916_part1.compsig; cp036916_part2.compsig; cp036916_part3.compsig; cp036916_part4.compsig

拡張

最初のリリース

Windows 64-bit用HPE MegaRAID Storage Administrator StorCLI

バージョン: 1.25.12.0 **(オプション)**
ファイル名: cp036918.compsig; cp036918.exe

Windows用NVMe Drive Eject NMI Fix for Intel Xeon Processor Scalable Family

バージョン: 1.1.0.0 (C) **(オプション)**
ファイル名: cp034635.compsig; cp034635.exe

拡張

- Windows Server 2019のサポートを追加しました
- HPE ProLiant XL270d Gen10およびHPE ProLiant XL420 Gen10のサポートを追加しました

統合Smart Update Tools for VMware ESXi 6.5

バージョン: 2.7.0.0 **(推奨)**
ファイル名: sut-esxi6.5-offline-bundle-2.7.0.0-36.zip

重要な注意！

ESXi用統合Smart Update Toolsは、iLOレポジトリ経由でファームウェアとドライバーのアップデートをサポートします